東京湾アクアライン連絡道

神納高架橋耐震補強工事

契約参考図書

（率計上項目及び概算数量、図面）

令和 ７ 年　 ２ 月

東日本高速道路株式会社　関東支社
東京湾アクアライン管理事務所

・契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を指示する資料であり、設計書第１条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束しない）

・当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

図　面　目　録

【率計上工事】

図面番号	図　　面　　名
1	数量総括表
2～3	岩根東高架橋（上り線）P28橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
4～5	岩根東高架橋（上り線）P29-P32橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
6	岩根東高架橋（上下線）P28橋脚 検査路撤去･設置計画図
7	岩根東高架橋（上下線）P29-P32橋脚 検査路撤去･設置計画図
8～9	岩根東高架橋（下り線）P28橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
10～11	岩根東高架橋（下り線）P29-P32橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
12	岩根東高架橋 撤去･復旧図
13～14	小橿川第二橋（上り線）P33橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
15～16	小橿川第二橋（上り線）P34橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
17～18	小橿川第二橋（上り線）P35橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
19～20	小橿川第二橋（上り線）P36橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
21～22	小橿川第二橋（上り線）P37橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
23～24	小橿川第二橋（上り線）P40橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
25～26	小橿川第二橋（下り線）P33橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
27～28	小橿川第二橋（下り線）P34橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
29～30	小橿川第二橋（下り線）P35橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
31～32	小橿川第二橋（下り線）P36橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
33～34	小橿川第二橋（下り線）P37橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
35～36	小橿川第二橋（下り線）P40橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
37～39	小橿川第二橋（上下線）P33橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～3)
40～41	小橿川第二橋（上下線）P34,P35橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
42～45	小橿川第二橋（上り線）P36橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
46～47	小橿川第二橋（上り線）P37橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
48～49	小橿川第二橋（上り線）P38橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
50～51	小橿川第二橋（上り線）P39橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
52～53	小橿川第二橋（上り線）P40橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
54～57	小橿川第二橋（下り線）P36橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
58～59	小橿川第二橋（下り線）P37橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
60～61	小橿川第二橋（下り線）P38橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
62～63	小橿川第二橋（下り線）P39橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
64～65	小橿川第二橋（下り線）P40橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
66	小橿川第二橋 護岸撤去･復旧図
67	小橿川第二橋 工事用道路工一般図
68～70	小橿川第二橋 撤去･復旧図(その1～3)
71～72	小橿川第二橋（上下線）既設落橋防止構造撤去図(その1～2)
73～74	袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
75～76	袖ヶ浦高架橋（上り線）P42橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
77～78	袖ヶ浦高架橋（上り線）P43橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
79～80	袖ヶ浦高架橋（上り線）P44橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
81～82	袖ヶ浦高架橋（上り線）P45橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
83～84	袖ヶ浦高架橋（上り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
85～86	袖ヶ浦高架橋（上り線）P48橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
87～88	袖ヶ浦高架橋（上り線）P49橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
89～90	袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
91～92	袖ヶ浦高架橋（上り線）P51橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
93～94	袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
95～96	袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)

図面番号	図　　面　　名
97～98	袖ヶ浦高架橋（下り線）P42橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
99～100	袖ヶ浦高架橋（下り線）P43橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
101～102	袖ヶ浦高架橋（下り線）P44橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
103～104	袖ヶ浦高架橋（下り線）P45橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
105～106	袖ヶ浦高架橋（下り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
107～108	袖ヶ浦高架橋（下り線）P48橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
109～110	袖ヶ浦高架橋（下り線）P49橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
111～112	袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
113～114	袖ヶ浦高架橋（下り線）P51橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
115～116	袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
117～120	袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
121～122	袖ヶ浦高架橋（上下線）P42-P44,P48橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
123～126	袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
127～128	袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
129～132	袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
133～136	袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
137～138	袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
139～140	袖ケ浦高架橋 撤去･復旧図(その1～2)
141～142	袖ケ浦高架橋（上下線）既設落橋防止構造撤去図(その1～2)
143～144	坂戸市場高架橋（上り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
145～146	坂戸市場高架橋（上り線）P56橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
147～148	坂戸市場高架橋（上り線）P57橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
149～150	坂戸市場高架橋（上り線）P60橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
151～152	坂戸市場高架橋（上り線）P61橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
153～154	坂戸市場高架橋（上り線）P62橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
155～156	坂戸市場高架橋（下り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
157～158	坂戸市場高架橋（下り線）P56橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
159～160	坂戸市場高架橋（下り線）P57橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
161～162	坂戸市場高架橋（下り線）P60橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
163～164	坂戸市場高架橋（下り線）P61橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
165～166	坂戸市場高架橋（下り線）P62橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
167～170	坂戸市場高架橋（上り線）P53橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
171～172	坂戸市場高架橋（上下線）P54-P56橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
173～176	坂戸市場高架橋（下り線）P53橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～4)
177	坂戸市場高架橋 撤去･復旧図
178～179	坂戸市場高架橋（上下線）既設落橋防止構造撤去図(その1～2)
180～181	袖ケ浦IC Aランプ橋 P1橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
182～183	袖ケ浦IC Aランプ橋 P1橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
184	袖ヶ浦IC Aランプ橋 撤去･復旧図
185	袖ケ浦IC Aランプ橋 既設落橋防止構造撤去図
186～187	袖ケ浦IC Dランプ橋 P1橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
188～189	袖ケ浦IC Dランプ橋 P1橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～2)
190	袖ヶ浦IC Dランプ橋 撤去･復旧図
191	袖ケ浦IC Dランプ橋 既設落橋防止構造撤去図
192～193	神納橋（上り線）P63橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
194～195	神納橋（上り線）P64橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
196～197	神納橋（下り線）P63橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
198～199	神納橋（下り線）P64橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)

図面番号	図　　面　　名
200	神納橋（上下線）既設落橋防止構造撤去図
201～202	神納高架橋（上下線）P6橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
203～204	神納高架橋（上下線）P7橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
205～206	神納高架橋（上下線）P8橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
207～208	神納高架橋（上下線）P9橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
209～210	神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
211～212	神納高架橋（下り線）P5橋脚 排水装置撤去･設置計画図(その1～2)
213～215	神納高架橋（上り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～3)
216～218	神納高架橋（上り線）P9橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～3)
219～221	神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～3)
222～224	神納高架橋（下り線）P9橋脚 検査路撤去･設置計画図(その1～3)
225	神納高架橋 撤去･復旧図
226～227	神納高架橋（上下線）既設落橋防止構造撤去図(その1～2)
228～233	交通保安要員配置図(その1～6)
234	ﾗﾝﾌﾟ右側路肩 交通規制図
235	ﾗﾝﾌﾟ入口通行止め 交通規制図
236	ﾗﾝﾌﾟ出口通行止め 交通規制図

数量総括表

項目名称	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		排水装置	防護柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	立入防止柵の出入口撤去設置工	構造物等取壊し工	交通保安要員			交通規制工	
		排水管	ガードレール Gr－C－4E	一般形非積雪地用	一般形非積雪地用	コンクリート構造物取壊し（TypeA）	交通誘導警備員			路肩規制Ⅰ×1	ランプ閉鎖A（夜）
		A					A（夜）	B	B（夜）		
	単位	m	m	m	箇所	m^3	人・日	人・日	人・日	回	回
岩根東高架橋	上り線	59.3		10.0	2			148			
	下り線	59.2									
小橿川第二橋	上り線	62.6		30.0	5	1.1		811			
	下り線	63.5									
袖ケ浦高架橋	上り線	102.3	5.0	70.0	14			449			
	下り線	103.2									
坂戸市場高架橋	上り線	77.1					14	278	28	2	2
	下り線	109.8								2	
袖ケ浦IC Aランプ橋	－	7.1	5.0								
袖ケ浦IC Dランプ橋	－	7.0	5.0								
神納橋	上り線	24.6					20	181	40		
	下り線	40.7									
神納高架橋	上り線	20.7					28	102	56		
	下り線	9.8									
合計		746.9	15.0	110.0	21	1.1	62	1969	124	4	2

項目名称	区分	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		交通規制工	設置・撤去工				撤去工	落橋防止装置撤去工	工事用道路工	護岸撤去設置工
		ランプ閉鎖B（夜）	検査路	用排水溝	集水ます	縁石	排水管			
			B	PuL・300・300	Type L	工場製コンクリート縁石	B			
	単位	回	kg	m	箇所	m	kg	t	式	m^2
岩根東高架橋	上り線		677	70.1	13		1488			
	下り線		678				1463			
小橿川第二橋	上り線		5977	83.8	12		1907	3.666	1	227.6
	下り線		5977				1919	3.666		
袖ケ浦高架橋	上り線		5260	86.0	19	15.0	3127	5.613		
	下り線		4925				3107	4.384		
坂戸市場高架橋	上り線	2	3011	57.2	6	3.0	3562	3.282		
	下り線		3195				6769	3.282		
袖ケ浦IC Aランプ橋	－		426	8.5	1		209	0.583		
袖ケ浦IC Dランプ橋	－		426	8.9	1		208	0.583		
神納橋	上り線						1019	0.952		
	下り線						1764	0.952		
神納高架橋	上り線		1664			41.0	221	1.022		
	下り線		1580				202	1.022		
合計		2	33796	314.5	52	59.0	26965	29.007	1	227.6

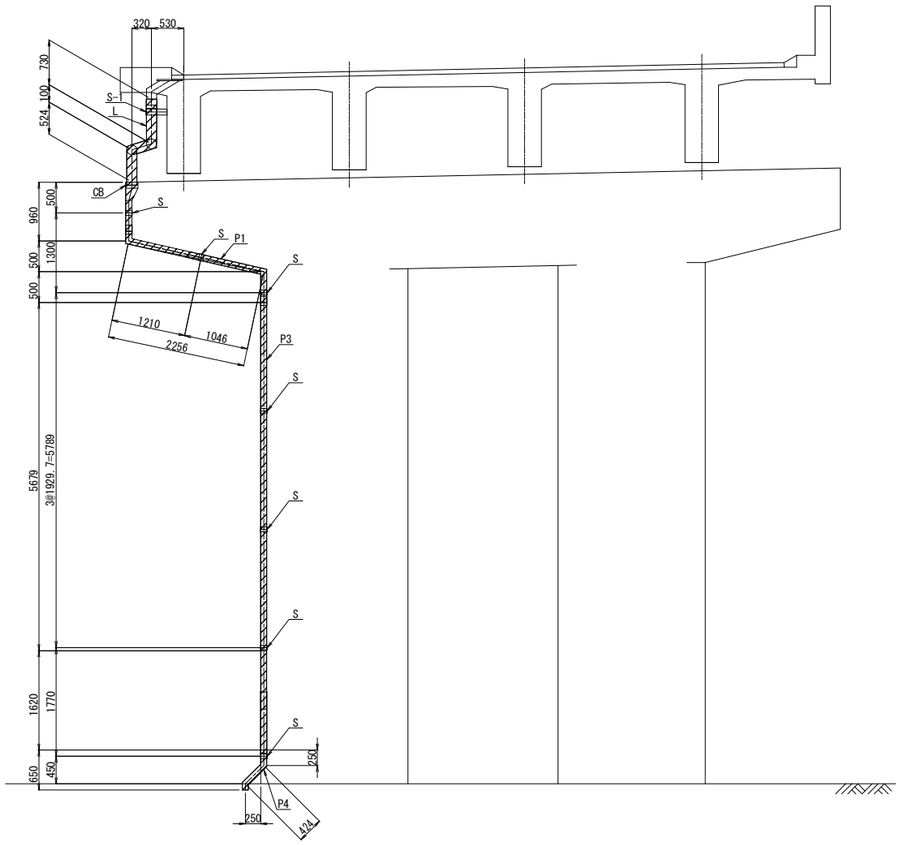
上下線は上り線で計上

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	数量総括表
縮　尺	－ 図面番号 1 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

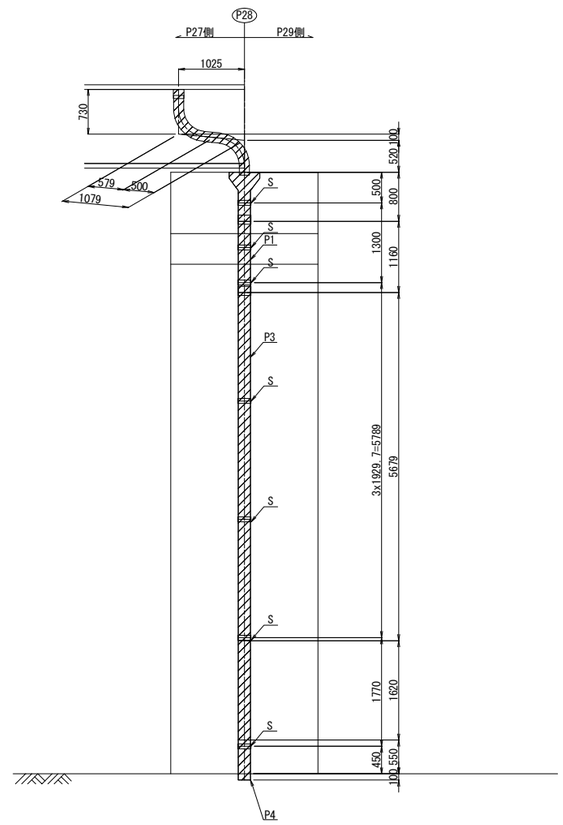
岩根東高架橋（上り線）P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

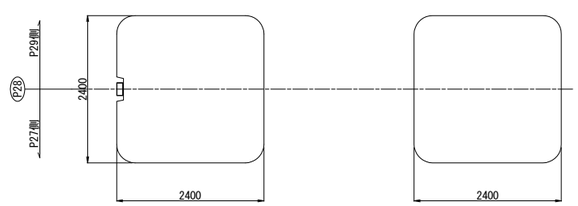
正 面 図



側 面 図



平面図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	L	個	1
受　　桝	CB	個	1
角形鋼管	P1	個	1
	P3	個	1
	P4	個	1
取付金具	S	個	6
	S-1	個	1
	B-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	14.126
撤去重量		kg	346

凡例

▨ ：撤去

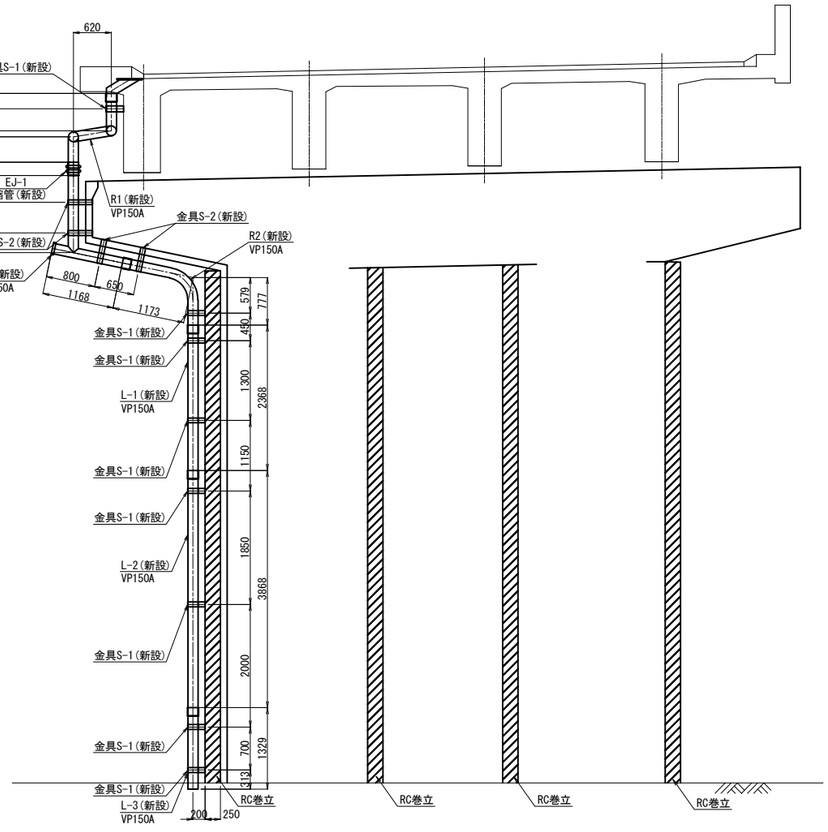
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上り線） P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	2 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

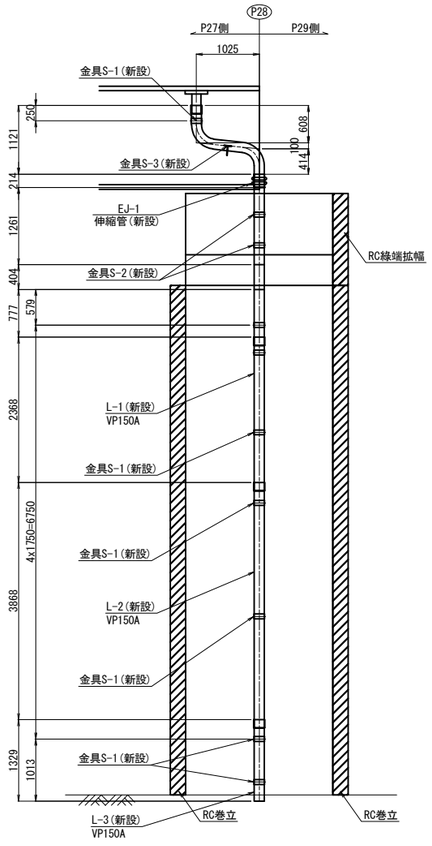
岩根東高架橋（上り線）P28橋脚　排水装置撤去・計画計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

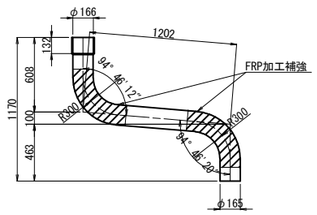
正 面 図



側 面 図

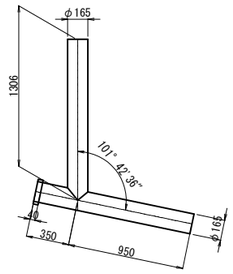


新設加工管 R1 S=1/50



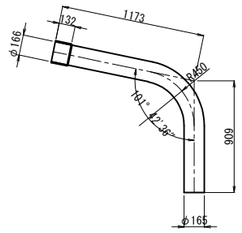
1-VP 150Ax2273

新設チーズ管 T-1 S=1/50



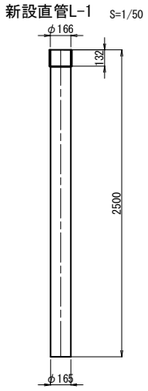
1-VP 150Ax2611

新設加工管 R2 S=1/50



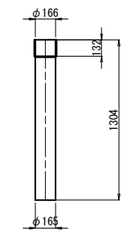
1-VP 150Ax2082

新設直管L-1 S=1/50



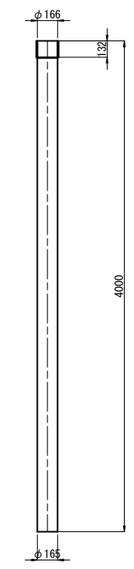
1-VP 150Ax2500

新設直管L-3 S=1/50



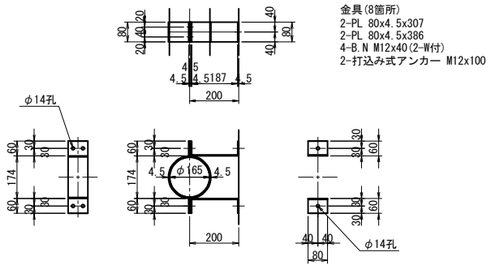
1-VP 150Ax1304

新設直管L-2 S=1/50



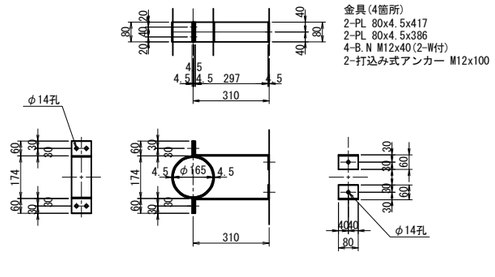
1-VP 150Ax4000

新設金具 S-1 S=1/25



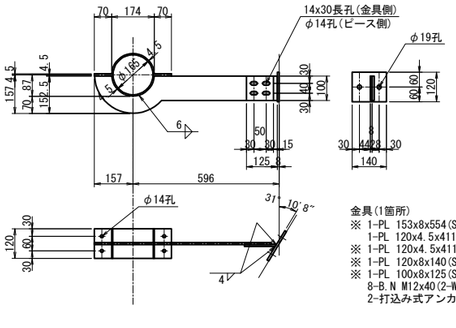
金具(8箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設金具 S-2 S=1/25



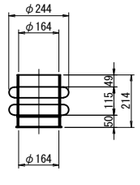
金具(4箇所)
2-PL 80x4.5x417
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設金具 S-3 S=1/25

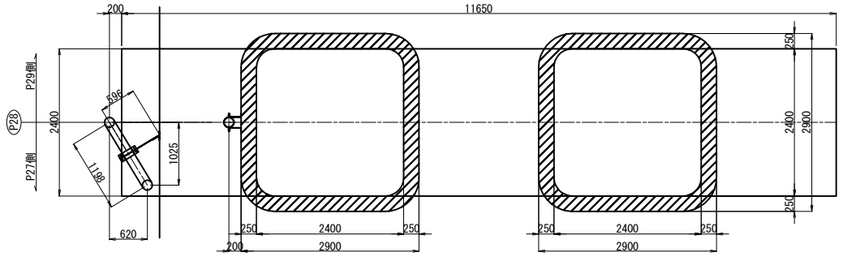


金具(1箇所)
※ 1-PL 153x8x554(SM400A)
1-PL 120x4.5x411
※ 1-PL 120x4.5x411(SM400A)
※ 1-PL 120x8x140(SM400A)
※ 1-PL 100x8x125(SM400A)
8-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平面図



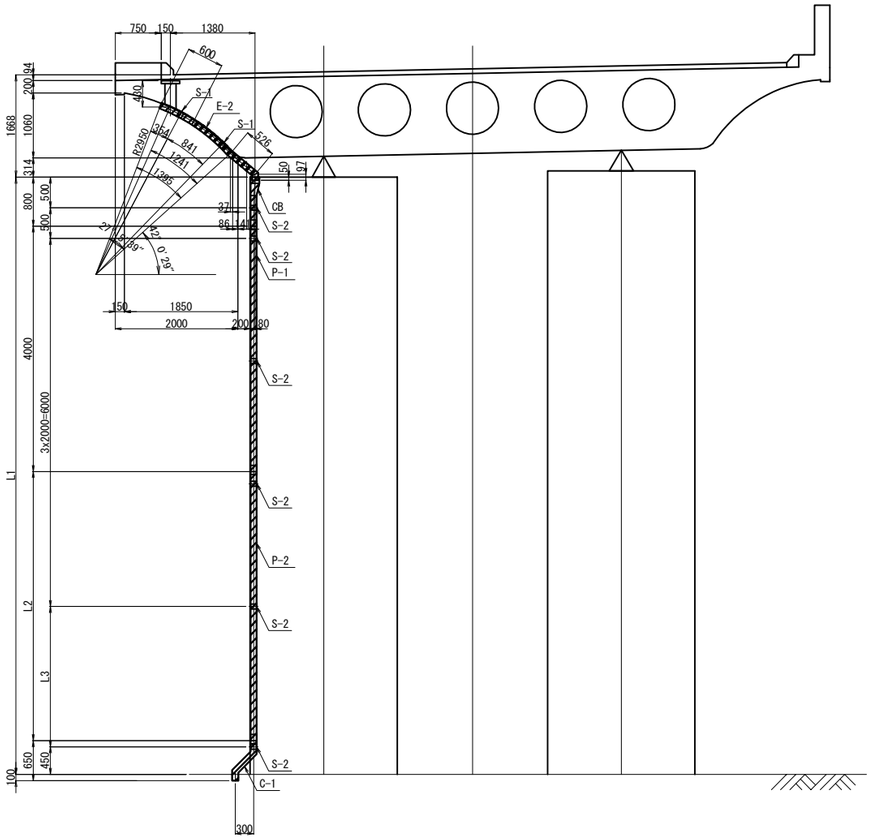
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上り線） P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	3 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

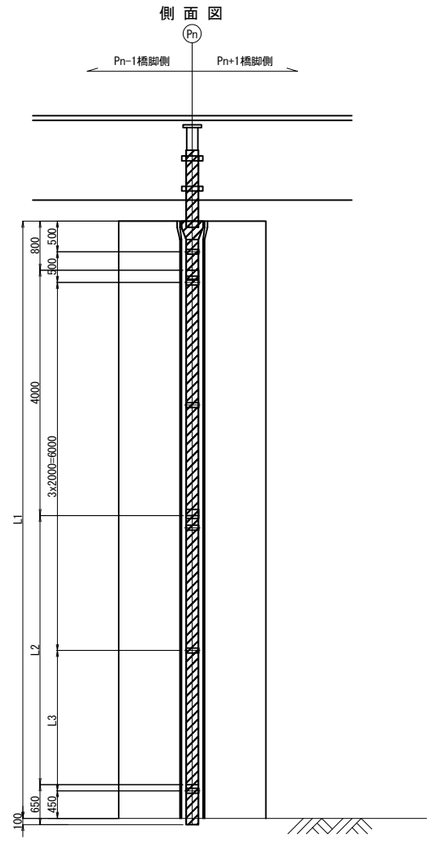
岩根東高架橋（上り線）P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

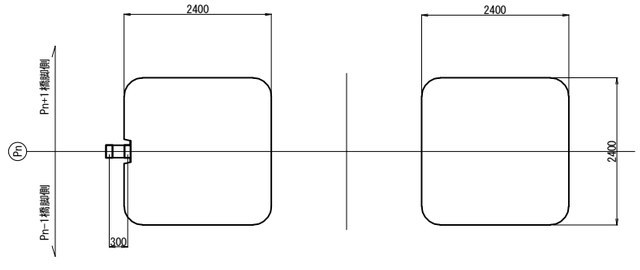
正 面 図



側 面 図



平面図



寸法表

	P29	P30	P31	P32
L1	9738	9653	9623	9649
L2	4388	4303	4273	4299
L3	2288	2203	2173	2199

撤去数量表

品名	記号	単位	P29	P30	P31	P32
曲管	E-2	個	1	1	1	1
受桝	CB	個	1	1	1	1
直管	P-1	個	1	1	1	1
	P-2	個	1	1	1	1
クランク	C-1	個	1	1	1	1
取付金具	S-1	個	2	2	2	2
	S-2	個	6	6	6	6
流水延長(鋼管)		m	11.931	11.846	11.816	11.842
撤去重量		kg	287	285	285	285

凡例

：撤去

注記

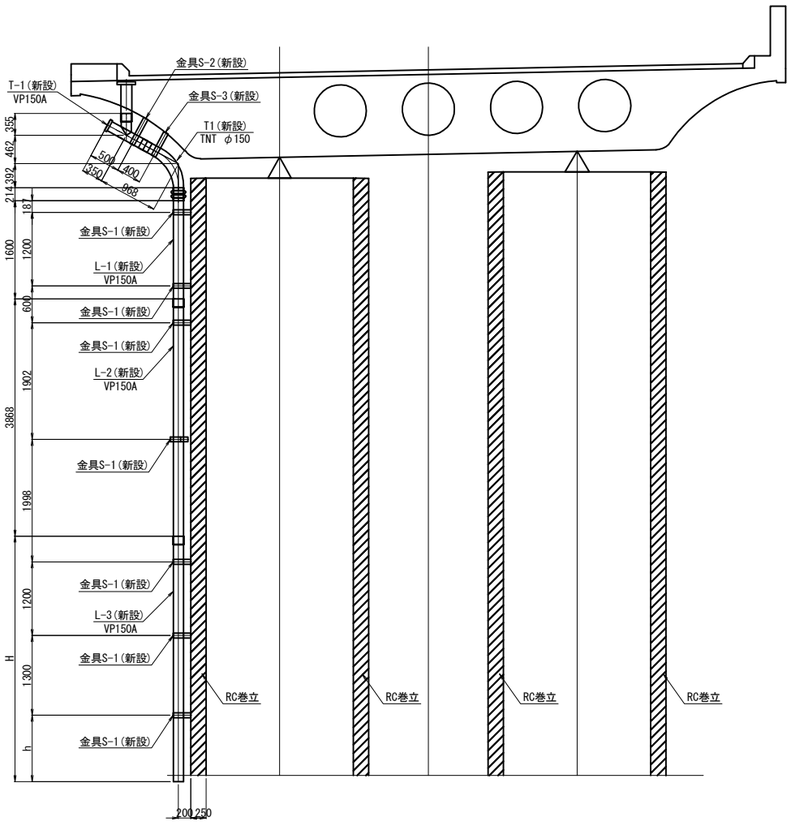
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上り線） P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮尺	1:100	図面番号	4 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

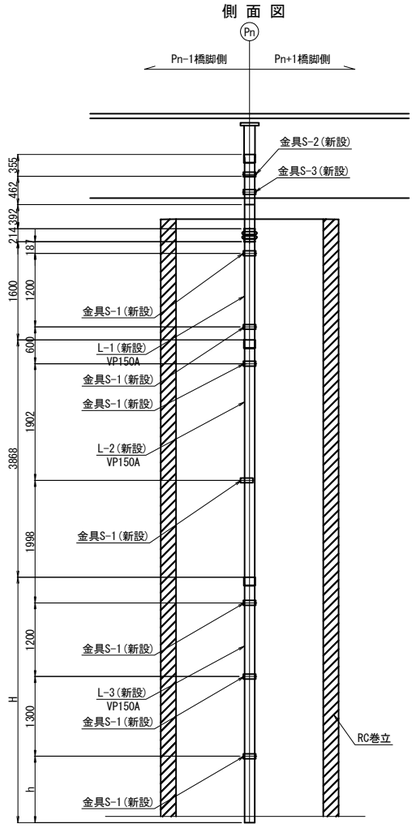
岩根東高架橋（上り線）P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その2)　S=1/100

設置工　排水管A

正 面 図



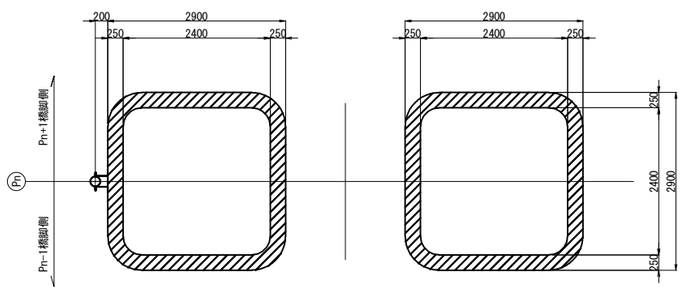
側 面 図



寸法表

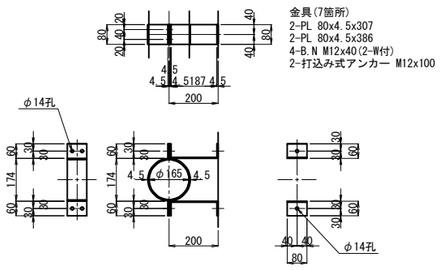
Pn	P29	P30	P31	P32
H	4000	3915	3885	3911
h	1080	995	965	991

平面図



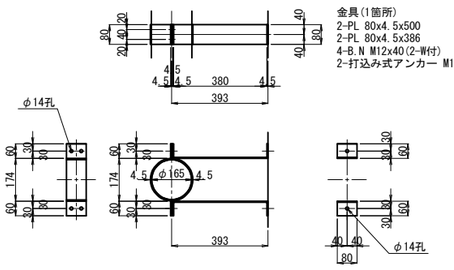
新設金具 S-1　S=1/25

（各1箇所）

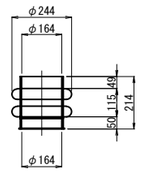


新設金具 S-2　S=1/25

（各1箇所）

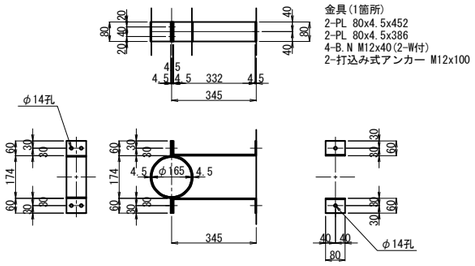


新設伸縮管 EJ-1　S=1/25

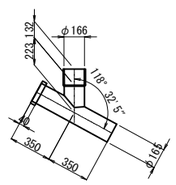


新設金具 S-3　S=1/25

（各1箇所）

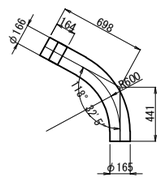


新設チーズ管 T-1　S=1/50



1-VP 150Ax1055

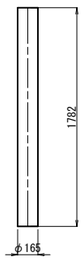
新設フレキシブル管 T1　S=1/50



1-TNT φ150x1139

新設直管L-1　S=1/50

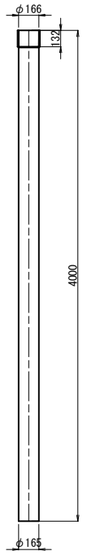
（各1箇所）



1-VP 150Ax1782

新設直管L-2　S=1/50

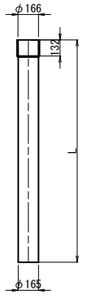
（各1箇所）



1-VP 150Ax4000

新設直管L-3　S=1/50

（各1箇所）



1-VP 150Ax L

L-n 寸法表

	P29	P30	P31	P32
L	4000	3915	3885	3911

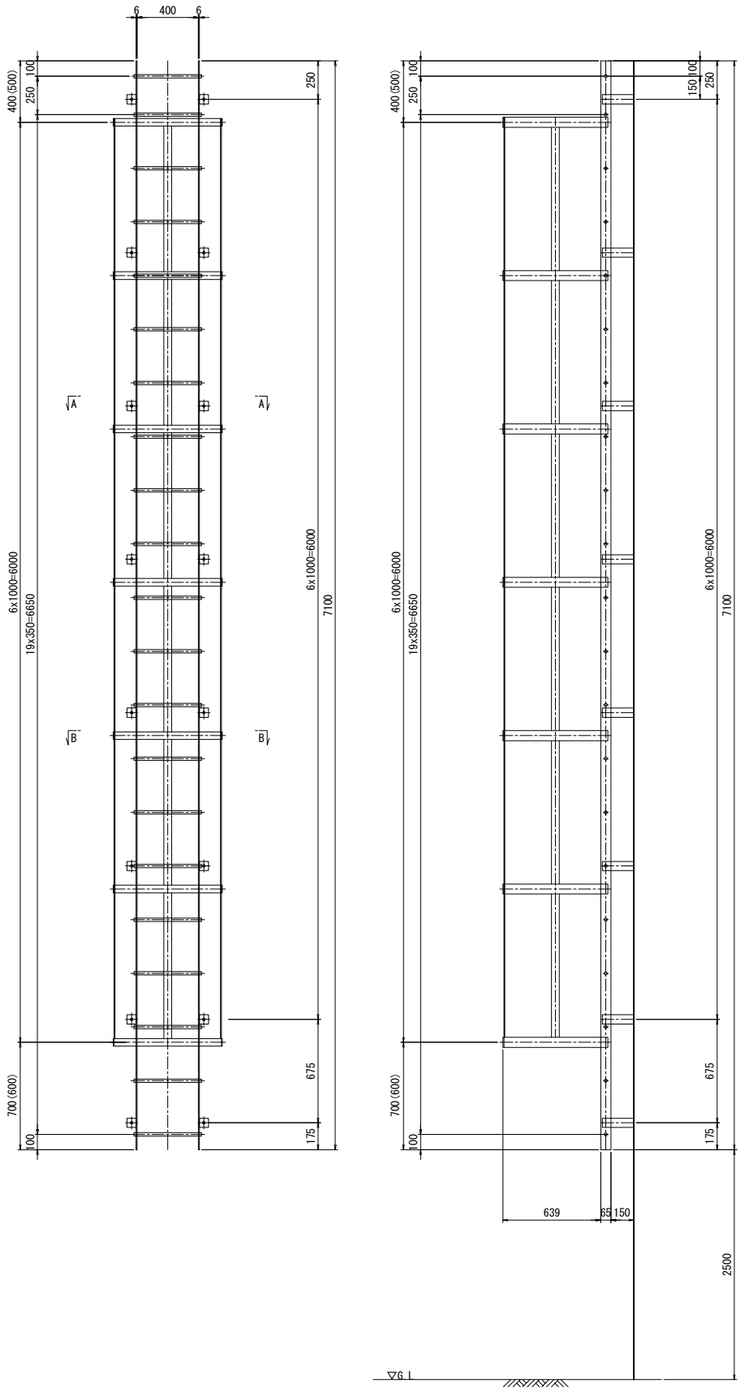
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上り線） P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	5 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

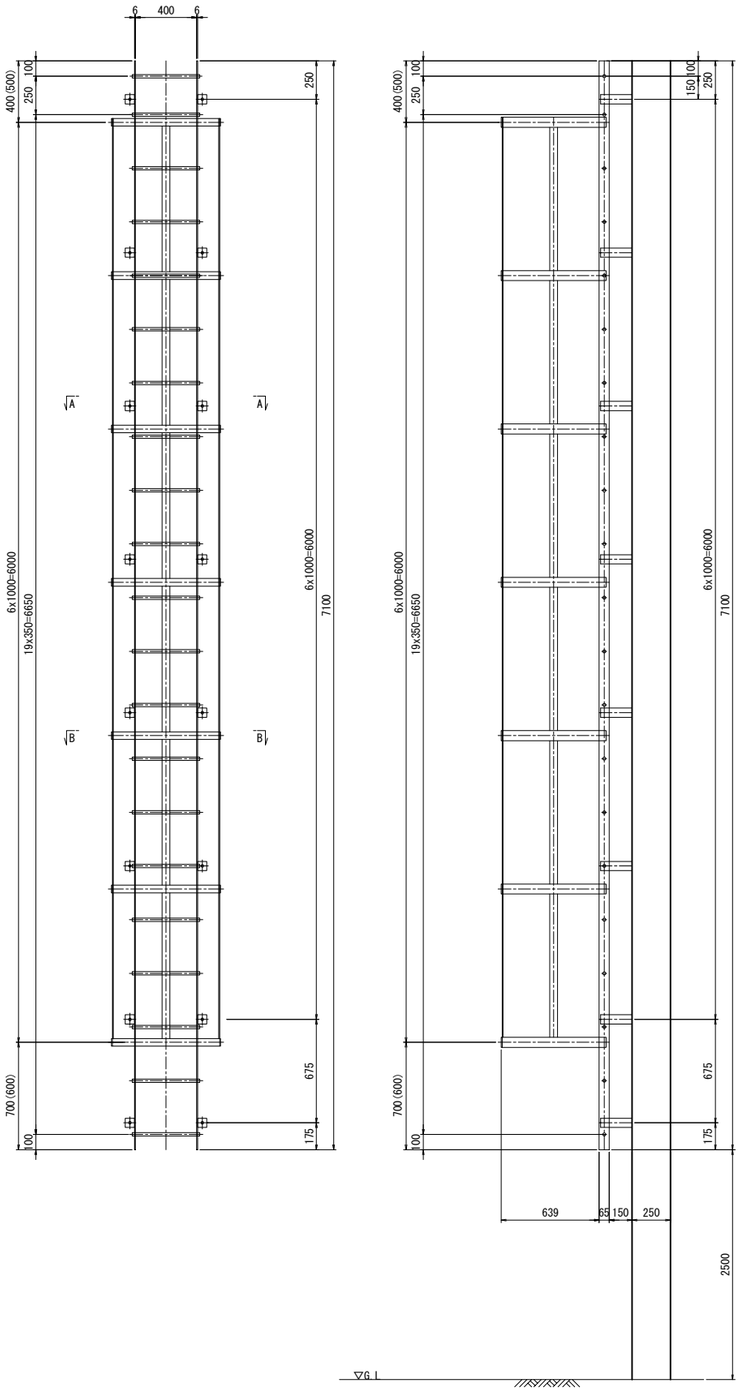
岩根東高架橋（上下線）P28橋脚 検査路撤去・設置計画図 S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

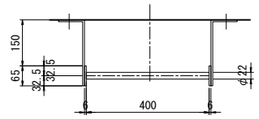
昇降設備　撤去



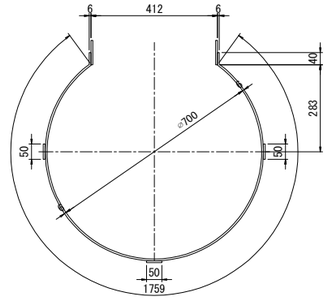
昇降設備　設置



A － A S=1/20



B － B S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － FB 65 x 6 x 7400(7500)
7 － FB 50 x 6 x 1839
3 － FB 50 x 6 x 6050
14 － PL 60 x 6 x 270
21 － RB φ22 x 440(SR235)

設置工　検査路B

新規材料

14 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

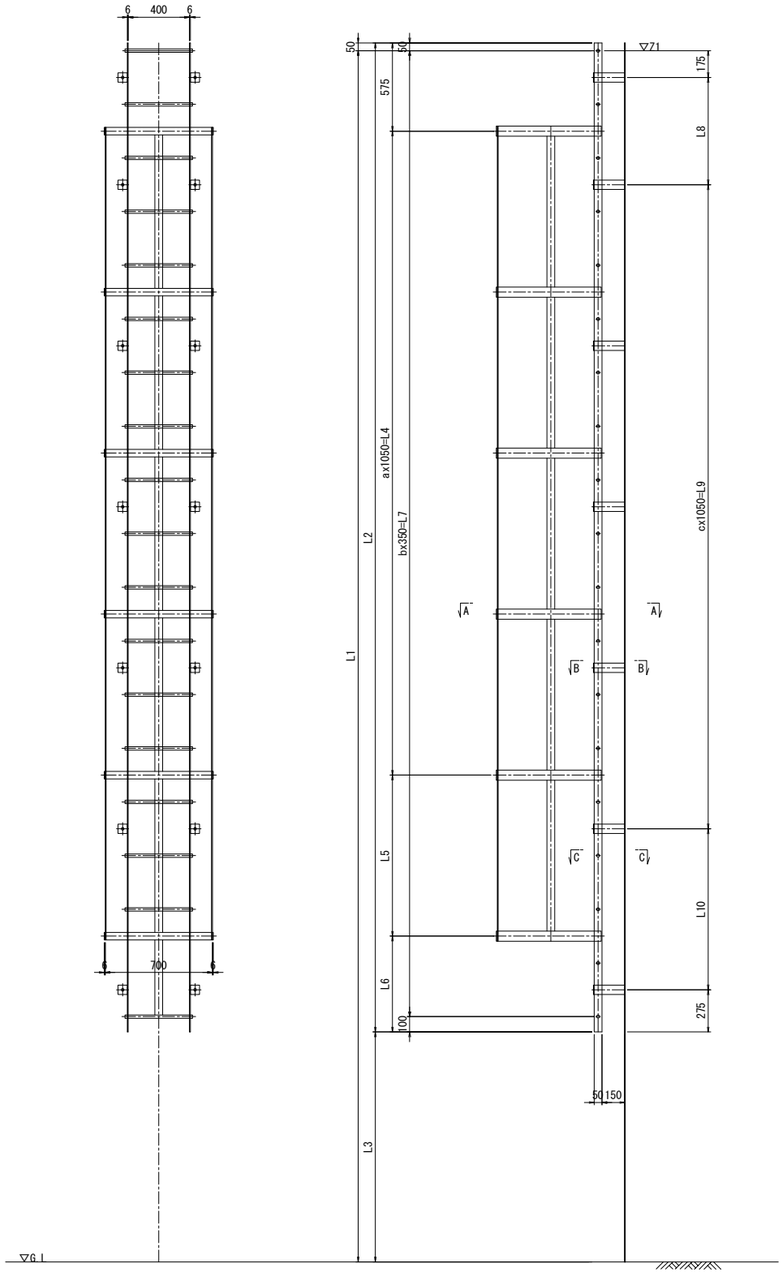
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. （）内数値はP28橋脚の下り線側を示す。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上下線） P28橋脚　検査路撤去・設置計画図		
縮　尺	図示	図面番号	6 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

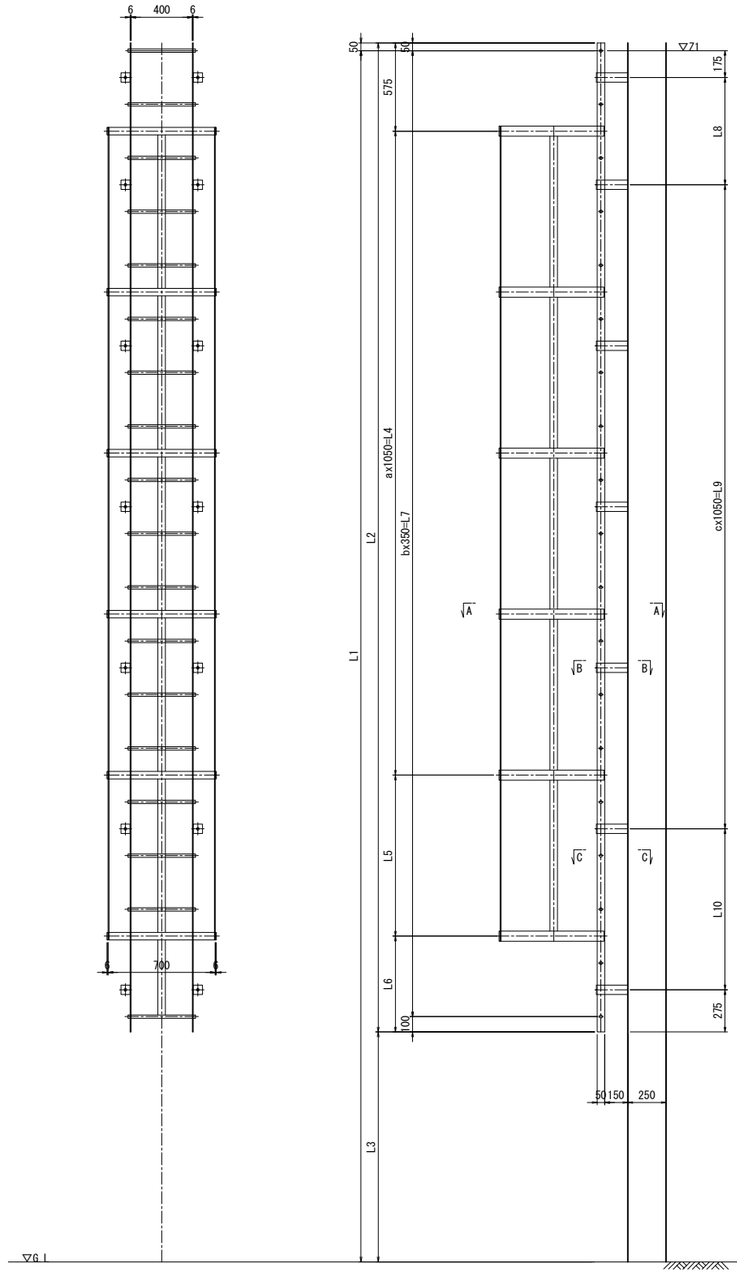
岩根東高架橋（上下線）P29-P32橋脚 検査路撤去・設置計画図 S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

昇降設備　撤去

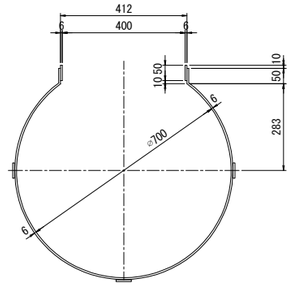


昇降設備　設置

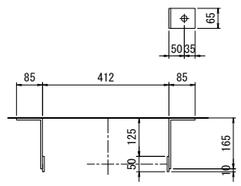


	下り線					上り線			
	P29	P30	P31	P32		P29	P30	P31	P32
Z1	12,313	12,228	12,198	12,224	Z1	12,438	12,353	12,323	12,349
l1	6450	6450	6450	6450	l1	6450	6450	6450	6450
l2	5280	5280	5280	5280	l2	5250	5280	5280	5280
N1	19	19	19	19	N1	19	19	19	19
N2	6	6	6	6	N2	6	6	6	6
N3	14	14	14	14	N3	14	14	14	14
a	5	5	5	5	a	5	5	5	5
b	19	19	19	19	b	19	19	19	19
c	4	4	4	4	c	4	4	4	4
L1	9119	9066	9019	8931	L1	9225	9201	9116	9040
L2	6450	6450	6450	6450	L2	6450	6450	6450	6450
L3	2669	2616	2569	2481	L3	2775	2751	2666	2590
L4	5250	5250	5250	5250	L4	5250	5250	5250	5250
L5	0	0	0	0	L5	0	0	0	0
L6	625	625	625	625	L6	625	625	625	625
L7	6300	6300	6300	6300	L7	6300	6300	6300	6300
L8	700	700	700	700	L8	1050	700	700	700
L9	4200	4200	4200	4200	L9	4200	4200	4200	4200
L10	1050	1050	1050	1050	L10	700	1050	1050	1050
GL	3194	3162	3179	3293	GL	3213	3152	3207	3309

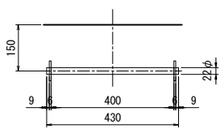
A － A　S=1/20



B － B　S=1/20



C － C　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － FB 50 x 6 x l1
N1 － RB φ22 x 430
N2 － FB 50 x 6 x 1874
3 － FB 50 x 6 x l2
N3 － FB 65 x 6 x 250

設置工　検査路B

新規材料

N3 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

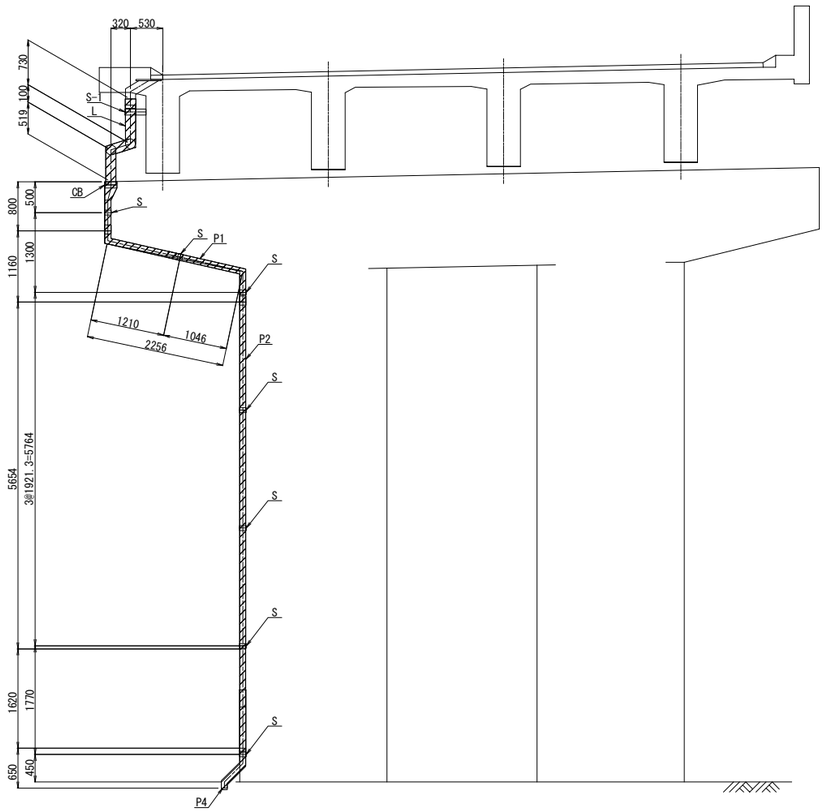
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（上下線） P29-P32橋脚　検査路撤去・設置計画図		
縮　尺	図示	図面番号	7 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

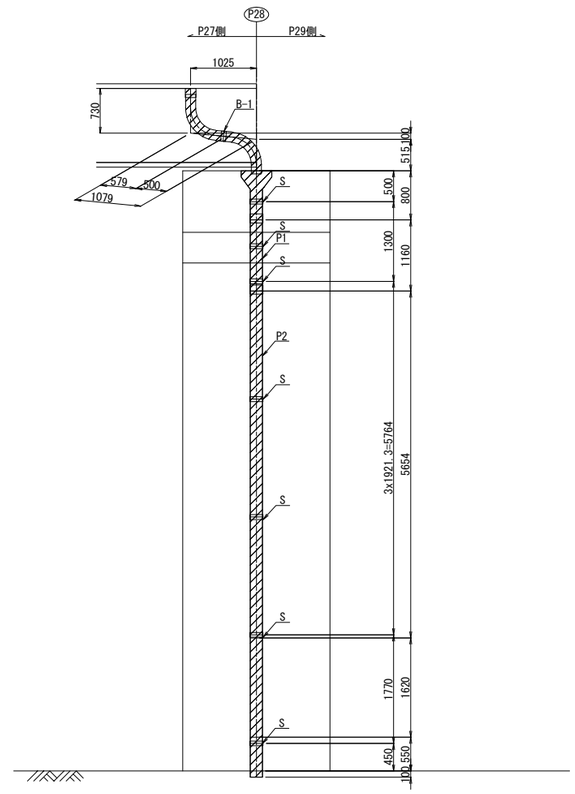
岩根東高架橋（下り線）P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

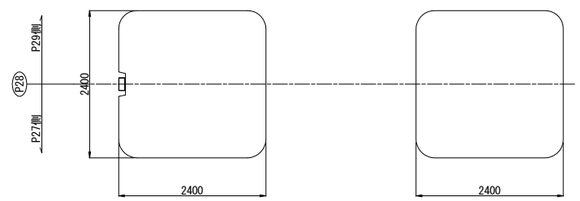
正 面 図



側 面 図



平面図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	L	個	1
受　桝	CB	個	1
角形鋼管	P1	個	1
	P2	個	1
	P4	個	1
取付金具	S	個	6
	S-1	個	1
	B-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	14.096
撤去重量		kg	346

凡例

：撤去

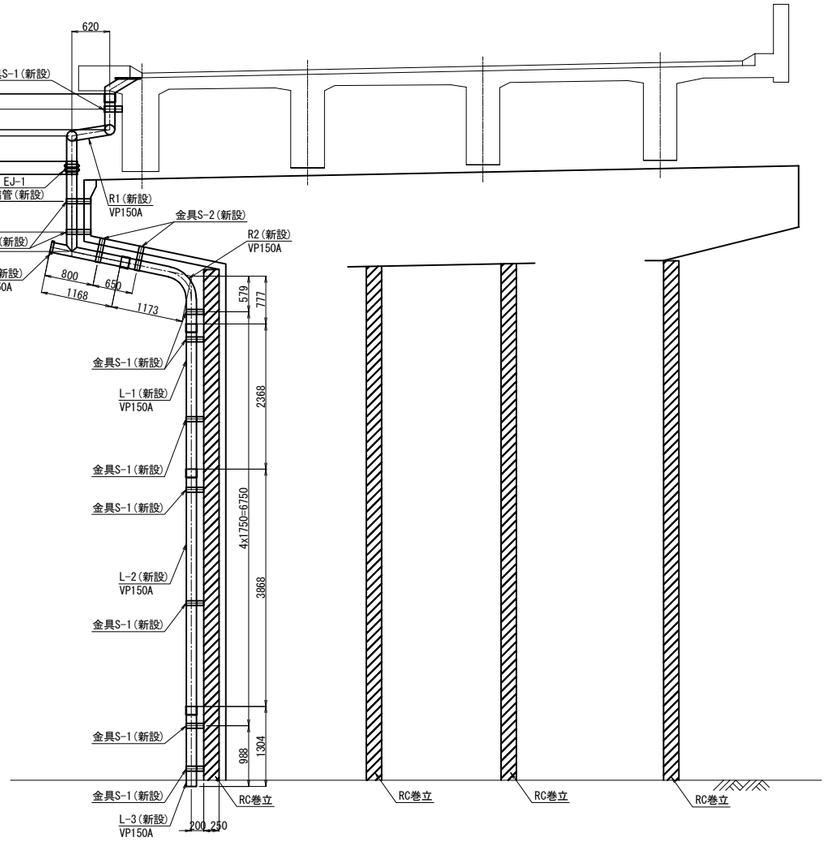
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（下り線） P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	8 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

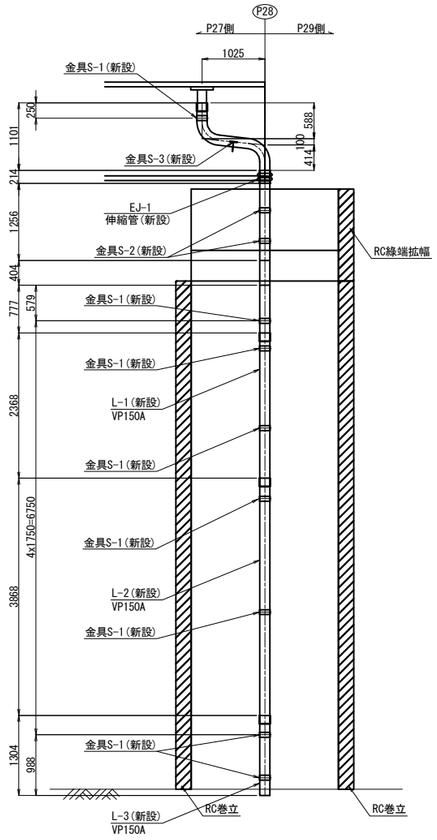
岩根東高架橋（下り線）P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

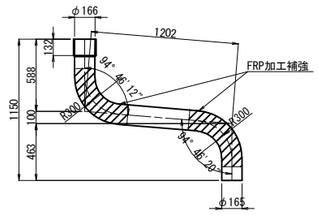
正 面 図



側 面 図

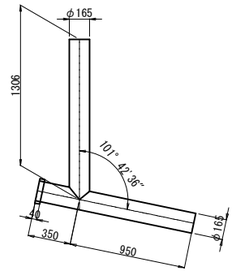


新設加工管 R1　S=1/50



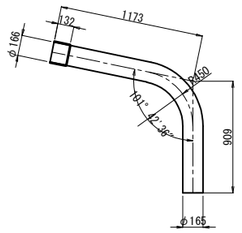
1-VP 150Ax2253

新設チーズ管 T-1　S=1/50



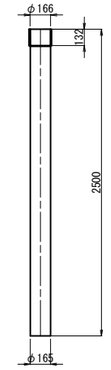
1-VP 150Ax2606

新設加工管 R2　S=1/50



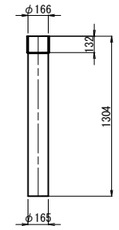
1-VP 150Ax2082

新設直管L-1　S=1/50



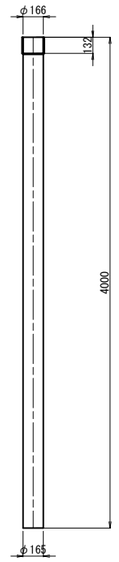
1-VP 150Ax2500

新設直管L-3　S=1/50



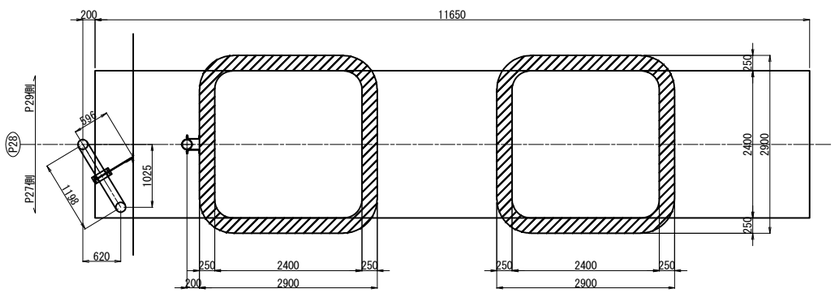
1-VP 150Ax1304

新設直管L-2　S=1/50

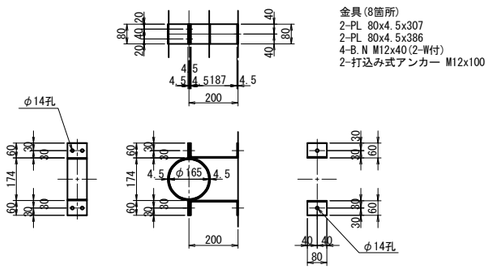


1-VP 150Ax4000

平面図

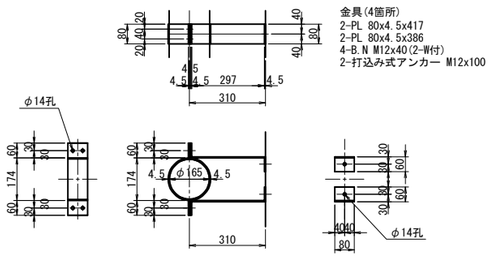


新設金具 S-1　S=1/25



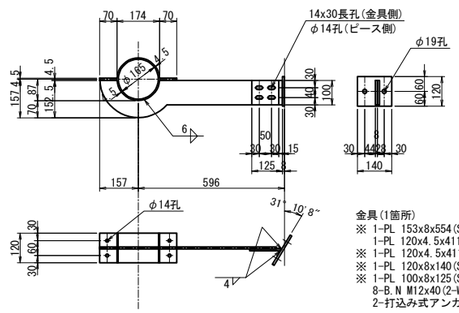
金具(8箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設金具 S-2　S=1/25



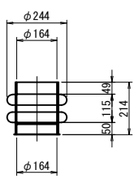
金具(4箇所)
2-PL 80x4.5x417
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設金具 S-3　S=1/25



金具(1箇所)
※ 1-PL 153x8x554(SM400A)
1-PL 120x4.5x411
※ 1-PL 120x4.5x411(SM400A)
※ 1-PL 120x8x140(SM400A)
※ 1-PL 100x8x125(SM400A)
8-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1　S=1/25



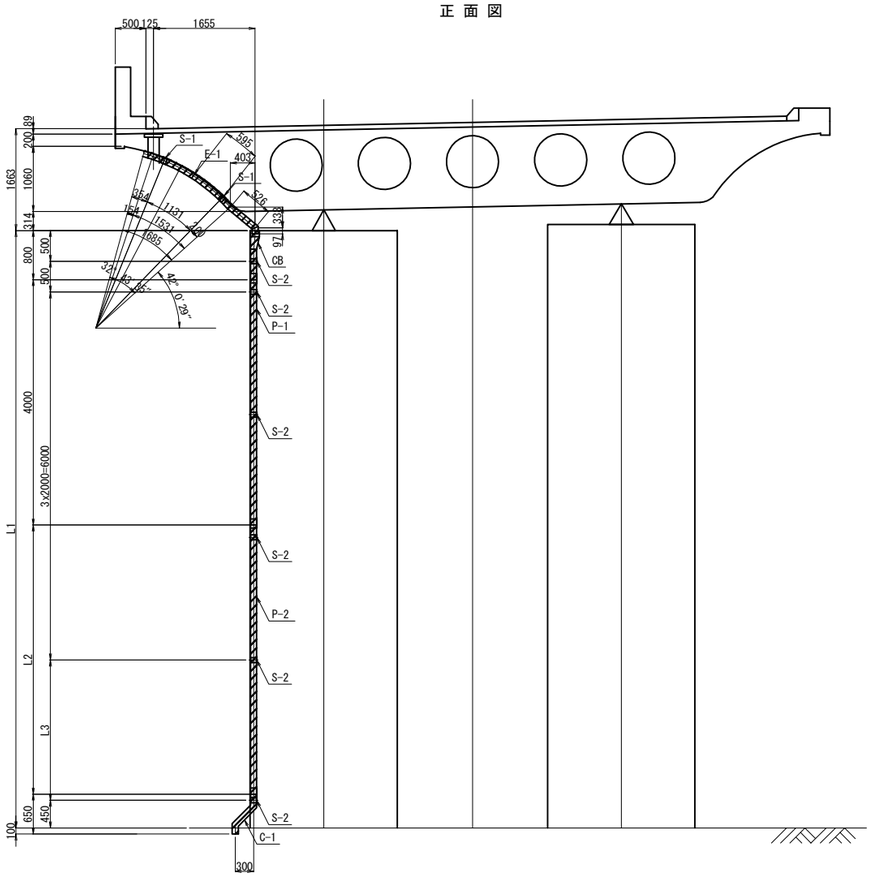
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（下り線） P28橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	9 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

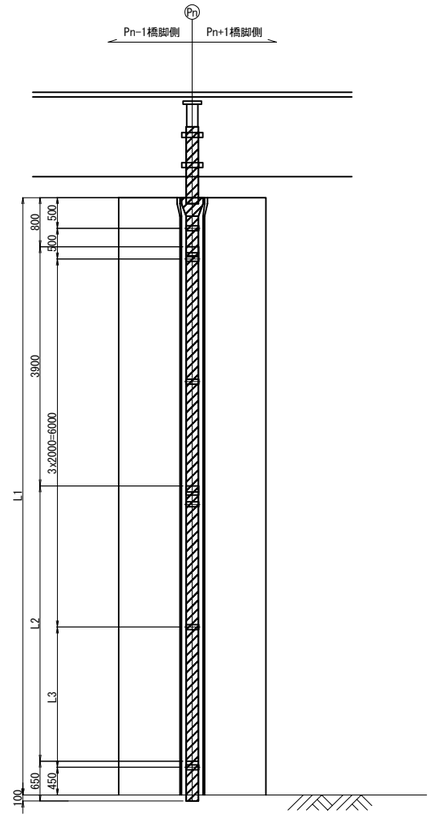
岩根東高架橋（下り線）P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

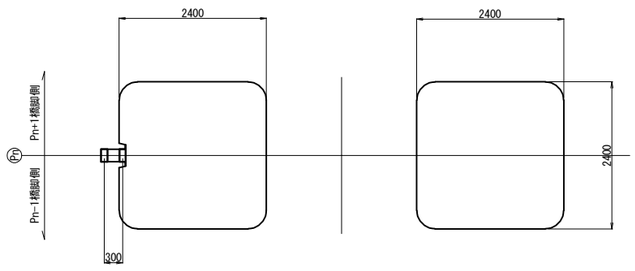
正 面 図



側 面 図



平面図



寸法表

Pn	P29	P30	P31	P32
L1	9713	9628	9598	9624
L2	4363	4278	4248	4274
L3	2263	2178	2148	2174

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	P29	P30	P31	P32
加 工 管	E-1	個	1	1	1	1
受　桝	CB	個	1	1	1	1
直　管	P-1	個	1	1	1	1
	P-2	個	1	1	1	1
加 工 管	C-1	個	1	1	1	1
取付金具	S-1	個	2	2	2	2
	S-2	個	6	6	6	6
流水延長(鋼管)		m	12.196	12.111	12.081	12.107
撤去重量		kg	281	279	278	279

凡例

：撤去

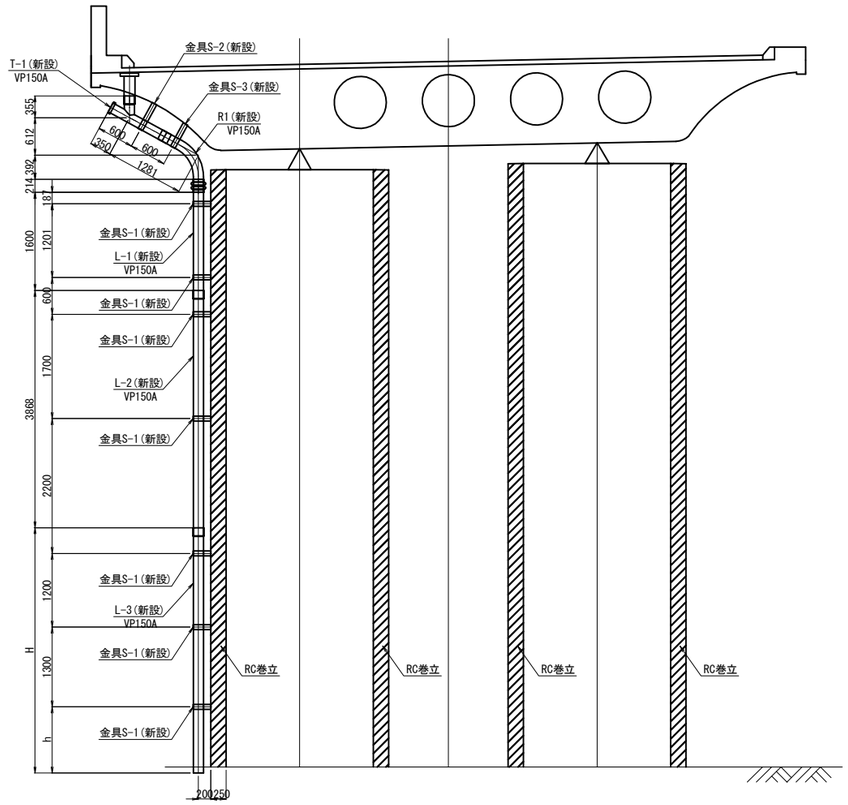
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋（下り線） P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図（その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	10 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

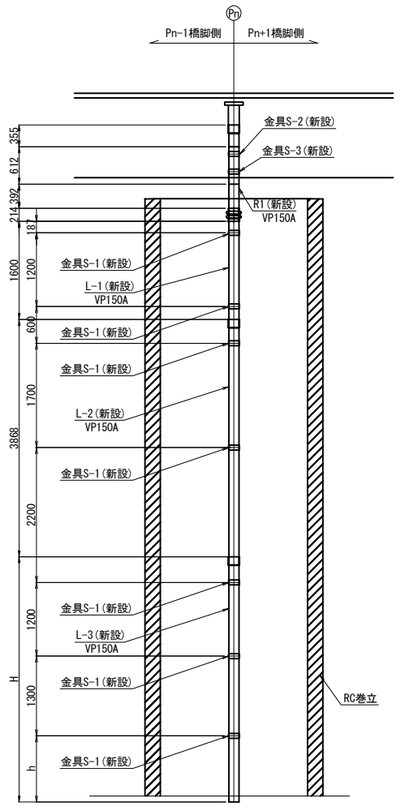
岩根東高架橋（下り線）P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図(その2)　S=1/100

設置工　排水管A

正面図

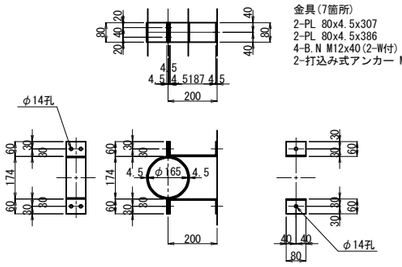


側面図



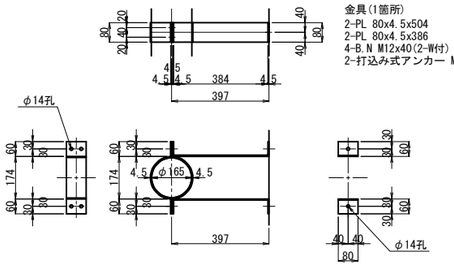
新設金具 S-1　S=1/25

（各1箇所）

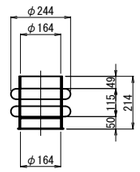


新設金具 S-2　S=1/25

（各1箇所）

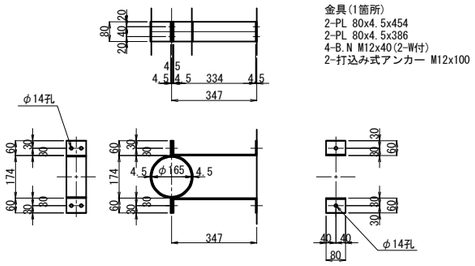


新設伸縮管 EJ-1　S=1/25



新設金具 S-3　S=1/25

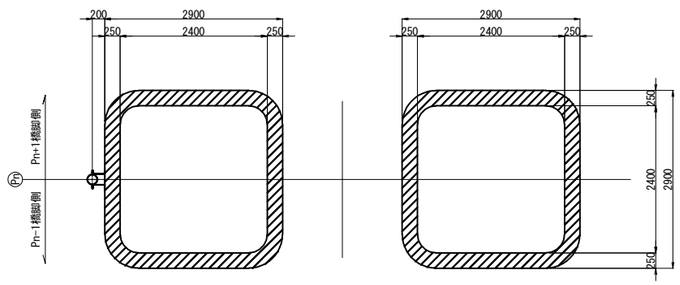
（各1箇所）



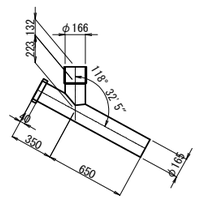
寸法表

Pn	P29	P30	P31	P32
H	3975	3890	3860	3886
h	1055	970	940	966

平面図

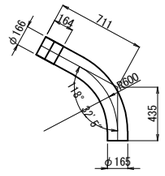


新設チーズ管 T-1　S=1/50



1-VP 150Ax1355

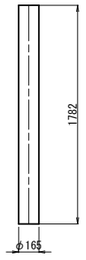
新設フレキシブル管 T1　S=1/50



1-TNT φ150x1146

新設直管L-1　S=1/50

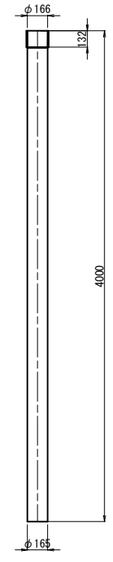
（各1箇所）



1-VP 150Ax1782

新設直管L-2　S=1/50

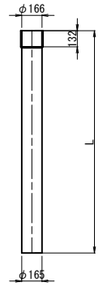
（各1箇所）



1-VP 150Ax4000

新設直管L-3　S=1/50

（各1箇所）



1-VP 150Ax L

L-n 寸法表

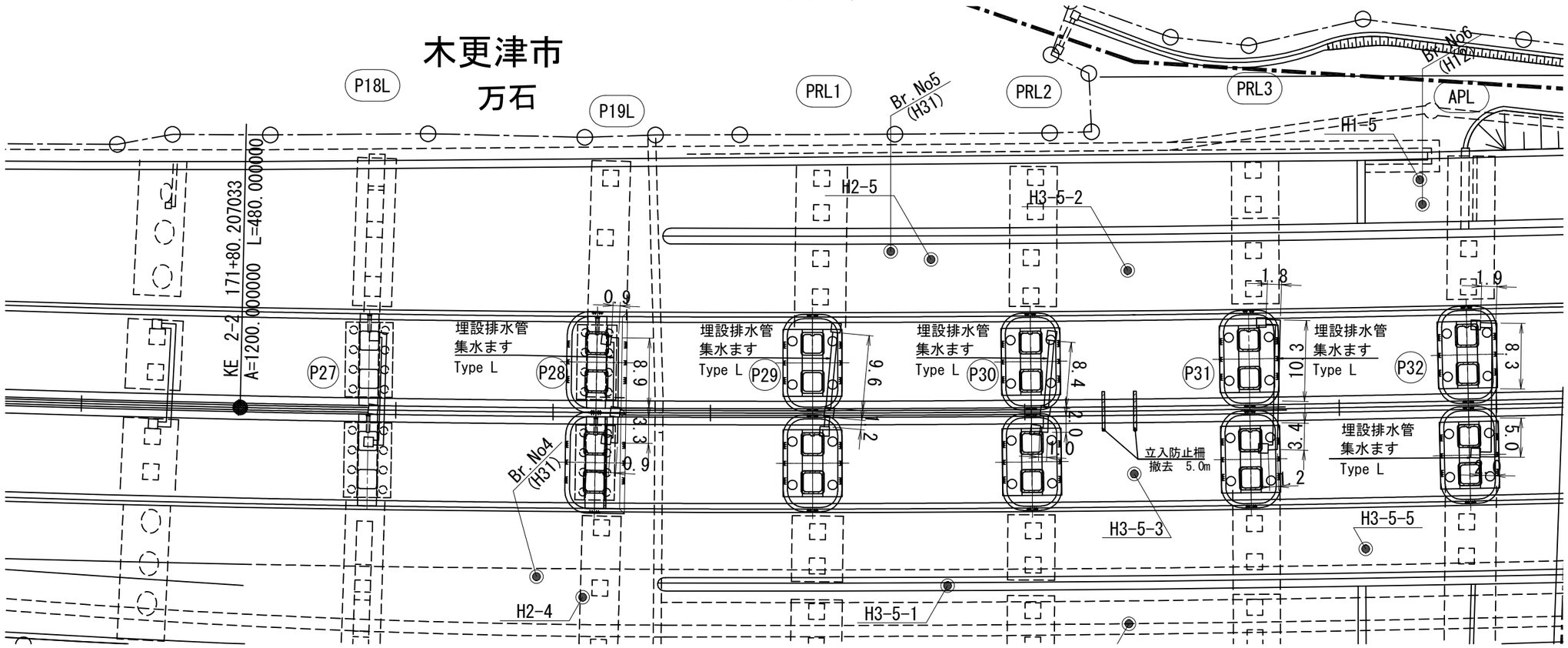
	P29	P30	P31	P32
L	3975	3890	3860	3886

注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

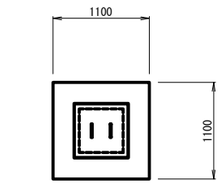
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	岩根東高架橋（下り線） P29-P32橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	11 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

岩根東高架橋 撤去・復旧図

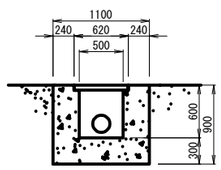
平面図 S=1/600



集水ます Type L S=1/70



平面図



断面図

数量表

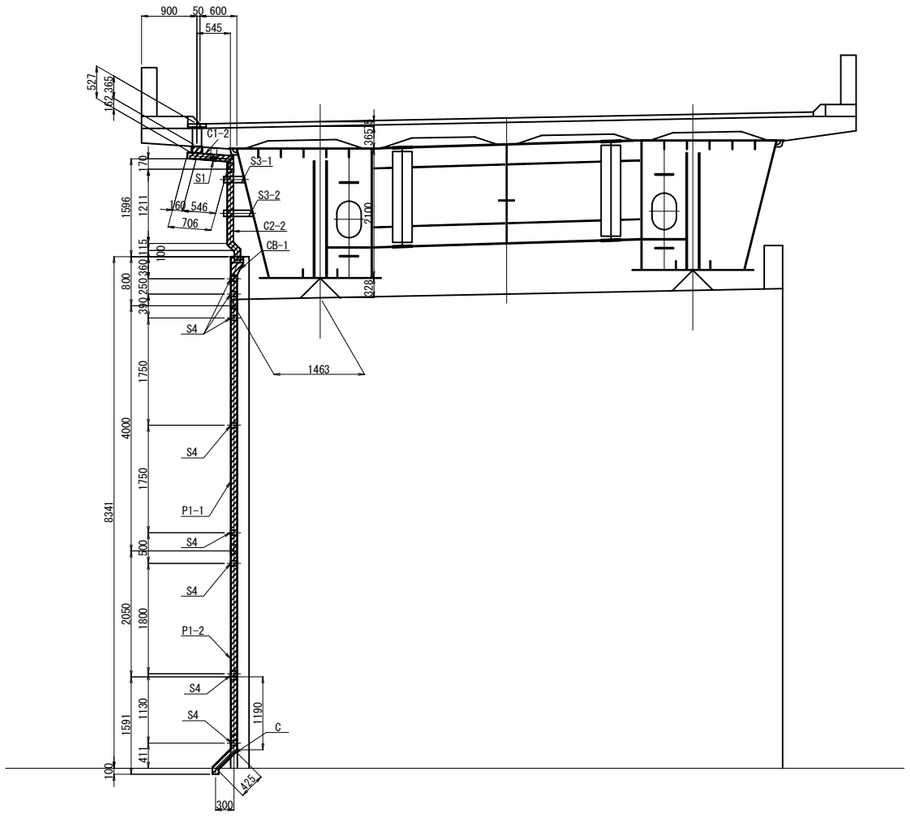
単価項目		単位	数量	数量
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m	10.0	P30 5.0、P31 5.0
	一般型非積雪地用	箇所	2.0	P30 1.0、 P31 1.0
用・排水溝撤去設置工	集水ます Type L	箇所	13.0	P28 3.0、 P29 3.0、 P30 3.0、 P31 2.0、 P32 2.0
	用排水溝 PuL·0.3·0.3	m	70.1	P28 14.0、P29 10.8、P30 11.4、P31 16.7、P32 17.2

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	岩根東高架橋 撤去・復旧図		
縮尺	図示	図面番号	12 ／ 236
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

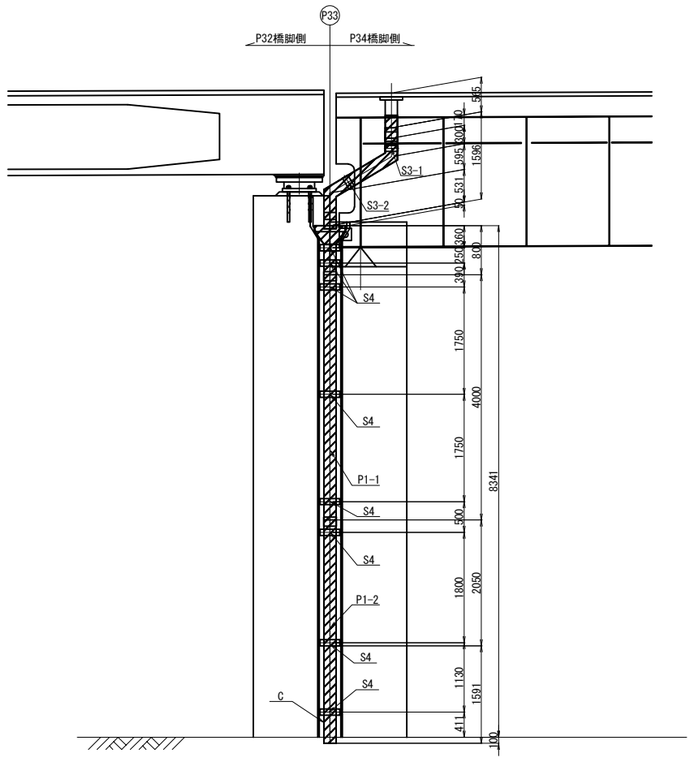
小櫃川第二橋（上り線）P33橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

正 面 図



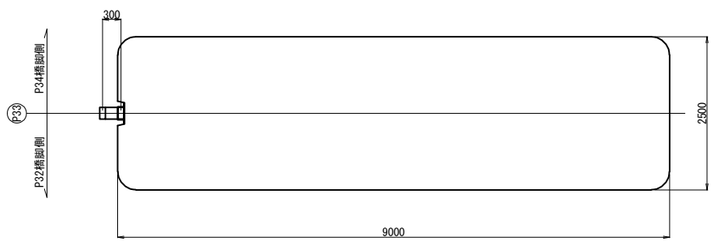
側 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-2	個	1
	C2-2	個	1
受　桝	CB-1	個	1
直　管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S3-1	個	1
	S3-2	個	1
	S4	個	8
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.486
撤去重量		kg	324

平 面 図



凡例

▨ ：撤去

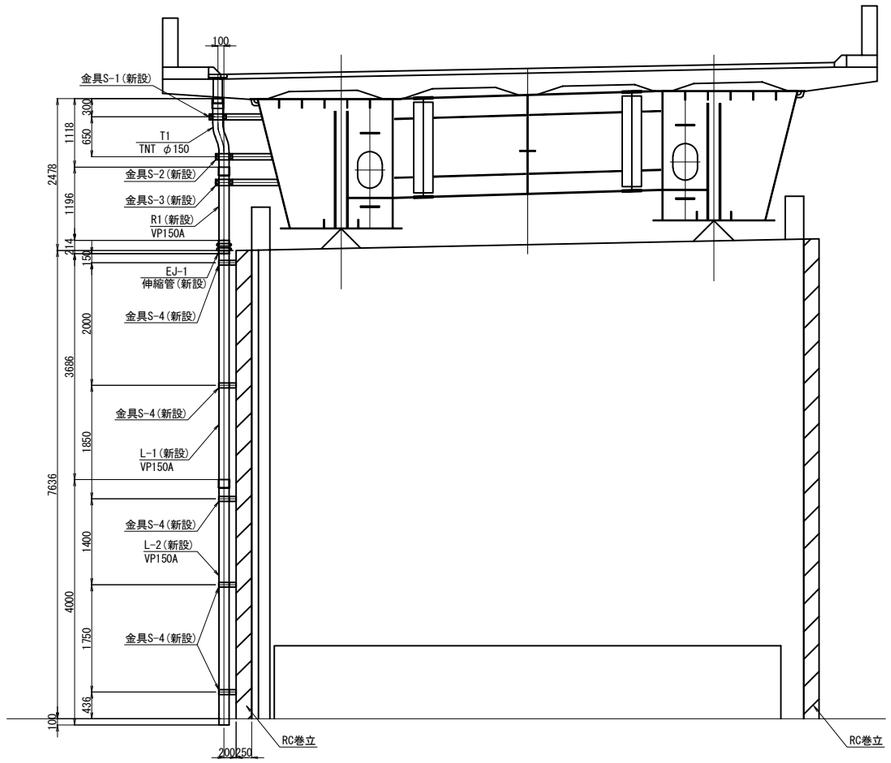
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P33橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	13 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

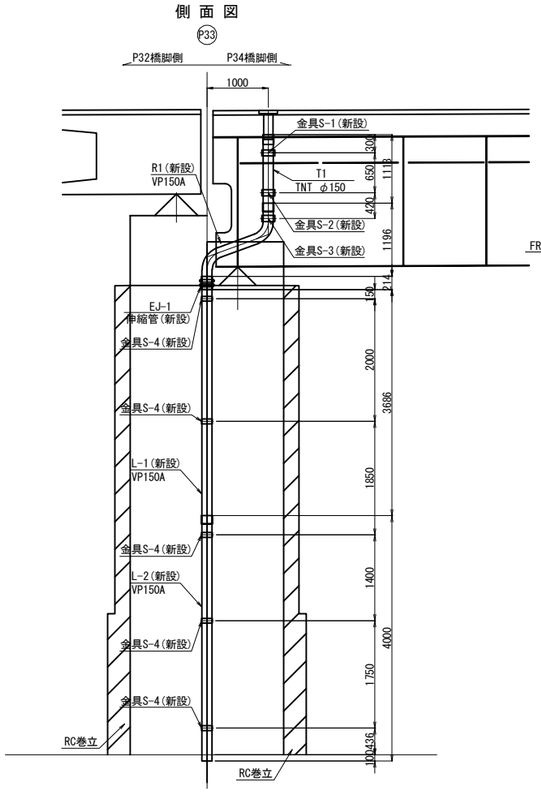
小櫃川第二橋（上り線）P33橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

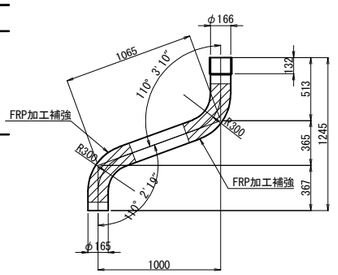
正 面 図



側 面 図

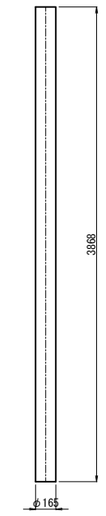


新設加工管 R1 S=1/50



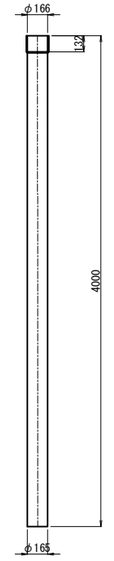
1-VP 150Ax1945

新設直管L-1 S=1/50



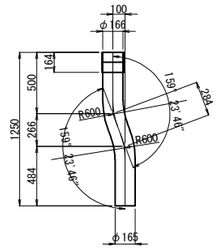
1-VP 150Ax3868

新設直管L-2 S=1/50



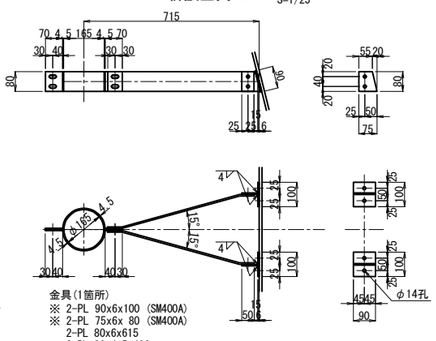
1-VP 150Ax4000

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



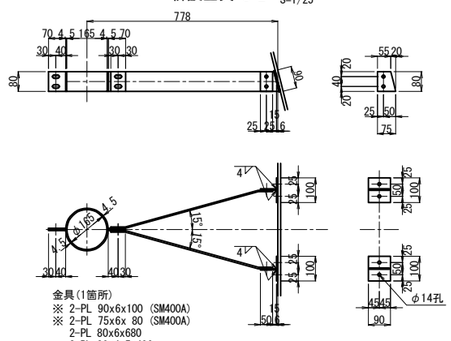
1-TNT φ150x1268

新設金具 S-1 S=1/25



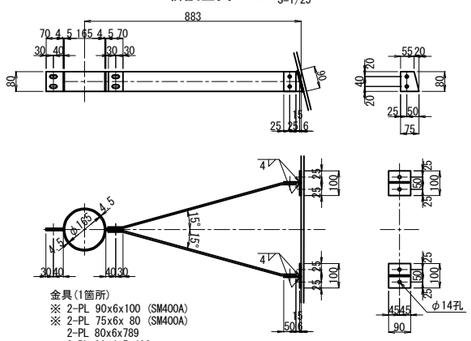
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x615
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



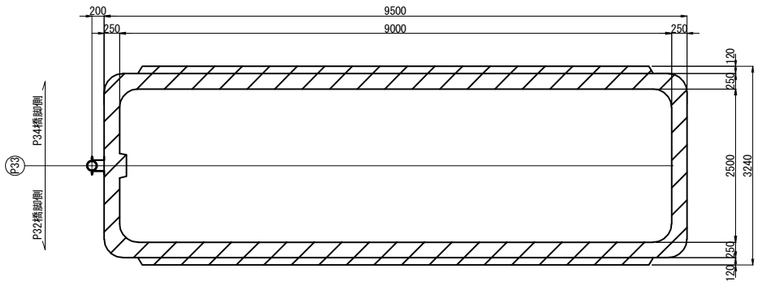
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x680
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25

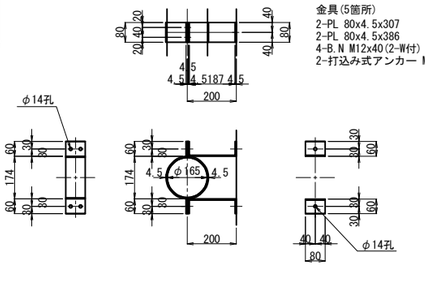


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x789
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
2-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

平 面 図

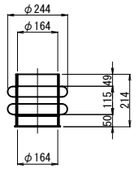


新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



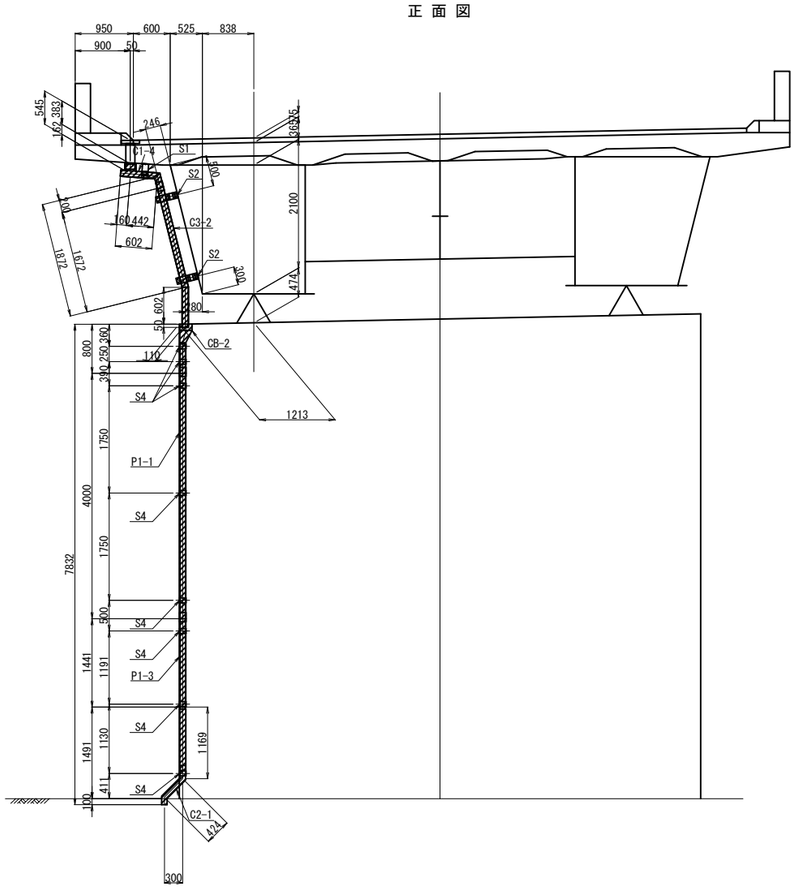
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P33橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	14 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

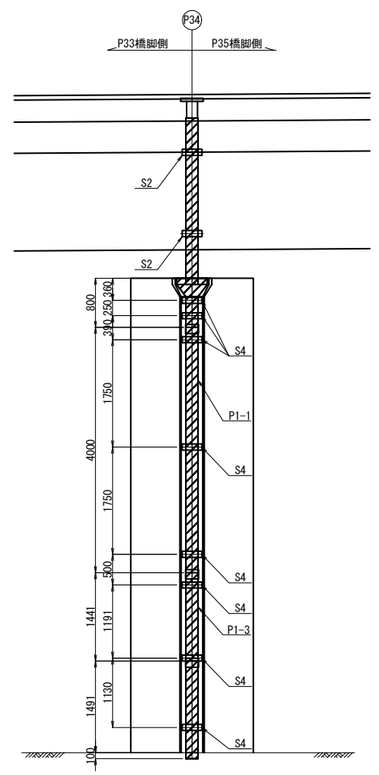
小櫃川第二橋（上り線）P34橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

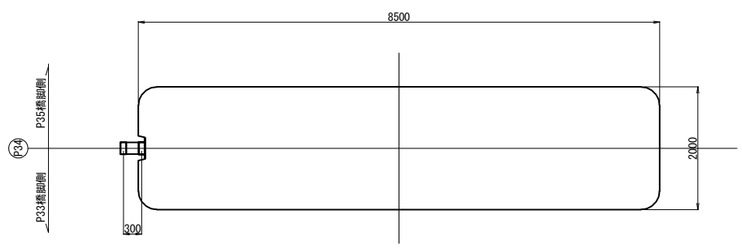
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-4	個	1
	C3-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB-2	個	1
直　管	P1-1	個	1
	P1-3	個	1
取付金具	S4	個	8
加 工 管	C2-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.012
撤去重量		kg	316

凡例

▨ ：撤去

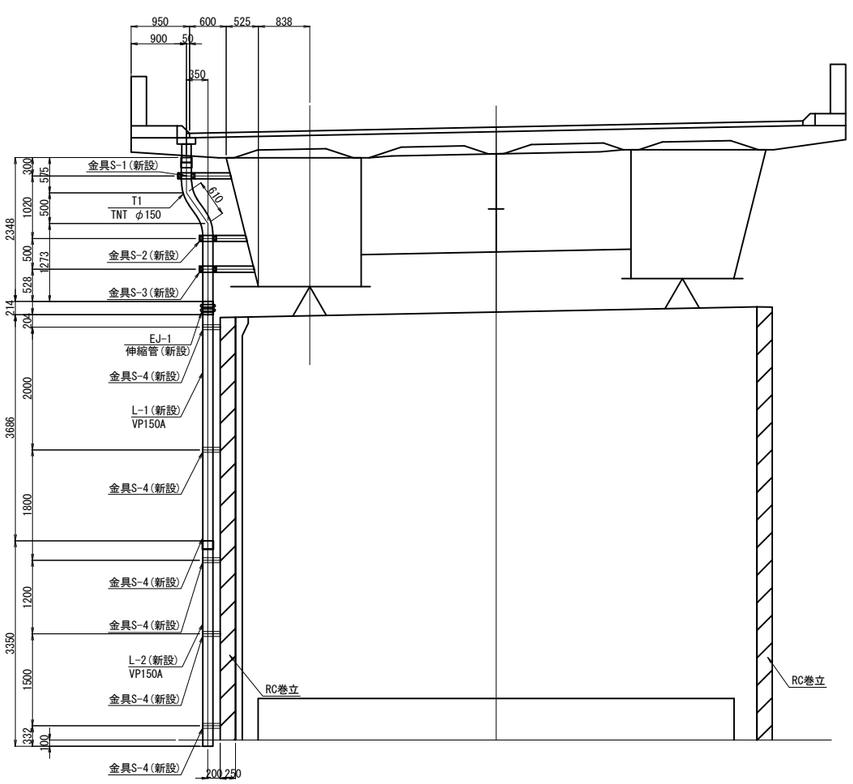
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P34橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	15 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

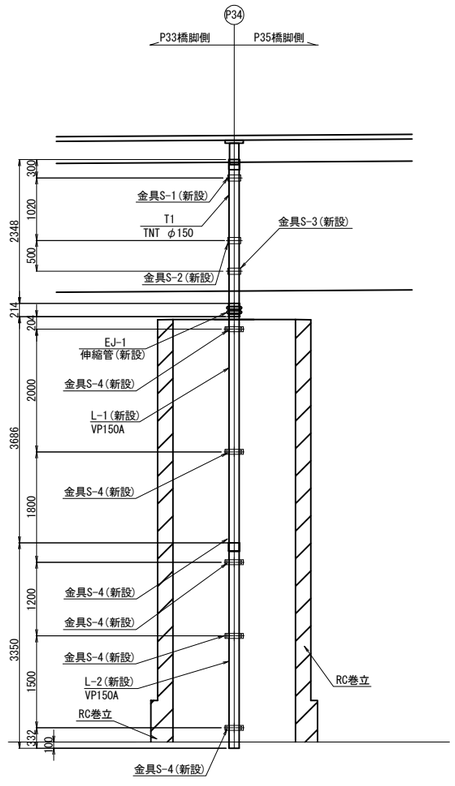
小櫃川第二橋（上り線）P34橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

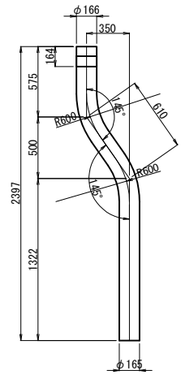
正 面 図



側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

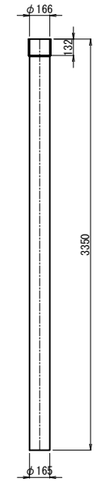


1-TNT φ150x2507

新設直管L-1 S=1/50

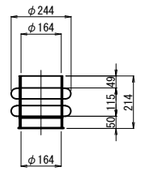
1-VP 150Ax3868

新設直管L-2 S=1/50

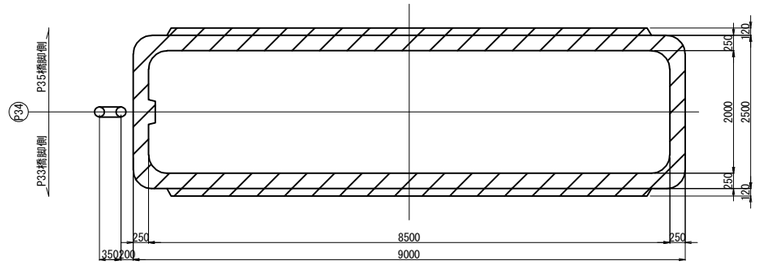


1-VP 150Ax3350

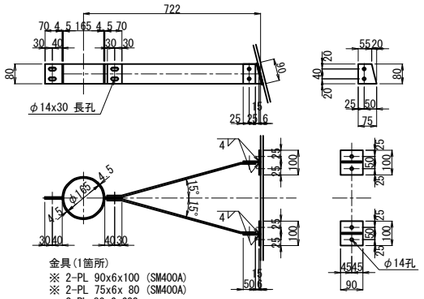
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

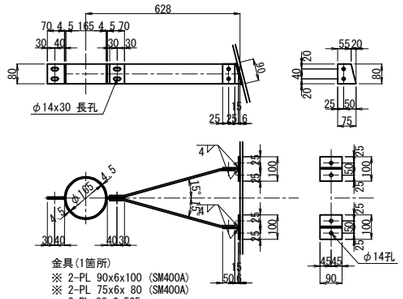


新設金具 S-1 S=1/25



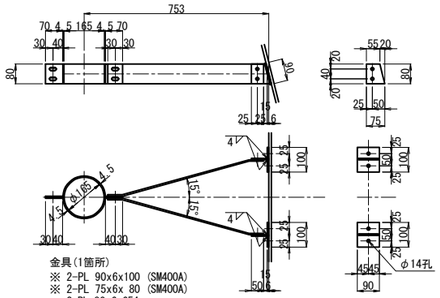
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x622
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



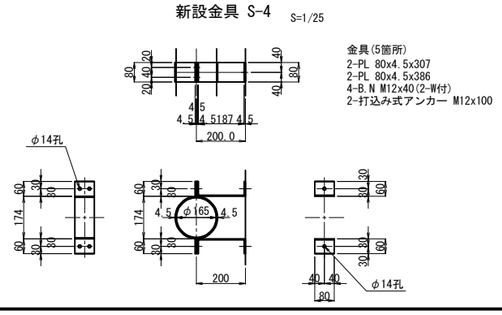
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x525
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x654
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

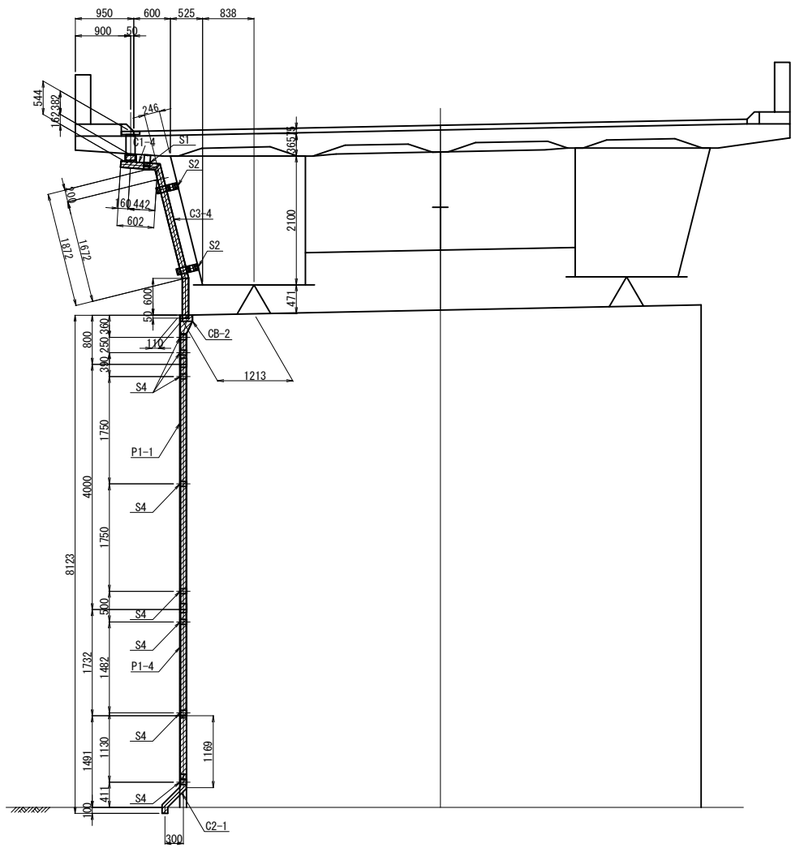
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P34橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	16 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

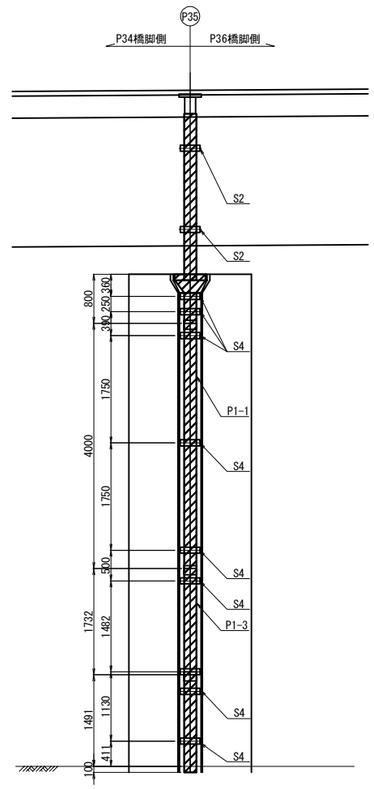
小櫃川第二橋（上り線）P35橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

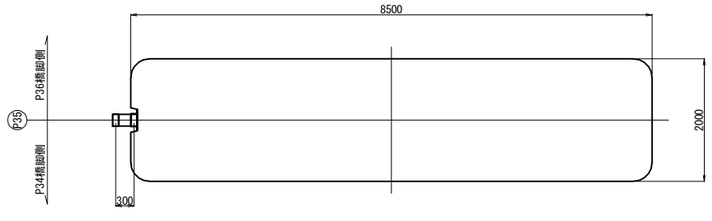
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-4	個	1
	C3-1	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB-2	個	1
直　管	P1-1	個	1
	P1-4	個	1
取付金具	S4	個	8
加 工 管	C2-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.324
撤去重量		kg	322

凡例

▨ : 撤去

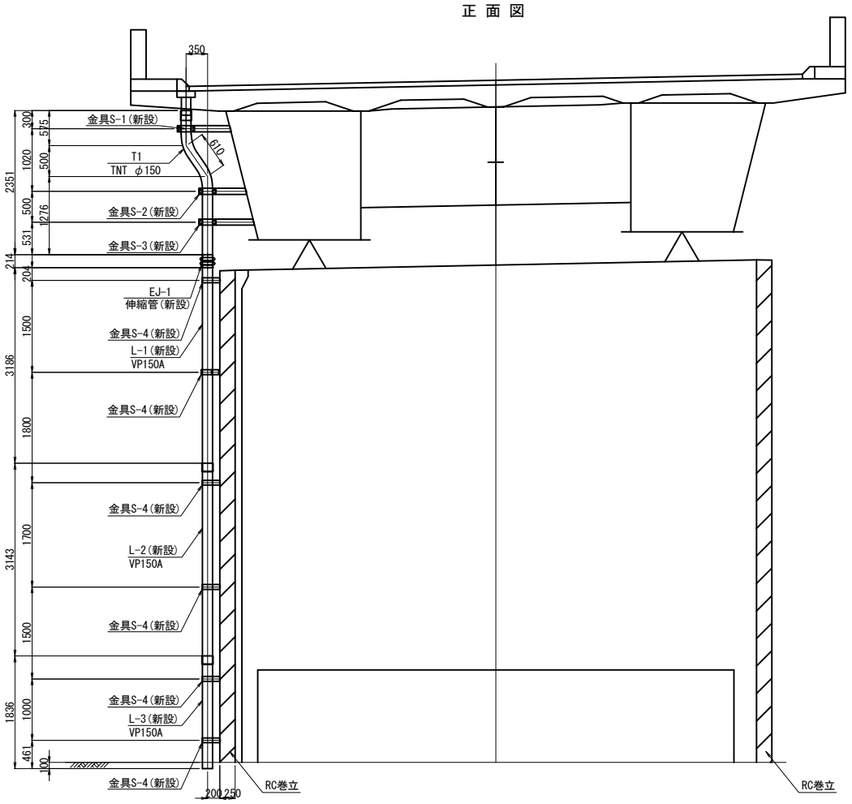
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P35橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	17 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

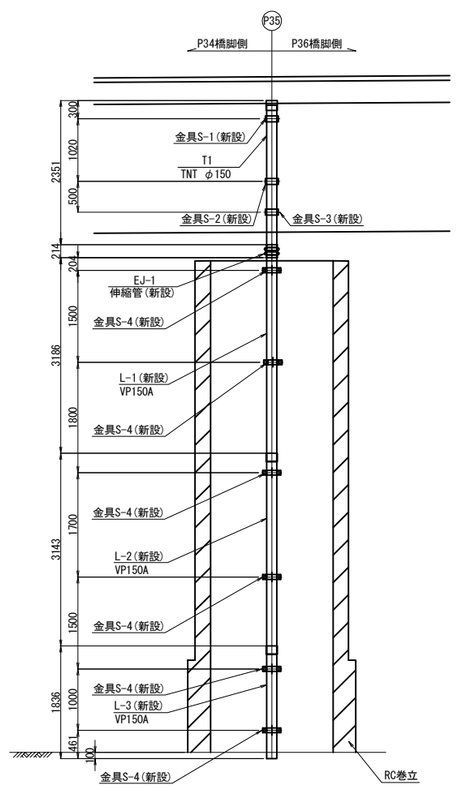
小櫃川第二橋（上り線）P35橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

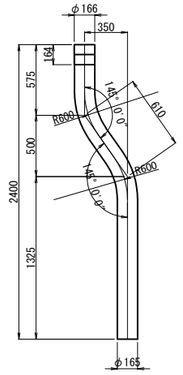
正 面 図



側 面 図

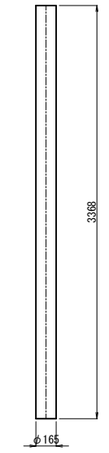


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



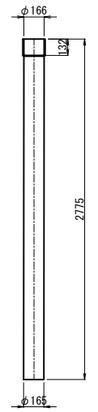
1-TNT φ150x2510

新設直管L-1 S=1/50



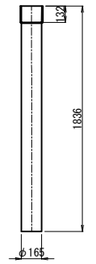
1-VP 150Ax3368

新設直管L-2 S=1/50



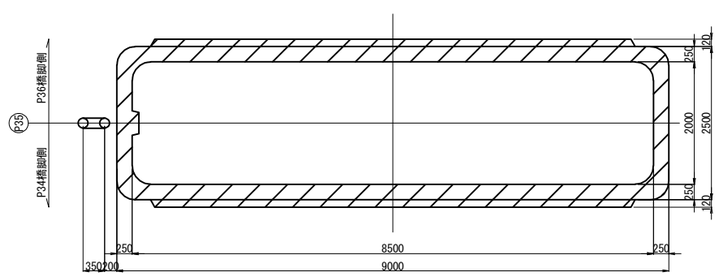
1-VP 150Ax2775

新設直管L-3 S=1/50

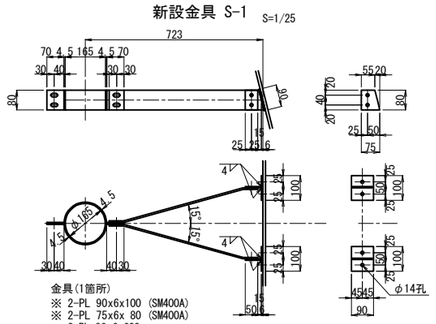


1-VP 150Ax1836

平 面 図

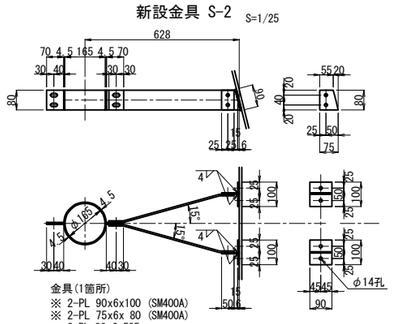


新設金具 S-1 S=1/25



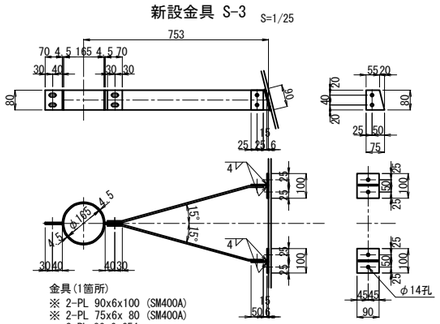
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x623
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



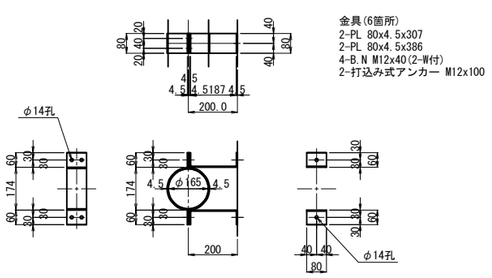
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x525
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



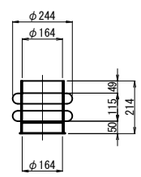
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x654
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



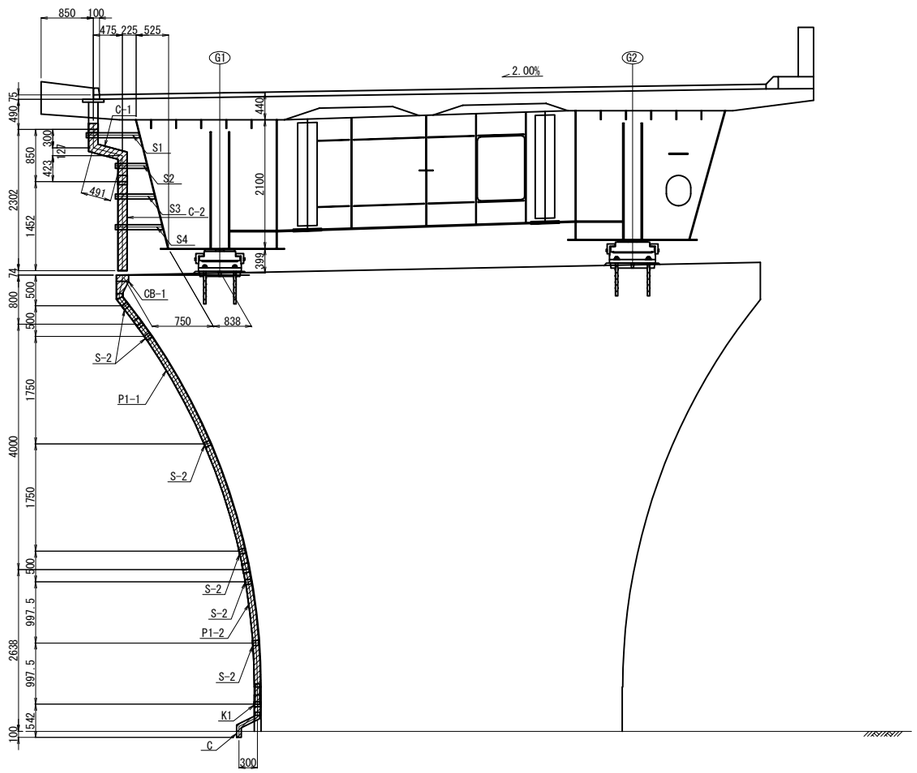
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P35橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	18 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

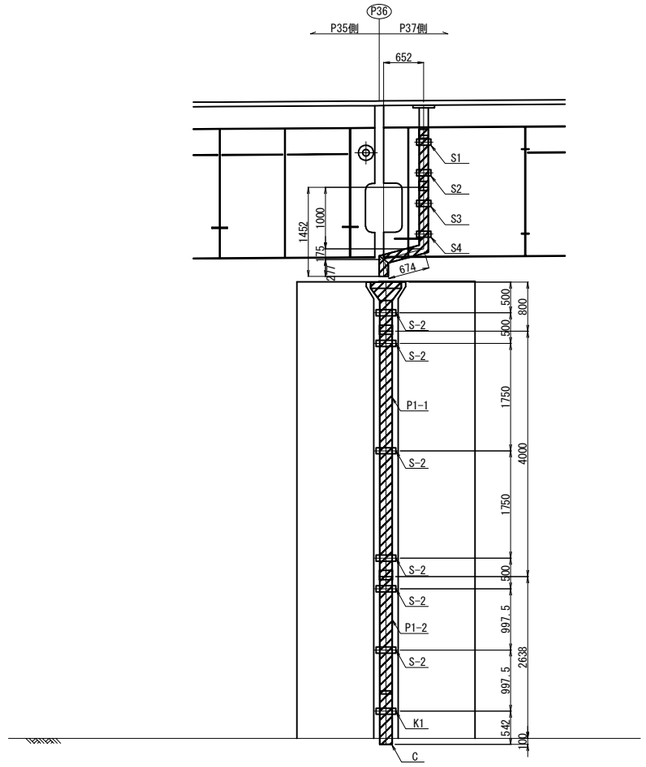
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

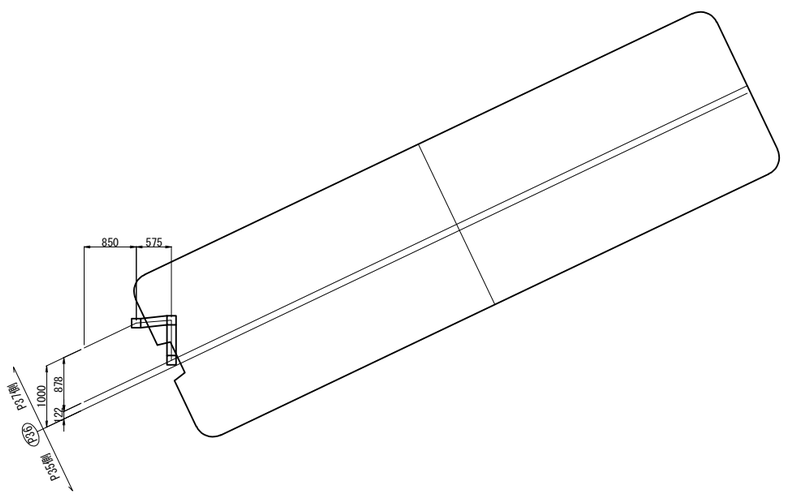
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-1	個	1
	C-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
	S4	個	1
受　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-2	個	6
	K1	個	1
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.514
撤去重量		kg	336

凡例

▨ ：撤去

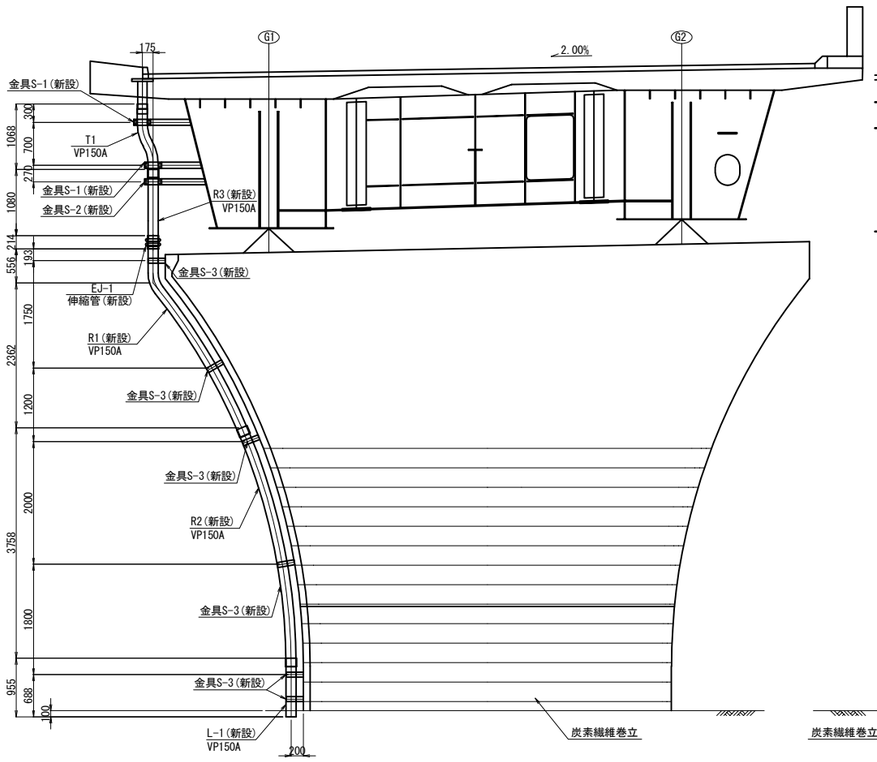
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	19 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

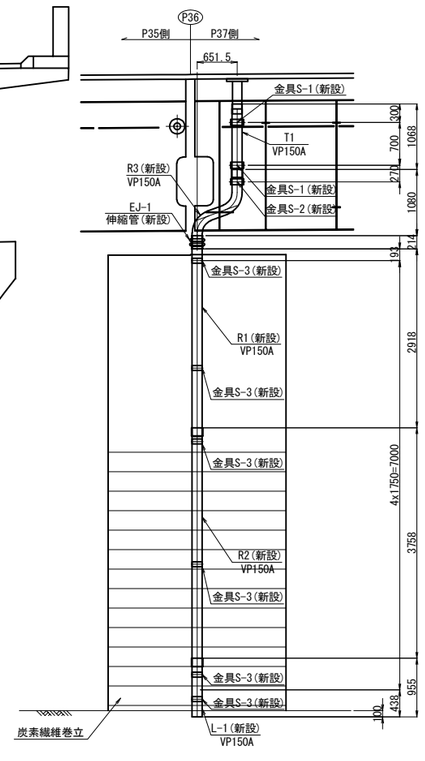
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

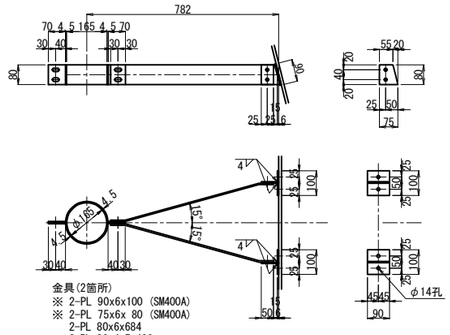
正 面 図



側 面 図

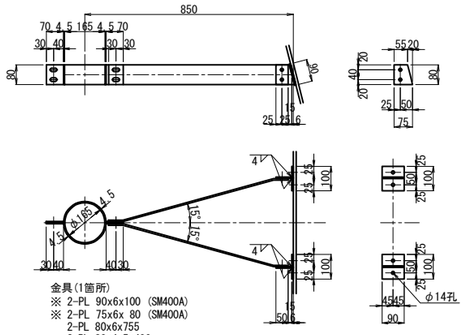


新設金具 S-1 S=1/25



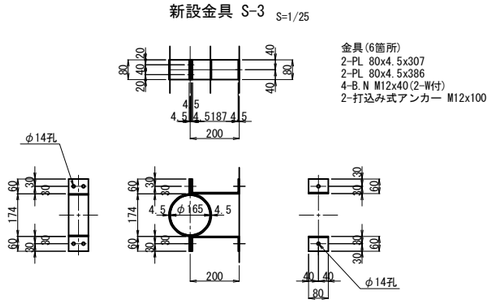
金具(2箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x684
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



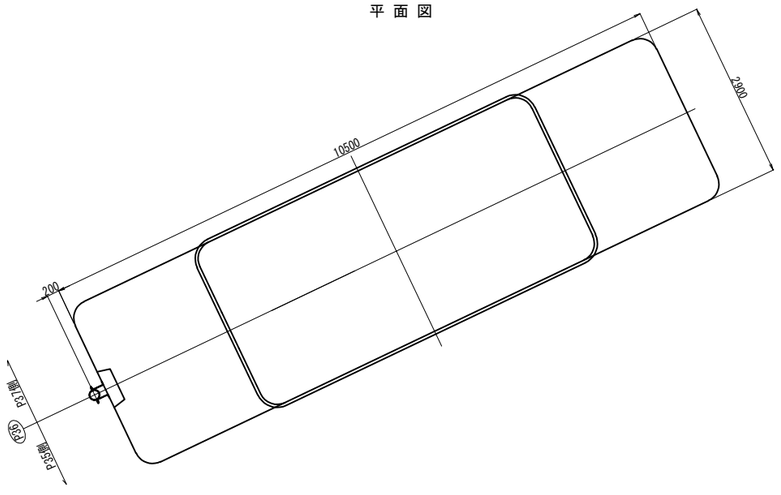
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x755
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25

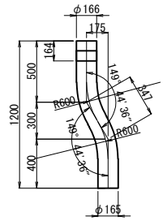


金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

平 面 図

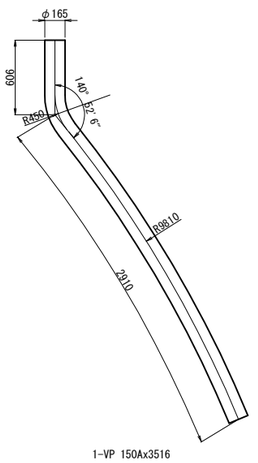


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



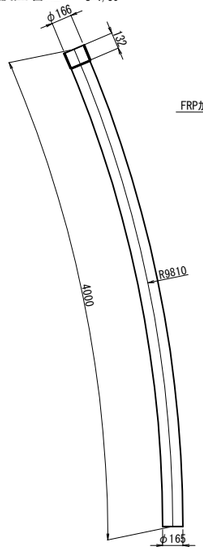
1-TNT φ150x1247

新設曲管R1 S=1/50



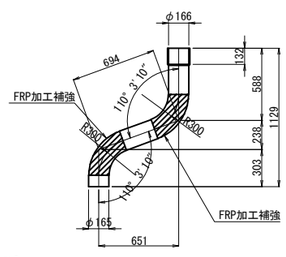
1-VP 150Ax3516

新設曲管R2 S=1/50



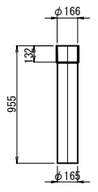
1-VP 150Ax4000

新設曲管R3 S=1/50



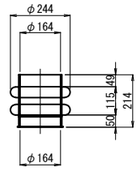
1-VP 150Ax1585

新設直管L-1 S=1/50



1-VP 150Ax955

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



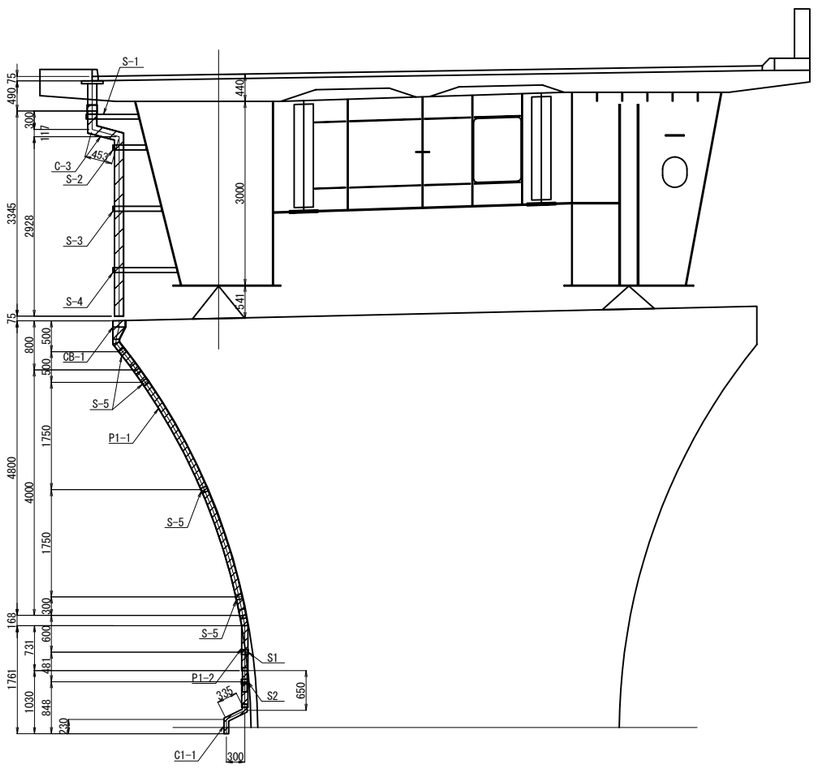
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	20 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

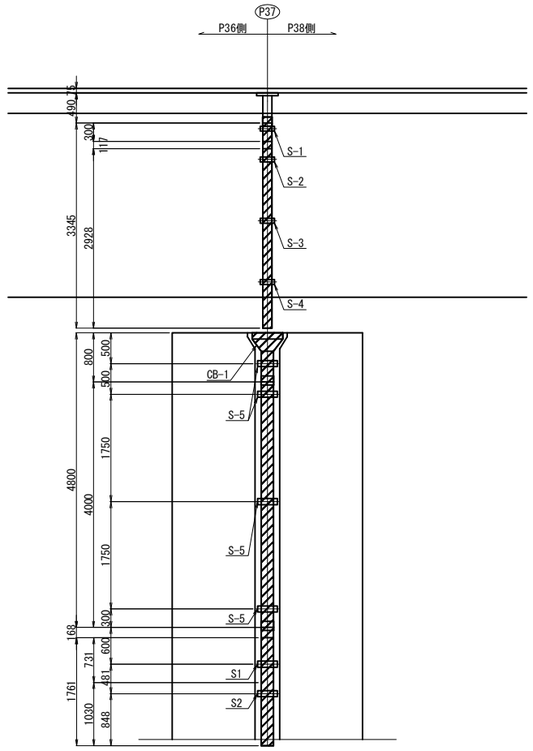
小櫃川第二橋（上り線）P37橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

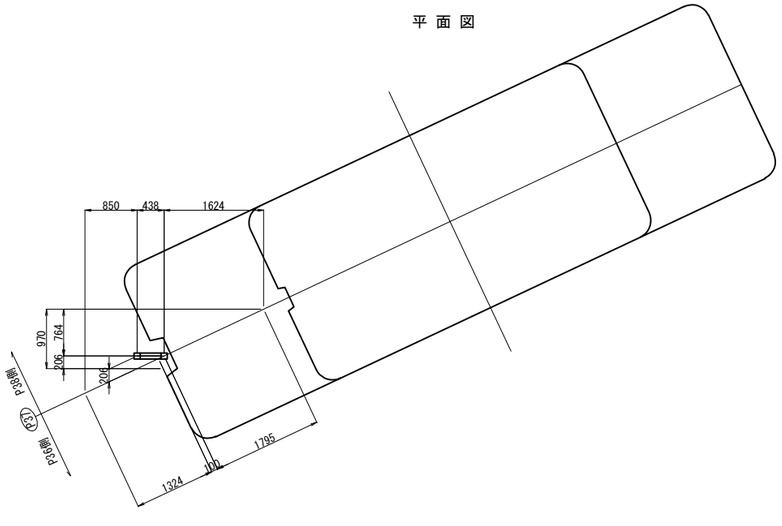
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-3	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-5	個	4
	S1	個	1
	S2	個	1
加 工 管	C1-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.215
撤去重量		kg	326

凡例

：撤去

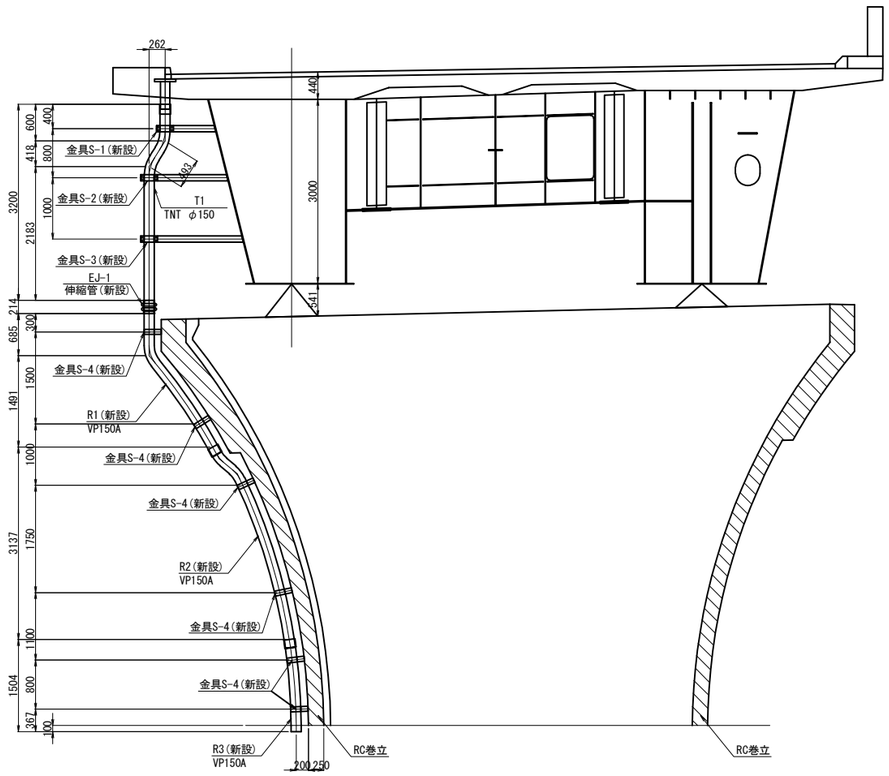
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P37橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	21 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

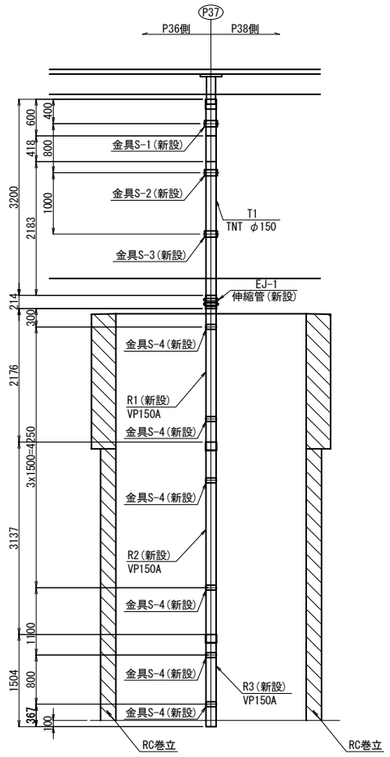
小櫃川第二橋（上り線）P37橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

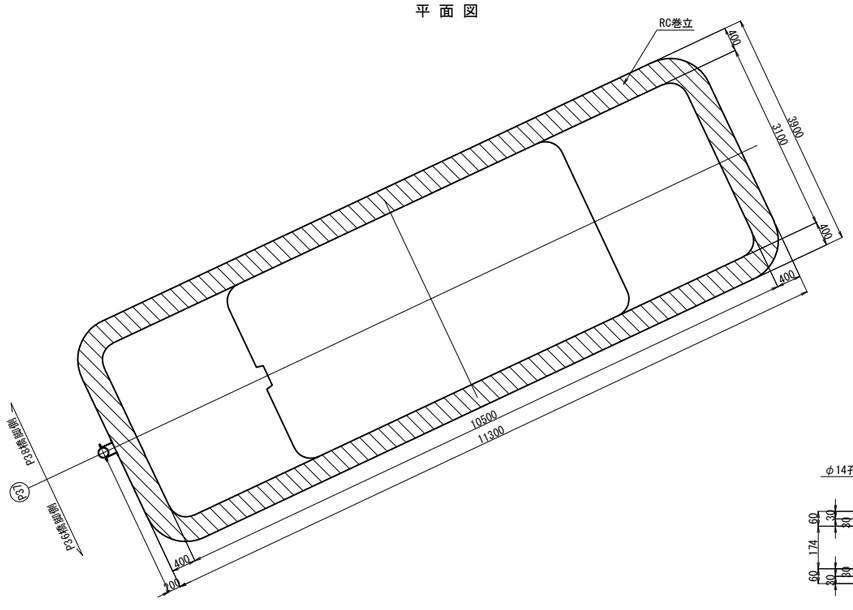
正面図



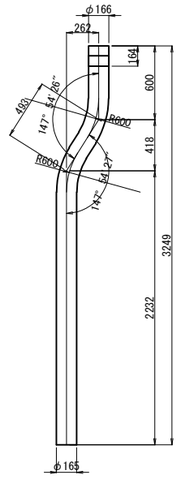
側面図



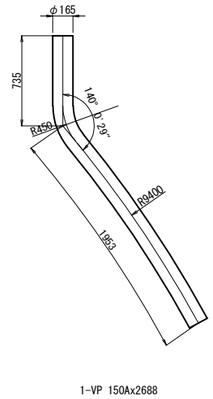
平面図



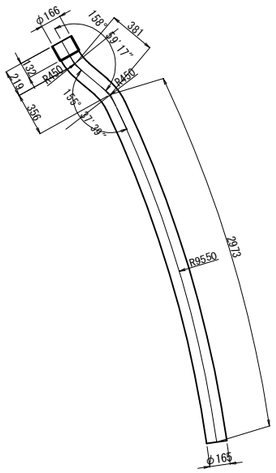
新設フレキシブル管 T1　S=1/50



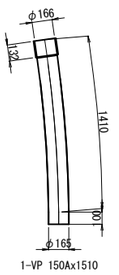
新設曲管R1　S=1/50



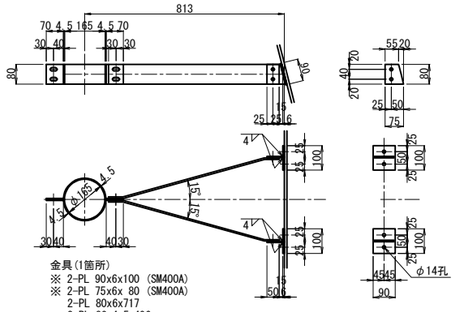
新設曲管R2　S=1/50



新設曲管R3　S=1/50

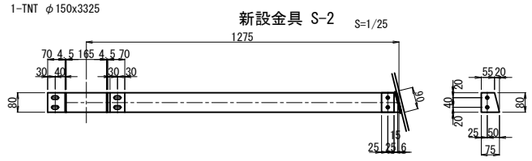


新設金具 S-1　S=1/25

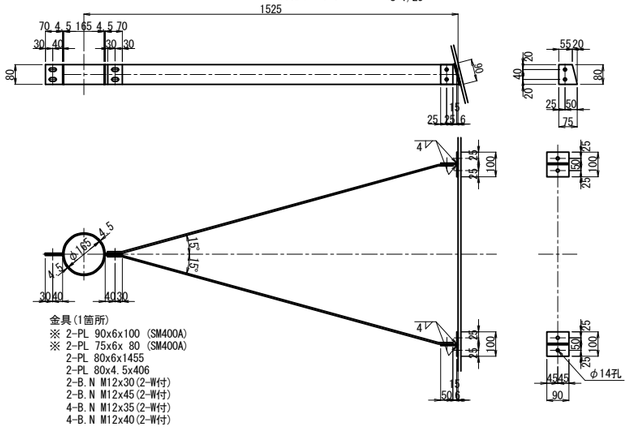


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x717
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2　S=1/25

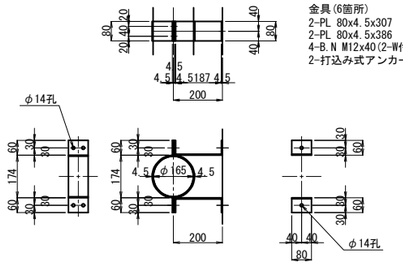


新設金具 S-3　S=1/25



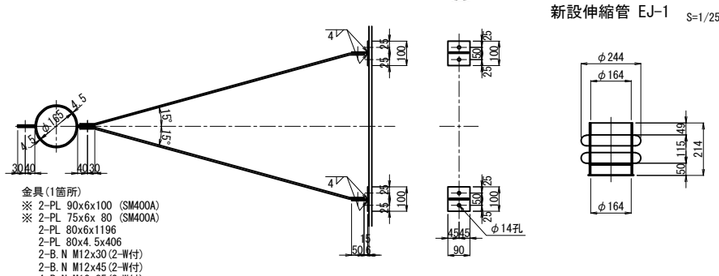
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1455
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4　S=1/25



金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1　S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1196
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

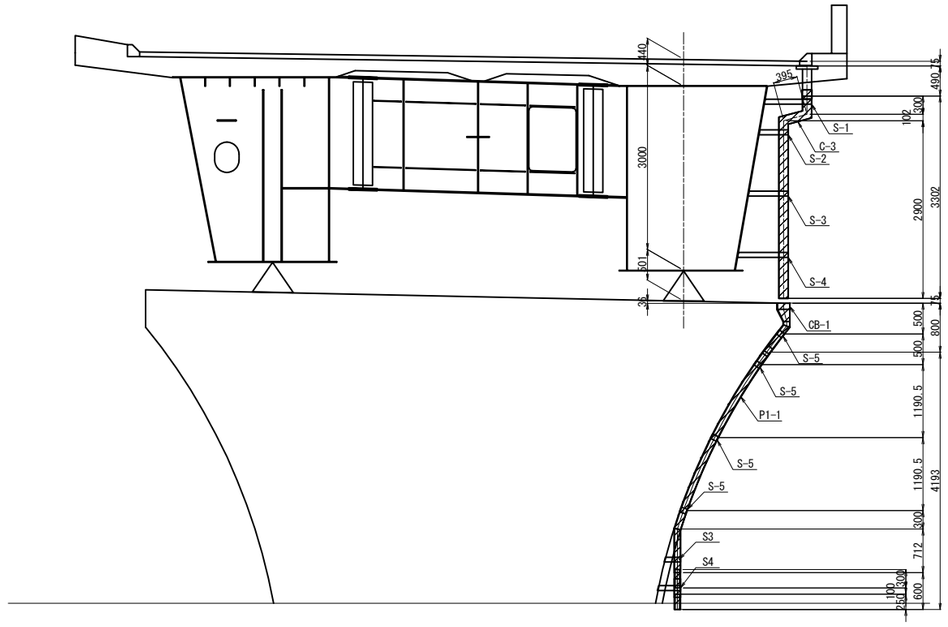
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P37橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	22 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

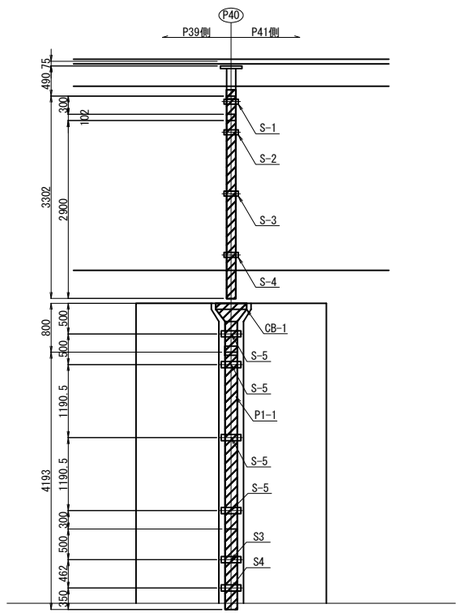
小櫃川第二橋（上り線）P40橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

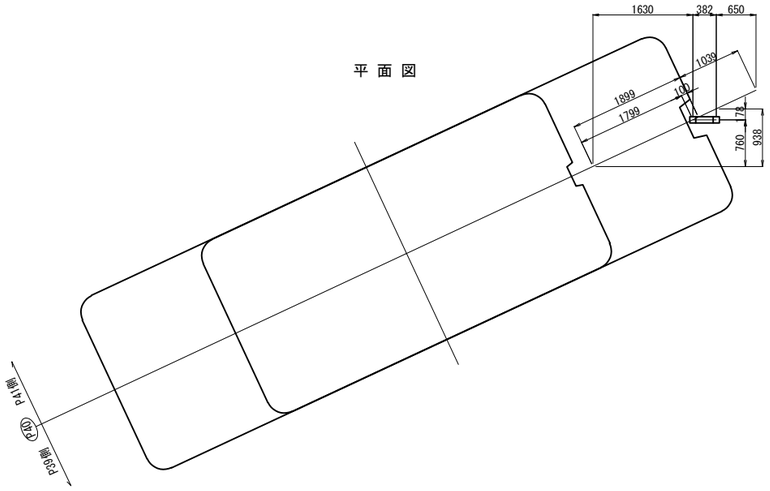
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-3	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
取付金具	S-5	個	4
	S3	個	1
	S4	個	1
加 工 管	C1-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.171
撤去重量		kg	283

凡例

▨ ：撤去

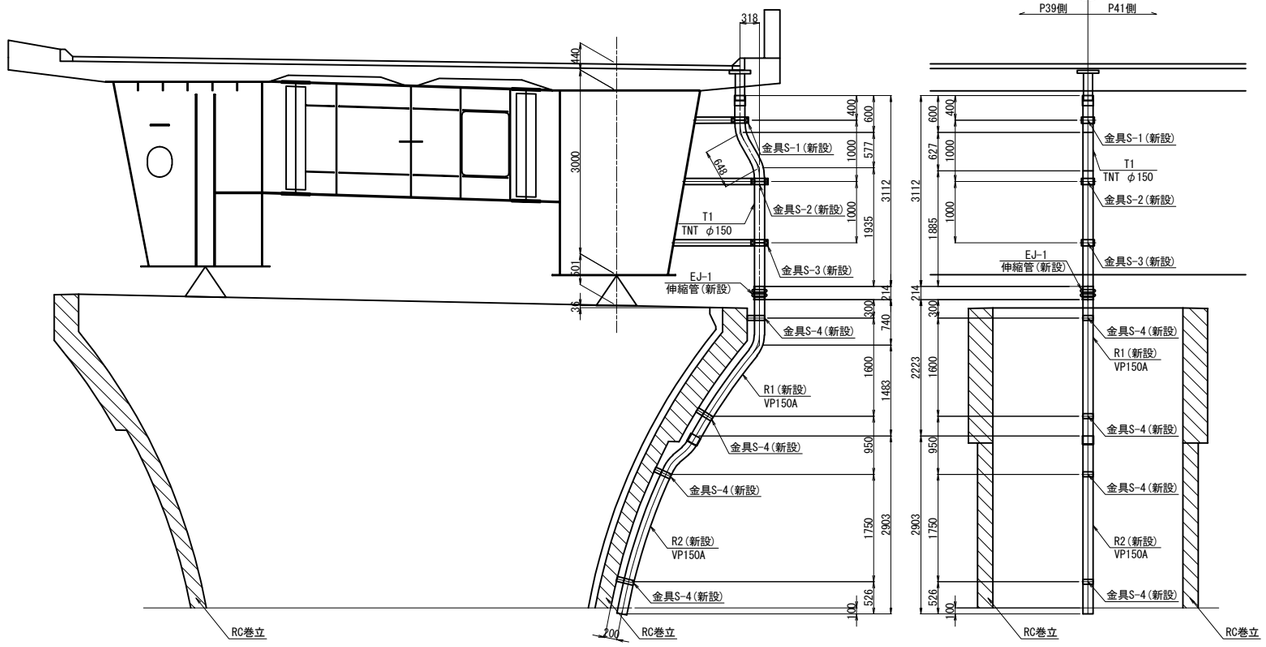
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P40橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	23 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋（上り線）P40橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

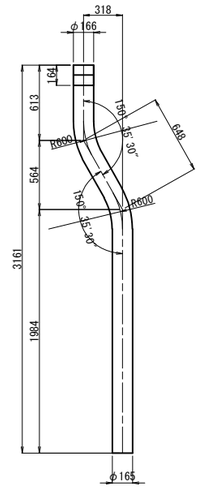
設置工　排水管A

正 面 図



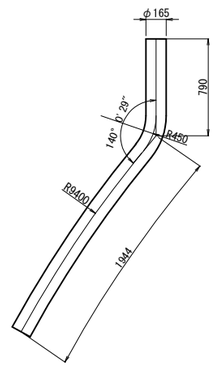
側 面 図

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



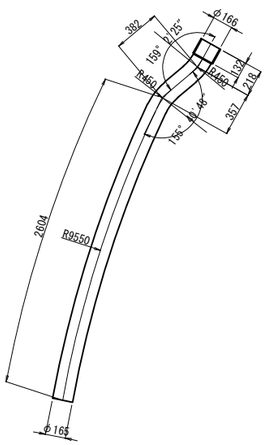
1-TNT φ150x3245

新設曲管R1 S=1/50



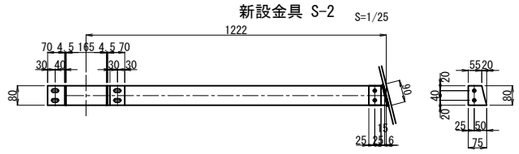
1-VP 150Ax2734

新設曲管R2 S=1/50

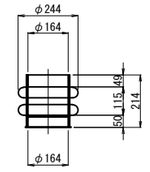


1-VP 150Ax3204

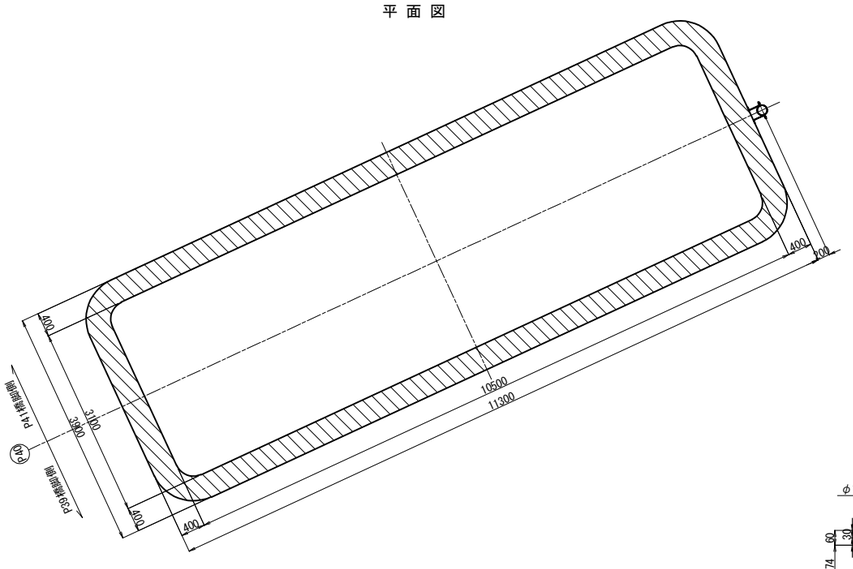
新設金具 S-2 S=1/25



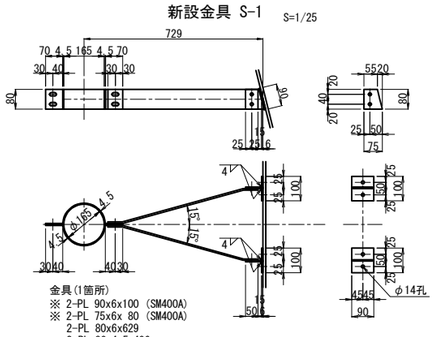
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

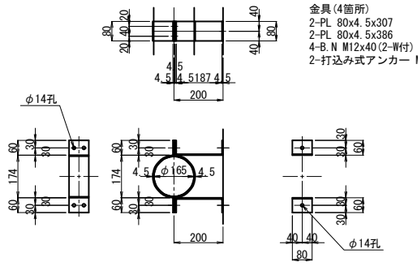


新設金具 S-1 S=1/25



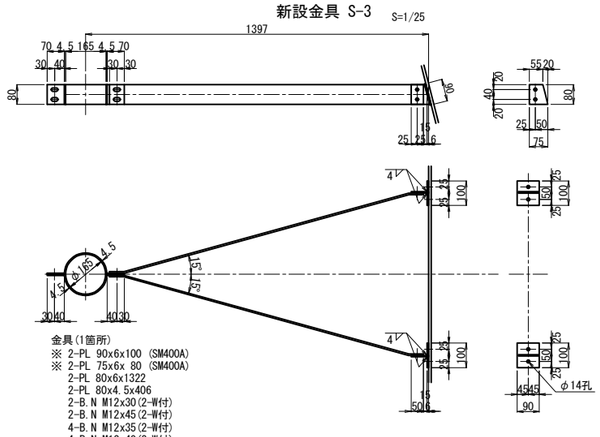
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x629
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(4箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1322
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

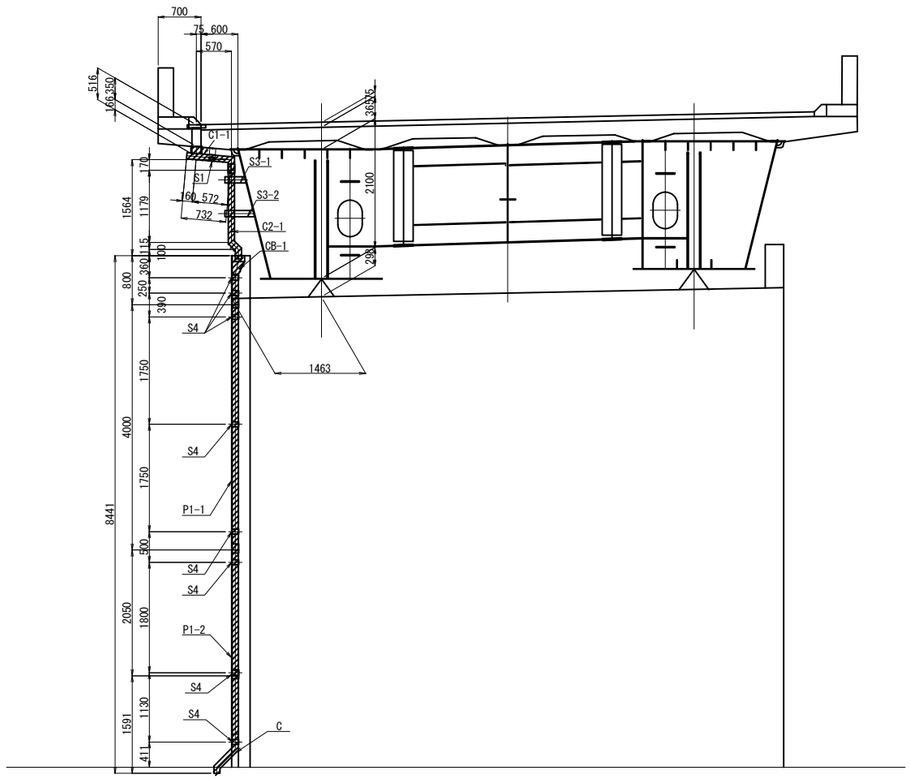
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P40橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	24 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

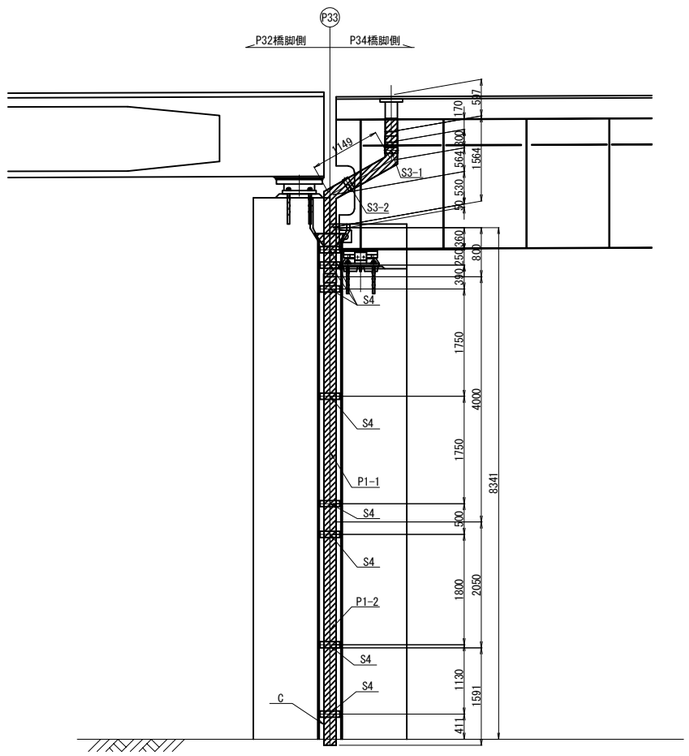
小櫃川第二橋（下り線）P33橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

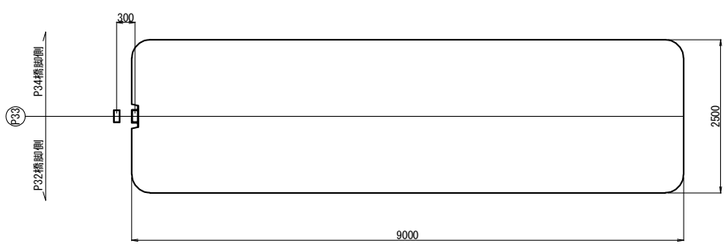
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-1	個	1
	C2-1	個	1
取付金具	S1	個	1
	S3-1	個	1
	S3-2	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S4	個	8
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.498
撤去重量		kg	324

凡例

▨ ：撤去

注記

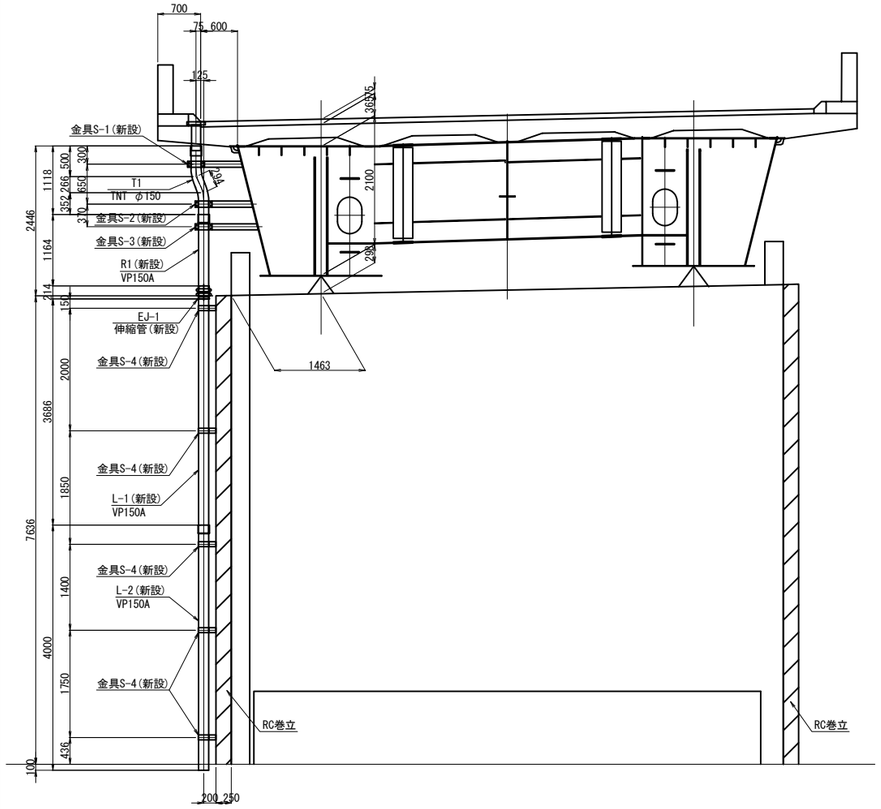
1.本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2.ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3.完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P33橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	25 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

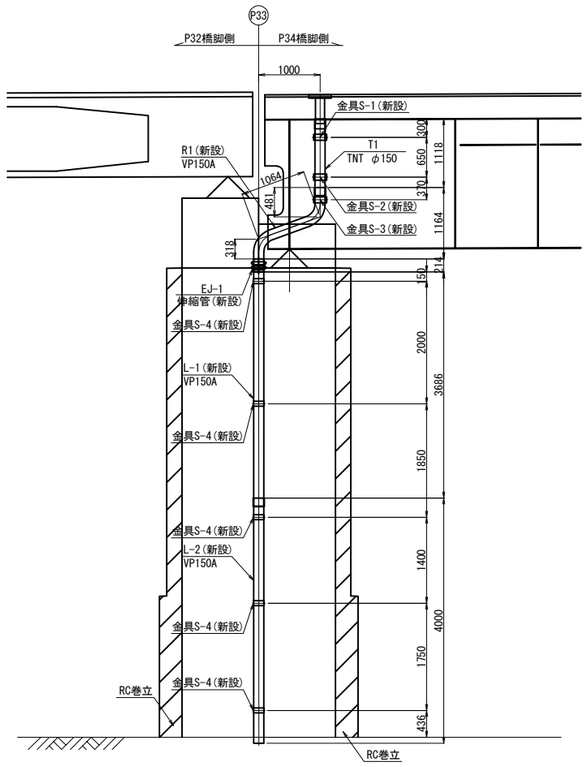
小櫃川第二橋（下り線）P33橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

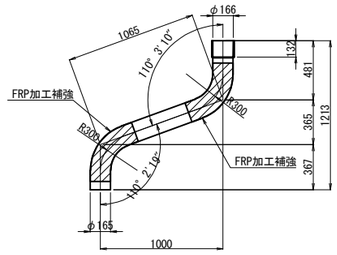
正 面 図



側 面 図

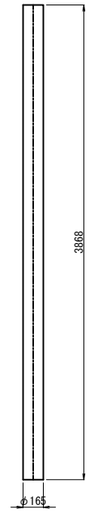


新設加工管 R1 S=1/50



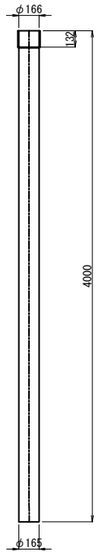
1-VP 150Ax1913

新設直管L-1 S=1/50



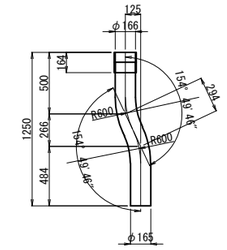
1-VP 150Ax3868

新設直管L-2 S=1/50



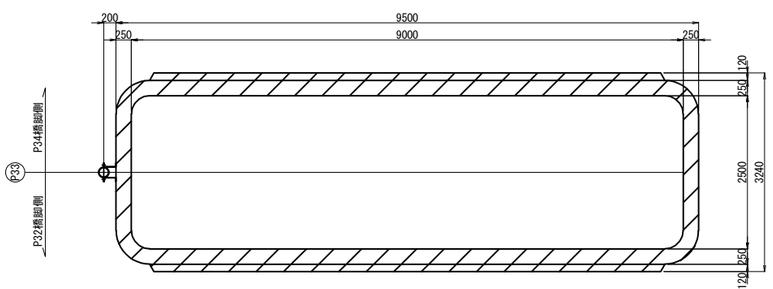
1-VP 150Ax4000

新設フレキシブル管 T1 S=1/50

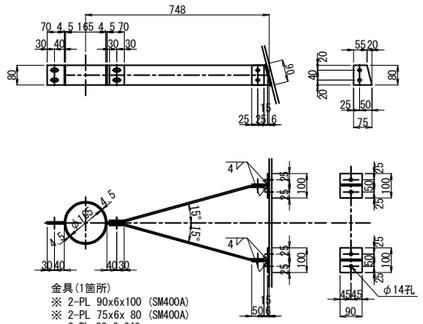


1-TNT φ150x1278

平 面 図

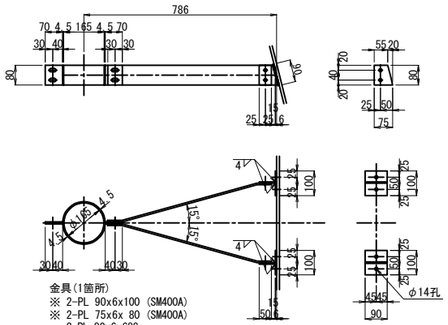


新設金具 S-1 S=1/25



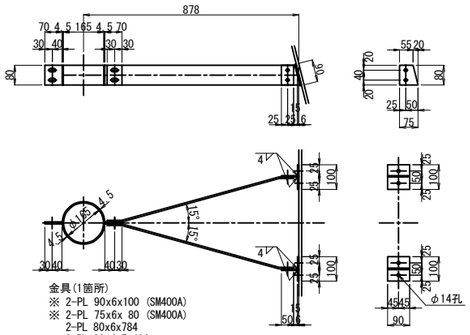
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x649
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



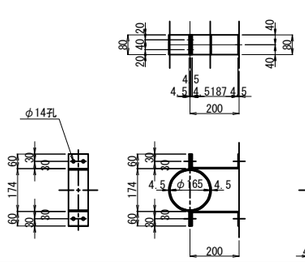
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x688
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



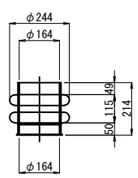
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x784
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



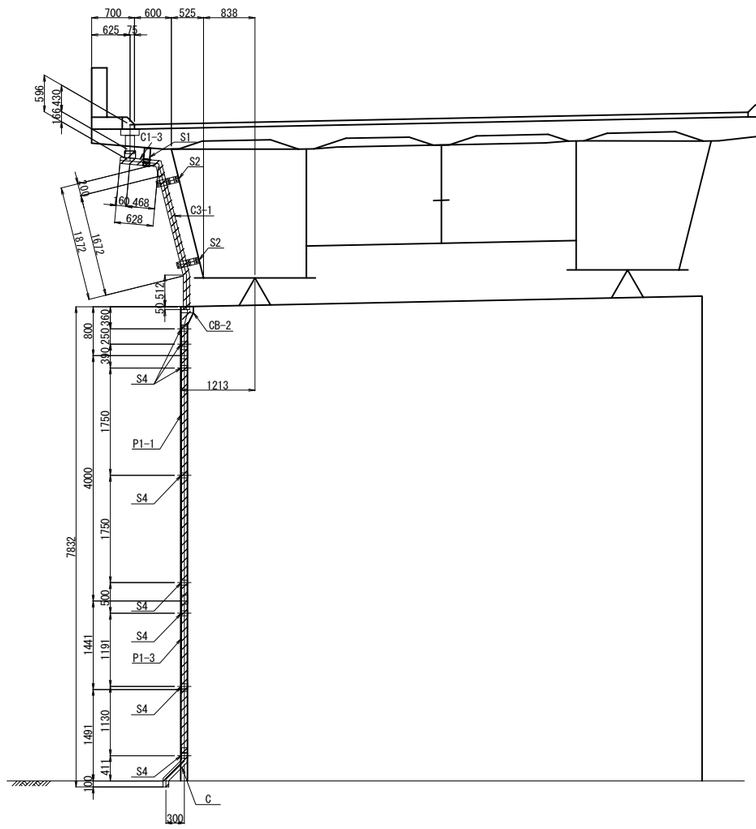
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P33橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	26 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

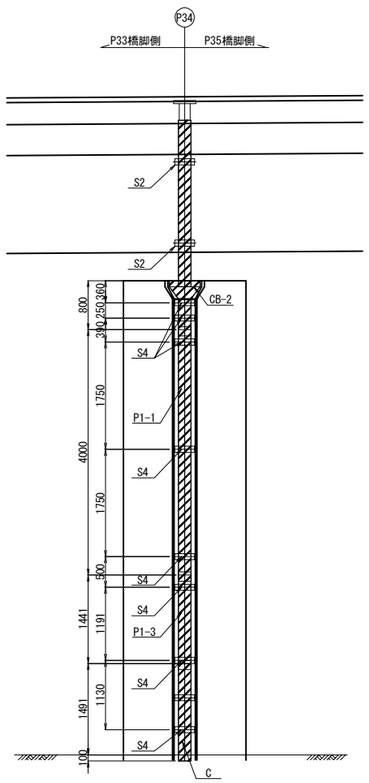
小櫃川第二橋（下り線）P34橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

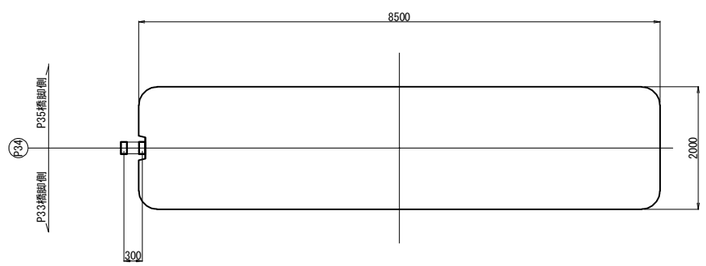
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-3	個	1
	C3-1	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-2	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-3	個	1
取付金具	S4	個	8
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	10.975
撤去重量		kg	318

凡例

▨ ：撤去

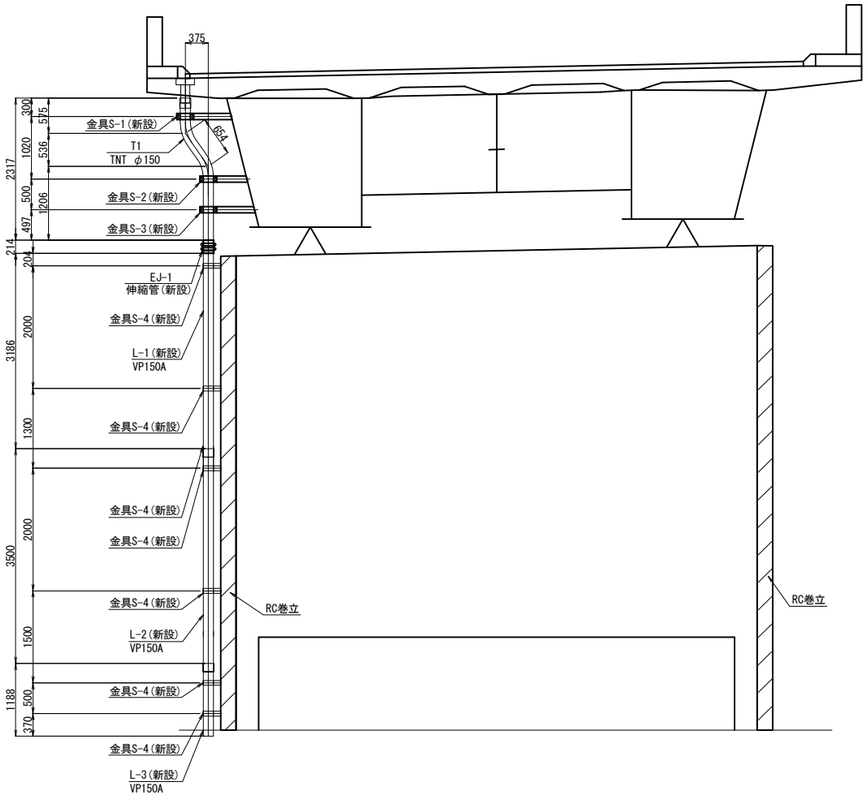
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P34橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	27 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

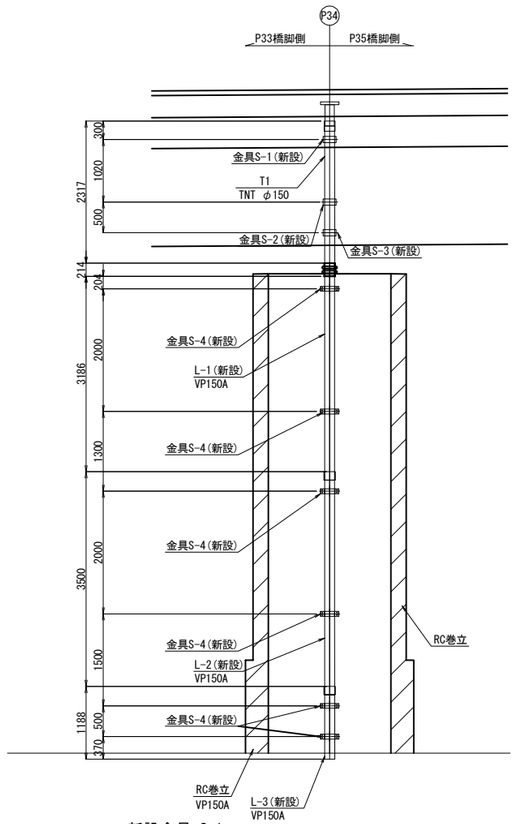
小櫃川第二橋（下り線）P34橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

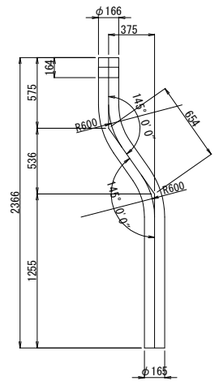
正 面 図



側 面 図

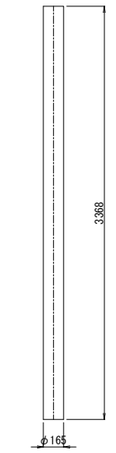


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x2484

新設直管L-1 S=1/50

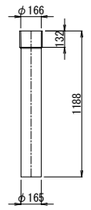


1-VP 150Ax3368

新設直管L-2 S=1/50

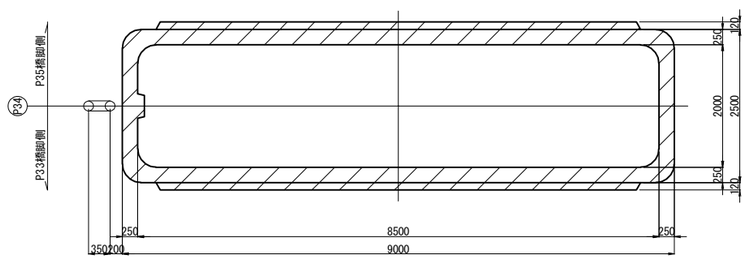
1-VP 150Ax3132

新設直管L-3 S=1/50

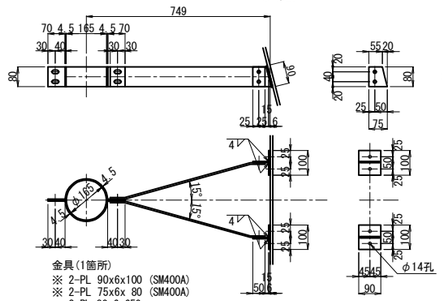


1-VP 150Ax1188

平 面 図

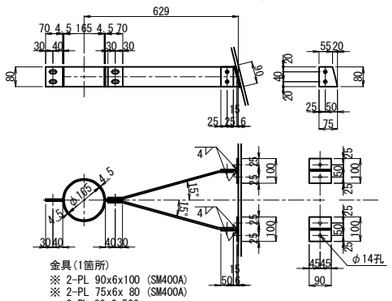


新設金具 S-1 S=1/25



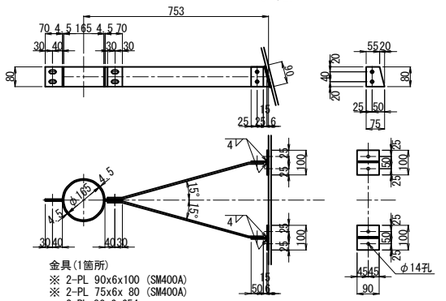
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x650
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



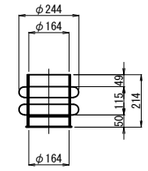
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x526
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25

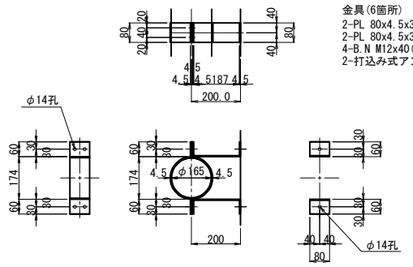


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x654
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



新設金具 S-4 S=1/25



金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

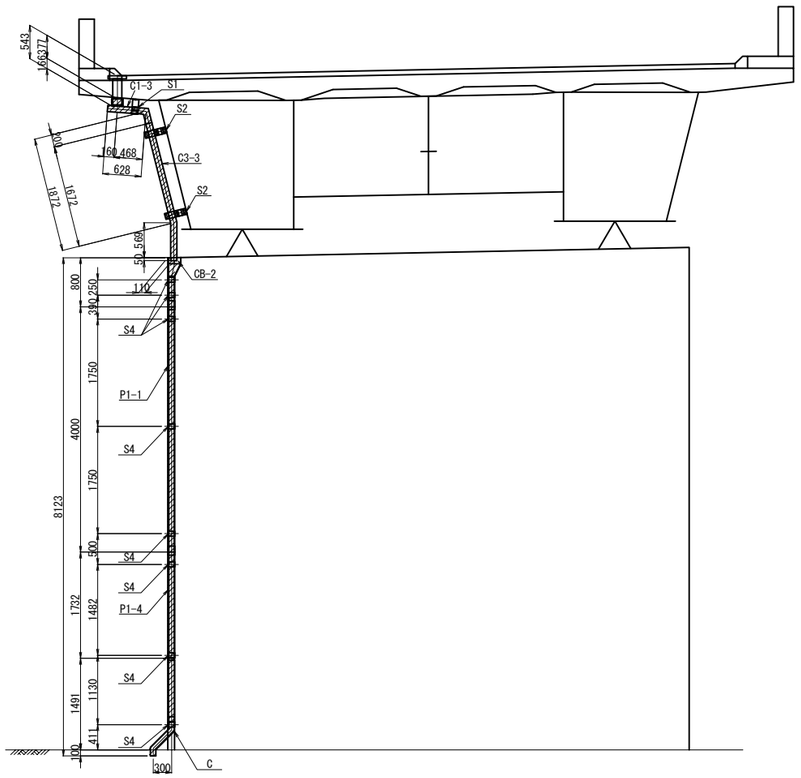
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P34橋脚 排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	28 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

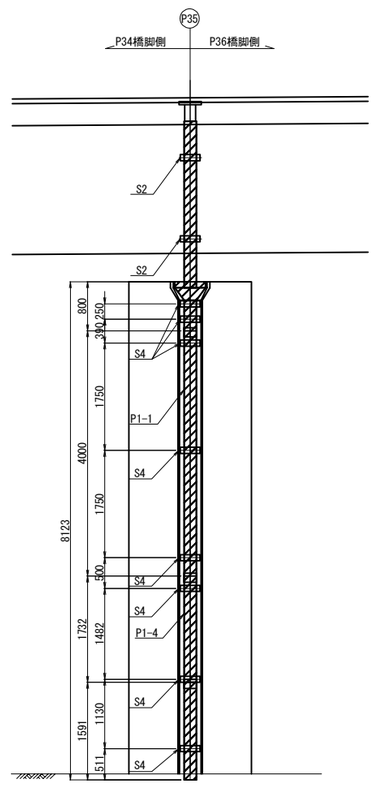
小櫃川第二橋（下り線）P35橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

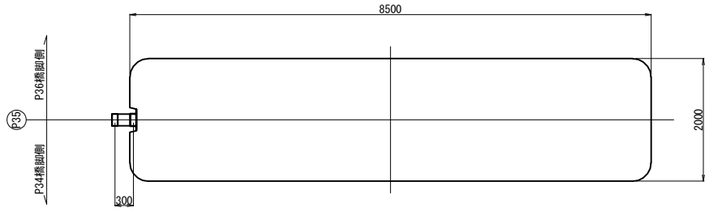
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-3	個	1
	C3-3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-2	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-4	個	1
取付金具	S4	個	8
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.323
撤去重量		kg	324

凡例

：撤去

注記

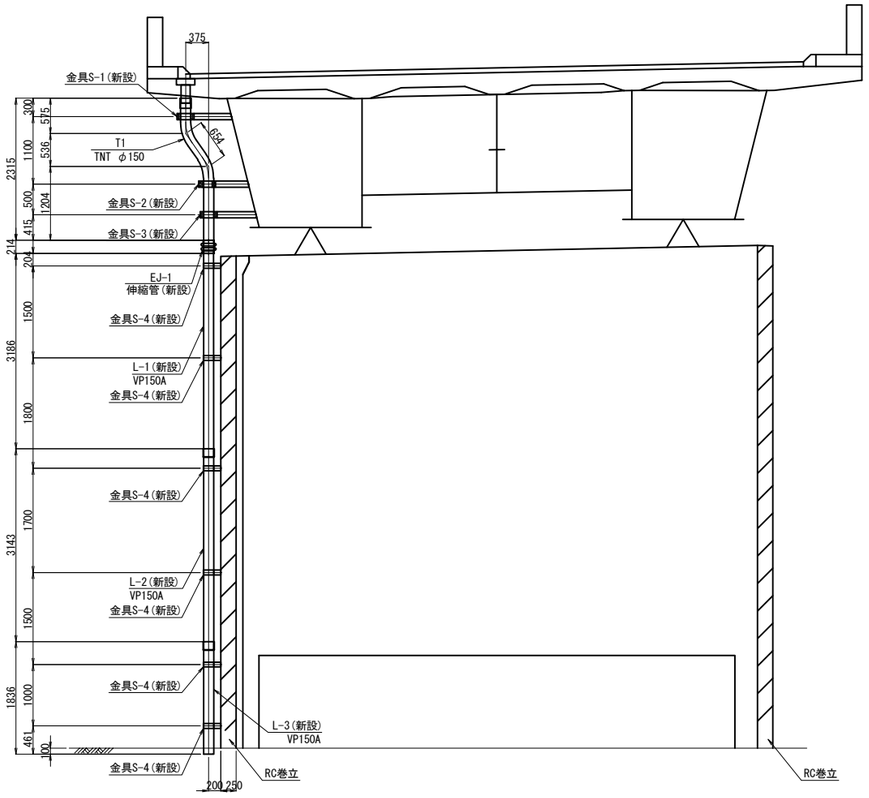
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P35橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	29 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

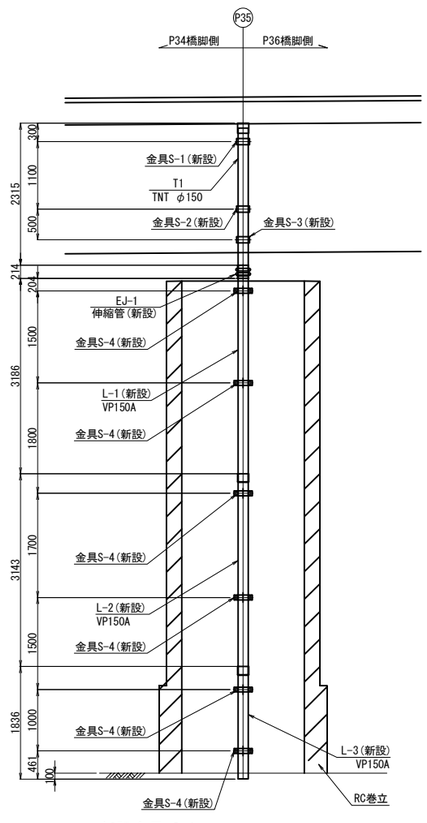
小櫃川第二橋（下り線）P35橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

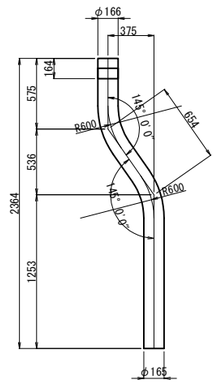
正 面 図



側 面 図

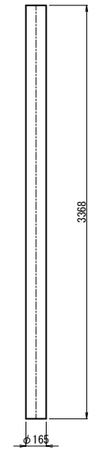


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x2482

新設直管L-1 S=1/50



1-VP 150Ax3368

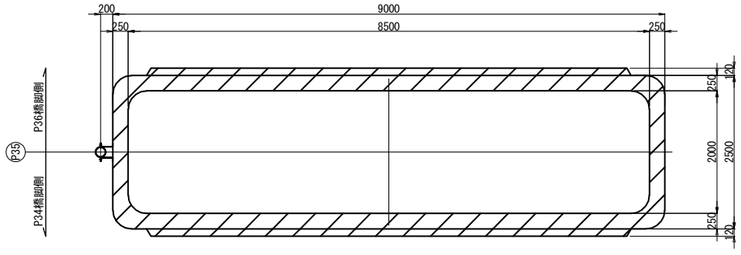
新設直管L-2 S=1/50

1-VP 150Ax2775

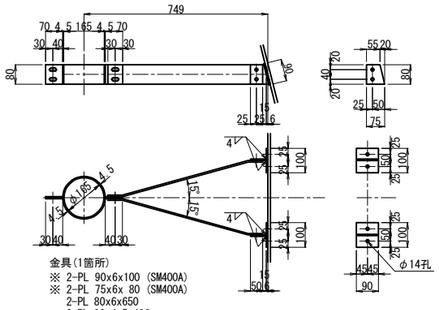
新設直管L-3 S=1/50

1-VP 150Ax1836

平 面 図

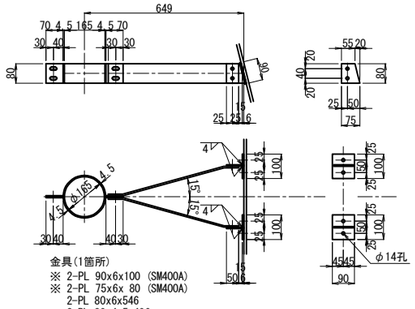


新設金具 S-1 S=1/25



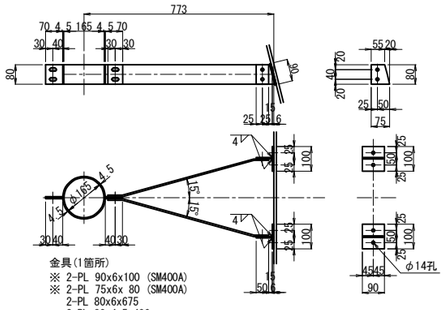
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x650
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



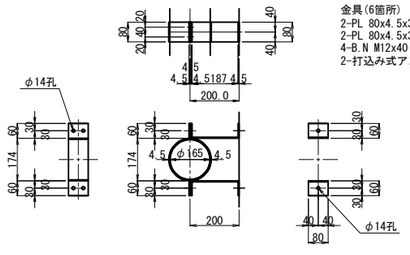
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x546
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



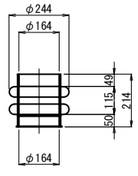
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x675
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



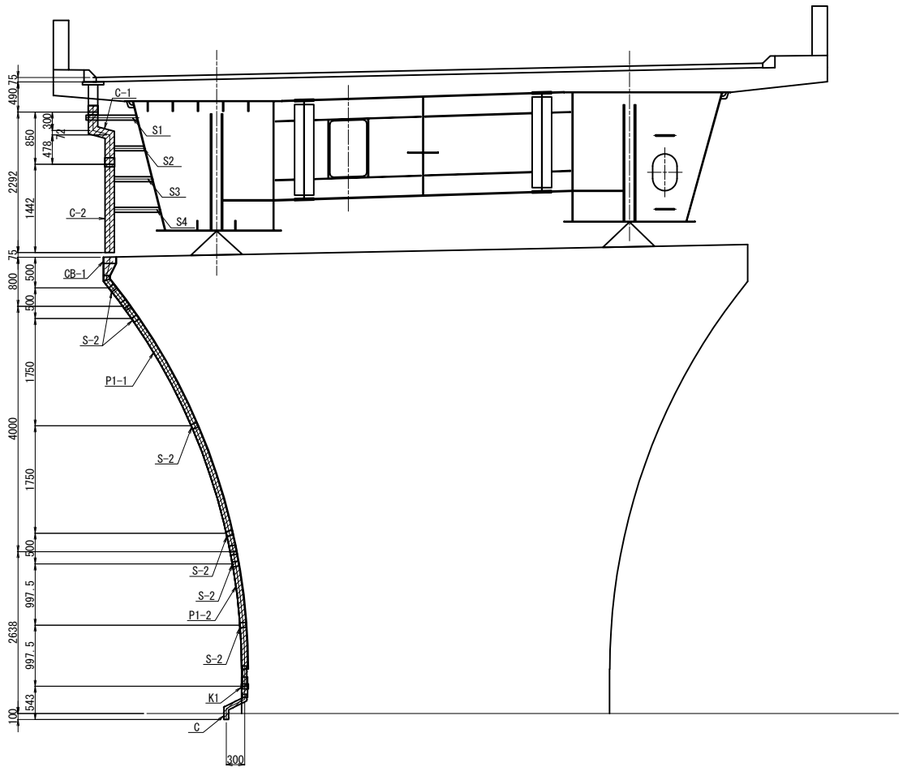
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P35橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	30 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

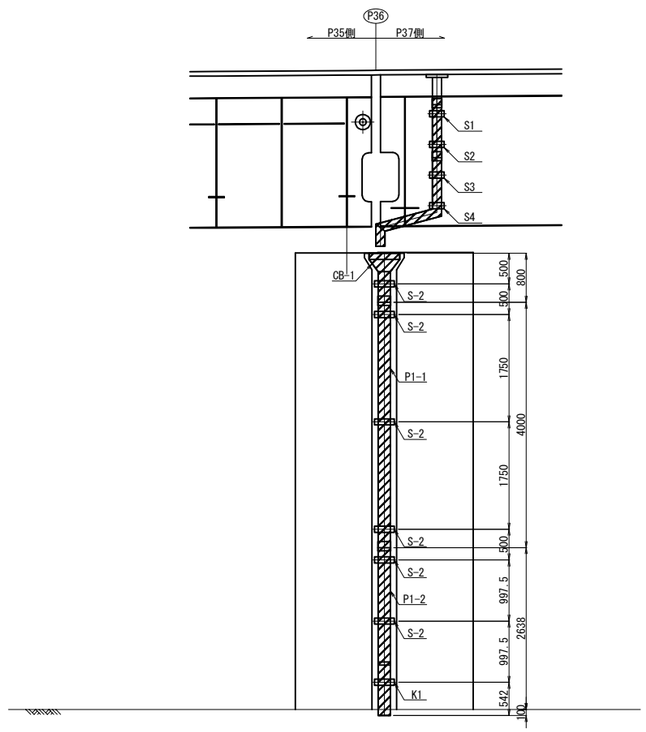
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

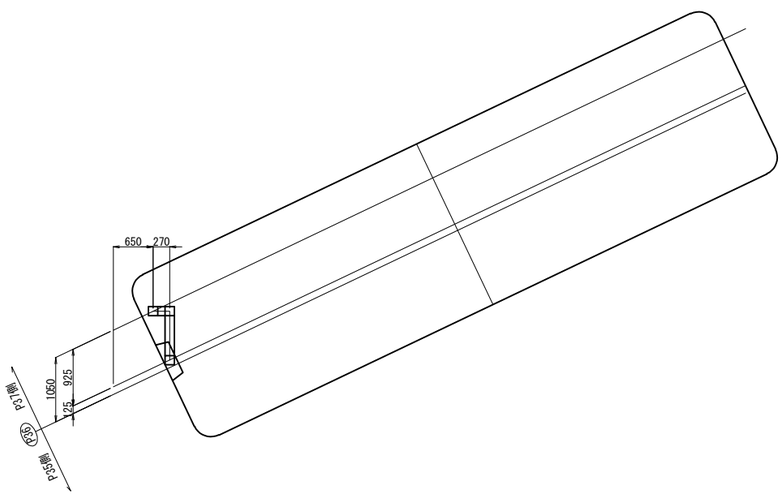
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-1	個	1
	C-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
	S4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-2	個	6
	K1	個	1
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	12.315
撤去重量		kg	342

凡例

：撤去

注記

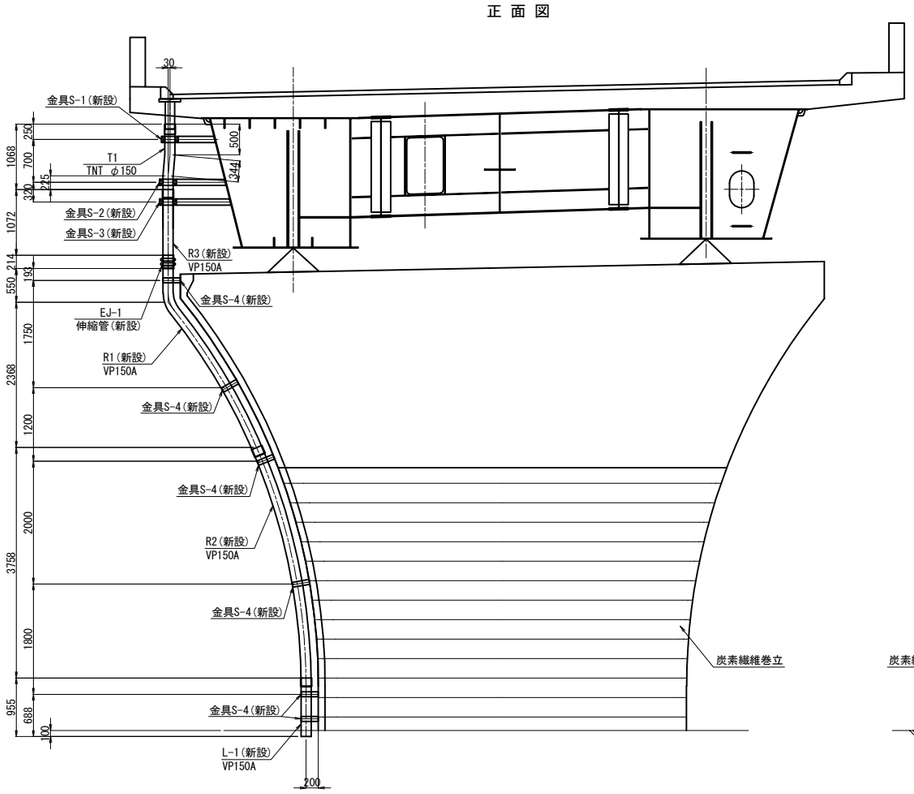
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	31 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

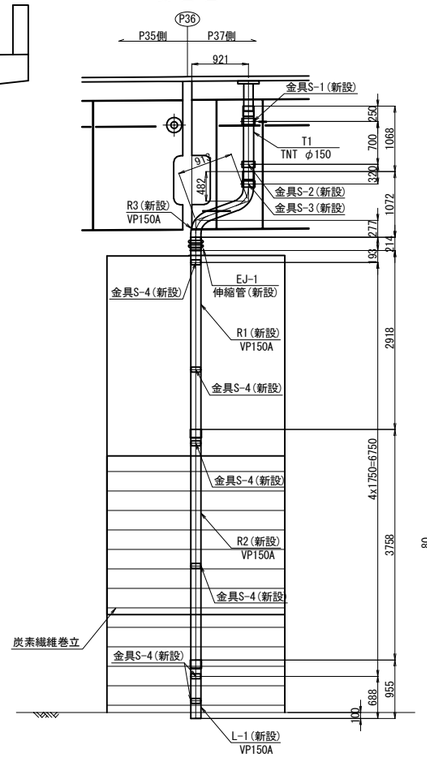
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

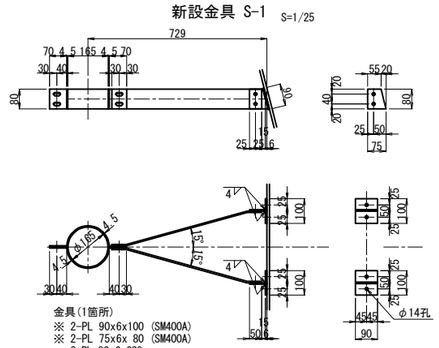
正 面 図



側 面 図

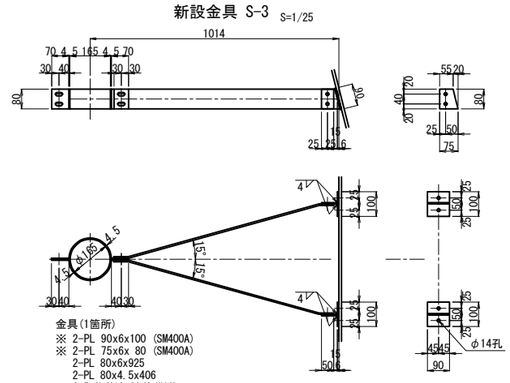


新設金具 S-1 S=1/25



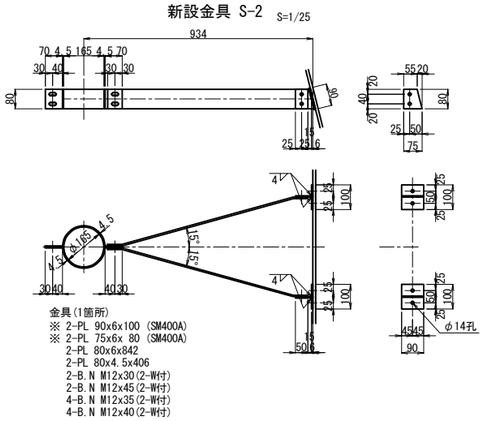
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x629
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



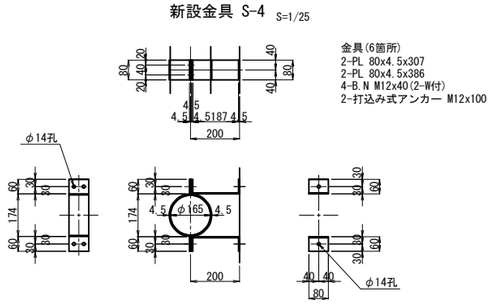
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x925
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



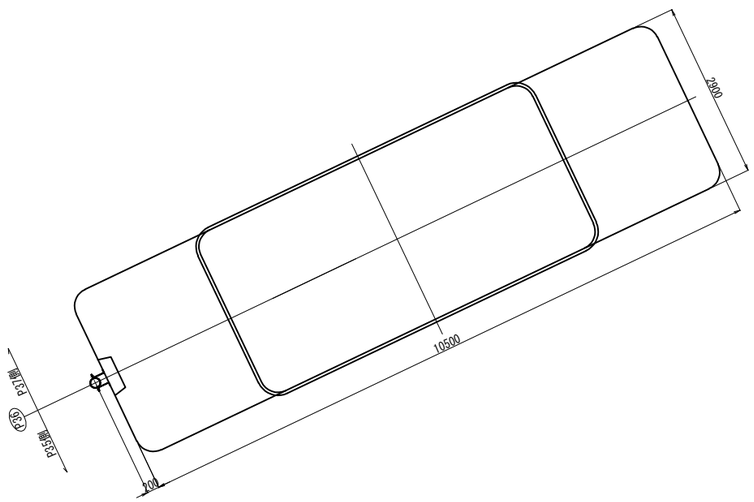
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x842
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25

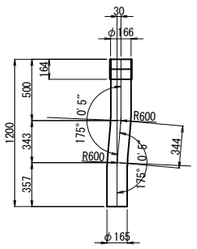


金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

平 面 図

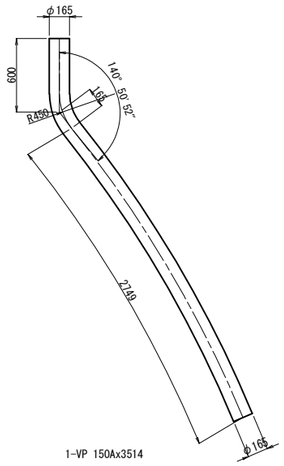


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



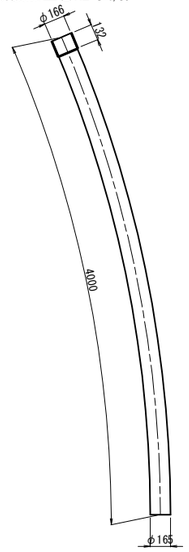
1-TNT φ150x1201

新設加工管R1 S=1/50



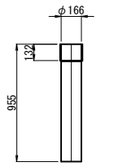
1-VP 150Ax3514

新設加工管R2 S=1/50



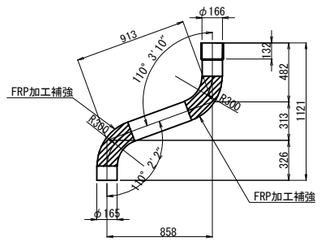
1-VP 150Ax4000

新設直管L-1 S=1/50



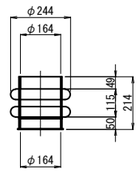
1-VP 150Ax955

新設加工管 R3 S=1/50



1-VP 150Ax1721

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



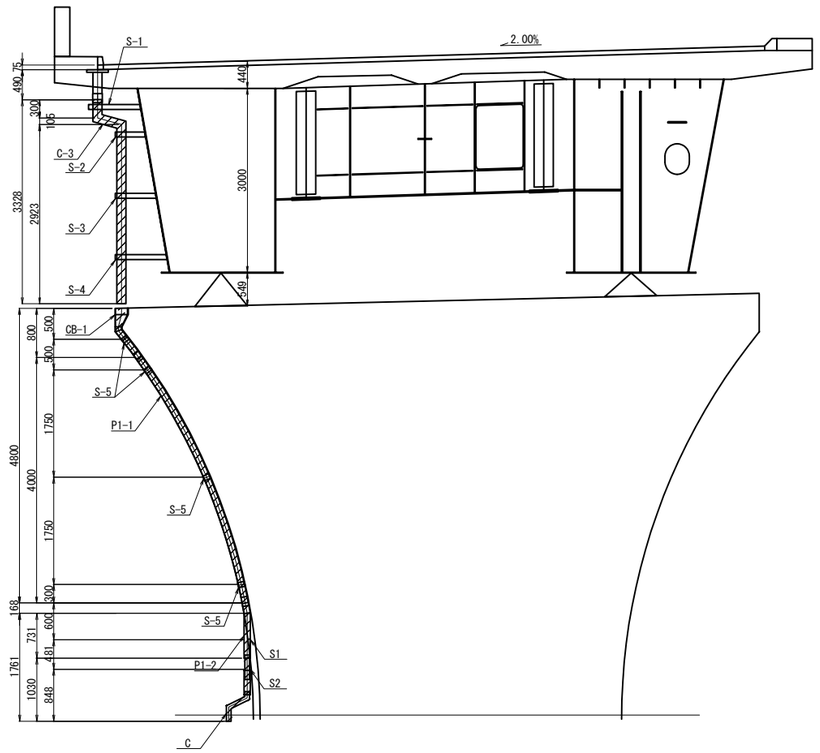
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　　尺	図示	図面番号	32 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

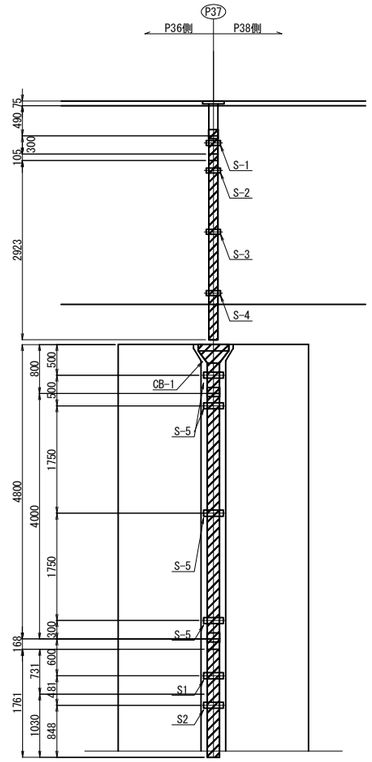
小櫃川第二橋（下り線）P37橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

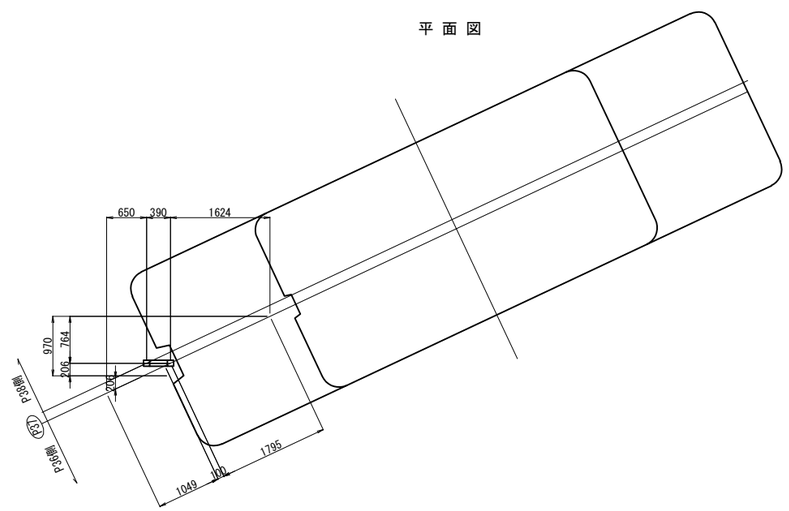
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-3	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-5	個	4
	S1	個	1
	S2	個	1
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.164
撤去重量		kg	325

凡例

▨ ：撤去

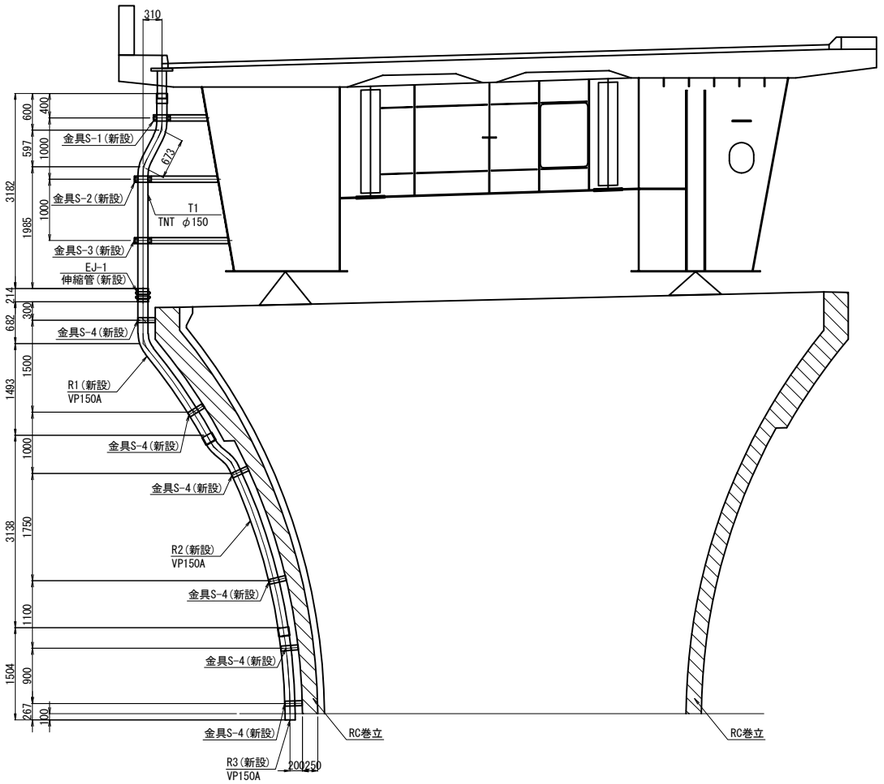
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P37橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	33 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

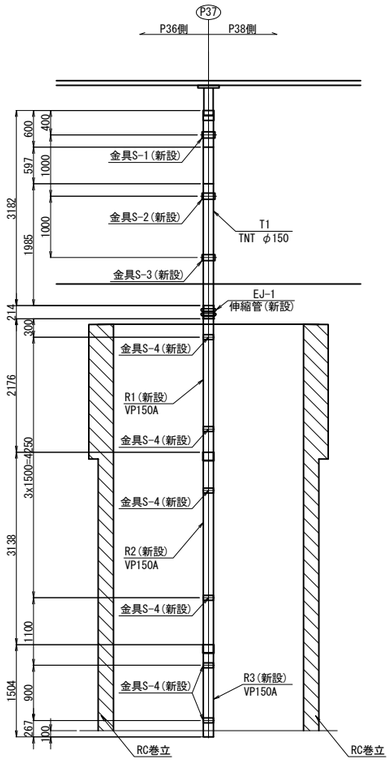
小櫃川第二橋（下り線）P37橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

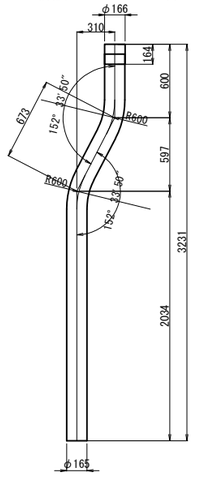
正 面 図



側 面 図

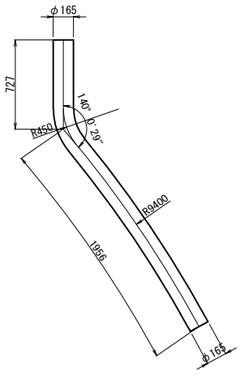


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



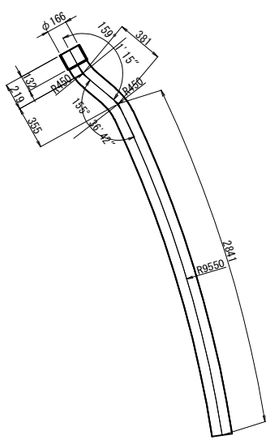
1-TNT φ150x3307

新設曲管R1 S=1/50



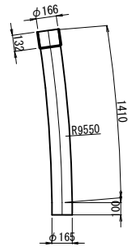
1-VP 150Ax2683

新設曲管R2 S=1/50



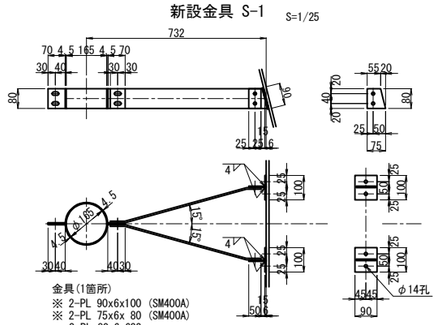
1-VP 150Ax3441

新設曲管R3 S=1/50

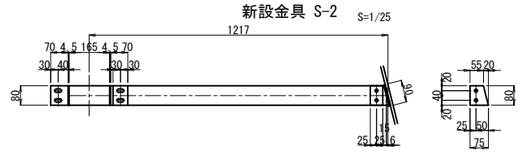


1-VP 150Ax1510

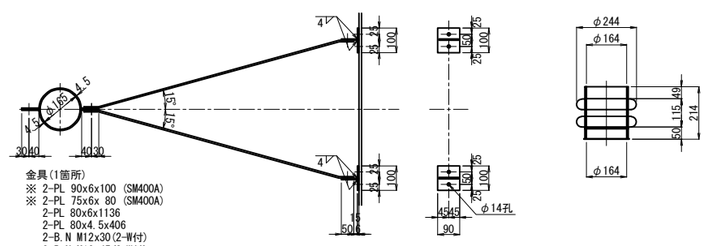
新設金具 S-1 S=1/25



新設金具 S-2 S=1/25

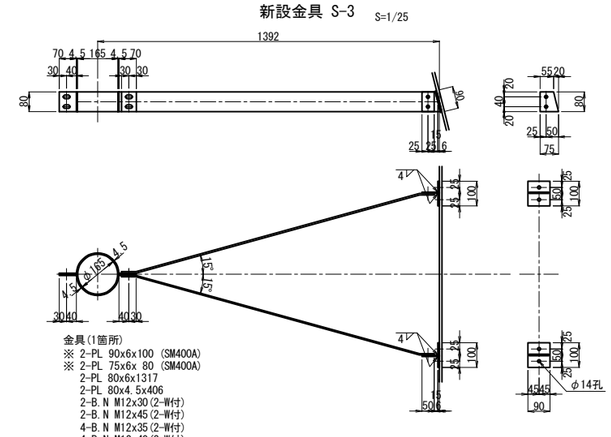


新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



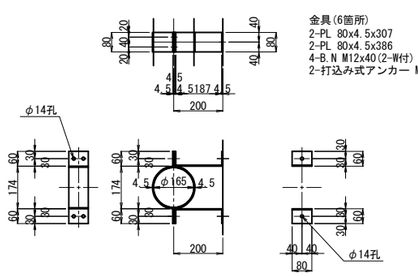
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1136
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



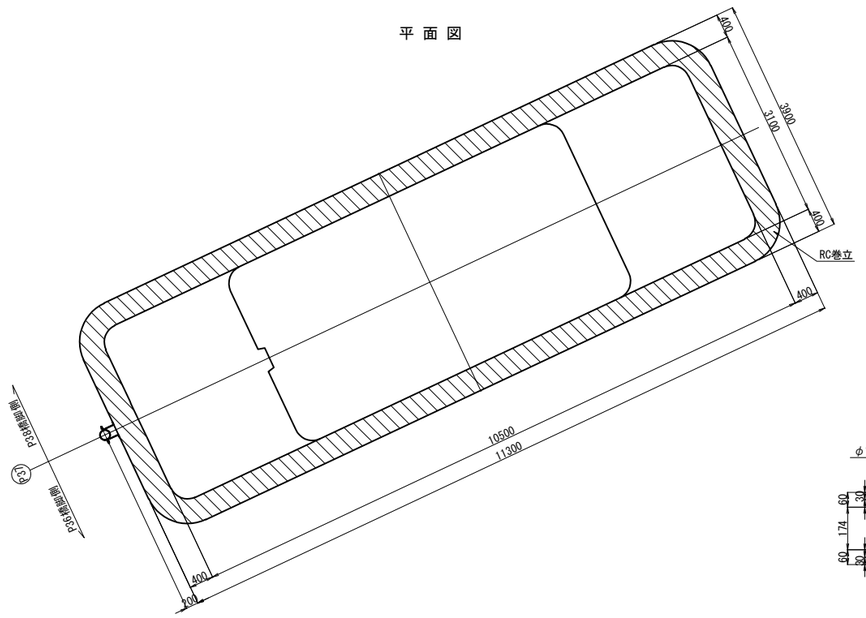
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1317
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

平 面 図



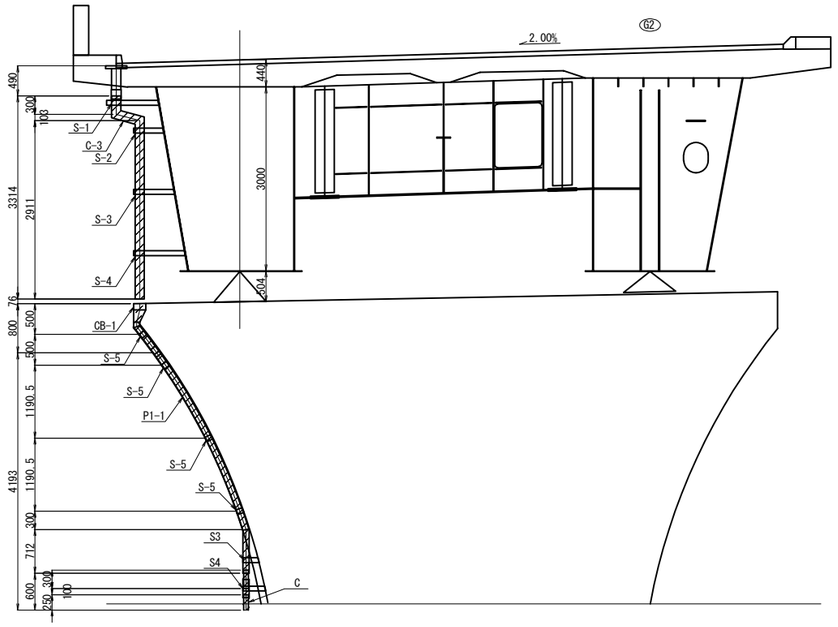
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P37橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	34 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

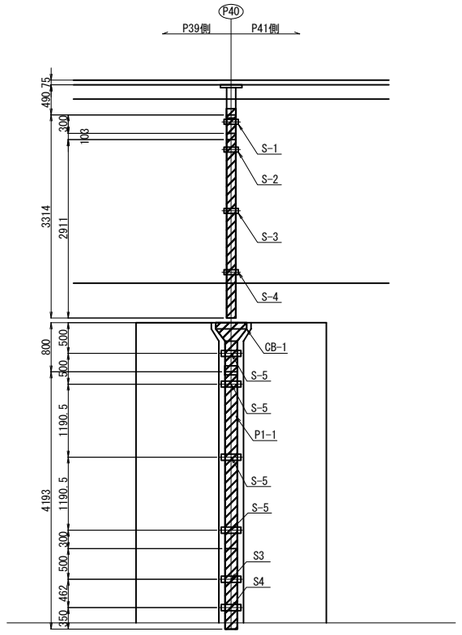
小櫃川第二橋（下り線）P40橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

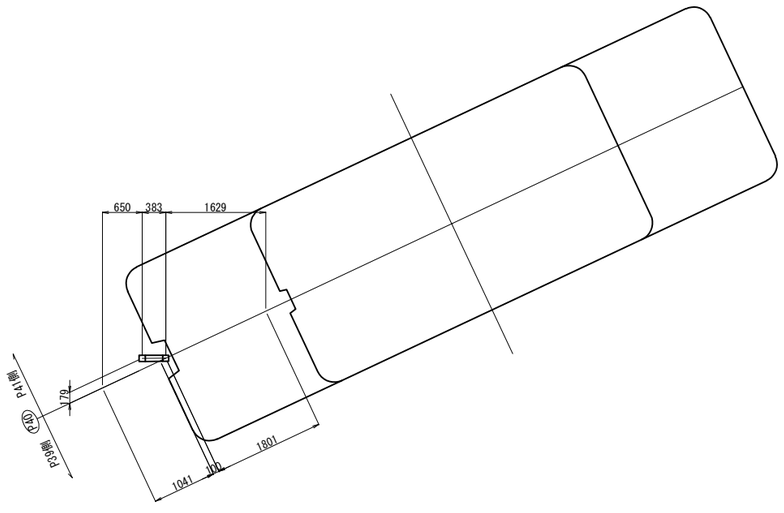
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-3	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
取付金具	S-5	個	4
	S3	個	1
	S4	個	1
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.175
撤去重量		kg	286

凡例

▨ ：撤去

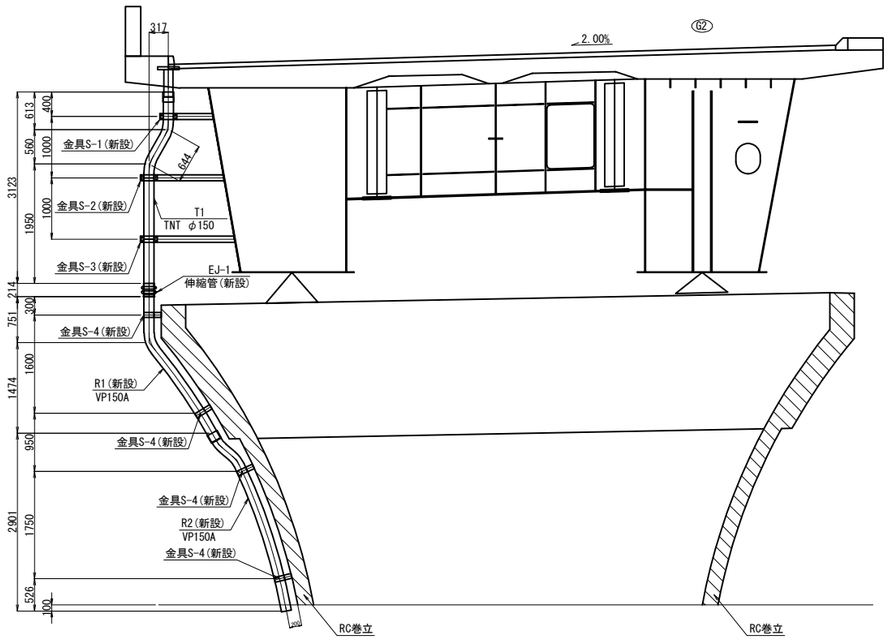
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P40橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	35 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

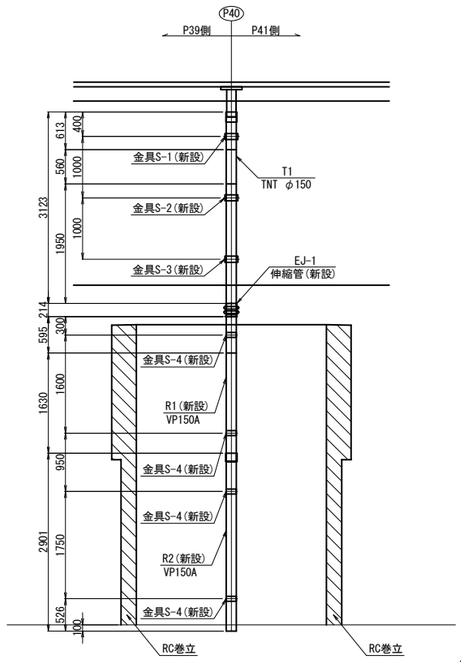
小櫃川第二橋（下り線）P40橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

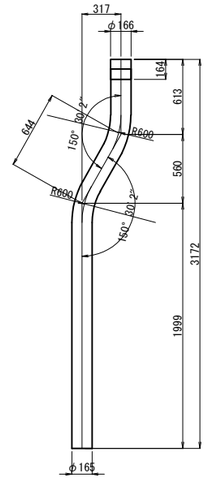
正 面 図



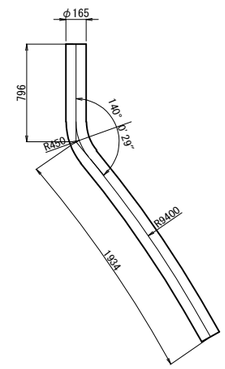
側 面 図



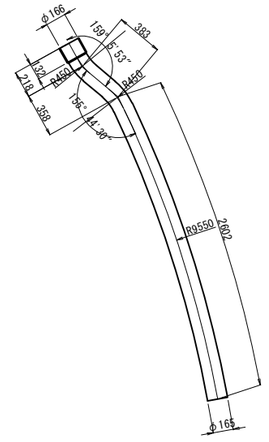
新設フレキシブル管 T1 S=1/50



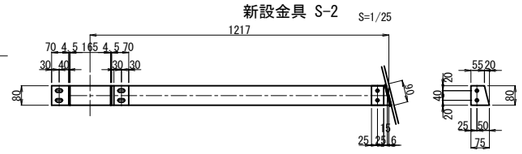
新設曲管R1 S=1/50



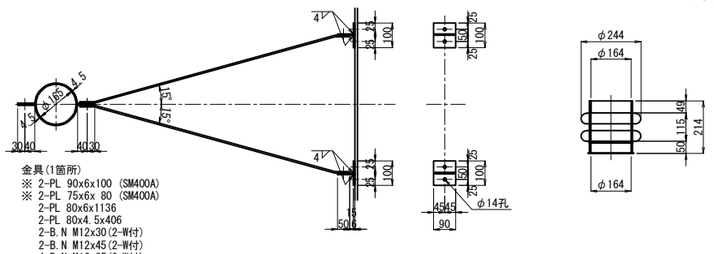
新設曲管R2 S=1/50



新設金具 S-2 S=1/25

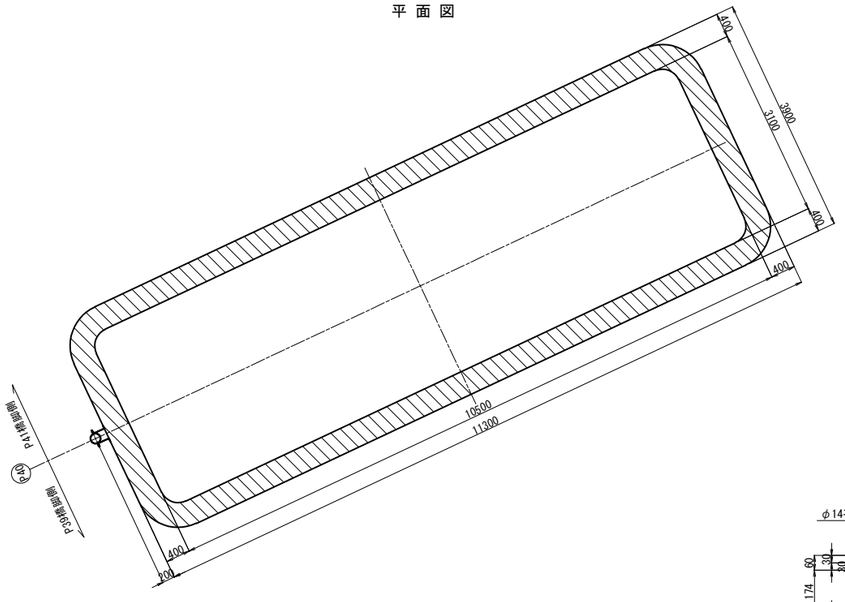


新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

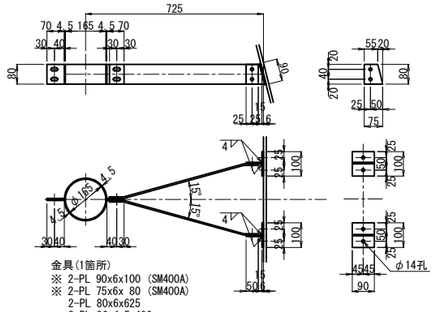


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1136
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

平 面 図

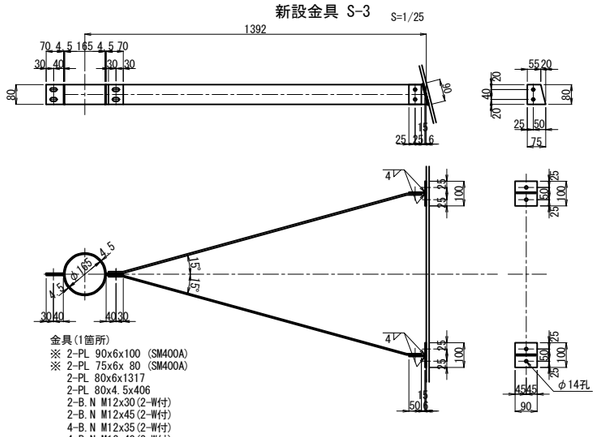


新設金具 S-1 S=1/25



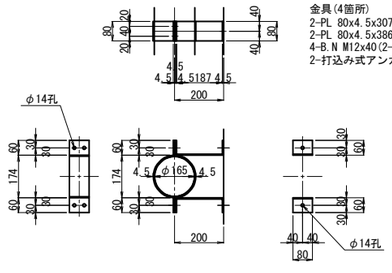
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x1317
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(4箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

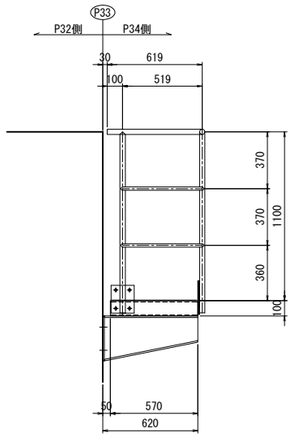
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P40橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	36 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

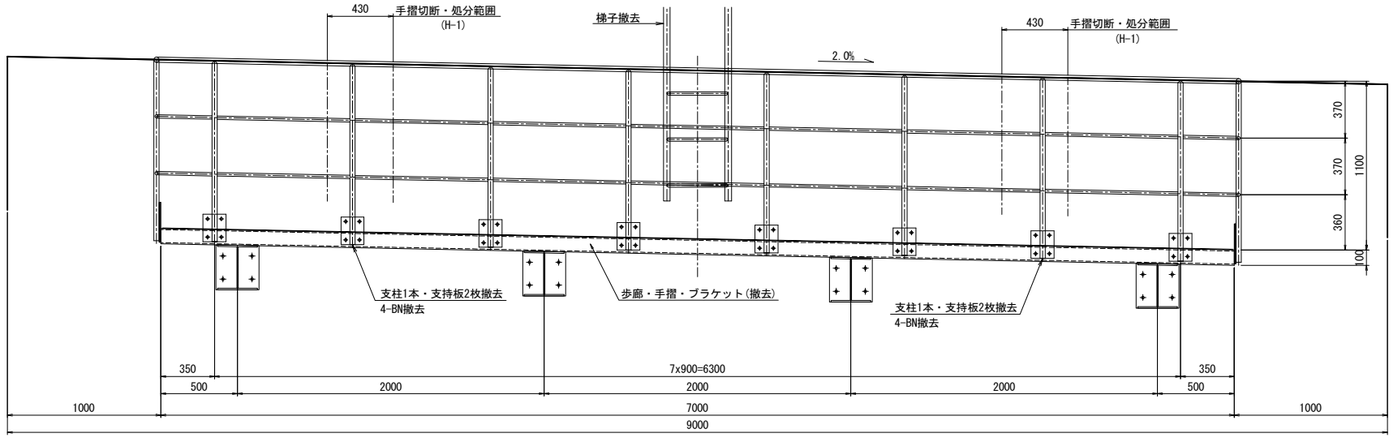
小櫃川第二橋（上下線）P33橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/40

撤去工　検査路B

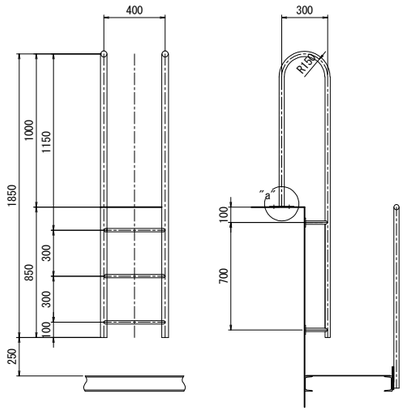
B － B

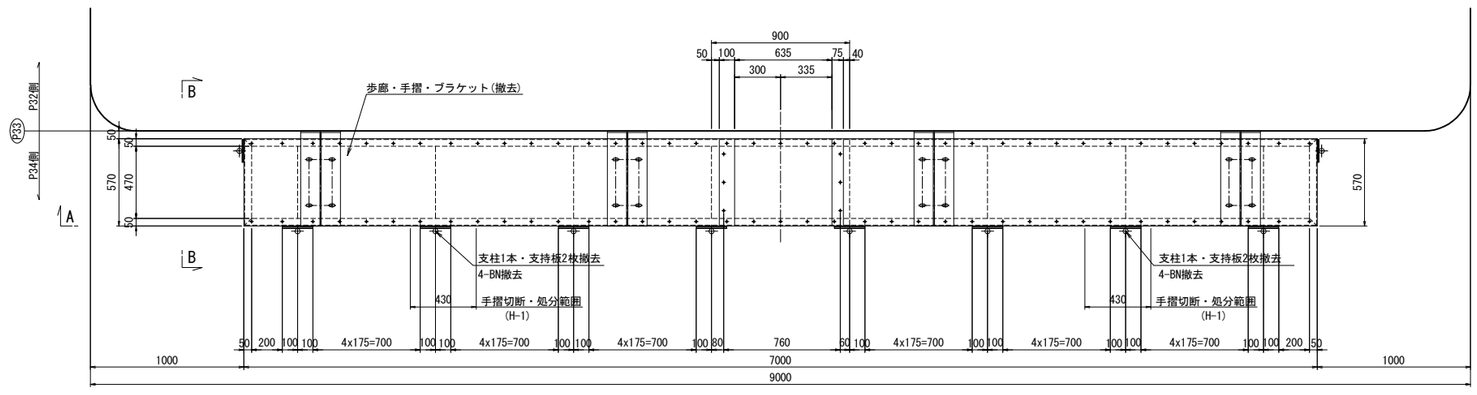


A － A

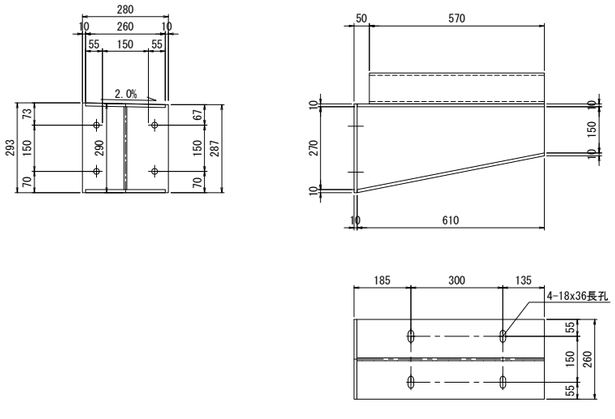


梯子詳細図

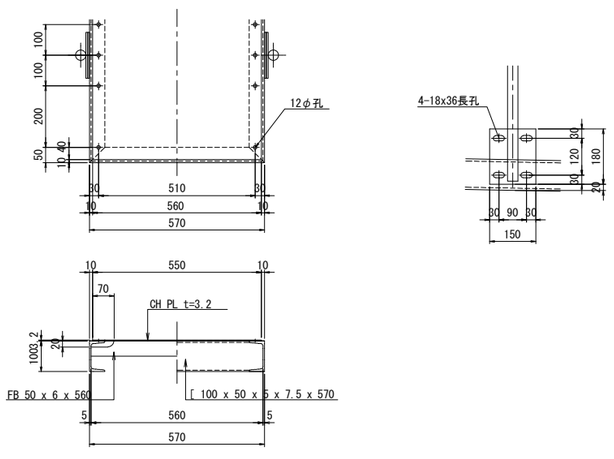




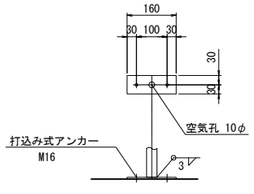
ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



"a"部詳細図　S=1/20



撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=2)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430　(STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 152　(STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 252　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 180
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

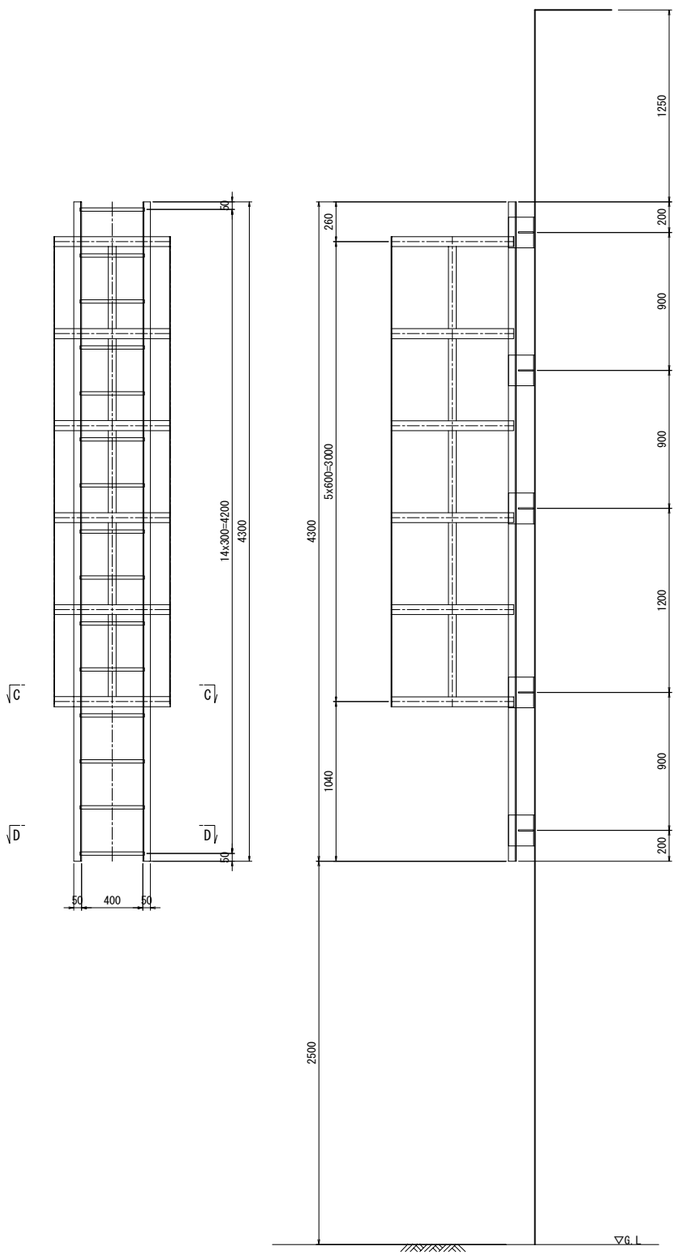
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） P33橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	37 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

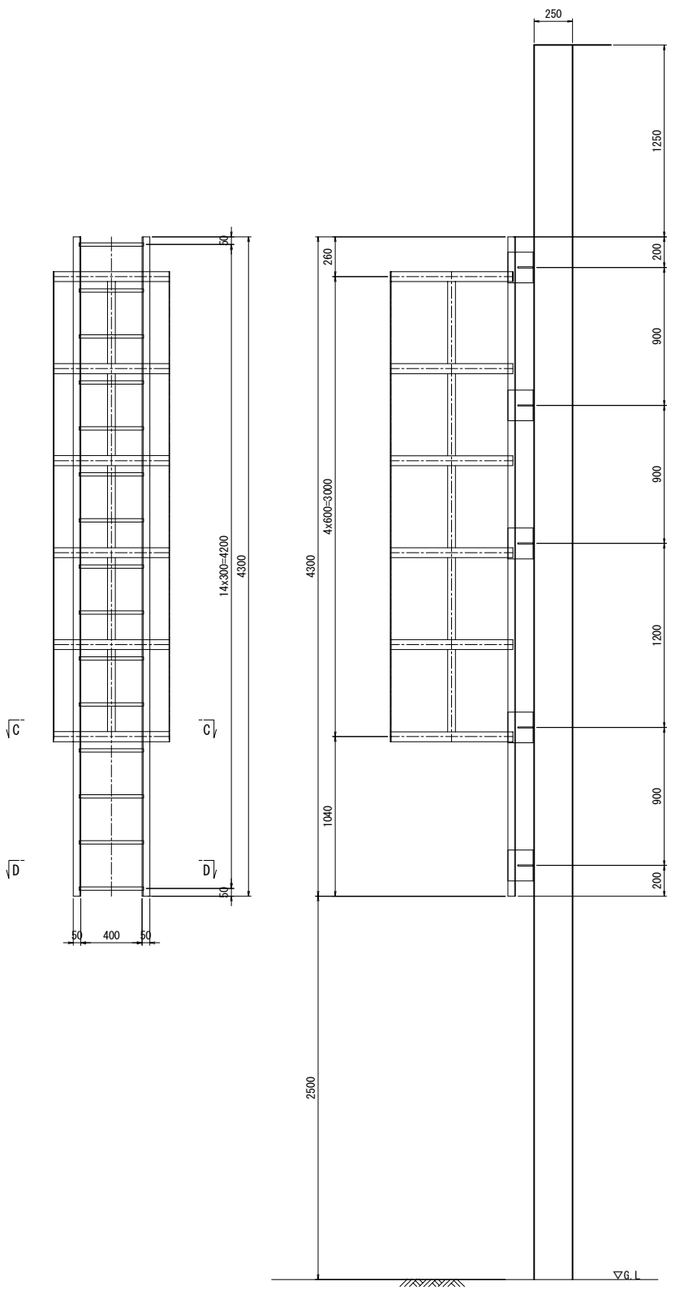
小櫃川第二橋（上下線）P33橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

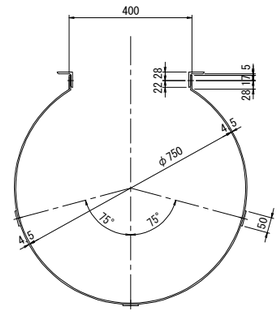
昇降設備　撤去



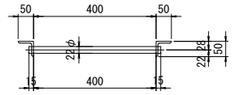
昇降設備　設置



C － C



D － D S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 4300
15 － RB 22φ x 430
3 － FB 50 x 4.5 x 3050
6 － FB 50 x 4.5 x 2020
30 － BN M16 x 45(2-W)
5 － PL 200 x 8 x 728
10 － PL 100 x 8 x 100

設置工　検査路B

新規材料

20 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

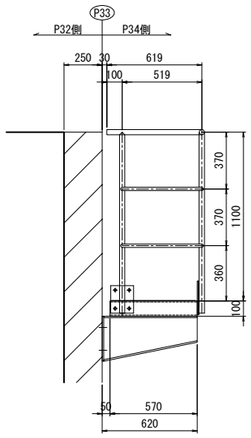
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641 によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作するにと。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） P33橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　　尺	図示	図面番号	38 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

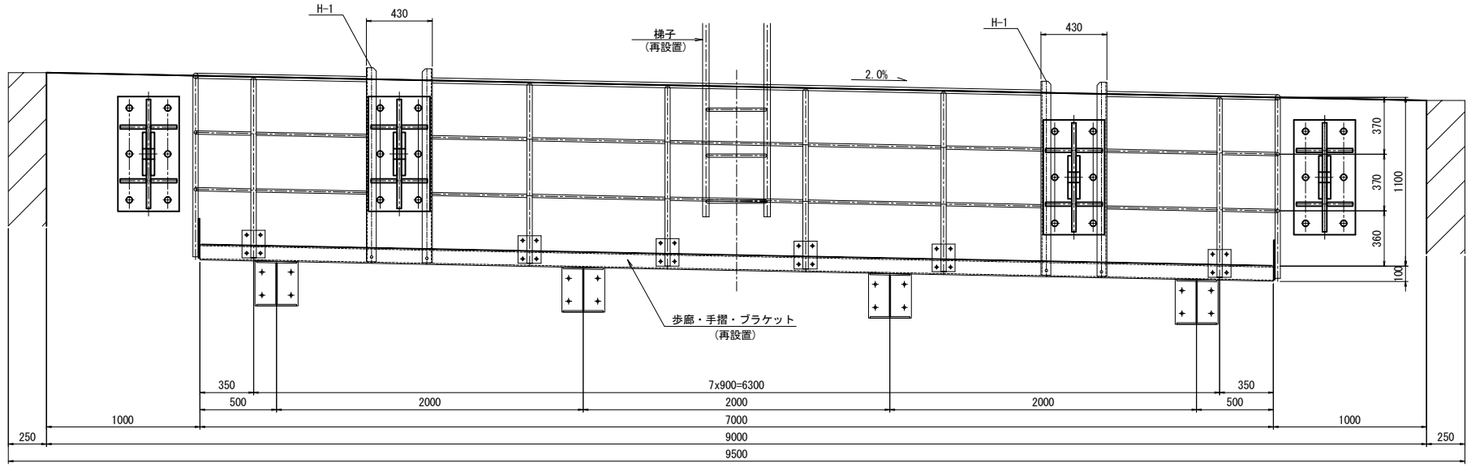
小櫃川第二橋（上下線）P33橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3) S=1/40

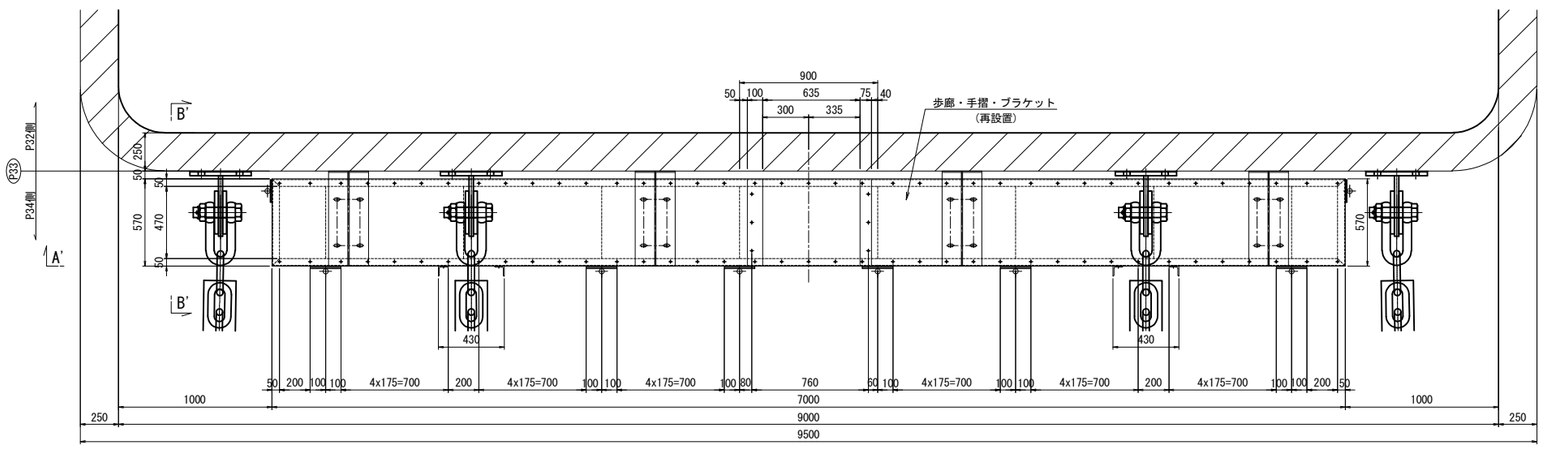
撤去・設置工　検査路B

B’ - B’



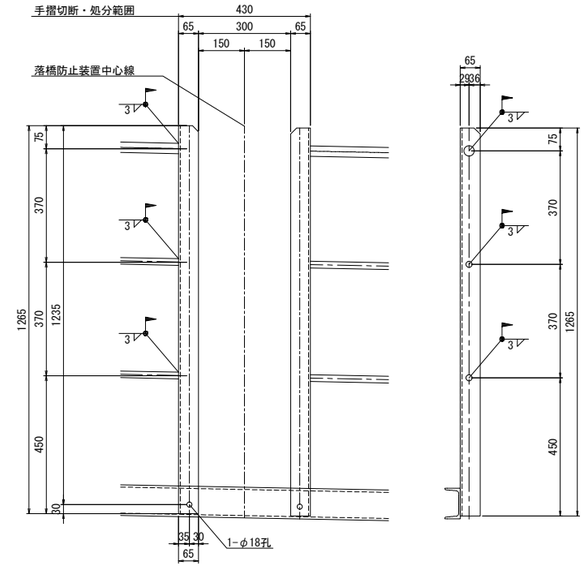
A’ - A’

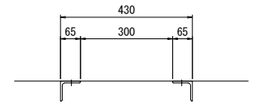




手摺切断部詳細図　S=1/20

H-1





設置工　検査路B

新規材料 (n=2)

手摺切断部 (H-1)
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100

撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 3971 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 1131 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
8 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 377 (STK400)
6 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 722 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 622 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
16 - PL 150 x 6 x 180
32 - BN M16 x 45 (2-W)

1 - CH PL 550 x 3.2 x 3125
1 - CH PL 550 x 3.2 x 3125
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
4 - PL 100 x 9 x 560
4 - PL 260 x 10 x 550
8 - FB x 50 x 6 x 560
1 - L 75 x 75 x 6 x 560
1 - L 100 x 100 x 7 x 560
1 - PL 70 x 6 x 635
74 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW付)

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - U.FLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - L.FLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50 (2-W付)
1 - PL 280 x 10 x 290

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe 34φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB 22φ x 400
6 - PL 60 x 6 x 160

マンホール再利用材料 (n=1)
1 - CH PL 450 x 3.2 x 645
2 - FB x 50 x 6 x 545
2 - FB x 50 x 6 x 238
1 - RB 16φ x 460
2 - BN M12 x 30 (1-W付)

蝶番い再利用材料 (n=1)
5 - Pipe 34φ x 2.3 x 60 (STK400)
1 - RB x 25φ x 370

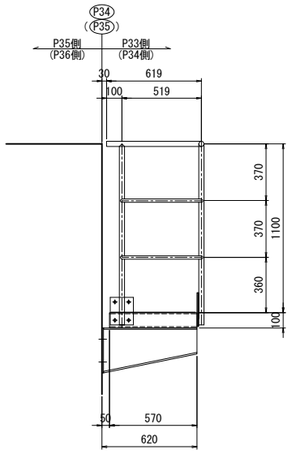
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） P33橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	図示	図面番号	39 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

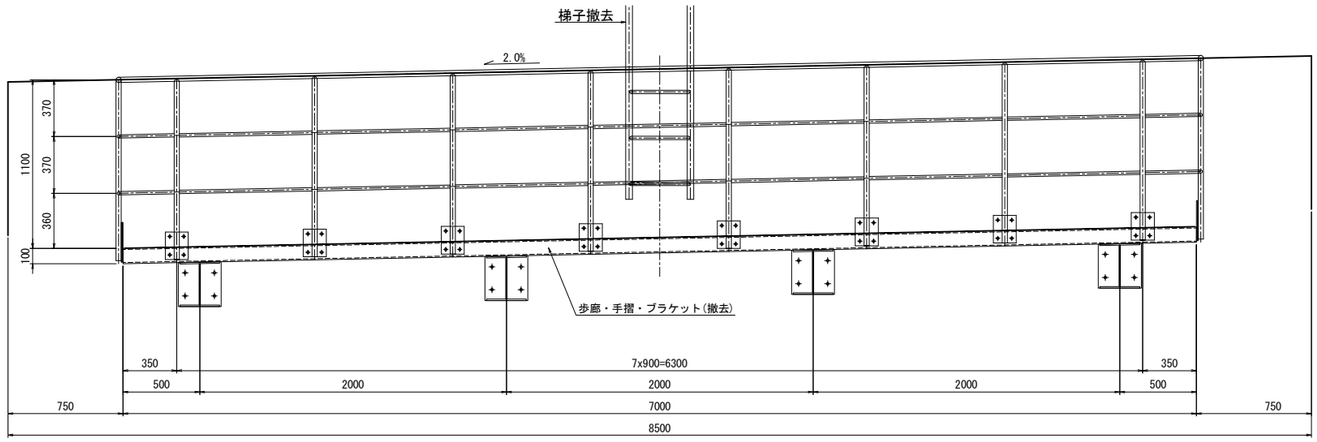
小櫃川第二橋（上下線）P34,P35橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

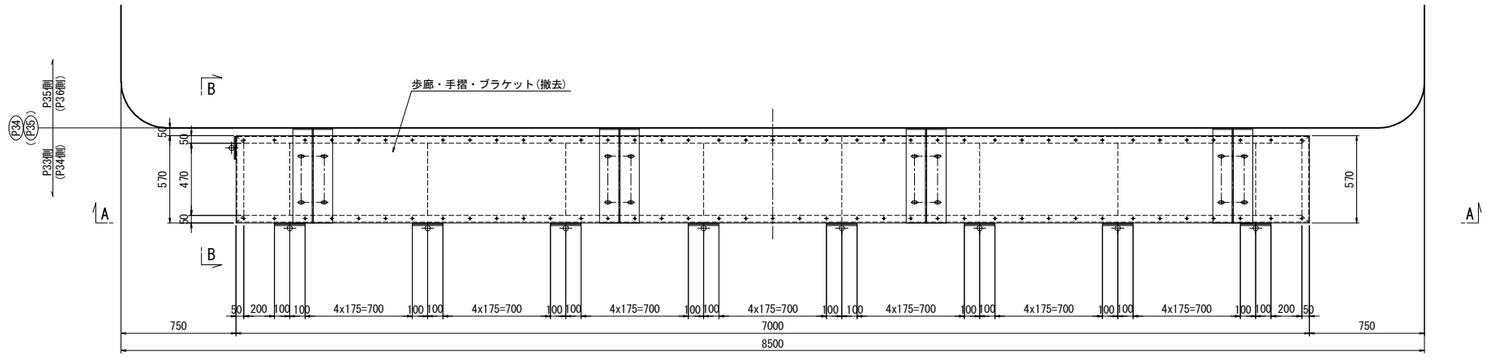
撤去工　検査路B

B － B



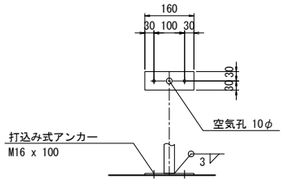
A － A



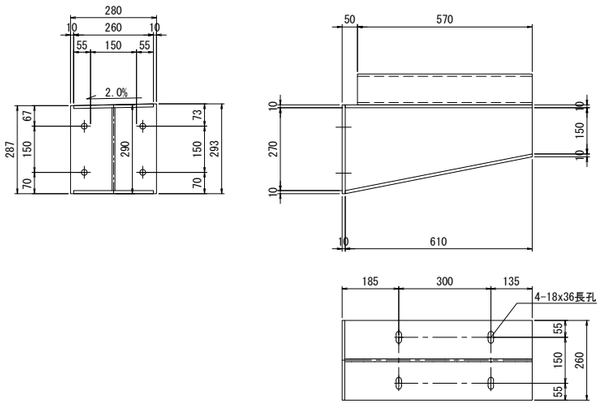


梯子詳細図

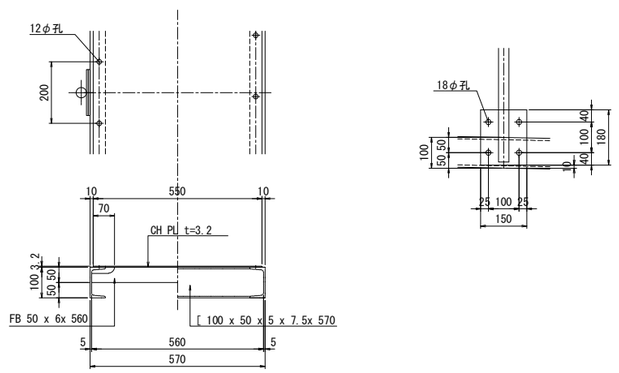
"a"部詳細図　S=1/20



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

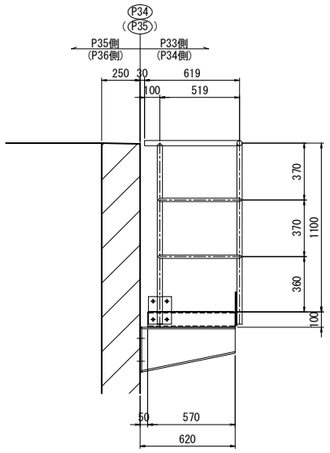
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） P34,P35橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	40 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

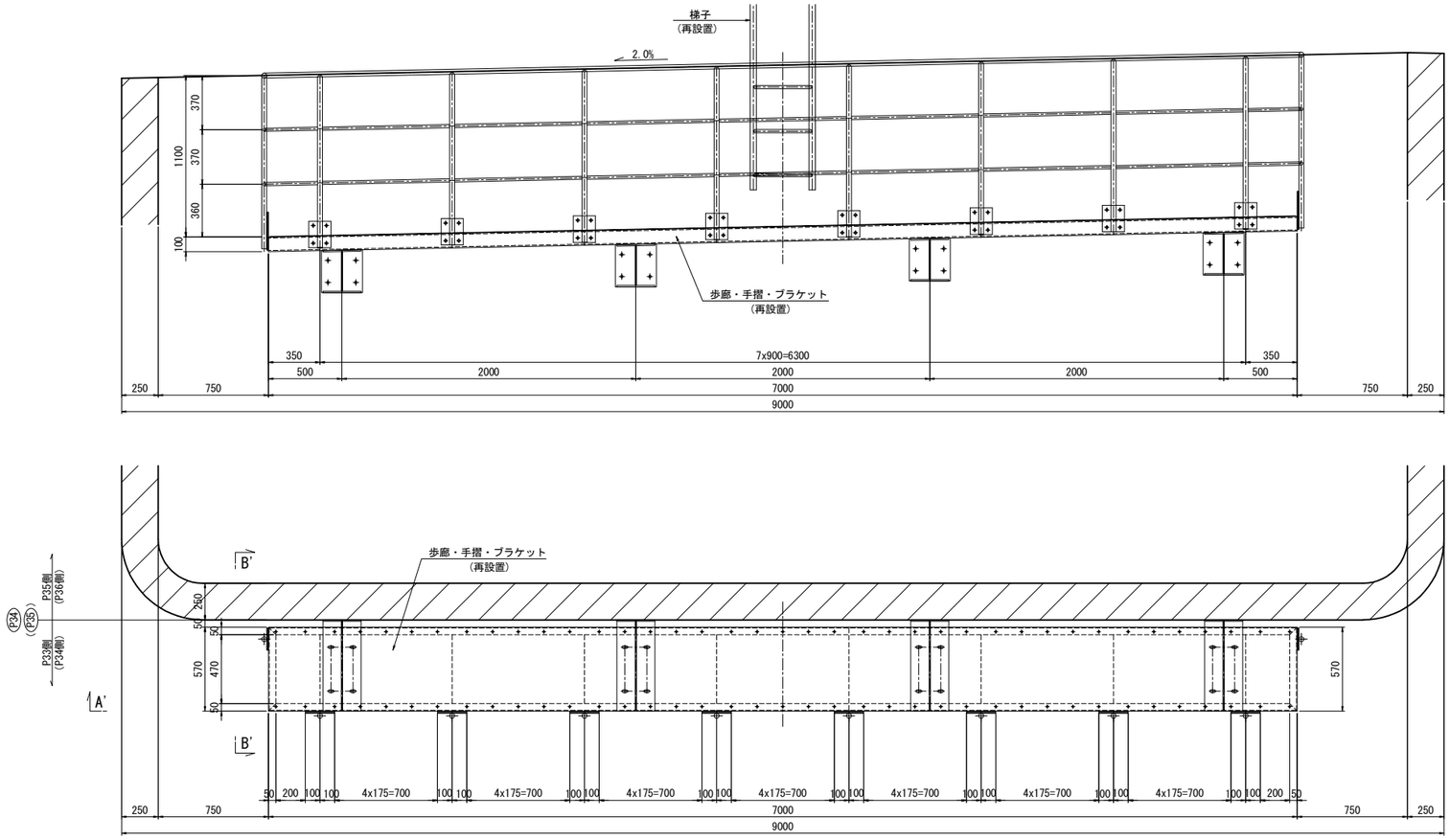
小櫃川第二橋（上下線）P34,P35橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

撤去・設置工　検査路B

B' － B'



A' － A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 － Pipe 34φ x 2.3 x 7092 （STK400）
2 － Pipe 34φ x 2.3 x 636 （STK400）
10 － Pipe 34φ x 2.3 x 1180 （STK400）
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 377 （STK400）
14 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 （STK400）
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 （STK400）
20 － PL 150 x 6 x 180
40 － BN M16 x 45 （2-W付）
1 － CH PL 550 x 3.2 x 6950
2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
4 － PL 100 x 9 x 560
4 － PL 260 x 10 x 550
8 － FB x 50 x 6 x 560
78 － BN M10 x 30 （2-W付）

ブラケット再利用材料（n=4）
1 － U.FLG PL 260 x 10 x 610
1 － WEB PL 270 x 9 x 610
1 － L.FLG PL 260 x 10 x 622
4 － BN M16 x 50 （2-W付）
1 － PL 280 x 10 x 290

梯子再利用材料（n=1）
2 － Pipe 34φ x 2.3 x 3015 （STK400）
4 － Pipe 34φ x 2.3 x 144 （STK400）
3 － RB 22φ x 400
6 － PL 60 x 6 x 160

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 － 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
12 － 打込み式アンカー　M16 x 100

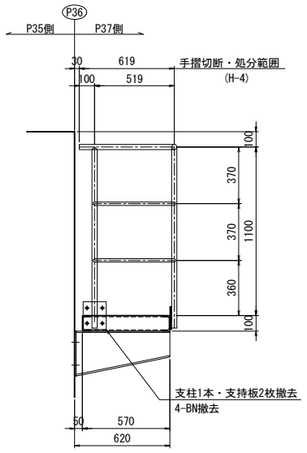
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） P34,P35橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	41 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

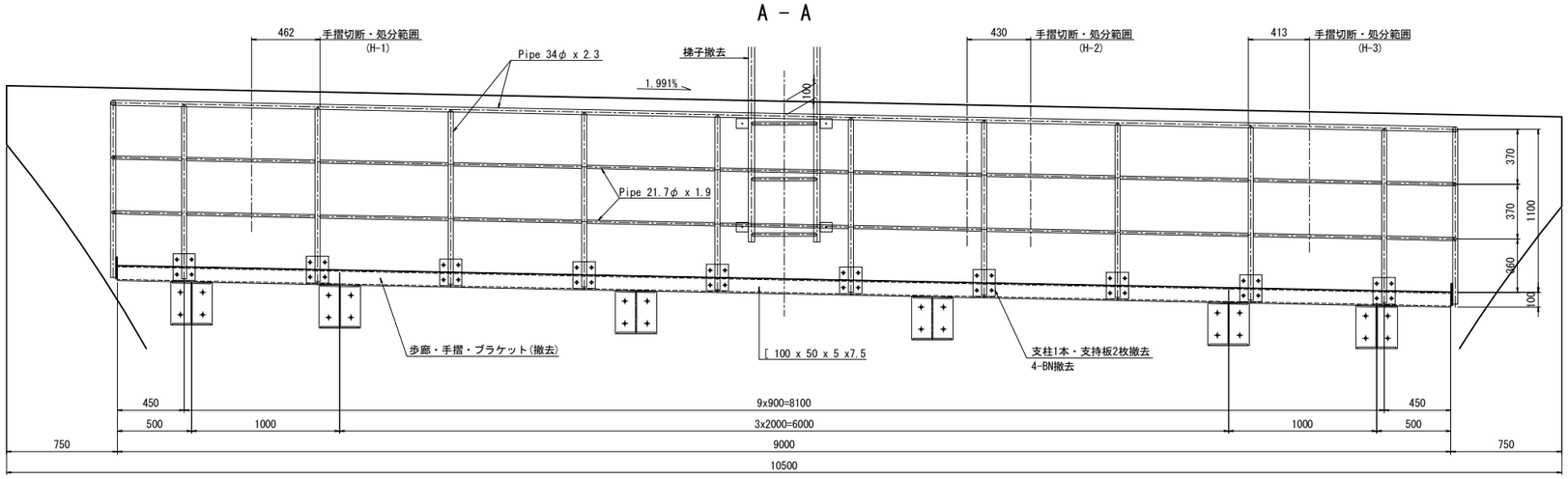
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

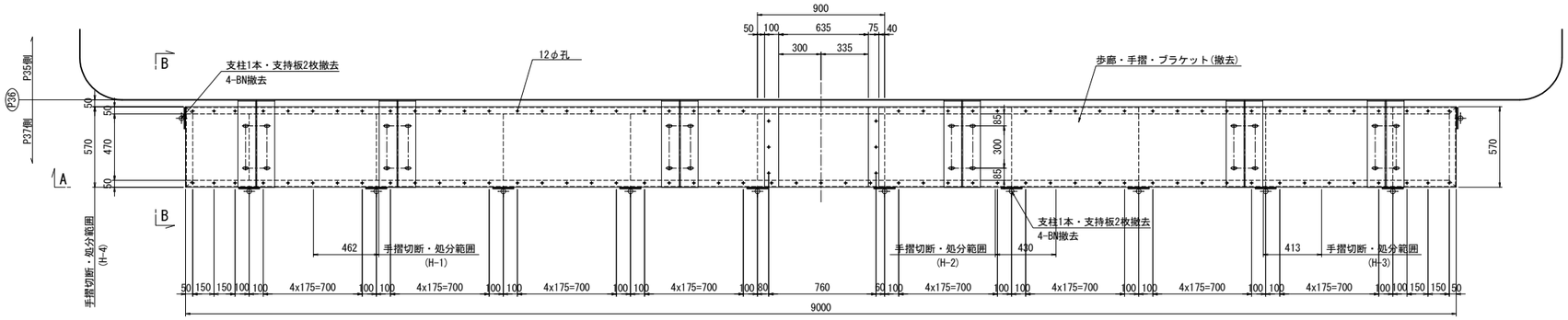
撤去工　検査路B

B － B

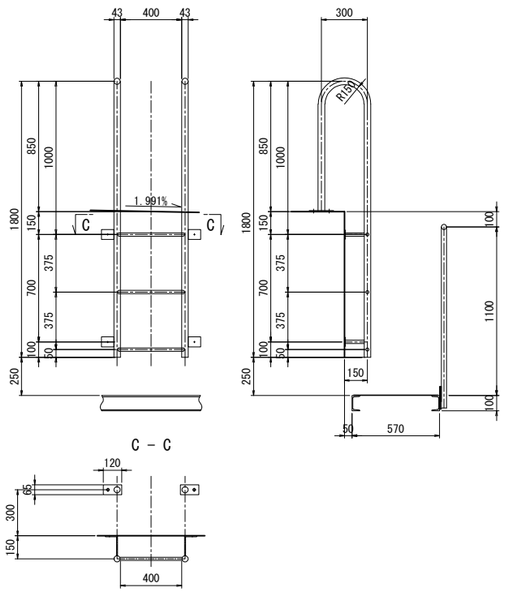


A － A

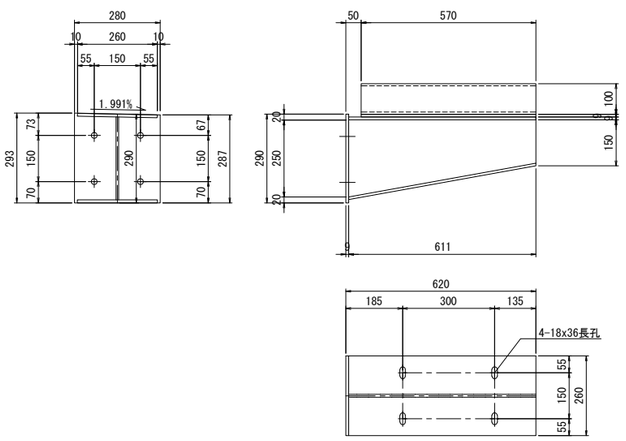




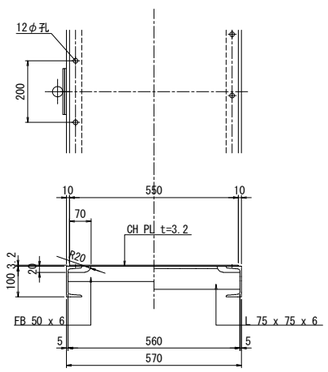
梯子詳細図

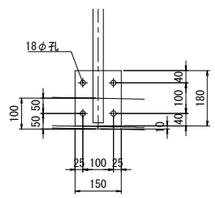


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 462 (STK400)
2 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 462 (STK400)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 103 (STK400)
2 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 301 (STK400)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
2 － PL 150 x 6 x 183
4 － BN M16 x 45 (2-W付)

既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 413 (STK400)
2 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 413 (STK400)

既設手摺

H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 619 (STK400)
2 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 519 (STK400)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
2 － PL 150 x 6 x 183
4 － BN M16 x 45 (2-W付)

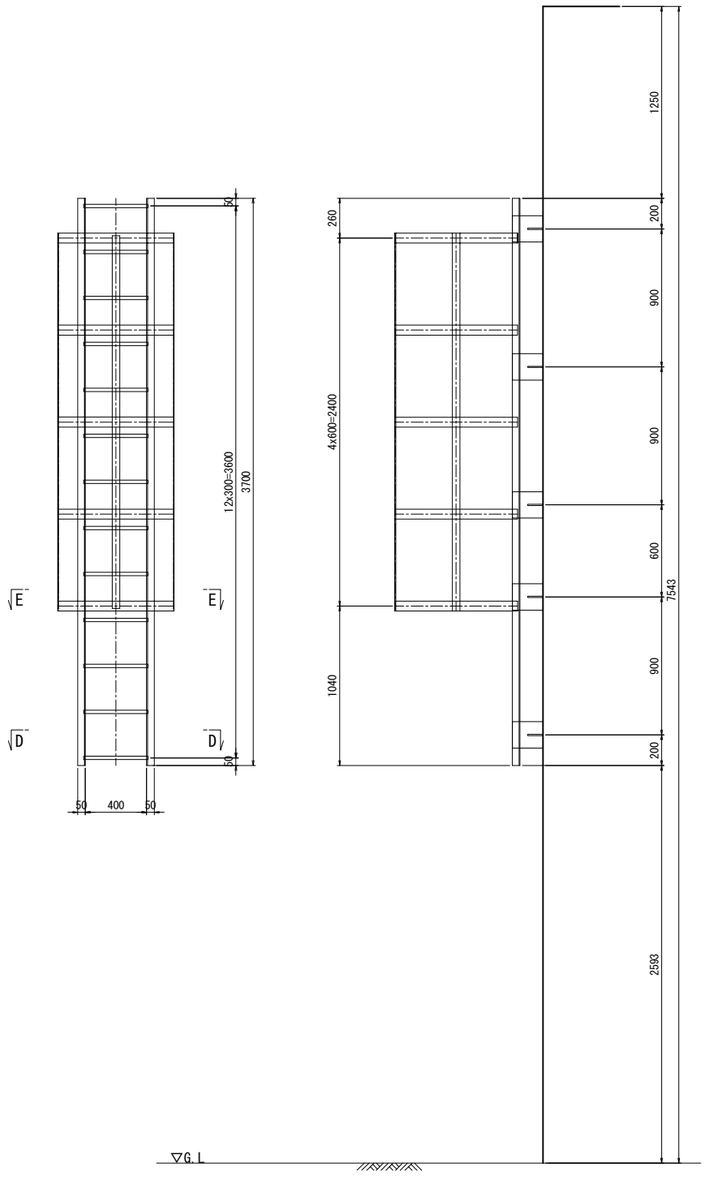
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	42 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

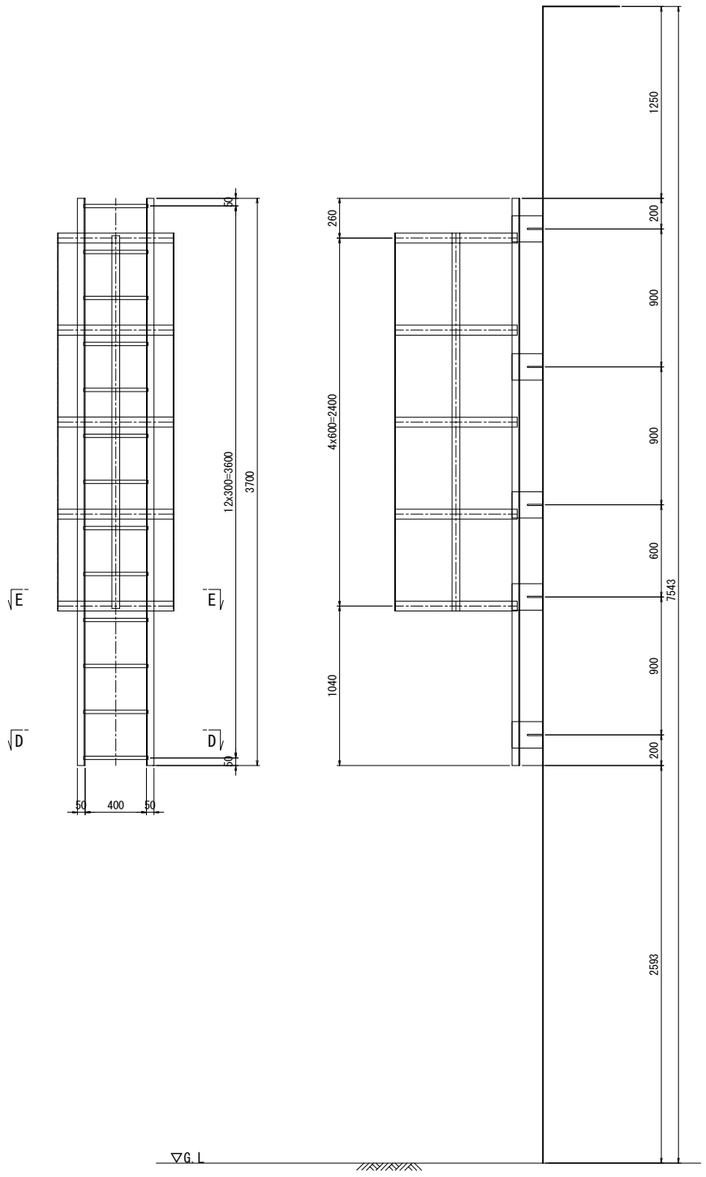
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

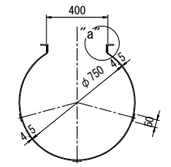
昇降設備　撤去



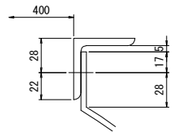
昇降設備　設置



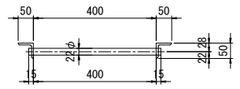
E － E



"a"部詳細図　S=1/5



D － D　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 3700
13 － RB 22ø x 430
3 － FB 50 x 4.5 x 2450
5 － FB 50 x 4.5 x 2020
25 － BN M16 x 45(2-W付)
5 － PL 200 x 8 x 400
10 － PL 100 x 8 x 100
10 － PL 200 x 8 x 172

設置工　検査路B

新規材料

20 － 打込み式アンカー　M16 x 100

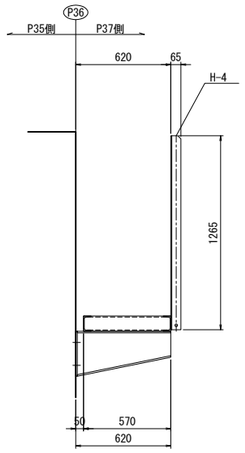
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	43 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

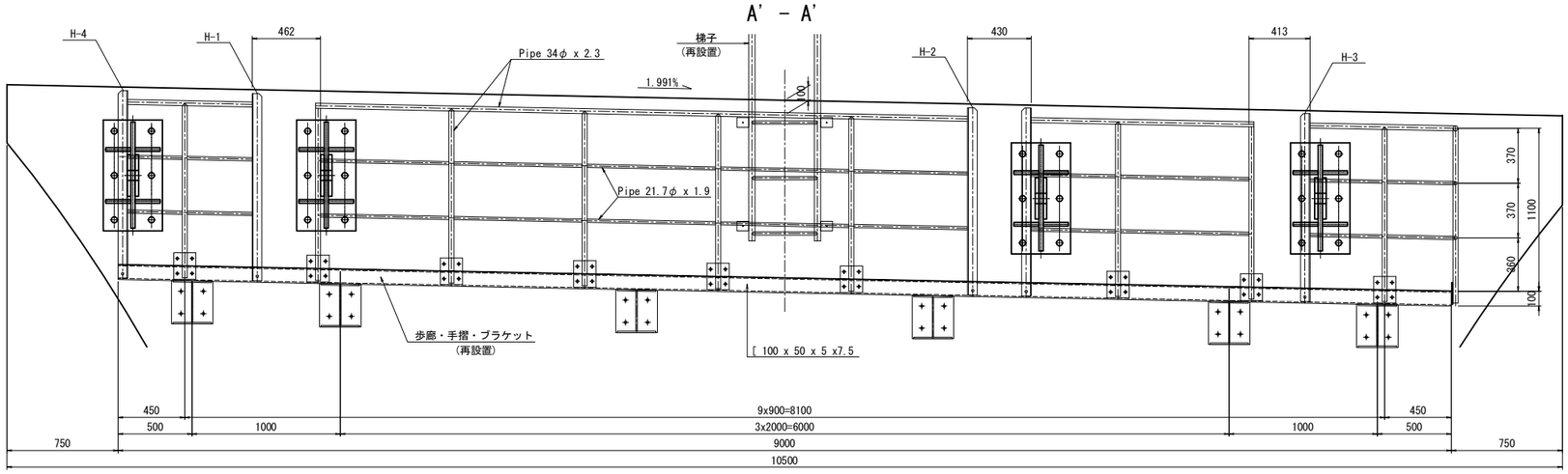
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/40

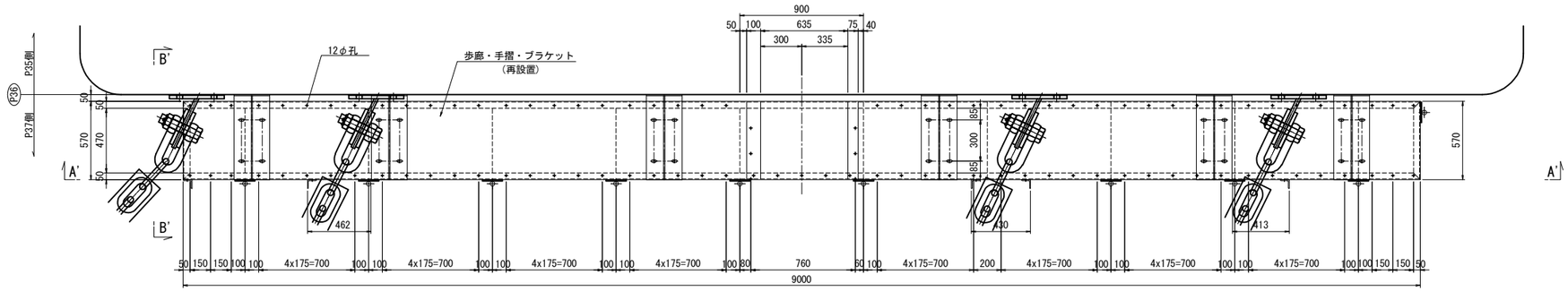
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 840 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 4402 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1503 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1000 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 460 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 372 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 442 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 771 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 569 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 491 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
20 - PL 150 x 6 x 183
40 - BN M16 x 45 (2-W付)
1 - L 100 x 100 x 7 x 560
2 - CH PL 550 x 3.2 x 4140
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
3 - L 75 x 75 x 6 x 560
10 - FB x 50 x 6 x 560
98 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
2 - FB 65 x 6x 120
4 - FB 50 x 6x 206
3 - RB 22φ x 400

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

マンホール再利用材料 (n=1)
1 - CH PL 450 x 3.2 x 648
2 - FB x 50 x 6 x 545
2 - FB x 50 x 6 x 238
2 - RB 16φ x 230
2 - BN M12 x 30 (1-W付)
1 - PL 75 x 6 x 635
1 - PL 45 x 6 x 125

蝶番い再利用材料 (n=1)
5 - Pipe 25A x 60 (SGP)
1 - RB 25φ x 370
2 - 割ピン径3.2

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

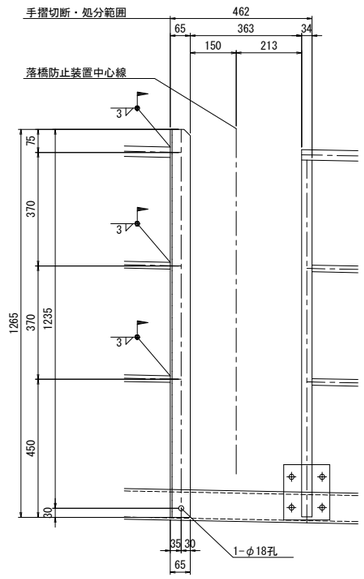
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	1:40	図面番号	44 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

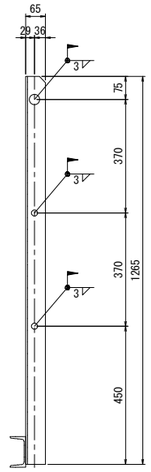
小櫃川第二橋（上り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

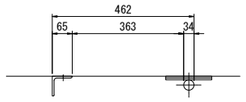
撤去・設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

H-1







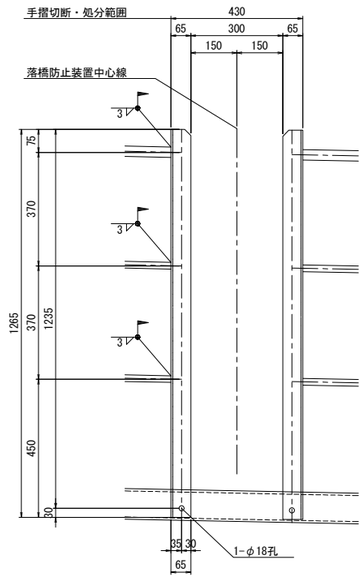
設置工　検査路B

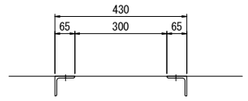
新規材料（n=1）
手摺切断部（H-1）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

H-2

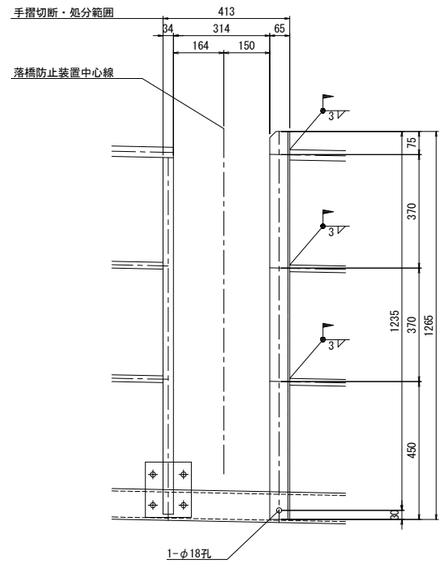


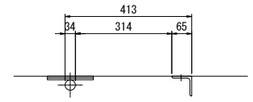


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-2）
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

H-3

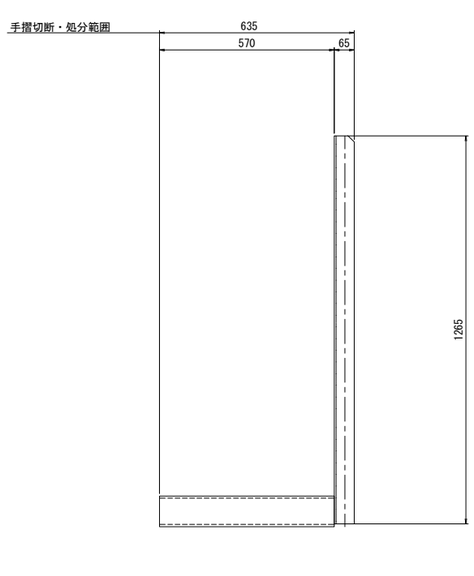


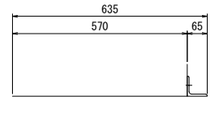


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-3）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

H-4





設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-4）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

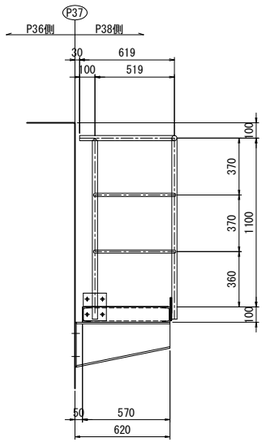
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　　尺	1:20	図面番号	45 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

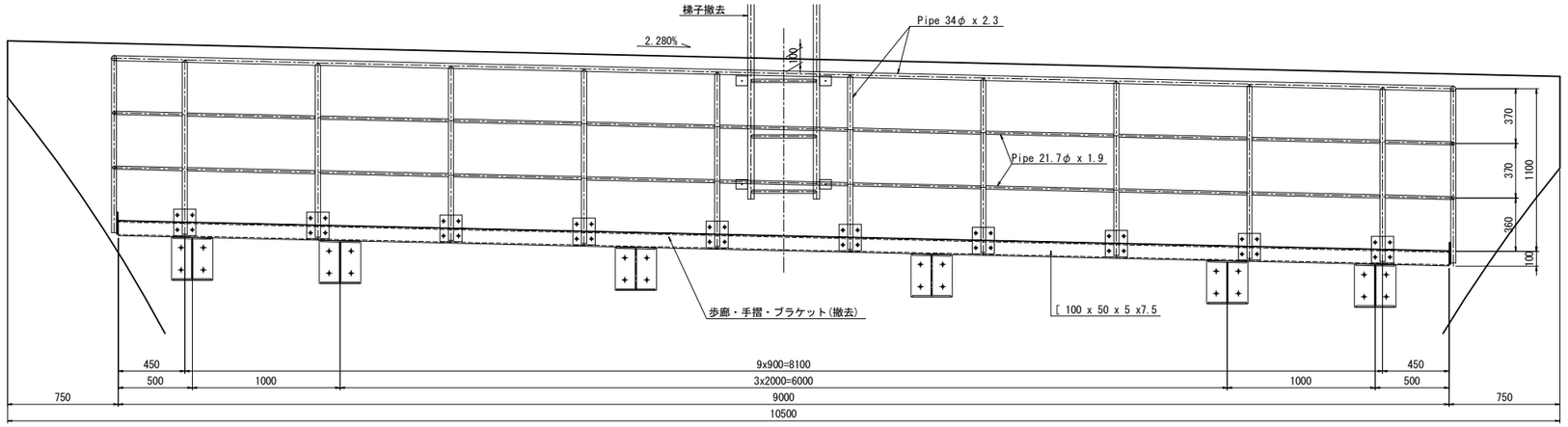
小櫃川第二橋（上り線）P37橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

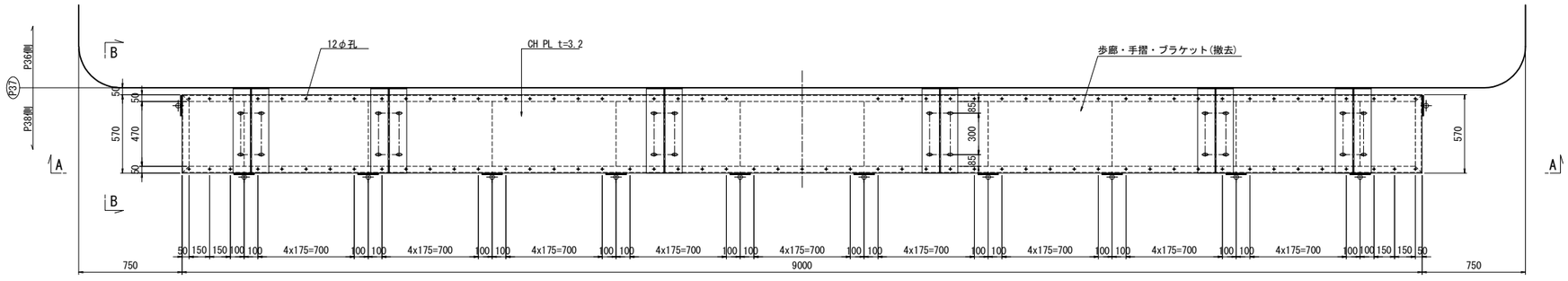
撤去工　検査路B

B - B

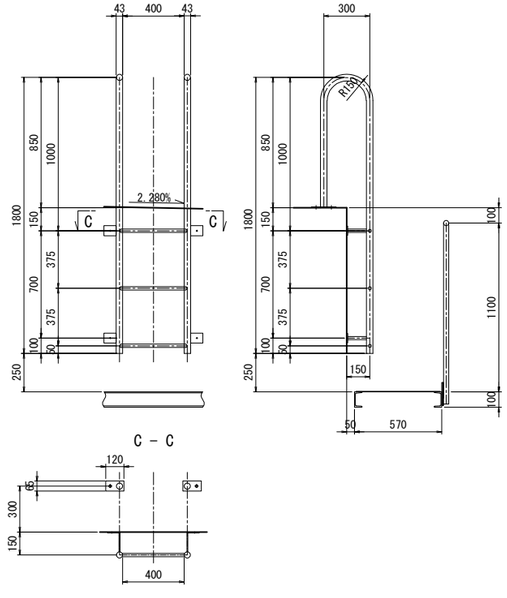


A - A

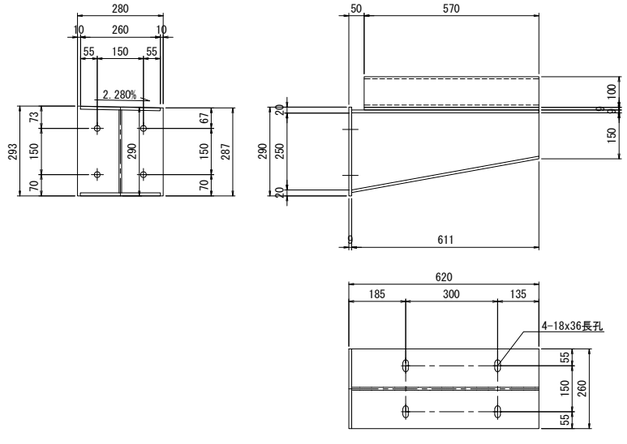




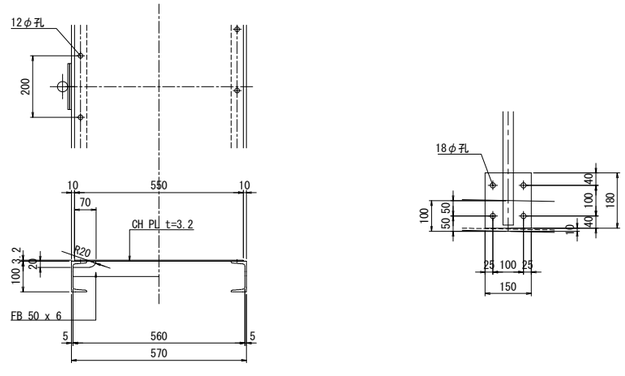
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

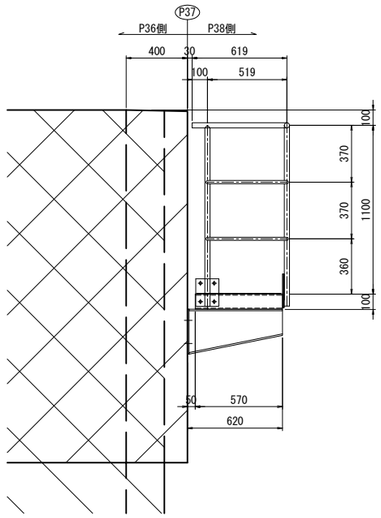
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P37橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	46 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

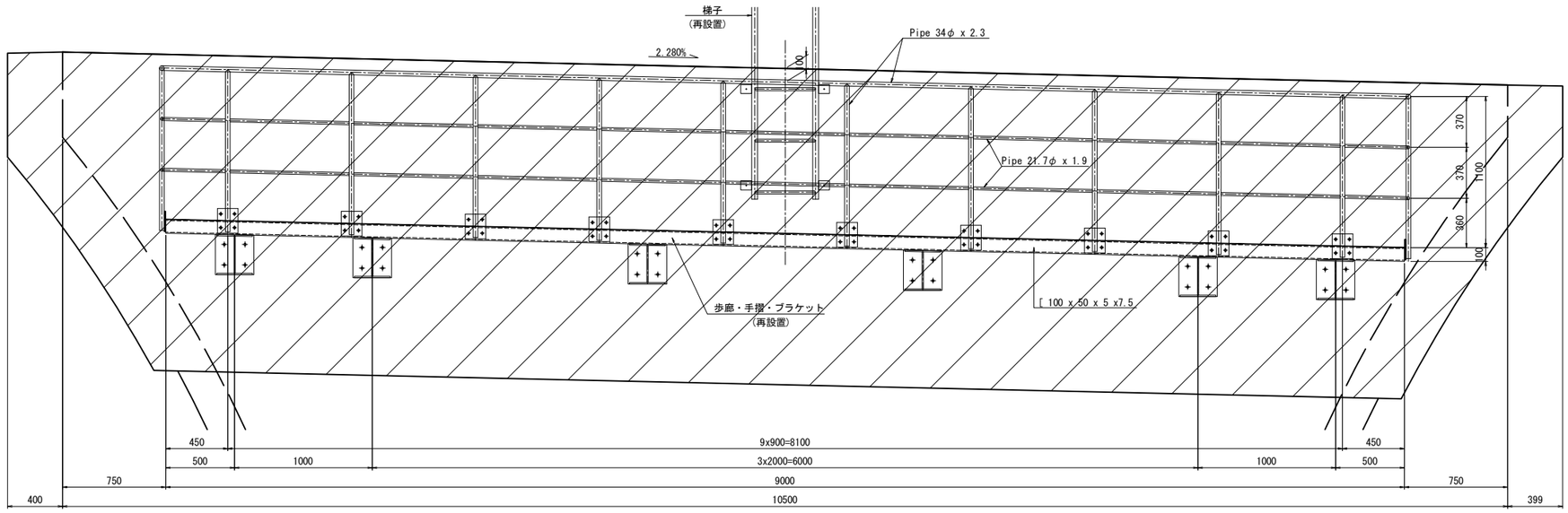
小櫃川第二橋（上り線）P37橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

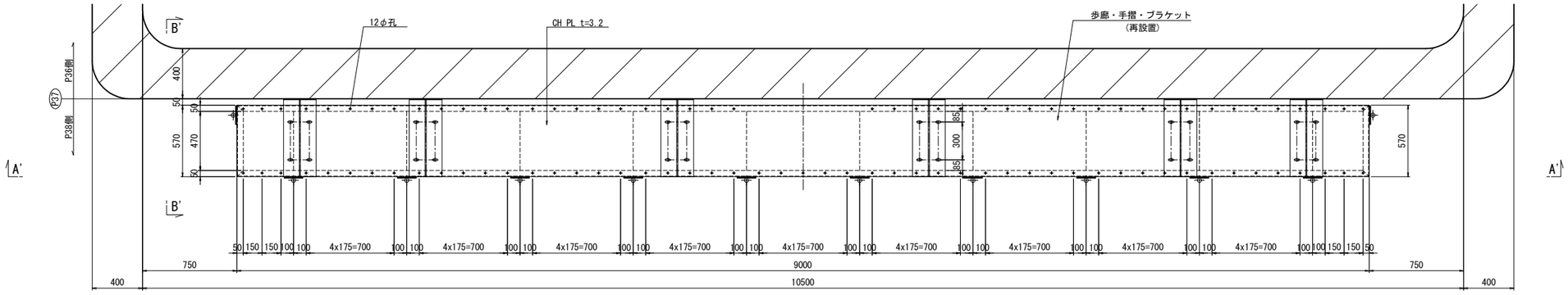
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 9094 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
12 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
18 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476 (STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
48 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 8980
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
10 - FB 50 x 6 x 490
102- BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

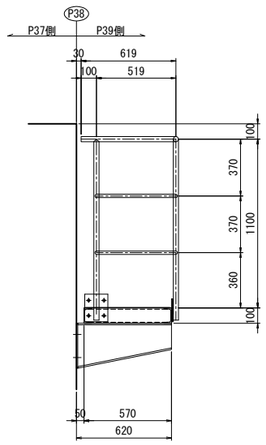
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P37橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	47 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

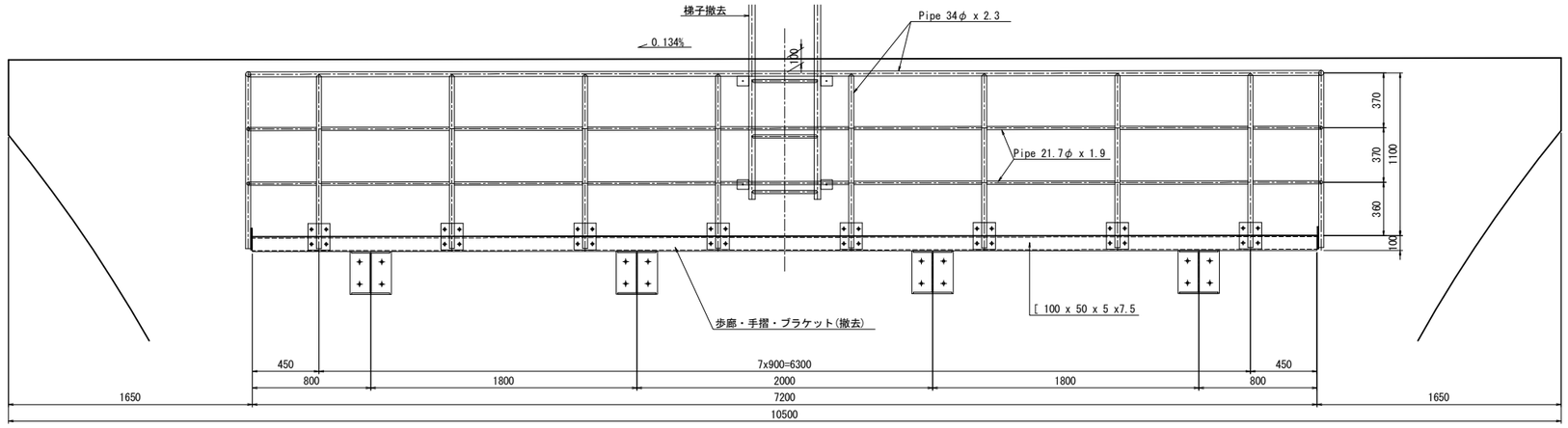
小櫃川第二橋（上り線）P38橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

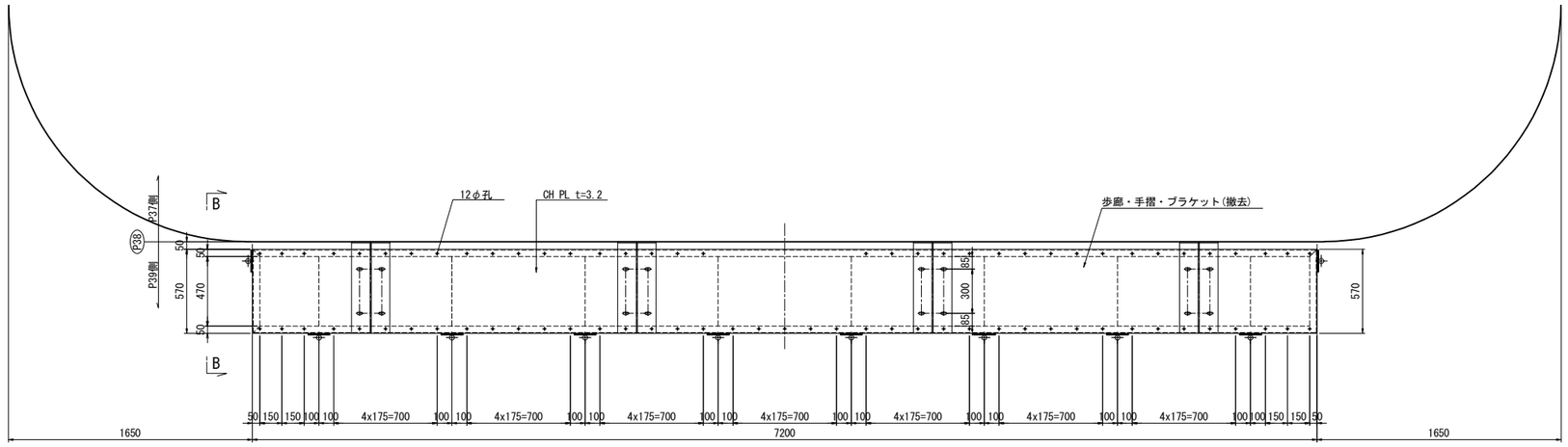
撤去工　検査路B

B － B

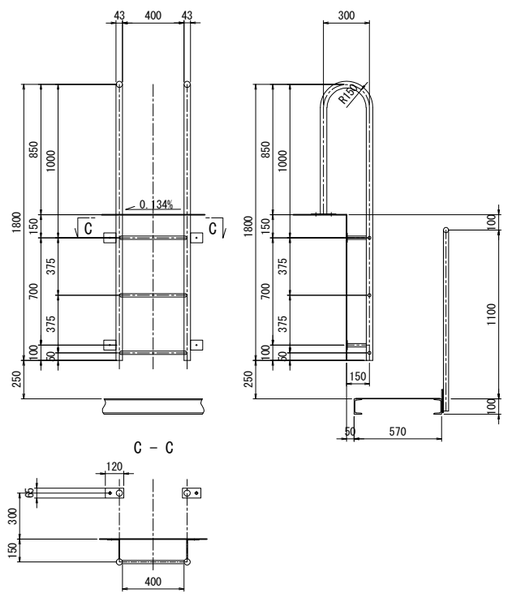


A － A

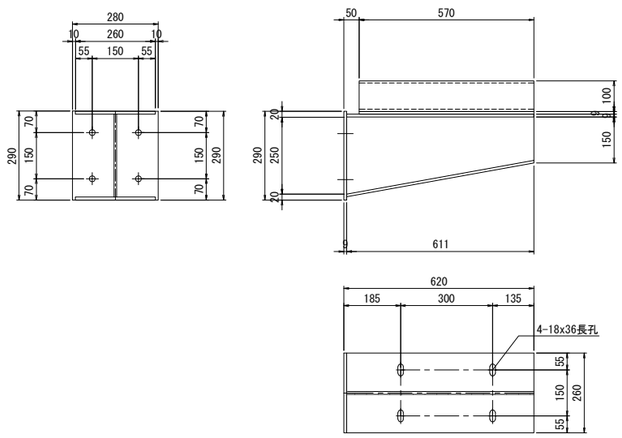




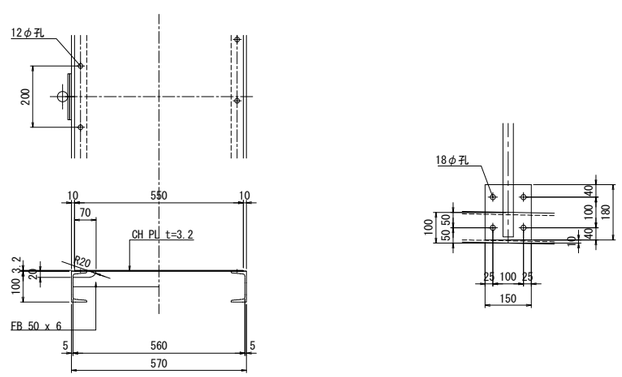
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

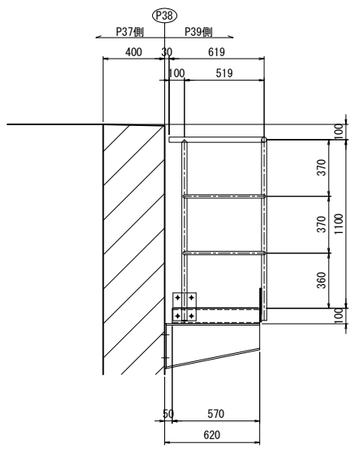
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P38橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	48 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

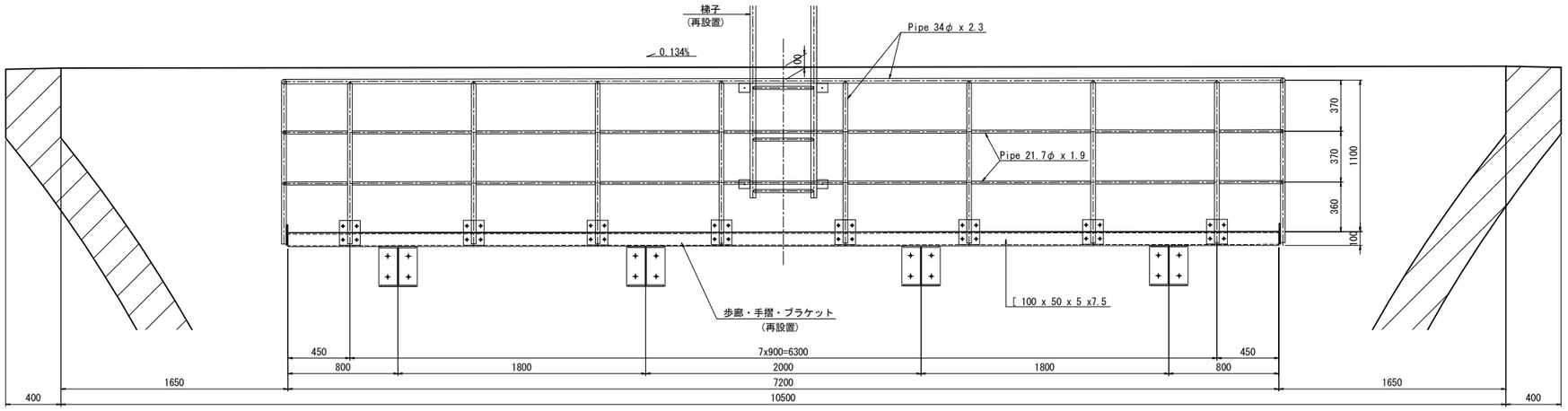
小櫃川第二橋（上り線）P38橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

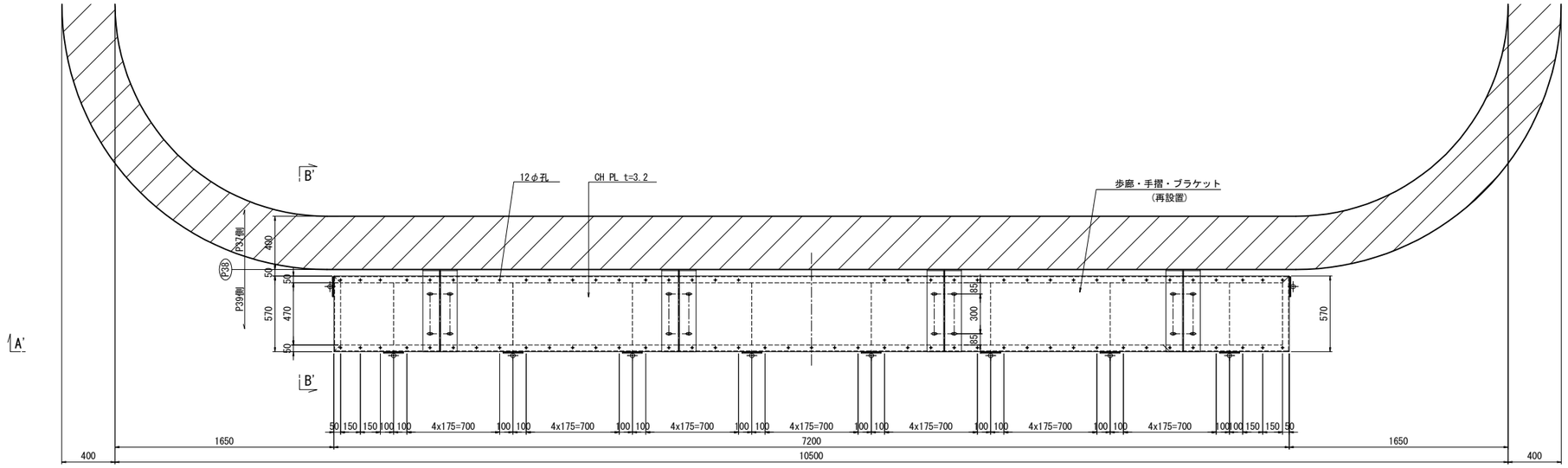
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 7293 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
14 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476 (STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
20 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 7180
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7200
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - FB 50 x 6 x 490
82 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - PL 280 x 9 x 290
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

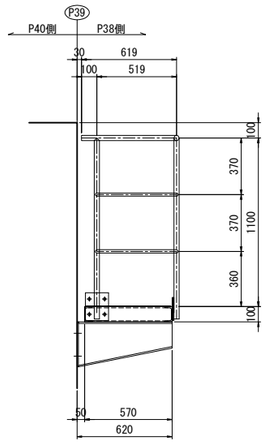
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P38橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	49 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

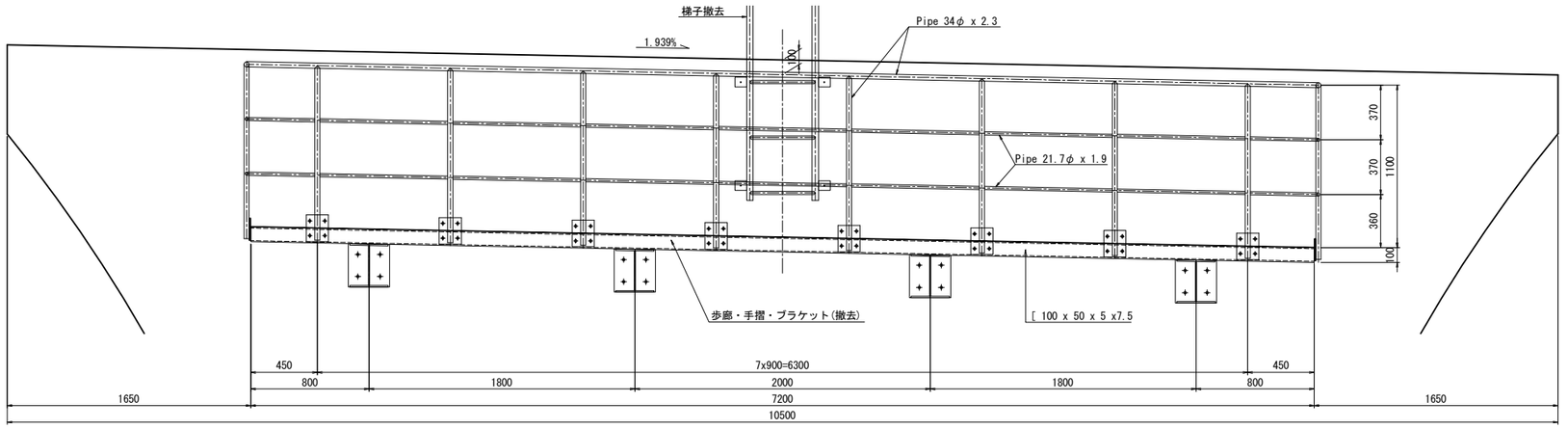
小櫃川第二橋（上り線）P39橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

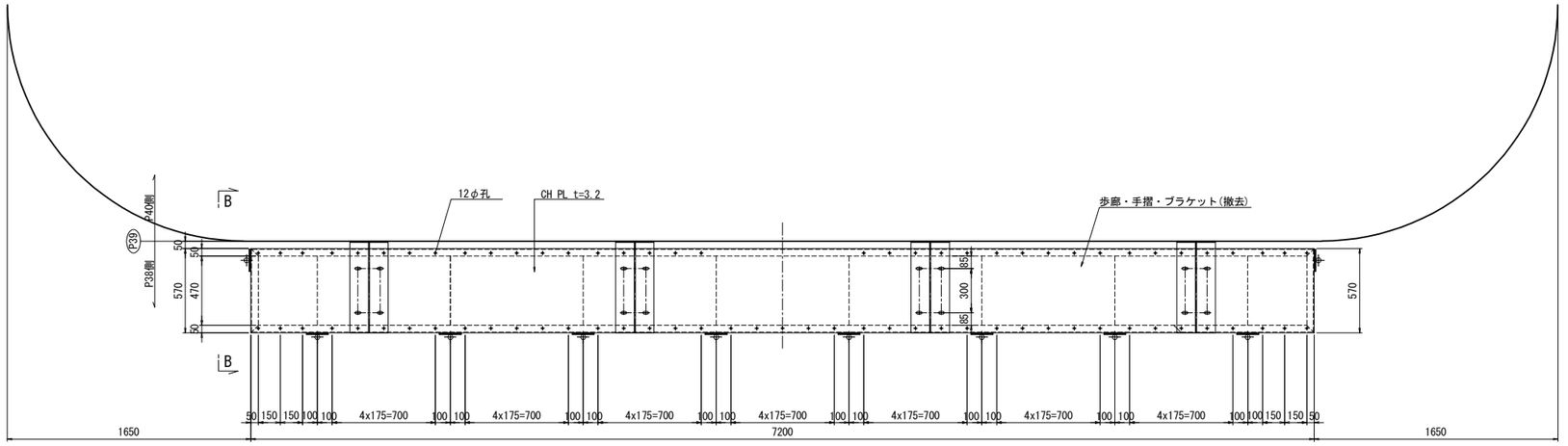
撤去工　検査路B

B － B

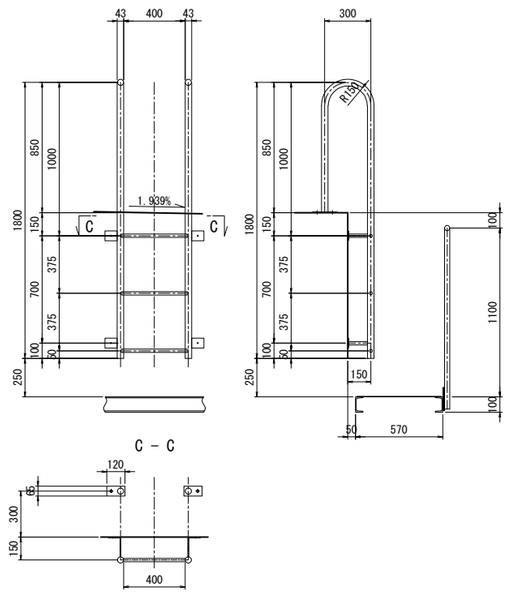


A － A

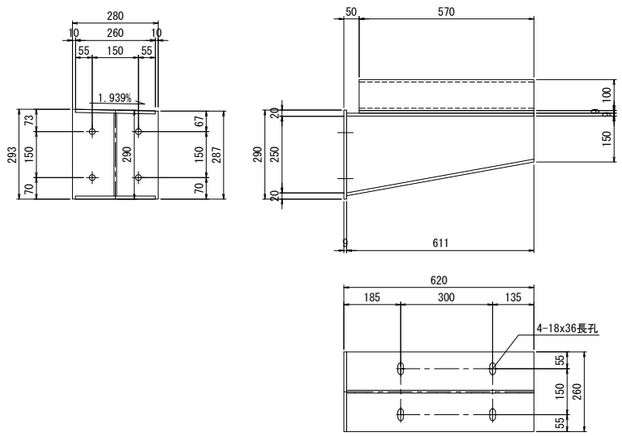




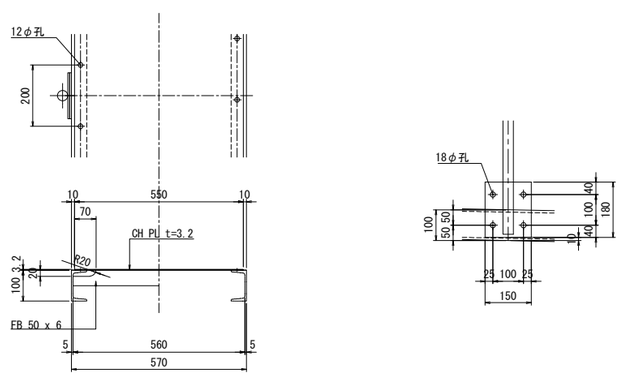
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

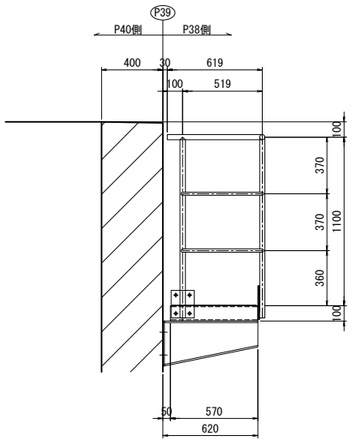
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P39橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	50 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

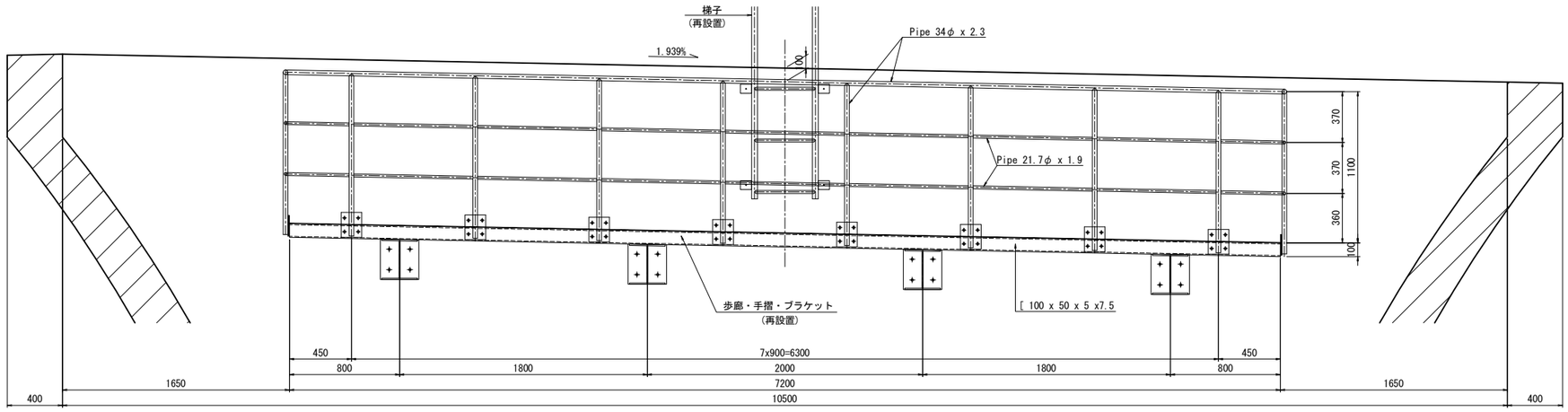
小櫃川第二橋（上り線）P39橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

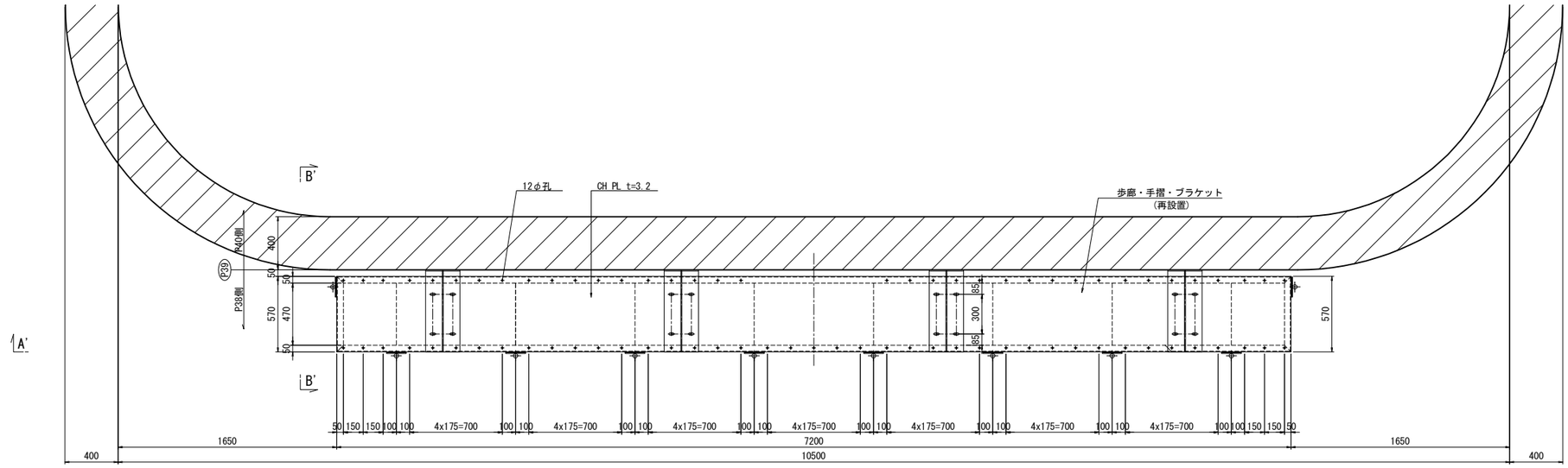
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 7293 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
14 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476 (STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
20 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 7180
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7200
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - FB 50 x 6 x 490
82 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

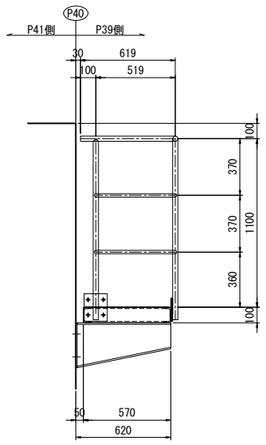
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P39橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	51 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

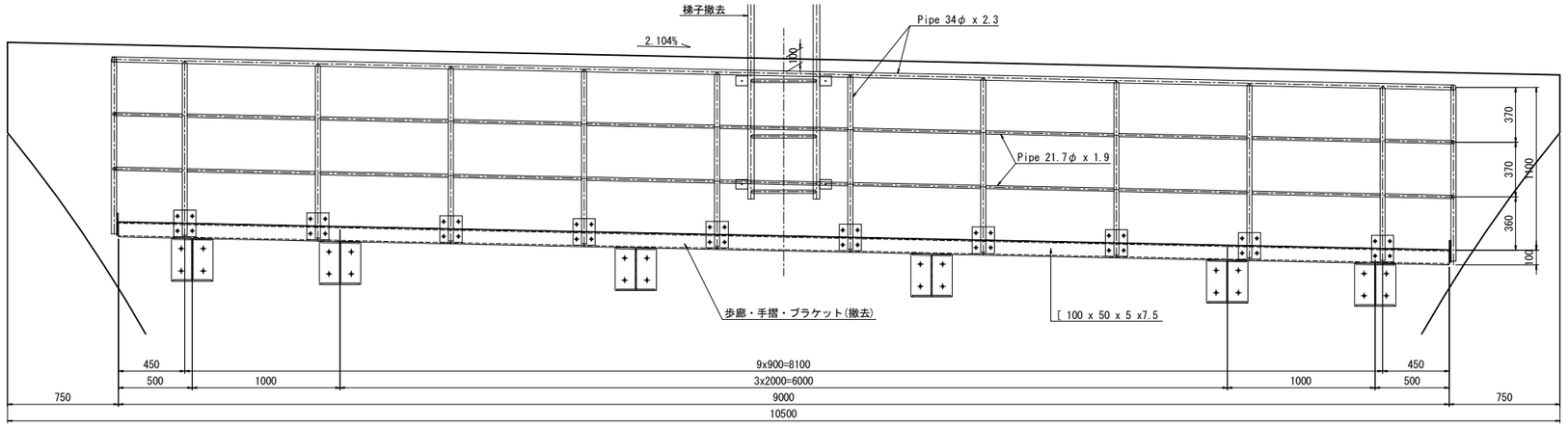
小櫃川第二橋（上り線）P40橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

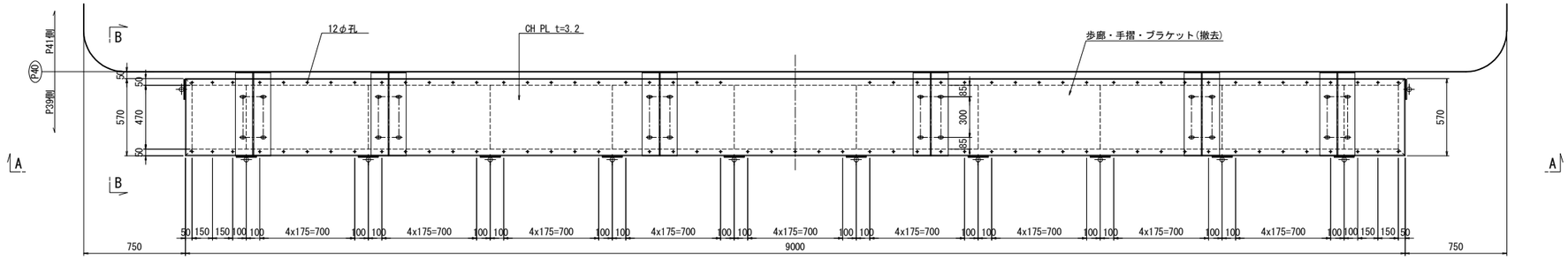
撤去工　検査路B

B － B

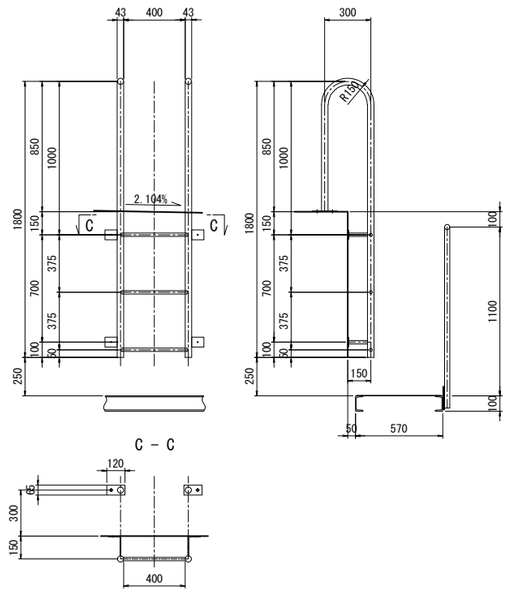


A － A

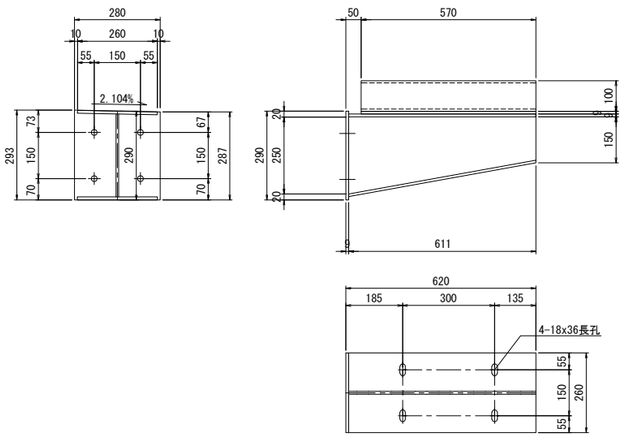




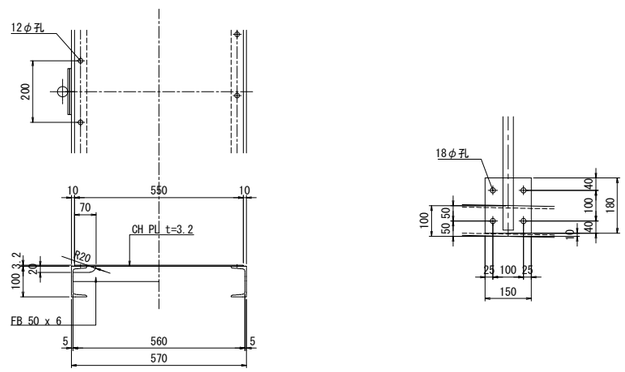
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

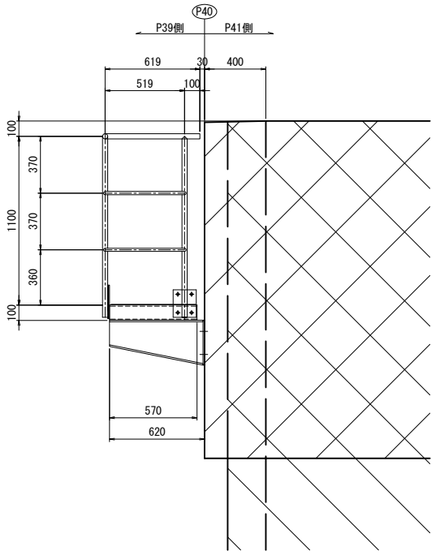
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P40橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	52 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

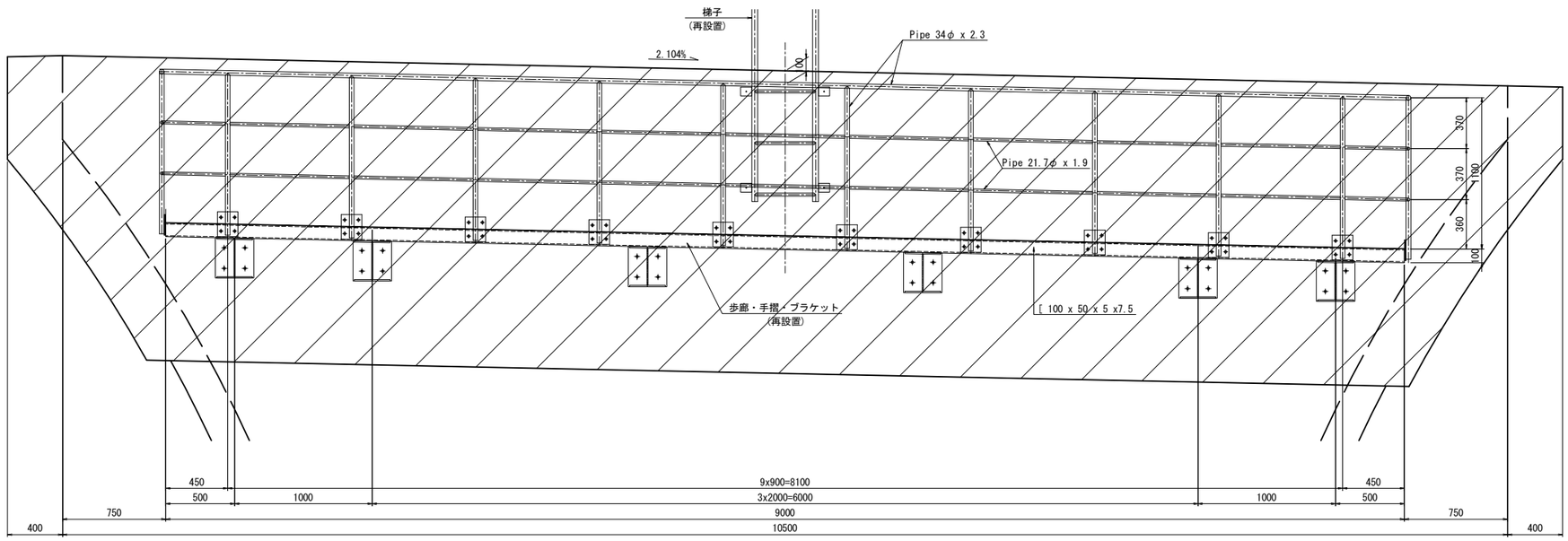
小櫃川第二橋（上り線）P40橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

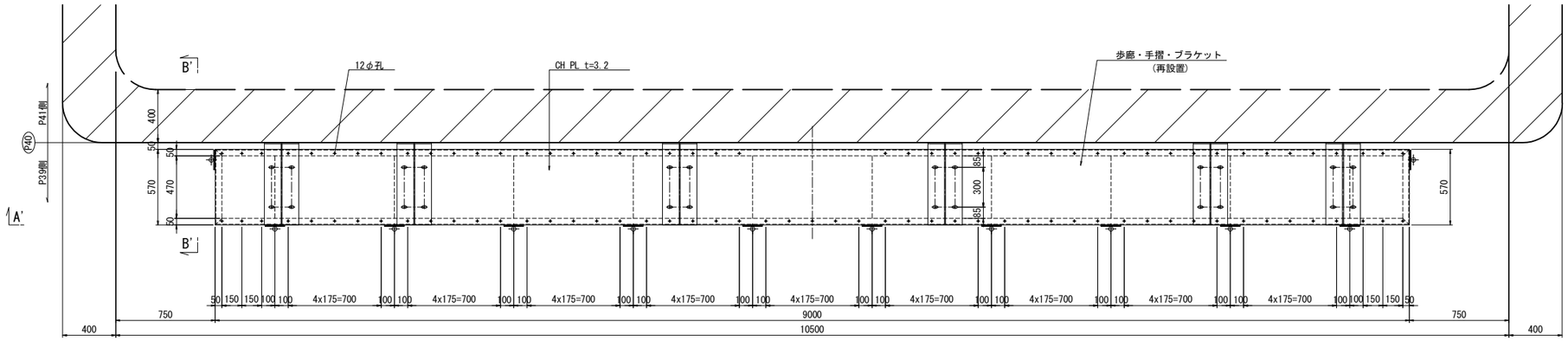
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 9094 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
12 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
18 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476 (STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
48 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 8980
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
10 - FB 50 x 6 x 490
102- BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー M16 x 100

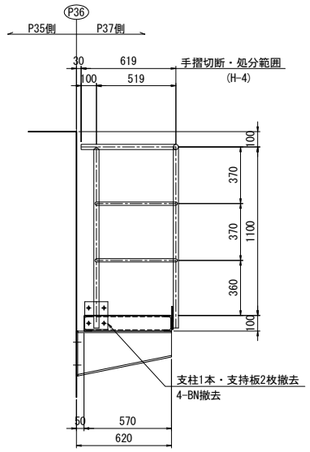
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上り線） P40橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	53 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

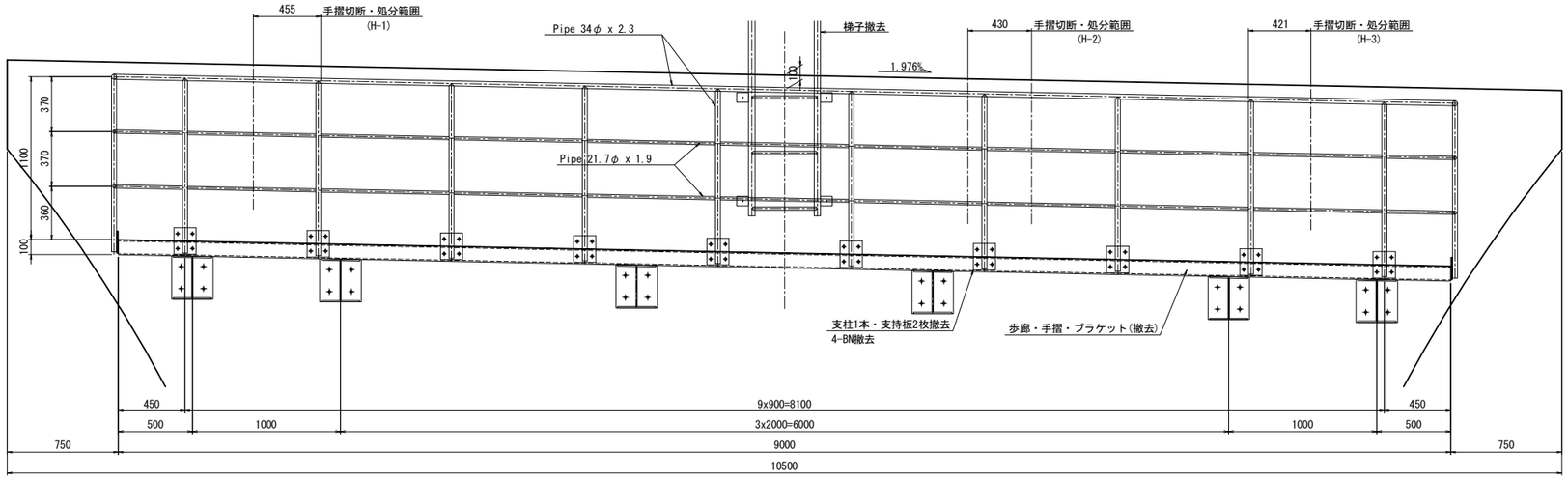
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

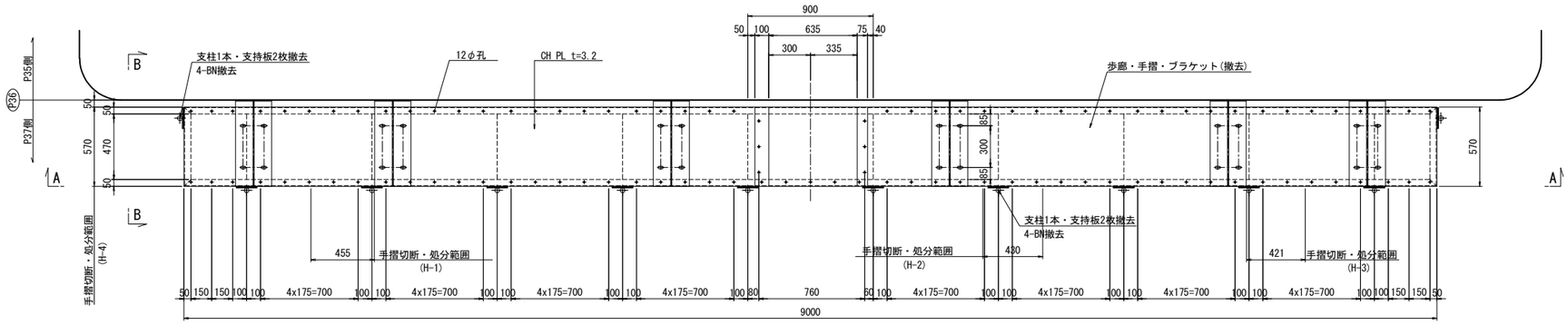
撤去工　検査路B

B － B

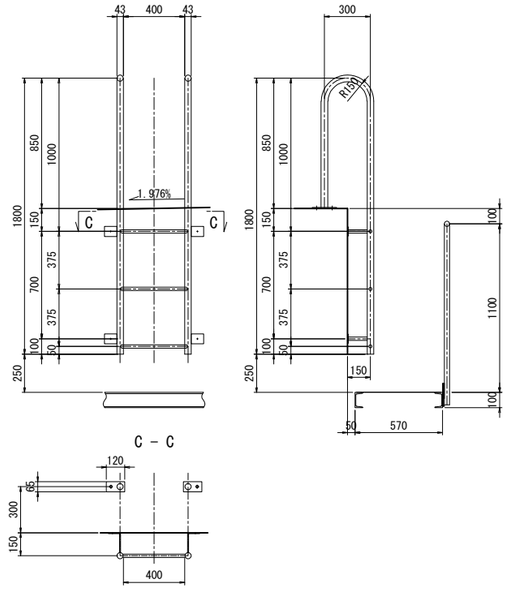


A － A

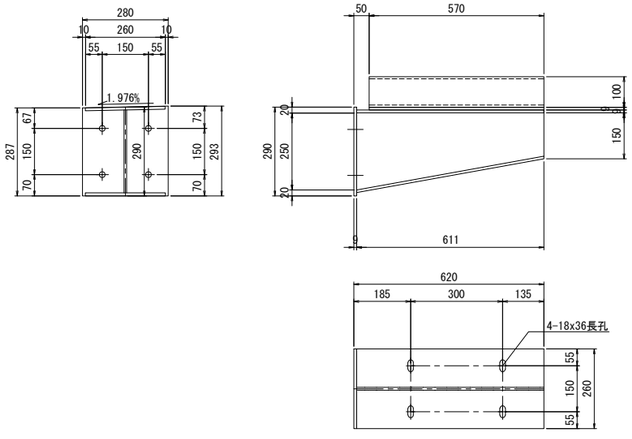




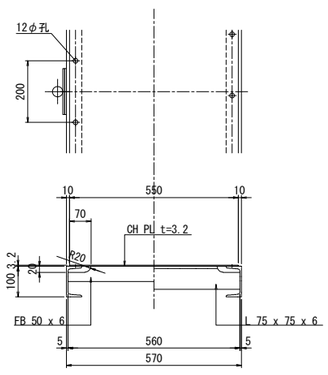
梯子詳細図

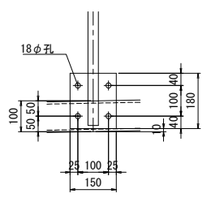


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 455 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 455 (STK400)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 99 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 305 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45 (2-ﾈｼﾞ付)

既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 421 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 421 (STK400)

既設手摺

H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 619 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 519 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45 (2-ﾈｼﾞ付)

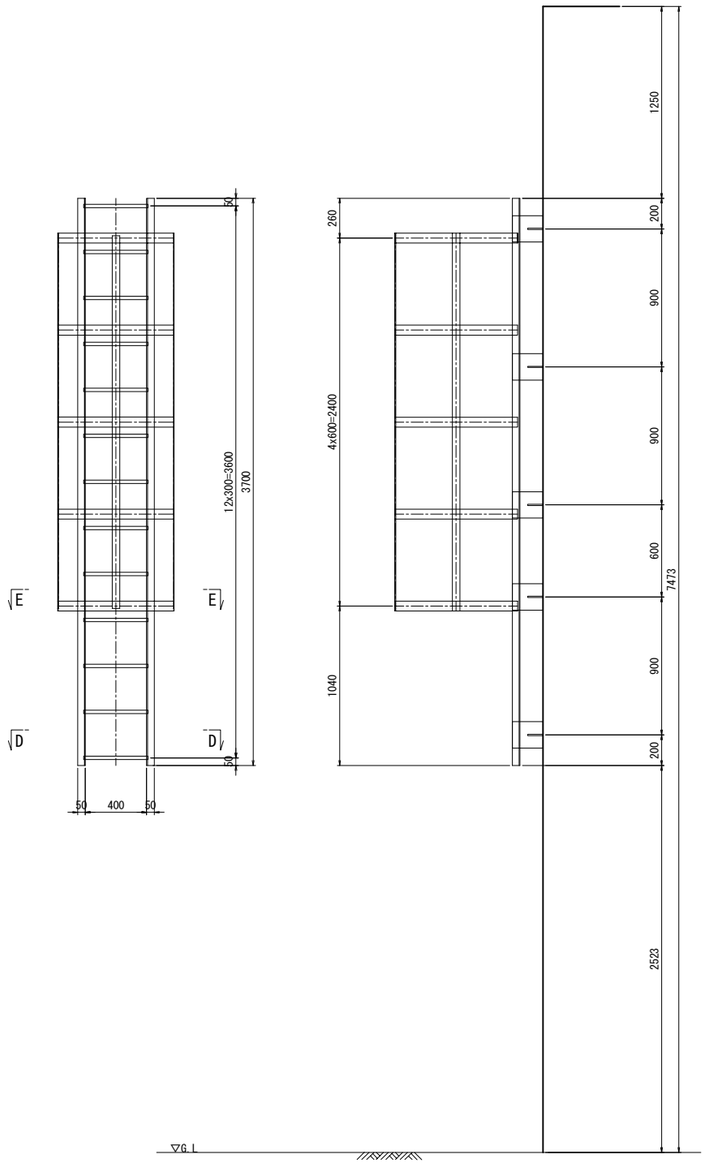
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	54 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

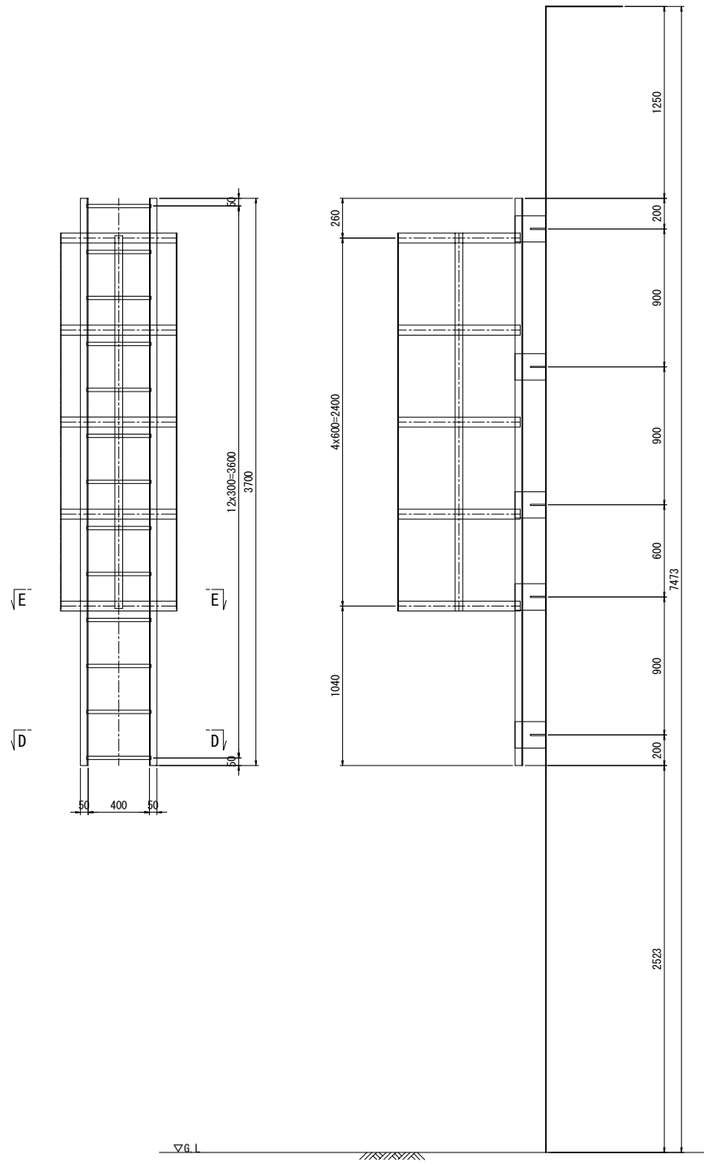
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

撤去・設置工　検査路B

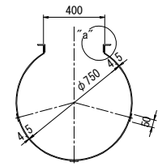
昇降設備　撤去



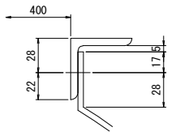
昇降設備　設置



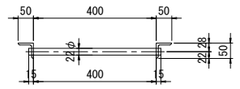
E － E



"a"部詳細図　S=1/5



D － D　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 3700
13 － RB 22φ x 430
3 － FB 50 x 4.5 x 2450
5 － FB 50 x 4.5 x 2020
25 － BN M16 x 45(2-W付)
5 － PL 200 x 8 x 400
10 － PL 100 x 8 x 100
10 － PL 200 x 8 x 172

設置工　検査路B

新規材料

20 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

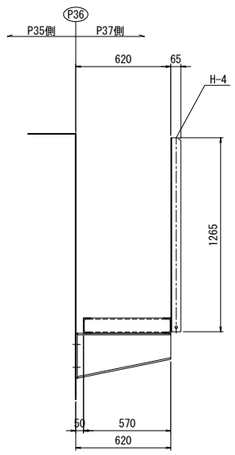
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	55 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

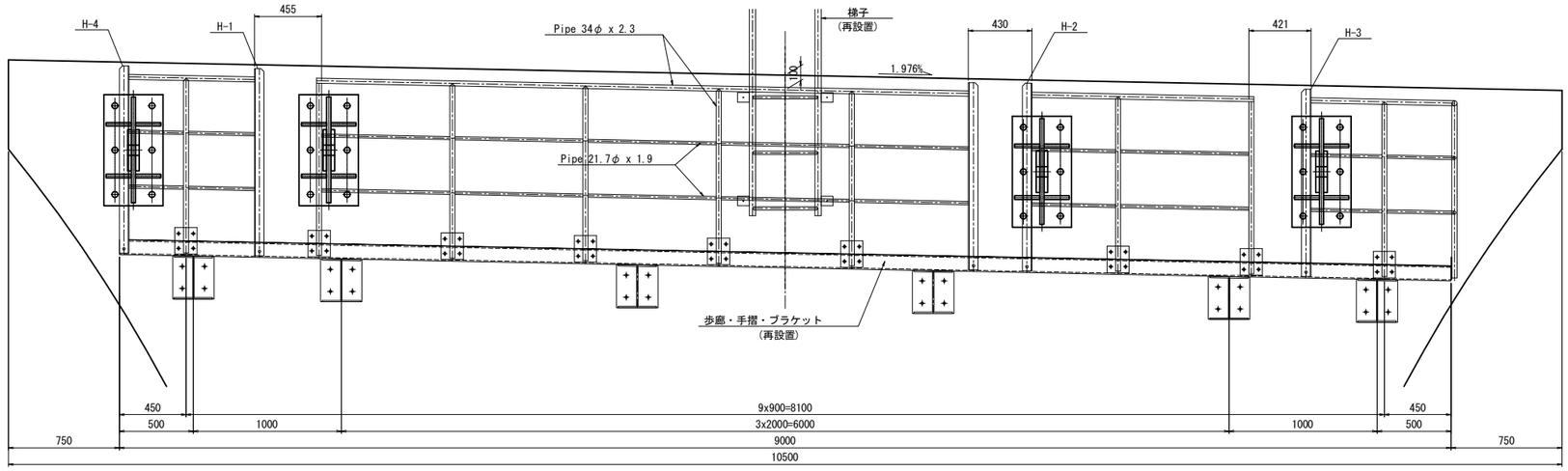
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/40

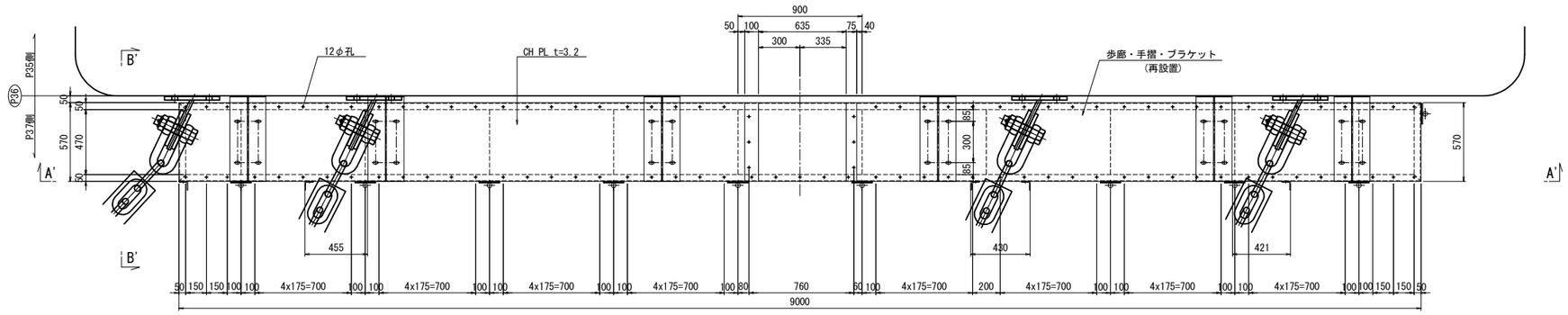
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 848　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 4405　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1500　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 986　(STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 636　(STK400)
10 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 460　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 372　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 450　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 775　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 570　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 483　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517　(STK400)
20 - PL 150 x 6 x 183
40 - BN M16 x 45　(2-W付)
1 - L 100 x 100 x 7 x 560
2 - CH PL 550 x 3.2 x 4140
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
3 - L 75 x 75 x 6 x 560
10 - FB x 50 x 6 x 560
98 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810　(STK400)
2 - FB 65 x 6x 120
4 - FB 50 x 6x 206
3 - RB 22φ x 400

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

マンホール再利用材料 (n=1)
1 - CH PL 450 x 3.2 x 648
2 - FB x 50 x 6 x 545
2 - FB x 50 x 6 x 238
2 - RB 16φ x 230
2 - BN M12 x 30　(1-W付)
1 - PL 75 x 6 x 635
1 - PL 45 x 6 x 125

蝶番い再利用材料 (n=1)
5 - Pipe 25A x 60 (SGP)
1 - RB 25φ x 370
2 - 割ピン径3.2

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

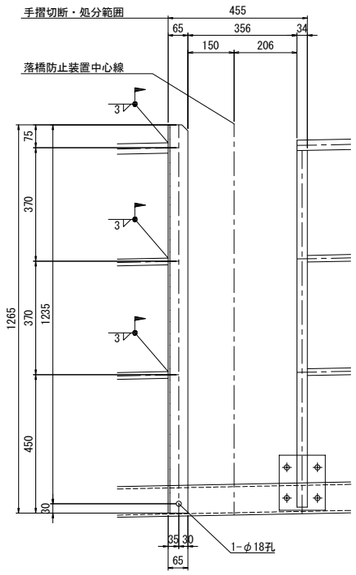
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　　尺	1:40	図面番号	56 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

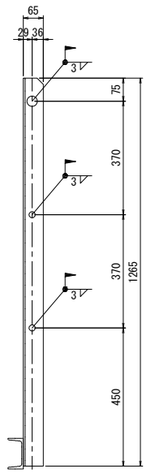
小櫃川第二橋（下り線）P36橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

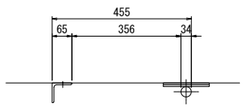
撤去・設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

H-1







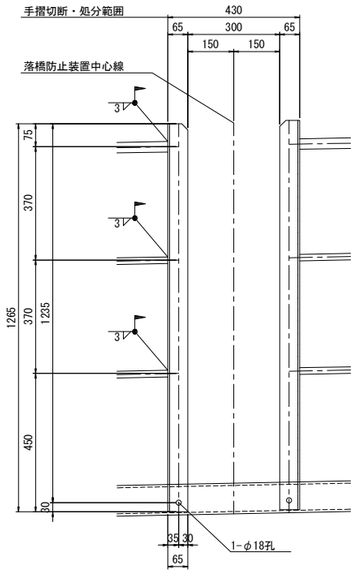
設置工　検査路B

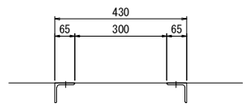
新規材料（n=1）
手摺切断部（H-1）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

H-2

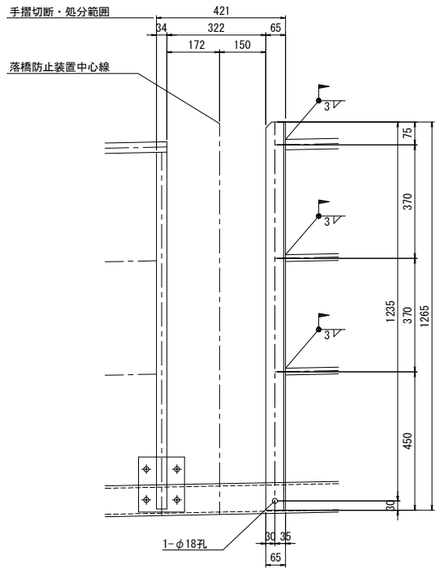


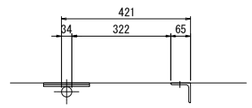


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-2）
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

H-3

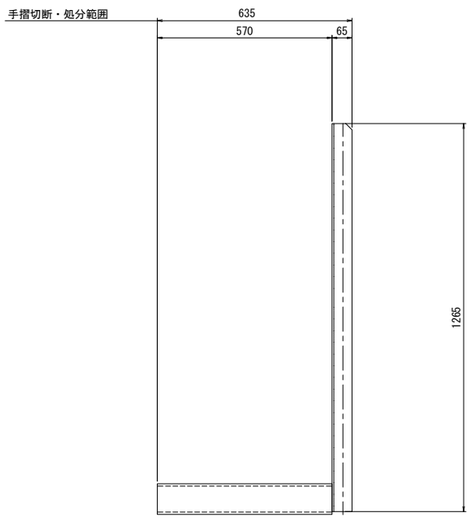


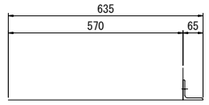


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-3）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

H-4





設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-4）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

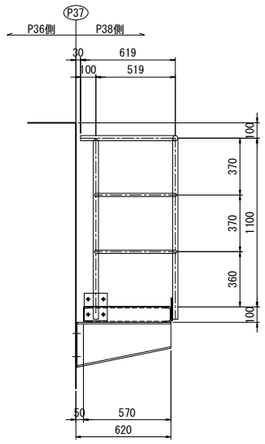
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P36橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	1:20	図面番号	57 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

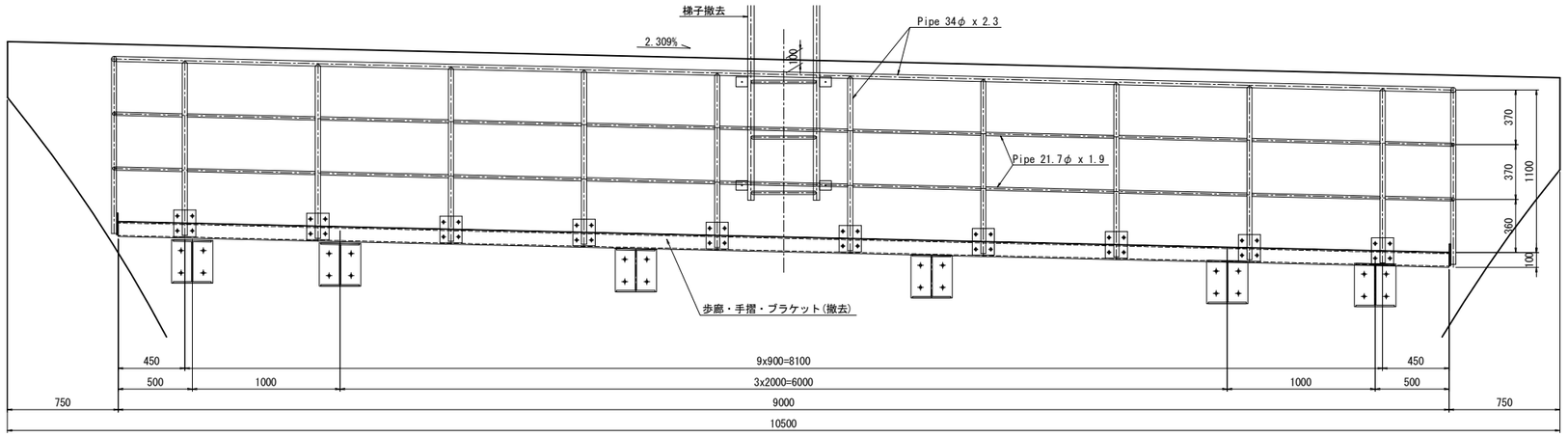
小櫃川第二橋（下り線）P37橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

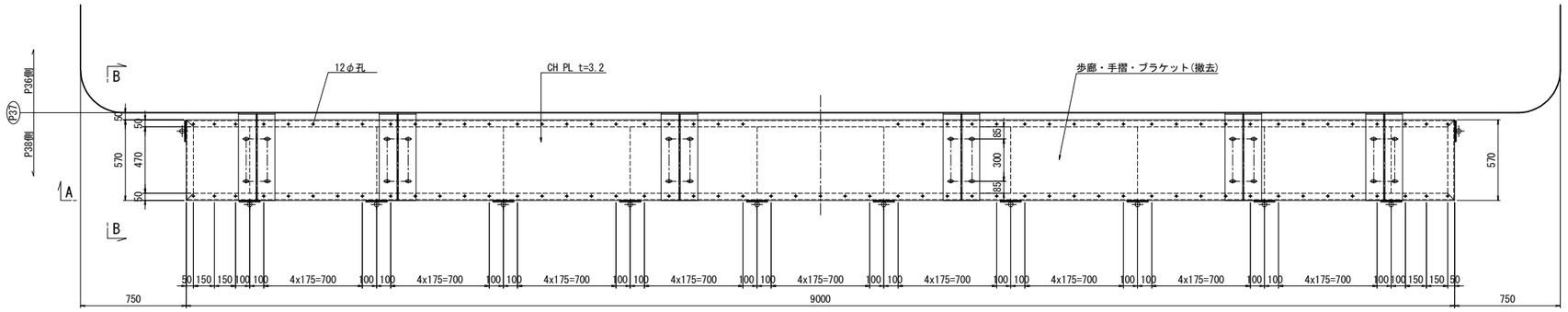
撤去工　検査路B

B － B

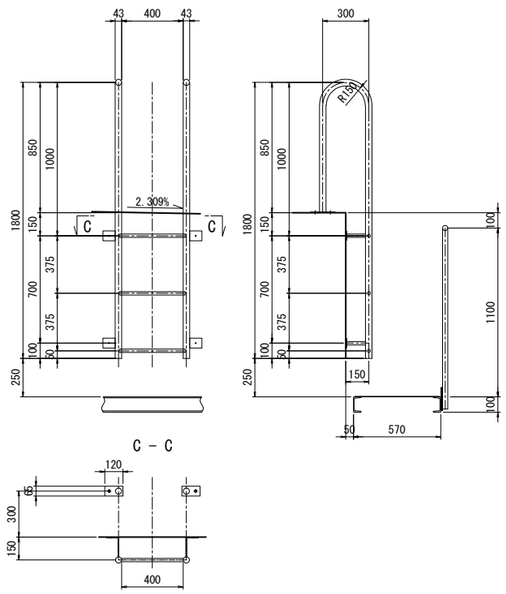


A － A

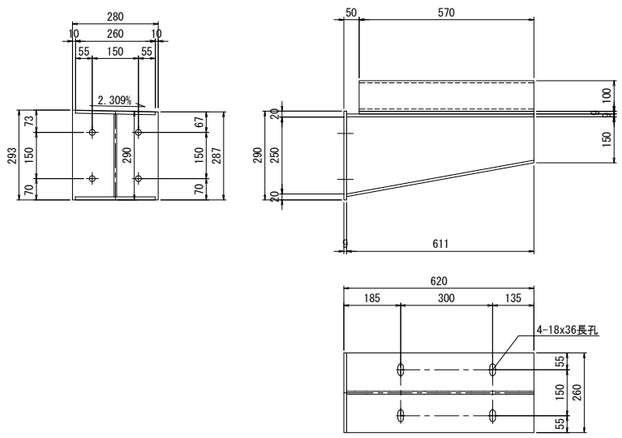




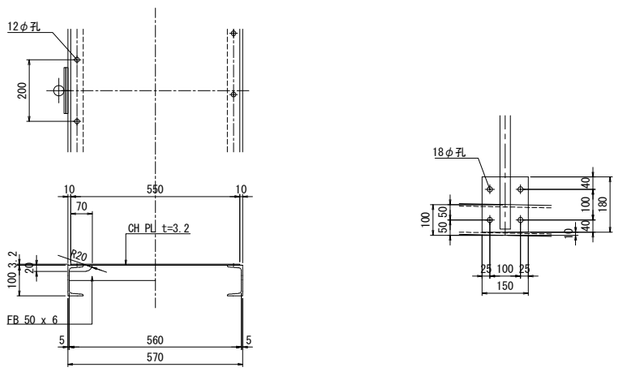
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

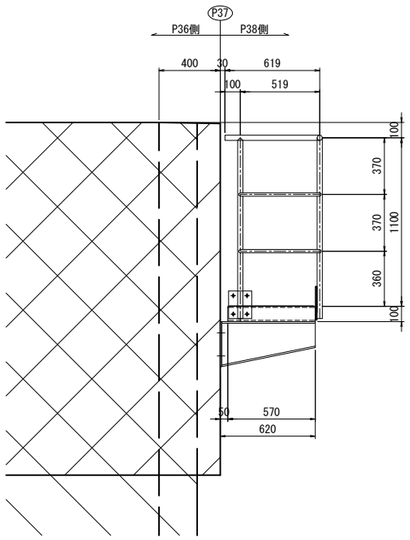
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P37橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	58 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

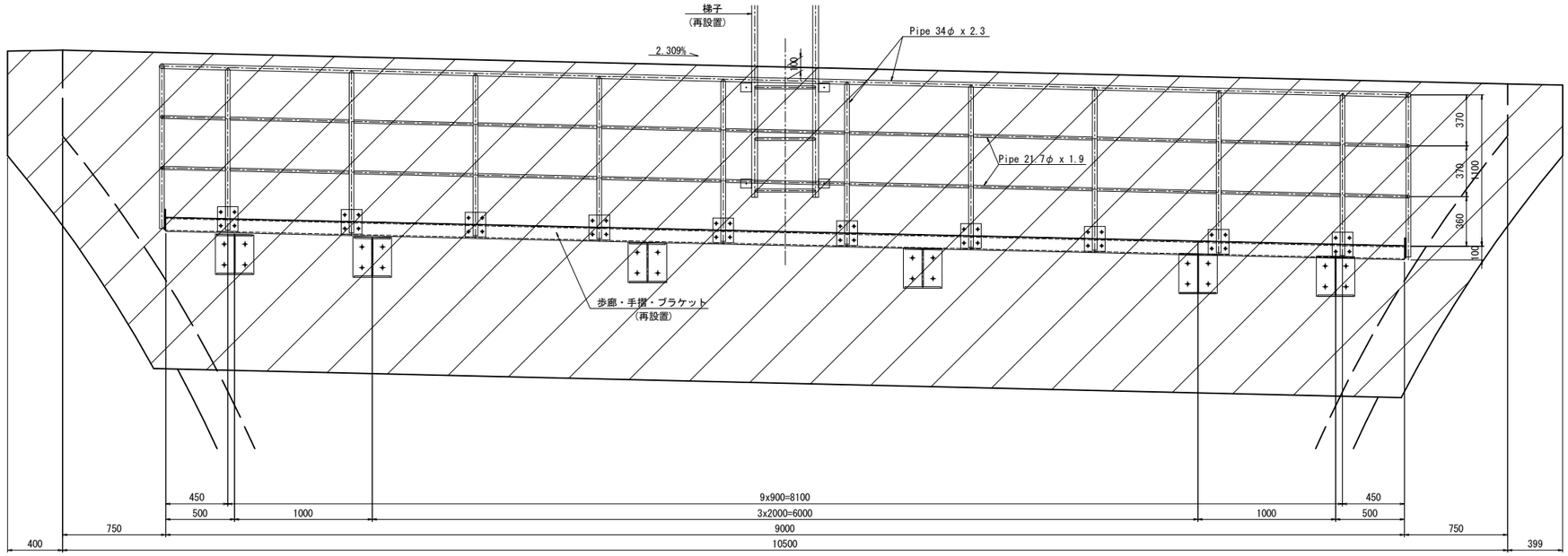
小櫃川第二橋（下り線）P37橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

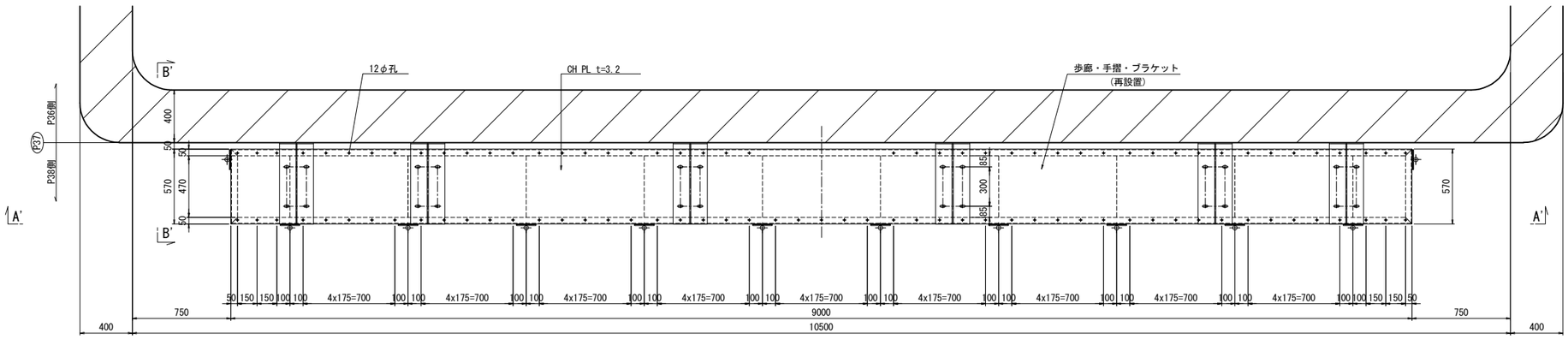
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 9094　(STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636　(STK400)
12 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
18 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874　(STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497　(STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476　(STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
48 - BN M16 x 45　(2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 8980
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
10 - FB 50 x 6 x 490
102- BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810　(STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

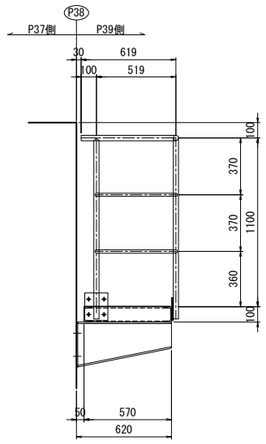
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P37橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	59 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

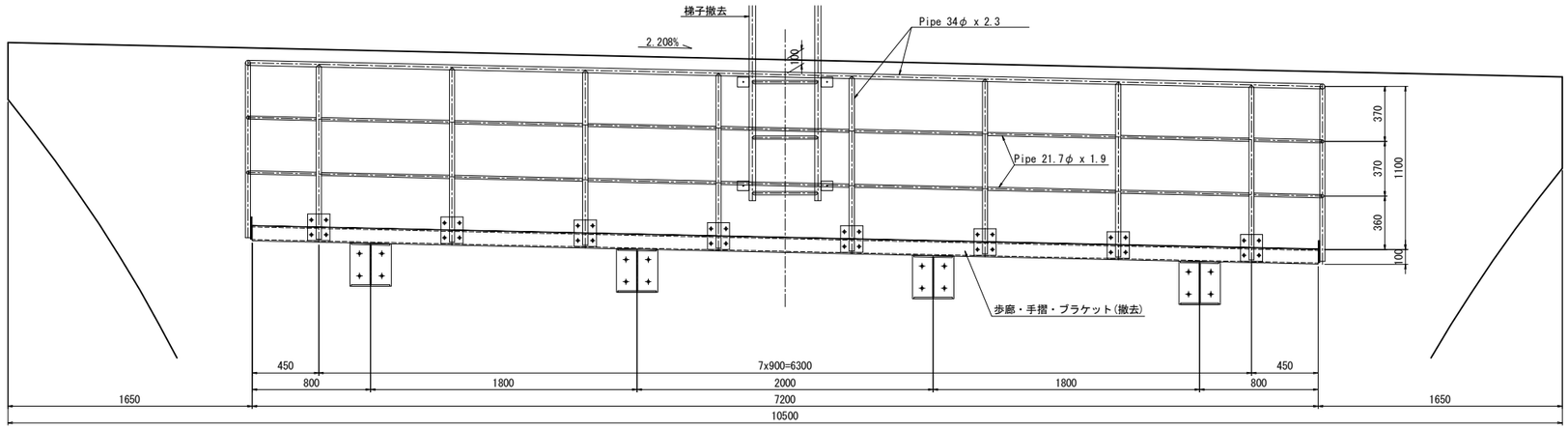
小櫃川第二橋（下り線）P38橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

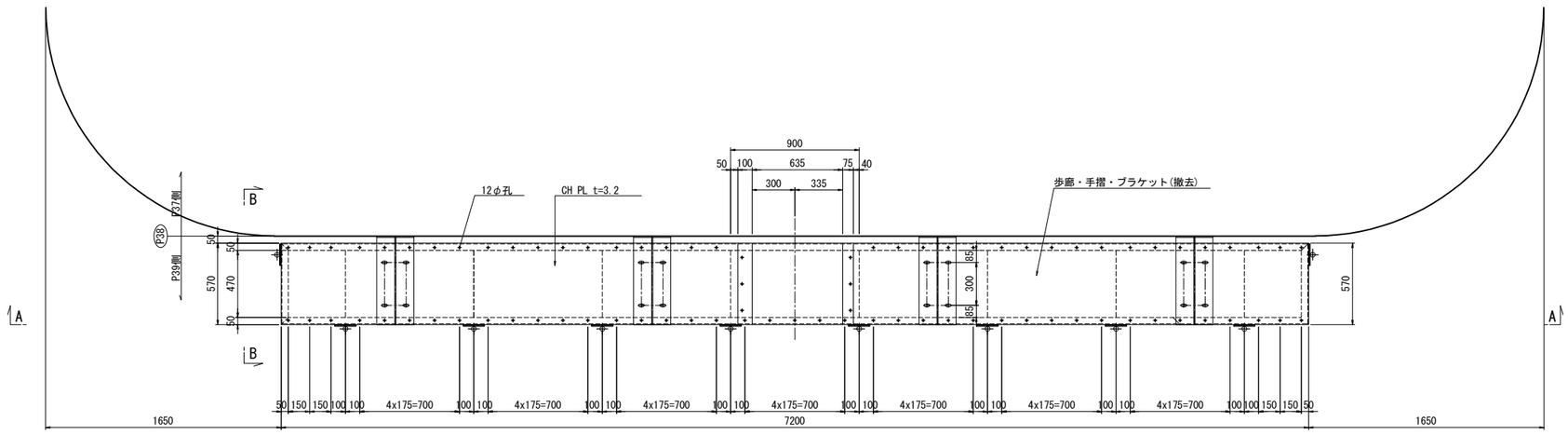
撤去工　検査路B

B － B

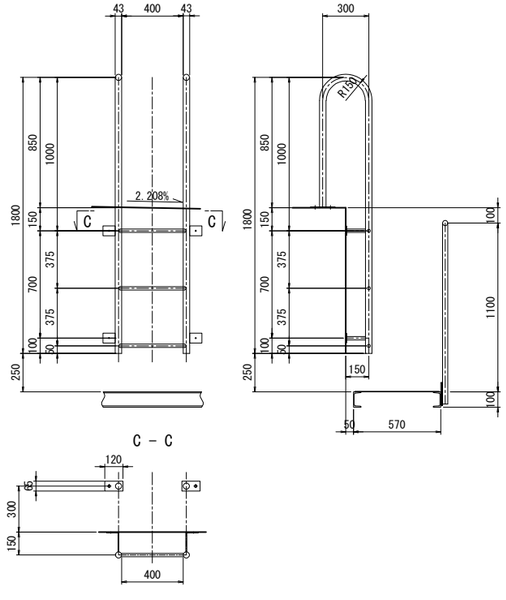


A － A

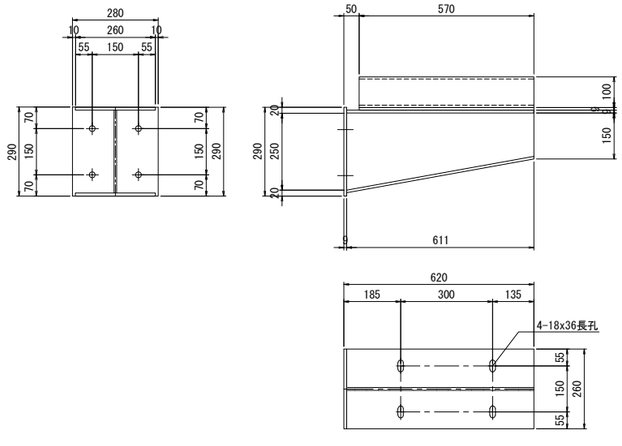




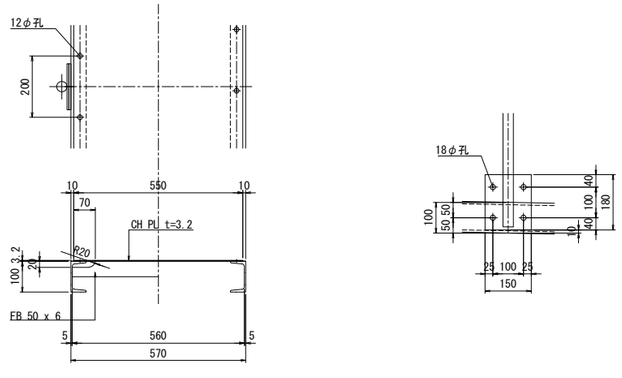
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

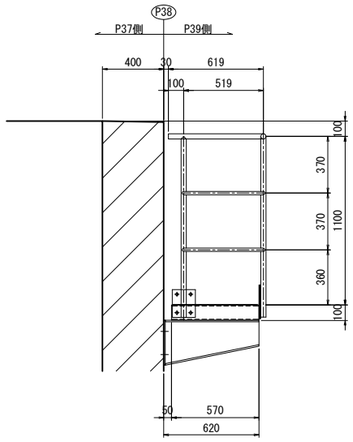
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P38橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	60 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

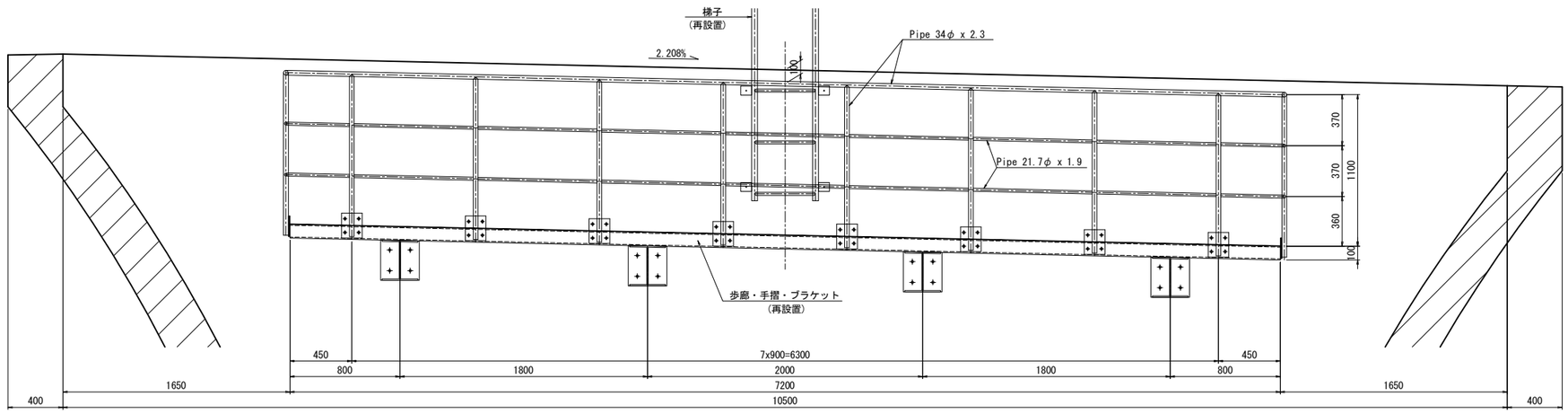
小櫃川第二橋（下り線）P38橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

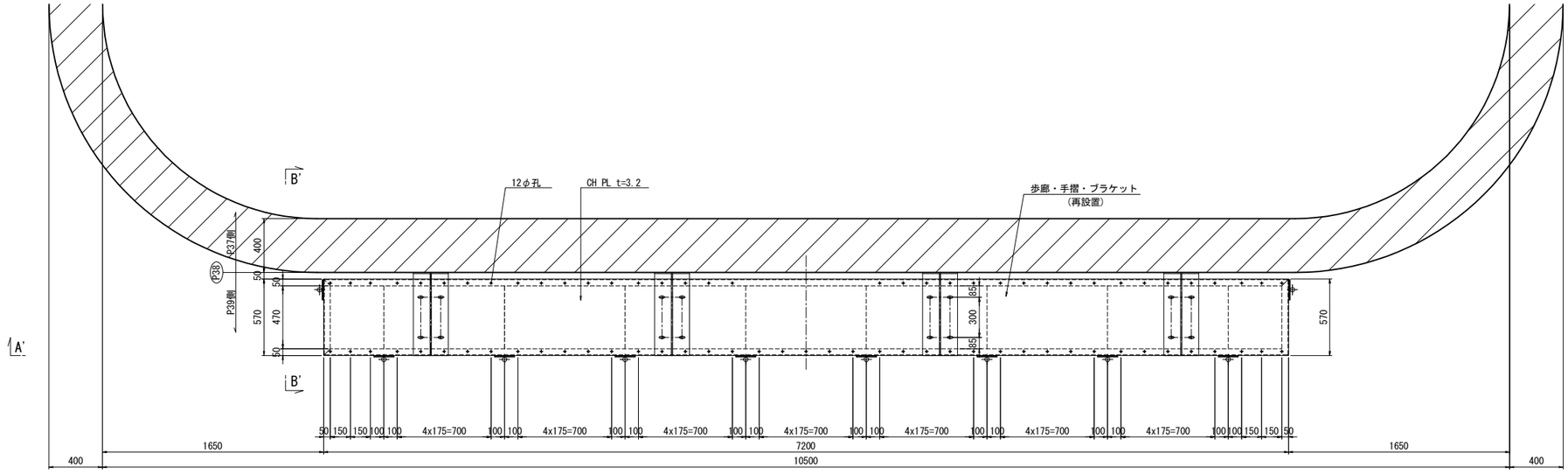
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 7293 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
14 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476 (STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
20 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 7180
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7200
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - FB 50 x 6 x 490
82 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - PL 280 x 9 x 290
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー M16 x 100

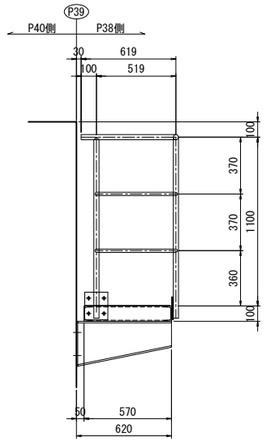
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P38橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	61 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

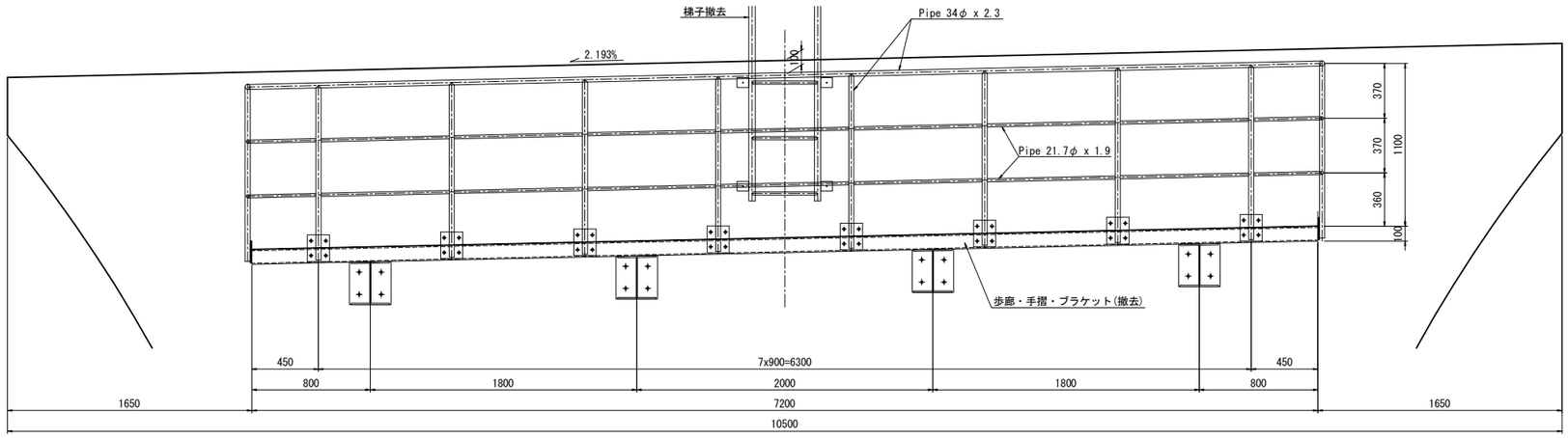
小櫃川第二橋（下り線）P39橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

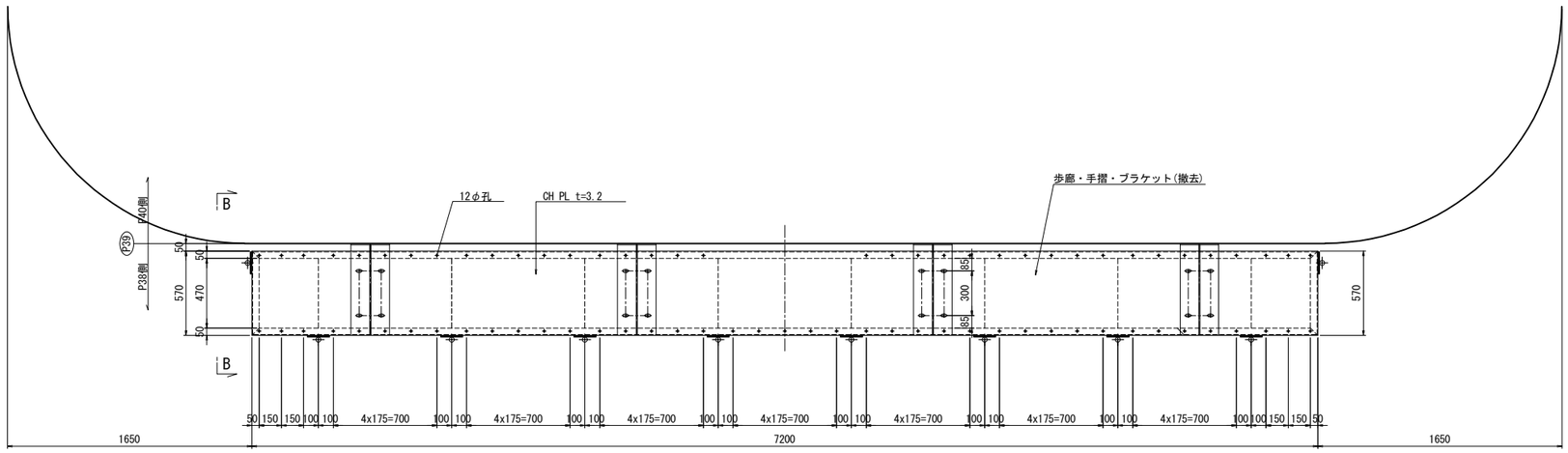
撤去工　検査路B

B － B

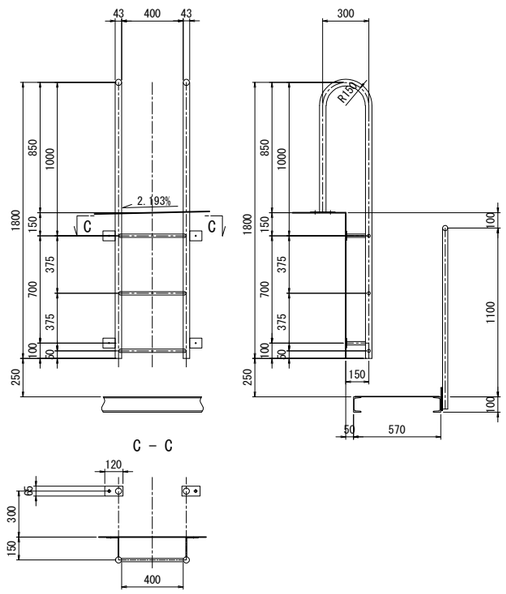


A － A

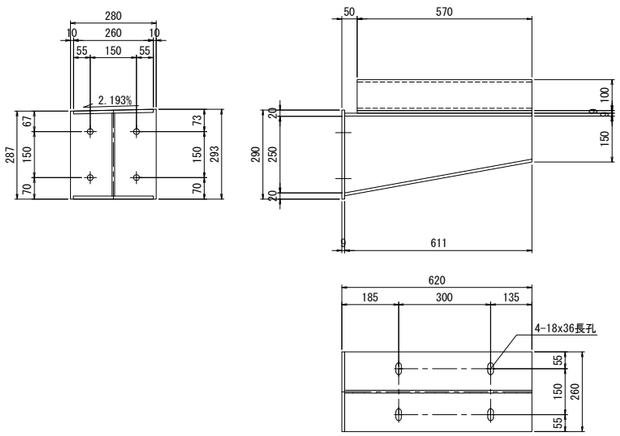




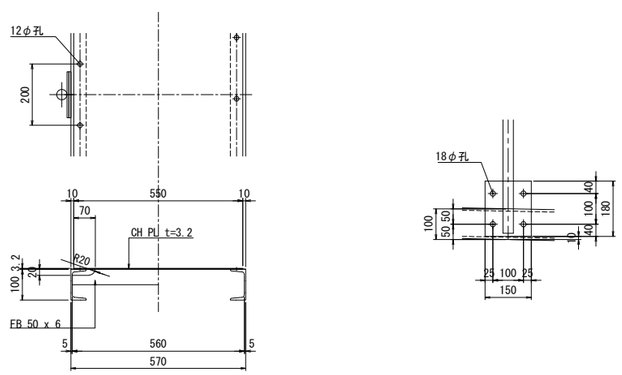
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



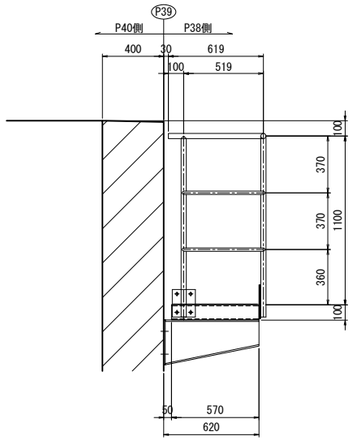
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P39橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	62 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

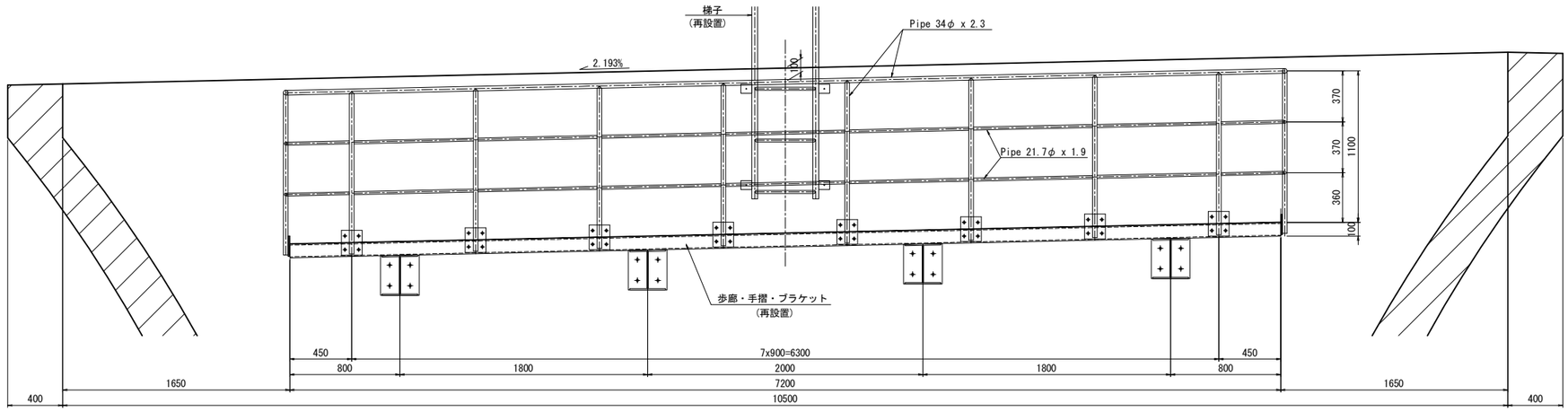
小櫃川第二橋（下り線）P39橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

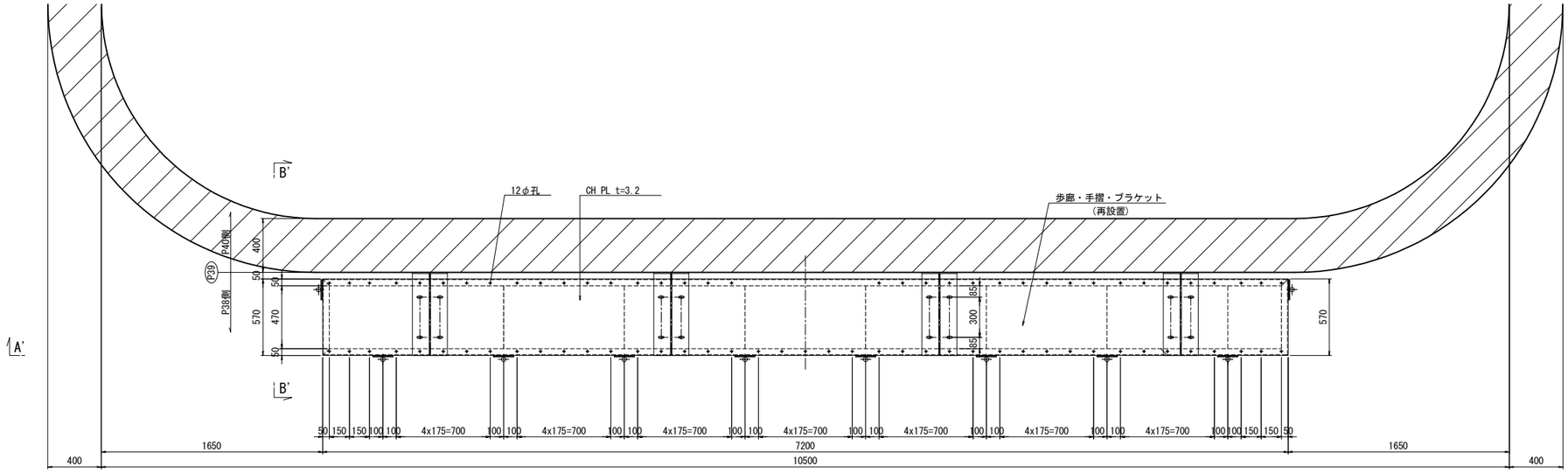
撤去・設置工　検査路B

B’ － B’



A’ － A’





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 － Pipe 34φ x 2.3 x 7293　(STK400)
2 － Pipe 34φ x 2.3 x 636　(STK400)
10 － Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
14 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 874　(STK400)
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 497　(STK400)
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 476　(STK400)
24 － PL 150 x 6 x 183
20 － BN M16 x 45　(2-W付)
2 － CH PL 550 x 3.2 x 7180
2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7200
2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 － FB 50 x 6 x 490
82 － BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料（n=4）
1 － PL 280 x 9 x 293
1 － PL 260 x 9 x 611
1 － PL 250 x 9 x 611
1 － PL 260 x 9 x 619
1 － PL 240 x 9 x 550
4 － BN M16 x 45　(2-W付)

梯子再利用材料（n=1）
2 － Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810　(STK400)
4 － FB 65 x 6 x 120
4 － FB 50 x 6 x 206
3 － RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 － 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 － 打込み式アンカー　M16 x 100

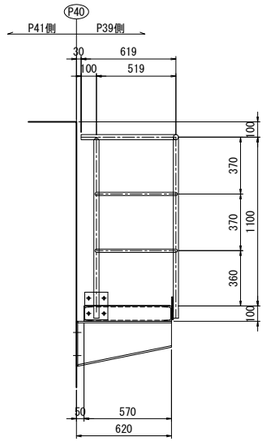
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P39橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	63 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

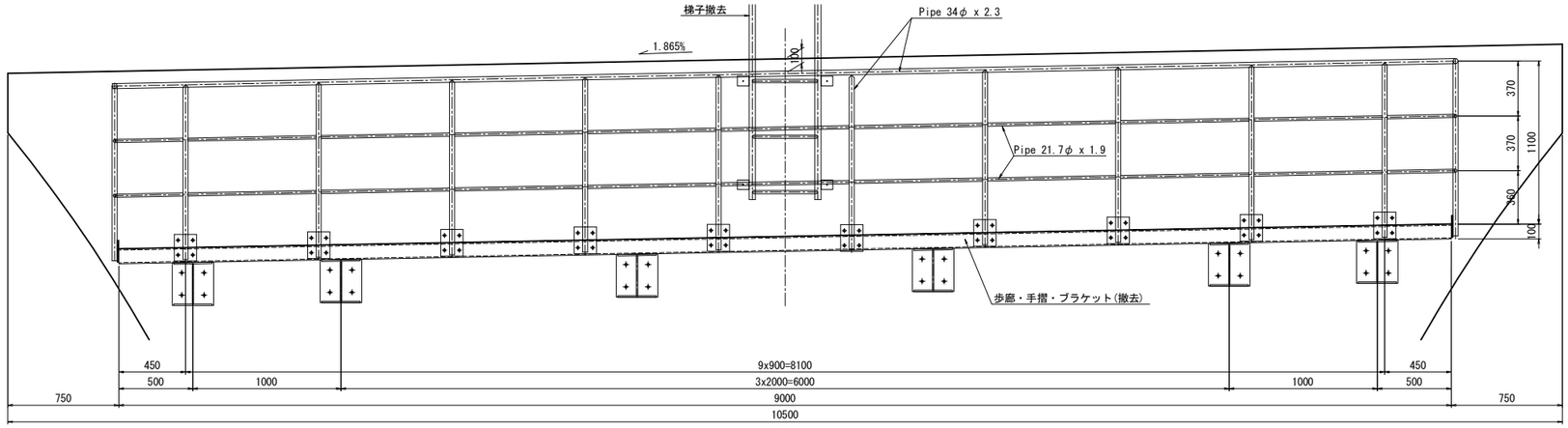
小櫃川第二橋（下り線）P40橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

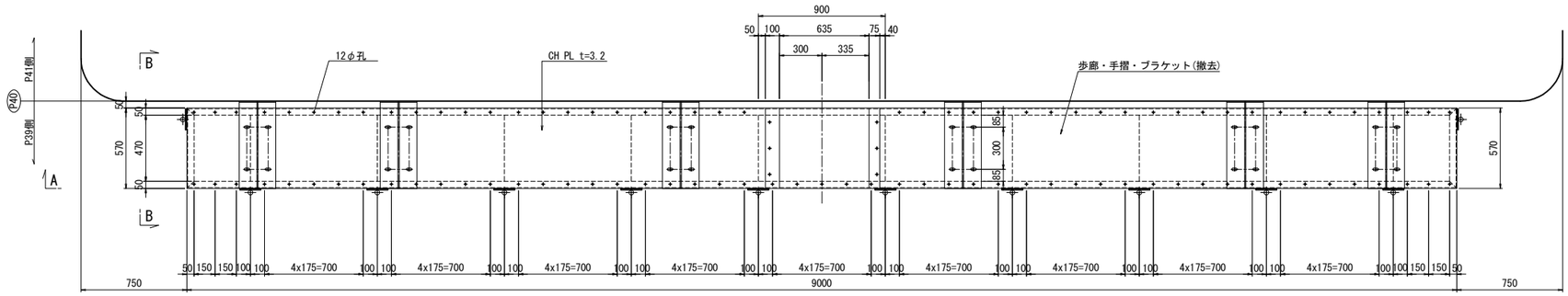
撤去工　検査路B

B － B

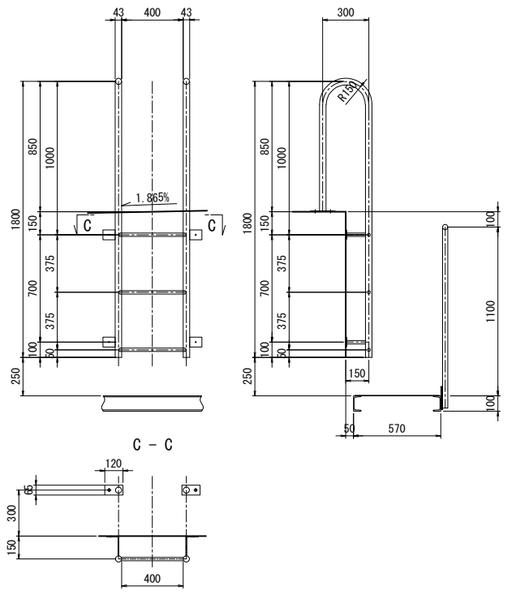


A － A

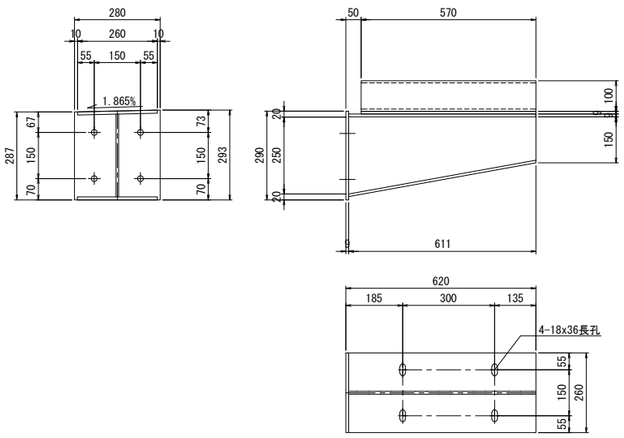




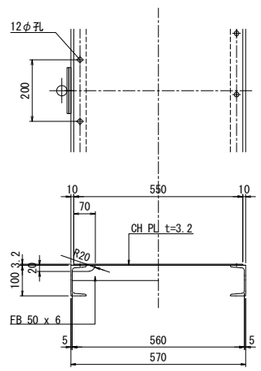
梯子詳細図

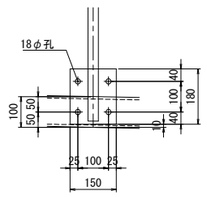


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

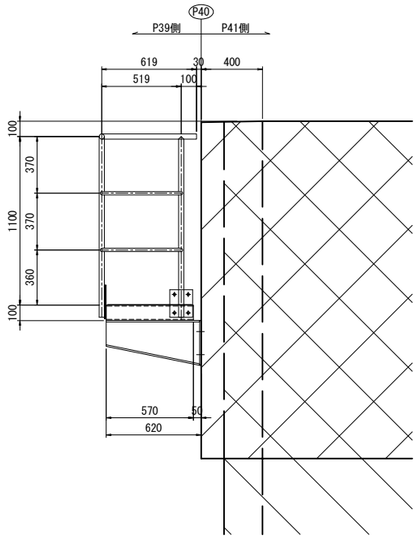
撤去工　検査路B

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P40橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	64 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

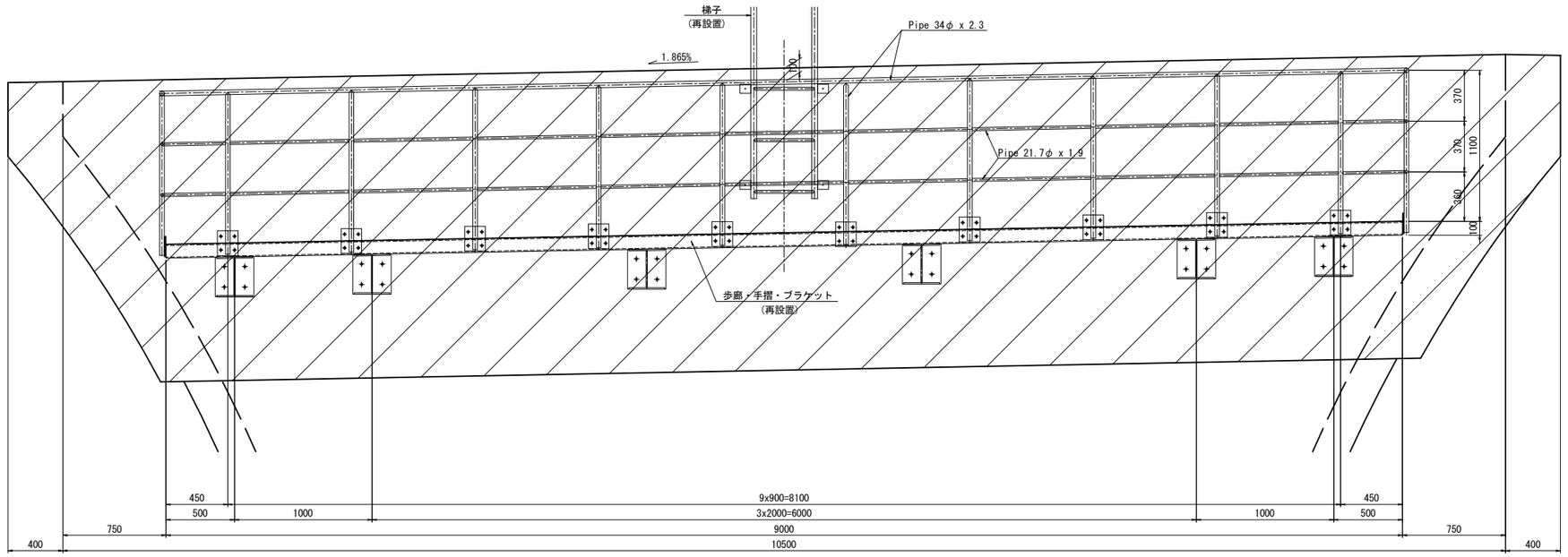
小櫃川第二橋（下り線）P40橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

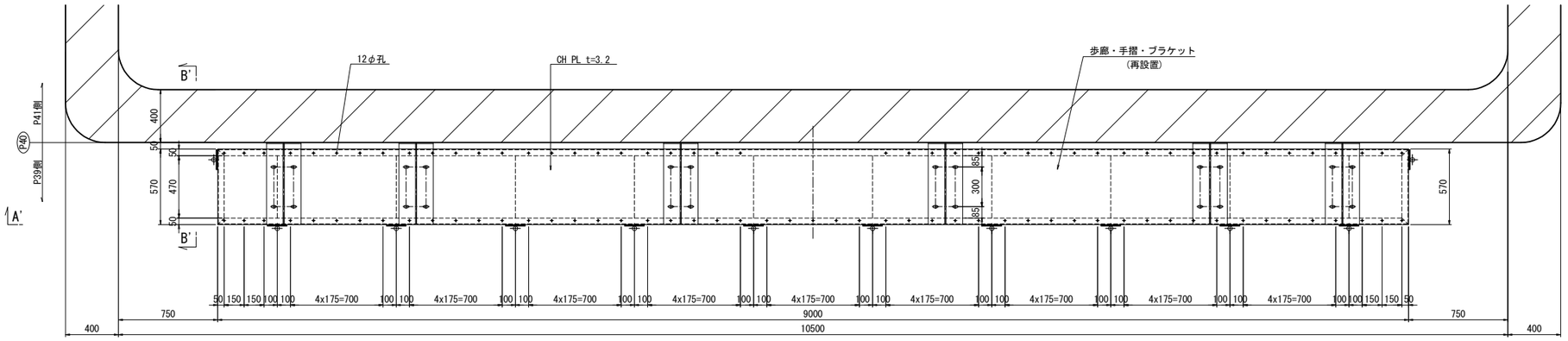
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 9094　(STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636　(STK400)
12 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
18 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874　(STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 497　(STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 476　(STK400)
24 - PL 150 x 6 x 183
48 - BN M16 x 45　(2-W付)
2 - CH PL 550 x 3.2 x 8980
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
10 - FB 50 x 6 x 490
102- BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810　(STK400)
4 - FB 65 x 6 x 120
4 - FB 50 x 6 x 206
3 - RB 22φ x 400

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

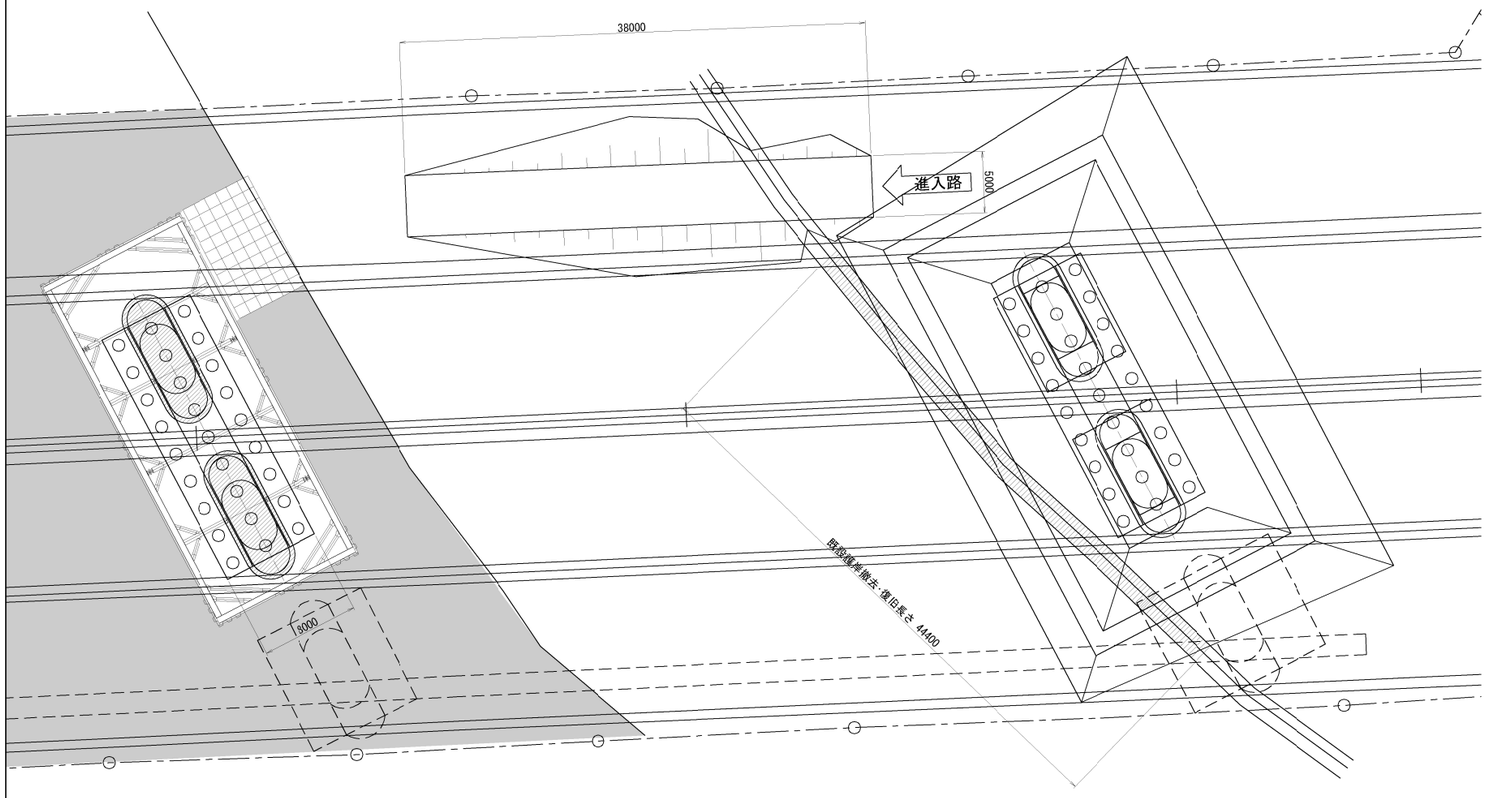
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（下り線） P40橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	65 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

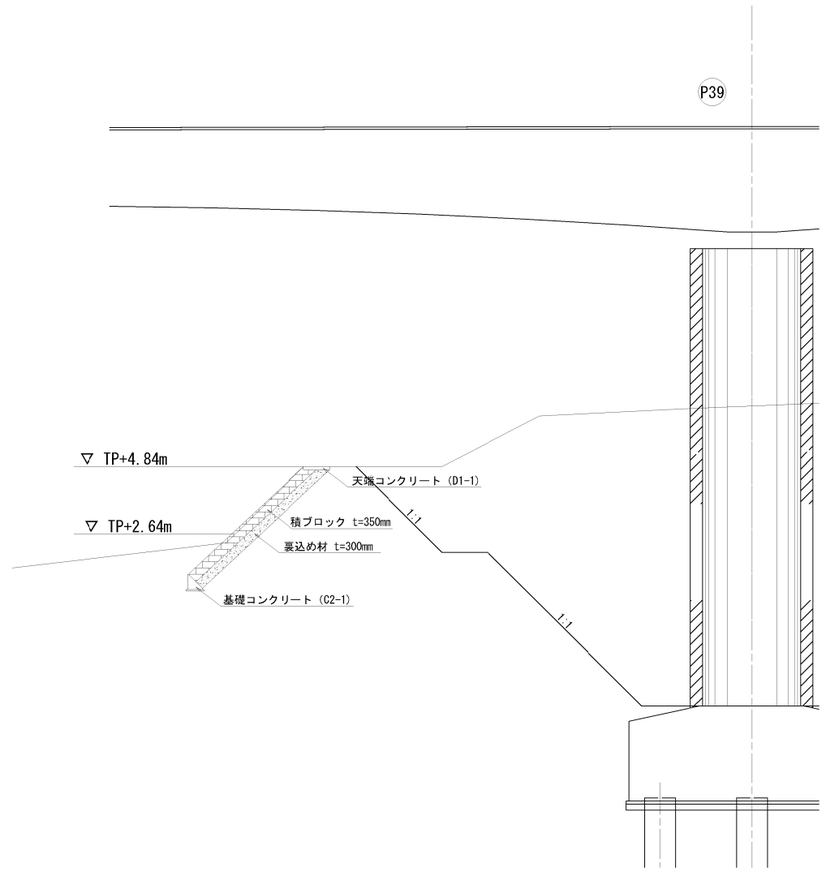
小櫃川第二橋 護岸撤去・復旧図

平　面　図 S=1/500

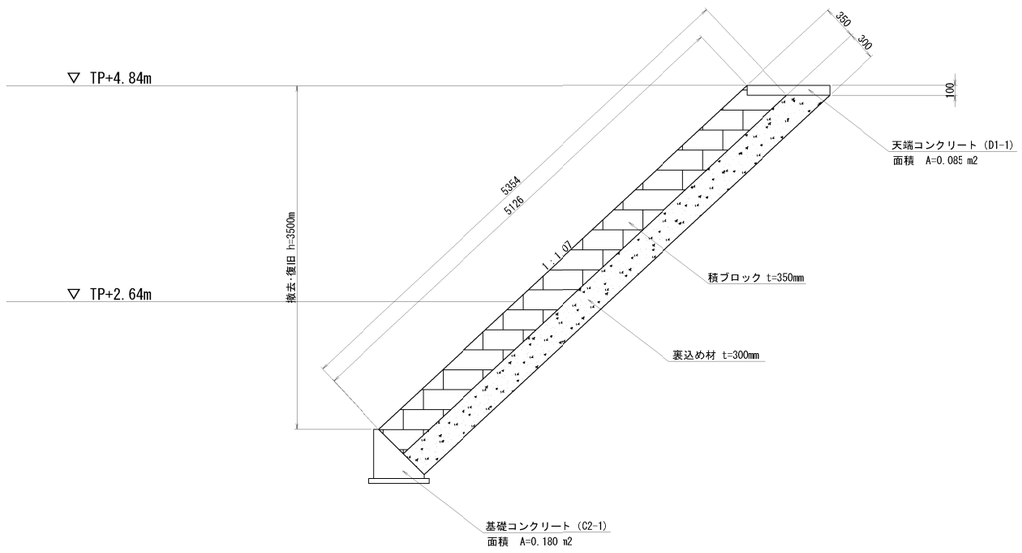
小櫃川



左岸工断面図 S=1/200



積ブロックの断面図 S=1/60



護岸撤去・復旧数量表

部 材 名	種 別	長さ [m]	幅 [m]	面積 [m2]	体積 [m3]	備考
撤去長:44.4 m	積ブロック t=350mm	5.126	0.35	1.794	79.7	勾配 1:1.07
	裏込め材 t=300mm	5.354	0.30	1.606	71.3	勾配 1:1.07
	天端 コンクリート(D1-1)			0.085	3.8	
	基礎コンクリート(C2-1)			0.180	8.0	

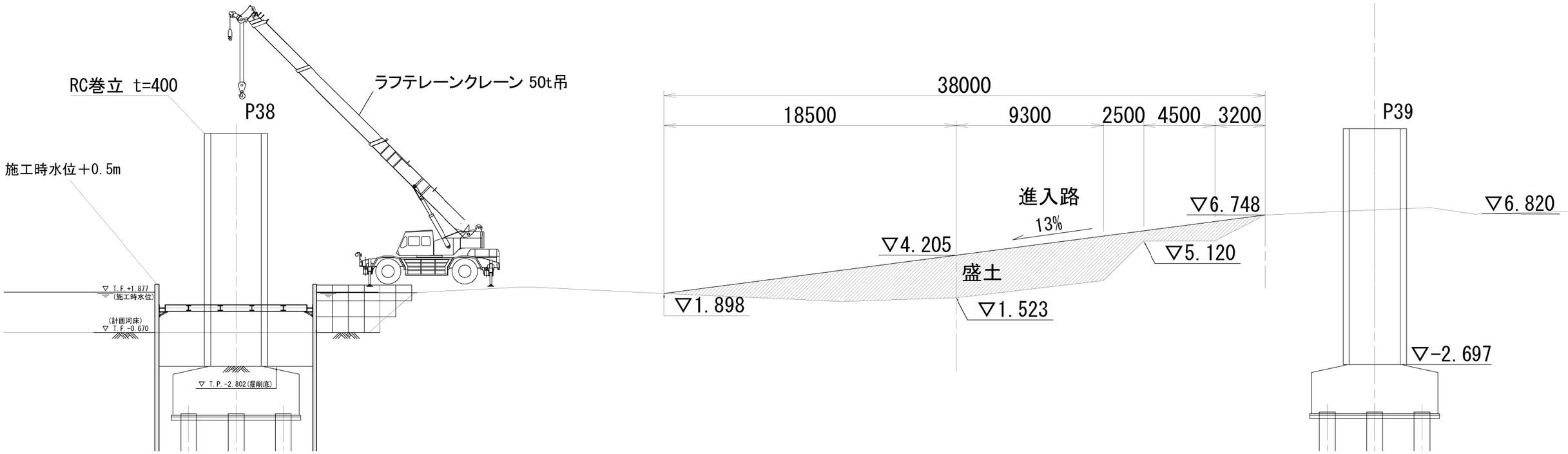
特記事項

・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
・裏込め材は砕石 (RC-40)とする。

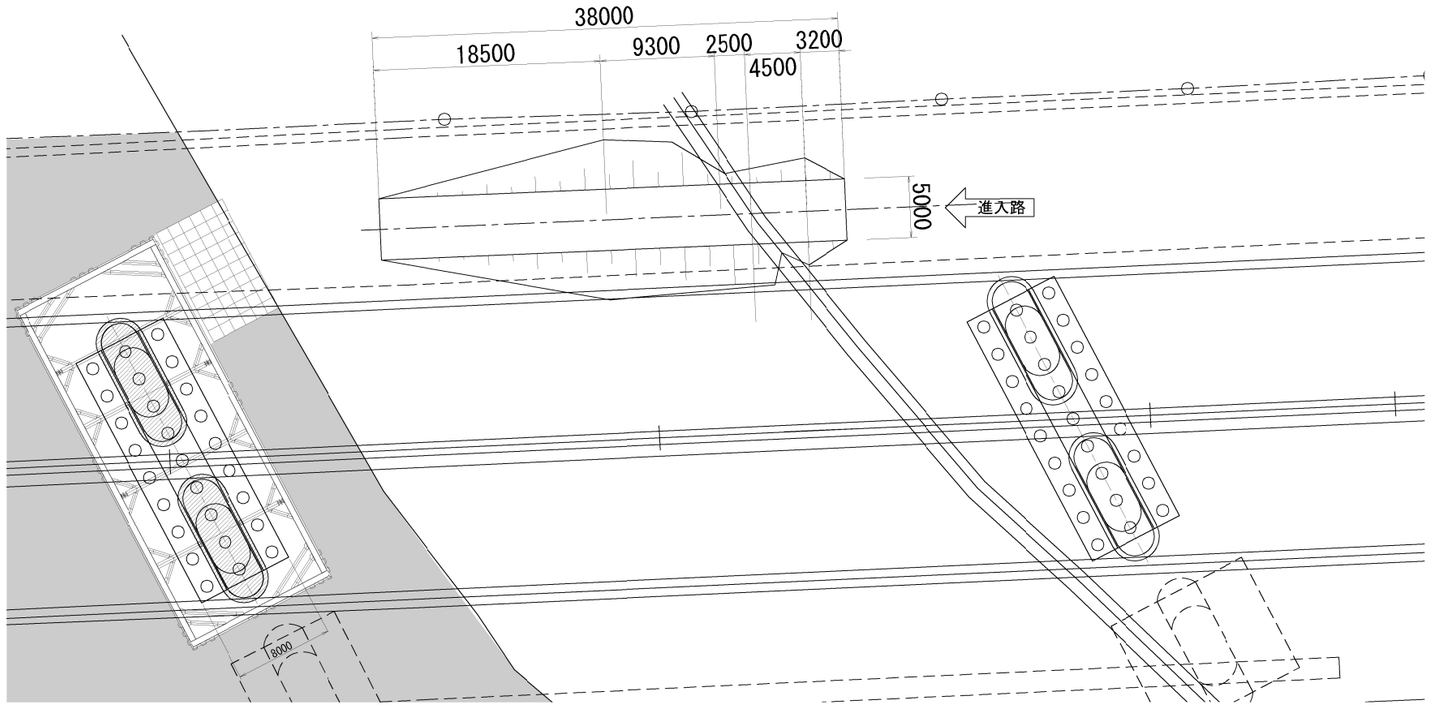
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋 護岸撤去・復旧図		
縮　尺	図示	図面番号	66 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋 工事用道路工一般図

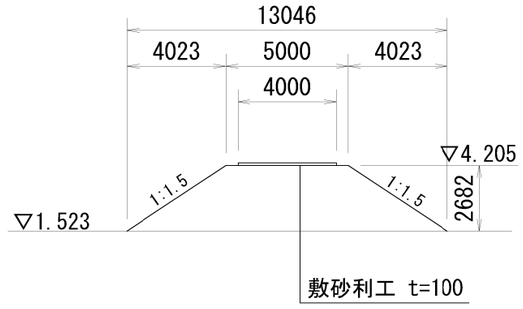
側　面　図 S=1/100



平　面　図 S=1/200



標準断面図 S=1/100



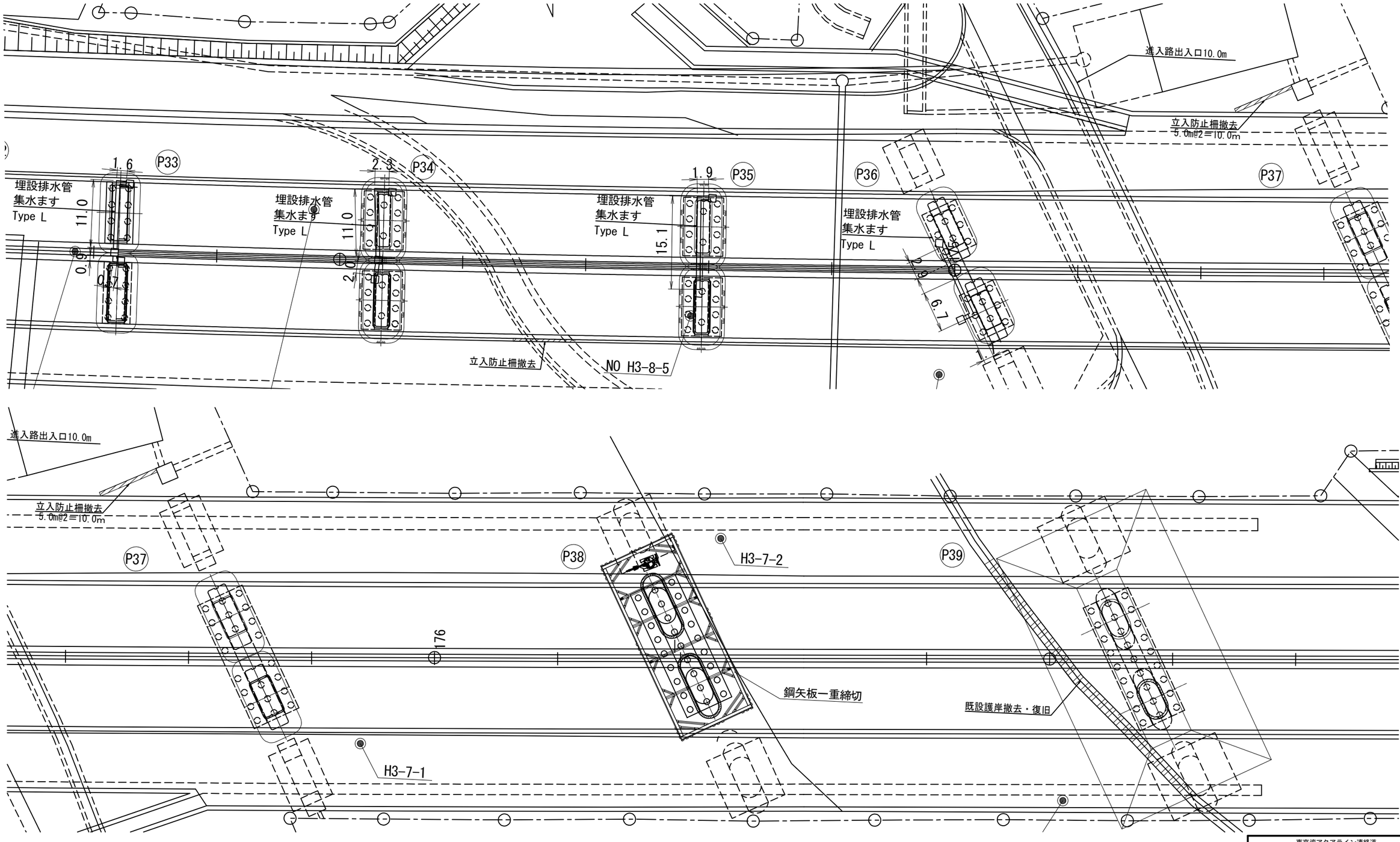
特記事項

・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋 工事用道路工一般図		
縮　尺	図示	図面番号	67 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋　撤去・復旧図（その1）

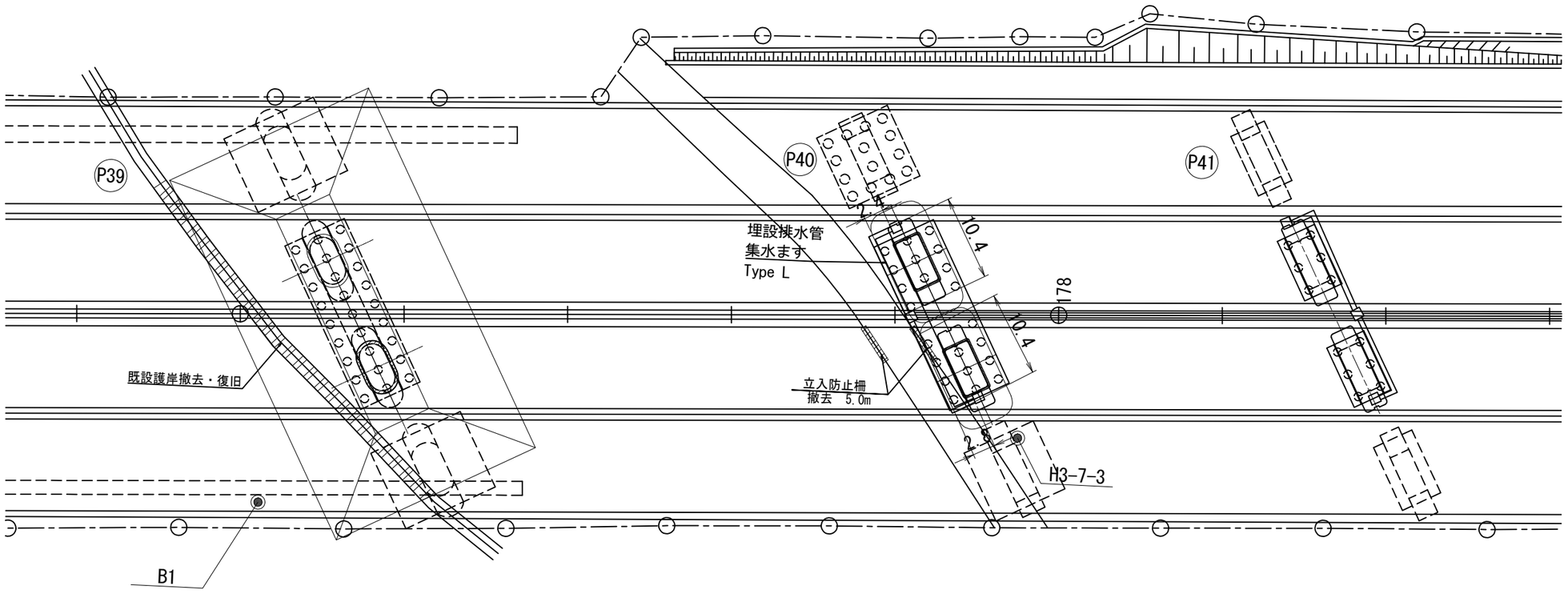
平 面 図 S=1:600



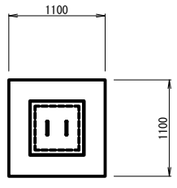
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋 撤去・復旧図（その1）		
縮　尺	1:600	図面番号	68 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋　撤去・復旧図(その2)

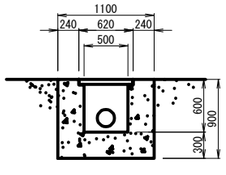
平 面 図 S=1:600



集水ます　Type L　S=1/70



平面図



断面図

数量表

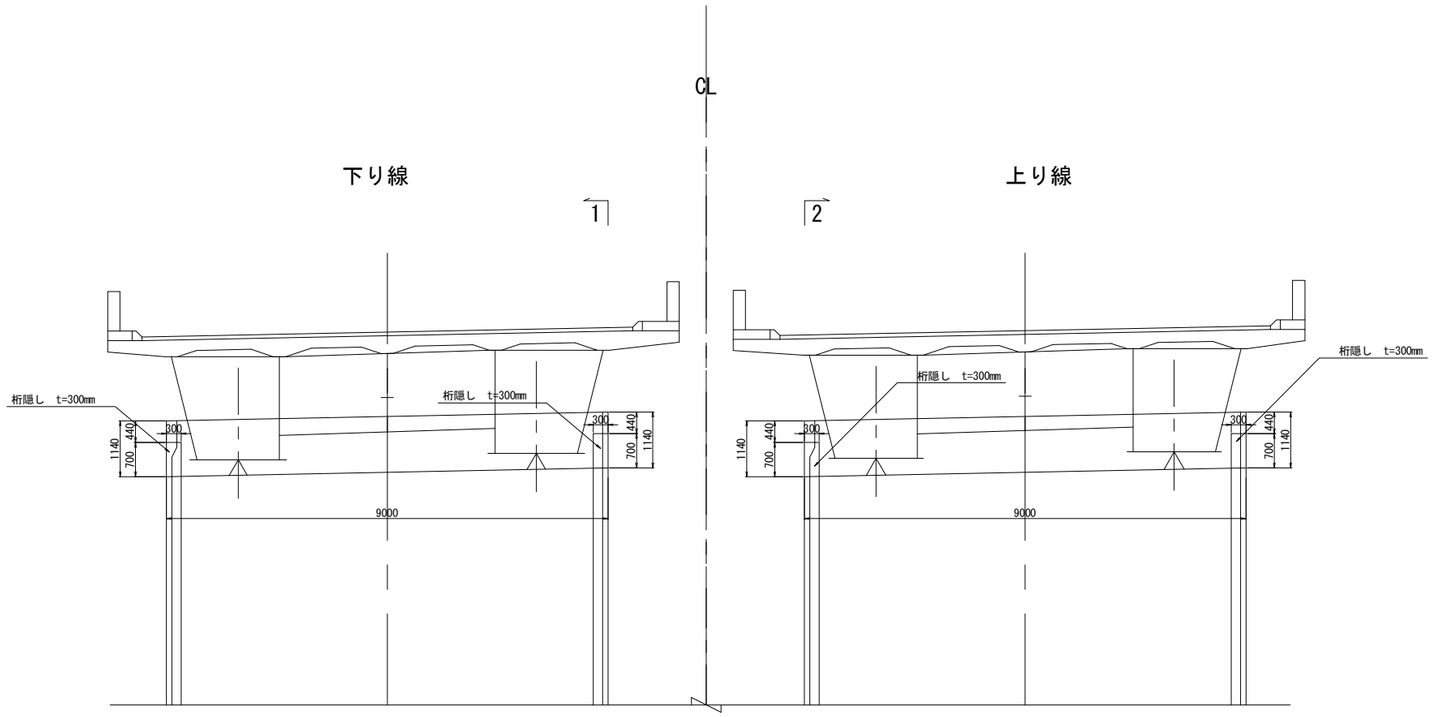
単　価　項　目		単　位	数　量	数　量
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m	30.0	P34 10.0、 P37 10.0、 P40 10.0
	一般型非積雪地用	箇所	5.0	P34 2.0、 P37 2.0、 P40 2.0
既設護岸撤去設置工		m2	307.6	P39 5.126×60=307.56
用・排水溝撤去設置工	集水ます　TypeL	箇所	12.0	P33 3.0、 P34 3.0、 P35 2.0、 P36 1.0、 P40 3.0
	用排水溝　PuL･0.3･0.3	m	83.8	P33 14.2、P34 15.3、P35 17.0、P36 11.3、 P40 26.0

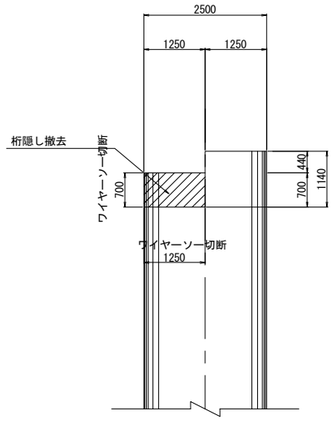
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋 撤去・復旧図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	69 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

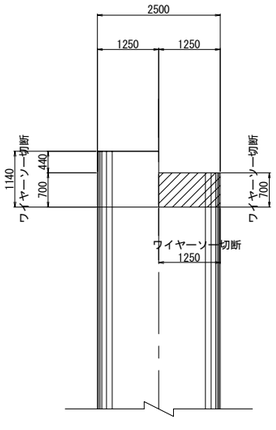
小櫃川第二橋　撤去・復旧図（その3）

S=1:125

P33橋脚桁隠し撤去図







数量表

ワイヤーソー切断

	長さ（m）	幅（m）	断面積（m2）	箇所	切断面積（m2）
鉛直	0.700	0.300	0.210	4	0.840
水平	1.250	0.300	0.375	4	1.500

ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去

	長さ（m）	幅（m）	高さ（m）	体積（m3）	箇所	撤去体積（m3）
	1.250	0.300	0.700	0.2625	4	1.050

注記

・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
・切断面の鋼材露出部には防錆材を塗布すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋 撤去・復旧図（その3）		
縮　尺	1:125	図面番号	70 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その1)　縮尺 1:25

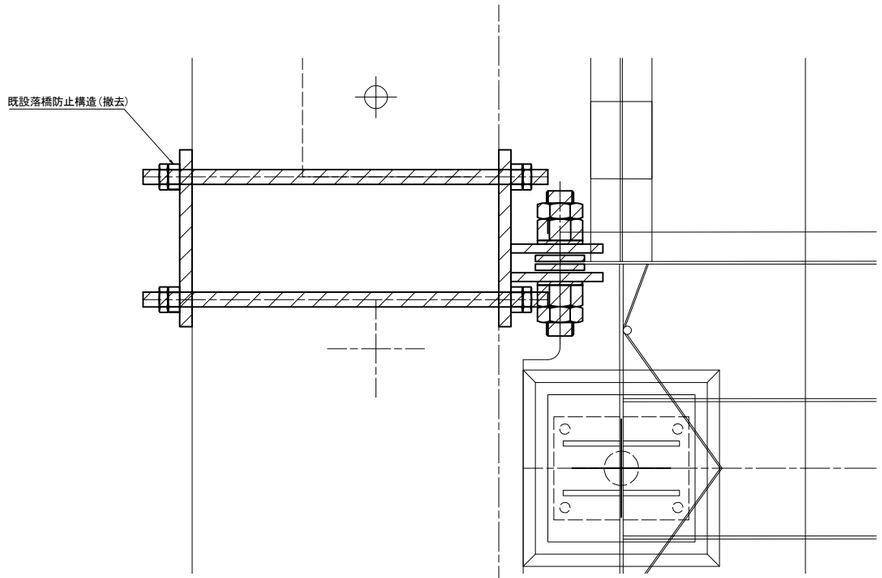
撤去工　落橋防止構造

P33橋脚

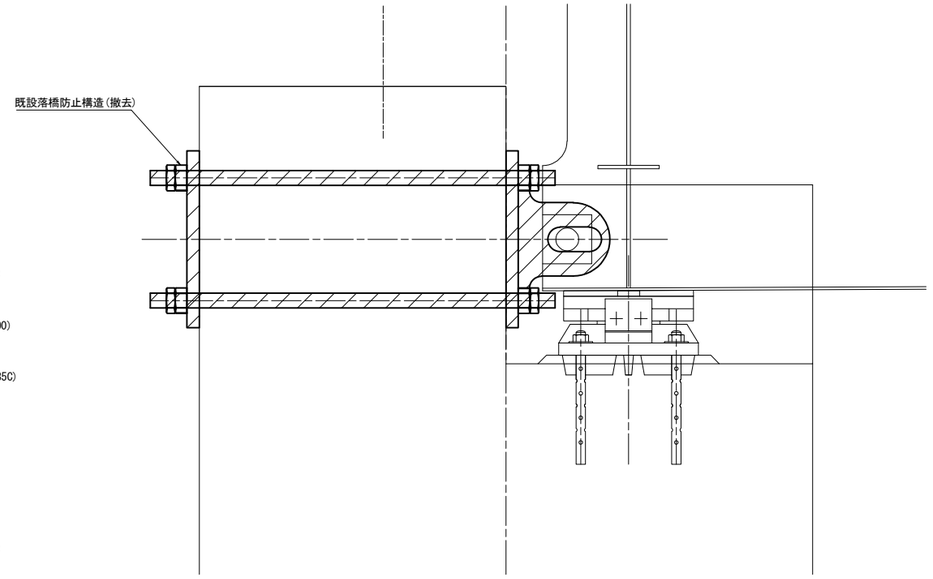
既設落橋防止構造

P33橋脚(上り線)：2基
P33橋脚(下り線)：2基

平面図



側面図



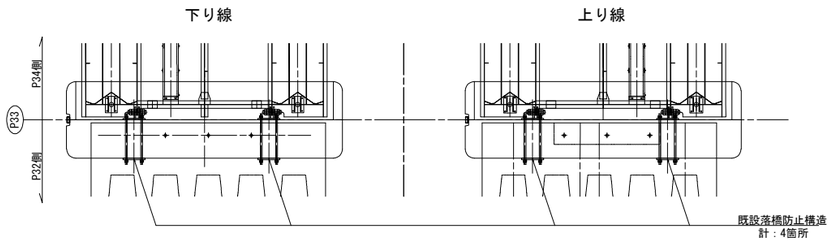
撤去部材
既設落橋防止構造（1基当たり）
2-PL 720×50×720(SM570)
2-PL 375×36×400(SM570)

アンカーボルト目隠し版
1-PL 800×4.5×800(SS400)
1-PL 1100×4.5×1100(SS400)
2-PL 191×4.5×800(SS400)
2-PL 191×4.5×791(SS400)
4-打込み式アンカー M12(SS400)

アンカーボルト
4-Anchor Bolt φ60×1600(S35C)
8-NUT M60(1種)(SS400)
8-NUT M60(3種)(SS400)
8-PL φ110×9(座金)(SS400)
2-Washer M60(SS400)

取付ボルト
1-Pin φ90×520(S45C)
2-NUT M90(1種)(SS400)
2-NUT M90(3種)(SS400)
2-PL φ150×12(座金)(SS400)
2-割ピン φ13×140(SWRM10)

配置図



東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	71 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

小櫃川第二橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その2)　縮尺 1:25

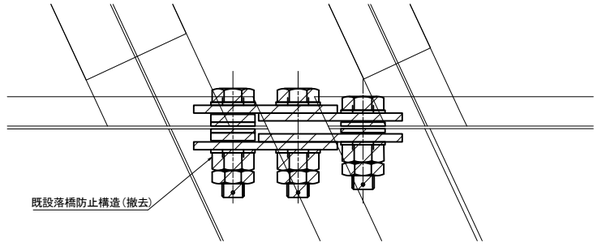
撤去工　落橋防止構造

P36橋脚

既設落橋防止構造

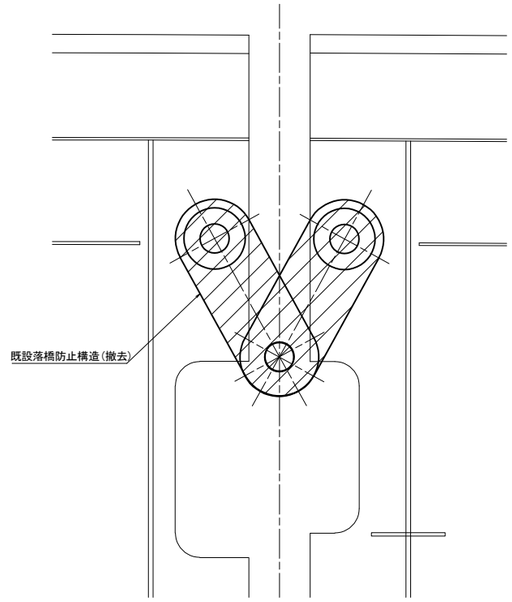
P36橋脚(上り線)：4基
P36橋脚(下り線)：4基

平面図

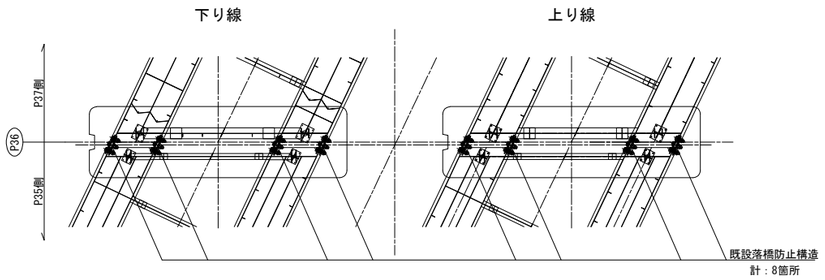


撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
- 4-PL 320×32×870(SM490YB)
- 2-FILL PL φ200×37(SM400B)
- 2-Bolt M110×410 (S35C)
- 1-Bolt M110×340 (S35C)
- 3-NUT M110(1種)(SS400)
- 3-NUT M110(3種)(SS400)
- 6-Washer φ185×14(SS400)
- 3-割ピン φ13×180(SUS304)

側面図



配置図

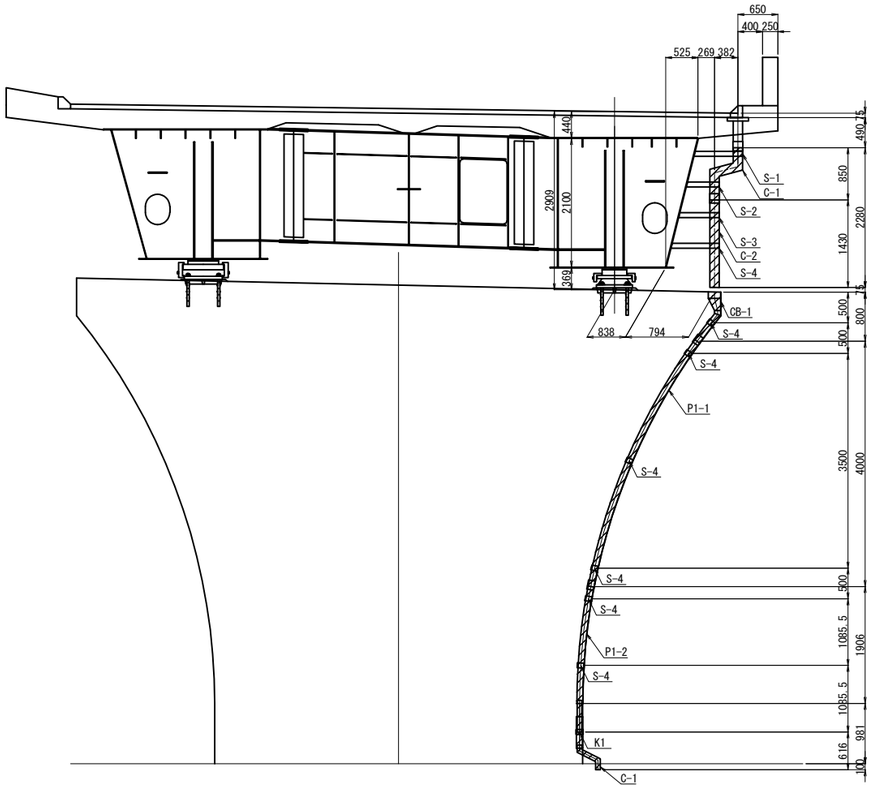


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川第二橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	72 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

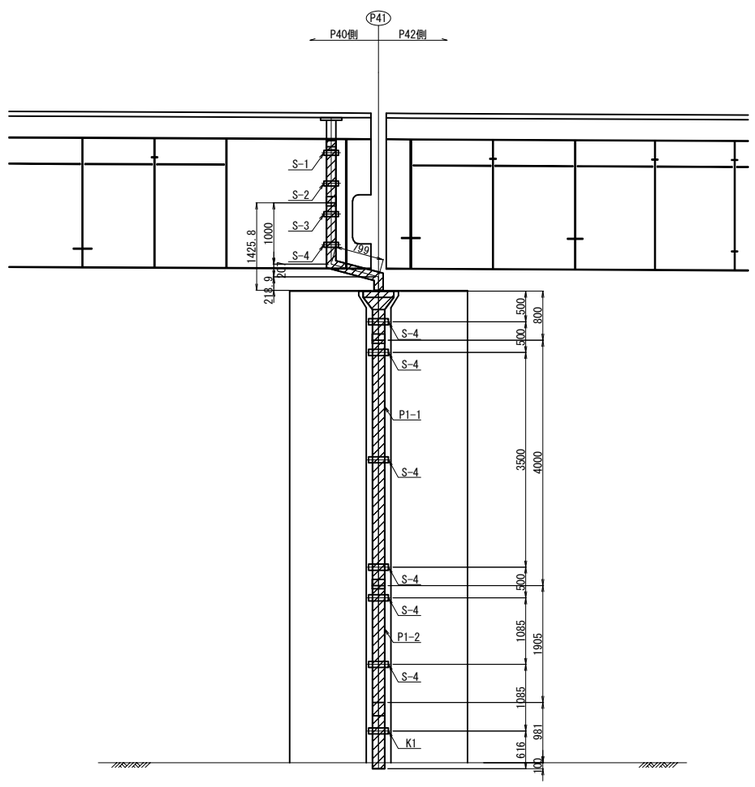
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

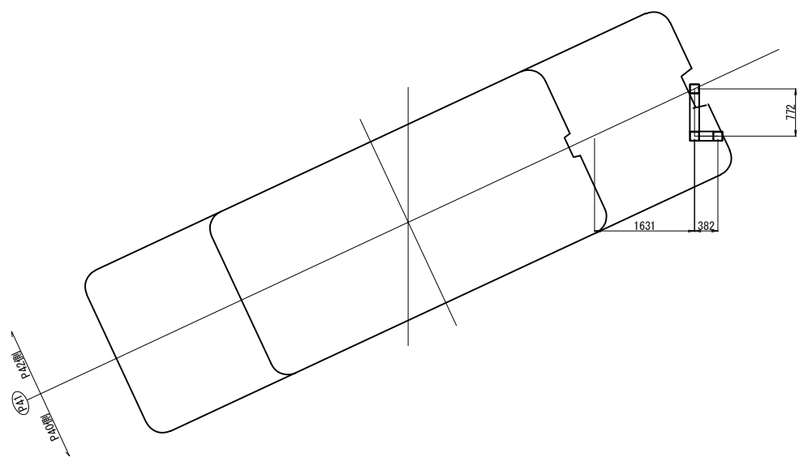
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-1	個	1
	C-2	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
曲　　管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-4	個	6
	K1	個	1
加 工 管	C-1	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.762
撤去重量		kg	346

凡例

▨ ：撤去

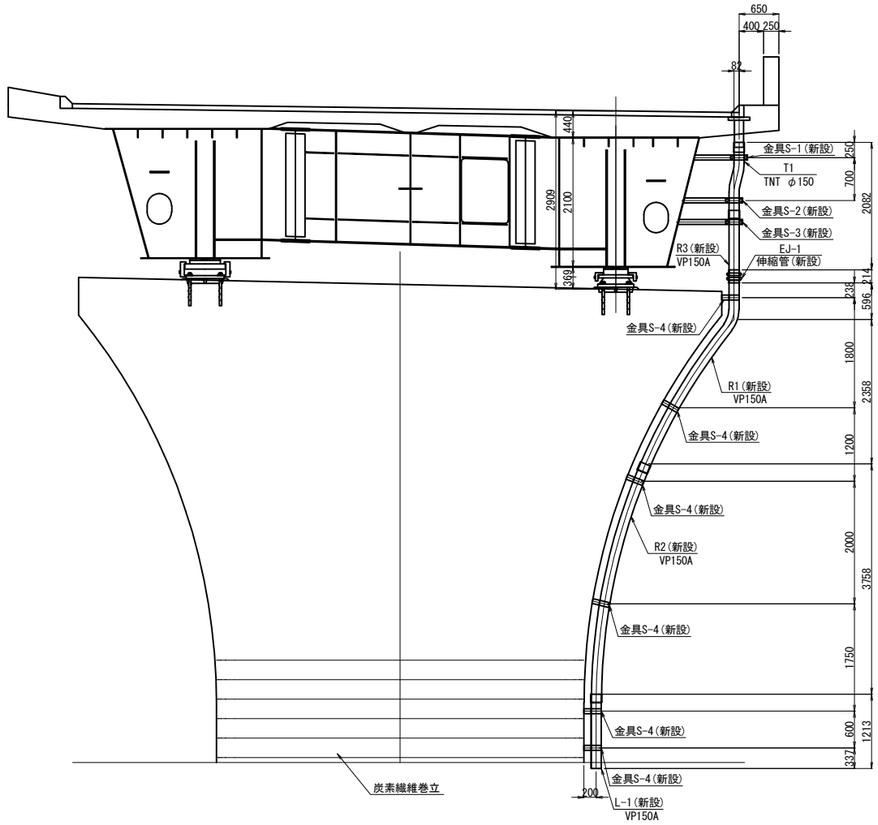
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	73 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

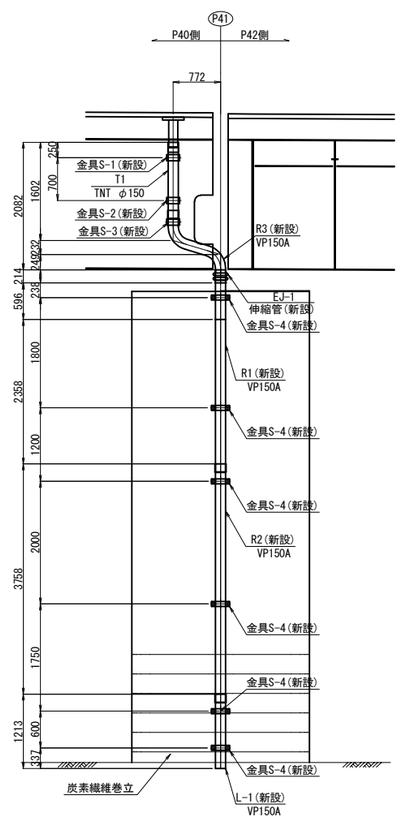
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

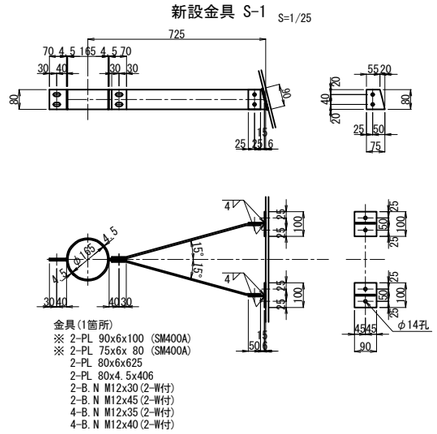
正 面 図



側 面 図

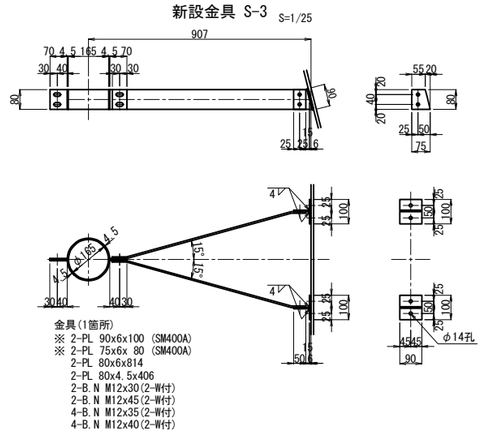


新設金具 S-1 S=1/25



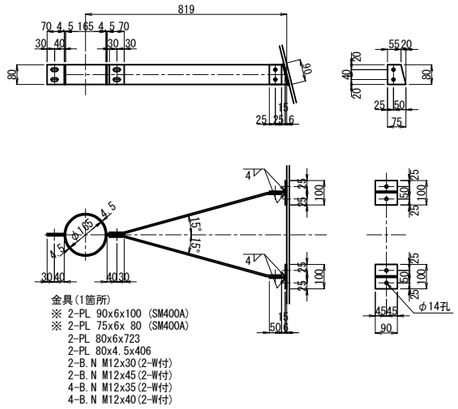
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



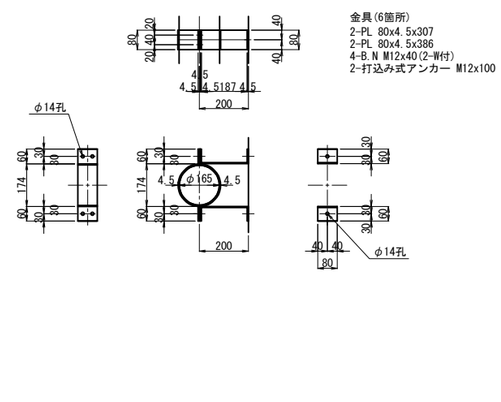
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x814
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
2-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



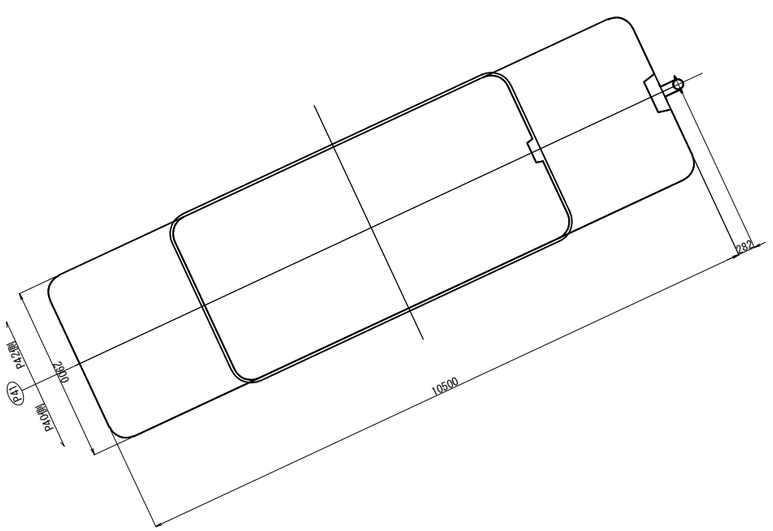
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x723
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25

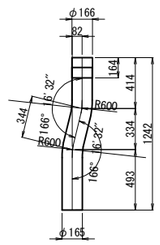


金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

平 面 図

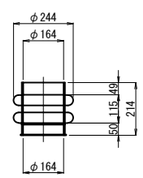


新設フレキシブル管 T1 S=1/50

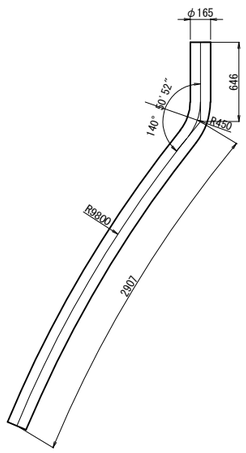


1-TNT φ150x1251

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

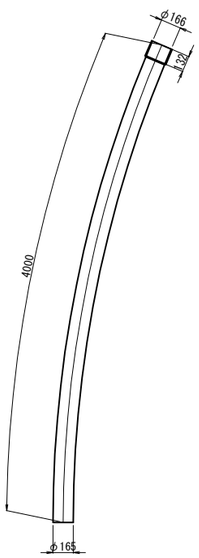


新設曲管R1 S=1/50



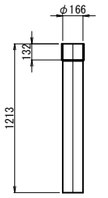
1-VP 150Ax3553

新設曲管R2 S=1/50



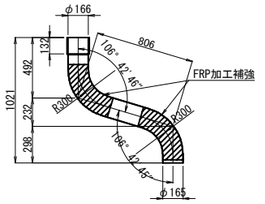
1-VP 150Ax4000

新設直管L-1 S=1/50



1-VP 150Ax1213

新設加工管 R3 S=1/50



1-VP 150Ax1596

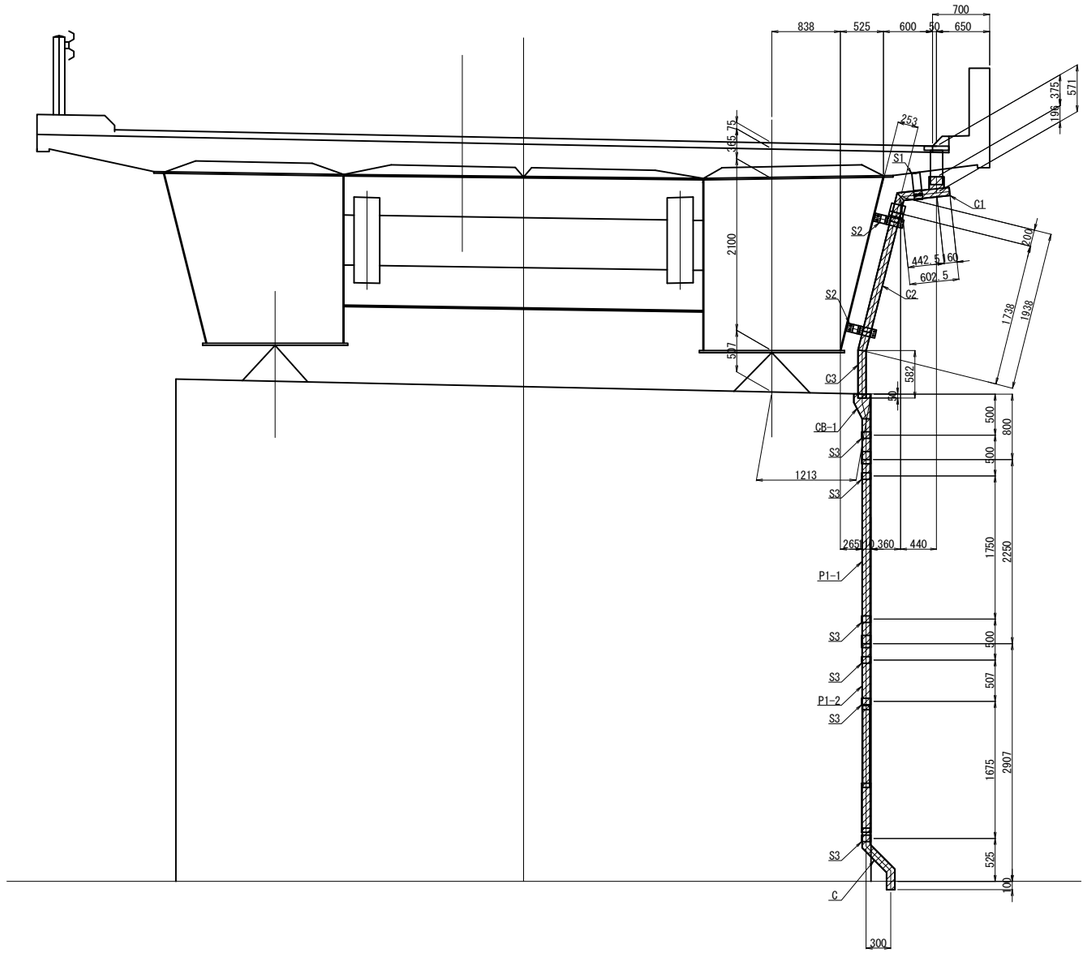
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	74 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

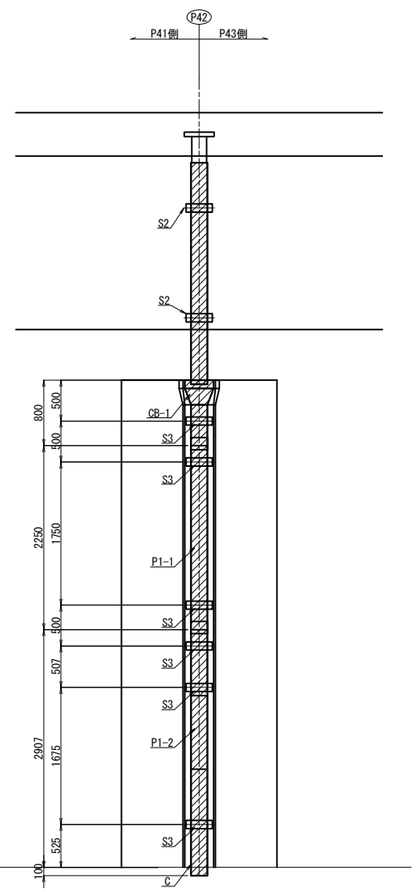
袖ヶ浦高架橋（上り線）P42橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



平 面 図

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB-1	個	1
直　管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.290
撤去重量		kg	269

凡例

：撤去

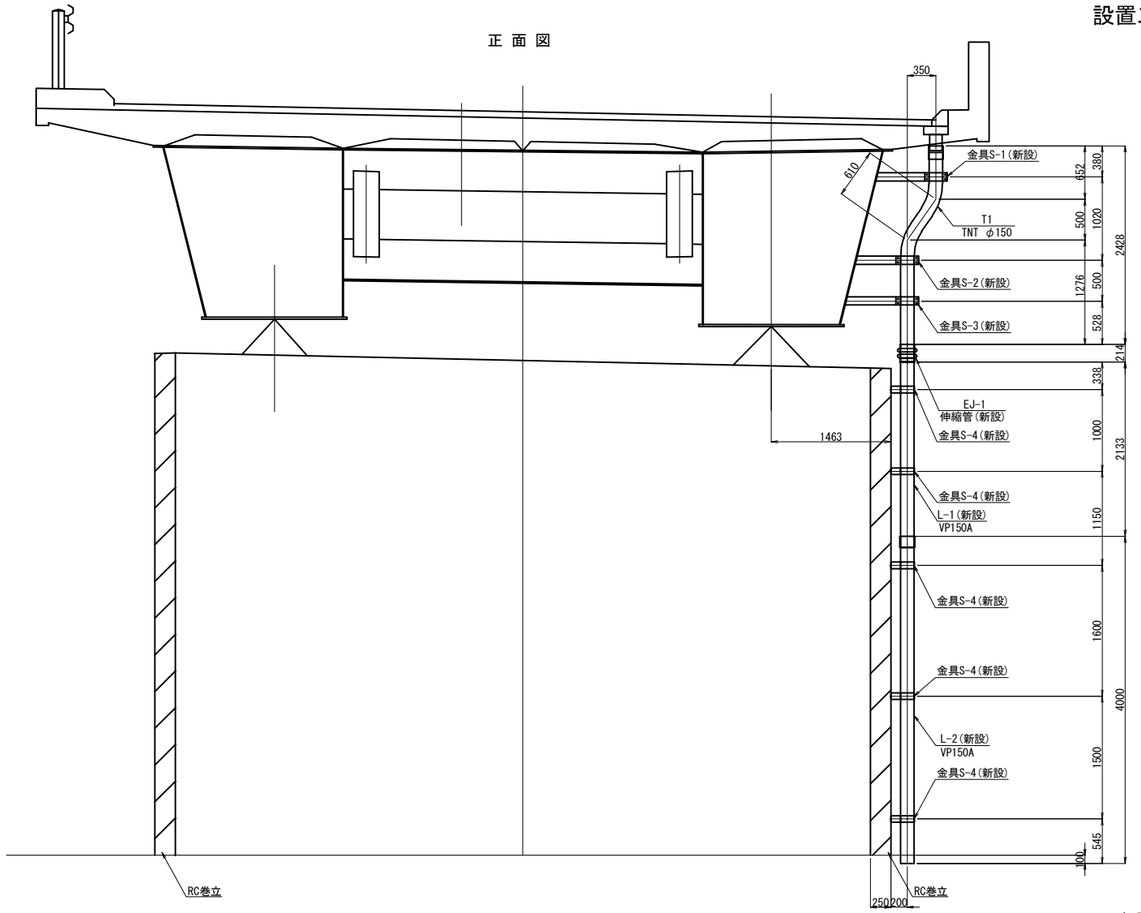
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P42橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　尺	1:75
図面番号	75 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

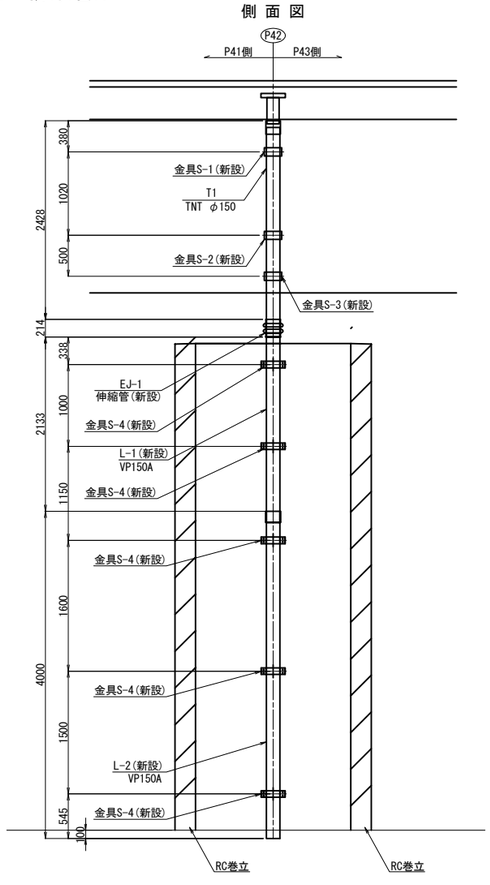
袖ヶ浦高架橋（上り線）P42橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

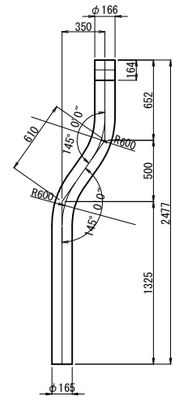
正 面 図



側 面 図

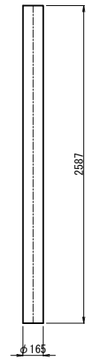


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



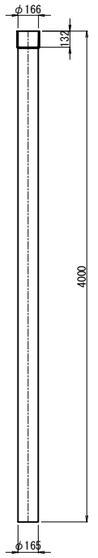
1-TNT φ150x2587

新設直管L-1 S=1/50



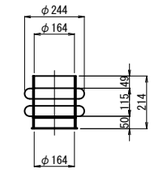
1-VP 150Ax2587

新設直管L-2 S=1/50

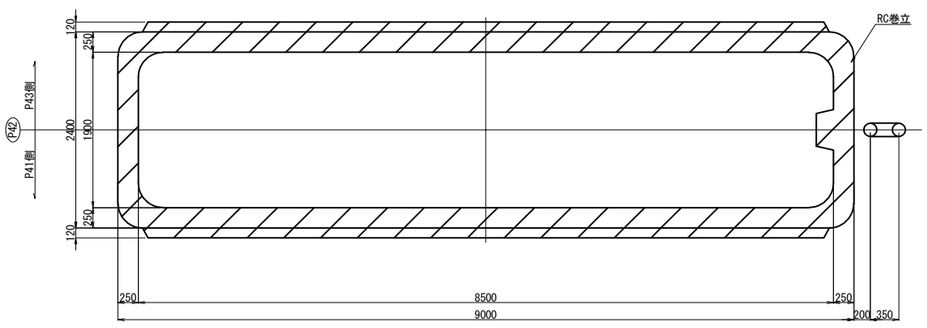


1-VP 150Ax4000

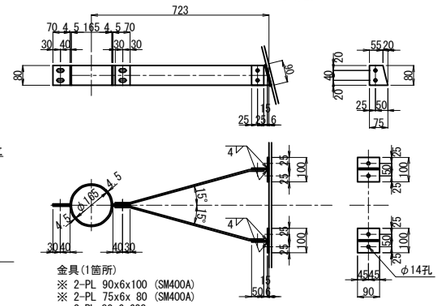
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

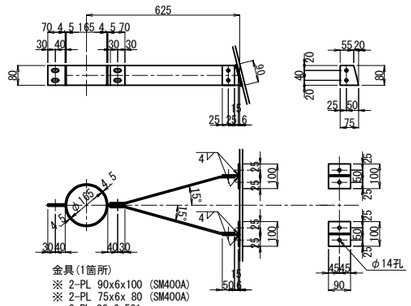


新設金具 S-1 S=1/25



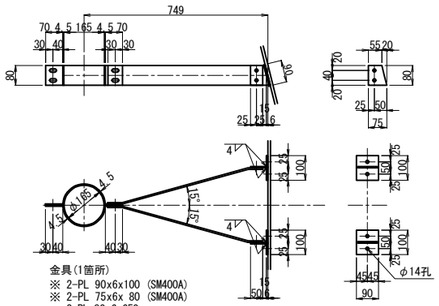
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x623
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



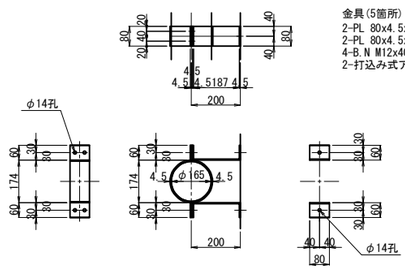
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x521
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x650
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

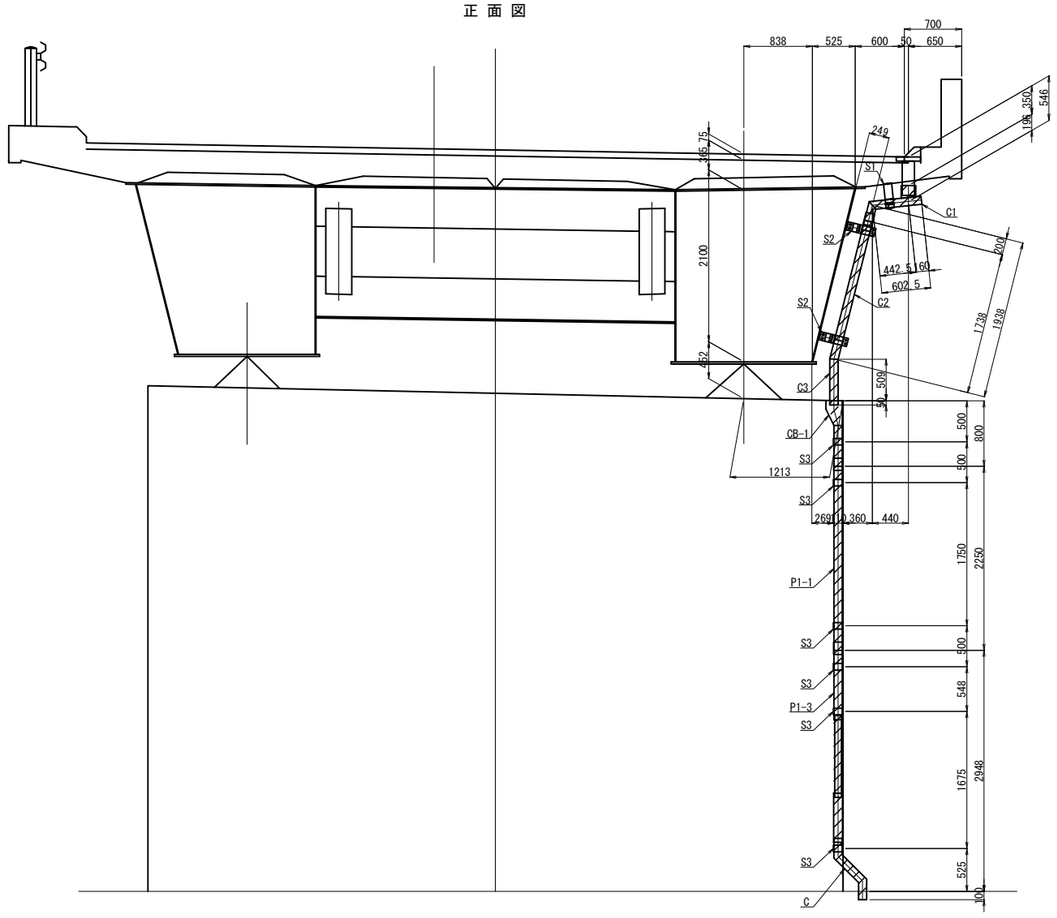
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上り線） P42橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	76 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

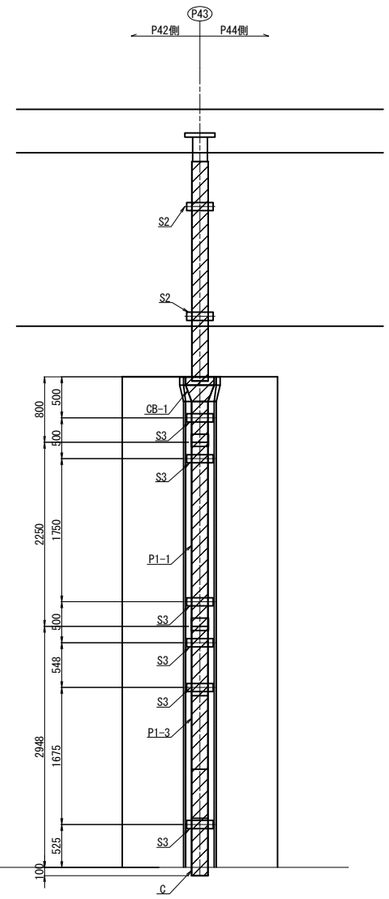
袖ヶ浦高架橋（上り線）P43橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



平 面 図

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-3	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.308
撤去重量		kg	269

凡例

：撤去

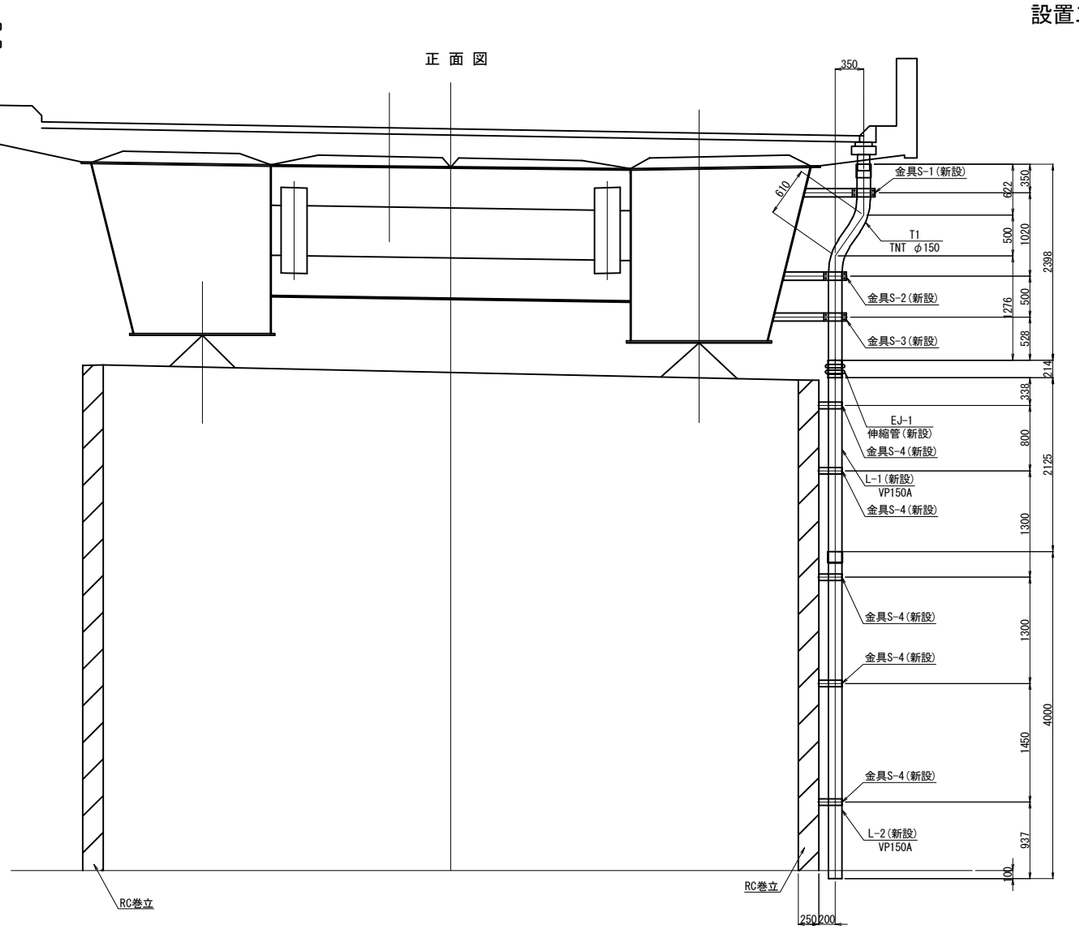
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P43橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　　尺	1:75
図面番号	77 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

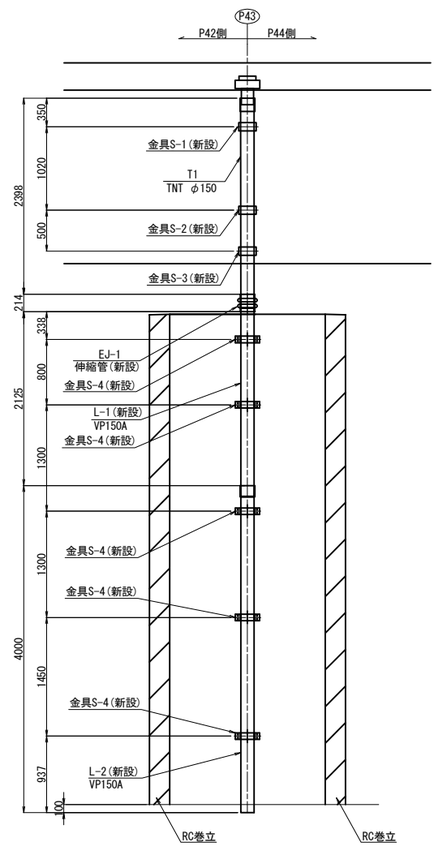
袖ヶ浦高架橋（上り線）P43橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

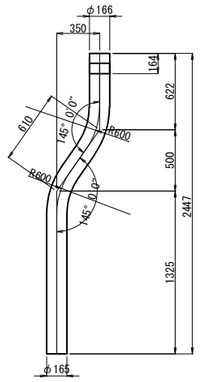
正 面 図



側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

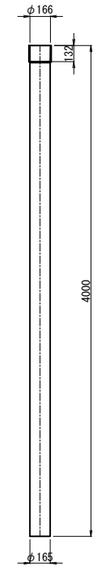


1-TNT φ150x2557

新設直管L-1 S=1/50

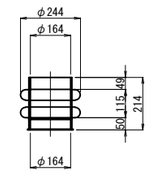
1-VP 150Ax2307

新設直管L-2 S=1/50

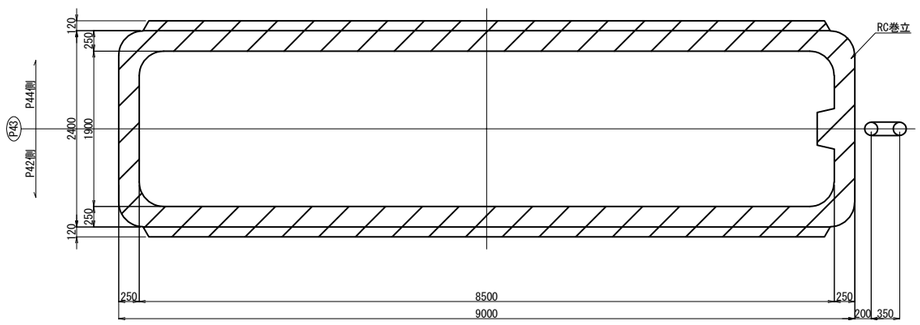


1-VP 150Ax4000

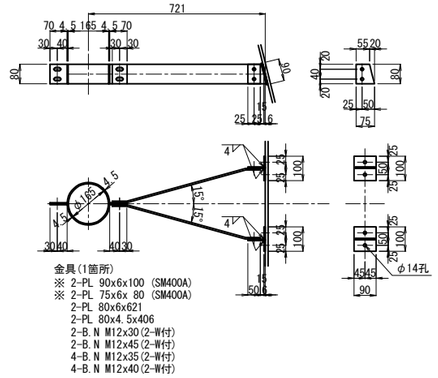
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

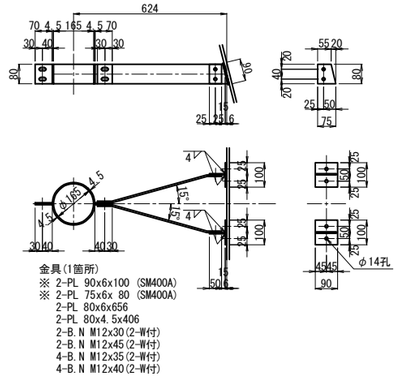


新設金具 S-1 S=1/25



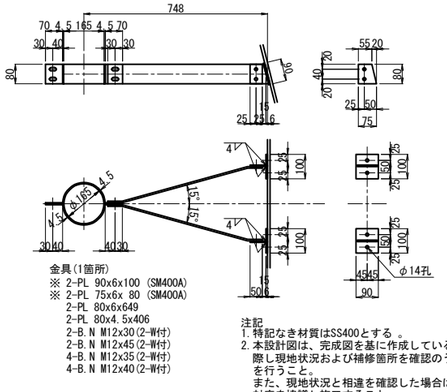
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x621
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



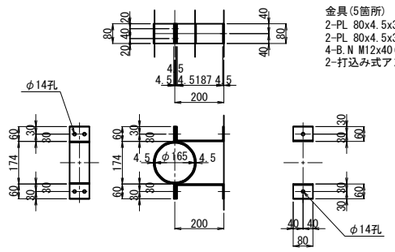
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x656
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x649
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

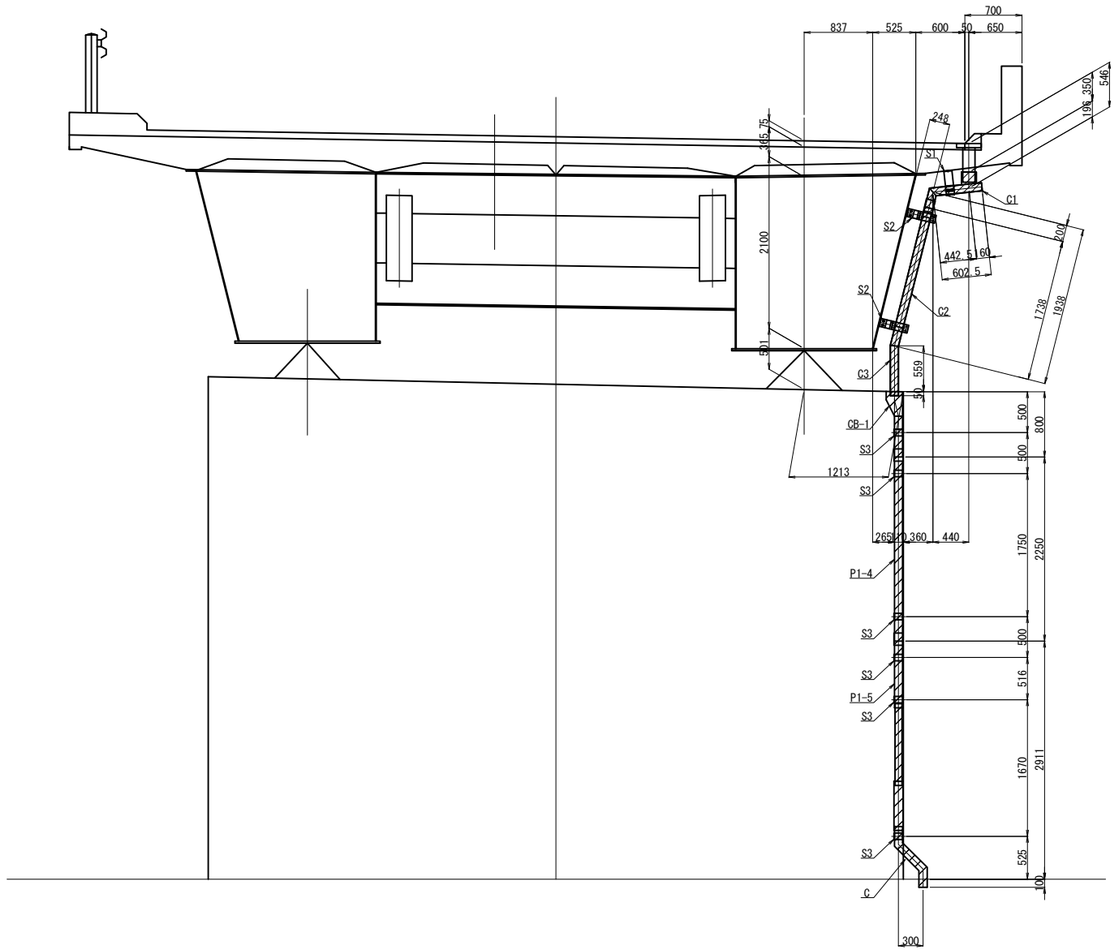
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P43橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	78 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

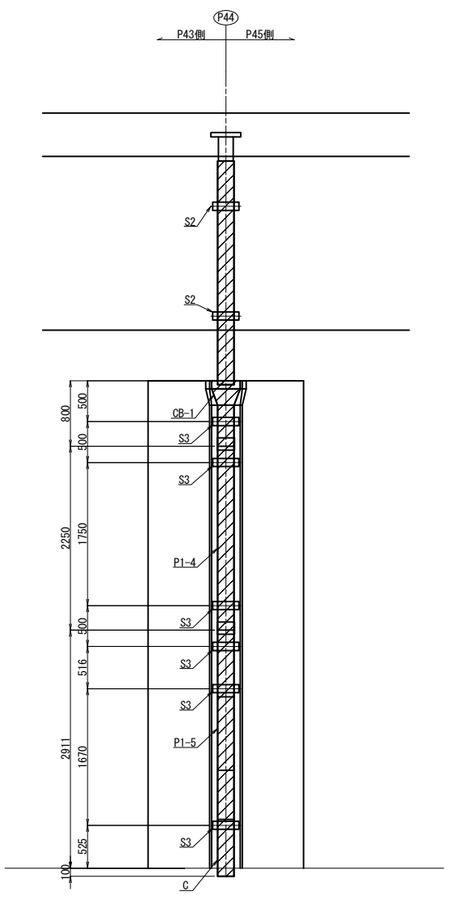
袖ヶ浦高架橋（上り線）P44橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



平 面 図

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-4	個	1
	P1-5	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.317
撤去重量		kg	275

凡例

▨ ：撤去

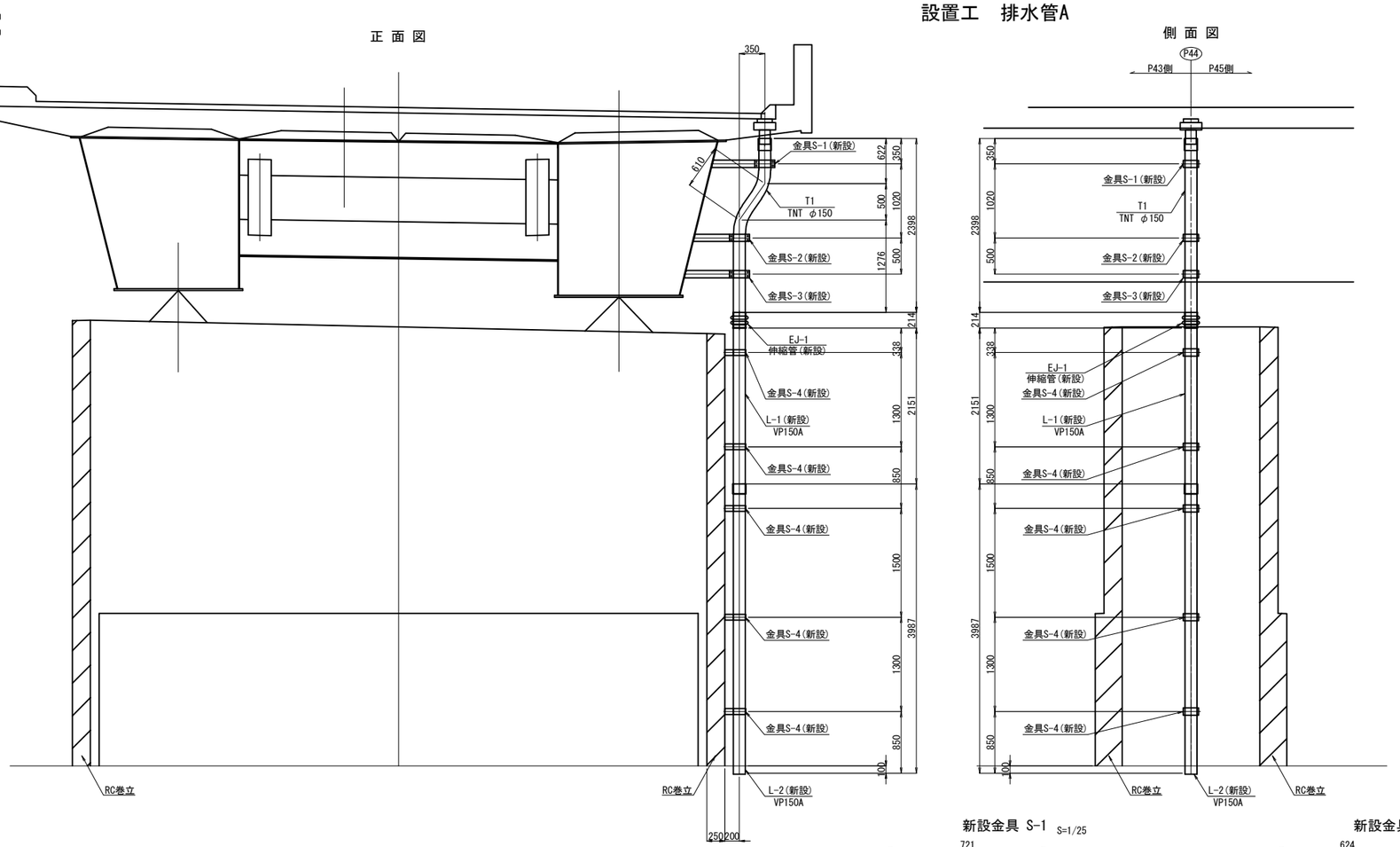
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P44橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	79 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（上り線）P44橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

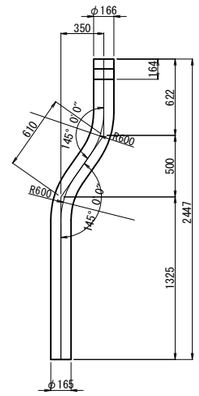
設置工　排水管A

正 面 図



側 面 図

新設フレキシブル管 T1 S=1/50

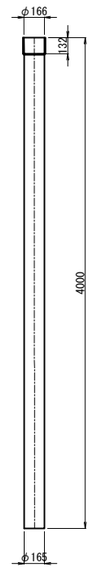


1-TNT φ150x2557

新設直管L-1 S=1/50

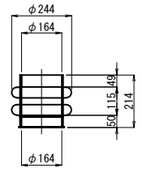
1-VP 150Ax2333

新設直管L-2 S=1/50

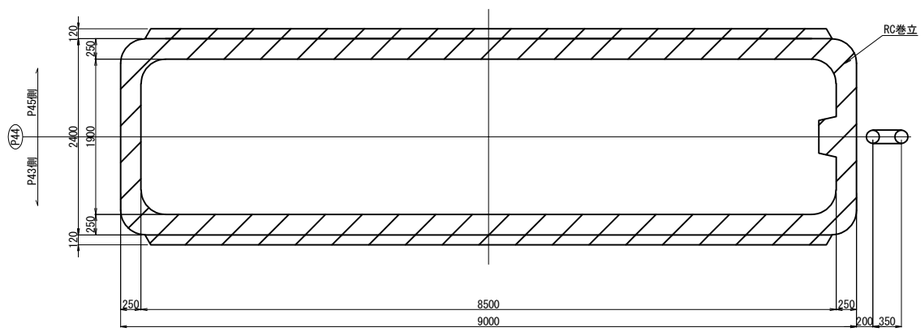


1-VP 150Ax4000

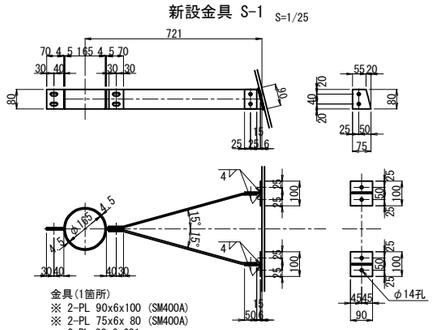
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

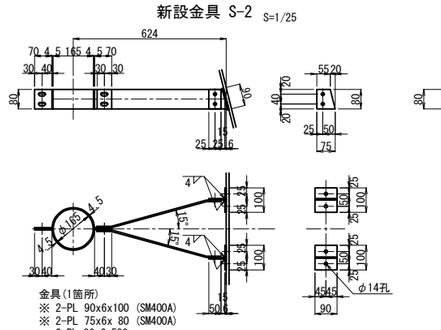


新設金具 S-1 S=1/25



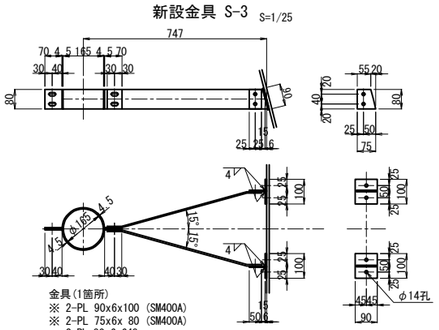
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x621
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



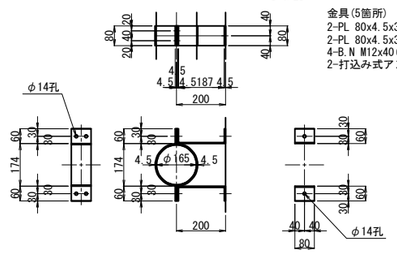
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x520
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x648
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

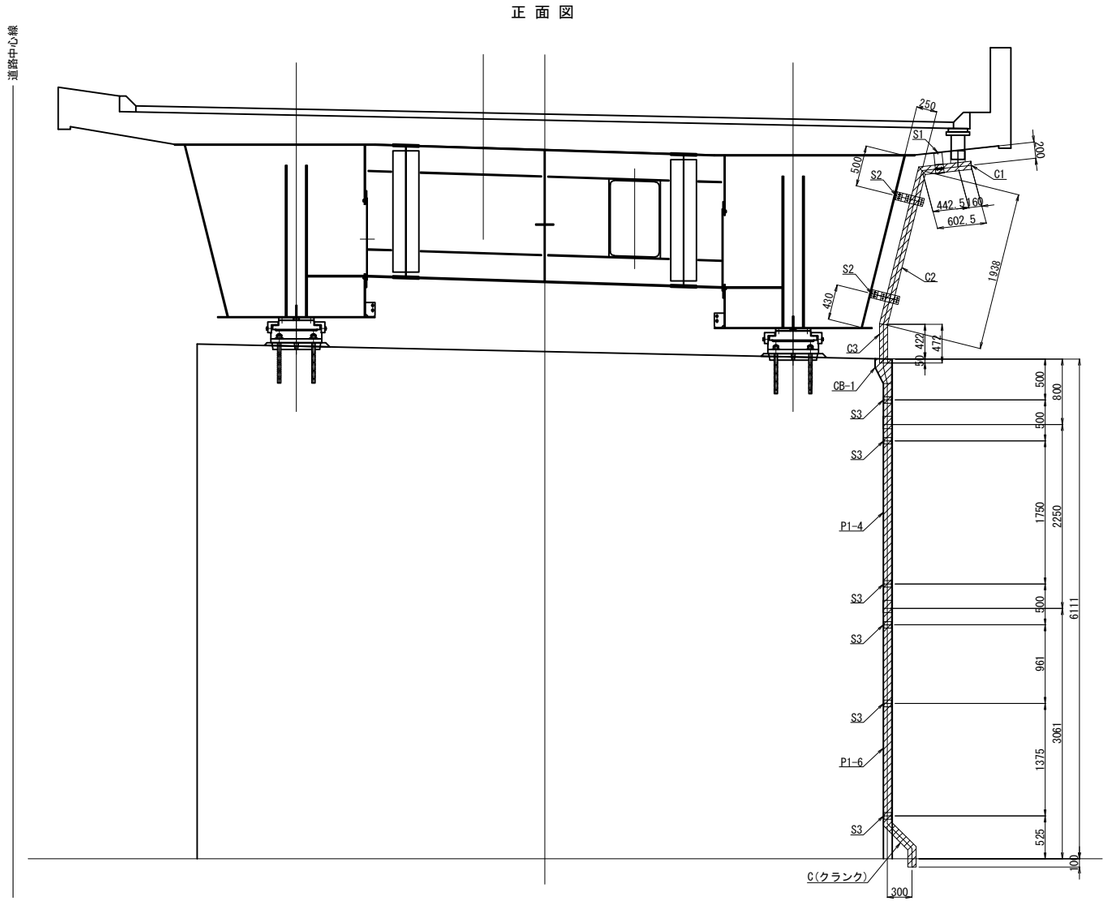
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P44橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	80 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

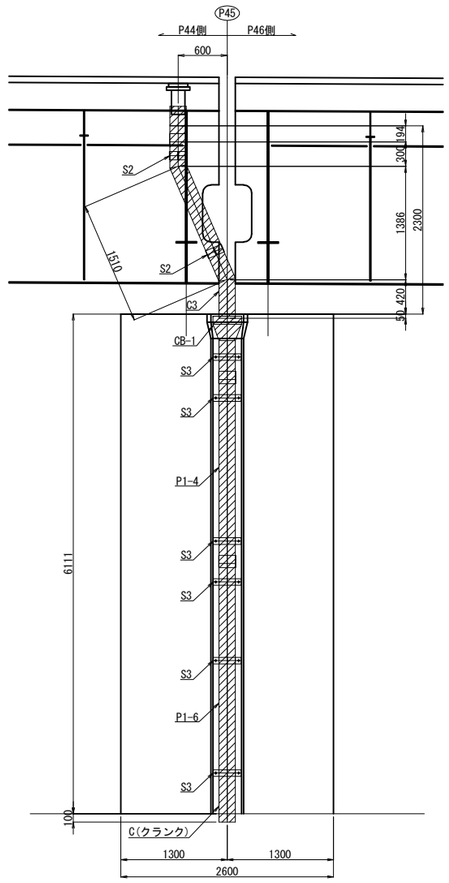
袖ヶ浦高架橋（上り線）P45橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

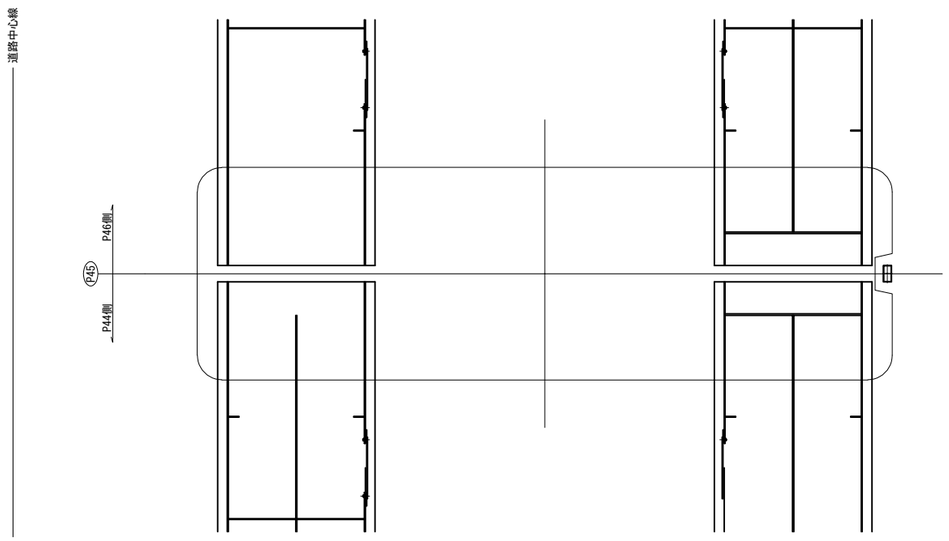
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB-1	個	1
直　管	P1-4	個	1
	P1-6	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.491
撤去重量		kg	275

凡例

▨ ：撤去

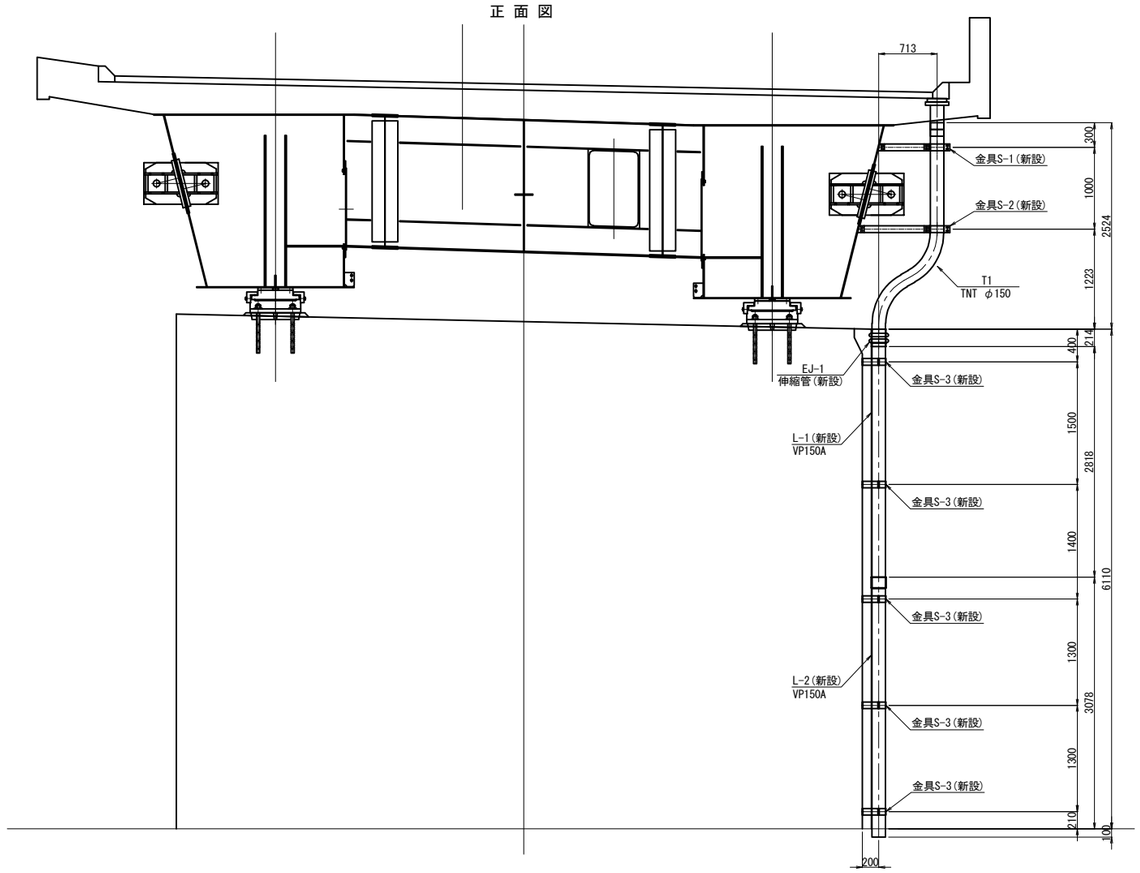
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上り線） P45橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:75	図面番号	81 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

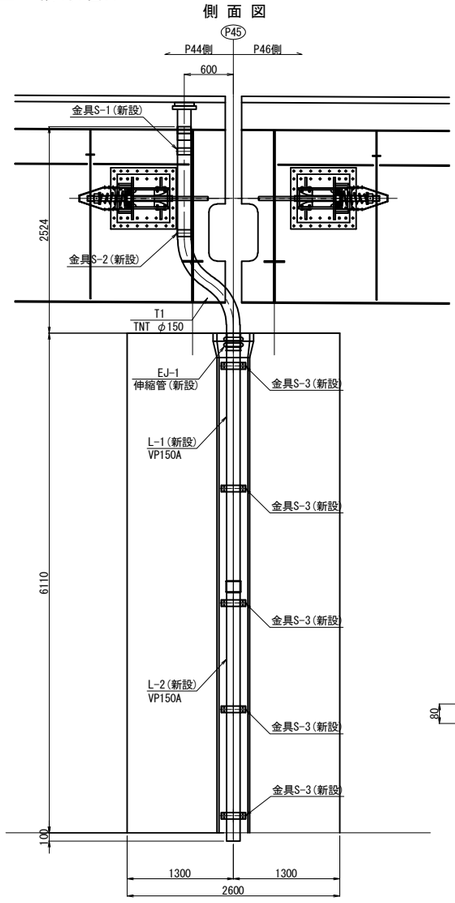
袖ヶ浦高架橋（上り線）P45橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

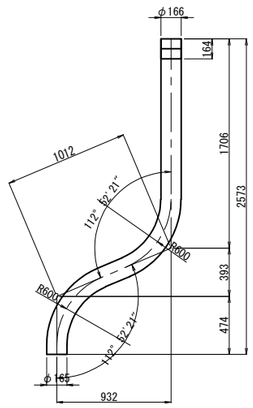
正 面 図



側 面 図

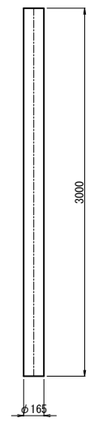


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



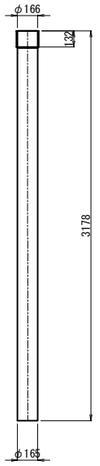
1-TNT φ150x3192

新設直管L-1 S=1/50



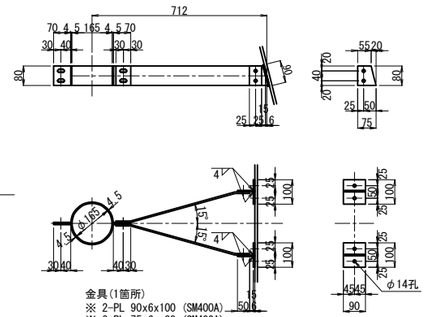
1-VP 150Ax3000

新設直管L-2 S=1/50



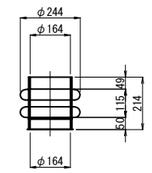
1-VP 150Ax3178

新設金具 S-1 S=1/25

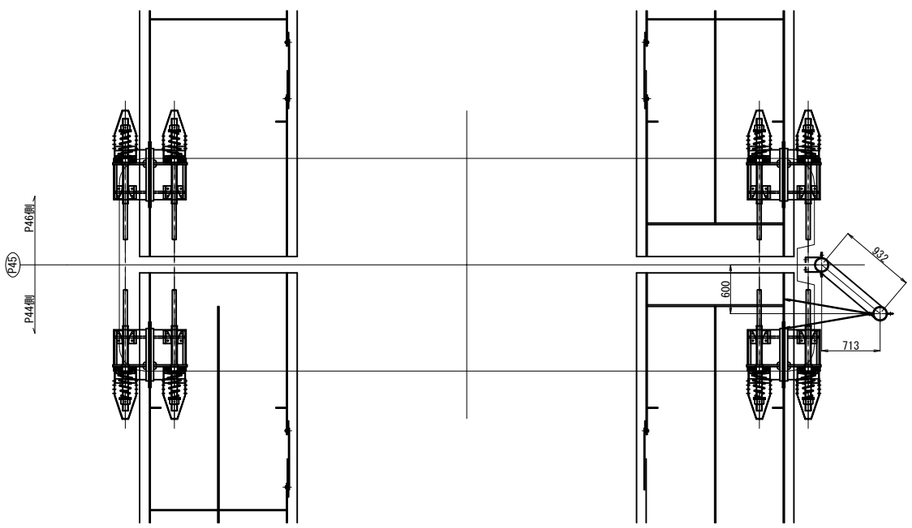


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x561
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

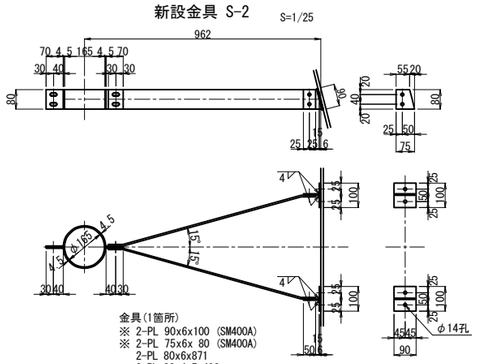
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

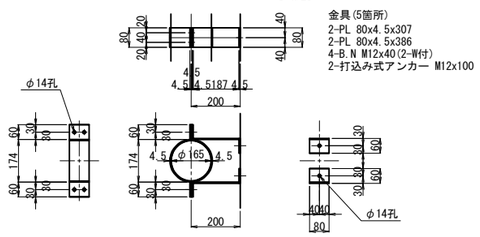


新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x871
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

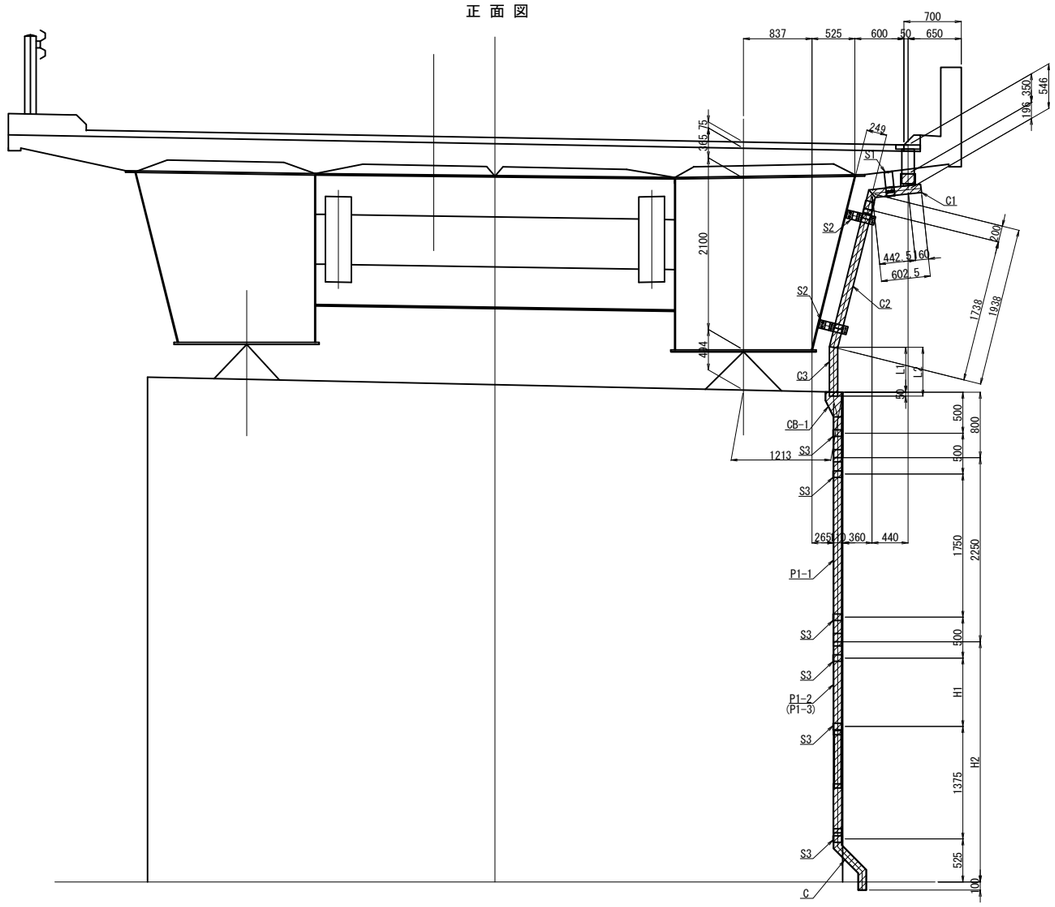
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P45橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	82 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

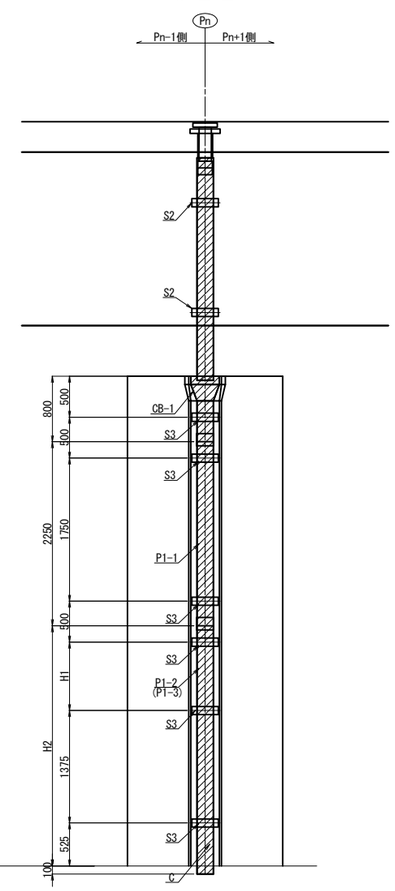
袖ヶ浦高架橋（上り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



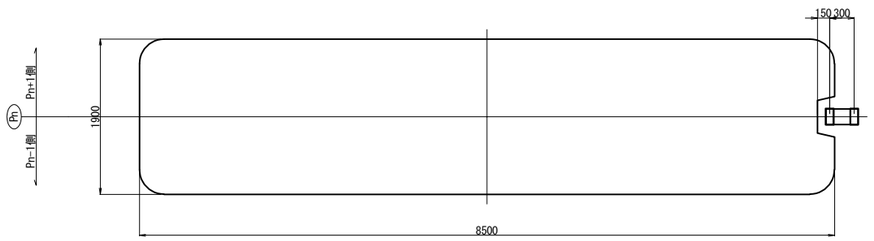
寸法表

	P46	P47
L1	548	506
L2	598	556
H1	837	668
H2	2937	2768

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	P46	P47
加 工 管	C1	個	1	1
	C2	個	1	1
	C3	個	1	1
取付金具	S1	個	1	1
	S2	個	2	2
受　桝	CB-1	個	1	1
直　管	P1-1	個	1	1
	P1-2	個	1	－
	P1-3	個	－	1
取付金具	S3	個	6	6
加 工 管	C	個	1	1
流水延長(鋼管)		m	9.327	9.125
撤去重量		kg	272	268

平 面 図



凡例

▨ ：撤去

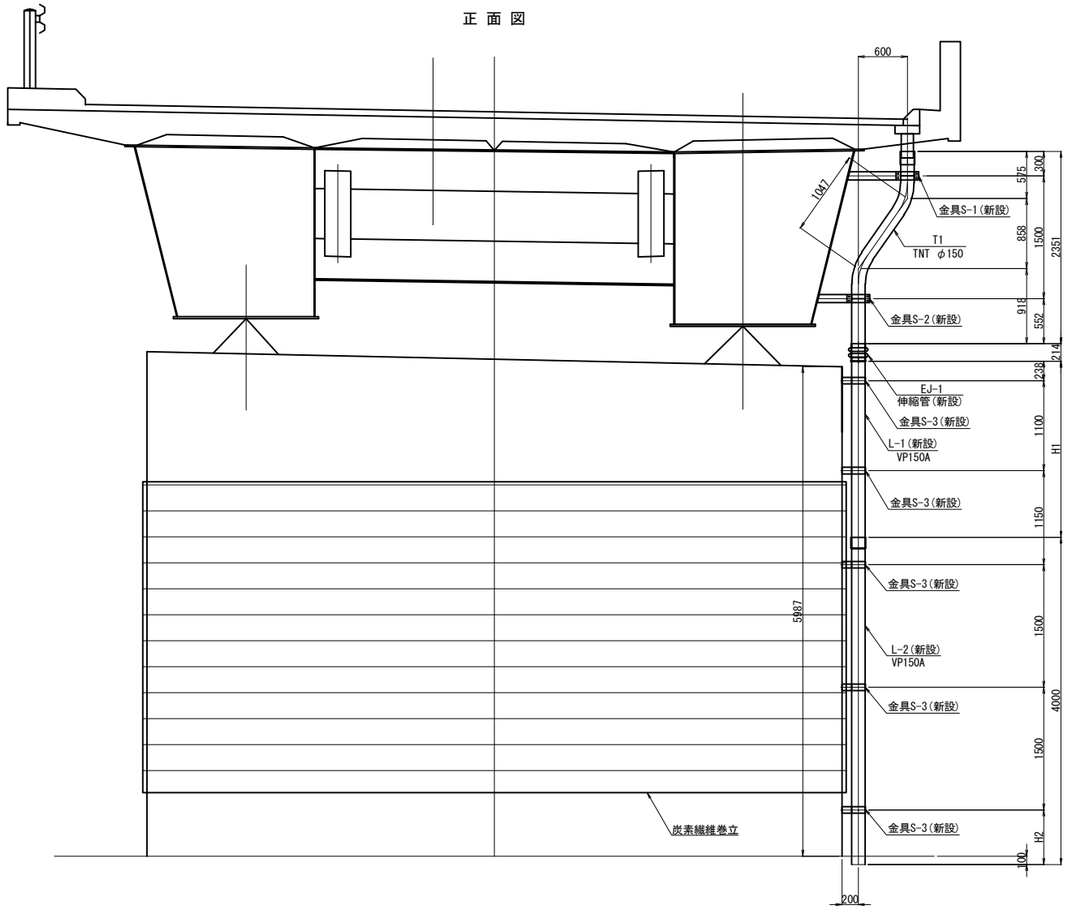
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P46,P47橋脚　排水装置撤去・設置計画図（その1）		
縮　尺	1:75	図面番号	83 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

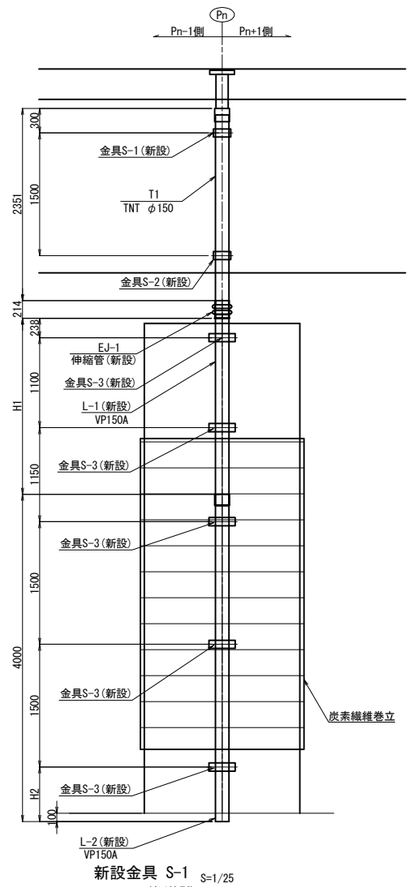
袖ヶ浦高架橋（上り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

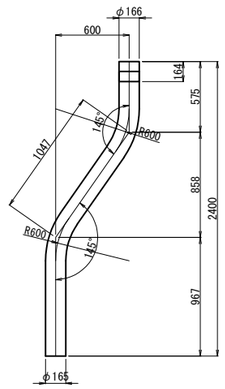
正 面 図



側 面 図

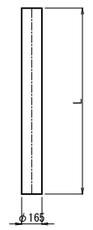


新設フレキシブル管 T1 S=1/50
（各1箇所）



1-TNT φ150x2589

新設直管L-1 S=1/50
（各1箇所）

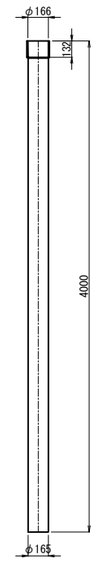


1-VP 150Ax L

L-1寸法表

	P46	P47
L	2336	2167

新設直管L-2 S=1/50
（各1箇所）



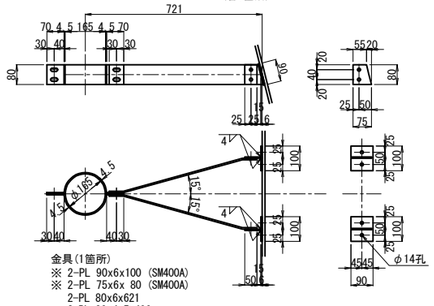
1-VP 150Ax4000

平 面 図

寸法表

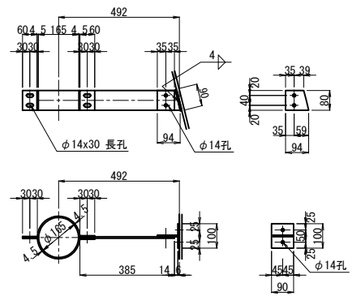
	P46	P47
H1	2154	1985
H2	666	455

新設金具 S-1 S=1/25
（各1箇所）



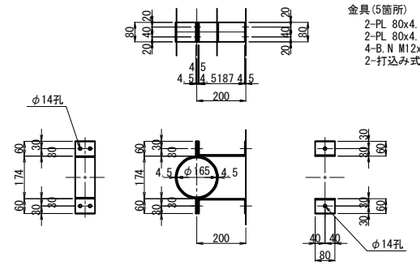
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x621
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25
（各1箇所）



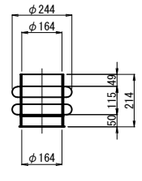
金具(1箇所)
※ 1-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 1-PL 94x6x 80 (SM400A)
1-PL 80x6x385
2-PL 80x4.5x383
4-B.N M12x35(2-W付)
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25
（各1箇所）



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25
（各1箇所）



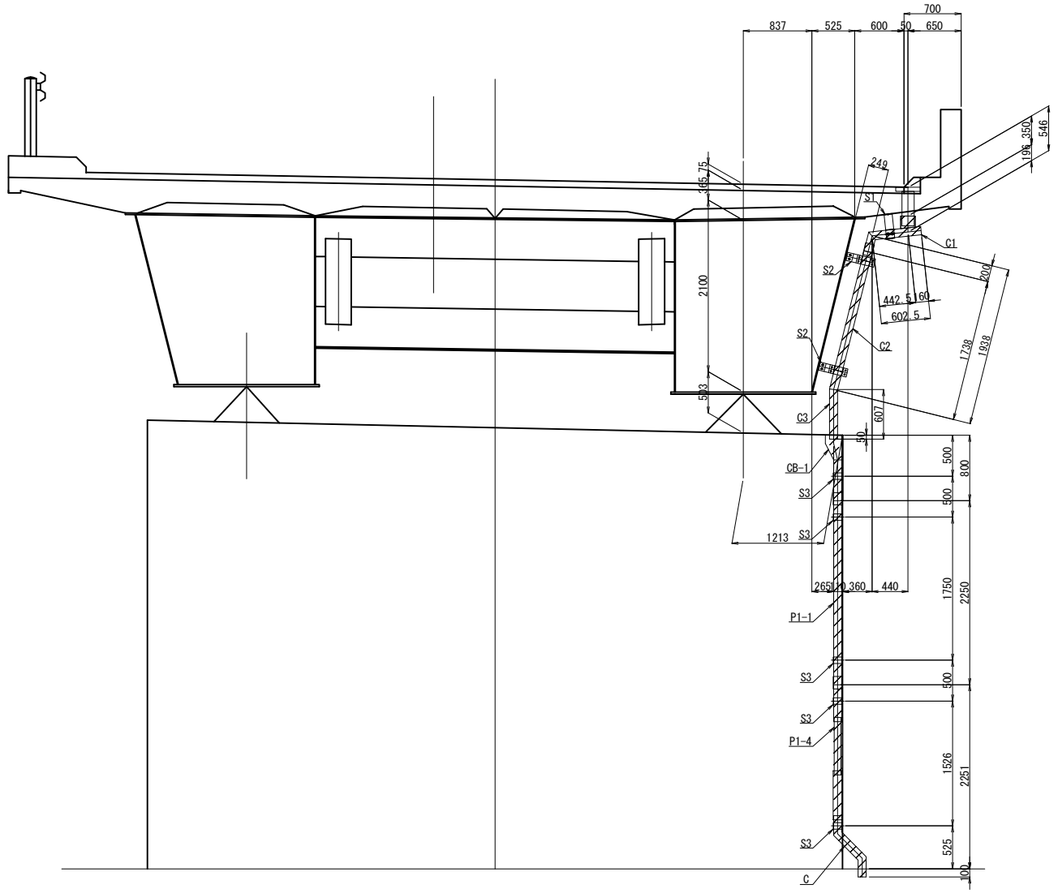
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P46,P47橋脚　排水装置撤去・設置計画図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	84 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

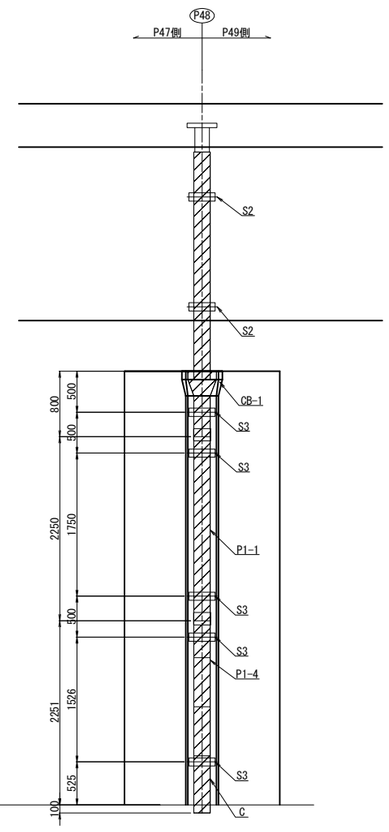
袖ヶ浦高架橋（上り線）P48橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

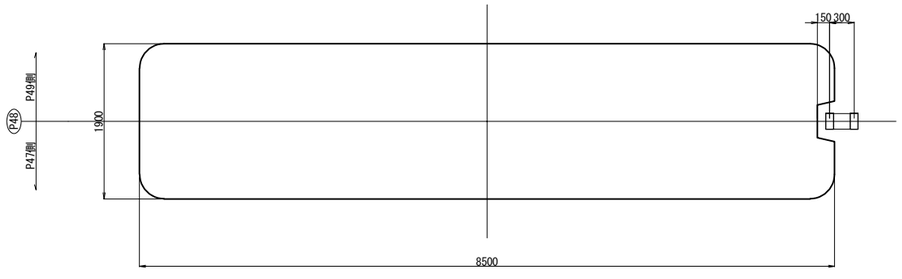
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-4	個	1
取付金具	S3	個	5
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.659
撤去重量		kg	253

凡例

：撤去

注記

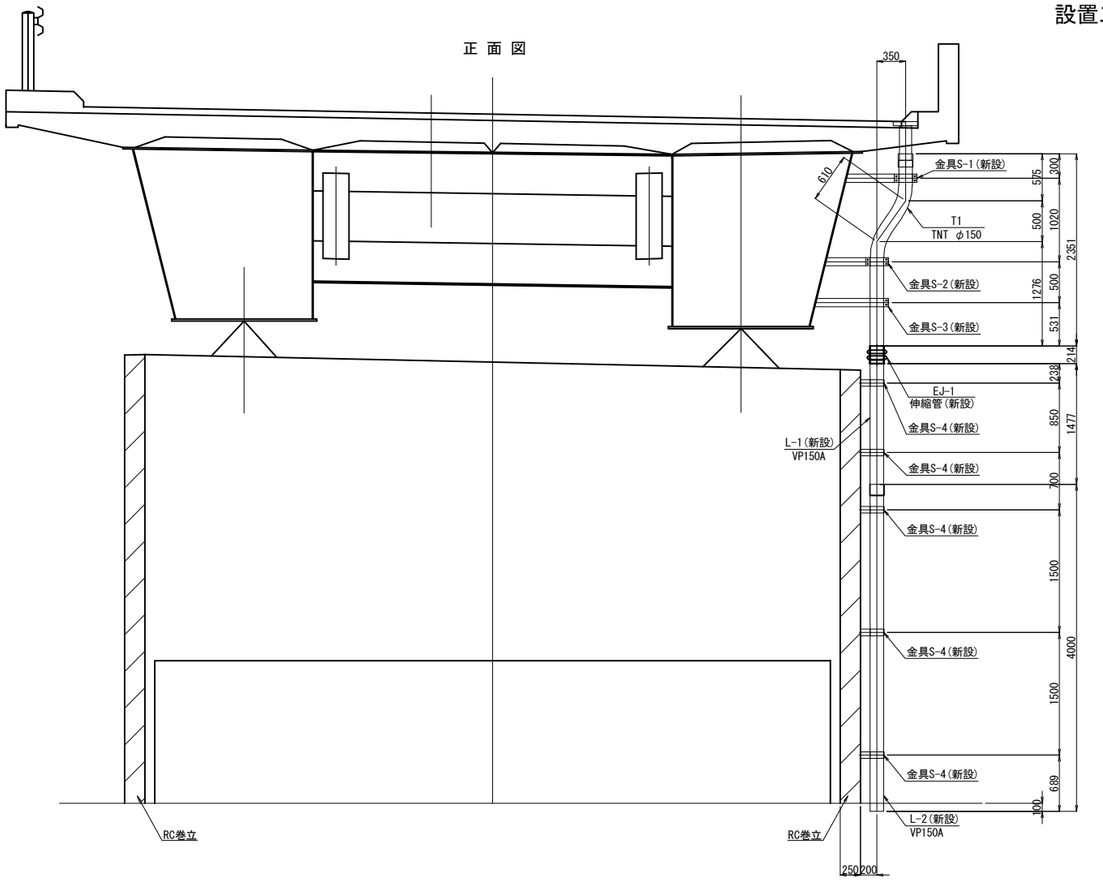
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P48橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	85 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

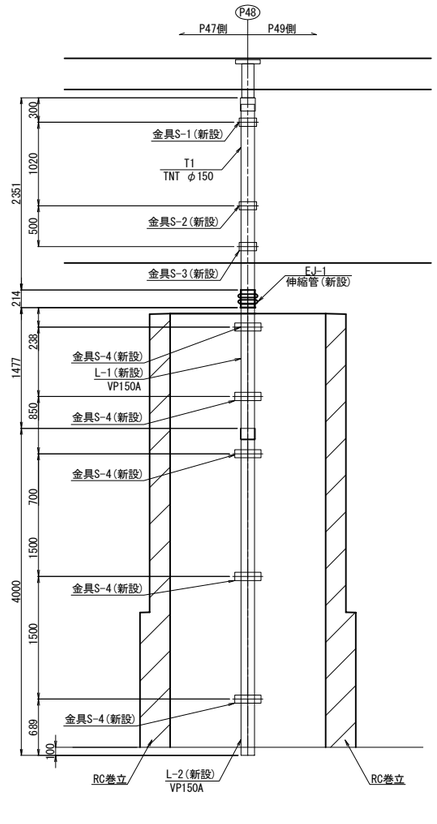
袖ヶ浦高架橋（上り線）P48橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

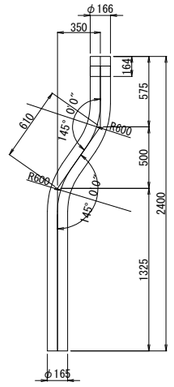
正 面 図



側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

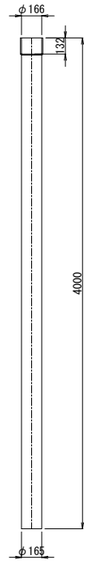


1-TNT φ150x2510

新設直管L-1 S=1/50

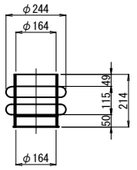
1-VP 150Ax1659

新設直管L-2 S=1/50

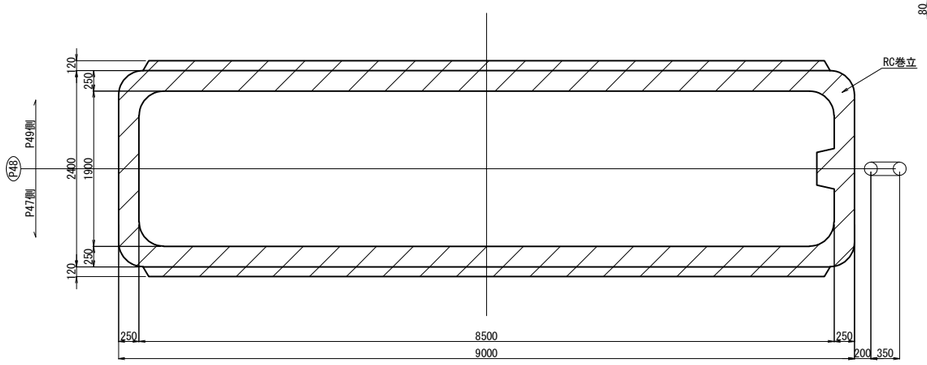


1-VP 150Ax4000

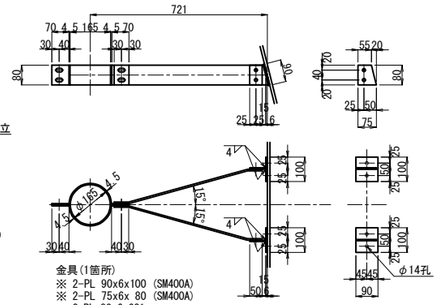
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

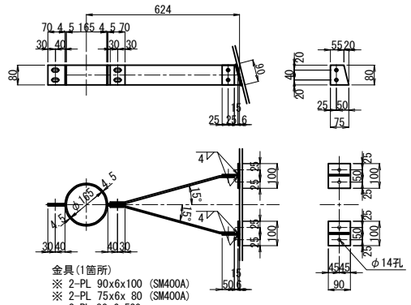


新設金具 S-1 S=1/25



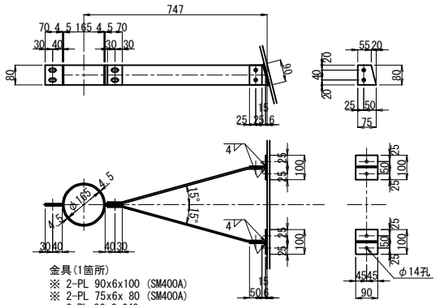
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x621
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



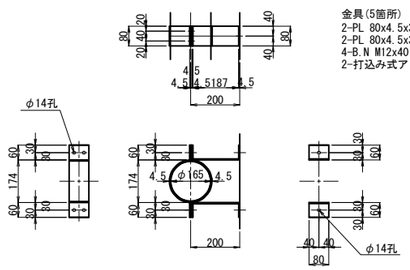
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x520
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x648
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

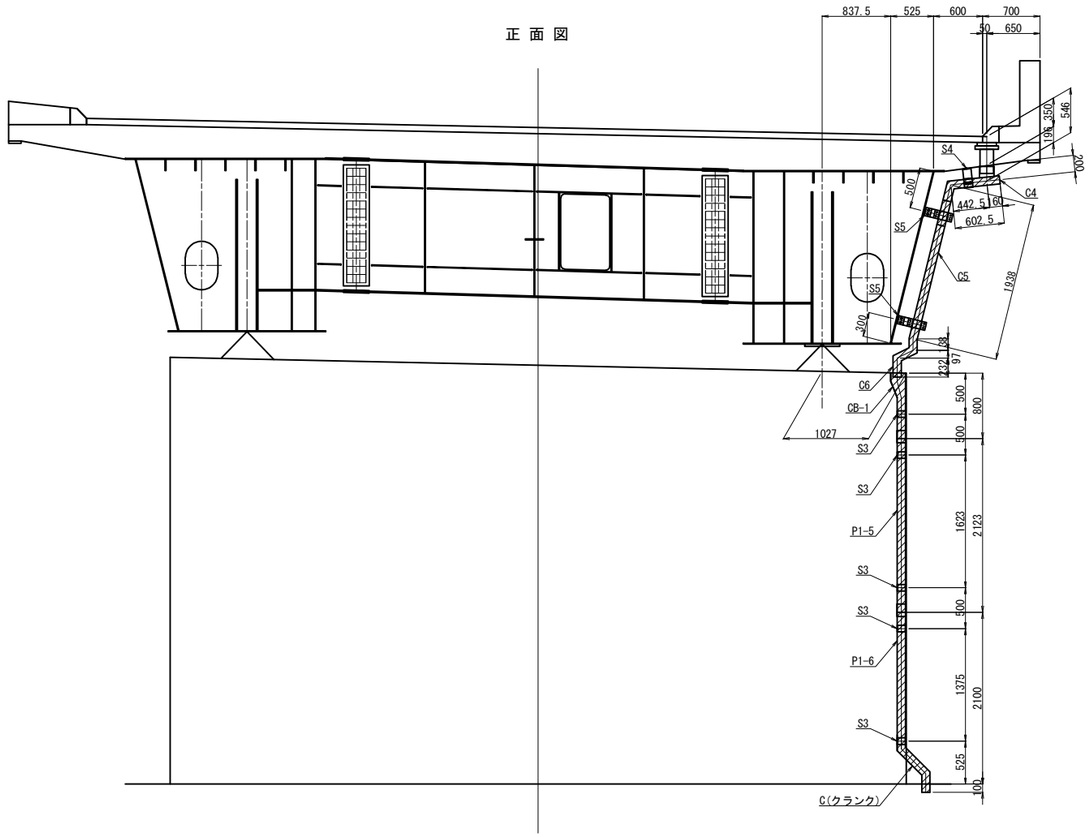
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P48橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	86 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

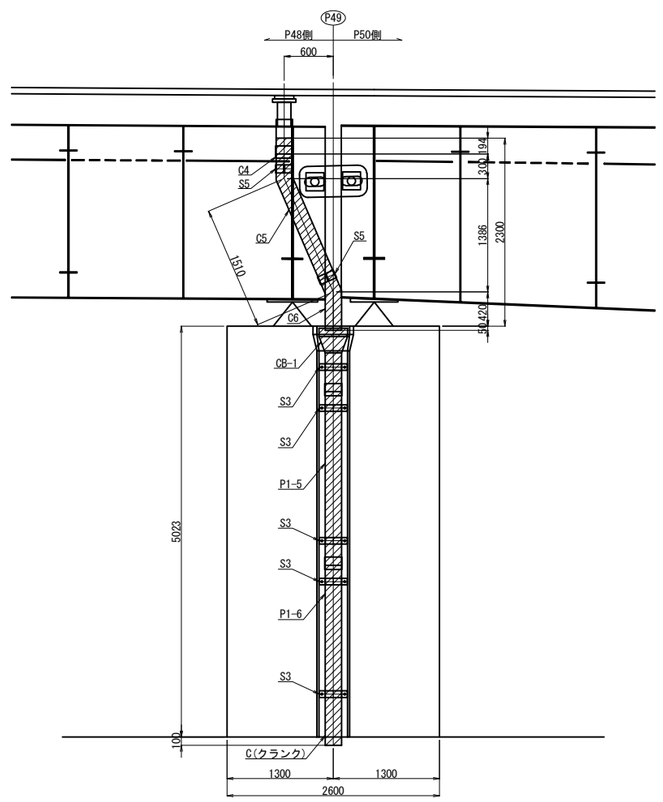
袖ヶ浦高架橋（上り線）P49橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

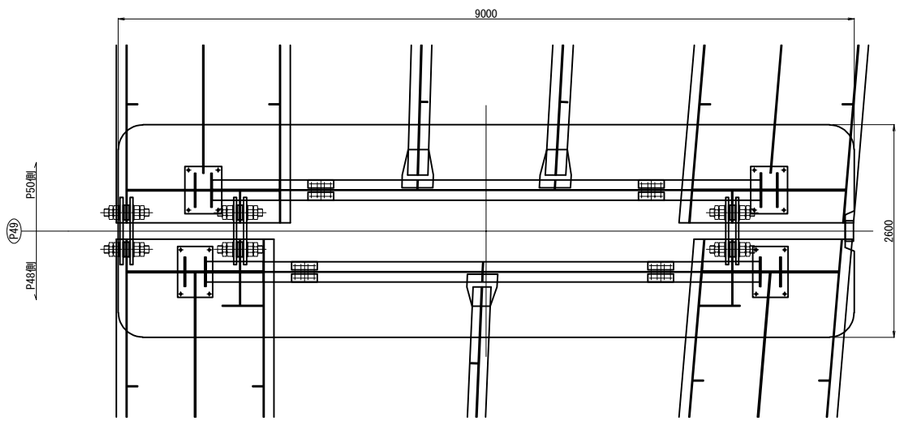
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C4	個	1
	C5	個	1
	C6	個	1
取付金具	S4	個	1
	S5	個	2
受　桝	CB-1	個	1
直　管	P1-5	個	1
	P1-6	個	1
取付金具	S3	個	5
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.495
撤去重量		kg	181

凡例

：撤去

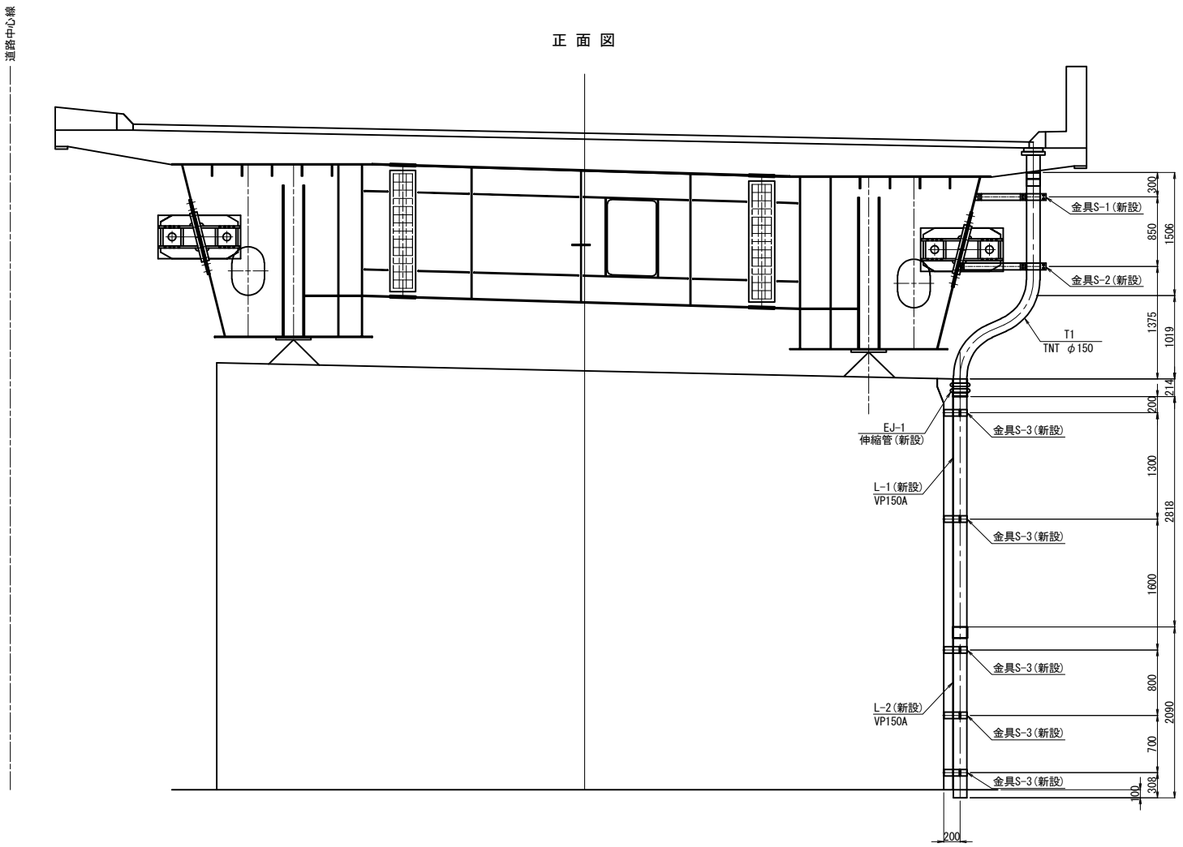
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P49橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　尺	1:75
図面番号	87 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

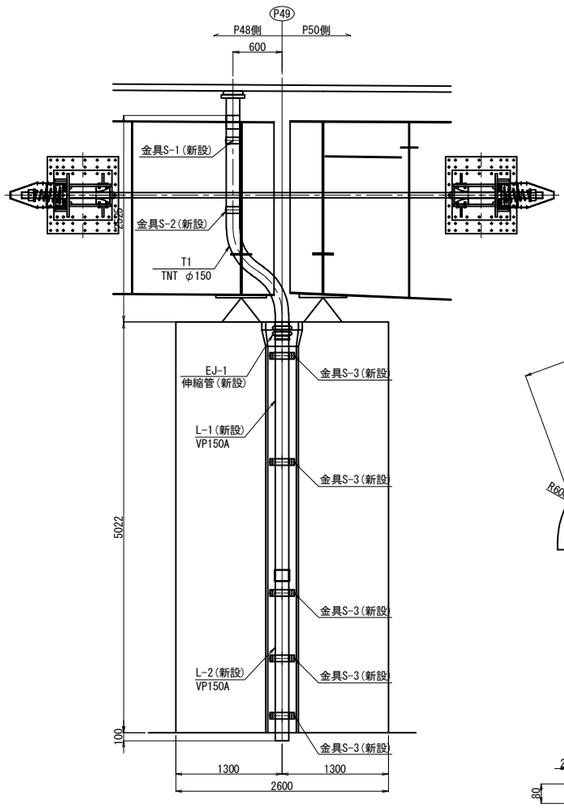
袖ヶ浦高架橋（上り線）P49橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

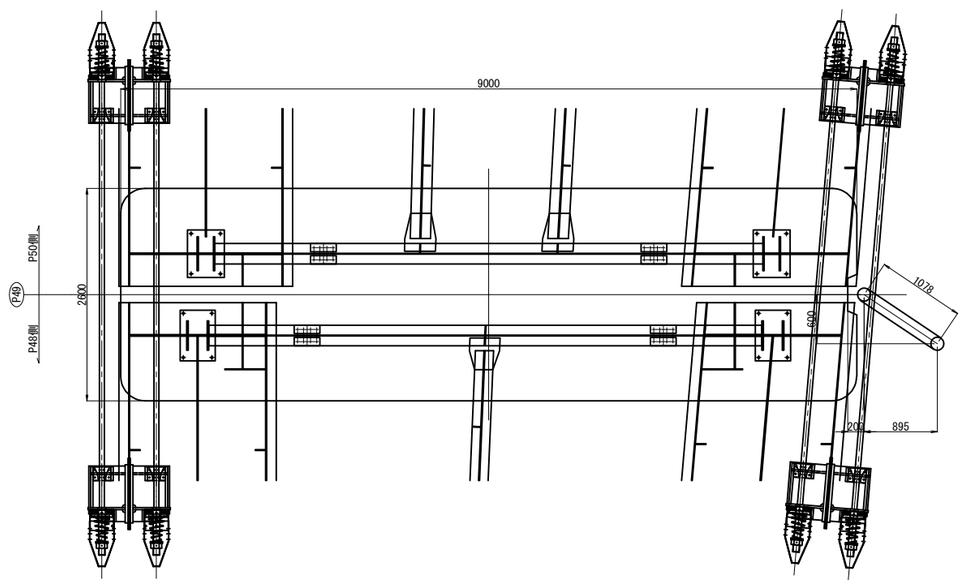
正 面 図



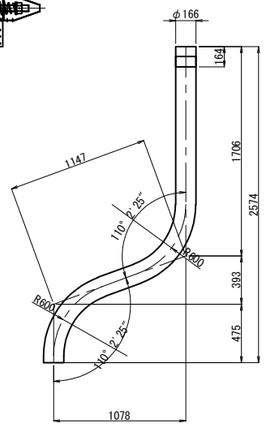
側 面 図



平 面 図

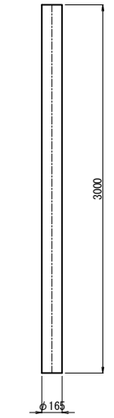


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



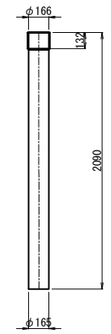
1-TNT φ150x3328

新設直管L-1 S=1/50



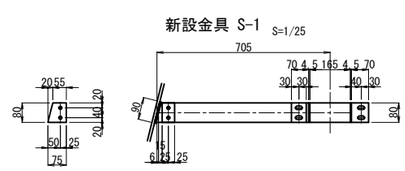
1-VP 150Ax3000

新設直管L-2 S=1/50



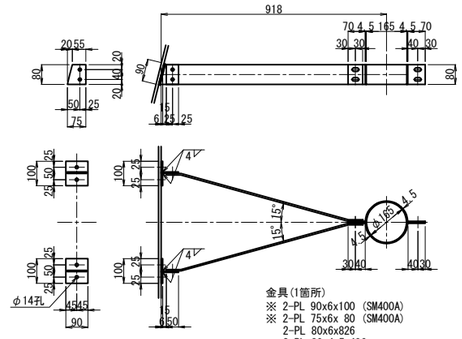
1-VP 150Ax2090

新設金具 S-1 S=1/25



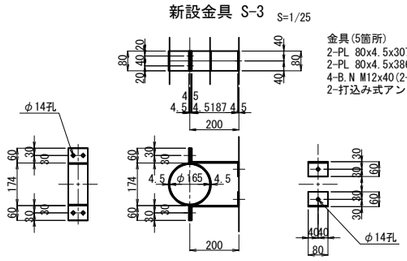
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x605
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



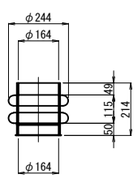
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x826
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



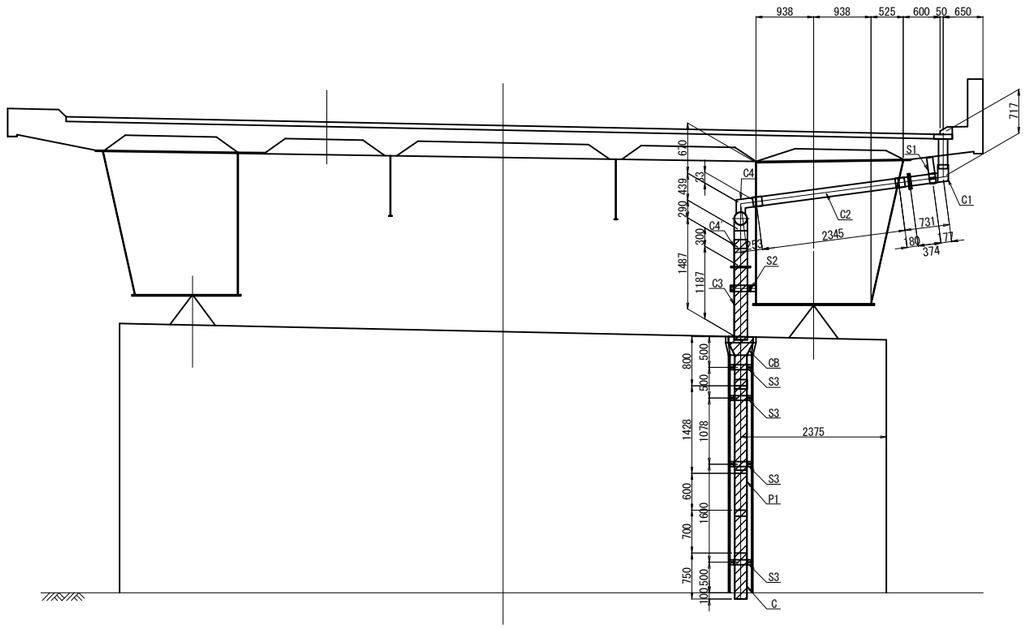
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P49橋脚　排水装置撤去・設置計画図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	88 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

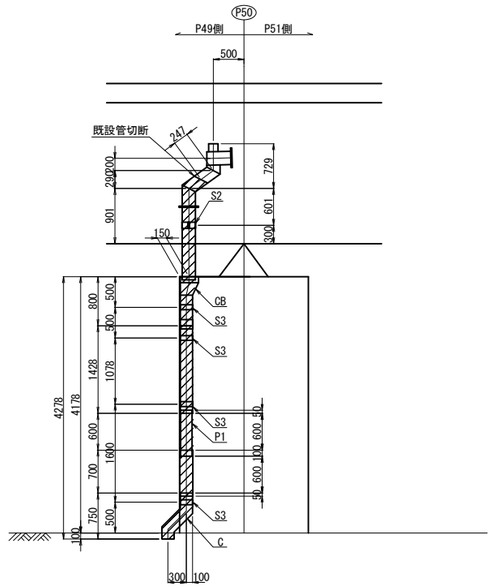
袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

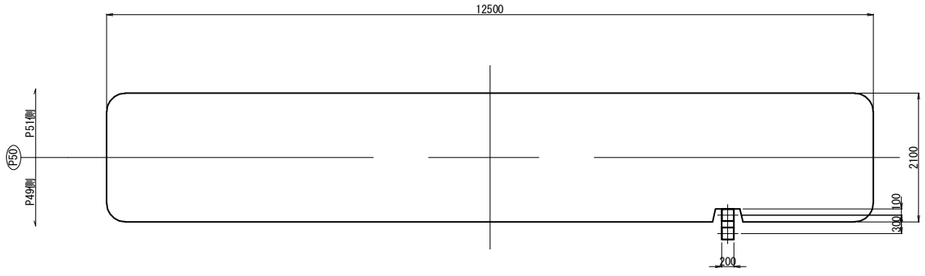
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C4'	個	1
直　　管	C3	個	1
取付金具	S2	個	1
受　　桝	CB	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	6.140
撤去重量		kg	272

凡例

▨ ：撤去

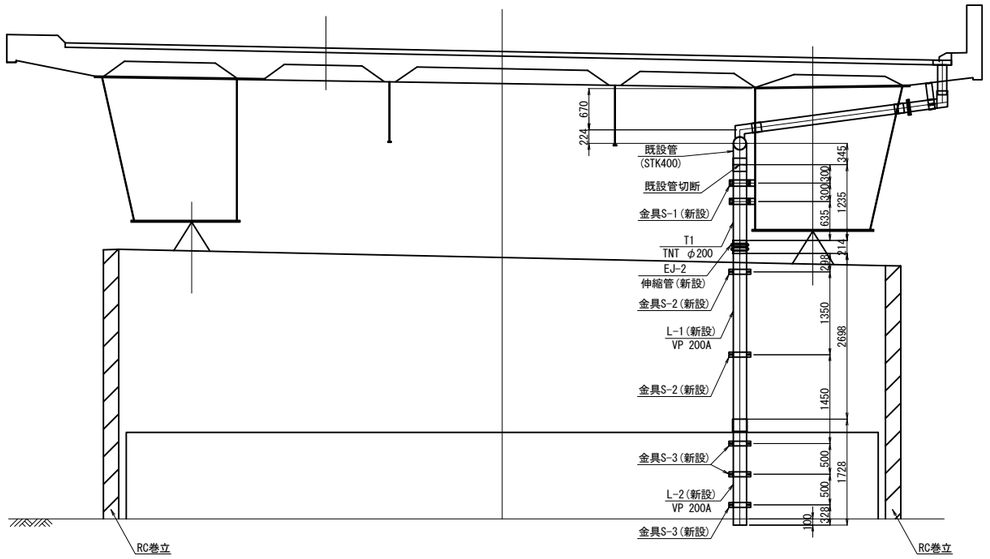
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P50橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	89 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

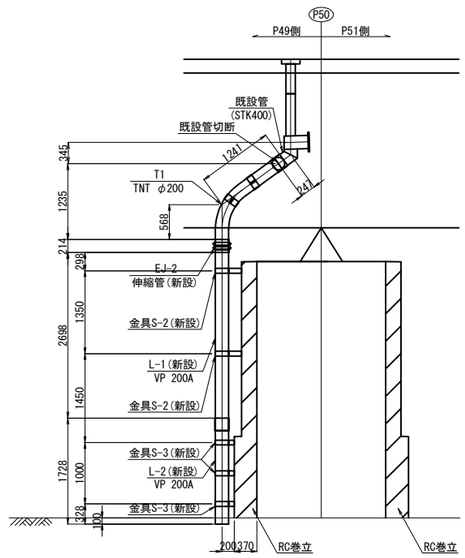
袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

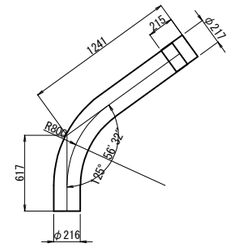
正 面 図



側 面 図

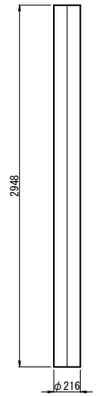


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



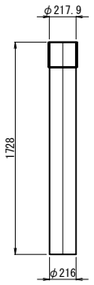
1-TNT φ200x1858

新設直管L-1 S=1/50



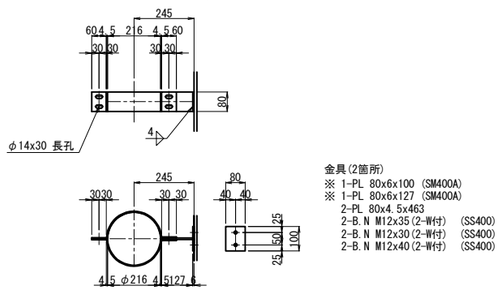
1-VP 200Ax2948

新設直管L-2 S=1/50



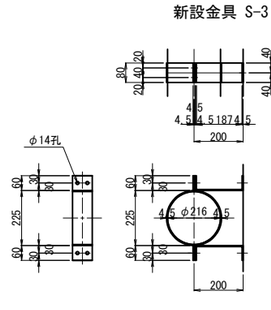
1-VP 200Ax1728

新設金具 S-1 S=1/25



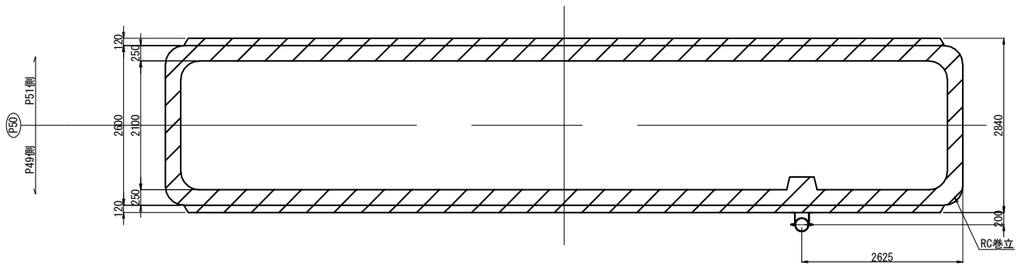
金具(2箇所)
※ 1-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 1-PL 80x6x127 (SM400A)
2-PL 80x4.5x463
2-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25

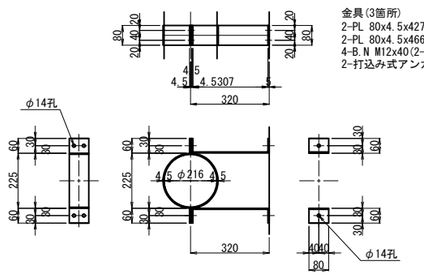


金具(2箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x466
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

平 面 図

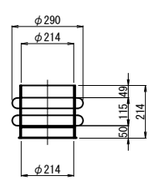


新設金具 S-2 S=1/25



金具(3箇所)
2-PL 80x4.5x427
2-PL 80x4.5x466
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設伸縮管 EJ-2 S=1/25



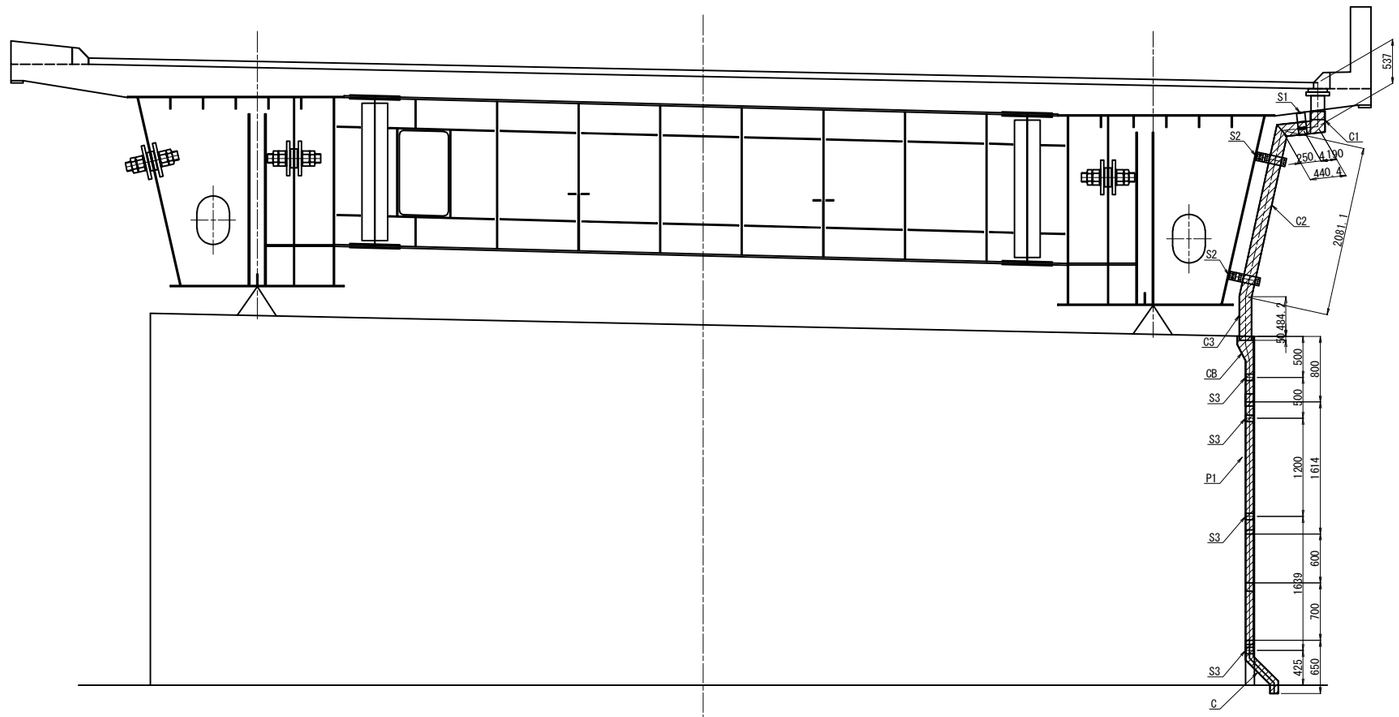
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P50橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	90 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

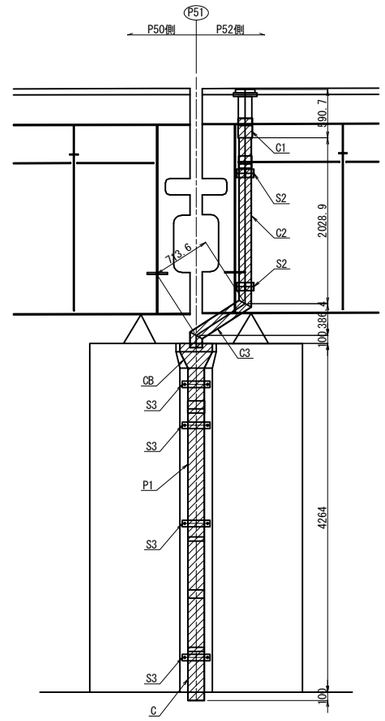
袖ヶ浦高架橋（上り線）P51橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

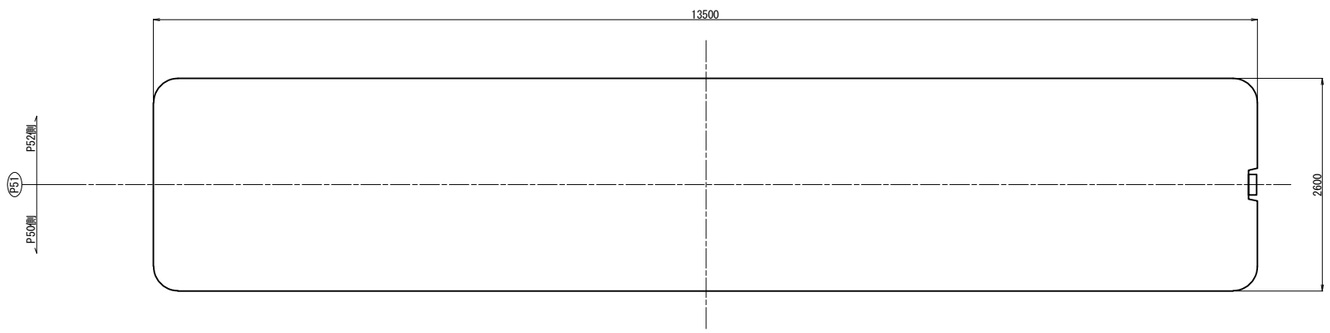
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.009
撤去重量		kg	223

凡例

：撤去

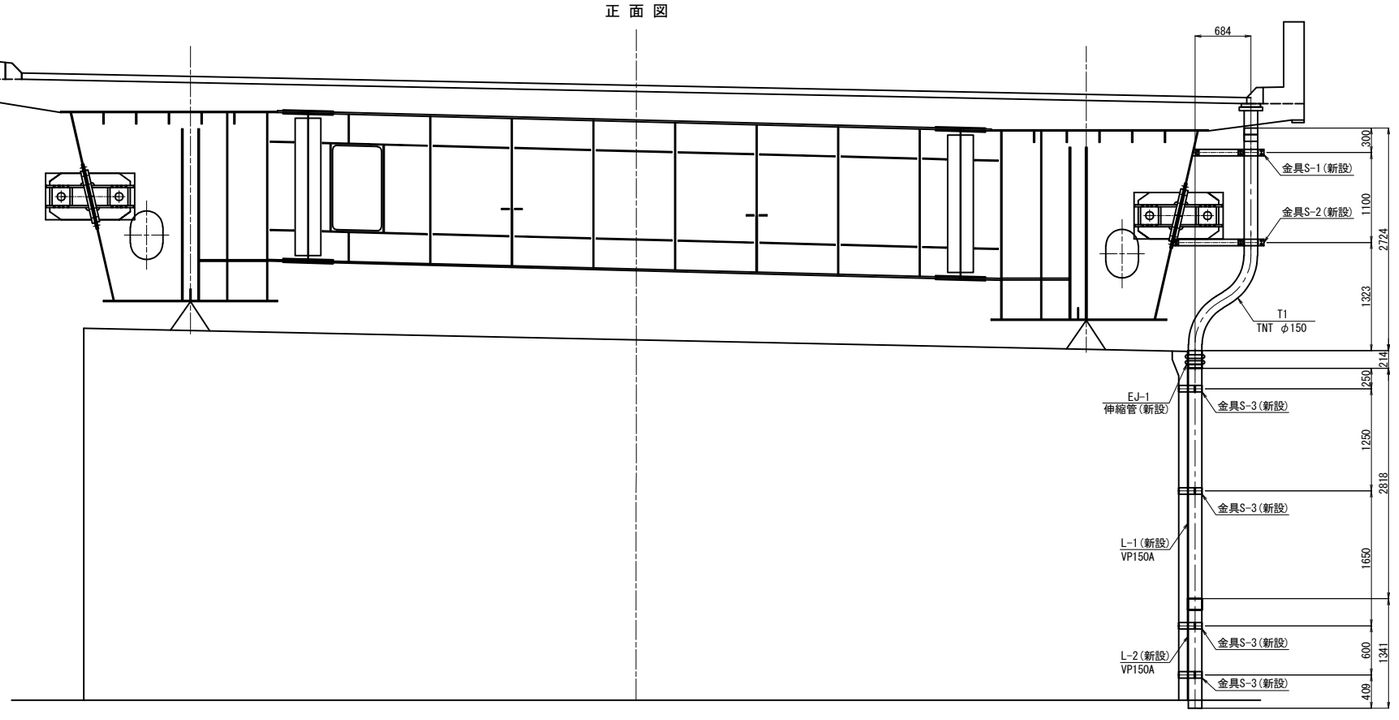
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P51橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	91 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

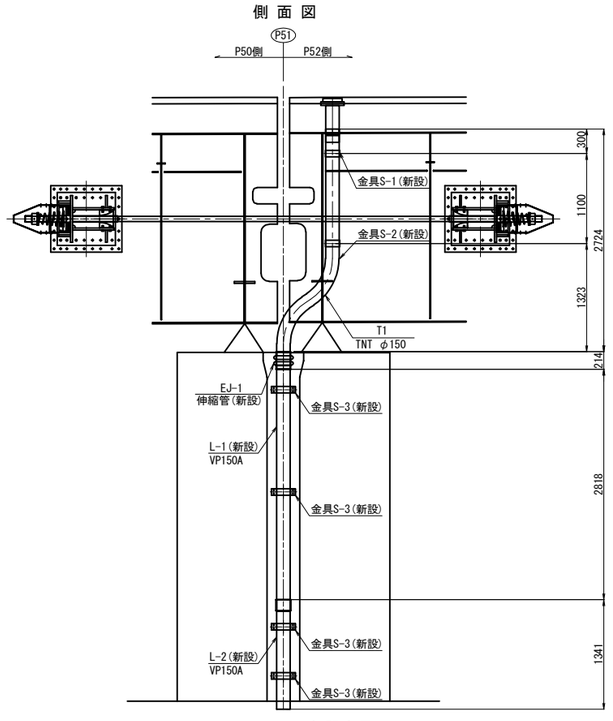
袖ヶ浦高架橋（上り線）P51橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

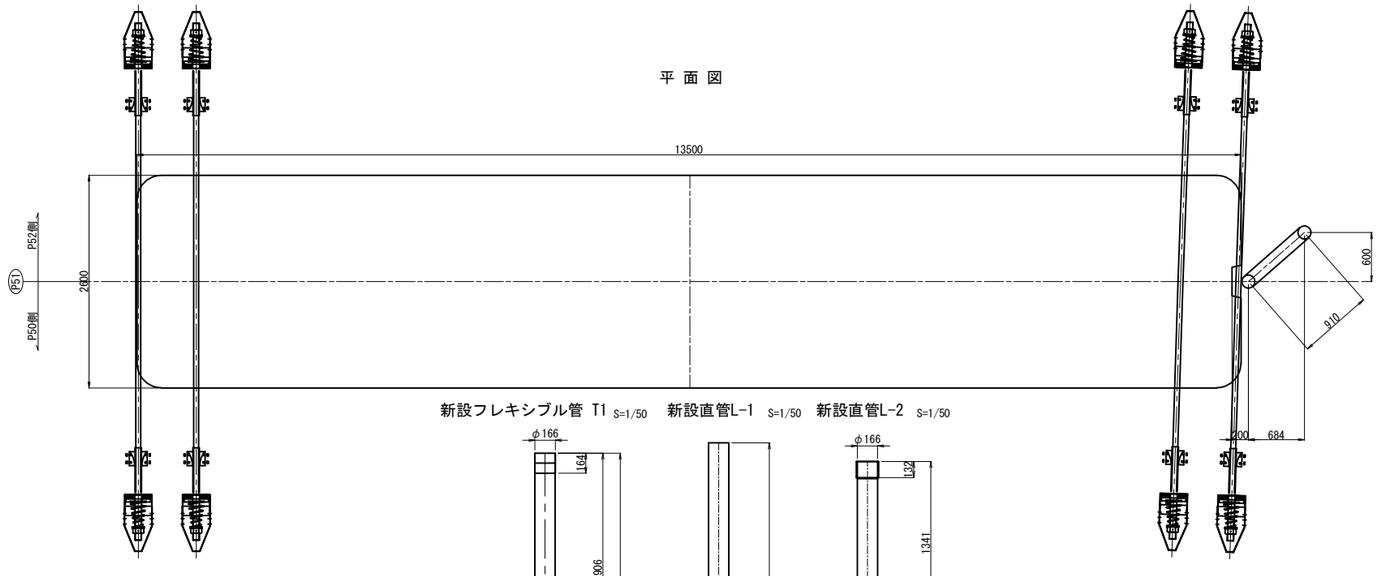
正 面 図



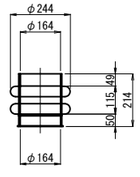
側 面 図



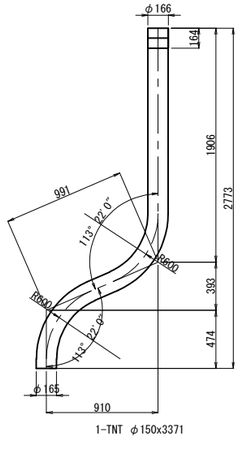
平 面 図



新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

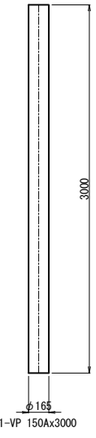


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x3371

新設直管L-1 S=1/50

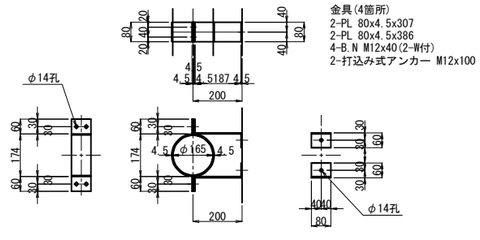


1-VP 150Ax3000

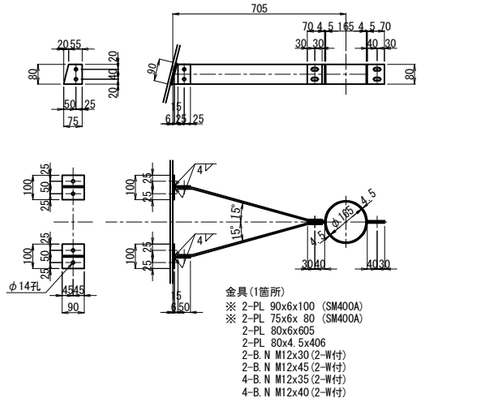
新設直管L-2 S=1/50

1-VP 150Ax1341

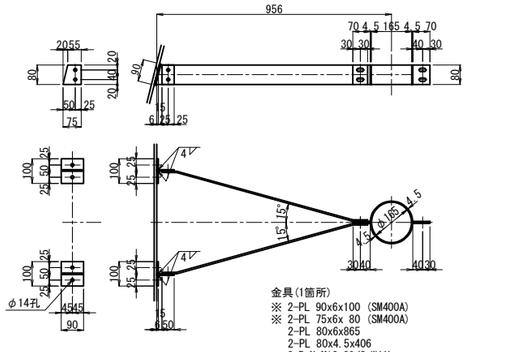
新設金具 S-3 S=1/25



新設金具 S-1 S=1/25



新設金具 S-2 S=1/25



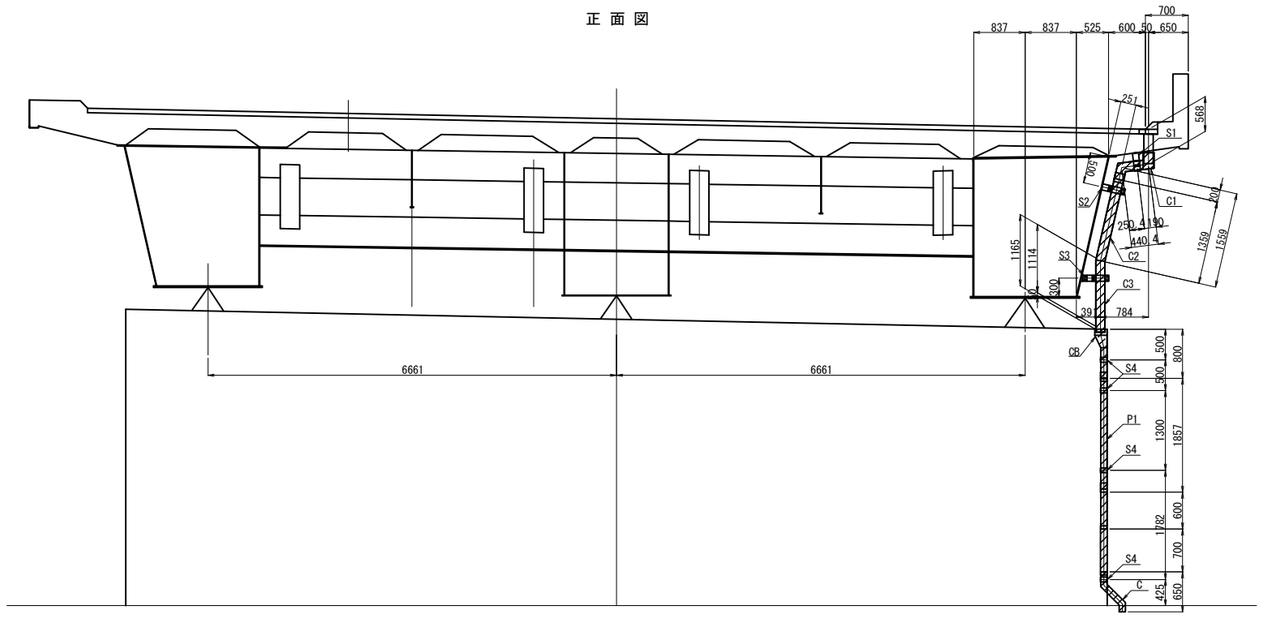
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P51橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	92 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

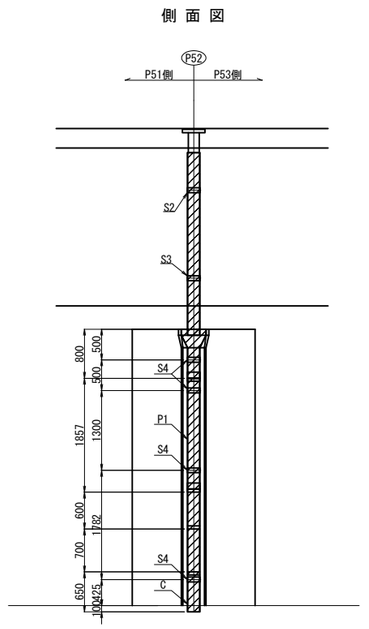
袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

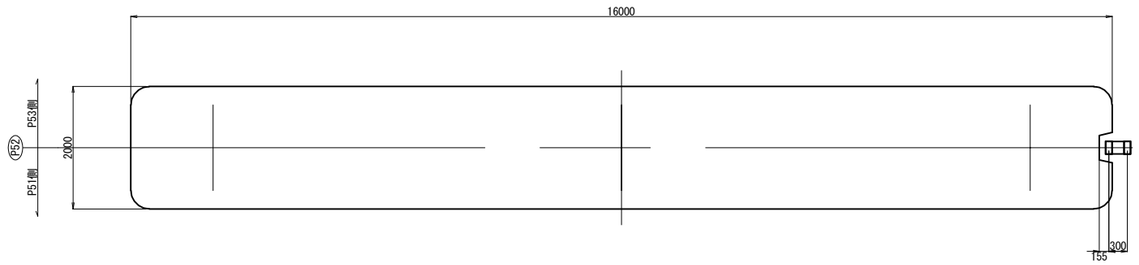
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
受　　桝	CB	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S4	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.030
撤去重量		kg	224

凡例

▨ ：撤去

注記

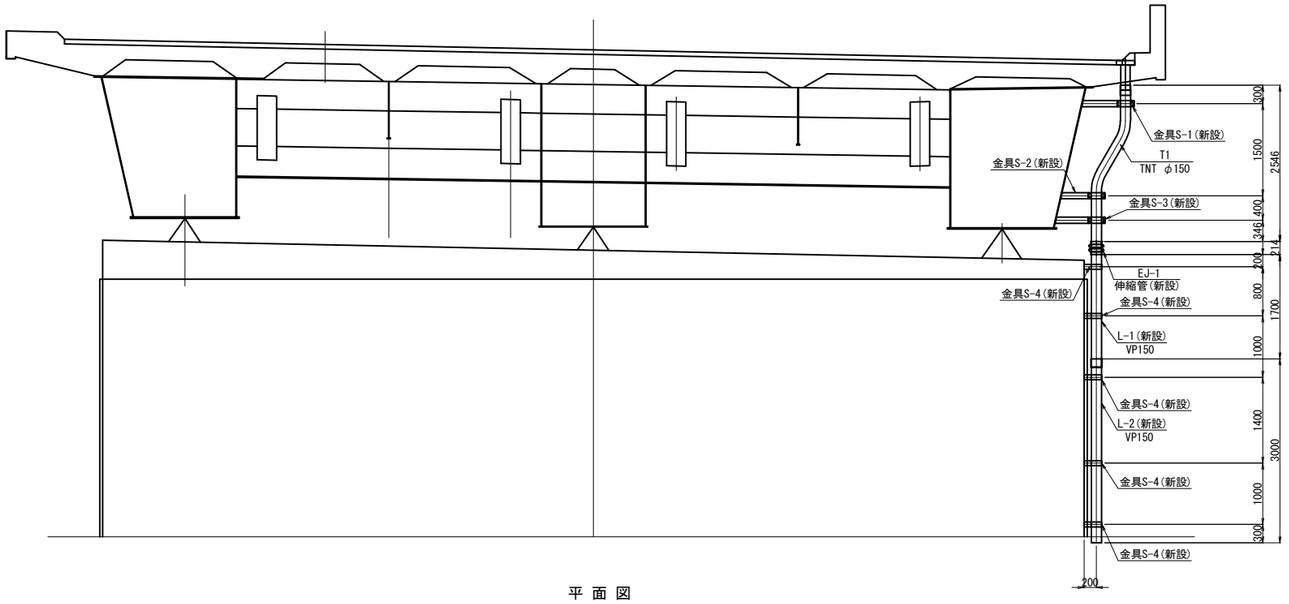
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P52橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	93 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

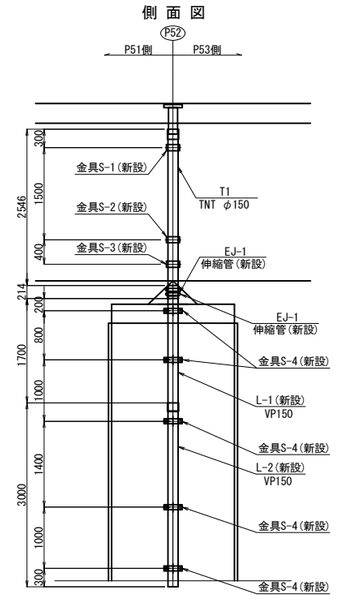
袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

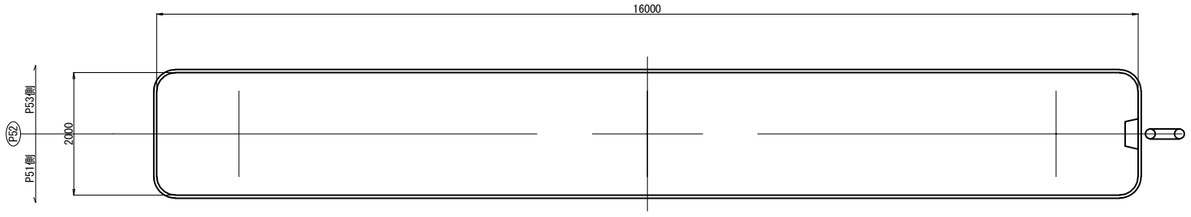
正 面 図



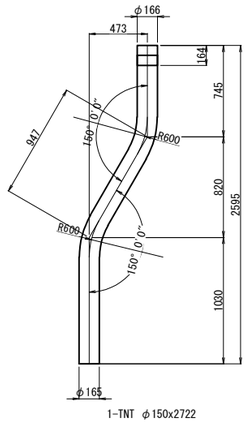
側 面 図



平 面 図

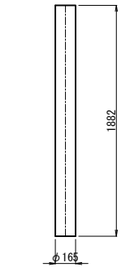


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



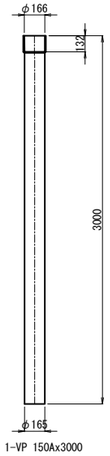
1-TNT φ150x2722

新設直管L-1 S=1/50



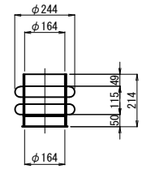
1-VP 150Ax1882

新設直管L-2 S=1/50

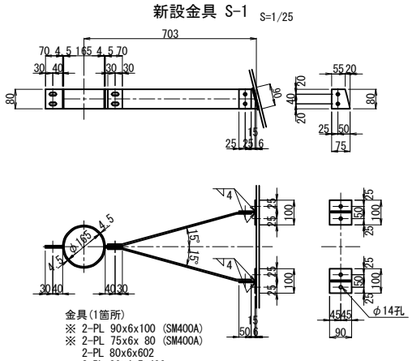


1-VP 150Ax3000

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

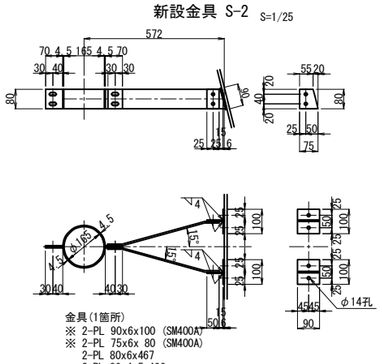


新設金具 S-1 S=1/25



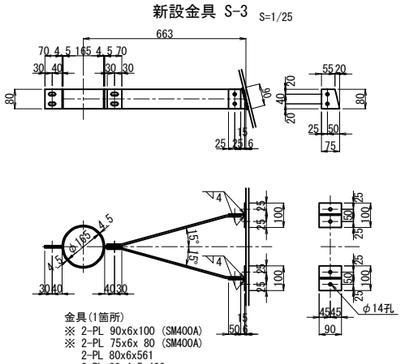
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x602
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



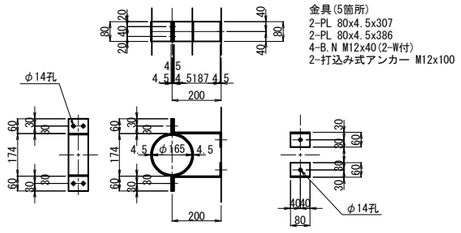
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x467
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x561
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



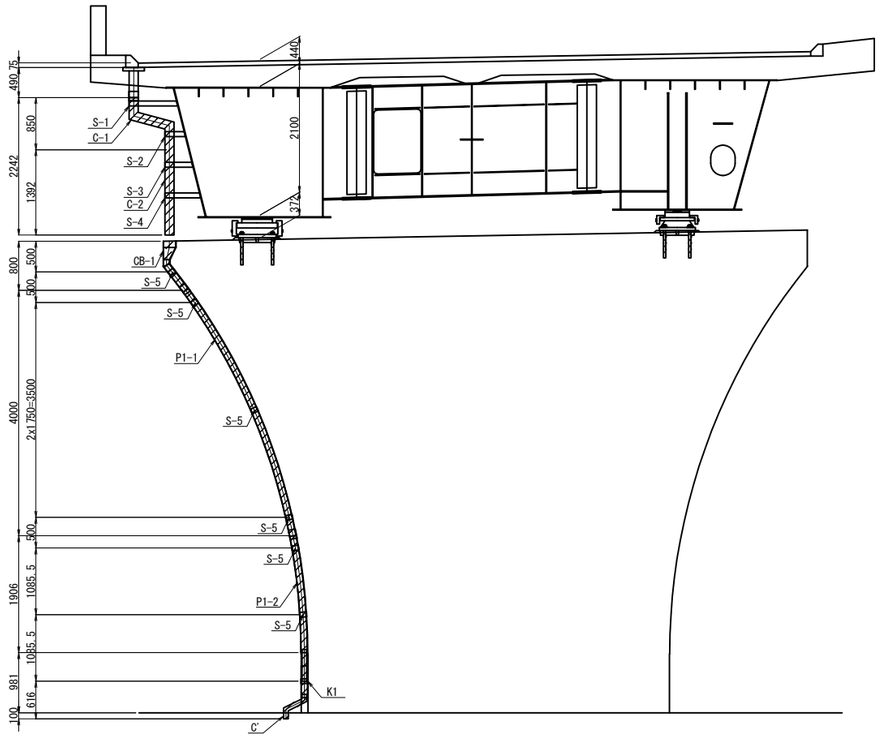
金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

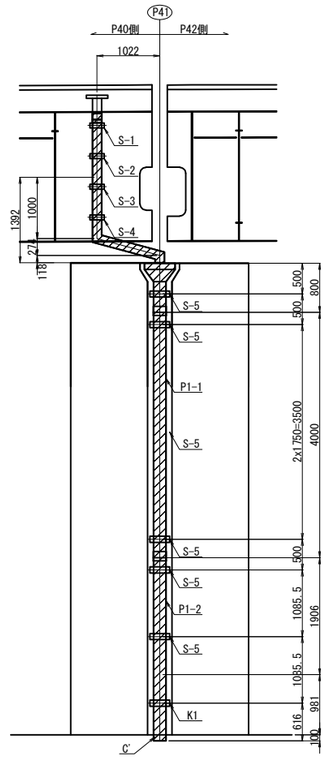
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

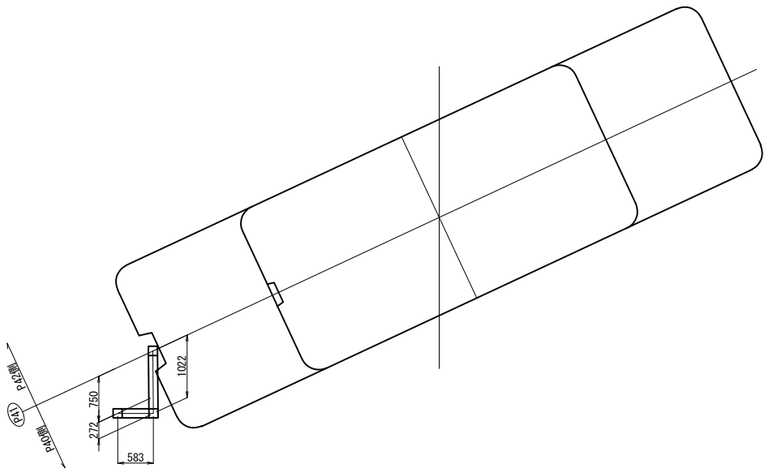
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P52橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	94 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B







撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C-1	個	1
	C-2	個	1
取付金具	S-1	個	1
	S-2	個	1
	S-3	個	1
	S-4	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S-5	個	6
	K1	個	1
加 工 管	C'	個	1
流水延長(鋼管)		m	12.167
撤去重量		kg	347

凡例

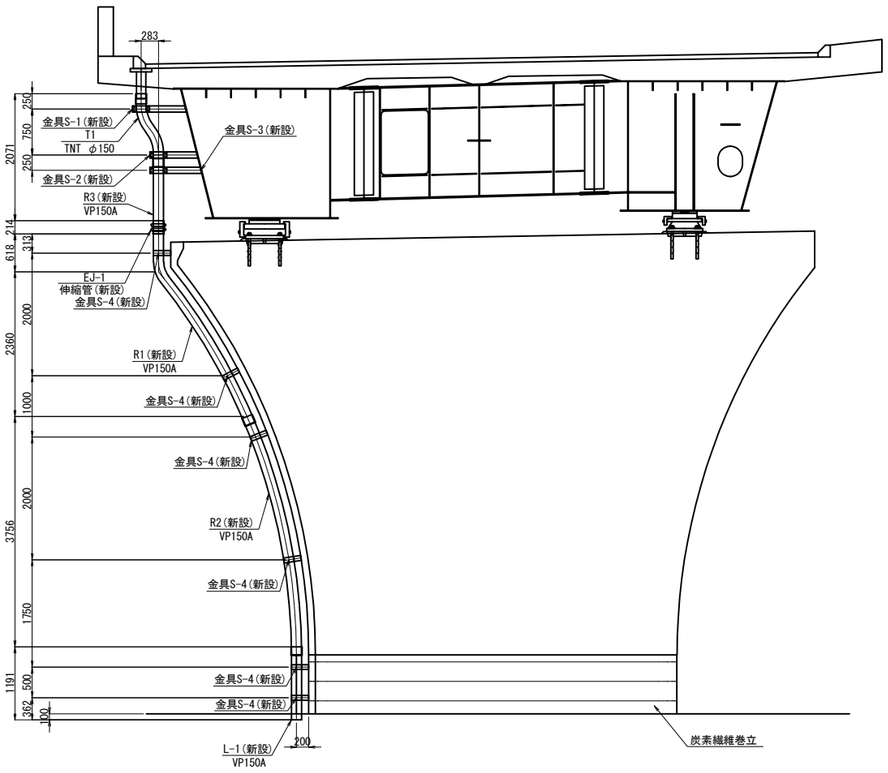
▨ ：撤去

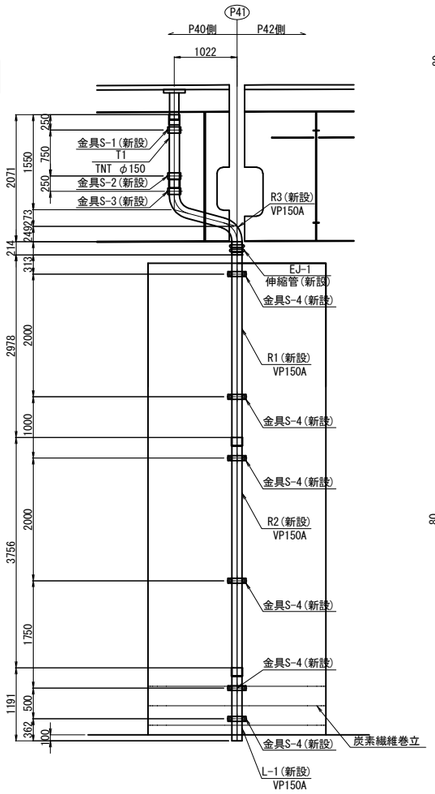
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P41橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	95 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

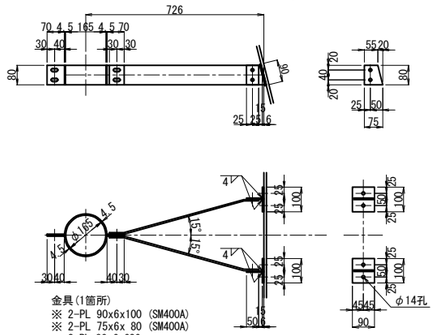
袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A



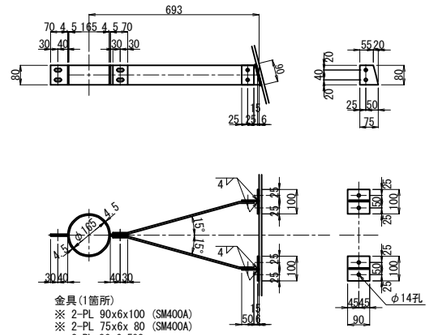


新設金具 S-1 S=1/25



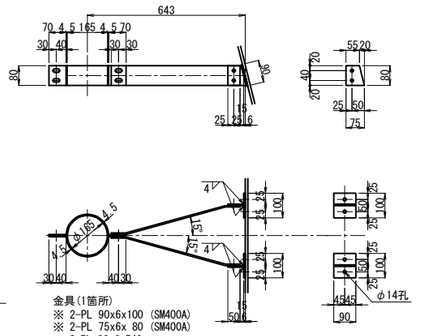
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x626
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



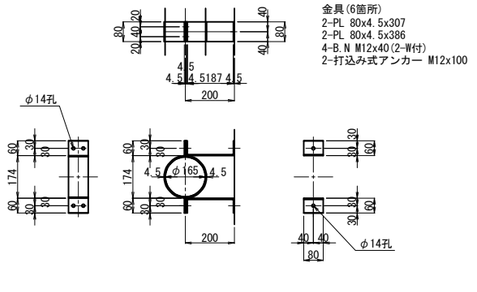
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x592
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



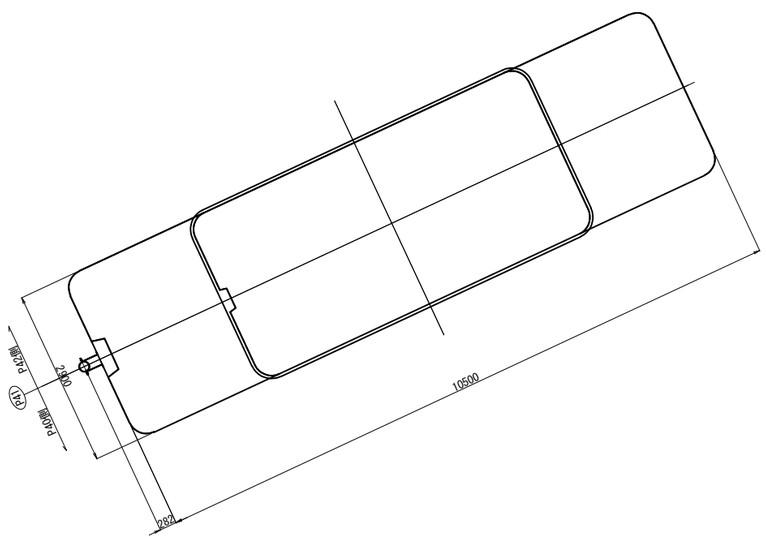
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x540
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25

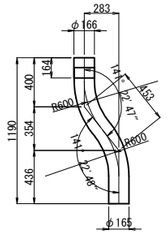


金具(6箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

平 面 図

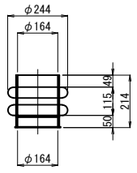


新設フレキシブル管 T1 S=1/50

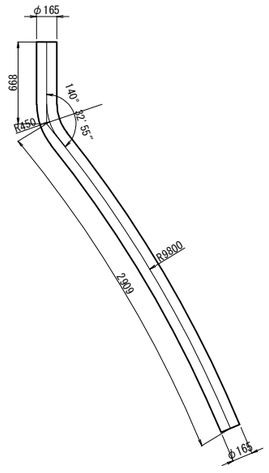


1-TNT φ150x1289

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

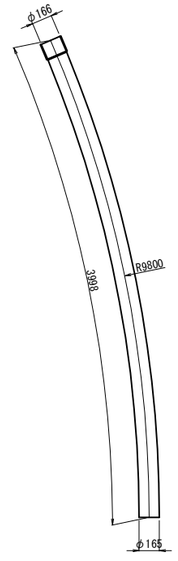


新設曲管R1 S=1/50



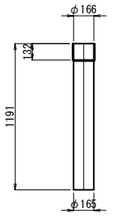
1-VP 150Ax3577

新設曲管R2 S=1/50



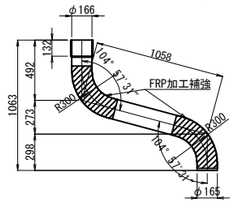
1-VP 150Ax3998

新設直管L-1 S=1/50



1-VP 150Ax1191

新設加工管 R3 S=1/50



1-VP 150Ax1848

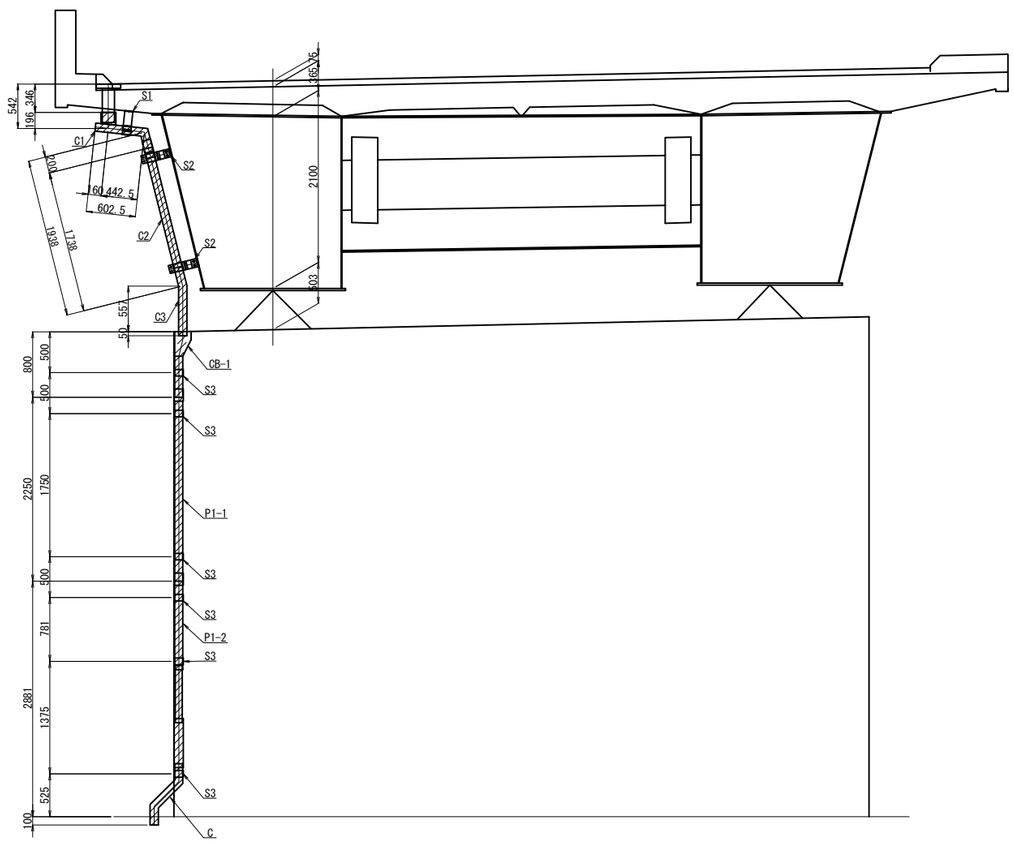
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P41橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	96 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

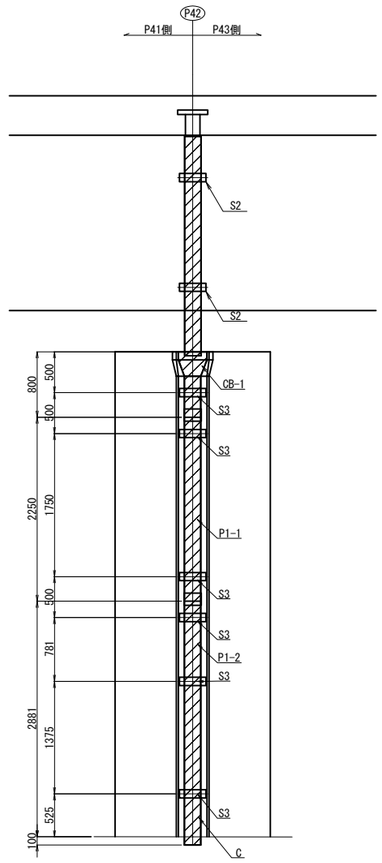
袖ヶ浦高架橋（下り線）P42橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

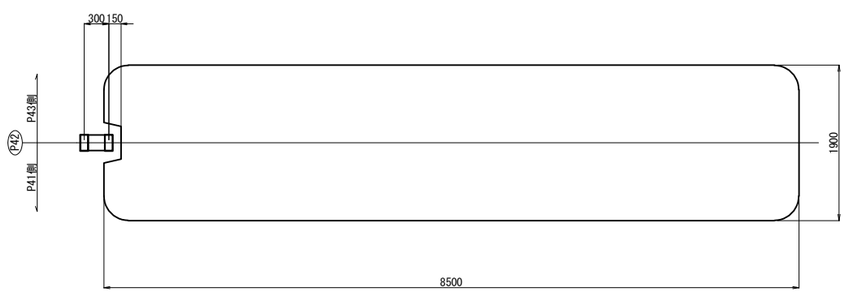
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-2	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.289
撤去重量		kg	271

凡例

：撤去

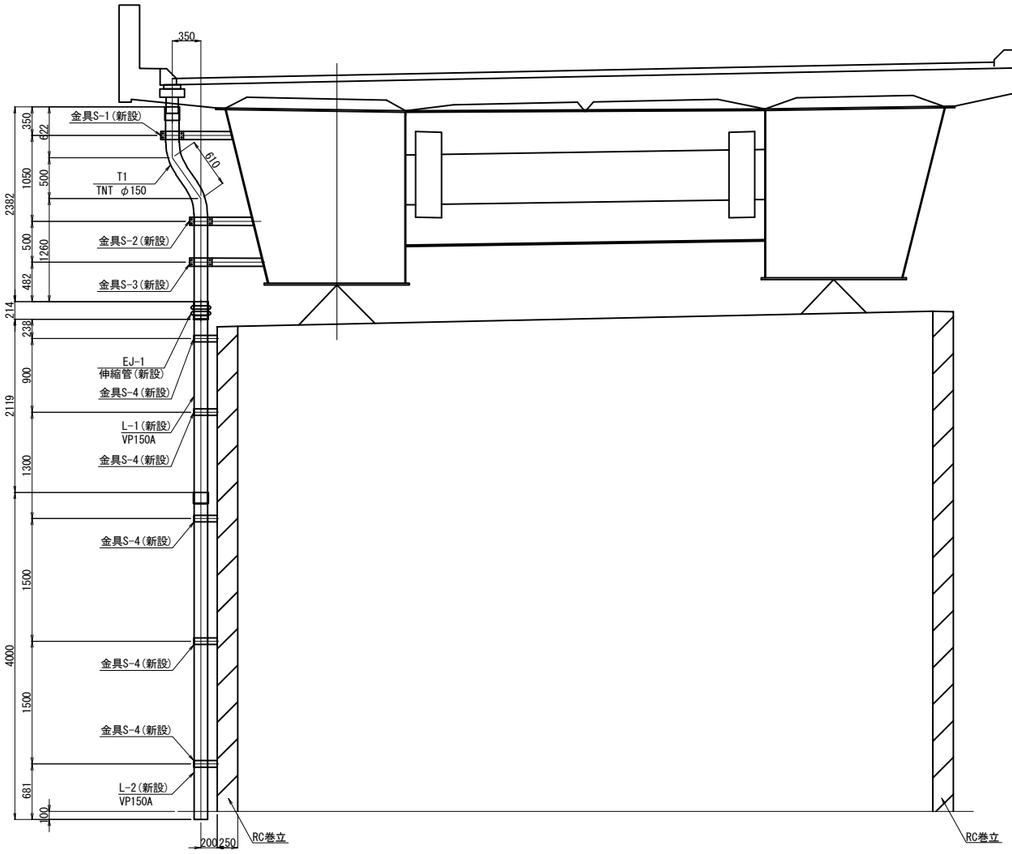
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P42橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	97 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

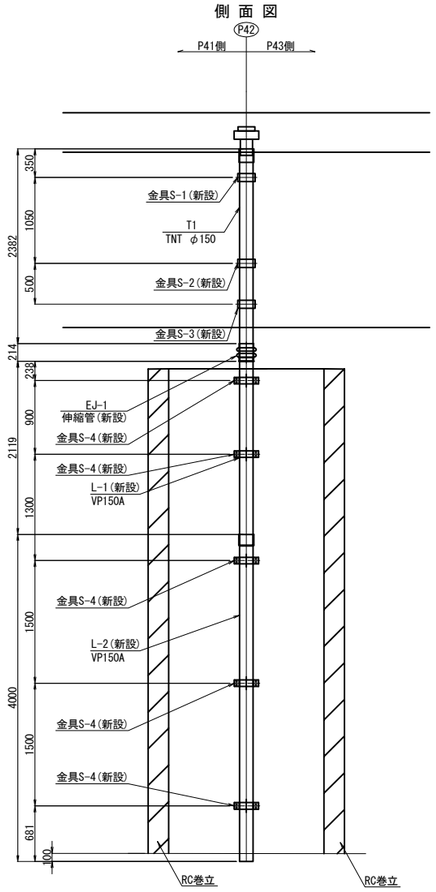
袖ヶ浦高架橋（下り線）P42橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

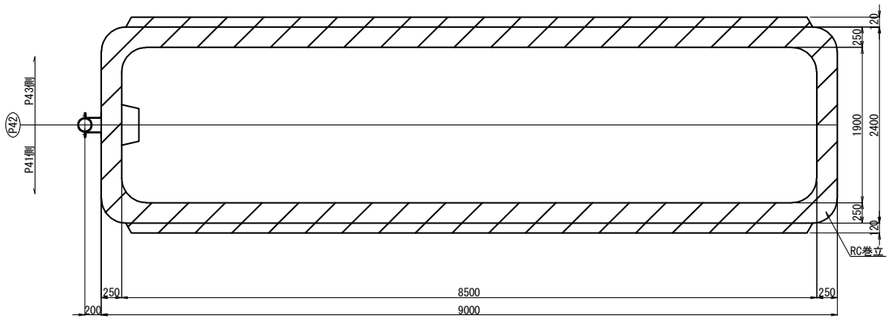
正 面 図



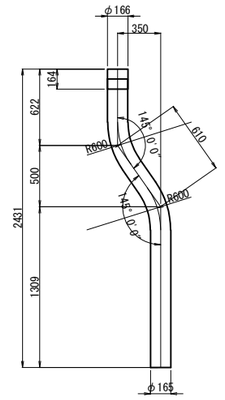
側 面 図



平 面 図

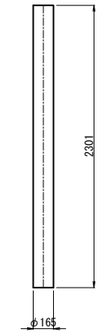


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



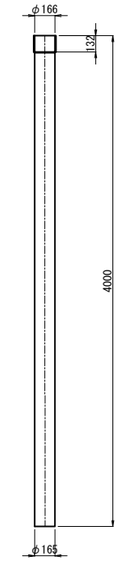
1-TNT φ150x2541

新設直管L-1 S=1/50



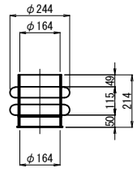
1-VP 150Ax2301

新設直管L-2 S=1/50

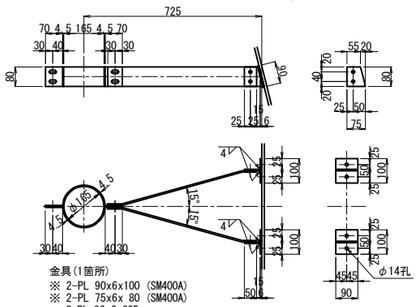


1-VP 150Ax4000

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

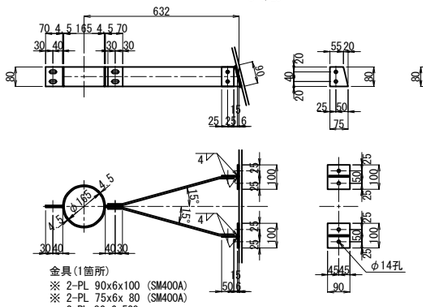


新設金具 S-1 S=1/25



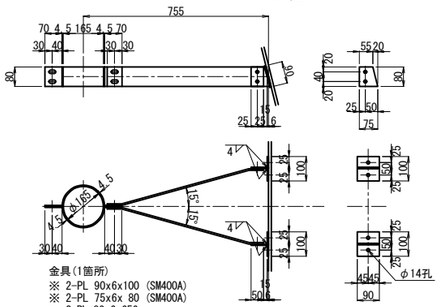
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



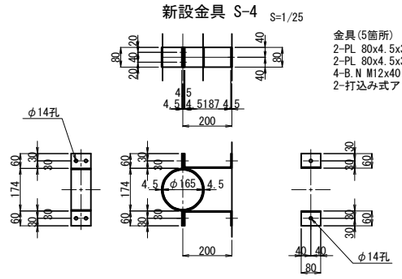
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x529
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x656
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

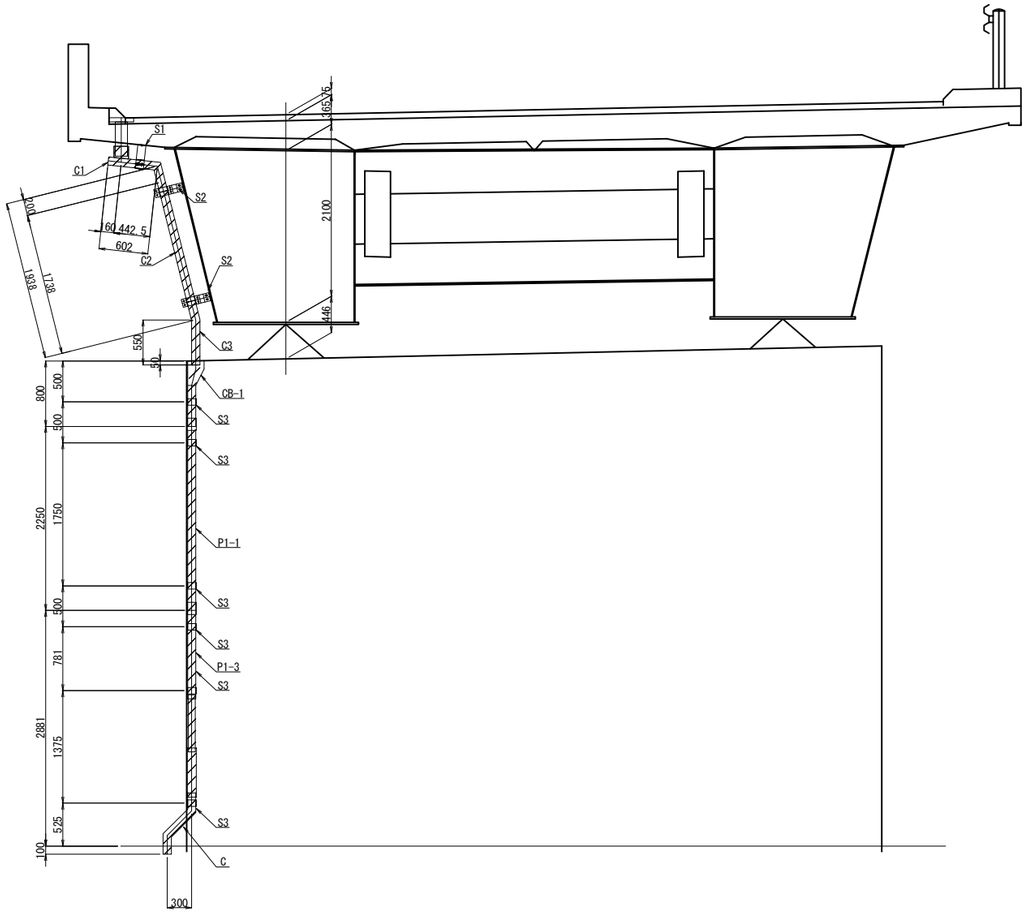
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P42橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	98 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

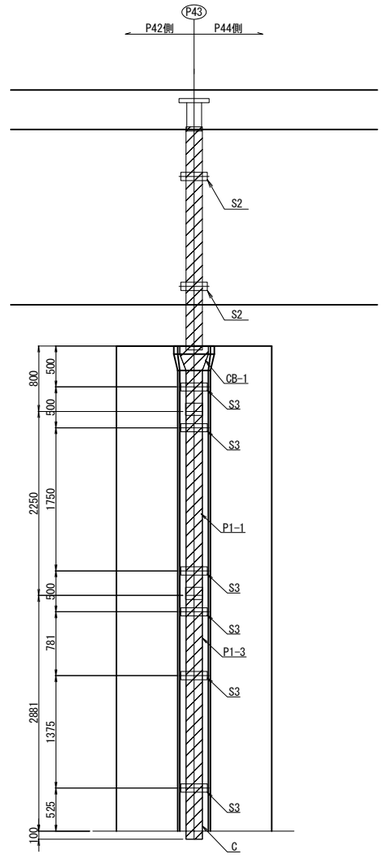
袖ヶ浦高架橋（下り線）P43橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

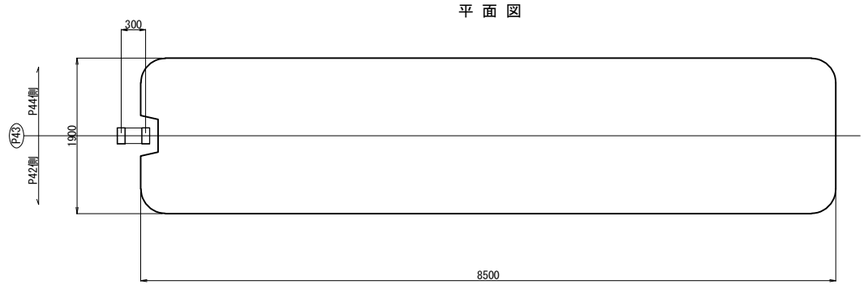
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-3	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.232
撤去重量		kg	271

凡例

▨ ：撤去

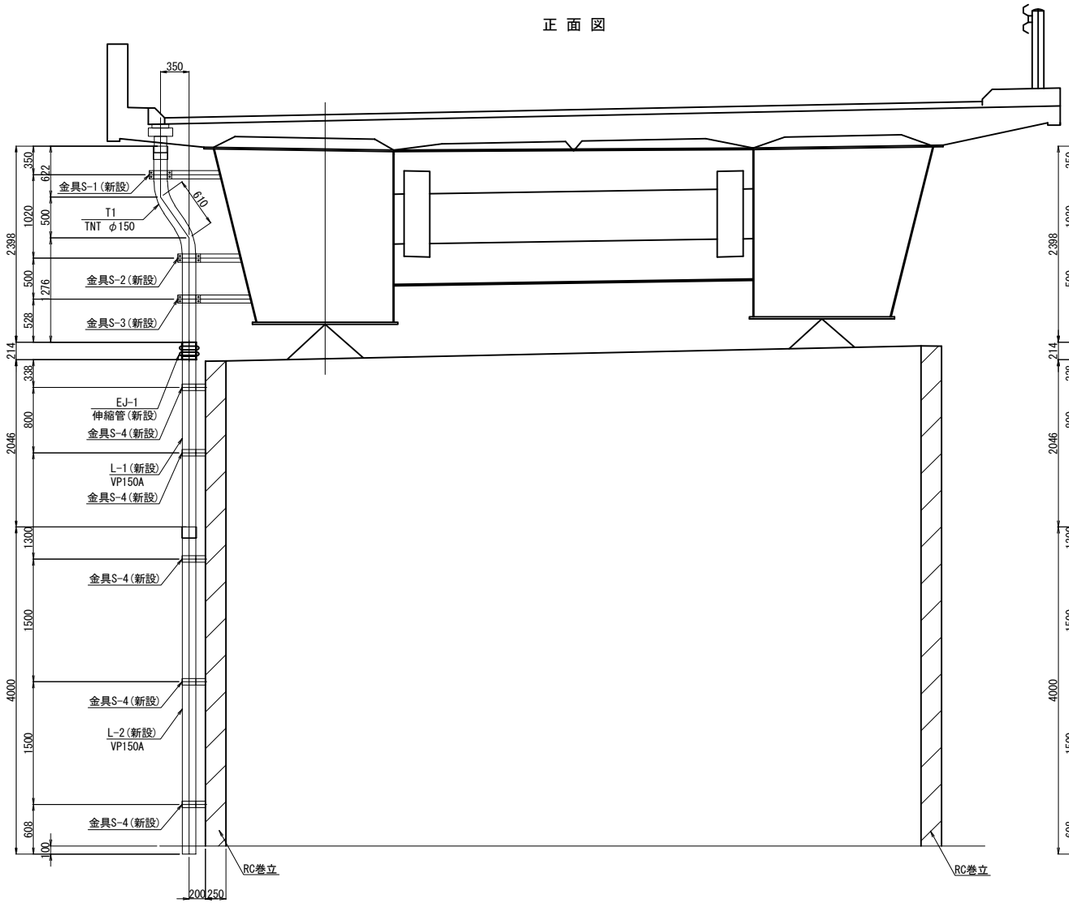
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P43橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	99 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

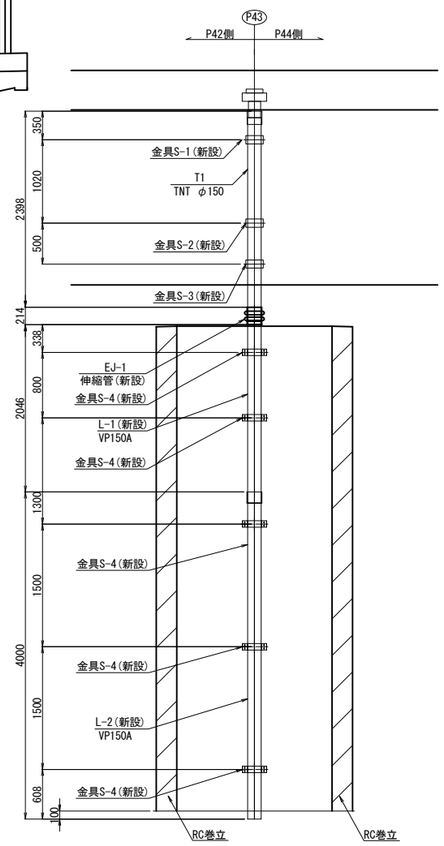
袖ヶ浦高架橋（下り線）P43橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

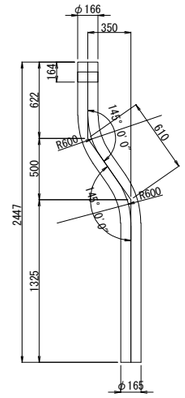
正 面 図



側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

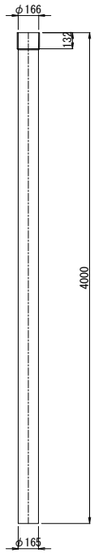


1-TNT φ150x2557

新設直管L-1 S=1/50

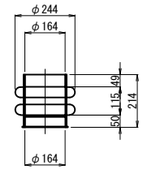
1-VP 150Ax2228

新設直管L-2 S=1/50

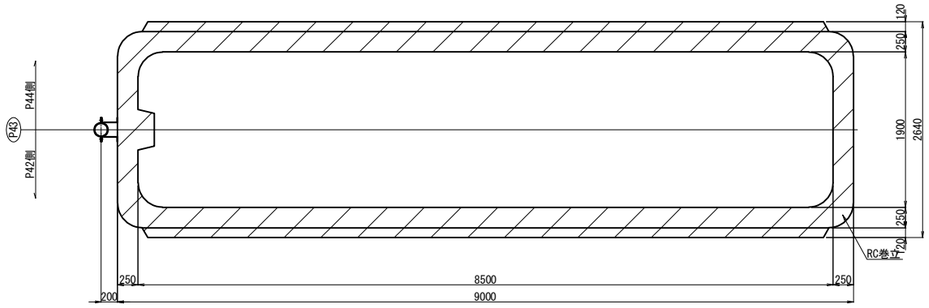


1-VP 150Ax4000

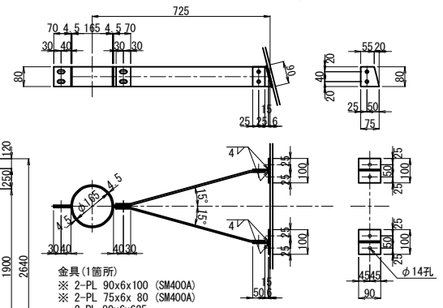
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

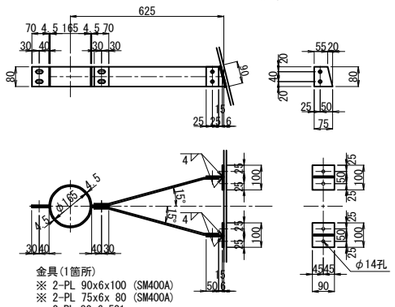


新設金具 S-1 S=1/25



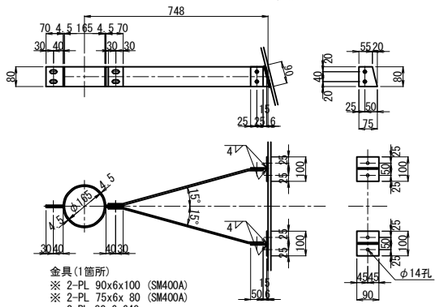
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



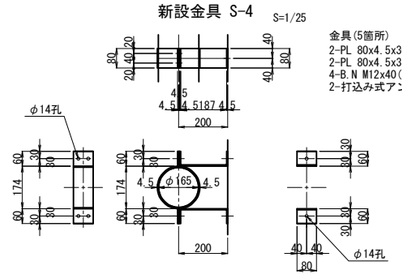
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x521
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x649
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

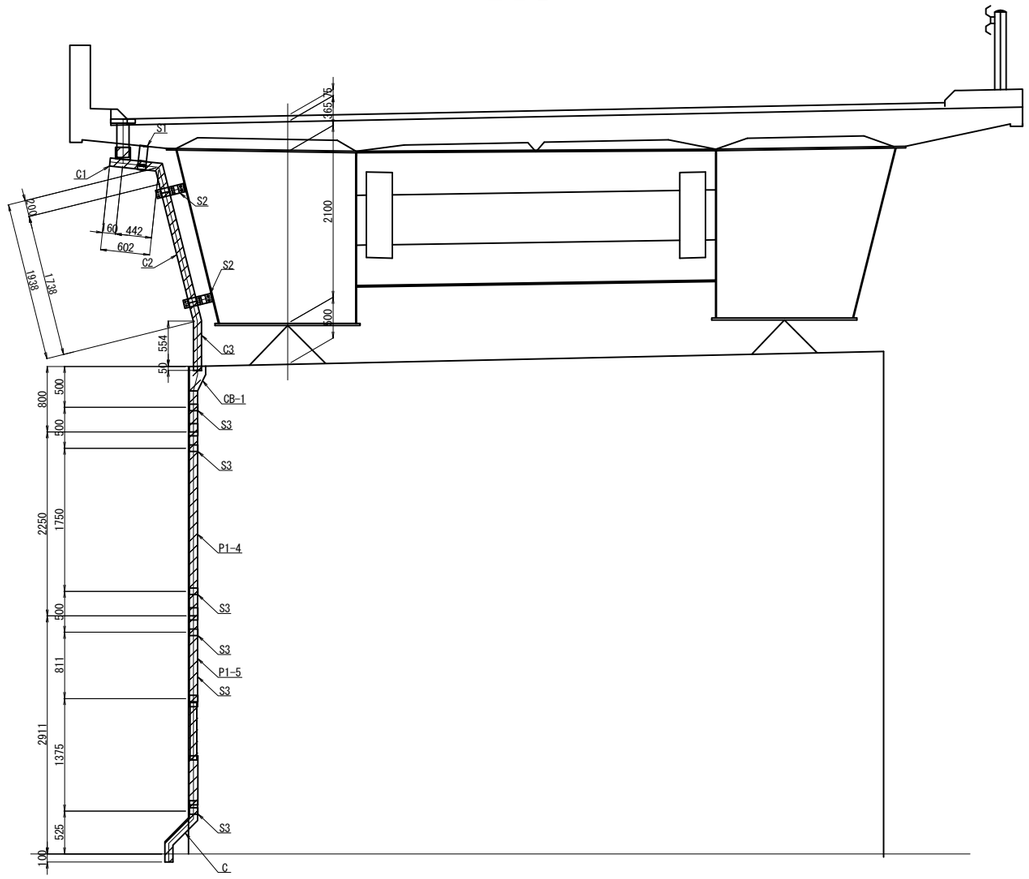
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P43橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	100 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

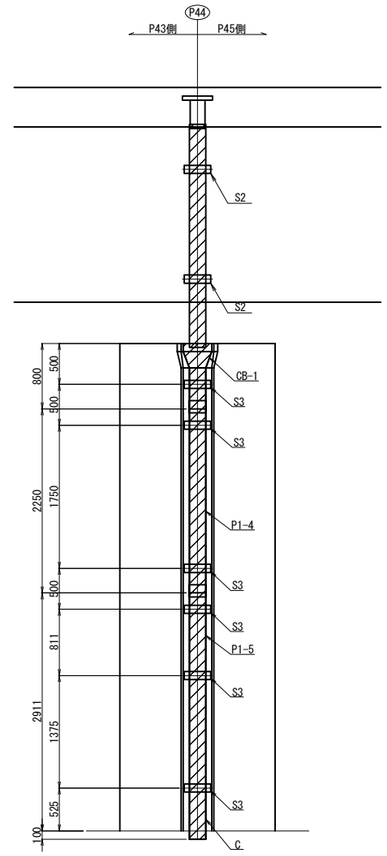
袖ヶ浦高架橋（下り線）P44橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

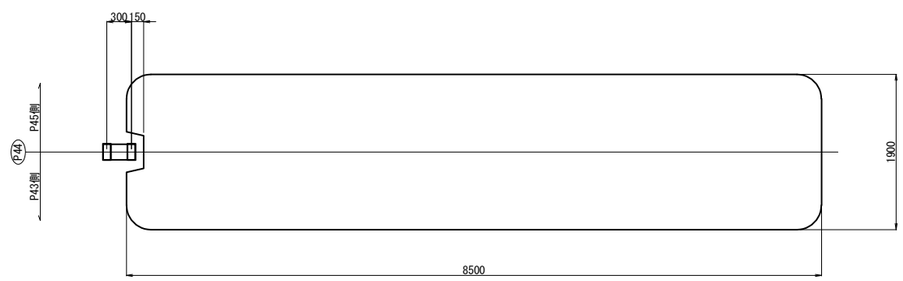
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-4	個	1
	P1-5	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.316
撤去重量		kg	271

凡例

：撤去

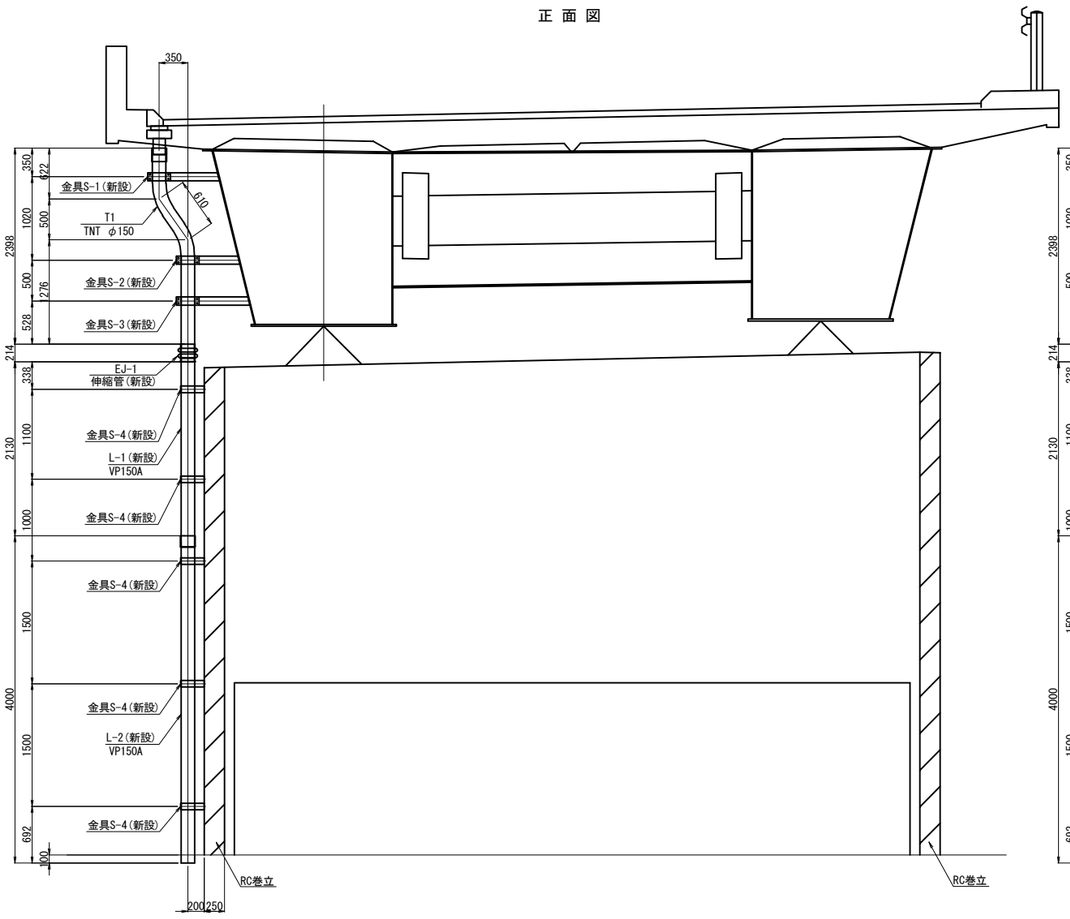
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P44橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	101 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

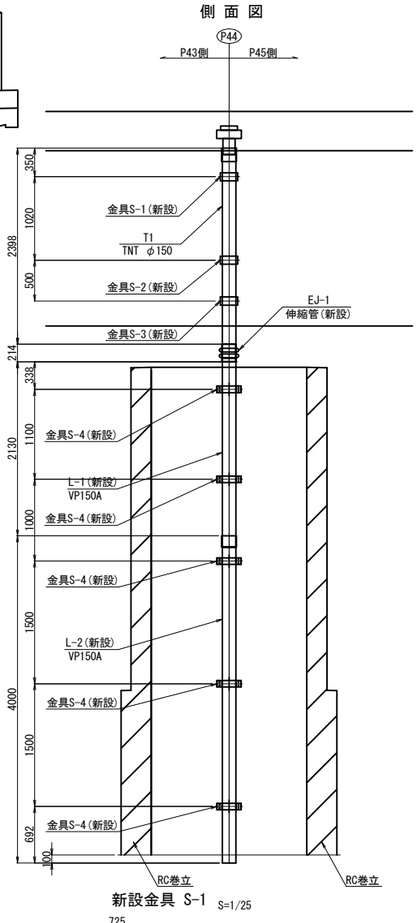
袖ヶ浦高架橋（下り線）P44橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

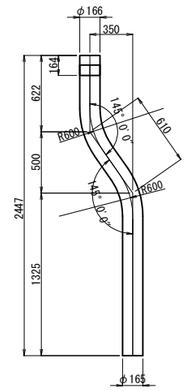
正 面 図



側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

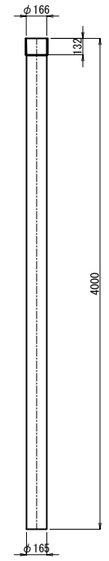


1-TNT φ150x2557

新設直管L-1 S=1/50

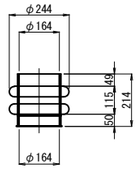
1-VP 150Ax2312

新設直管L-2 S=1/50

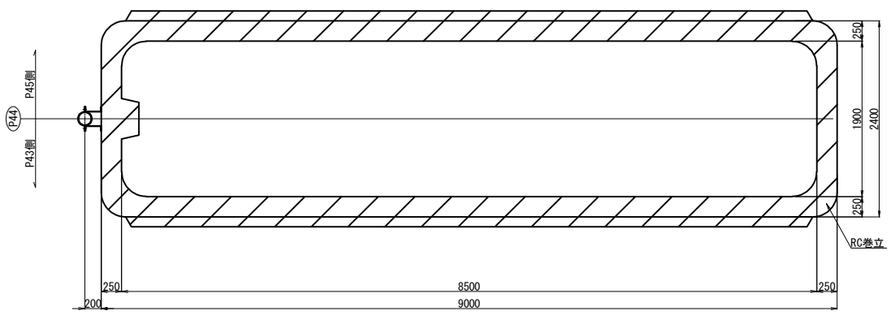


1-VP 150Ax4000

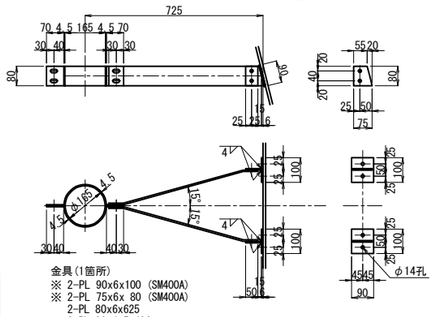
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

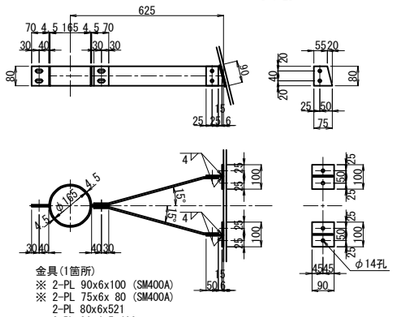


新設金具 S-1 S=1/25



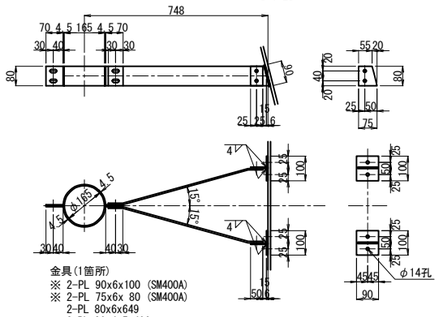
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



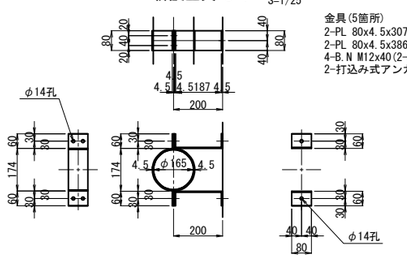
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x521
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x649
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

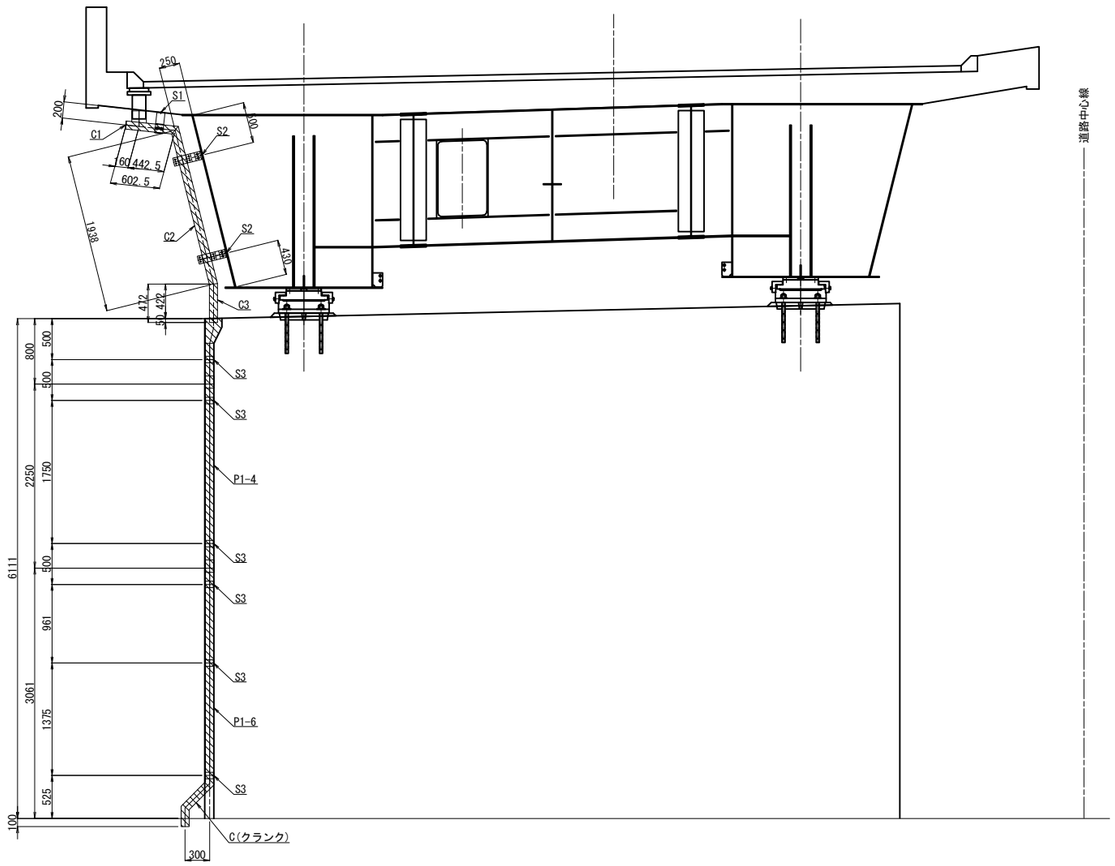
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P44橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	102 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

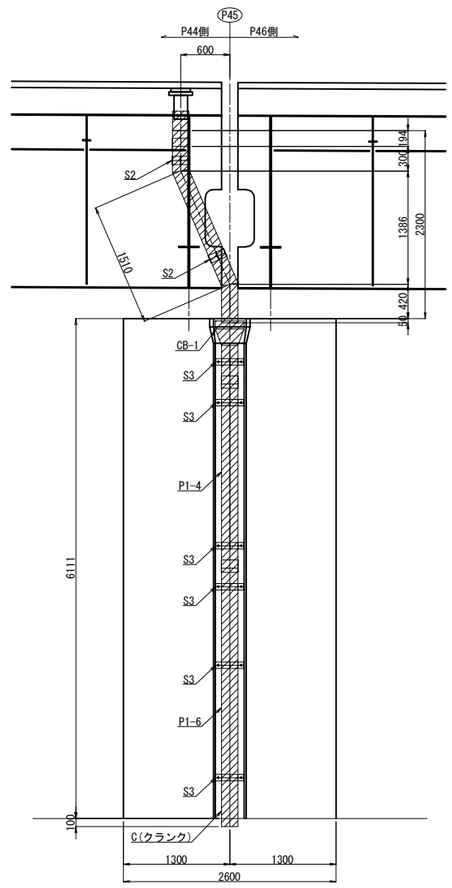
袖ヶ浦高架橋（下り線）P45橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

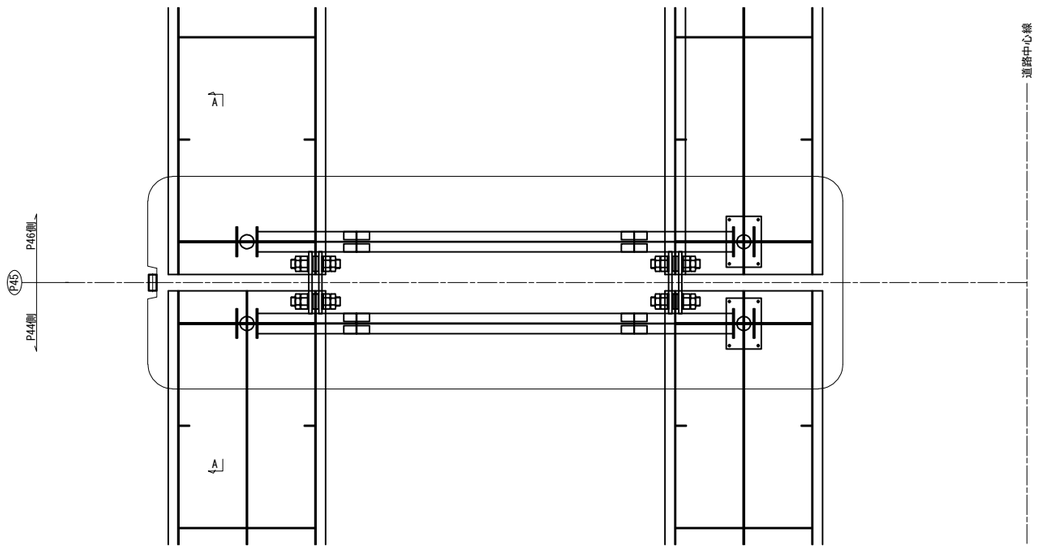
正 面 図



側 面 図(A － A)



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-4	個	1
	P1-6	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	9.469
撤去重量		kg	276

凡例

▨ ：撤去

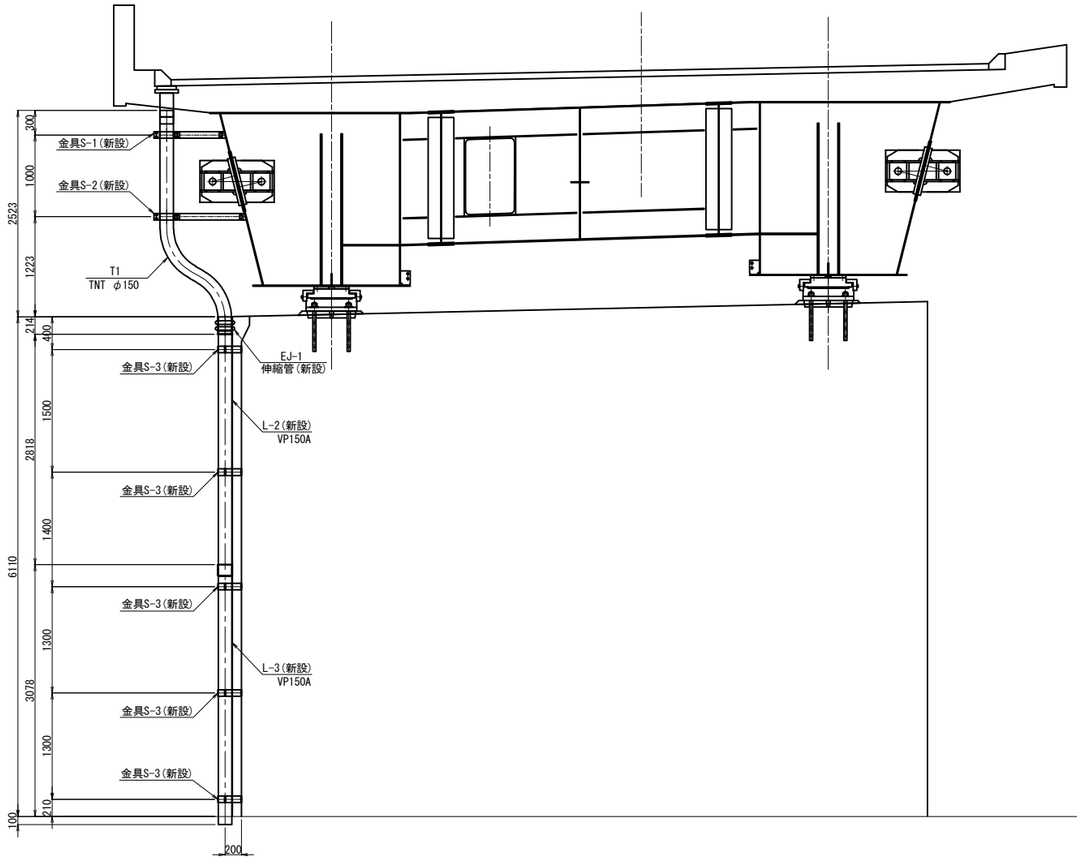
注記
1.本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P45橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	103 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

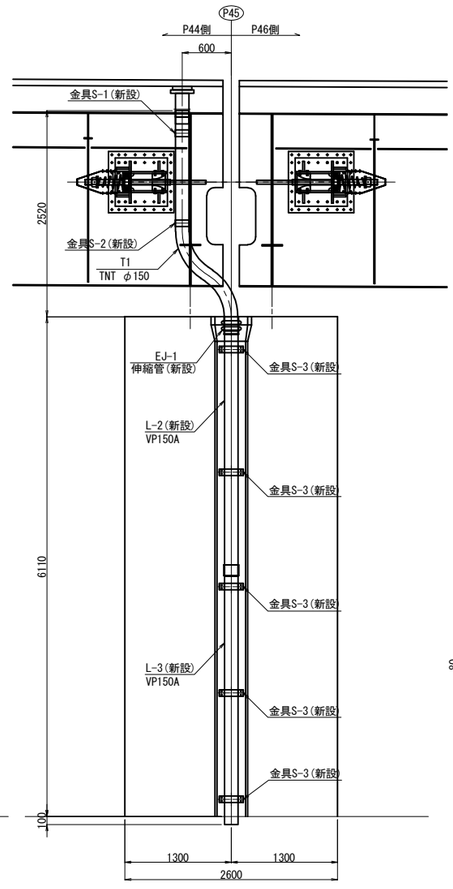
袖ヶ浦高架橋（下り線）P45橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

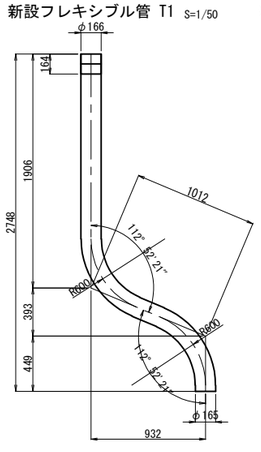
正 面 図



側 面 図(A － A)

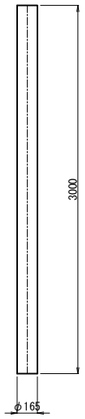


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



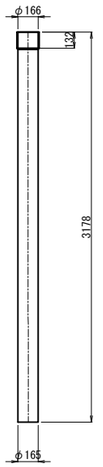
1-TNT φ150x3367

新設直管L-1 S=1/50



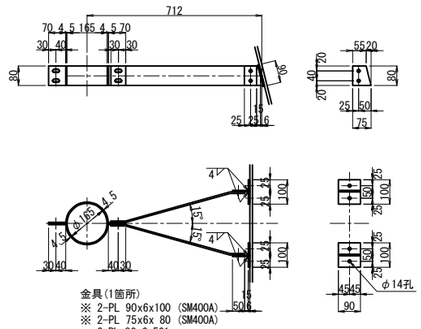
1-VP 150Ax3000

新設直管L-2 S=1/50



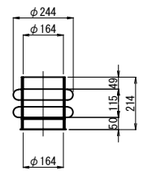
1-VP 150Ax3178

新設金具 S-1 S=1/25

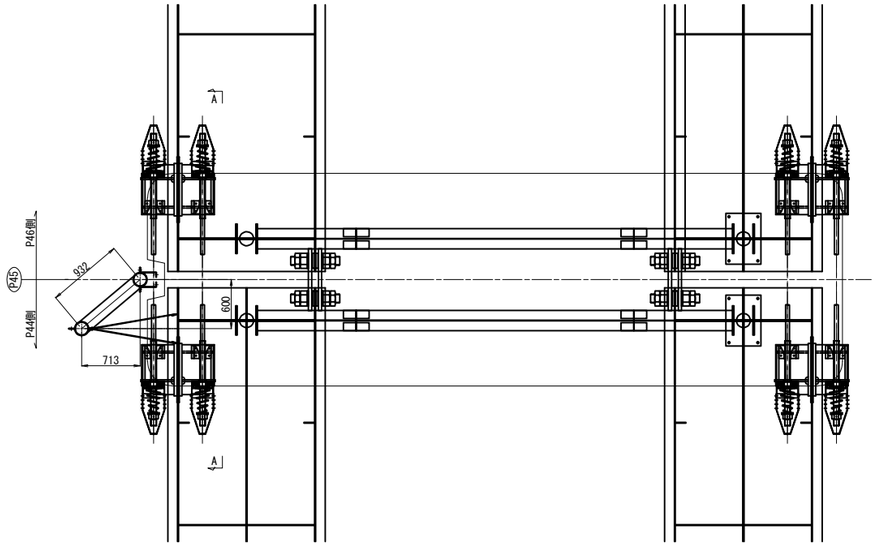


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x561
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

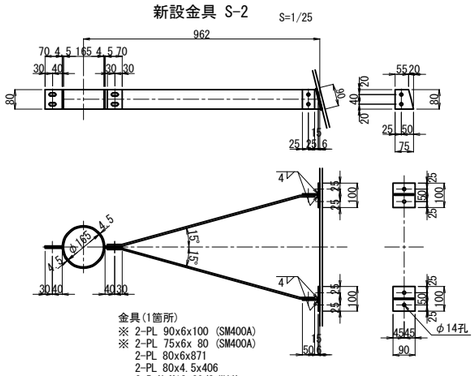
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

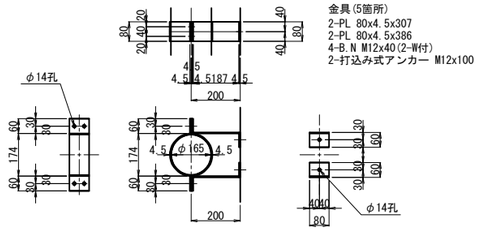


新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x871
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

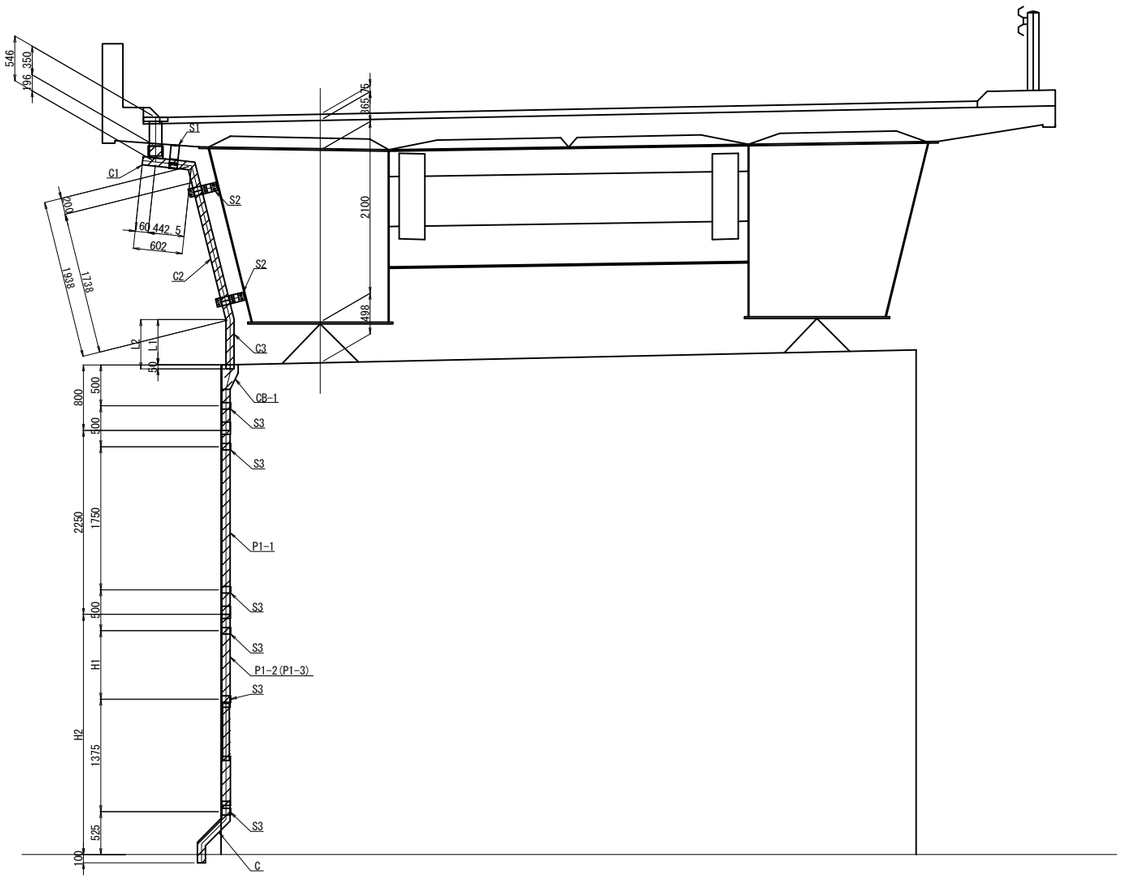
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとし、亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55 とする。
但し、ボルト・ナットおよび板厚 3.2mm未満の部材はHDZ35 とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P45橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	104 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

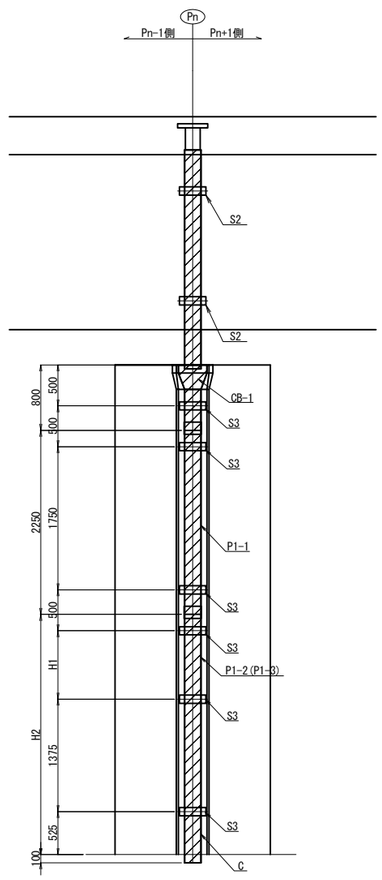
袖ヶ浦高架橋（下り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



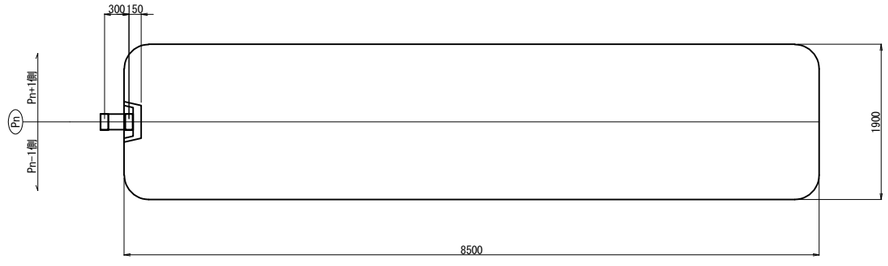
寸法表

	P46	P47
L1	552	512
L2	602	562
H1	837	668
H2	2937	2768

撤去数量表

品名	記号	単位	P46	P47
加工管	C1	個	1	1
	C2	個	1	1
	C3	個	1	1
取付金具	S1	個	1	1
	S2	個	2	2
受桝	CB-1	個	1	1
直管	P1-1	個	1	1
	P1-2	個	1	–
	P1-3	個	–	1
取付金具	S3	個	6	6
加工管	C	個	1	1
流水延長(鋼管)		m	9.340	9.131
撤去重量		kg	272	268

平 面 図



凡例

▨ ：撤去

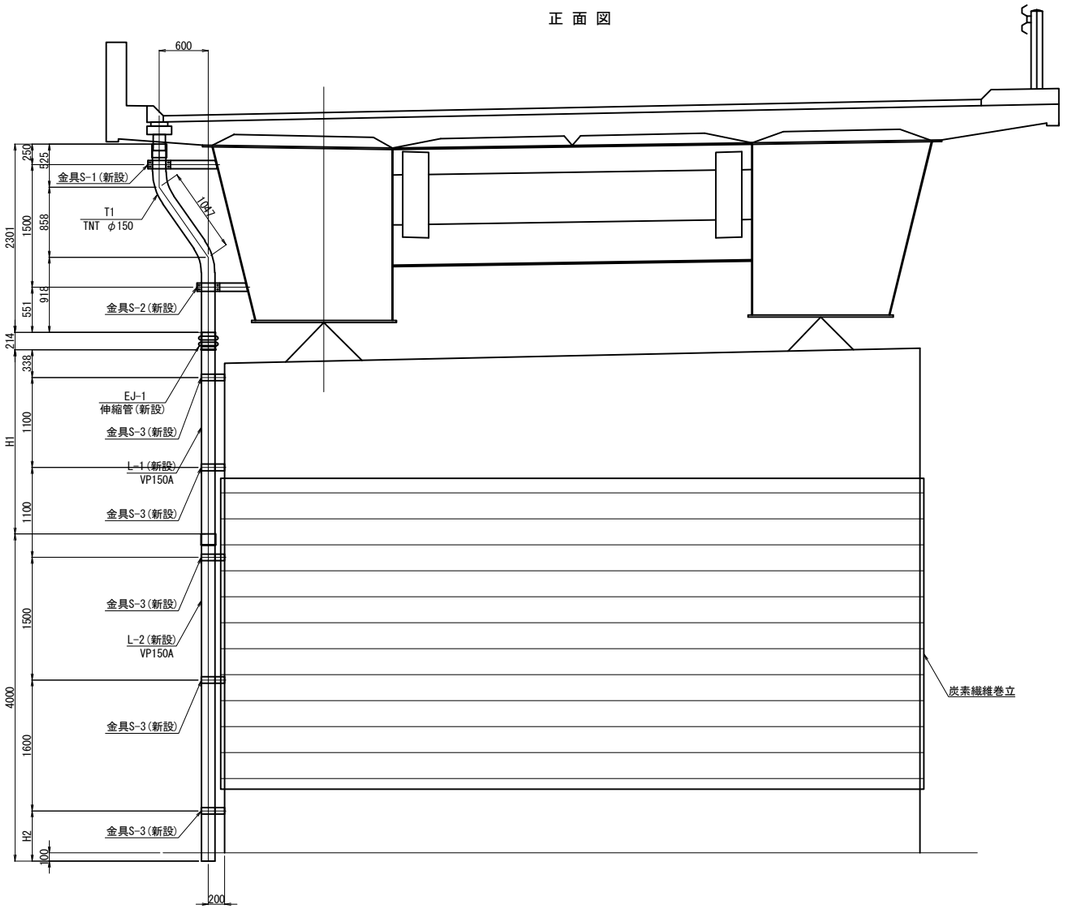
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P46,P47橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮尺	1:75	図面番号	105 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

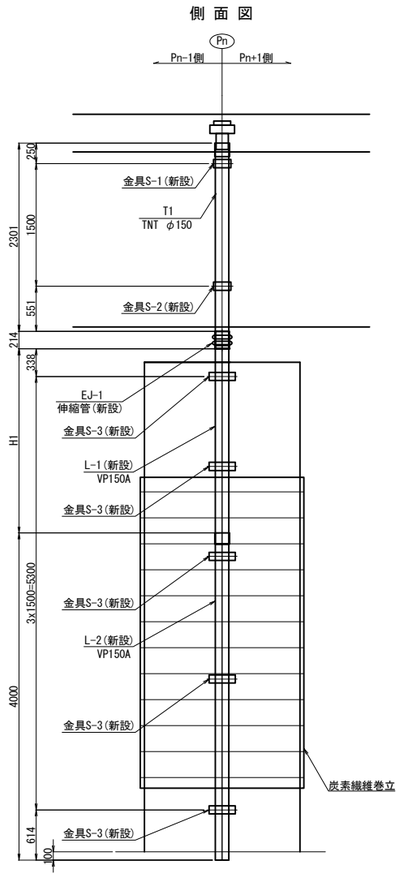
袖ヶ浦高架橋（下り線）P46,P47橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

正 面 図

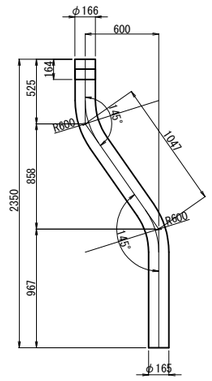


側 面 図



新設フレキシブル管 T1 S=1/50

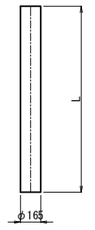
(各1箇所)



1-TNT φ150x2539

新設直管L-1 S=1/50

(各1箇所)



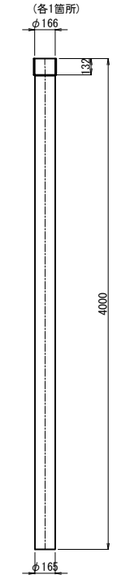
1-VP 150Ax L

L-1寸法表

	P46	P47
L	2439	2230

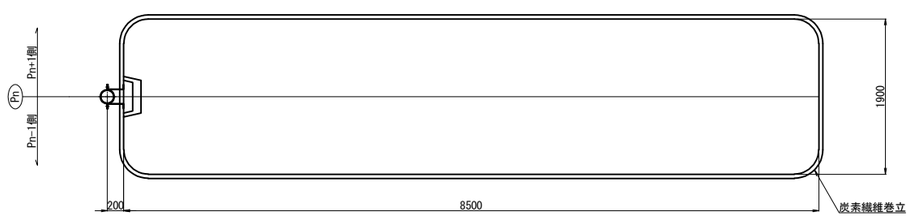
新設直管L-2 S=1/50

(各1箇所)



1-VP 150Ax4000

平 面 図

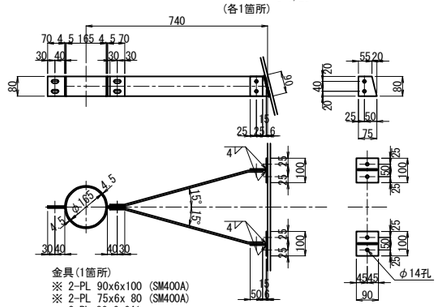


寸法表

	P46	P47
H1	2257	2048
H2	614	405

新設金具 S-1 S=1/25

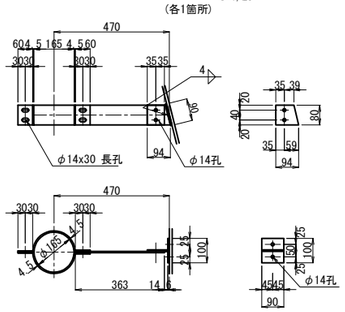
(各1箇所)



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x641
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25

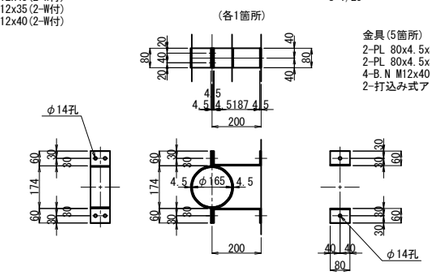
(各1箇所)



金具(1箇所)
※ 1-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 1-PL 94x6x 80 (SM400A)
1-PL 80x6x363
2-PL 80x4.5x383
4-B.N M12x35(2-W付)
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25

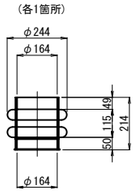
(各1箇所)



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

(各1箇所)



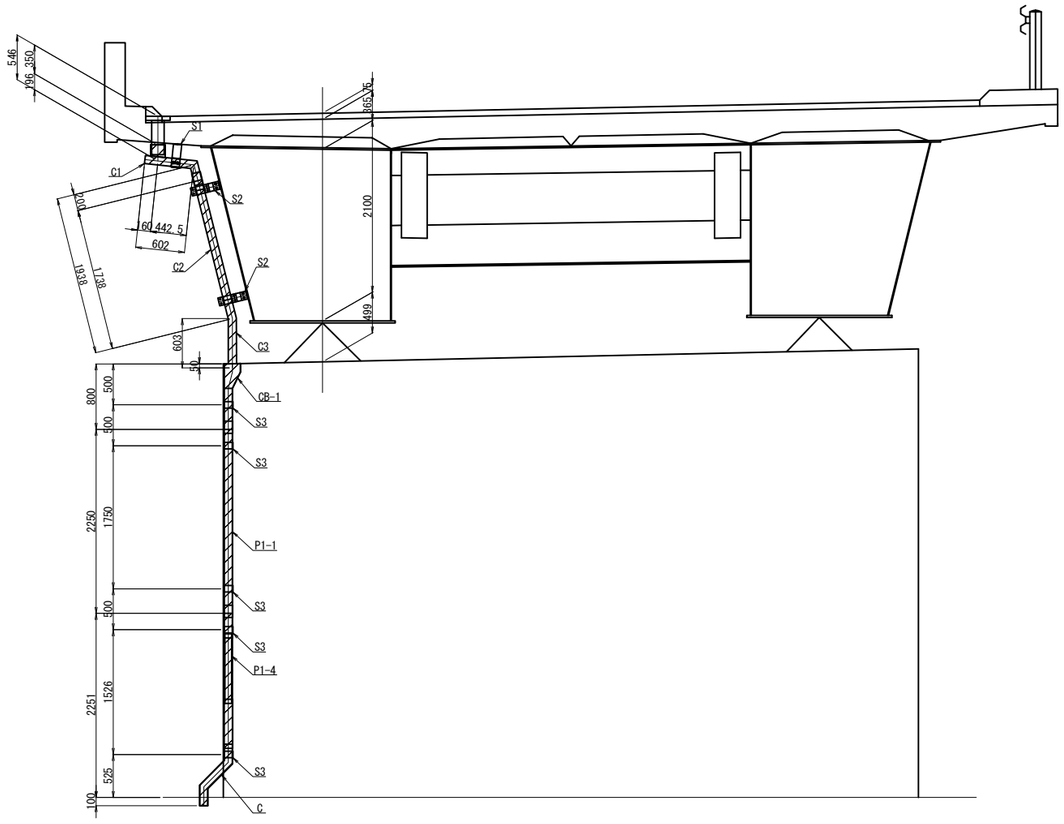
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P46,47橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	106 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

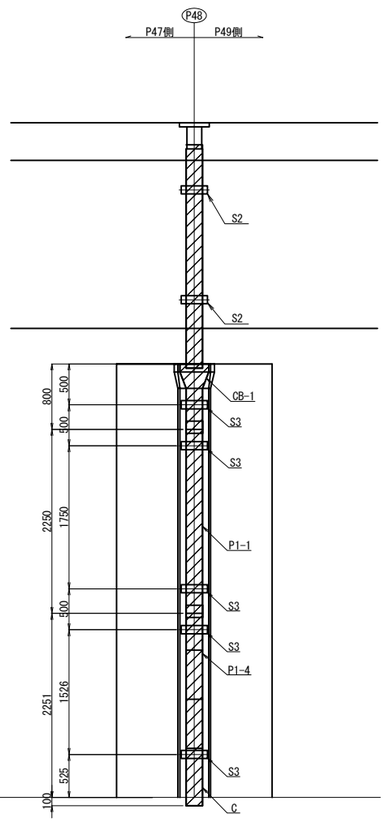
袖ヶ浦高架橋（下り線）P48橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

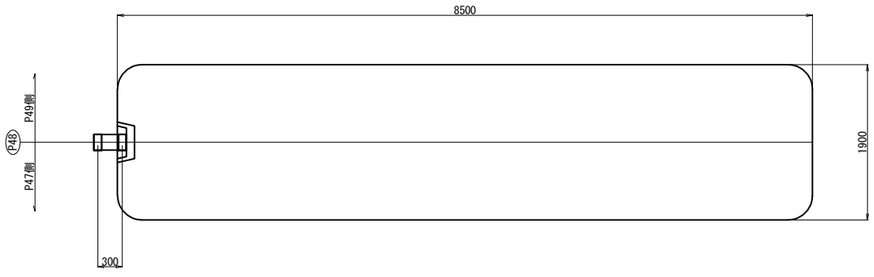
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-1	個	1
	P1-4	個	1
取付金具	S3	個	5
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.655
撤去重量		kg	253

凡例

▨ ：撤去

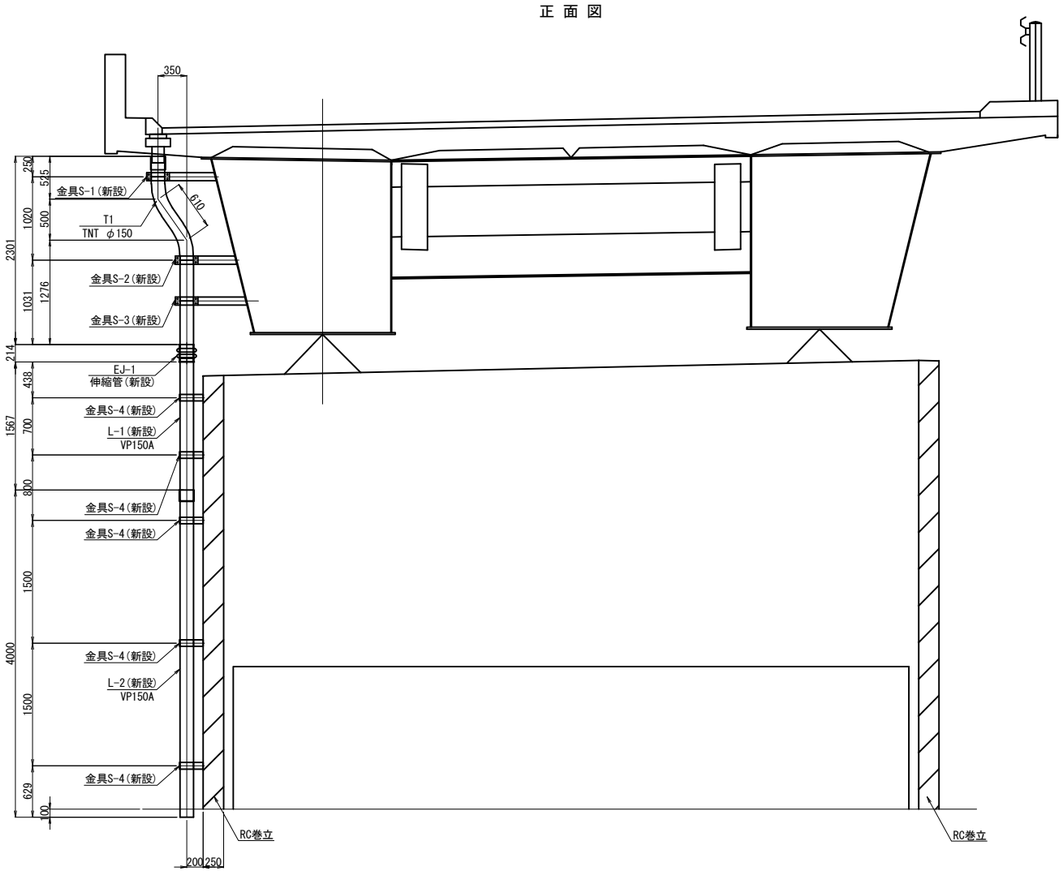
注記
1.本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P48橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	107 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

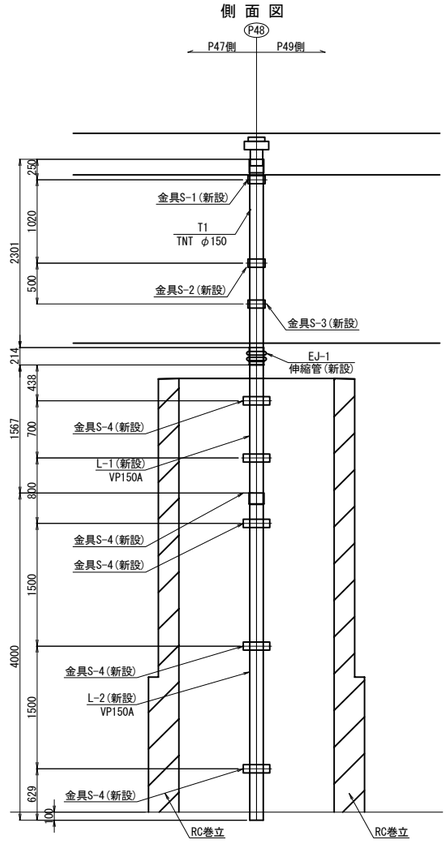
袖ヶ浦高架橋（下り線）P48橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

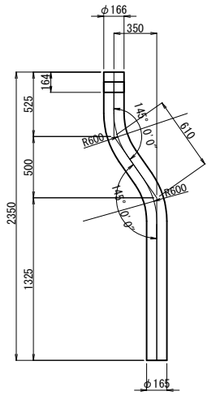
正 面 図



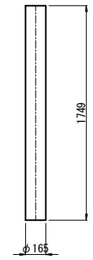
側 面 図



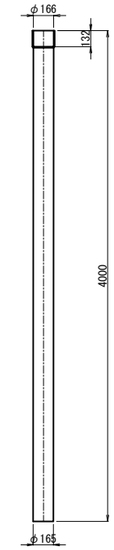
新設フレキシブル管 T1 S=1/50



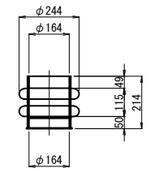
新設直管L-1 S=1/50



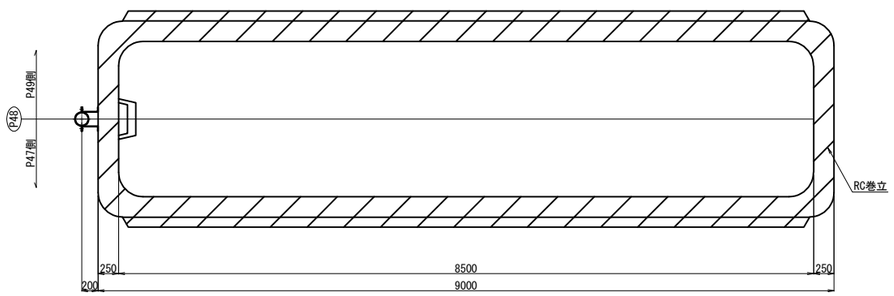
新設直管L-2 S=1/50



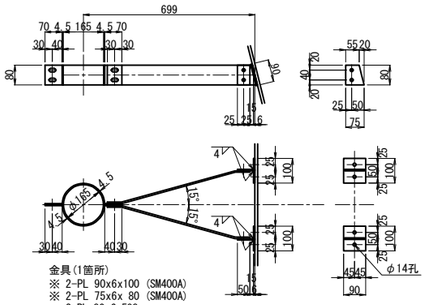
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

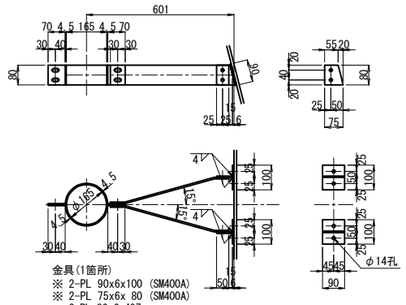


新設金具 S-1 S=1/25



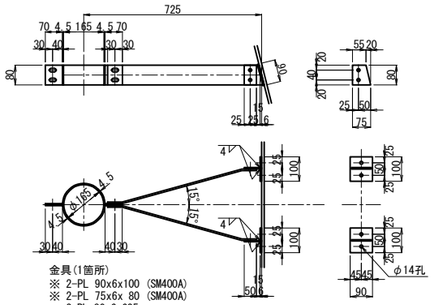
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x598
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



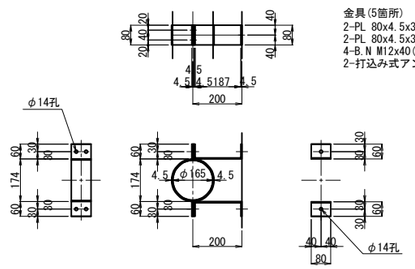
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x497
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x625
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

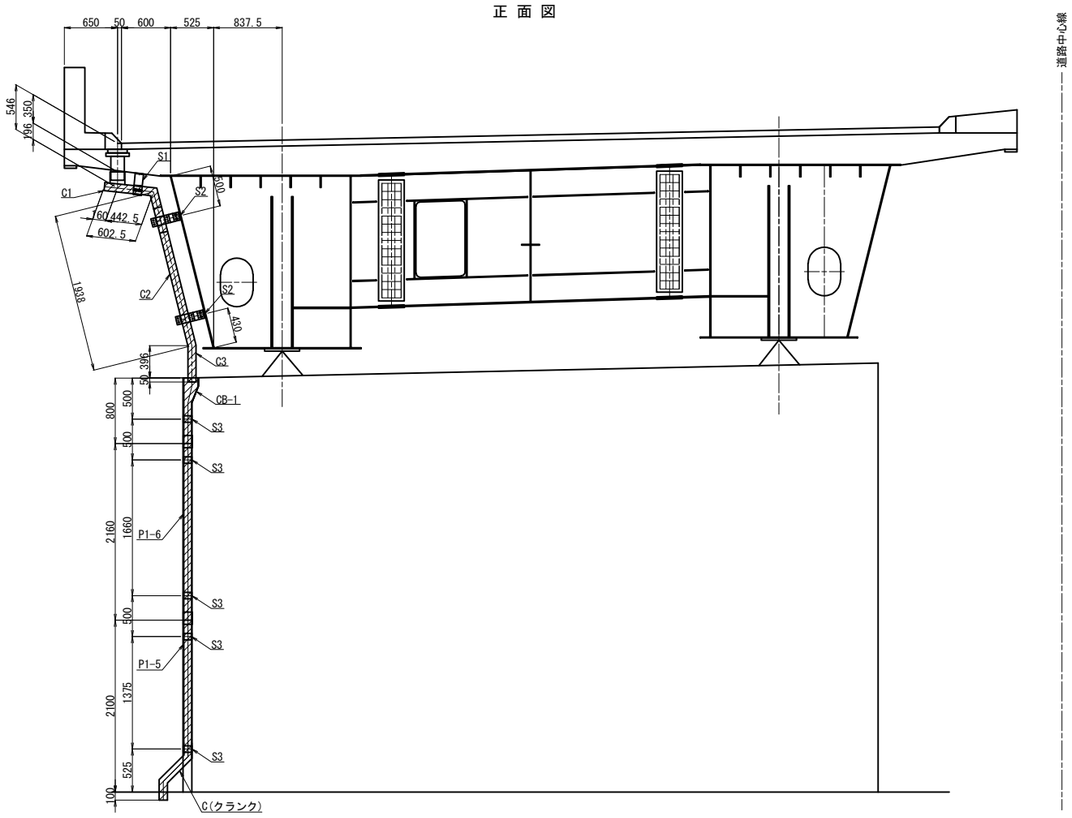
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P48橋脚 排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	108 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

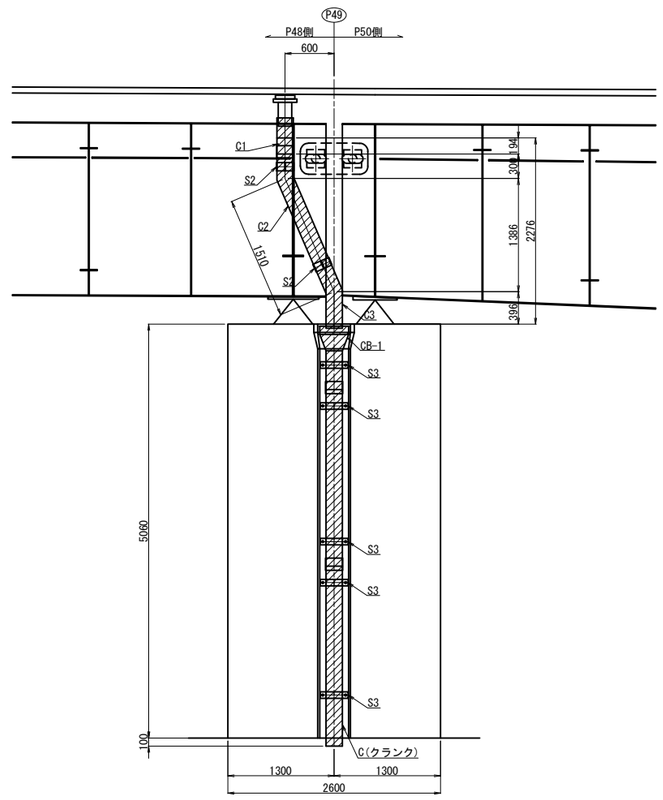
袖ヶ浦高架橋（下り線）P49橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

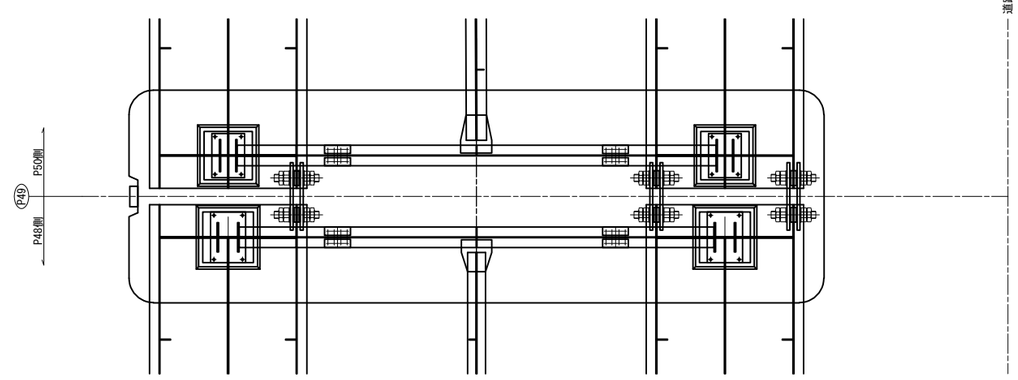
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB-1	個	1
直　　管	P1-5	個	1
	P1-6	個	1
取付金具	S3	個	5
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.363
撤去重量		kg	178

凡例

▨ : 撤去

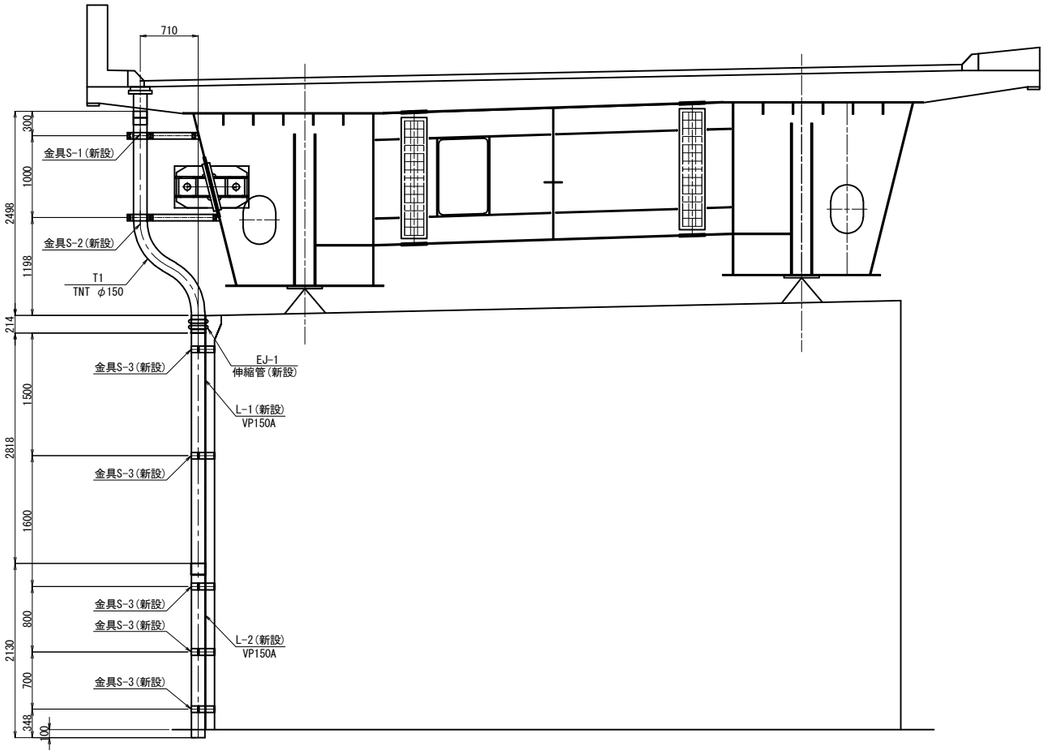
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P49橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	109 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

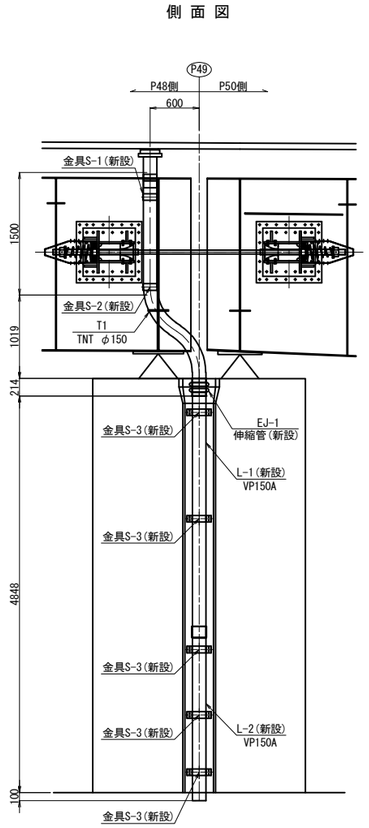
袖ヶ浦高架橋（下り線）P49橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

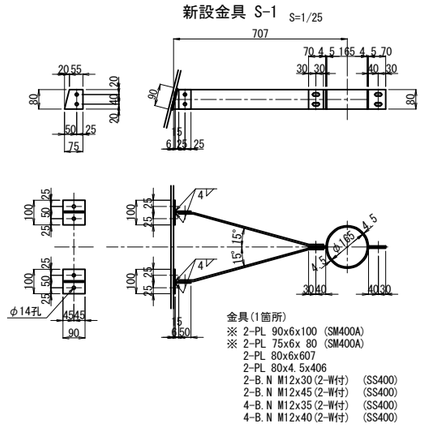
正面図



側面図

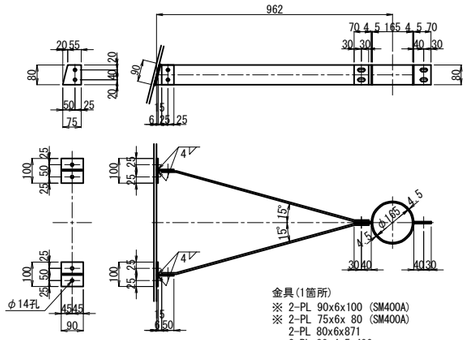


新設金具 S-1 S=1/25



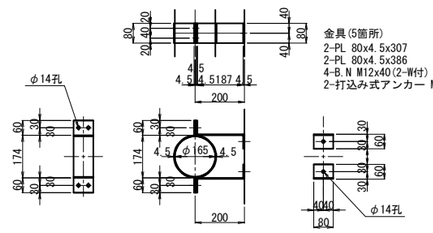
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x607
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



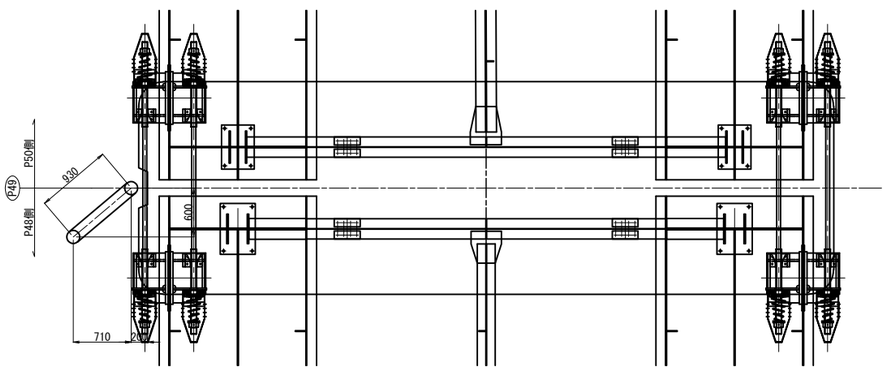
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x871
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x45(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25

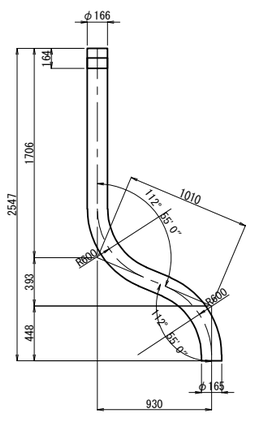


金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

平面図

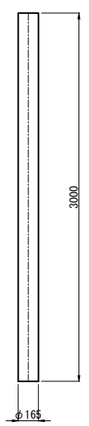


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x3164

新設直管L-1 S=1/50

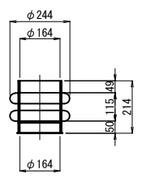


1-VP 150Ax3000

新設直管L-2 S=1/50

1-VP 150Ax2130

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



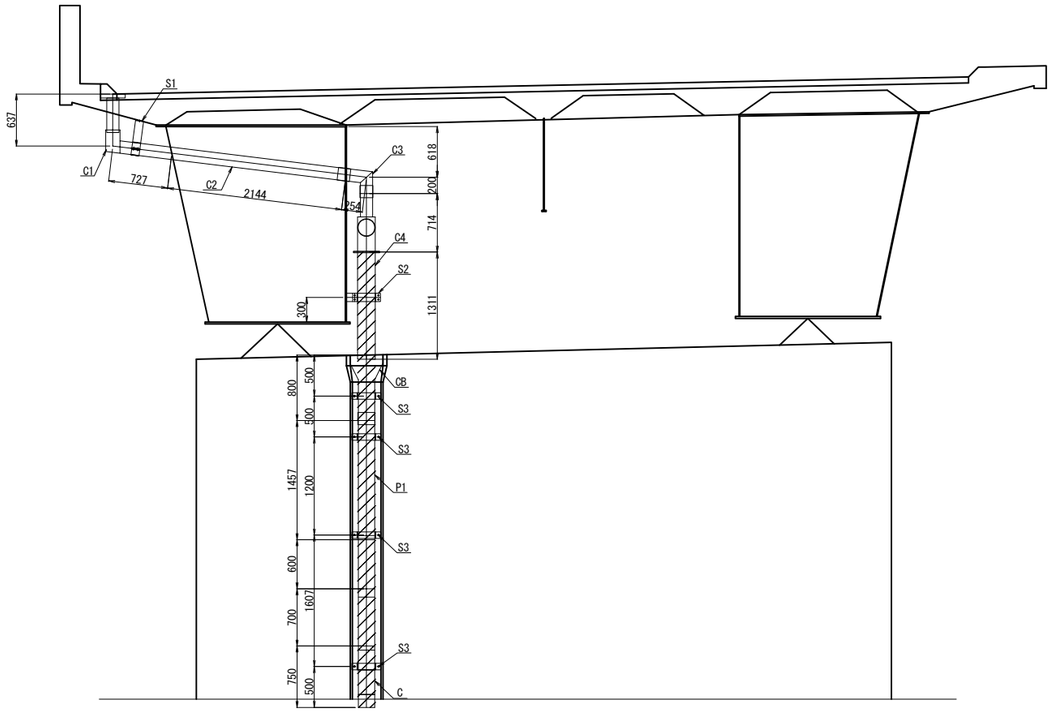
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P49橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	110 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

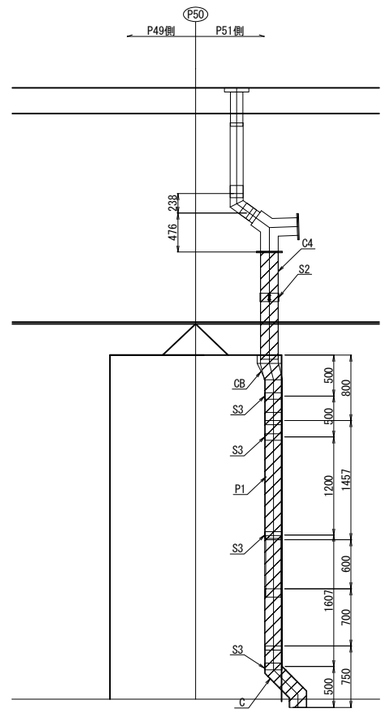
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

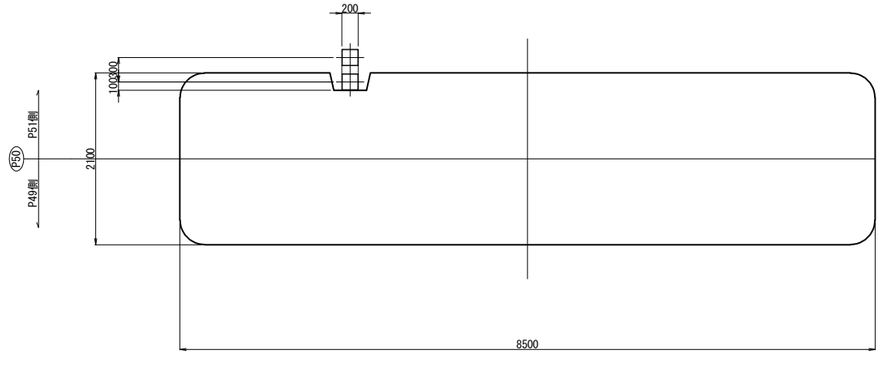
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C4	個	1
取付金具	S2	個	1
受　　桝	CB	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	5.694
撤去重量		kg	246

凡例

▨ ：撤去

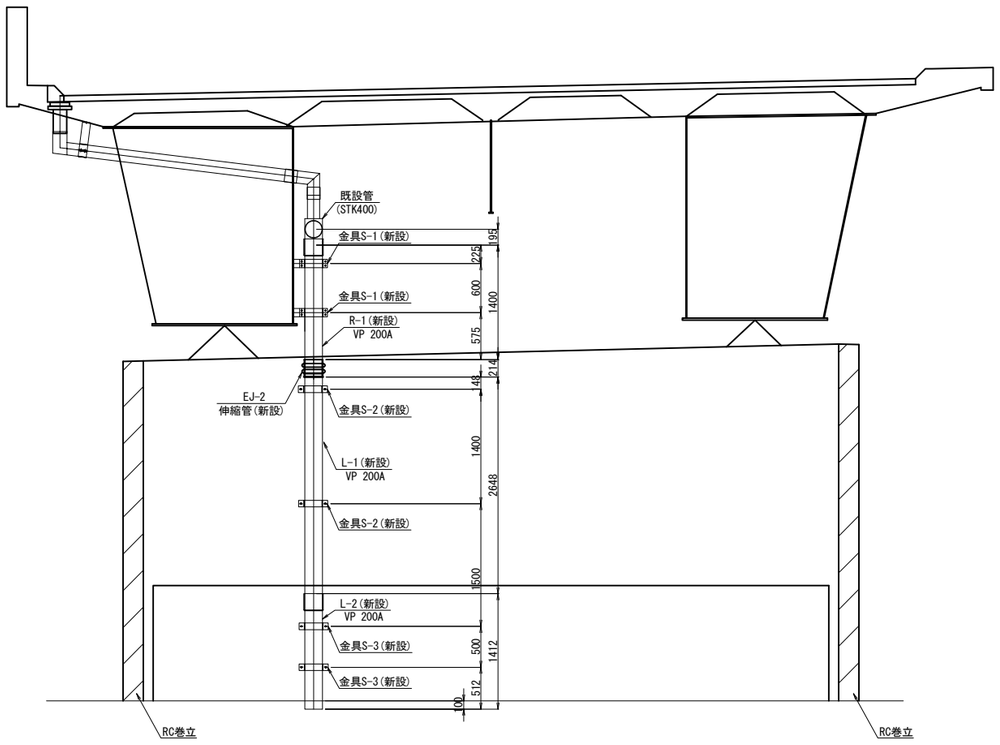
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P50橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	111 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

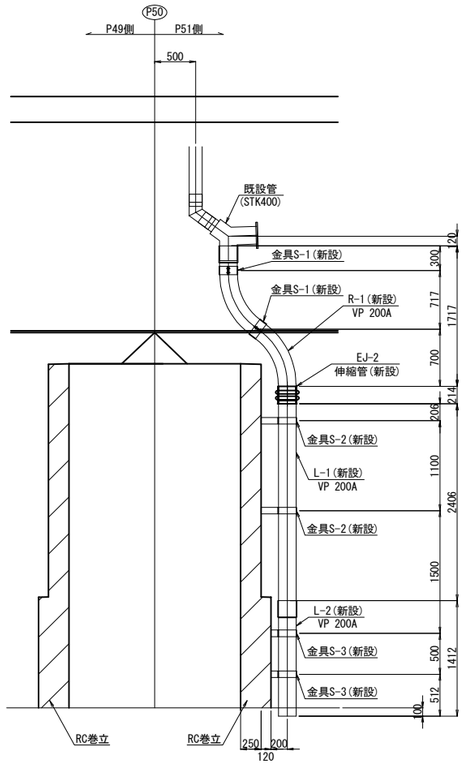
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

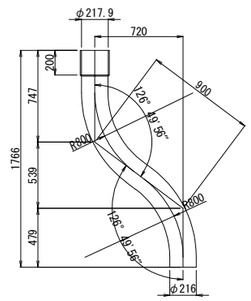
正 面 図



側 面 図

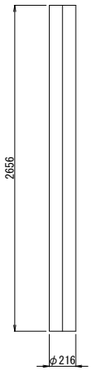


新設加工管 R-1 S=1/50



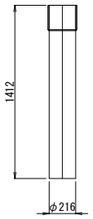
1-VP 200Ax2126

新設直管L-1 S=1/50



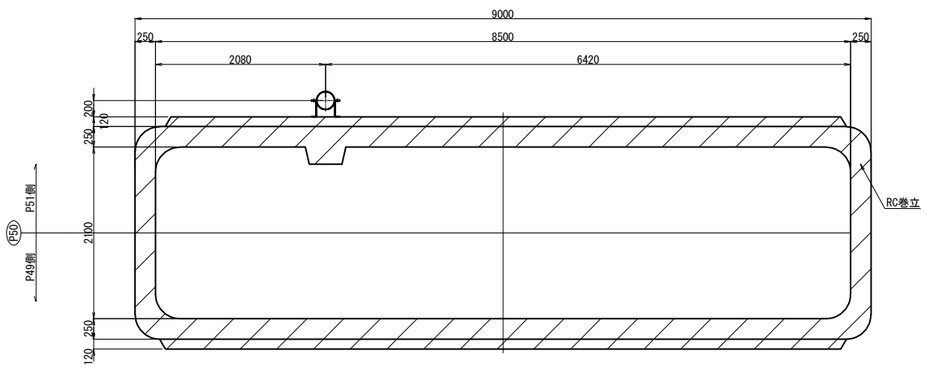
1-VP 200Ax2656

新設直管L-2 S=1/50

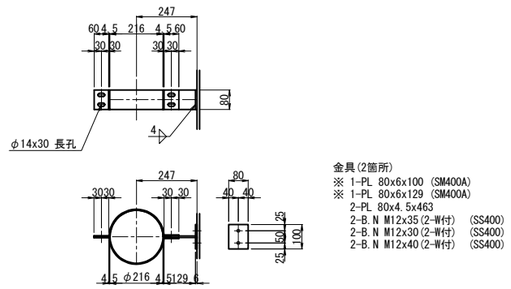


1-VP 200Ax1412

平 面 図

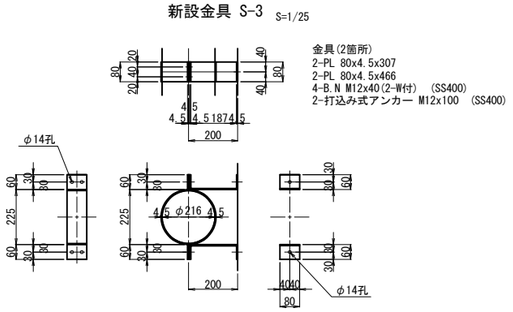


新設金具 S-1 S=1/25



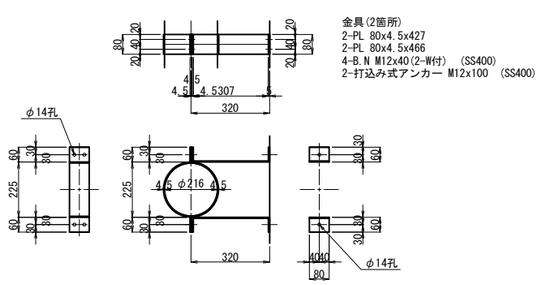
金具(2箇所)
※ 1-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 1-PL 80x6x129 (SM400A)
2-PL 80x4.5x463
2-B.N M12x35(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x30(2-W付) (SS400)
2-B.N M12x40(2-W付) (SS400)

新設金具 S-3 S=1/25



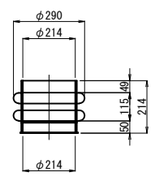
金具(2箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x466
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



金具(2箇所)
2-PL 80x4.5x427
2-PL 80x4.5x466
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設伸縮管 EJ-2 S=1/25



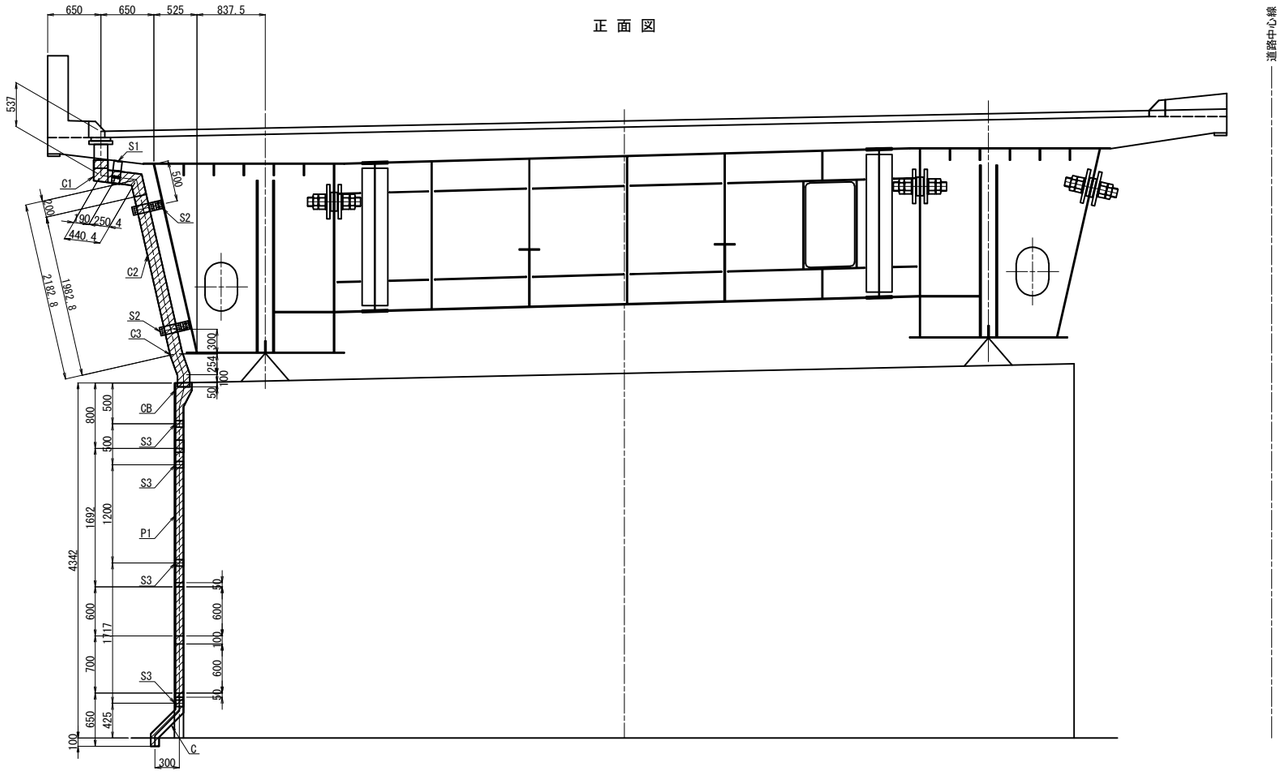
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P50橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	112 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

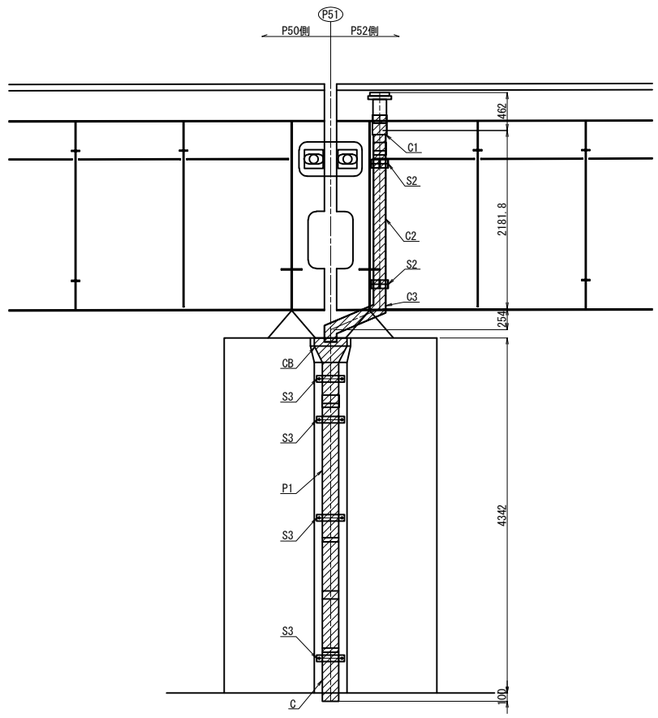
袖ヶ浦高架橋（下り線）P51橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

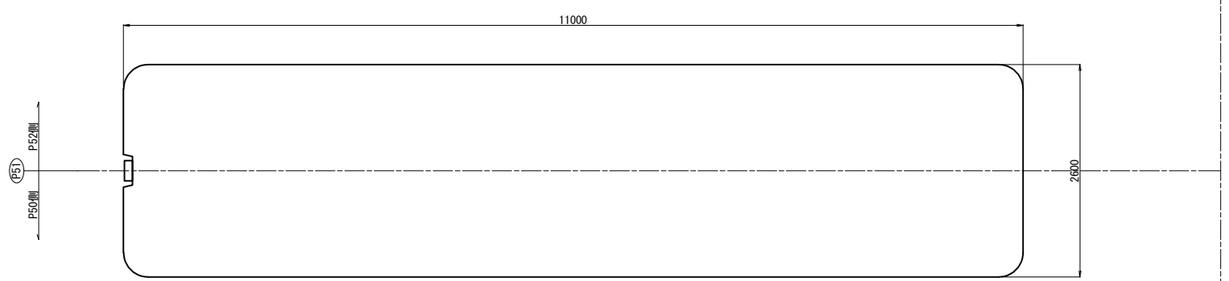
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB	個	1
直　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.127
撤去重量		kg	229

凡例

▨ ：撤去

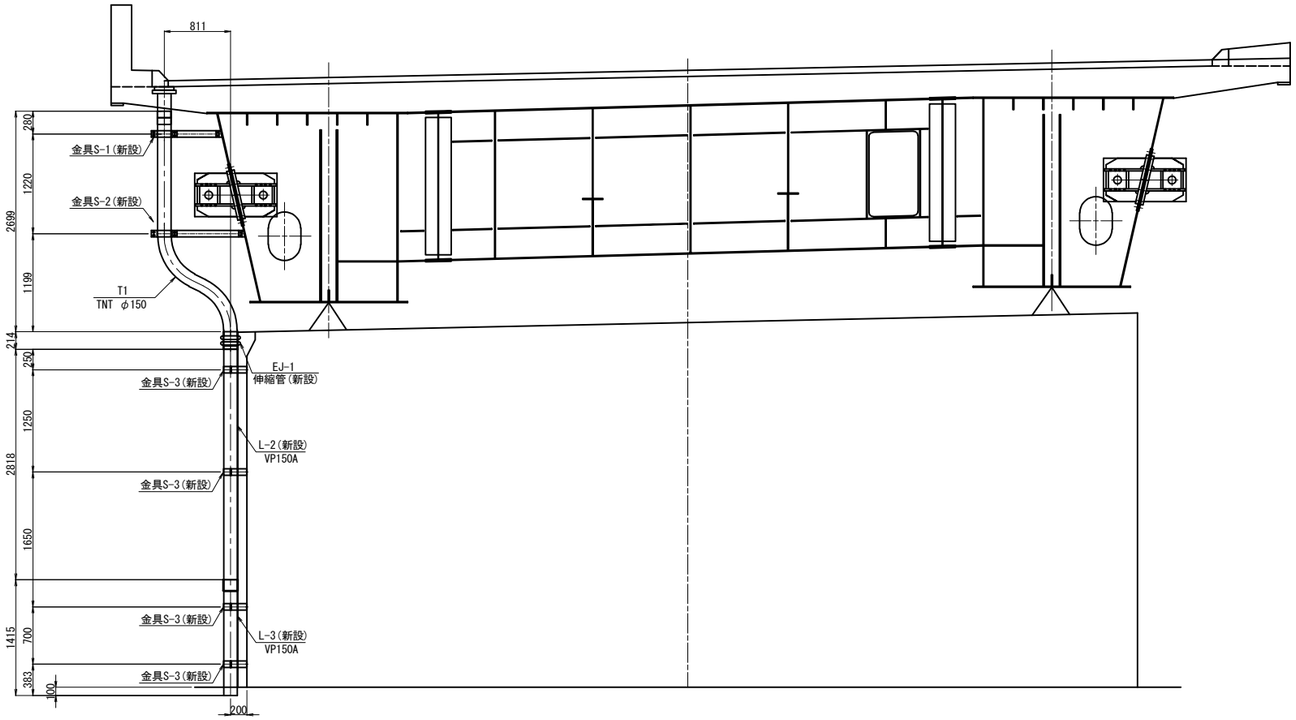
注記
1.本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P51橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:75	図面番号	113 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

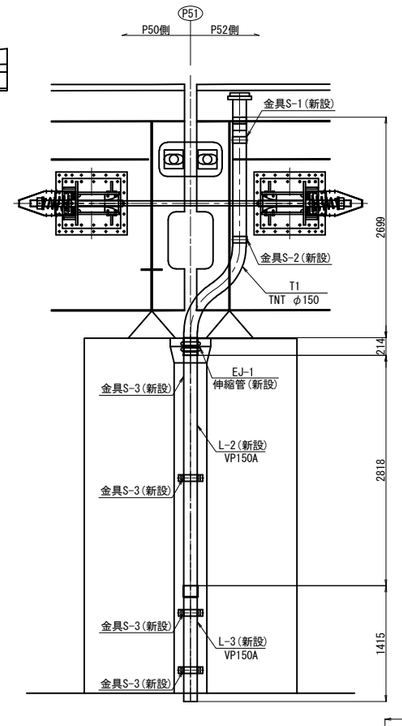
袖ヶ浦高架橋（下り線）P51橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

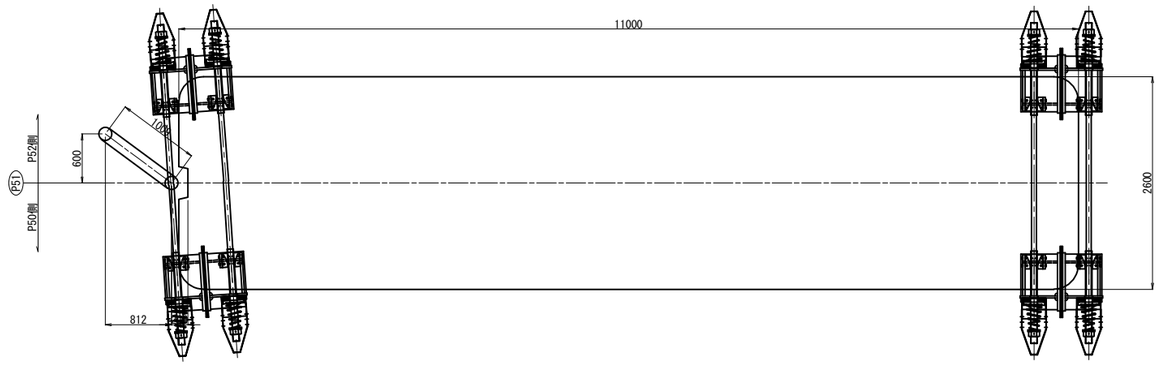
正 面 図



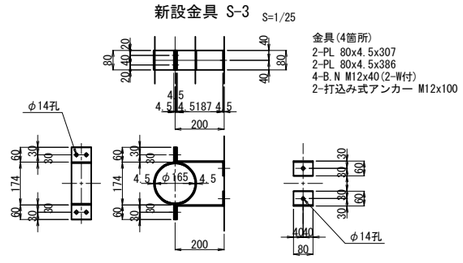
側 面 図



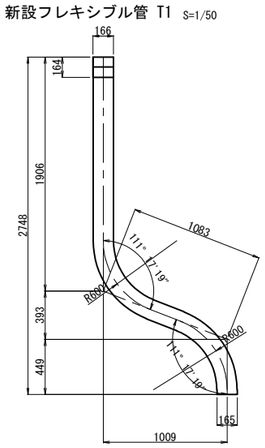
平 面 図



新設金具 S-3 S=1/25

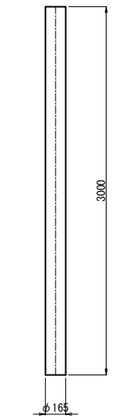


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



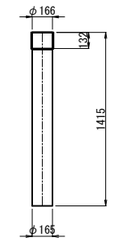
1-TNT φ150x3438

新設直管L-2 S=1/50



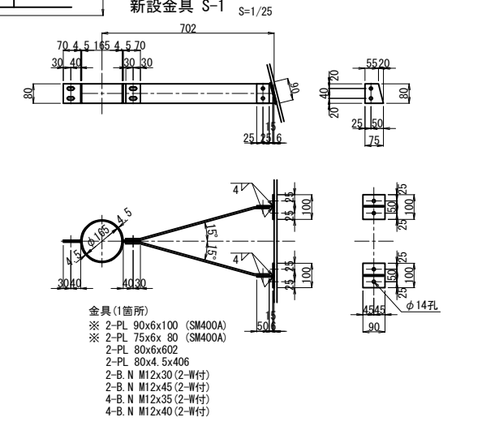
1-VP 150Ax3000

新設直管L-3 S=1/50



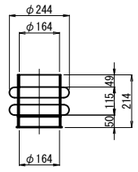
1-VP 150Ax1415

新設金具 S-1 S=1/25

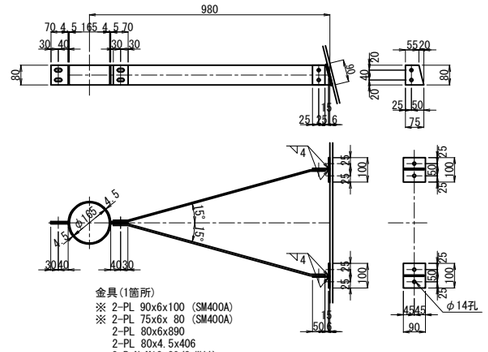


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x602
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x890
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

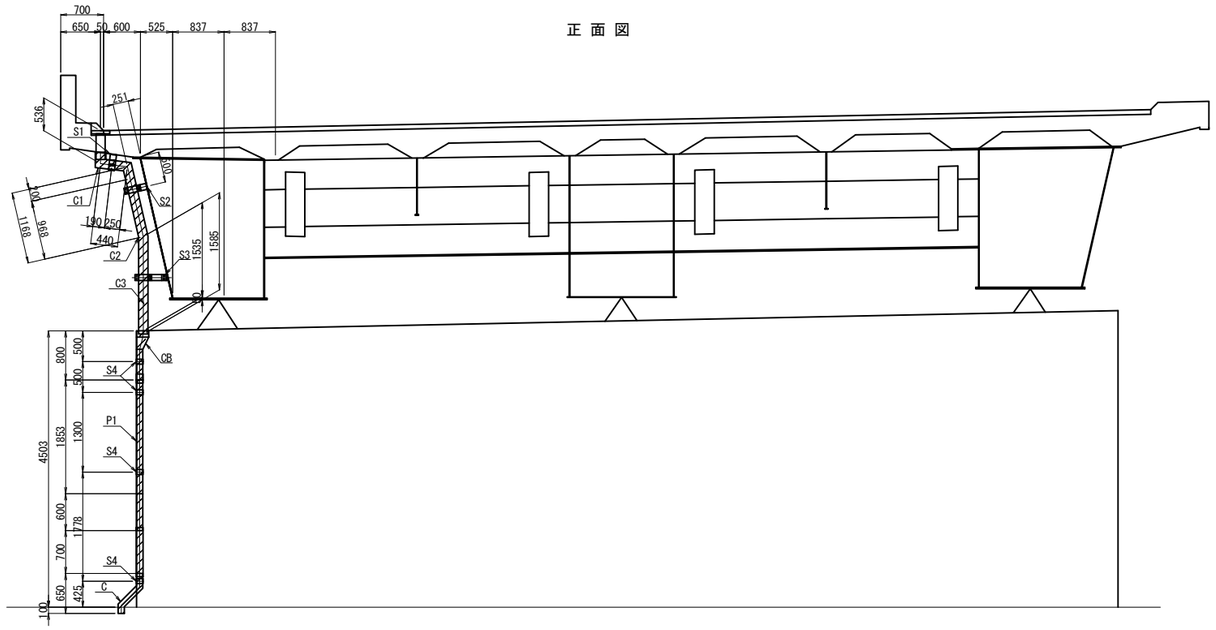
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P51橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	114 ／236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

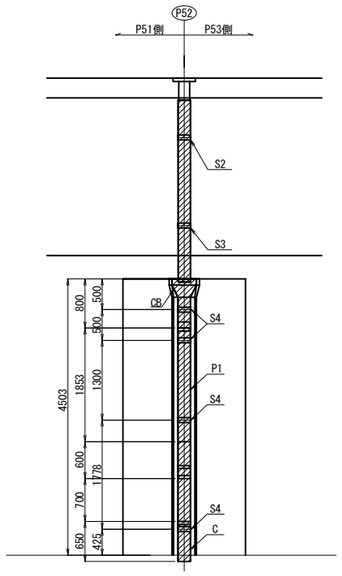
袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去工　排水管B

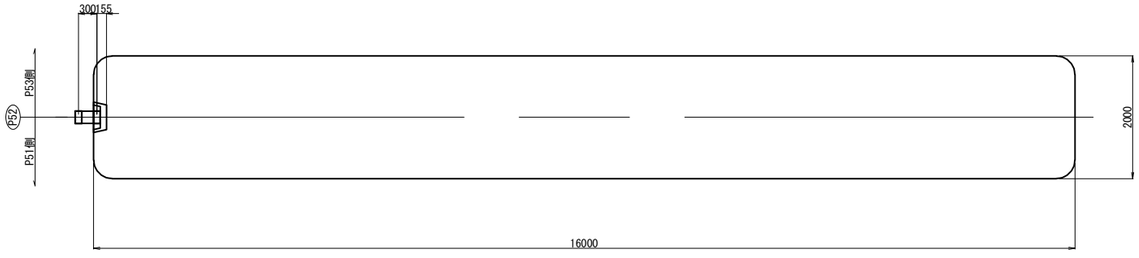
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
受　　桝	CB	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S4	個	4
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	8.056
撤去重量		kg	225

凡例

▨ ：撤去

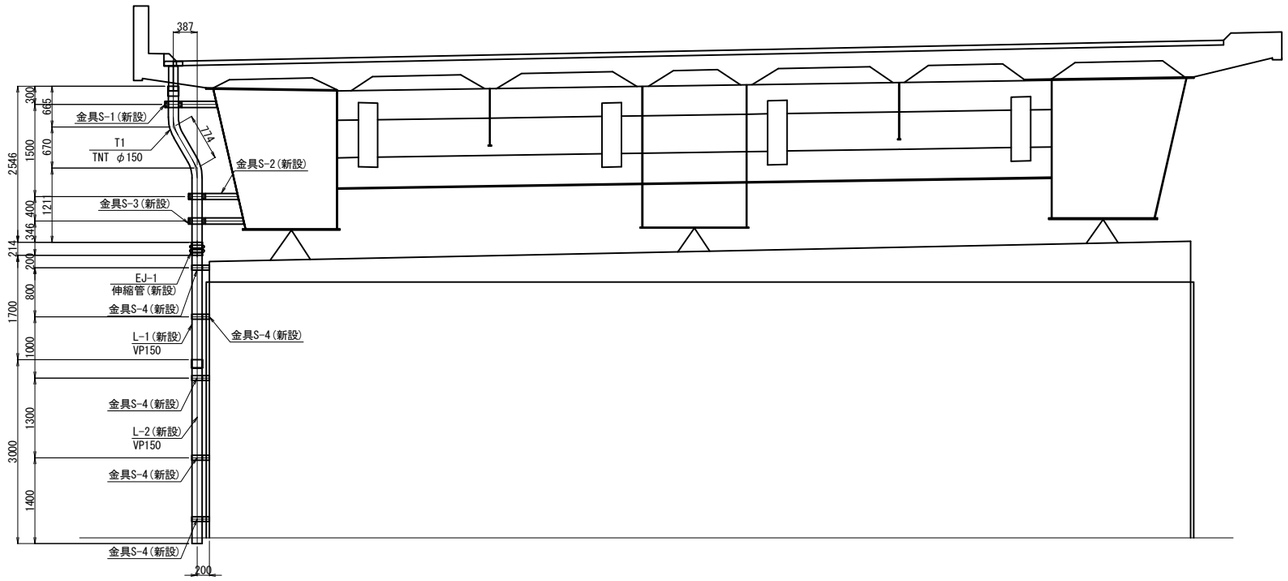
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P52橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:100	図面番号	115 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

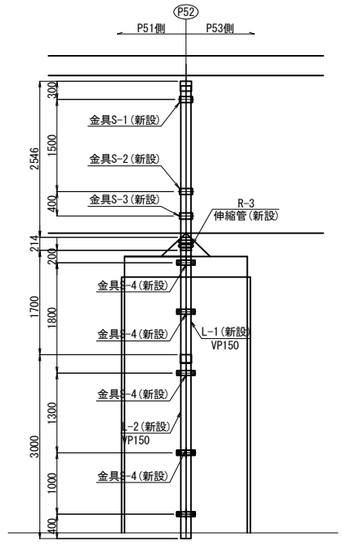
袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

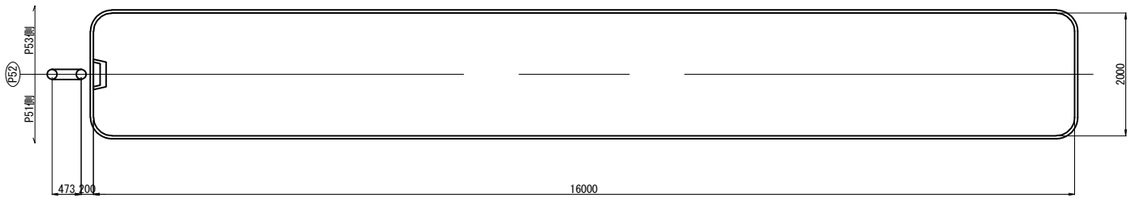
正 面 図



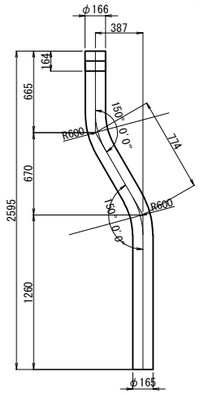
側 面 図



平 面 図

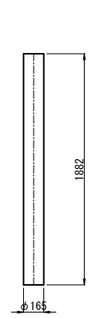


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



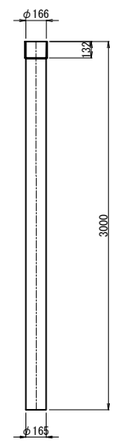
1-TNT φ150x3059

新設直管L-1 S=1/50



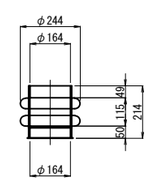
1-VP 150Ax1882

新設直管L-2 S=1/50

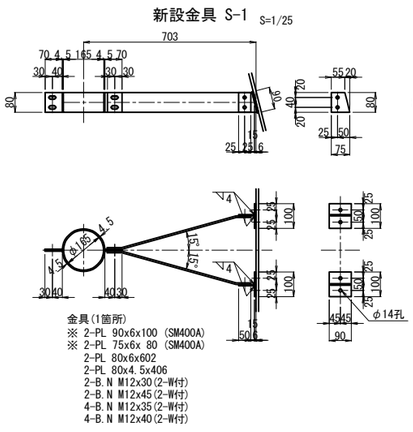


1-VP 150Ax3000

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

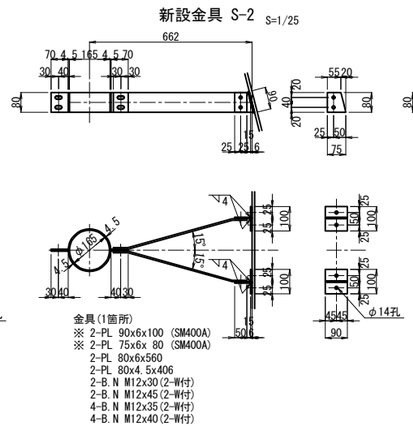


新設金具 S-1 S=1/25



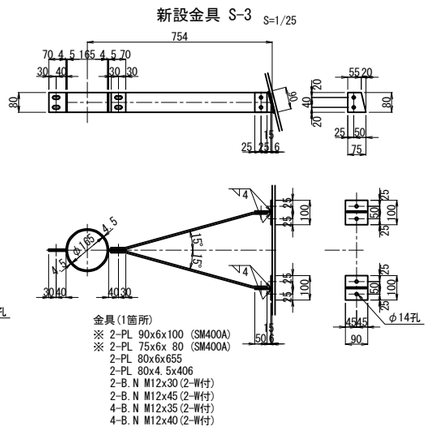
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x602
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



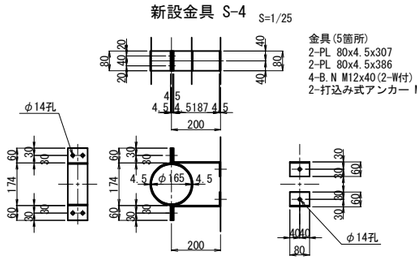
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x560
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x655
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

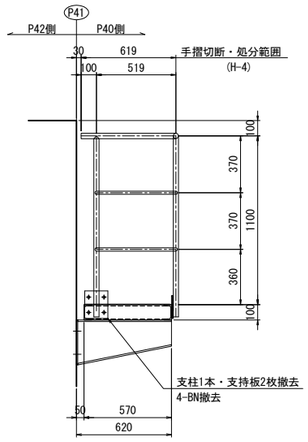
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P52橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	116 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

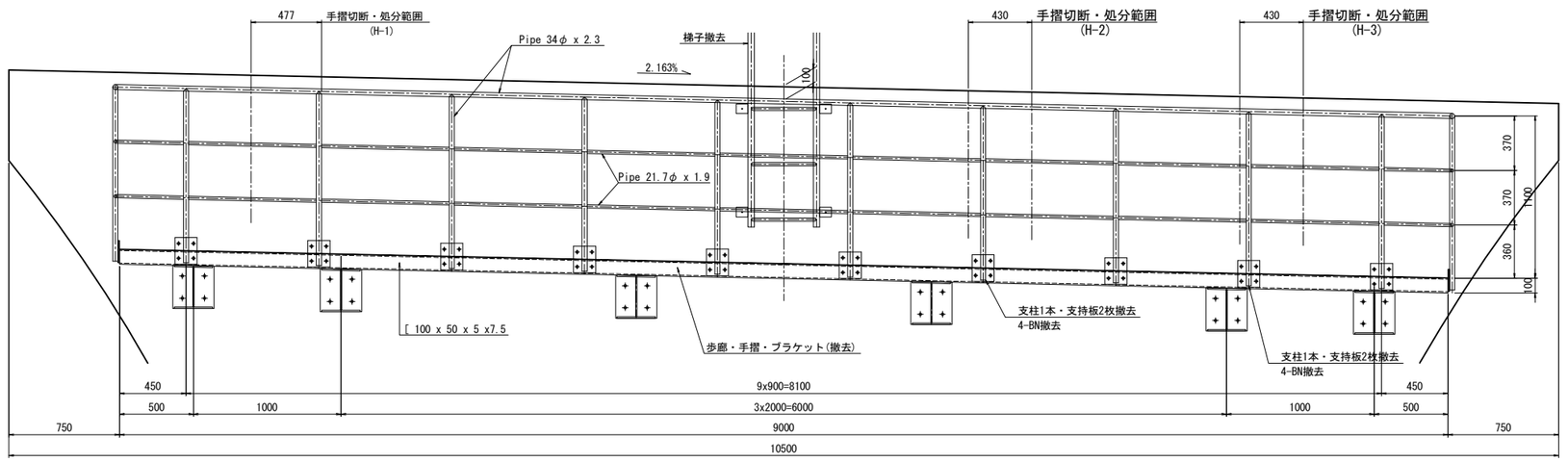
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

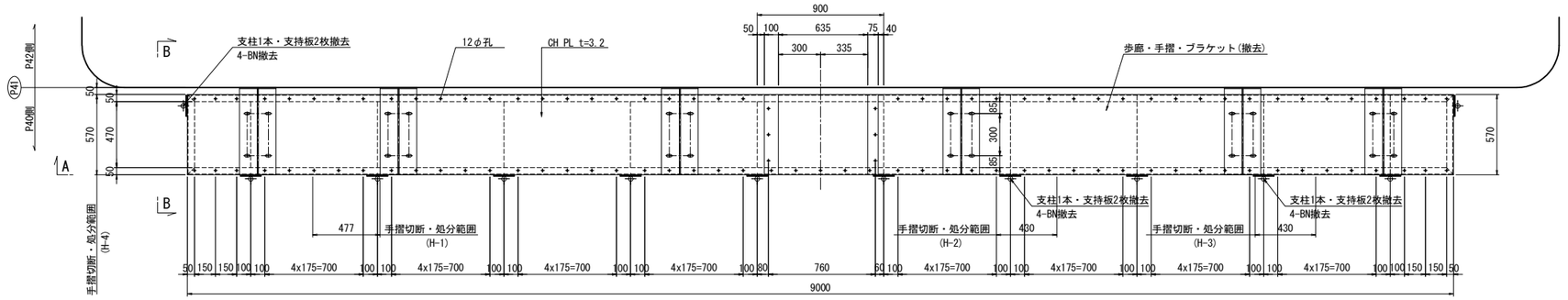
撤去工　検査路B

B － B

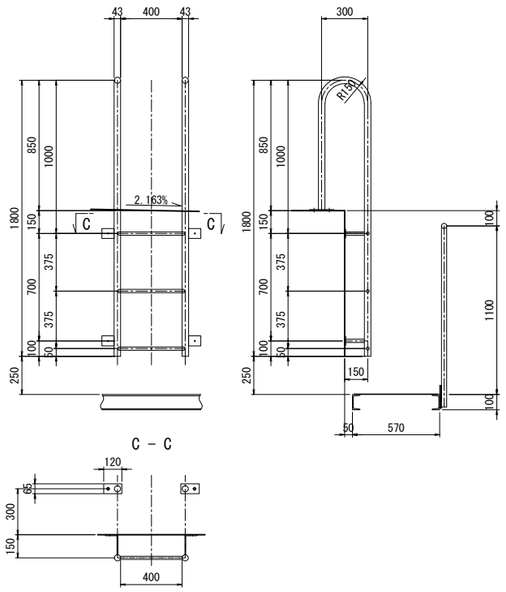


A － A

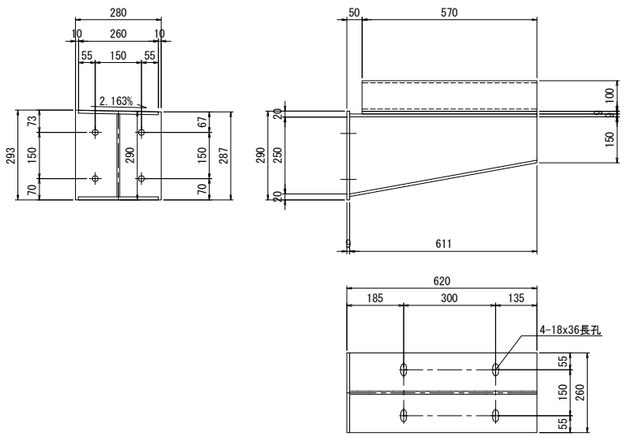




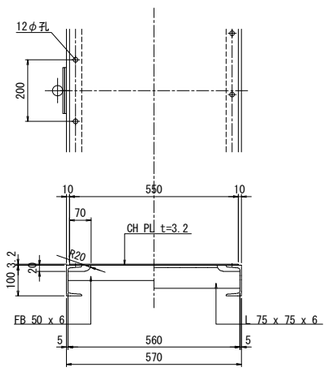
梯子詳細図



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



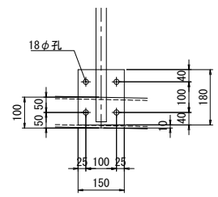
撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 477　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 477　(STK400)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 87　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 317　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45　(2-W付)



既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 47　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 357　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

既設手摺

H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 619　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 519　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

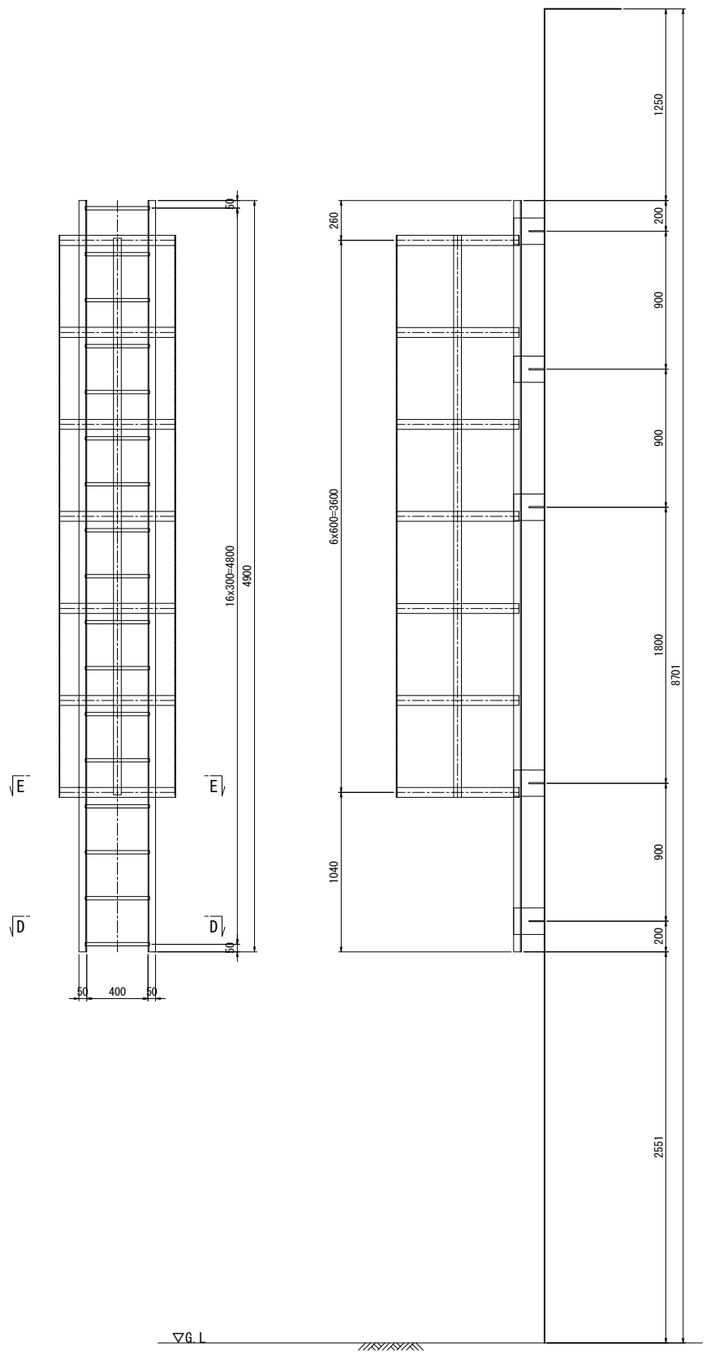
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	117 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

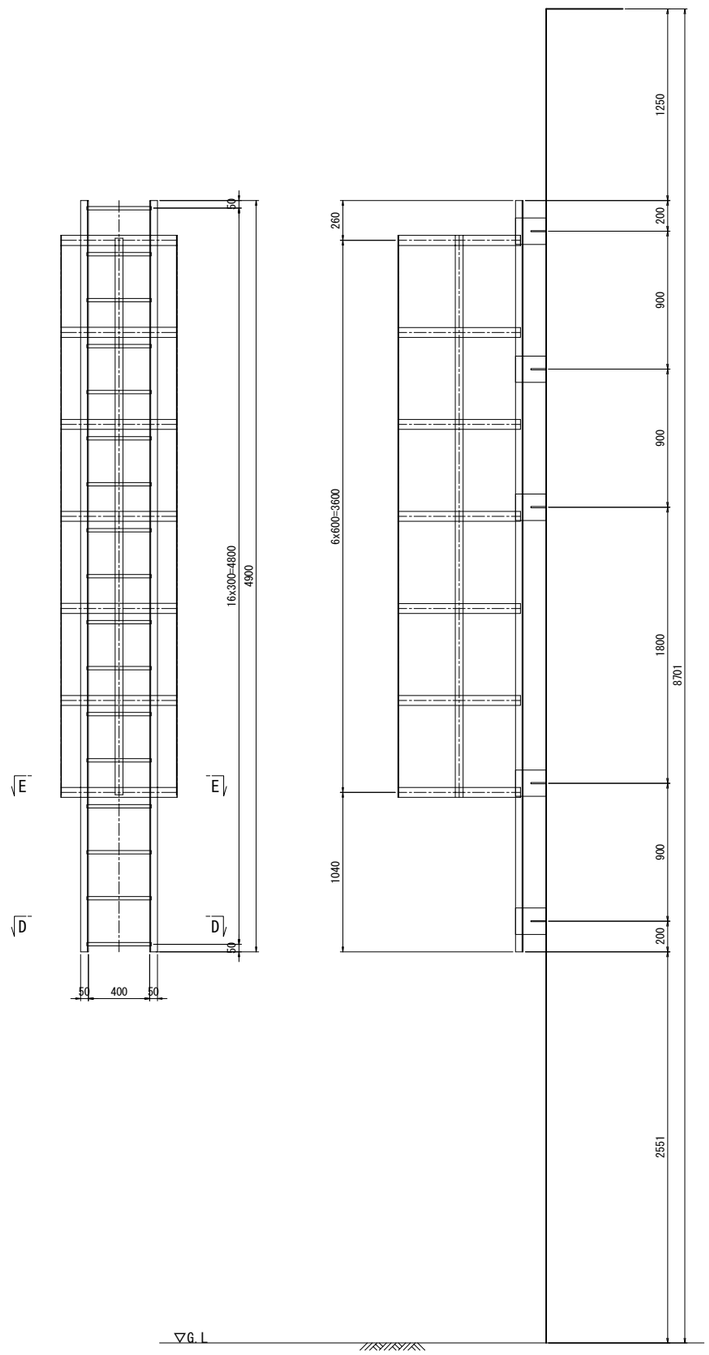
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

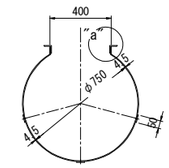
昇降設備　撤去



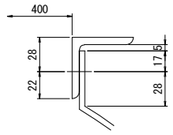
昇降設備　設置



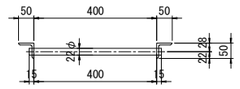
E － E



"a"部詳細図　S=1/5



D － D　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 4900
17 － RB 22φ x 430
3 － FB 50 x 4.5 x 3650
7 － FB 50 x 4.5 x 2020
35 － BN M16 x 45(2-W付)
5 － PL 200 x 8 x 400
10 － PL 100 x 8 x 100
10 － PL 200 x 8 x 172

設置工　検査路B

新規材料

20 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

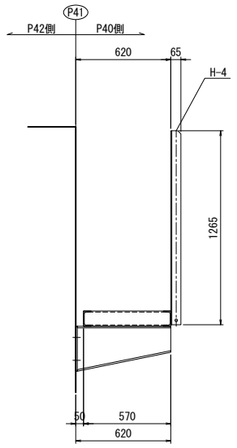
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	118 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

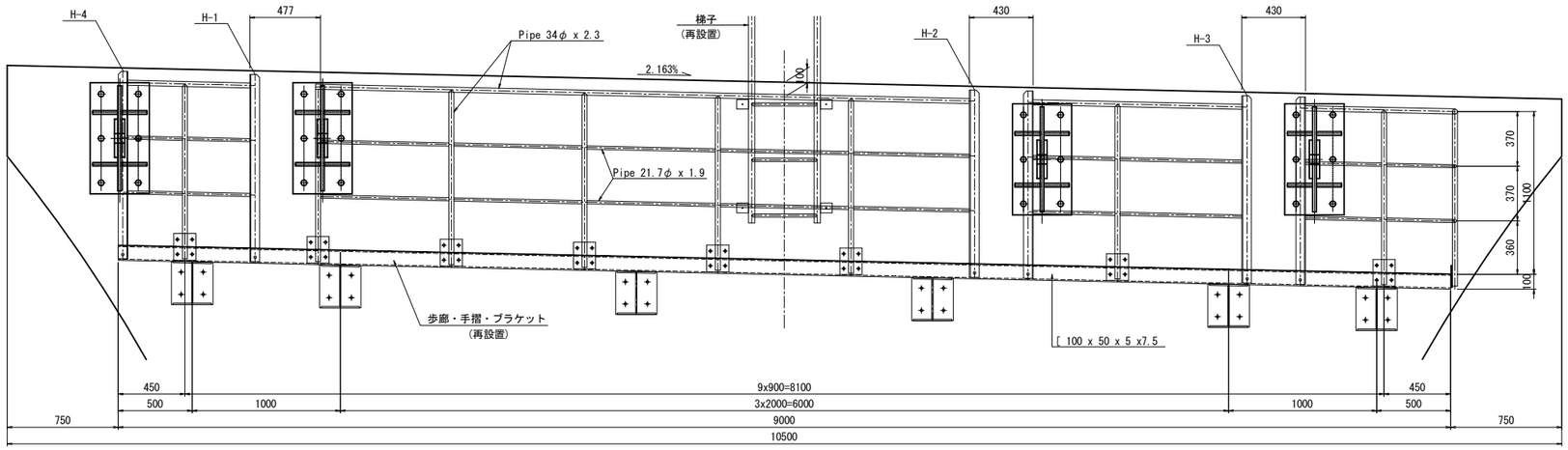
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/40

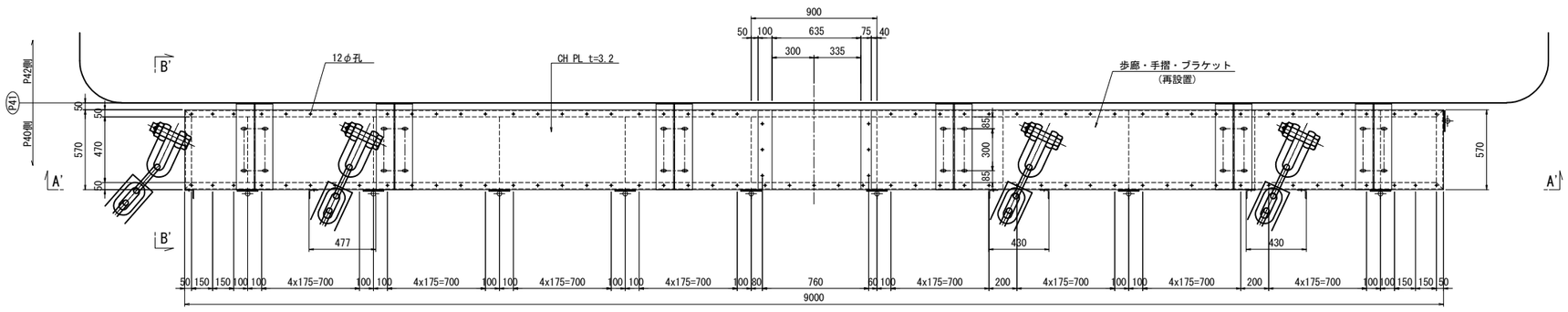
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

- 1 - Pipe 34φ x 2.3 x 825 (STK400)
- 1 - Pipe 34φ x 2.3 x 4418 (STK400)
- 1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1410 (STK400)
- 1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1026 (STK400)
- 9 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
- 1 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
- 10 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 460 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 372 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 427 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 787 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 557 (STK400)
- 2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
- 18 - PL 150 x 6 x 183
- 36 - BN M16 x 45 (2-W付)
- 1 - L 100 x 100 x 7 x 560
- 2 - CH PL 550 x 3.2 x 4140
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
- 3 - L 75 x 75 x 6 x 560
- 10 - FB x 50 x 6 x 560
- 98 - BN M10 x 30
  (1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

梯子再利用材料 (n=1)

- 2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
- 2 - FB 65 x 6x 120
- 4 - FB 50 x 6x 206
- 3 - RB 22φ x 400

ブラケット再利用材料 (n=6)

- 1 - PL 280 x 9 x 293
- 1 - PL 260 x 9 x 611
- 1 - PL 250 x 9 x 611
- 1 - PL 260 x 9 x 619
- 1 - PL 240 x 9 x 550
- 4 - BN M16 x 45 (2-W付)

マンホール再利用材料 (n=1)

- 1 - CH PL 450 x 3.2 x 648
- 2 - FB x 50 x 6 x 545
- 2 - FB x 50 x 6 x 238
- 2 - RB 16φ x 230
- 2 - BN M12 x 30 (1-W付)
- 1 - PL 75 x 6 x 635
- 1 - PL 45 x 6 x 125

蝶番い再利用材料 (n=1)

- 5 - Pipe 25A x 60 (SGP)
- 1 - RB 25φ x 370
- 2 - 割ピン径3.2

注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641 によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

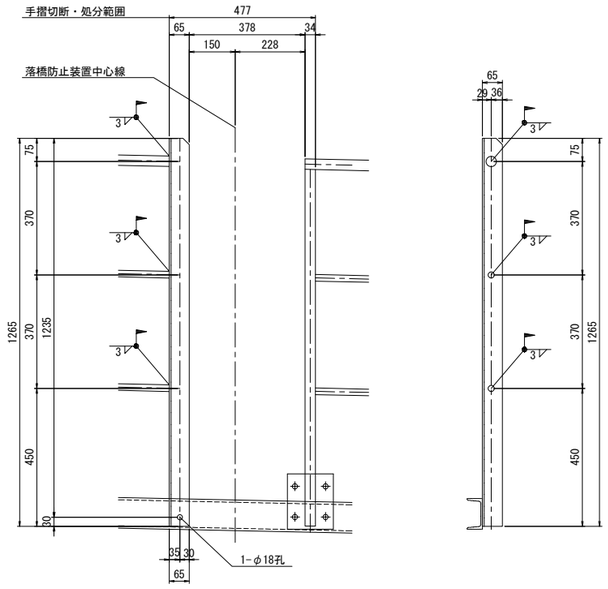
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　　尺	1:40	図面番号	119 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

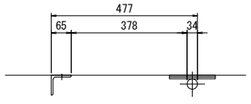
袖ヶ浦高架橋（上り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

H-1





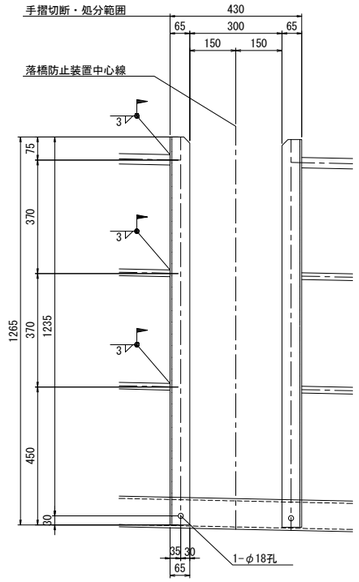
設置工　検査路B

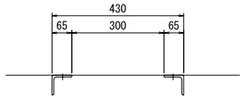
新規材料（n=1）
手摺切断部（H-1）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

H-2～H-3

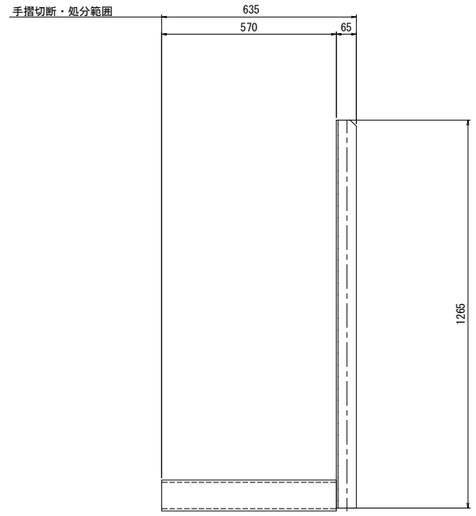


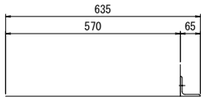


設置工　検査路B

新規材料（n=2）
手摺切断部（H-2～H-3）
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

H-4





設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-4）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

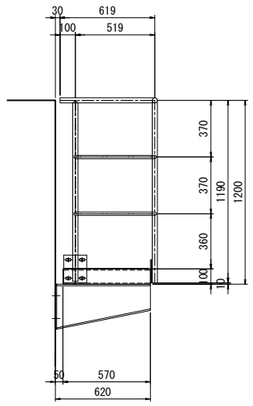
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	1:20	図面番号	120 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

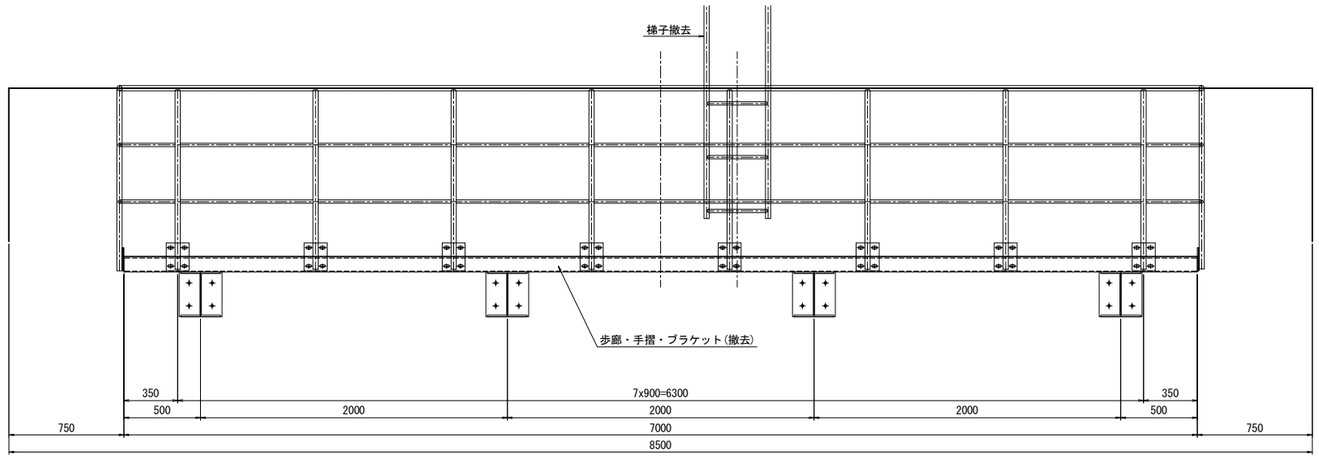
袖ヶ浦高架橋（上下線）P42-P44,P48橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

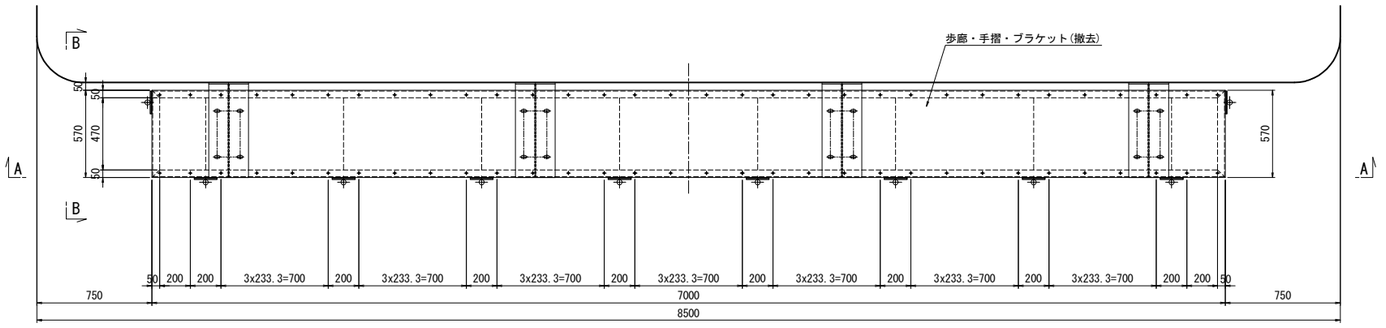
撤去工　検査路B

B － B

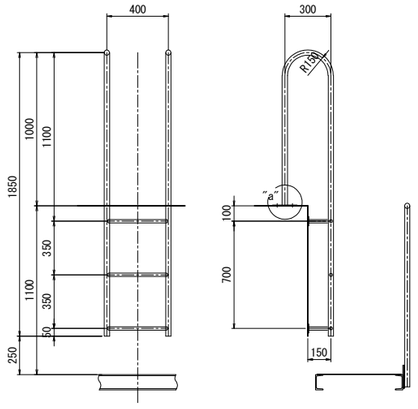


A － A

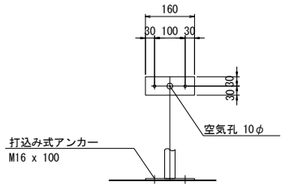




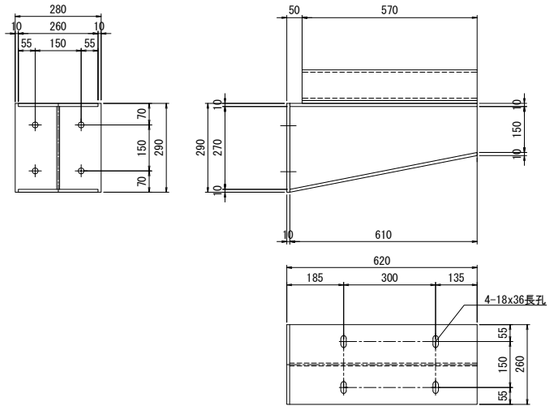
梯子詳細図



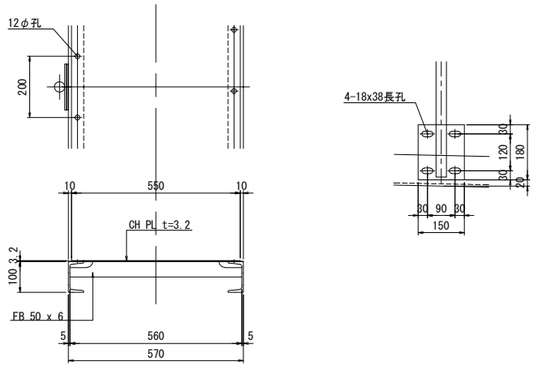
"a"部詳細図　S=1/20



ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



注記

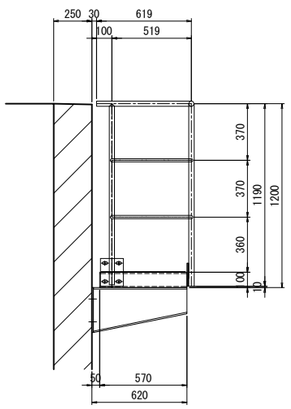
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上下線） P42-P44,P48橋脚　検査路撤去・設置計画図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	121 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

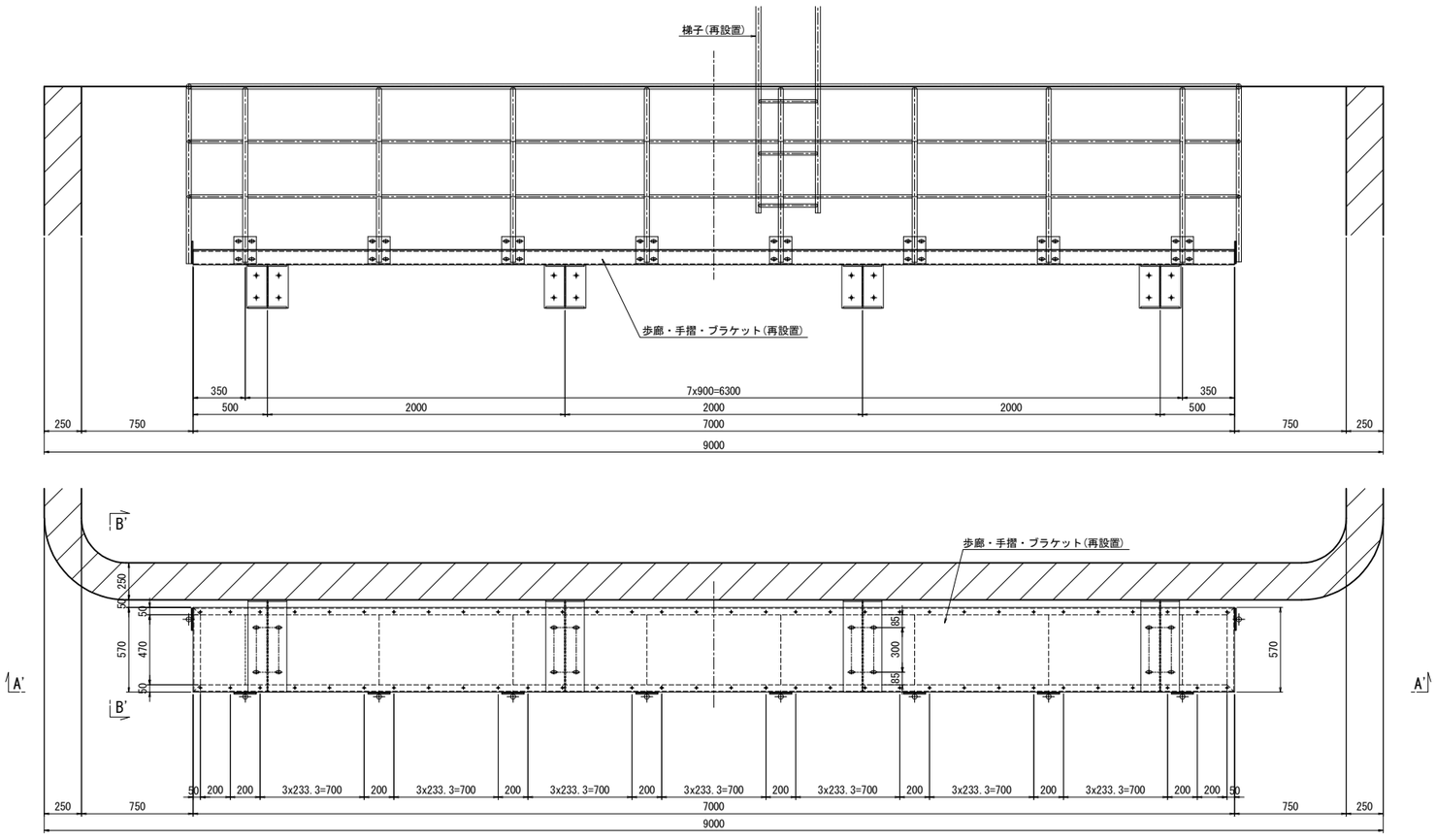
袖ヶ浦高架橋（上下線）P42-P44,P48橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 7092 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)
14 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 377 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
20 - PL 150 x 6 x 180
40 - BN M16 x 35 (W付き)
1 - F.L PL 550 x 3.2 x 6950
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - FB x 50 x 6 x 560
4 - PL 100 x 9 x 560
4 - PL 260 x 10 x 550
64 - BN M10 x 30

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - U.FLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - L.FLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50 (2-W付)
1 - PL 280 x 10 x 270

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe 34φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB 22φ x 400
6 - PL 60 x 6 x 160

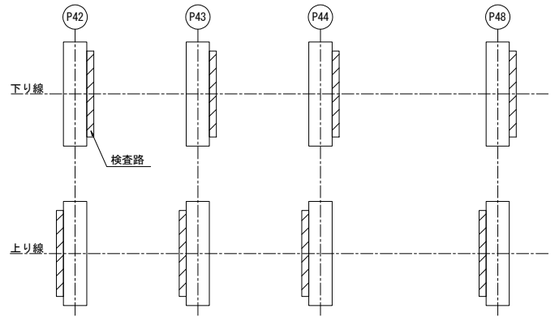
設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100

配置図 S=N:S



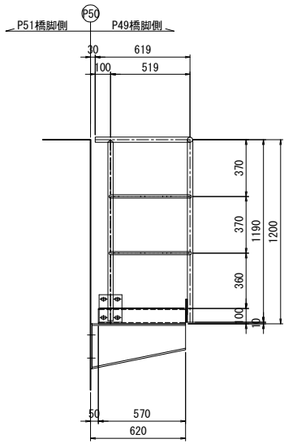
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上下線） P42-P44,P48橋脚　検査路撤去・設置計画図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	122 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

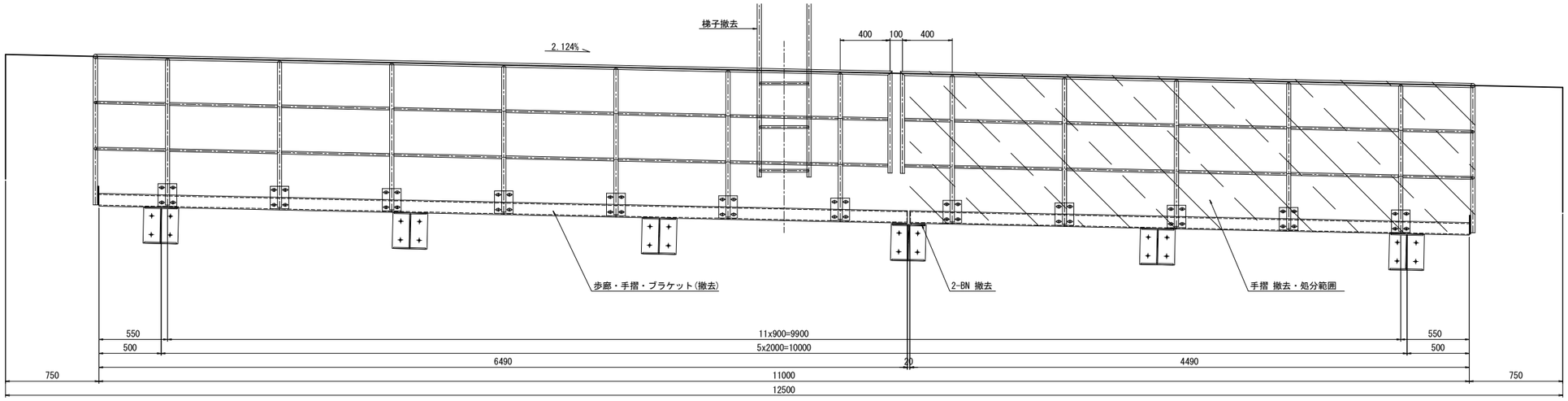
袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

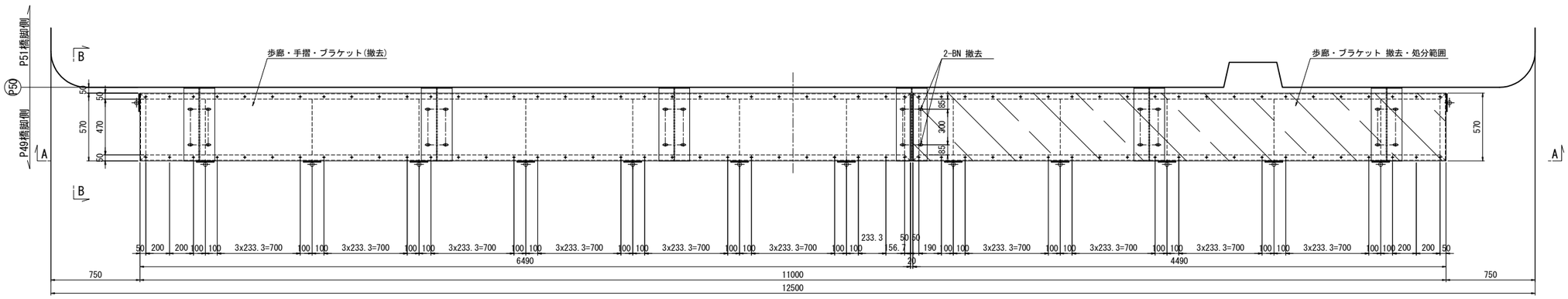
撤去工　検査路B

B － B

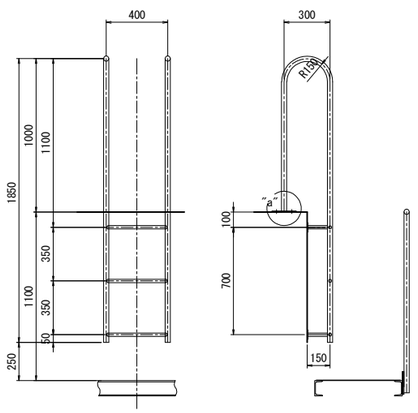


A － A

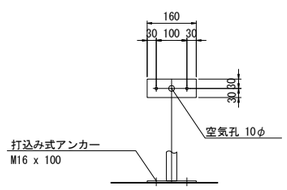




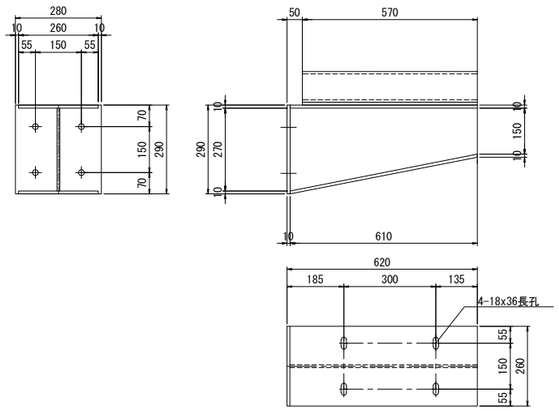
梯子詳細図



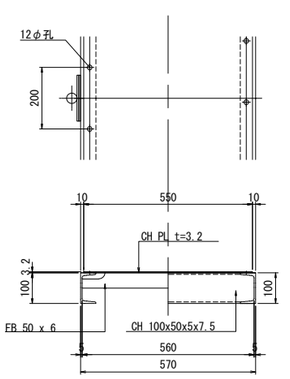
"a"部詳細図　S=1/20

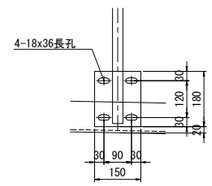


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





注記

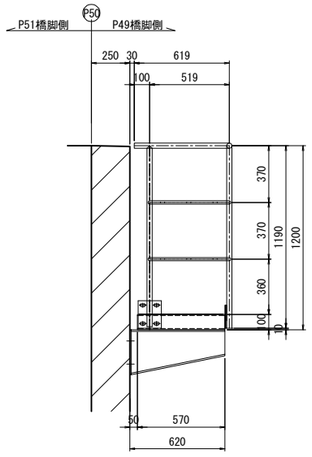
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	123 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

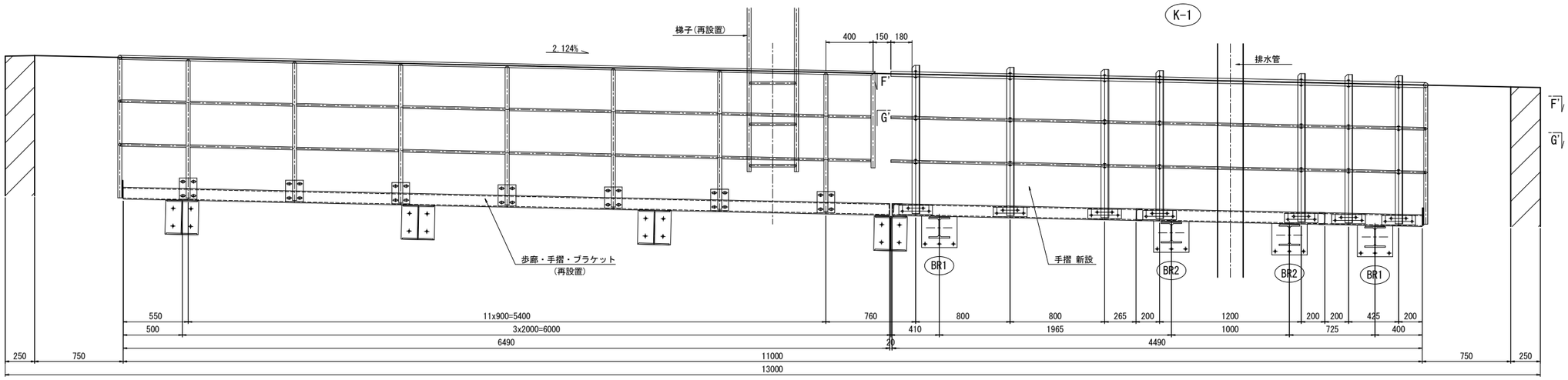
袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

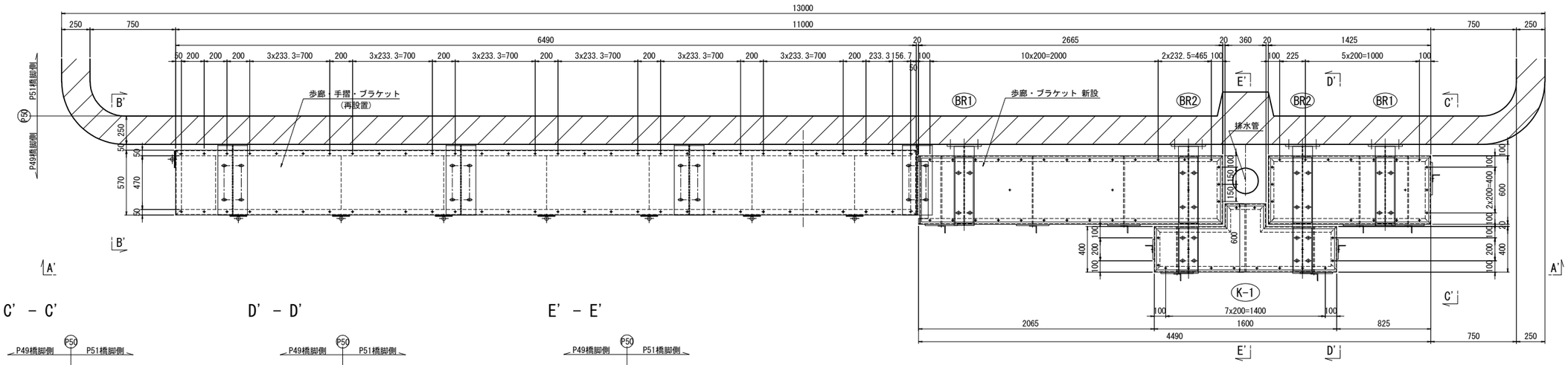
設置工　検査路B

B' - B'

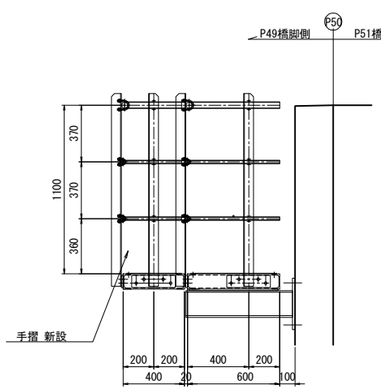


A' - A'

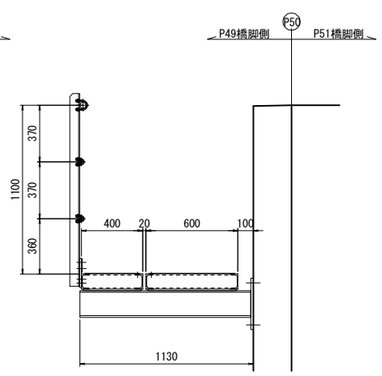




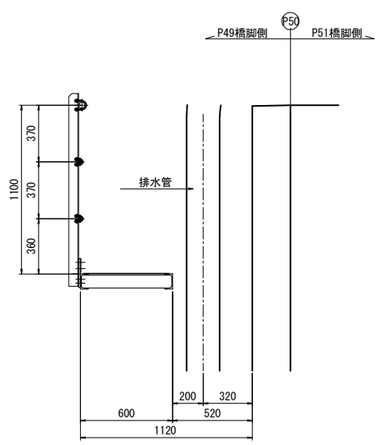
C' - C'



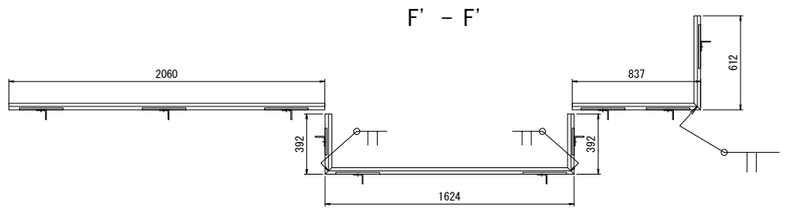
D' - D'



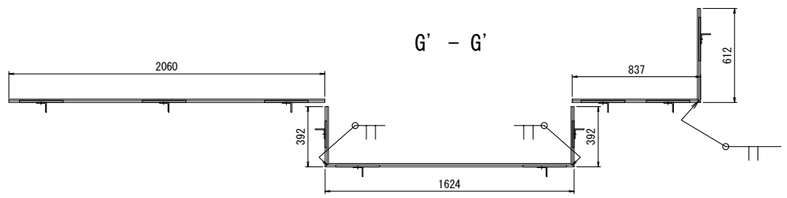
E' - E'



F' - F'



G' - G'



注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

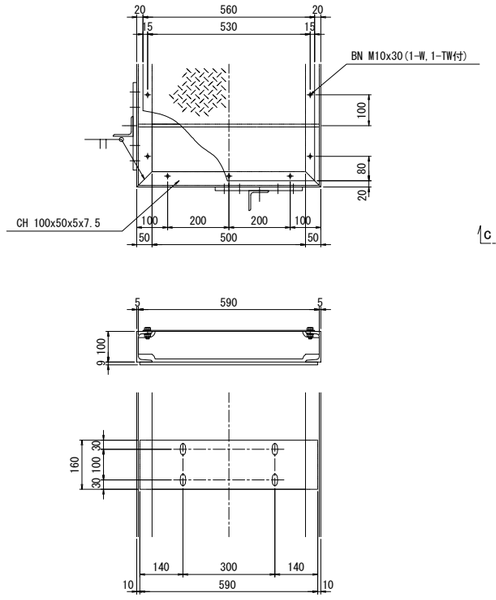
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	124 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/20

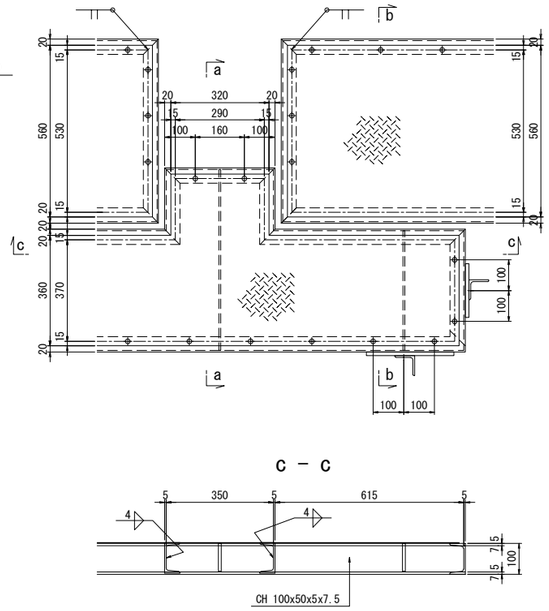
設置工　検査路B

新設歩廊詳細

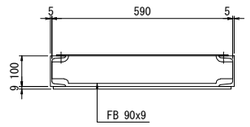
端部



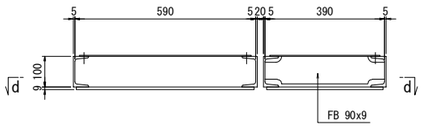
拡幅部



a － a

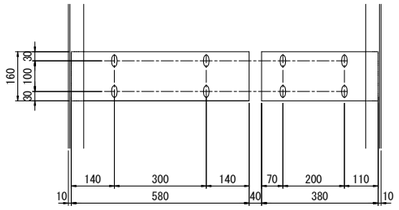


b － b

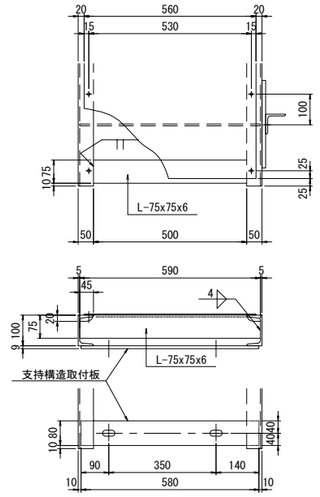


c － c

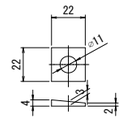
d － d



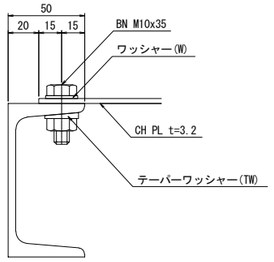
掛け違い部



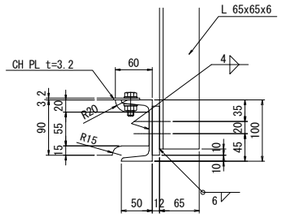
新設テーパー座金詳細　S=1/4



"a"部詳細図　S=1/4



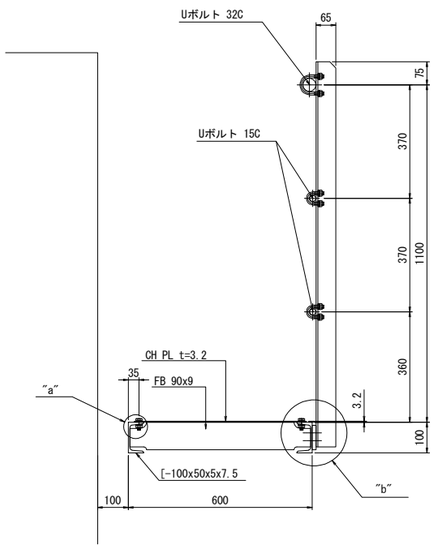
"b"部詳細図　S=1/10



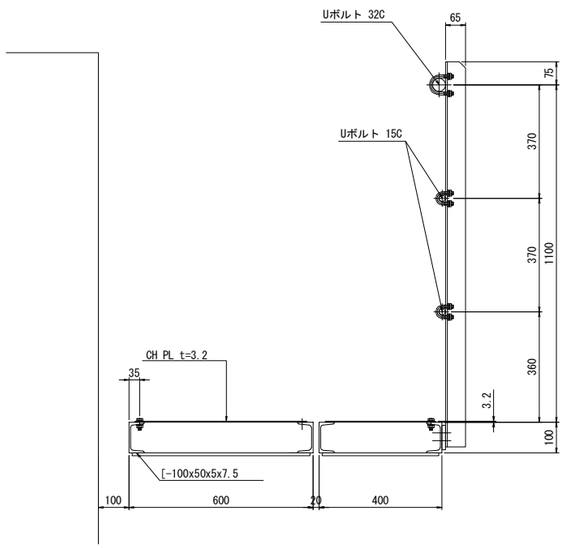
新設歩廊断面及び構造詳細図

（主桁部材 [-100x50x5x7.5）

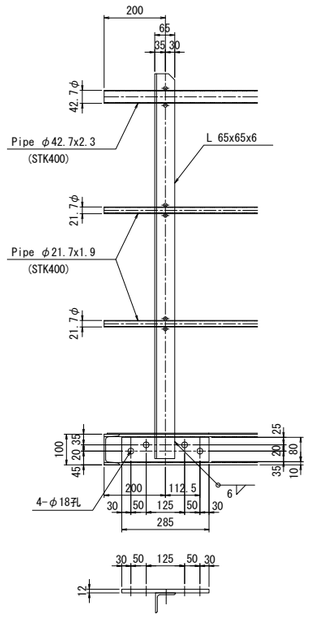
一般部



拡幅部

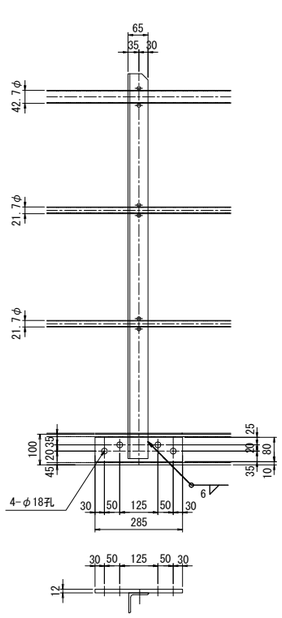


端部



1 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

中間部



1 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

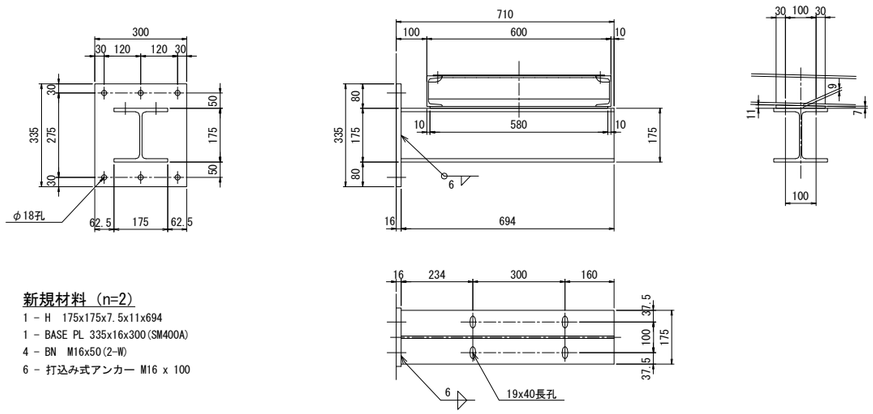
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	図示	図面番号	125 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（上り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

撤去・設置工　検査路B

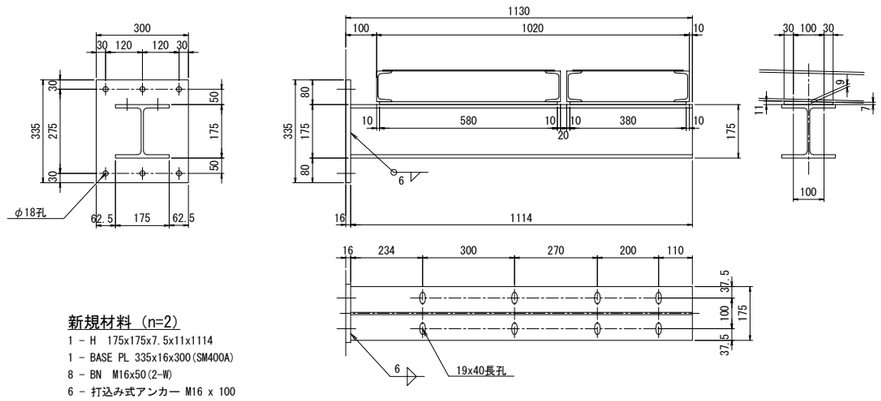
新設ブラケット詳細図

BR1



新規材料 (n=2)
1 - H　175x175x7.5x11x694
1 - BASE PL 335x16x300(SM400A)
4 - BN　M16x50(2-W)
6 - 打込み式アンカー M16 x 100

BR2



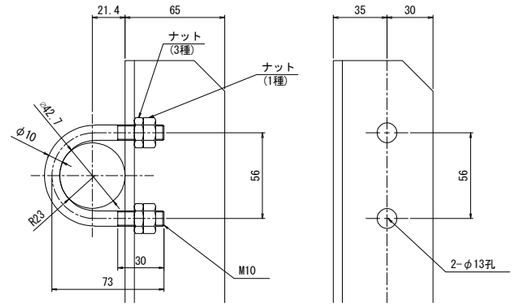
新規材料 (n=2)
1 - H　175x175x7.5x11x1114
1 - BASE PL 335x16x300(SM400A)
8 - BN　M16x50(2-W)
6 - 打込み式アンカー M16 x 100

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー M16 x 100

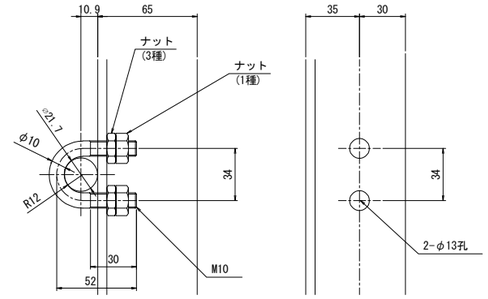
梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー M16 x 100

新設Uボルト詳細　S=1/4

U.BOLT 呼び32C



U.BOLT 呼び15C



撤去・設置工　検査路B

再利用材料
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 6413 (STK400)
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 636 (STK400)
8 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1190 (STK400)
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 807 (STK400)
12 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 874 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 577 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 517 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 374 (STK400)
16 - PL 150 x 6 x 180
32 - BN M16 x 35
2 - CH PL 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6490
2 - CH PL 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
1 - CP 550 x 3.2 x 6475
7 - FB 50 x 6 x 560
3 - PL 100 x 9 x 560
3 - PL 260 x 10 x 550
60 - BN M10 x 30
2 - PL 110 x 10 x 550
2 - BN M16 x 50 (2-W付)

ブラケット再利用材料 (n=4)
1 - UFLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - LFLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB 22φ x 400 (SR235)
6 - PL 60 x 6x 160

撤去工　検査路B

既設手摺
撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 4613 (STK400)
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 636 (STK400)
6 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1190 (STK400)
8 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 874 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 577 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 517 (STK400)
12 - PL 150 x 6 x 180
24 - BN M16 x 35
1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 807 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 374 (STK400)

既設歩廊
撤去・処分範囲(n=1)
2 - CH PL 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4490
2 - CH PL 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
1 - CP 550 x 3.2 x 4475
5 - FB 50 x 6 x 560
3 - PL 100 x 9 x 560
2 - PL 260 x 10 x 550
40 - BN M10 x 30

既設ブラケット
撤去・処分範囲(n=2)
1 - UFLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - LFLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50
4 - 打込み式アンカー M16

設置工　検査路B

新規材料
K-1 手摺(n=1)
1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 2060 (STK400)
2 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 392 (STK400)
1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 1624 (STK400)
1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 837 (STK400)
1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 612 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 2060 (STK400)
4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 392 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 1624 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 837 (STK400)
2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 612 (STK400)
10 - L 65 x 65 x 6 x 1255
10 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
40 - BN M16 x 45 (2-W付)
10 - U.Bolt 呼び32C
20 - U.Bolt 呼び15C

新規材料
K-1 歩廊(n=1)
1 - Ch PL 560 x 3.2 x 2620
1 - Ch PL 560 x 3.2 x 1385
1 - Ch PL 560 x 3.2 x 1560
3 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 600
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 2665
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1425
1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1600
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 670
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 200
1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 360
6 - FB 90 x 9 x 590
2 - FB 90 x 9 x 390
1 - L 75 x 75 x 6 x 590
4 - PL 160 x 13 x 580 (SM400A)
2 - PL 160 x 13 x 420 (SM400A)
1 - PL 80 x 9 x 580 (SM400A)
57 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW付)

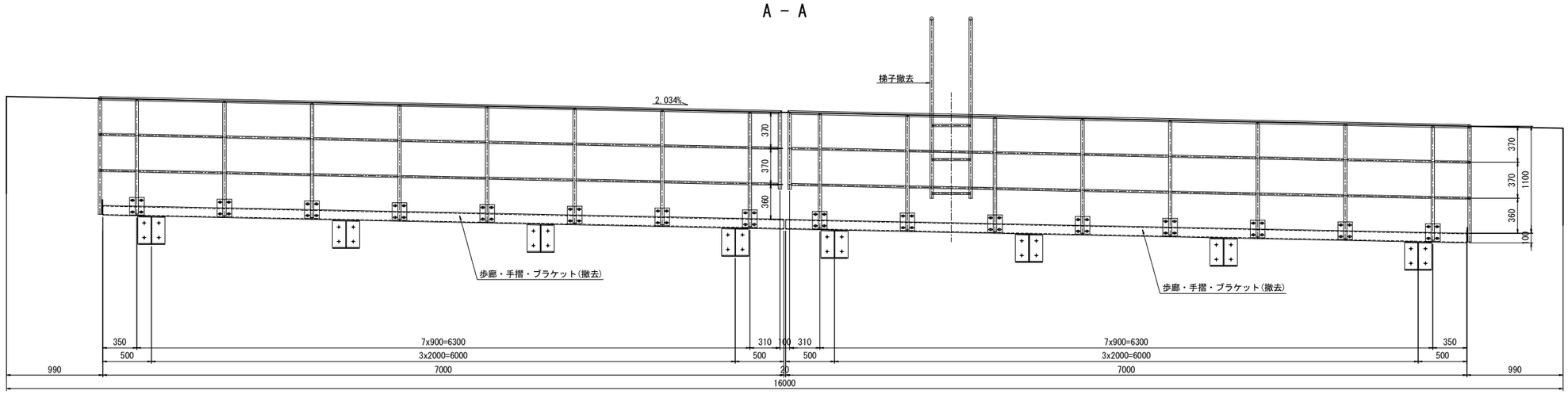
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	図示	図面番号	126 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

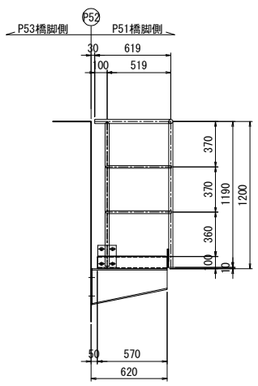
袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/50

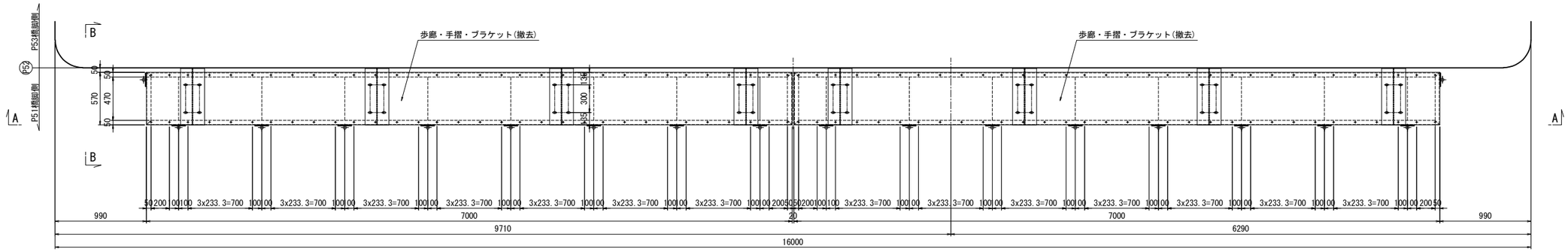
撤去工　検査路B

A － A

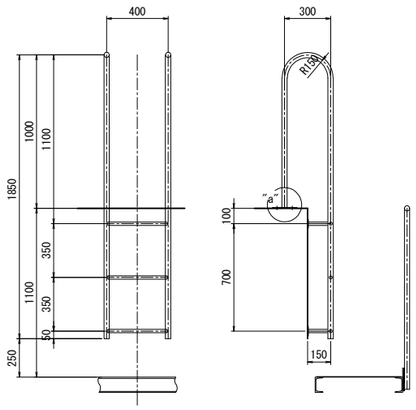


B － B

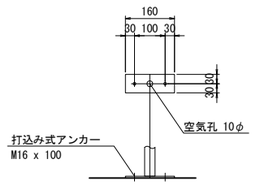




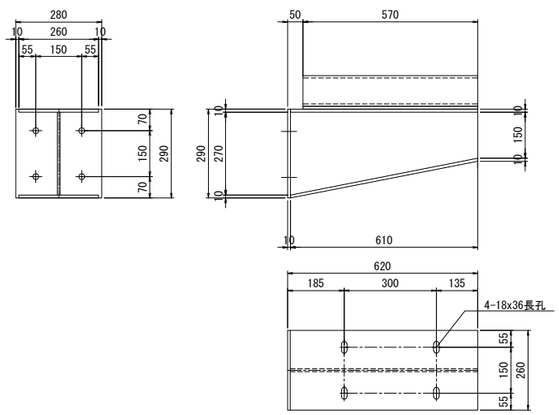
梯子詳細図 S=1/40



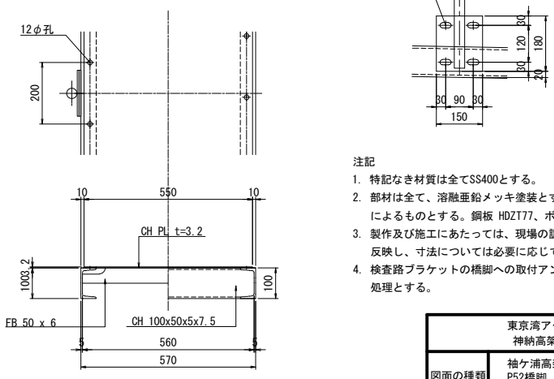
"a"部詳細図 S=1/20



ブラケット詳細図 S=1/20



歩廊詳細図 S=1/20



注記

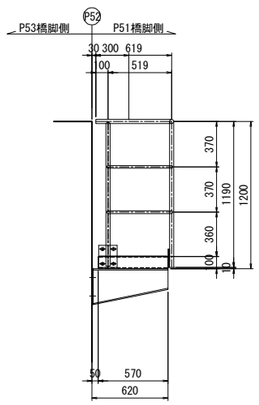
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上り線） P52橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	127 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

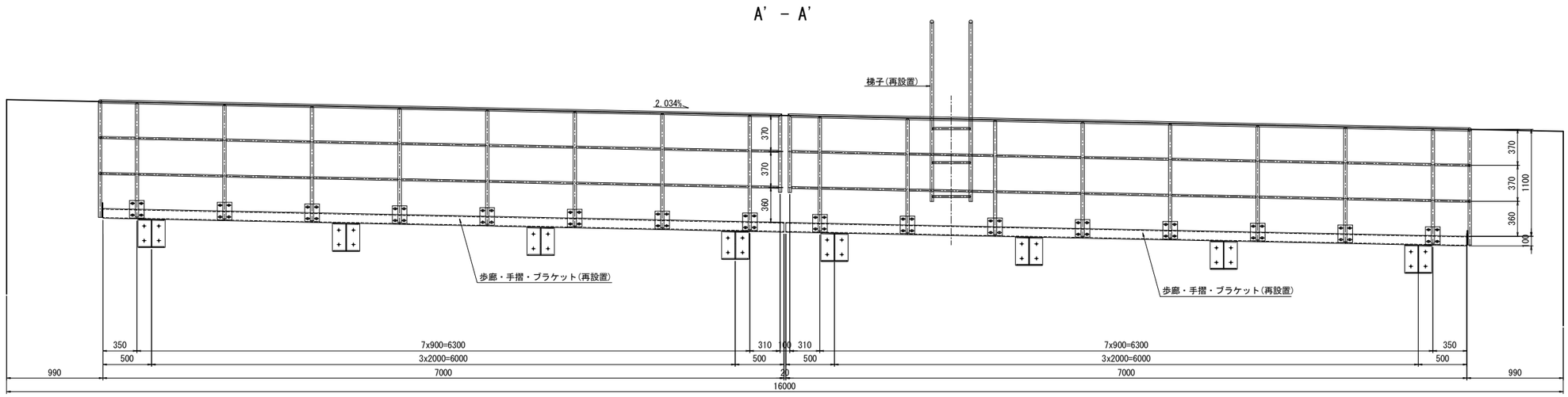
袖ヶ浦高架橋（上り線）P52橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/50

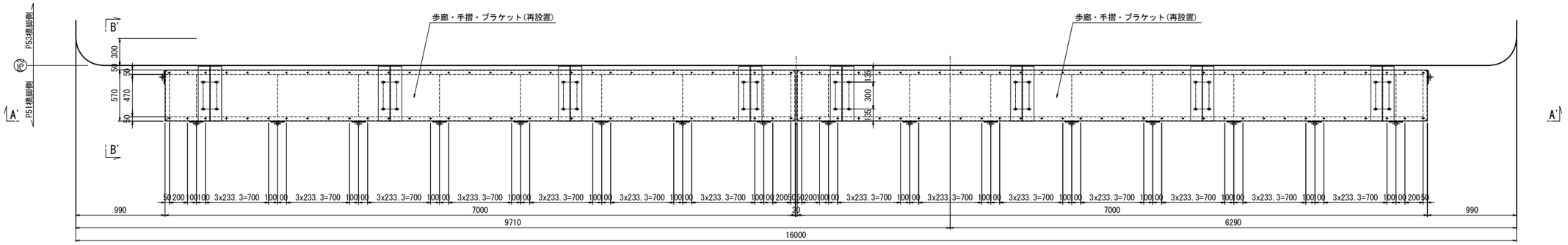
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 - Pipe 34φ x 2.3 x 7023 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
18 - Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 807 (STK400)
28 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 327 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 284 (STK400)
36 - PL 150 x 6 x 180
72 - BN M16 x 35
4 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
4 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - PL 100 x 9 x 560
8 - PL 260 x 10 x 550
2 - CP 550 x 3.2 x 6950
16 - FB x 50 x 6 x 560
144 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW付)

ブラケット再利用材料 (n=8)
1 - UFLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - LFLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB 22φ x 400 (SR235)
6 - PL 60 x 6x 160

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
32 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー M16 x 100

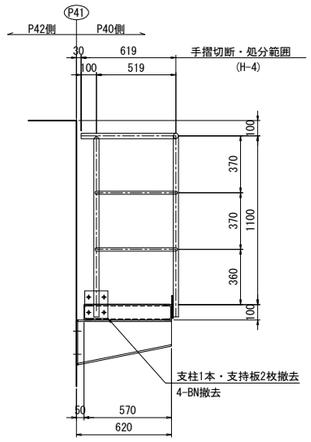
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上り線） P52橋脚 検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:50	図面番号	128 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

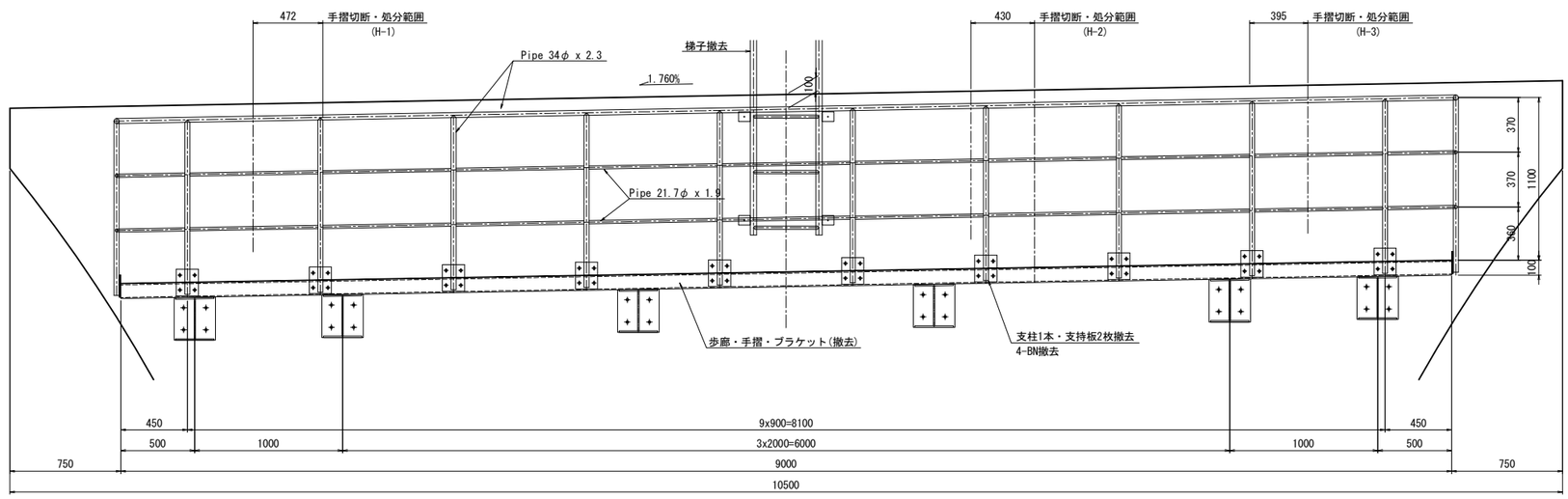
袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

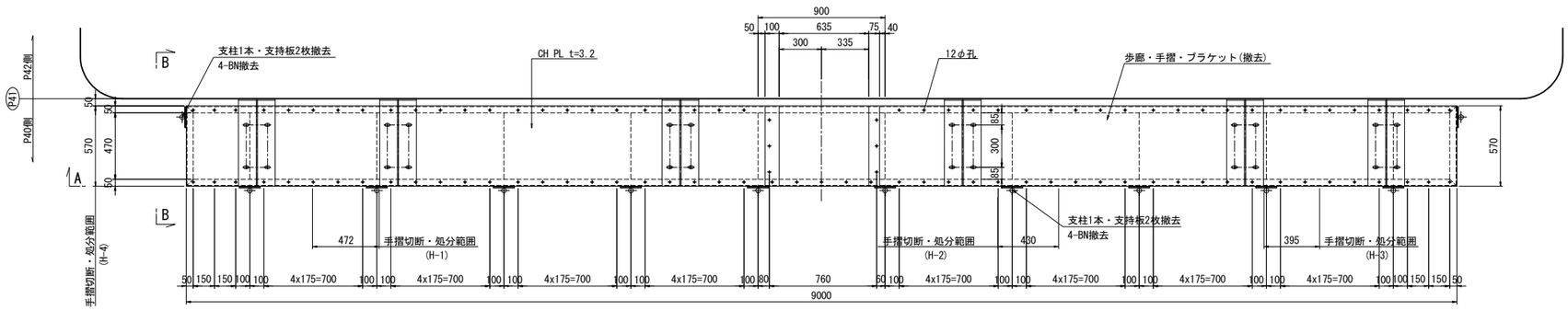
撤去工　検査路B

B － B

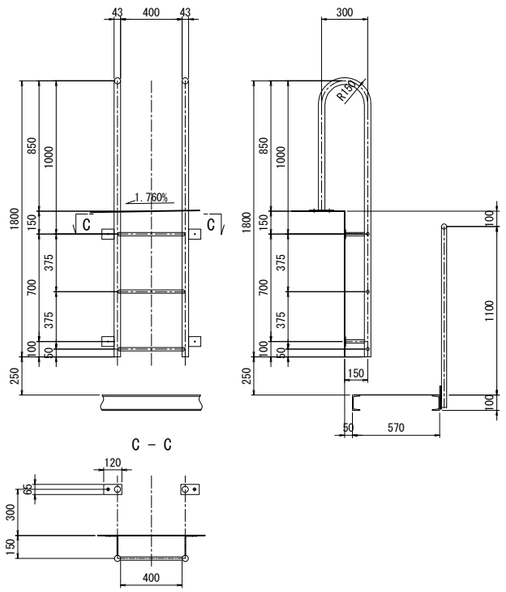


A － A

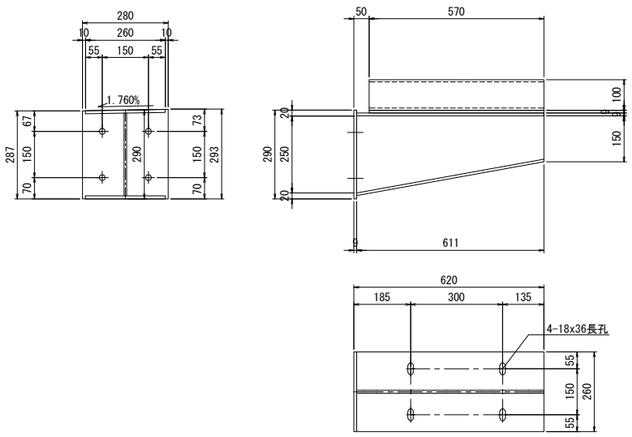




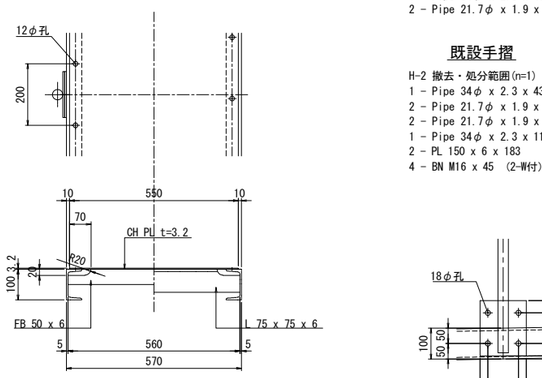
梯子詳細図

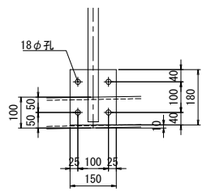


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 472　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 472　(STK400)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 88　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 316　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 395　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 395　(STK400)

既設手摺

H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 619　(STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 519　(STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180　(STK400)
2 - PL 150 x 6 x 183
4 - BN M16 x 45　(2-W付)

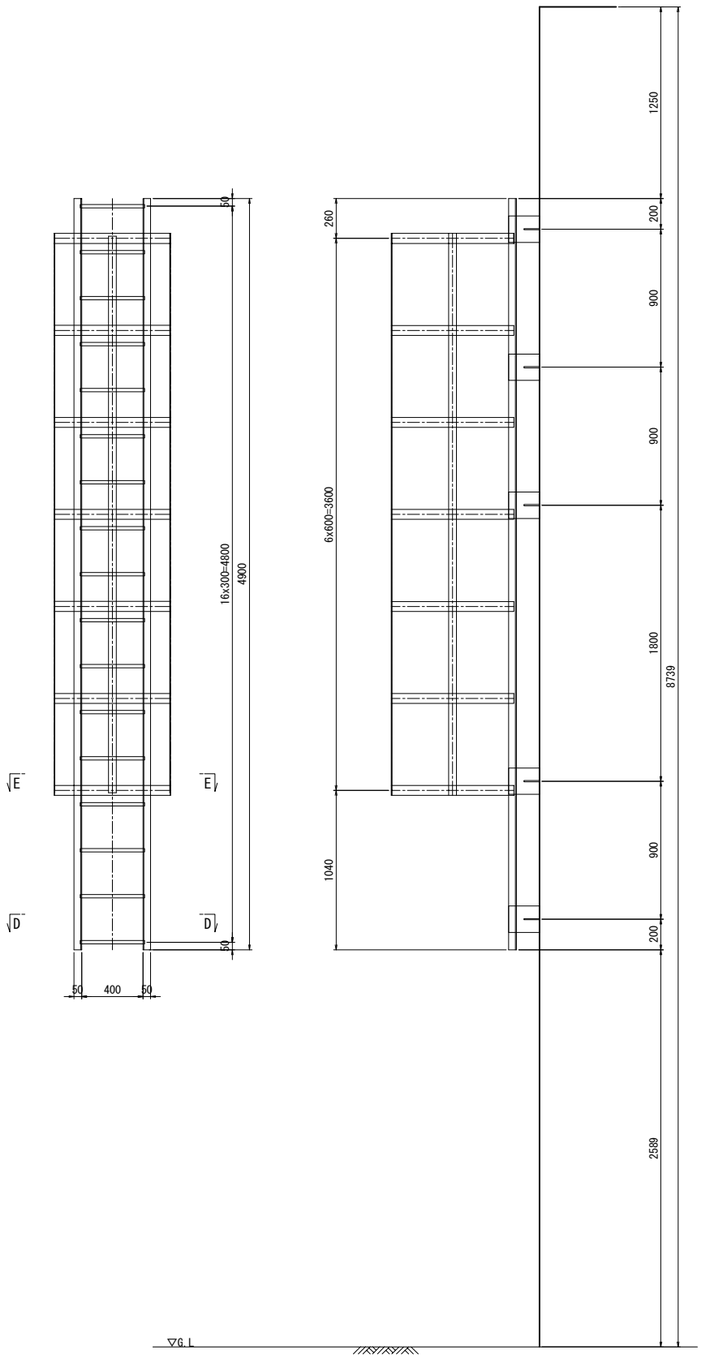
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	129 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

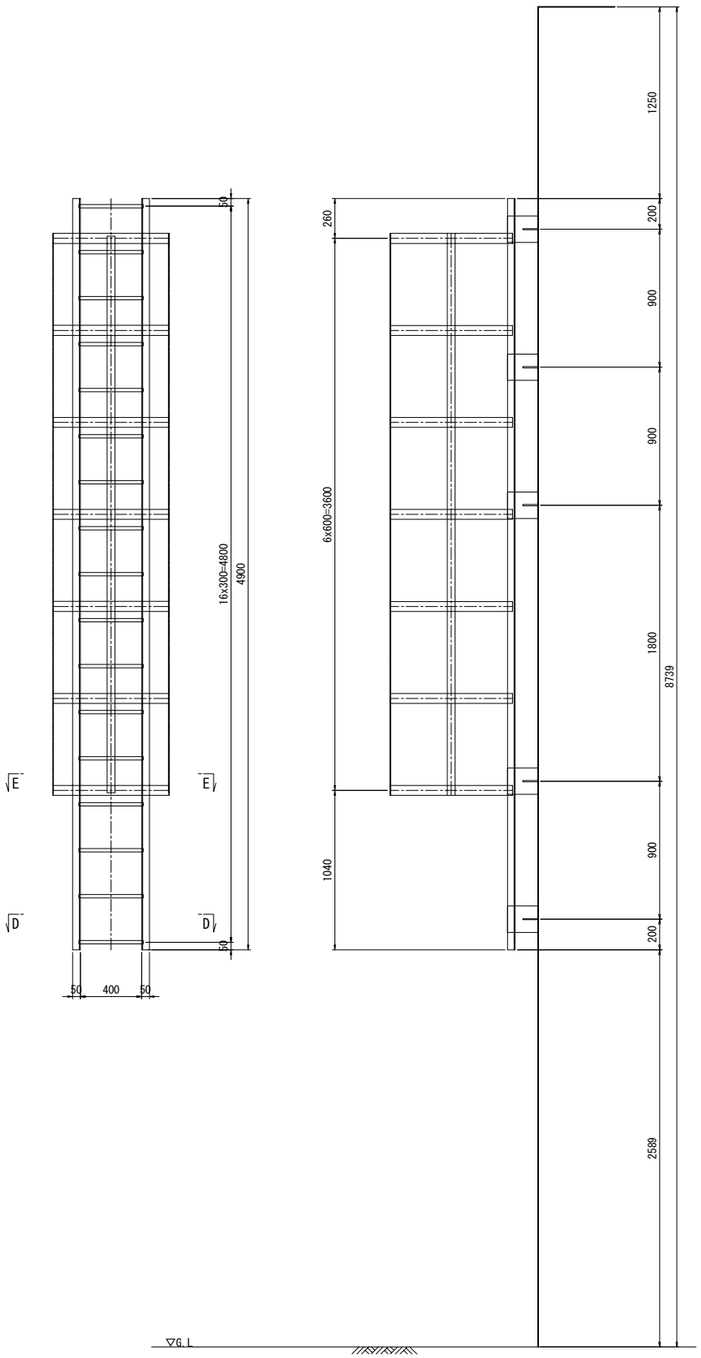
袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

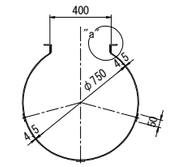
昇降設備　撤去



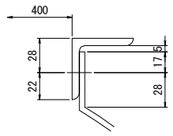
昇降設備　設置



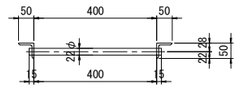
E － E



"a"部詳細図　S=1/5



D － D　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 4900
17 － RB 22φ x 430
3 － FB 50 x 4.5 x 3650
7 － FB 50 x 4.5 x 2020
35 － BN M16 x 45(2-W付)
5 － PL 200 x 8 x 400
10 － PL 100 x 8 x 100
10 － PL 200 x 8 x 172

設置工　検査路B

新規材料

20 － 打込み式アンカー　M16 x 100

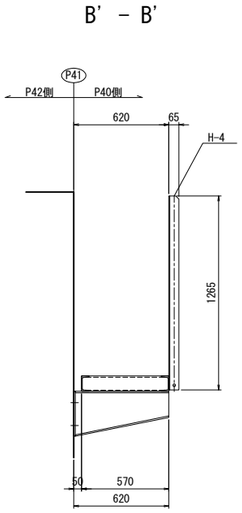
注記

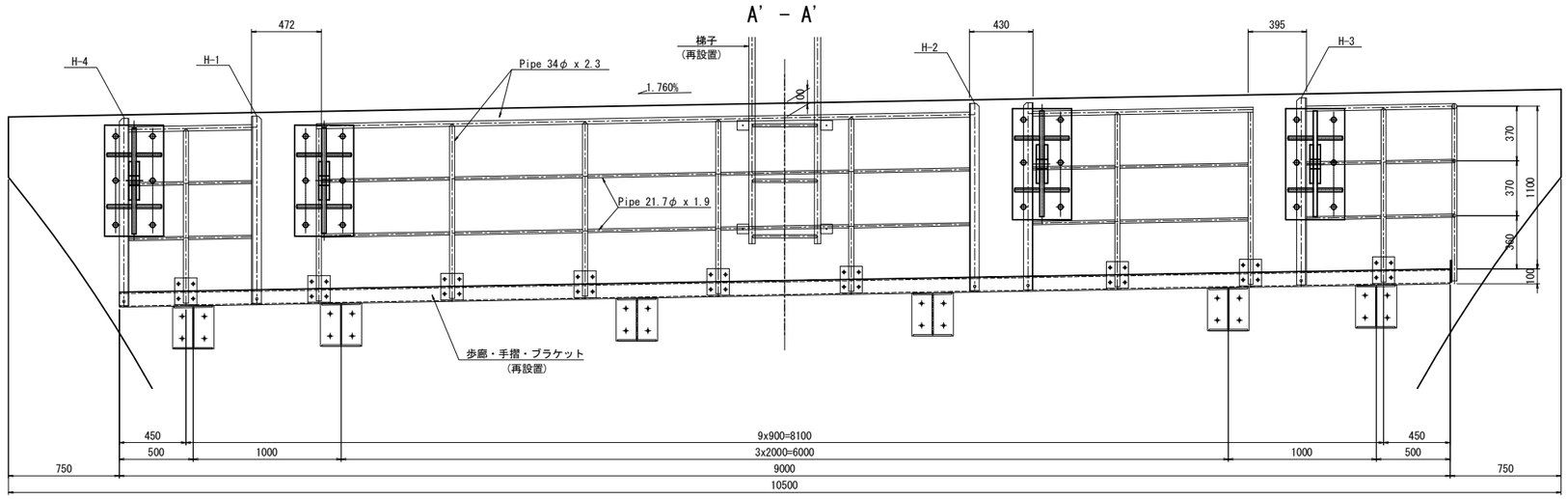
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

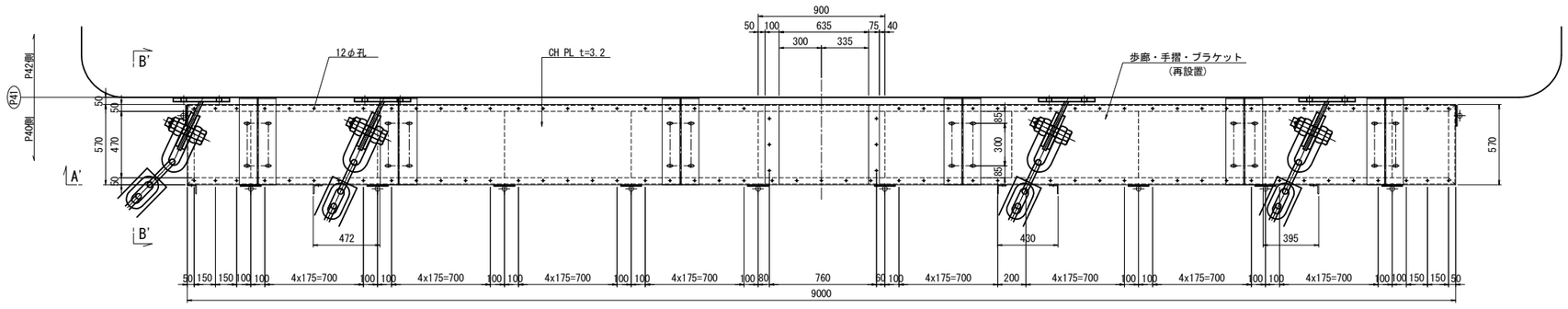
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	130 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/40

撤去・設置工　検査路B







撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 830 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 4417 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1488 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1019 (STK400)
10 - Pipe 34φ x 2.3 x 1180 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
10 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 460 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 372 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 432 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 787 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 558 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 509 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
20 - PL 150 x 6 x 183
40 - BN M16 x 45 (2-W付)
1 - L 100 x 100 x 7 x 560
2 - CH PL 550 x 3.2 x 4140
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
3 - L 75 x 75 x 6 x 560
10 - FB x 50 x 6 x 560
98 - BN M10 x 30
(1-座金,1-テーパー座金、スプリングワッシャー付)

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 42.7φ x 2.3 x 2810 (STK400)
2 - FB 65 x 6x 120
4 - FB 50 x 6x 206
3 - RB 22φ x 400

ブラケット再利用材料 (n=6)
1 - PL 280 x 9 x 293
1 - PL 260 x 9 x 611
1 - PL 250 x 9 x 611
1 - PL 260 x 9 x 619
1 - PL 240 x 9 x 550
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

マンホール再利用材料 (n=1)
1 - CH PL 450 x 3.2 x 648
2 - FB x 50 x 6 x 545
2 - FB x 50 x 6 x 238
2 - RB 16φ x 230
2 - BN M12 x 30 (1-W付)
1 - PL 75 x 6 x 635
1 - PL 45 x 6 x 125

蝶番い再利用材料 (n=1)
5 - Pipe 25A x 60 (SGP)
1 - RB 25φ x 370
2 - 割ピン径3.2

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

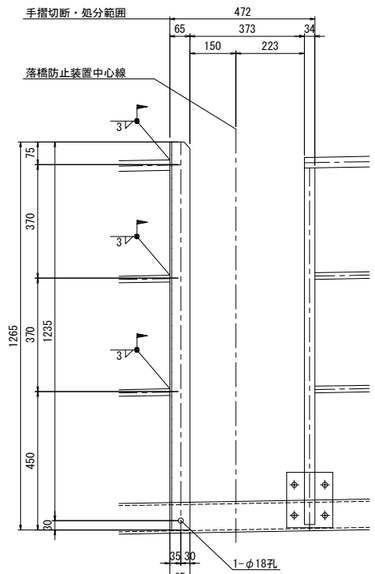
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	1:40	図面番号	131 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

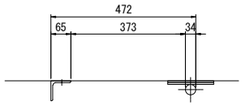
袖ヶ浦高架橋（下り線）P41橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

H-1





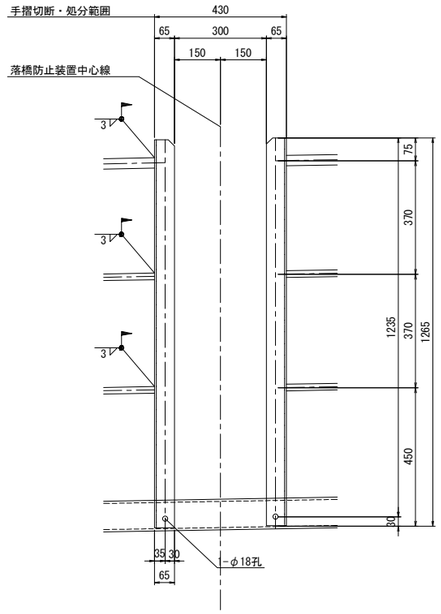
設置工　検査路B

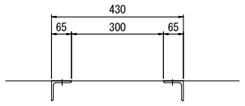
新規材料（n=1）
手摺切断部（H-1）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
24 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
6 - 打込み式アンカー　M16 x 100

H-2

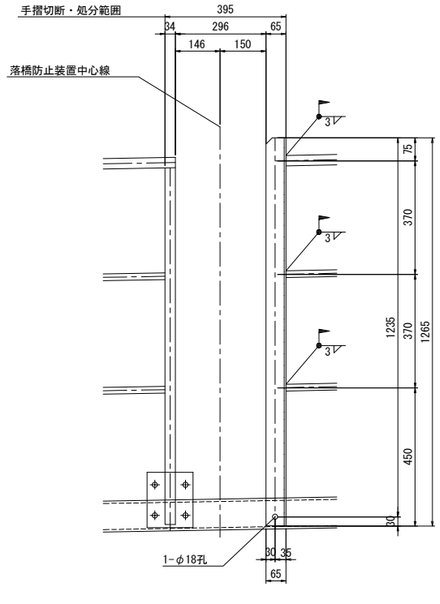


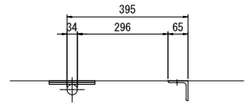


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-2）
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

H-3

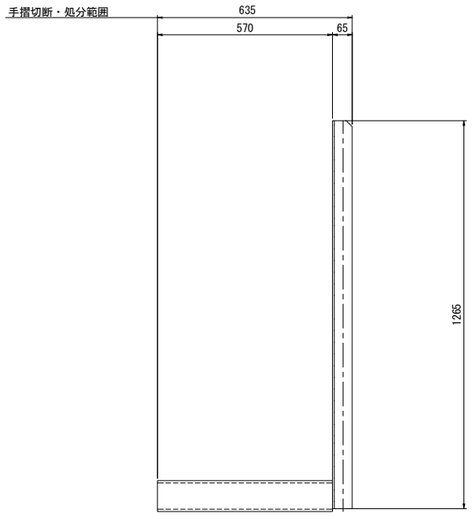


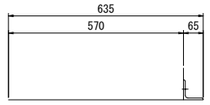


設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-3）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

H-4





設置工　検査路B

新規材料（n=1）
手摺切断部（H-4）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

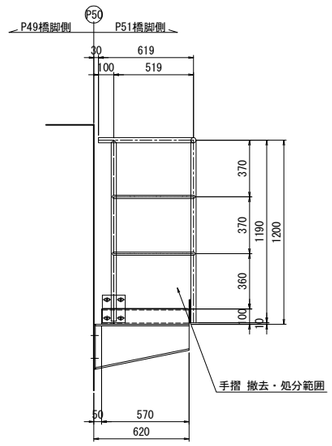
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P41橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	1:20	図面番号	132 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

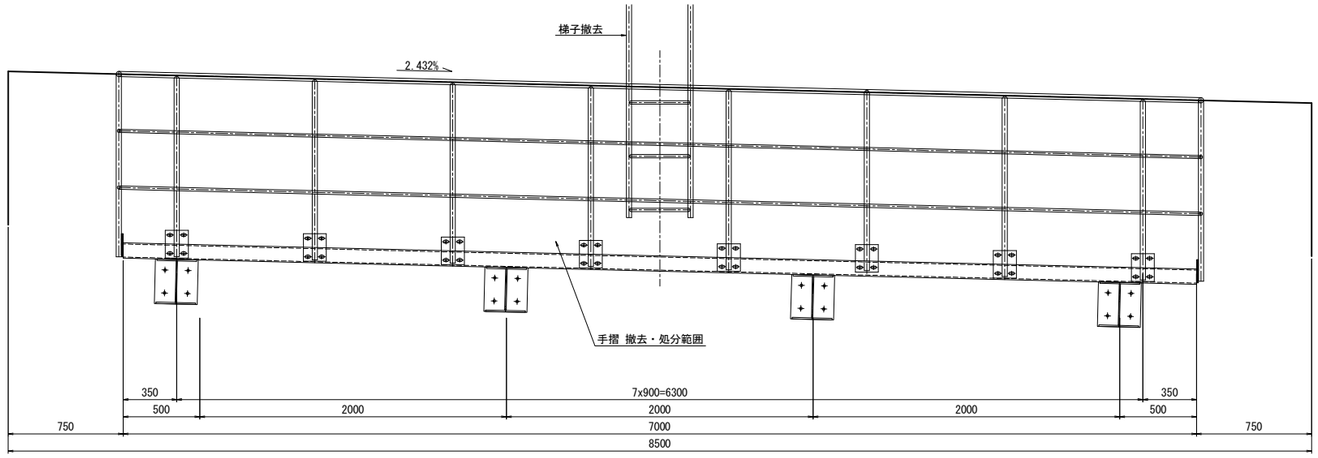
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

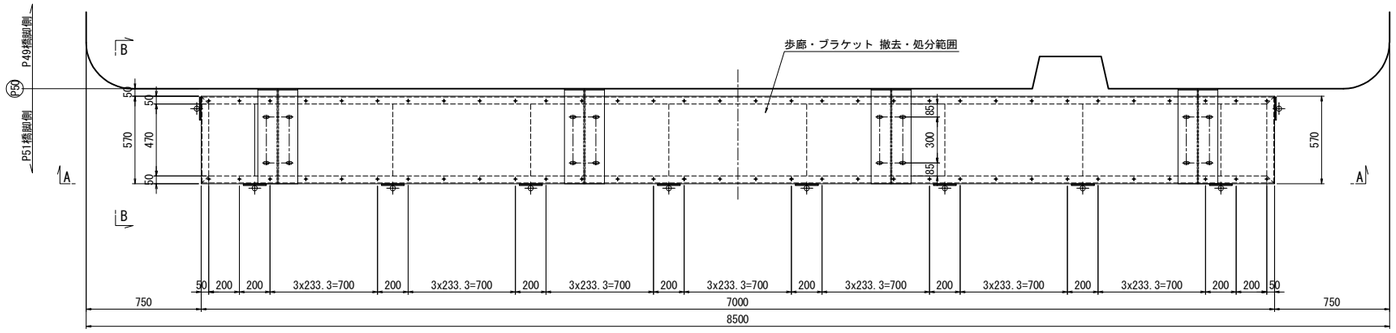
撤去工　検査路B

B － B



A － A





撤去工　検査路B

既設手摺

撤去・処分範囲(n=1)
- 1 － Pipe 34φ x 2.3 x 7092　(STK400)
- 2 － Pipe 34φ x 2.3 x 636　(STK400)
- 10 － Pipe 34φ x 2.3 x 1190　(STK400)
- 14 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 874　(STK400)
- 4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 377　(STK400)
- 4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 517　(STK400)
- 20 － PL 150 x 6 x 180
- 40 － BN M16 x 40　(W付き)

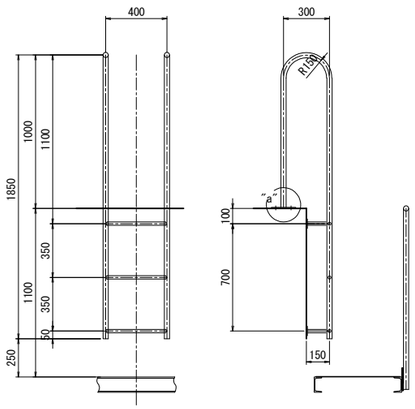
既設歩廊

撤去・処分範囲(n=1)
- 2 － CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
- 2 － CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
- 1 － CP 550 x 3.2 x 6950
- 8 － FB x 50 x 6 x 560
- 4 － PL 100 x 9 x 560
- 4 － PL 260 x 10 x 550
- 64 － BN M10 x 30

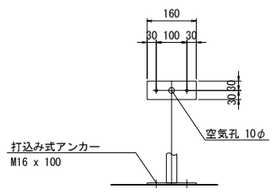
既設ブラケット

撤去・処分範囲(n=4)
- 1 － UFLG PL 260 x 10 x 610
- 1 － WEB PL 270 x 9 x 610
- 1 － LFLG PL 260 x 10 x 622
- 4 － BN M16 x 50 (2-W付)
- 4 － 打込み式アンカー　M16
- 1 － PL 280 x 10 x 290

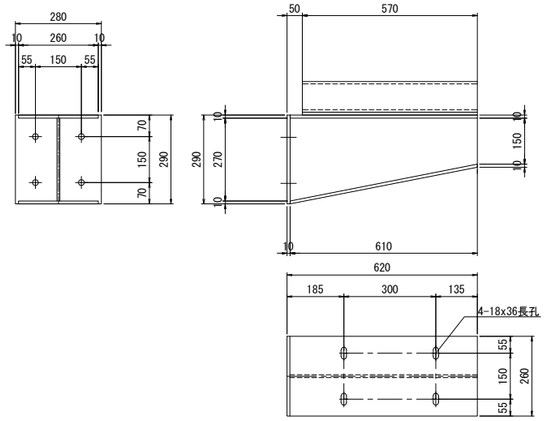
梯子詳細図



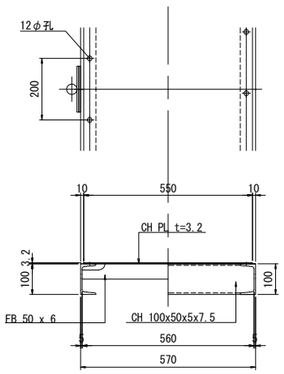
"a"部詳細図　S=1/20

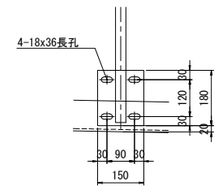


ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20





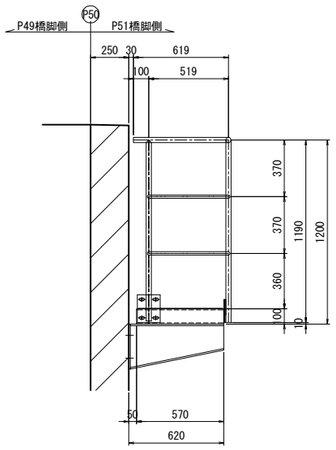
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	133 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

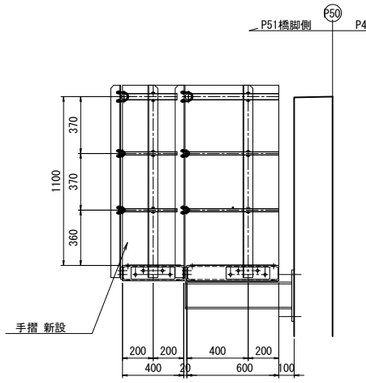
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

設置工　検査路B

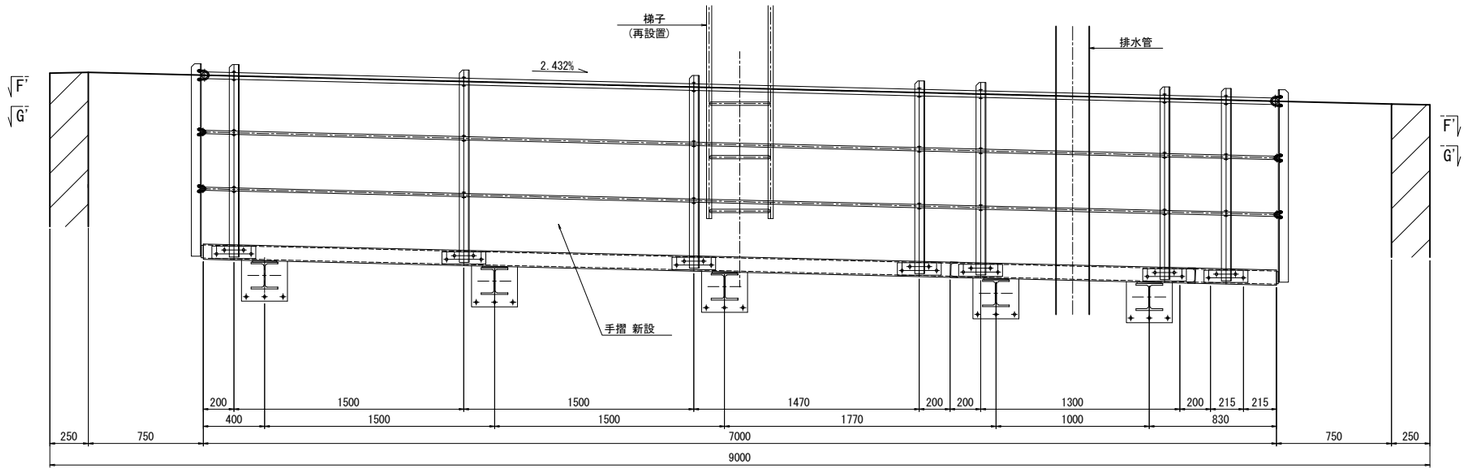
B' - B'

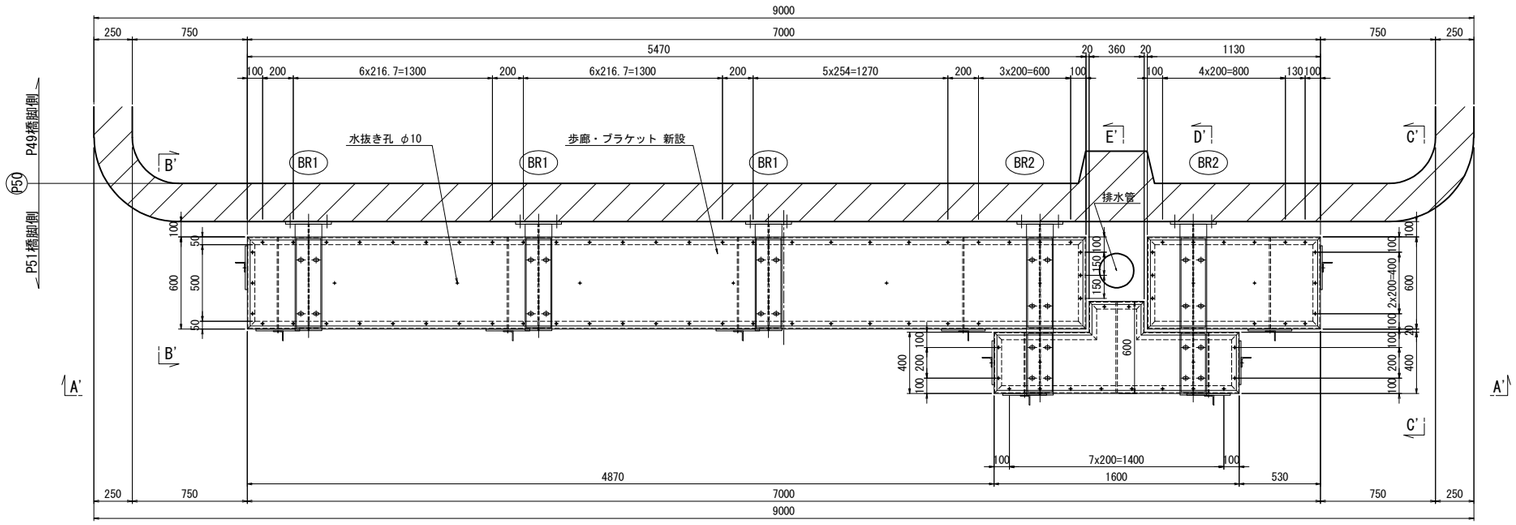


C' - C'

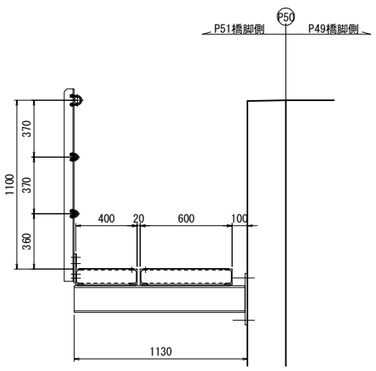


A' - A'

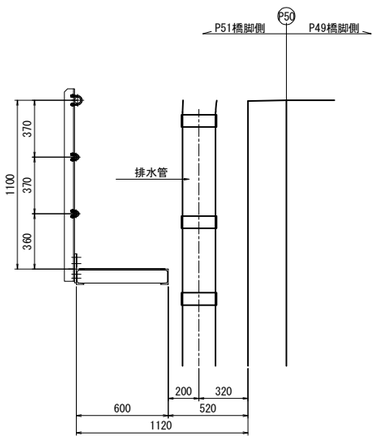




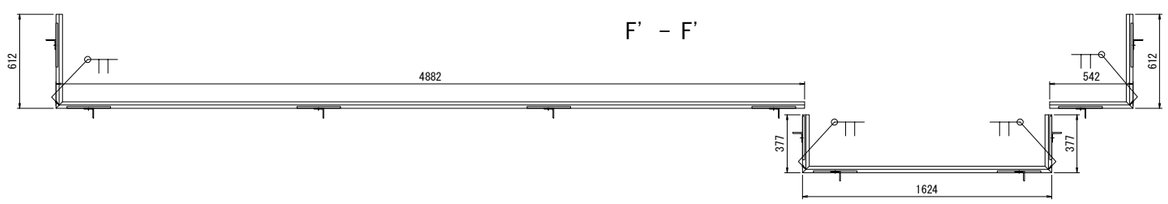
D' - D'



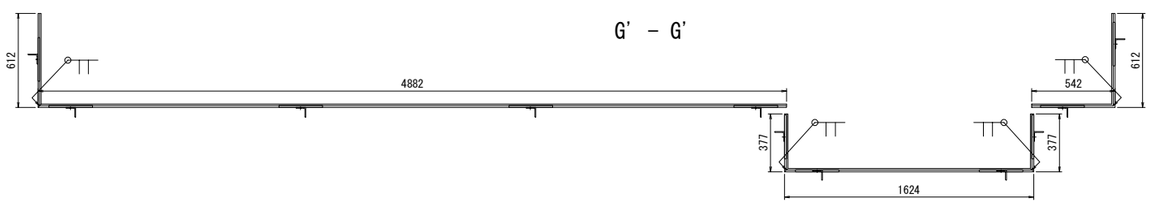
E' - E'



F' - F'



G' - G'



設置工　検査路B

新規材料

手摺(n=1)
- 2 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 612 (STK400)
- 1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 4882 (STK400)
- 1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 542 (STK400)
- 1 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 1624 (STK400)
- 2 - Pipe φ42.7 x 2.3 x 367 (STK400)
- 4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 612 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 4882 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 542 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 1624 (STK400)
- 4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 367 (STK400)
- 11 - L 65 x 65 x 6 x 1255
- 11 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
- 44 - BN M16 x 45 (2-W付)
- 11 - U.Bolt 呼び32C
- 22 - U.Bolt 呼び15C

新規材料

歩廊(n=1)
- 1 - Ch PL 560 x 3.2 x 5430
- 1 - Ch PL 560 x 3.2 x 1090
- 1 - Ch PL 560 x 3.2 x 1560
- 4 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 600
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5470
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1130
- 1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1600
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 390
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 670
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 260
- 1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 360
- 6 - FB 90 x 9 x 590
- 2 - FB 90 x 9 x 390
- 5 - PL 160 x 13 x 580 (SM400A)
- 2 - PL 160 x 13 x 370 (SM400A)
- 82 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW付)

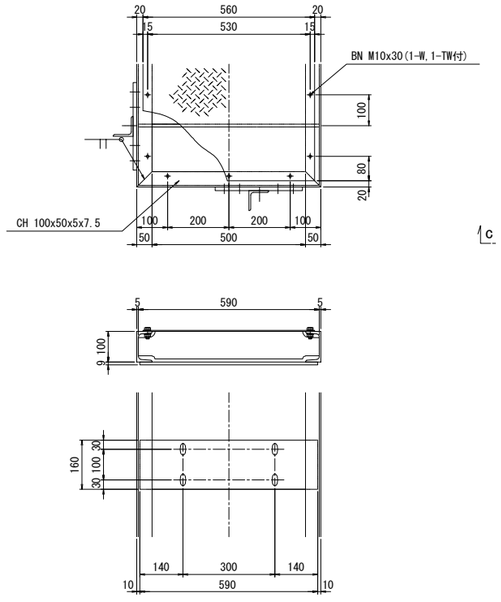
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	134 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

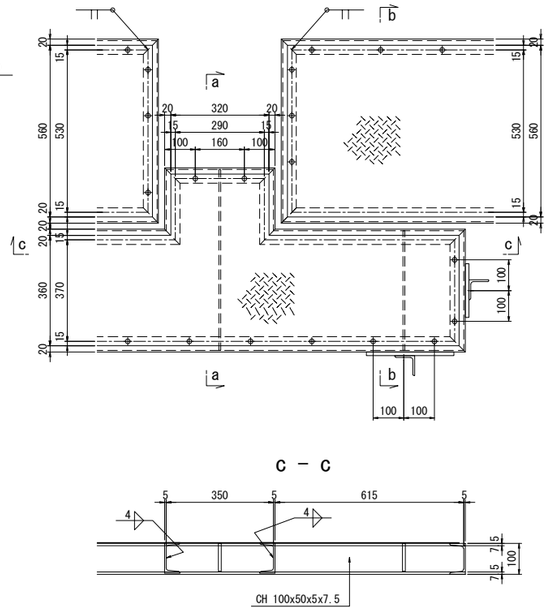
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/20

設置工　検査路B

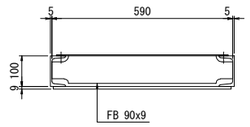
端部



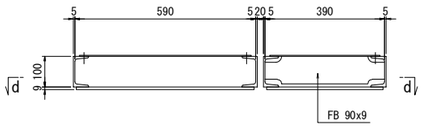
拡幅部



a － a

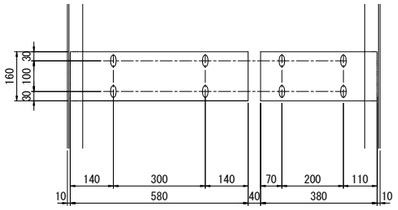


b － b

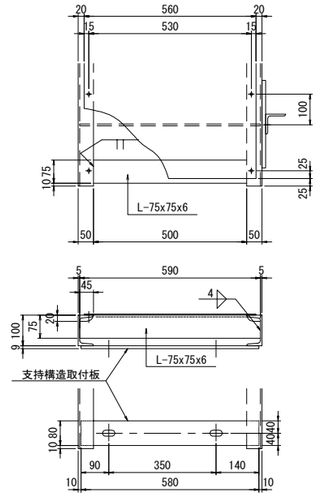


c － c

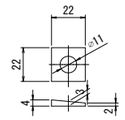
d － d



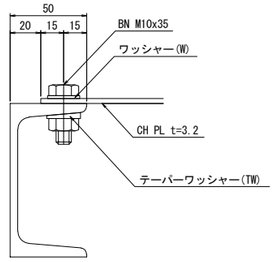
掛け違い部



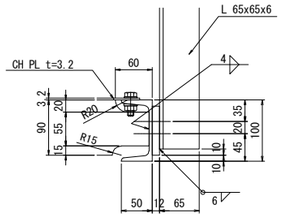
新設テーパー座金詳細　S=1/4



"a"部詳細図　S=1/4



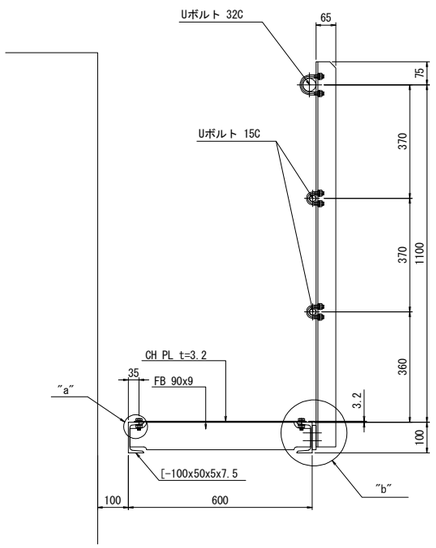
"b"部詳細図　S=1/10



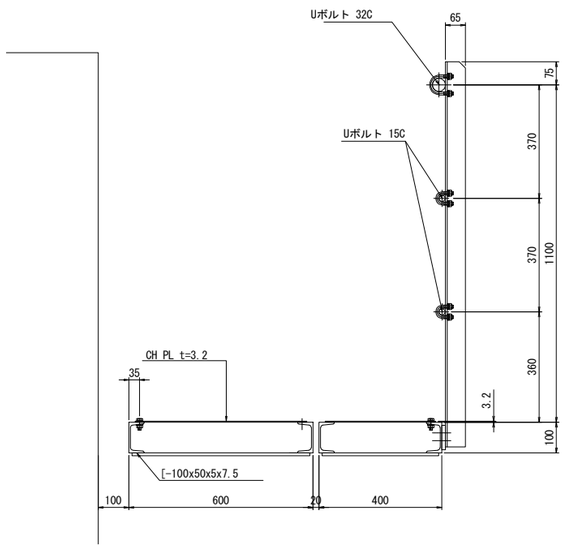
新設歩廊断面及び構造詳細図

（主桁部材 [-100x50x5x7.5）

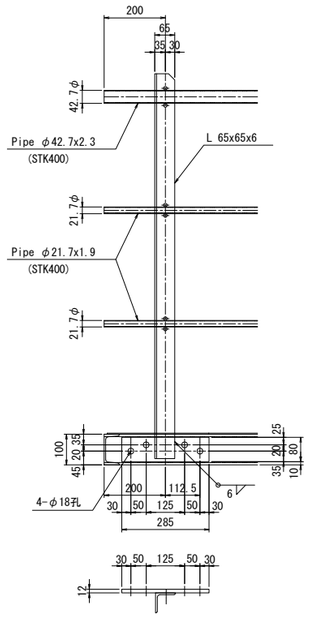
一般部



拡幅部

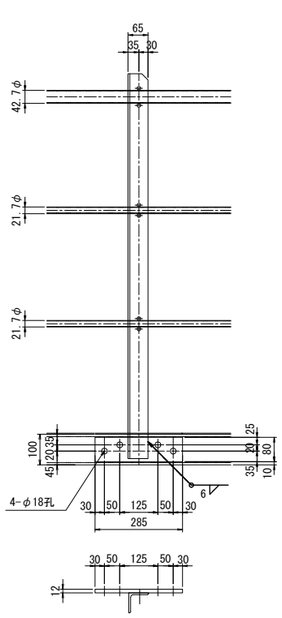


端部



1 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

中間部



1 - PL 80 x 12 x 285 (SM400A)
4 - BN M16 x 45 (2-W付)

注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

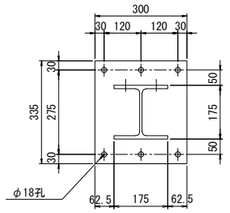
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（下り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	図示	図面番号	135 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

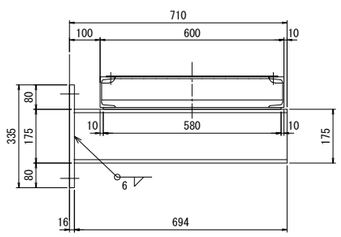
袖ヶ浦高架橋（下り線）P50橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4)　S=1/20

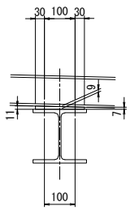
設置工　検査路B

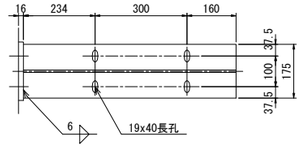
新設ブラケット詳細図

BR1









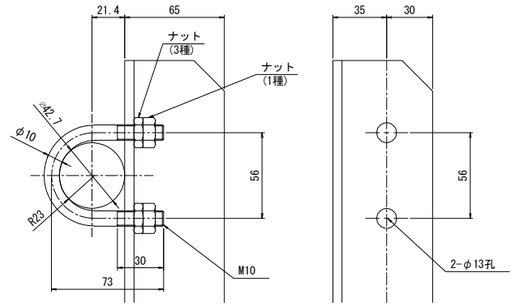
設置工　検査路B

新規材料（n=3）

1 － H　175x175x7.5x11x694
1 － BASE PL 335x16x300(SM400A)
4 － BN　M16x50(2-W)
6 － 打込み式アンカー M16 x 100

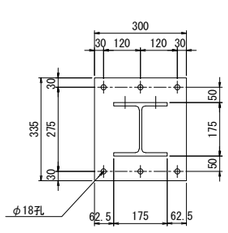
新設Uボルト詳細　S=1/4

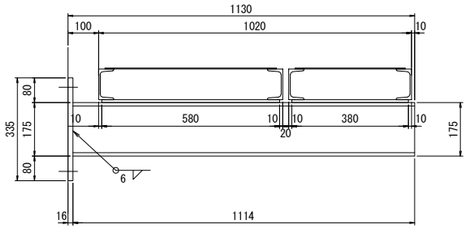
U.BOLT 呼び32C

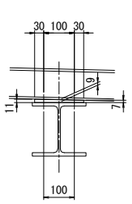


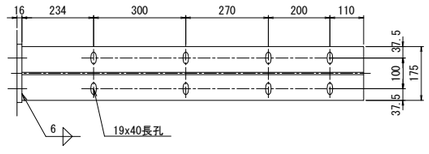
U.BOLT 呼び15C

BR2









設置工　検査路B

新規材料（n=2）

1 － H　175x175x7.5x11x1114
1 － BASE PL 335x16x300(SM400A)
8 － BN　M16x50(2-W)
6 － 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料

12 － 打込み式アンカー M16 x 100

注記

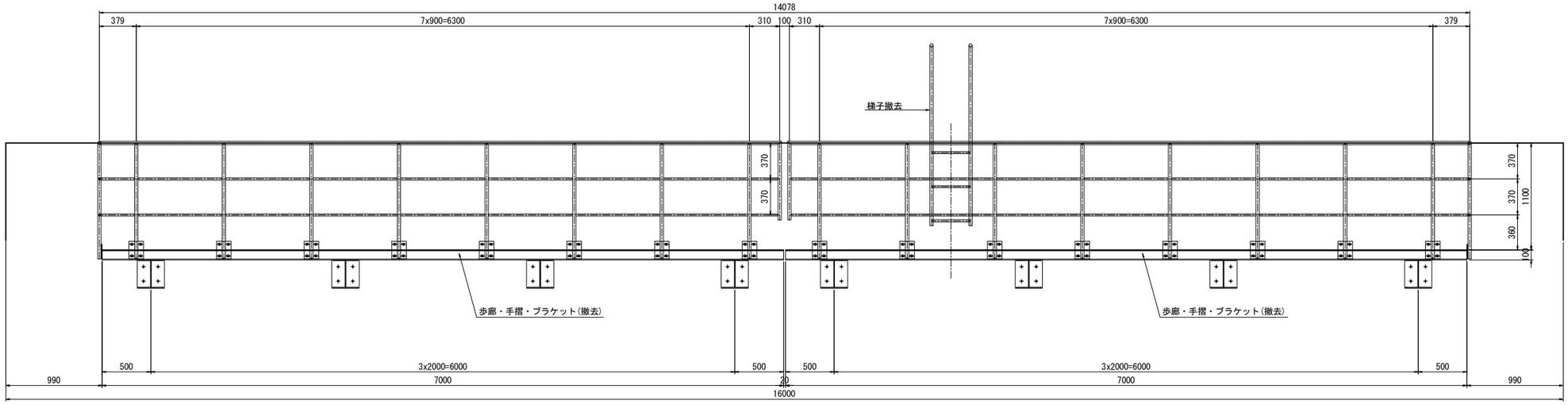
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P50橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	図示	図面番号	136 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

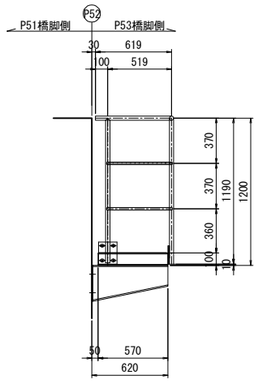
袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/50

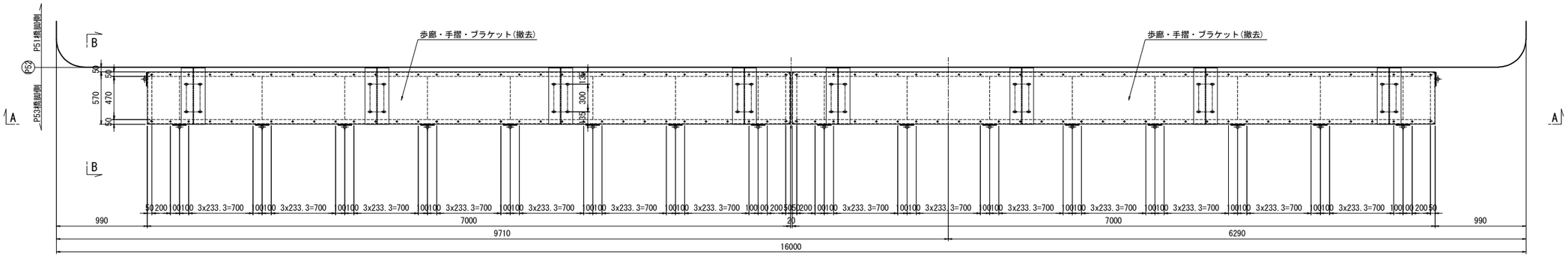
撤去工　検査路B

A － A

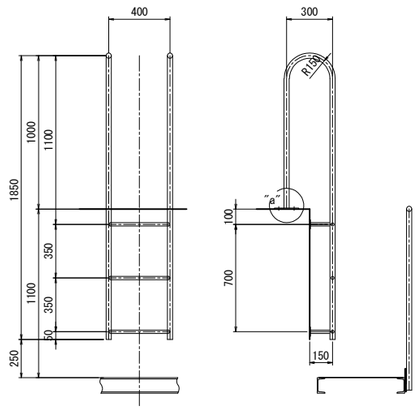


B － B

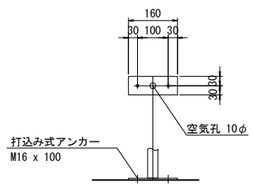




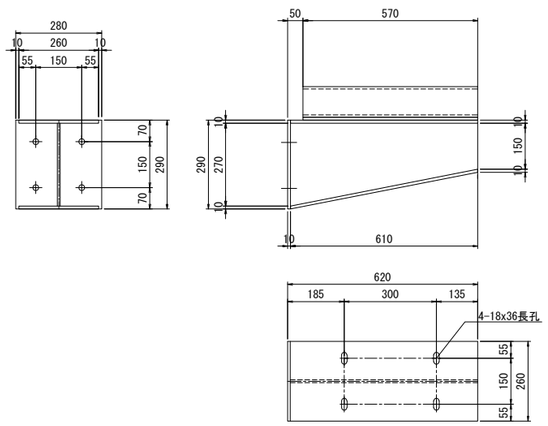
梯子詳細図 S=1/40



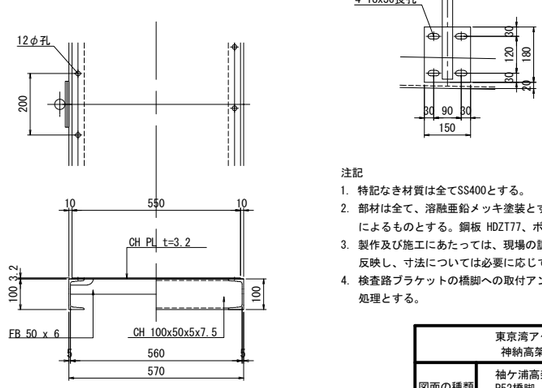
"a"部詳細図 S=1/20

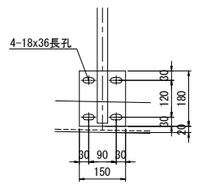


ブラケット詳細図 S=1/20



歩廊詳細図 S=1/20





注記

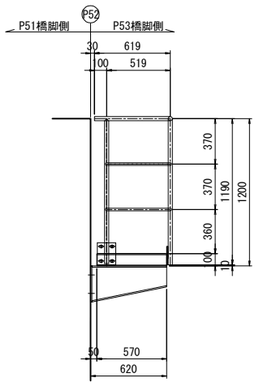
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P52橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	137 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

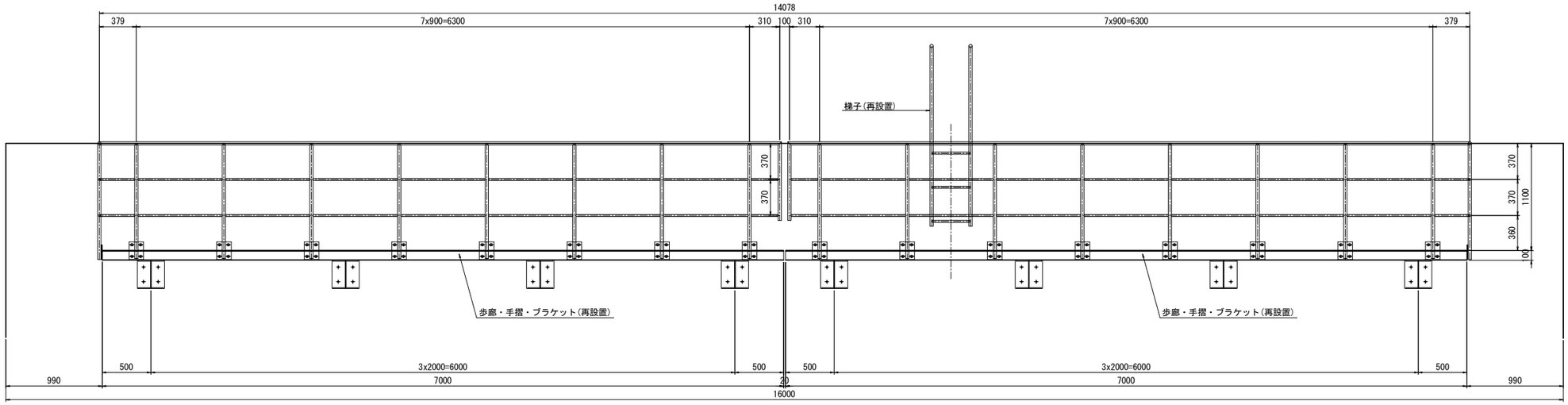
袖ヶ浦高架橋（下り線）P52橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/50

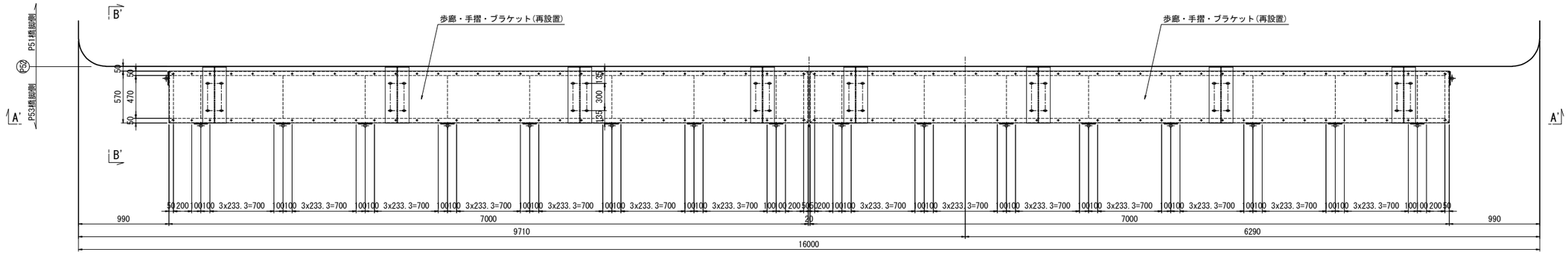
撤去・設置工　検査路B

B’ － B’



A’ － A’





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － Pipe 34φ x 2.3 x 7023 (STK400)
2 － Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
18 － Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)
2 － Pipe 34φ x 2.3 x 807 (STK400)
28 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 327 (STK400)
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
4 － Pipe 21.7φ x 1.9 x 284 (STK400)
36 － PL 150 x 6 x 180
72 － BN M16 x 40(1-W付)
4 － CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
4 － CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 － PL 100 x 9 x 560
8 － PL 260 x 10 x 550
2 － CP 550 x 3.2 x 6950
16 － FB x 50 x 6 x 560
144 － BN M10 x 30 (1-W,1-TW付)

ブラケット再利用材料 (n=8)
1 － UFLG PL 260 x 10 x 610
1 － WEB PL 270 x 9 x 610
1 － LFLG PL 260 x 10 x 622
4 － BN M16 x 50
1 － PL 280 x 10 x 290

梯子再利用材料 (n=1)
2 － Pipe 34.0φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 － Pipe 34.0φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 － RB 22φ x 400 (SR235)
6 － PL 60 x 6x 160

設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
32 － 打込み式アンカー M16 x 100

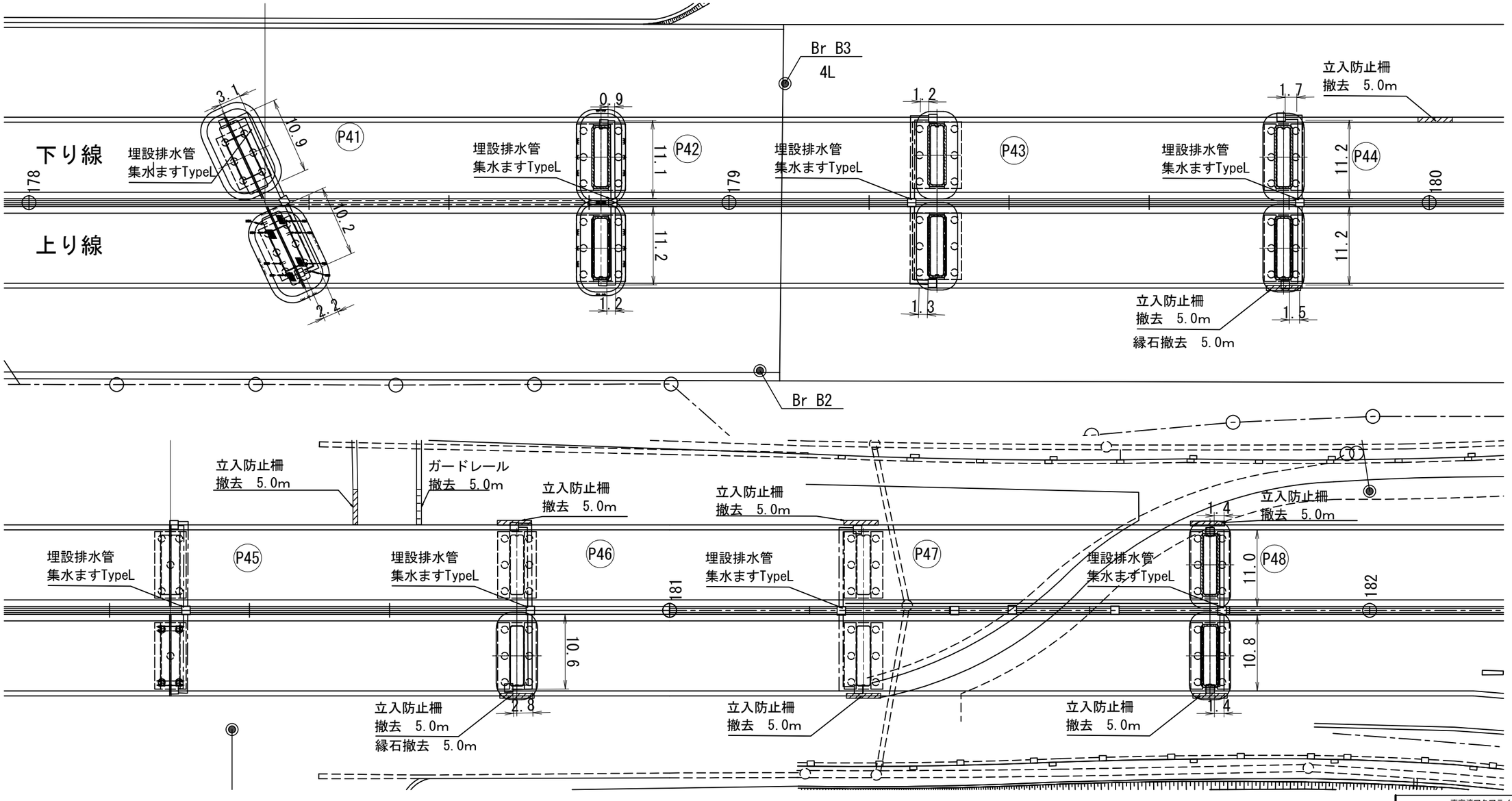
梯子新規材料
12 － 打込み式アンカー M16 x 100

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（下り線） P52橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:50	図面番号	138 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋 撤去・復旧図（その1）

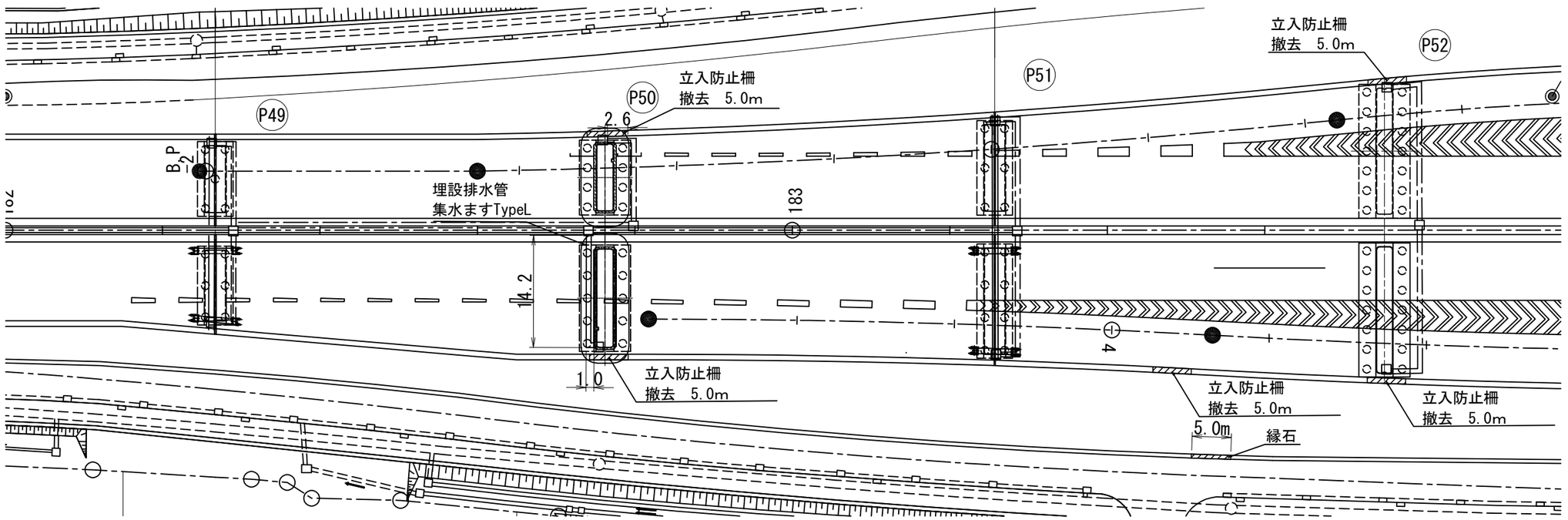
平 面 図 S=1:600



東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事				
図面の種類	袖ケ浦高架橋 撤去・復旧図（その1）			
縮　尺	1:600	図面番号	139 ／ 236	
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所			

袖ヶ浦高架橋 撤去・復旧図（その2）

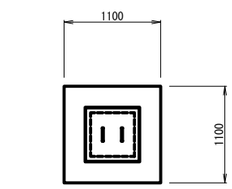
平 面 図　S=1:600



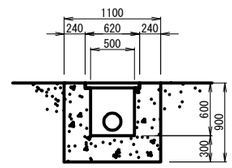
数量表

単　価　項　目		単　位	数　量	数　量
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m	70.0	P44　10.0、P45　5.0、P46　10.0、P47　10.0、P48　10.0、P50　10.0、　P52　15.0
		箇所	14.0	P44　2.0、P45　1.0、P46　2.0、　P47　2.0、P48　2.0、P50　2.0、P52　3.0
用・排水溝撤去設置工	集水ます　TypeL	箇所	19.0	P41 3.0、　P42 3.0、　P43 2.0、　P44 3.0、　P46 2.0、　P48 3.0、　P50 3.0
	用排水溝　PuL･0.3･0.3	m	86.0	P41 26.4、P43 24.4、P44 2.5、P46 13.4、P48 24.6、　P50 17.8
縁石撤去設置工	工場製　コンクリート縁石	m	15.0	P44 5.0、P46 5.0、P51 5.0
ガードレール撤去設置工	ガードレール　Ｇｒ-Ｃ-４Ｅ	m	5.0	P46 5.0

集水ます　Type L　S=1/70



平面図



断面図

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋 撤去・復旧図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	140 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その1) 縮尺 1:25

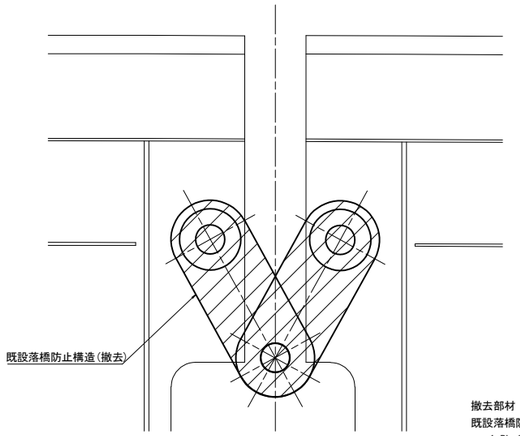
撤去工　落橋防止構造

P41橋脚

既設落橋防止構造

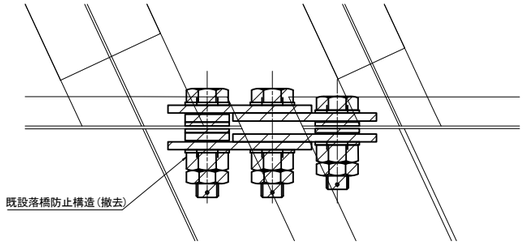
P41橋脚(上り線)：4基
P41橋脚(下り線)：4基

側面図



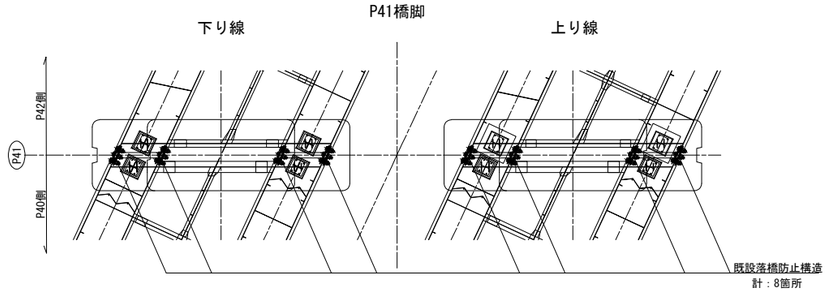
撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
4-PL 320×32×870(SM490YB)
2-FILL PL φ200×37(SM400B)
2-Bolt M110×410 (S35C)
1-Bolt M110×340 (S35C)
3-NUT M110(1種)(SS400)
3-NUT M110(3種)(SS400)
6-Washer φ185×14(SS400)
3-割ピン φ13×180(SUS304)

平面図



配置図 S=N:S

P41橋脚

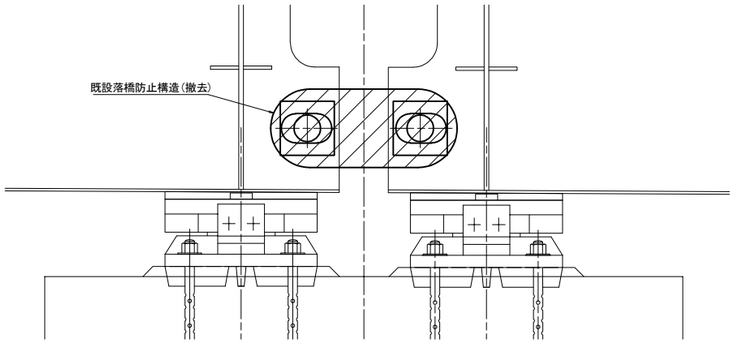


P45橋脚

既設落橋防止構造

P45橋脚(上り線)：2基
P45橋脚(下り線)：2基

側面図

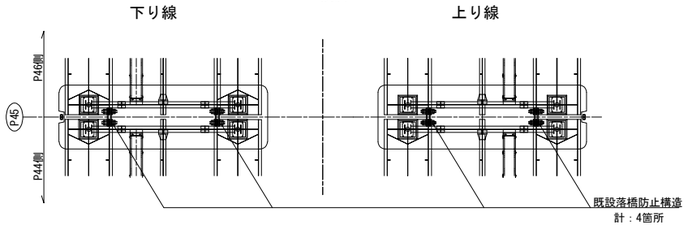


撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
2-PL 320×40×760(SM570)
2-Pin φ110×600(S45CN)
4-NUT M110(1種)(SS400)
4-NUT M110(3種)(SS400)
4-Washer φ185×14(SS400)
4-割ピン φ13×160(SWRM10)

平面図

配置図 S=N:S

P45橋脚



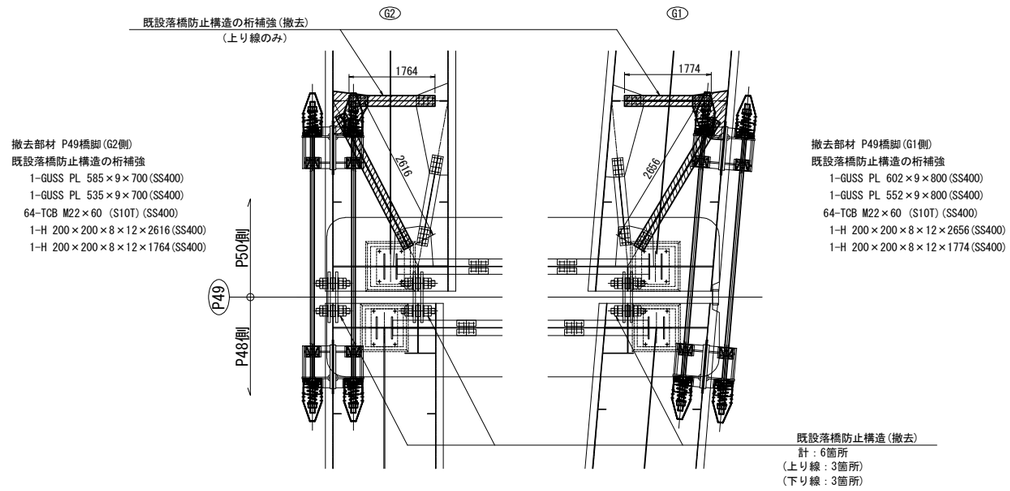
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	141 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

袖ヶ浦高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その2)　縮尺 1:100

撤去工　落橋防止構造

P49橋脚

既設落橋防止構造の桁補強平面図



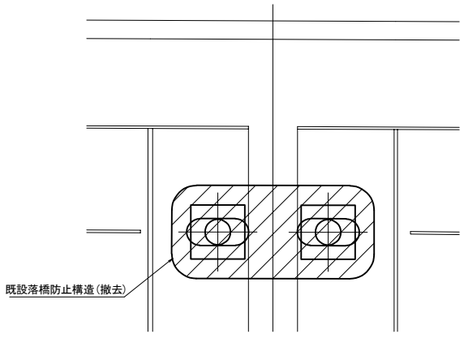
撤去部材 P49橋脚(G2側)
既設落橋防止構造の桁補強
- 1-GUSS PL 585×9×700(SS400)
- 1-GUSS PL 535×9×700(SS400)
- 64-TCB M22×60 (S10T)(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×2616(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×1764(SS400)

撤去部材 P49橋脚(G1側)
既設落橋防止構造の桁補強
- 1-GUSS PL 602×9×800(SS400)
- 1-GUSS PL 552×9×800(SS400)
- 64-TCB M22×60 (S10T)(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×2656(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×1774(SS400)

既設落橋防止構造　縮尺 1:25

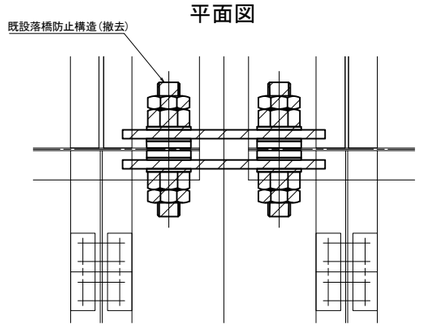
P49橋脚(上り線)：3基
P49橋脚(下り線)：3基

側面図



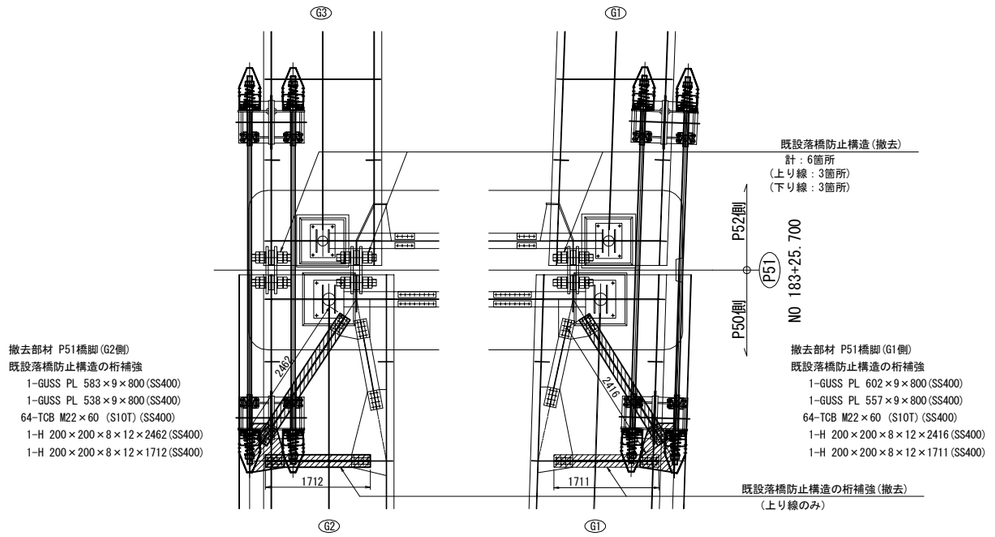
撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
- 2-PL 380×36×825(SM520B)
- 2-Pin φ100×610(S45CN)
- 4-NUT M100(1種)(SS400)
- 4-NUT M100(3種)(SS400)
- 4-Washer φ175×14(SS400)
- 4-割ピン φ10×140(SWRM10)

平面図



P51橋脚

既設落橋防止構造の桁補強平面図



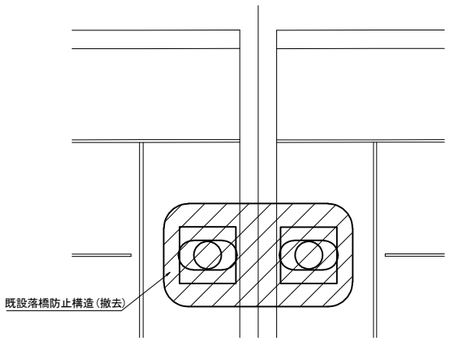
撤去部材 P51橋脚(G2側)
既設落橋防止構造の桁補強
- 1-GUSS PL 583×9×800(SS400)
- 1-GUSS PL 538×9×800(SS400)
- 64-TCB M22×60 (S10T)(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×2462(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×1712(SS400)

撤去部材 P51橋脚(G1側)
既設落橋防止構造の桁補強
- 1-GUSS PL 602×9×800(SS400)
- 1-GUSS PL 557×9×800(SS400)
- 64-TCB M22×60 (S10T)(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×2416(SS400)
- 1-H 200×200×8×12×1711(SS400)

既設落橋防止構造　縮尺 1:25

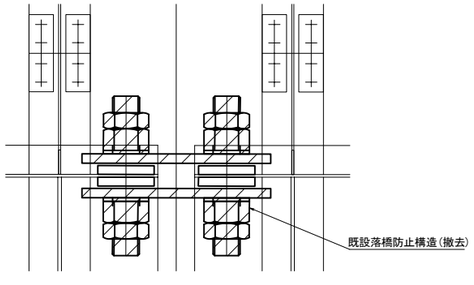
P51橋脚(上り線)：3基
P51橋脚(下り線)：3基

側面図



撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
- 2-PL 420×38×770(SM520B)
- 2-Pin φ110×650(S45CN)
- 4-NUT M110(1種)(SS400)
- 4-NUT M110(3種)(SS400)
- 4-Washer φ185×14(SS400)
- 4-割ピン φ10×140(SWRM10)

平面図

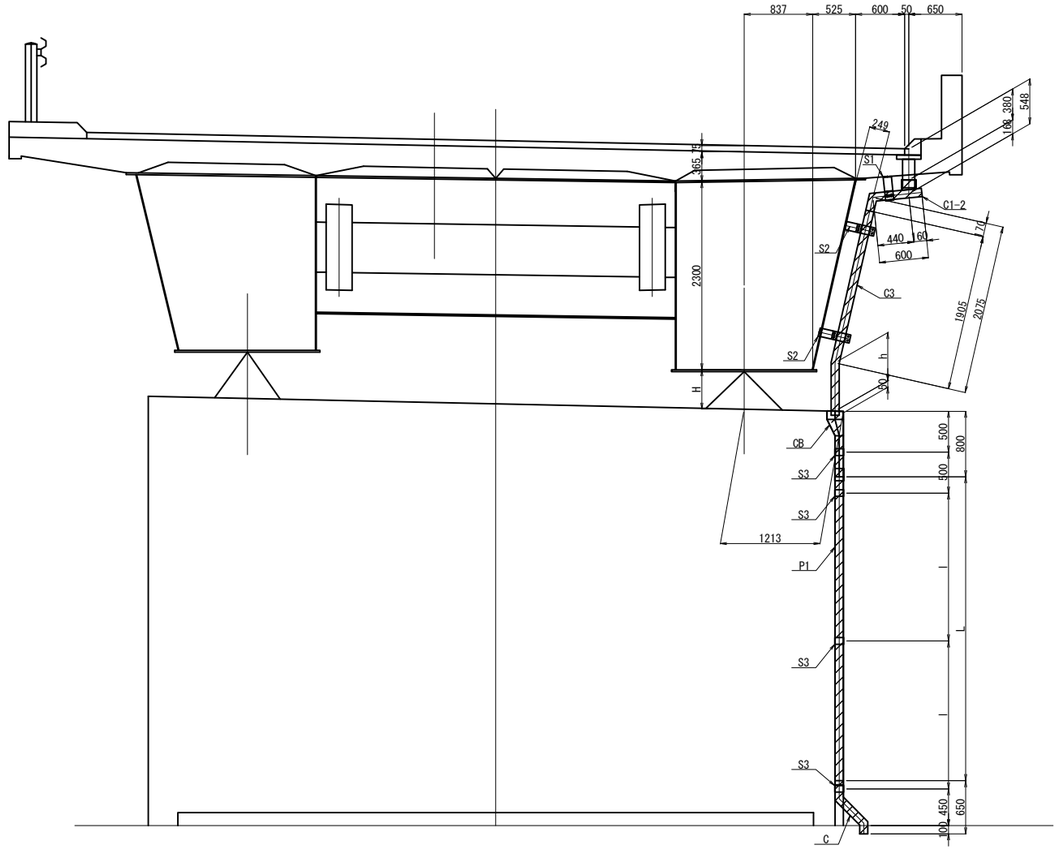


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	142 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

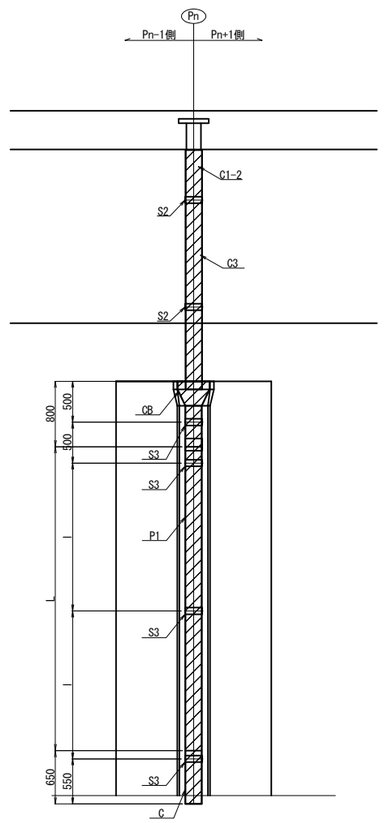
坂戸市場高架橋（上り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

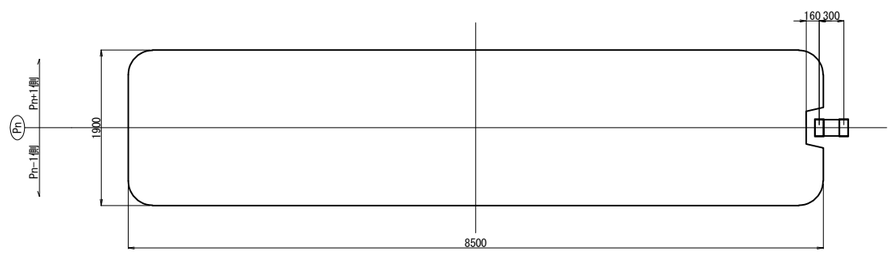
正 面 図



側 面 図



平 面 図



寸法表

	P54	P55
h	590	549
H	482	441
l	1808.5	1669.5
L	3717	3439

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	P54	P55
加 工 管	C1-2	個	1	1
	C3	個	1	1
取付金具	S1	個	1	1
	S2	個	2	2
受　桝	CB	個	1	1
直　管	P1	個	1	1
取付金具	S3	個	4	4
加 工 管	C	個	1	1
流水延長(鋼管)		m	8.564	8.245
撤去重量		kg	234	227

凡例

▨ ：撤去

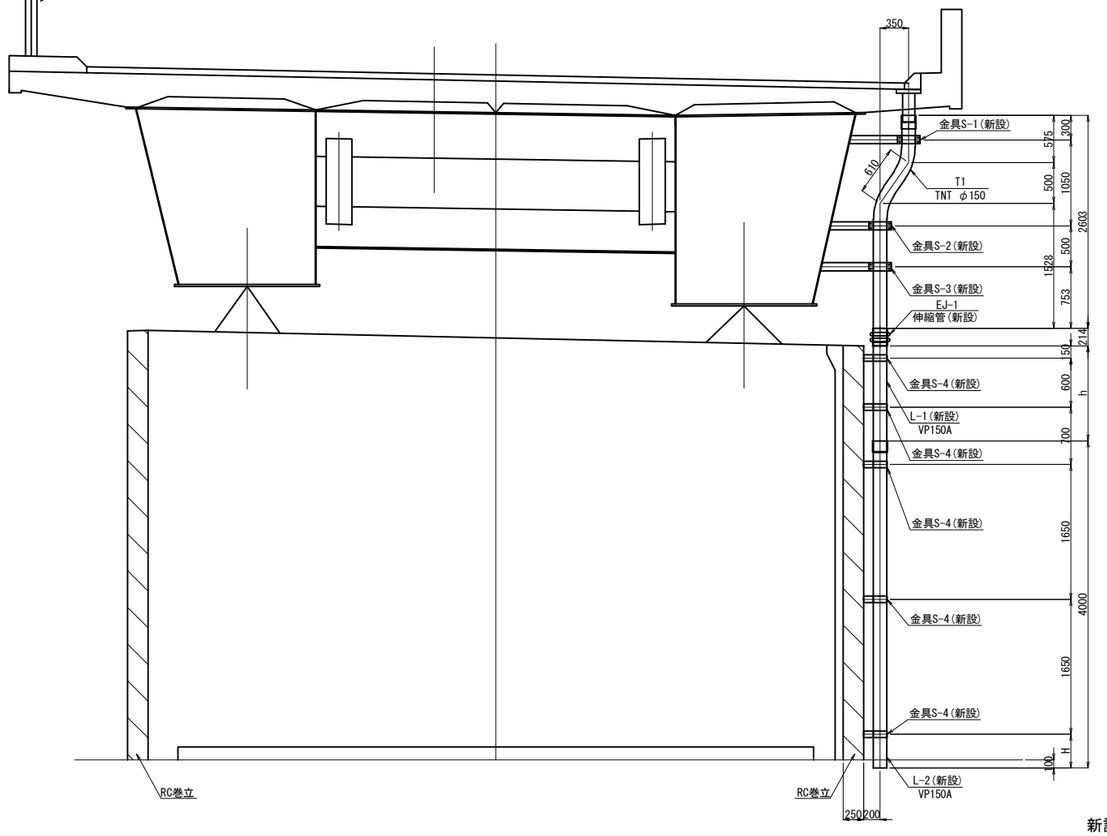
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P54,P55橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　尺	1:75
図面番号	143 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

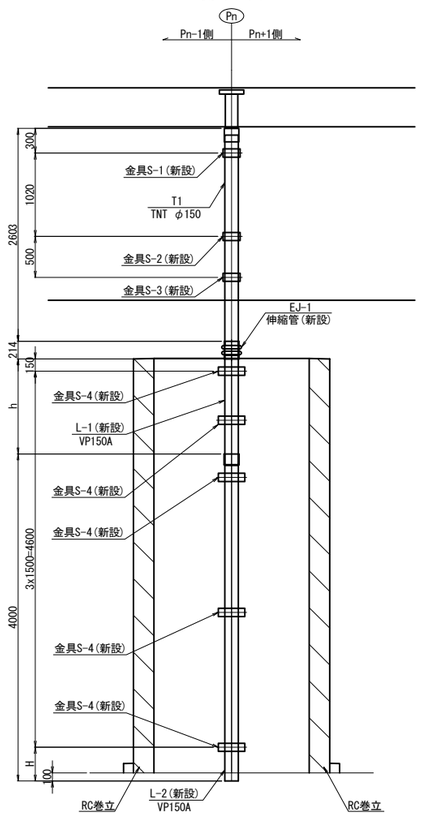
坂戸市場高架橋（上り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

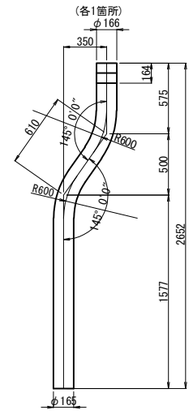
正 面 図



側 面 図



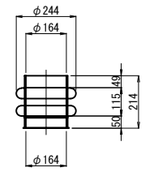
新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x2762

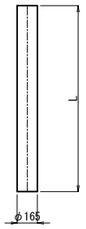
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25

(各1箇所)



新設直管L-1 S=1/50

(各1箇所)



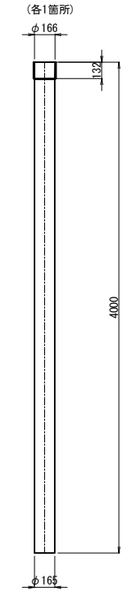
1-VP 150Ax L

L-1寸法表

	P54	P55
L	1345	1067

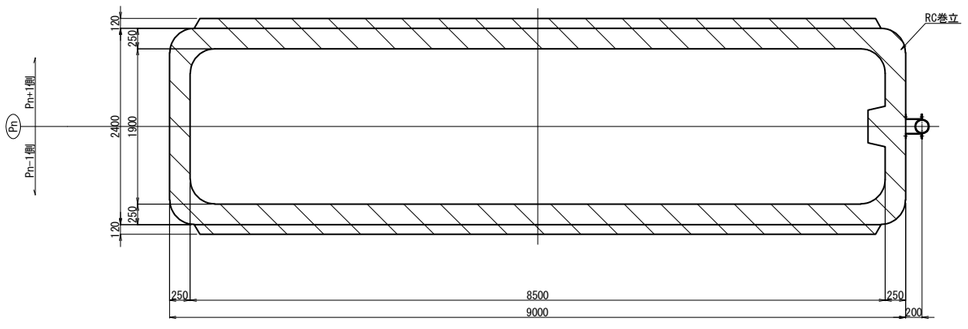
新設直管L-2 S=1/50

(各1箇所)



1-VP 150Ax4000

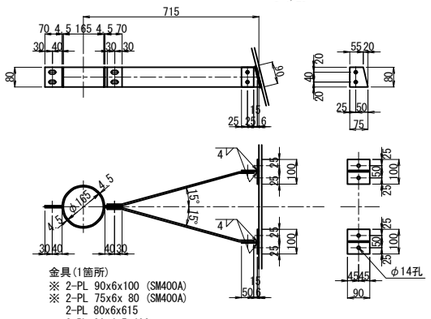
平 面 図



寸法表

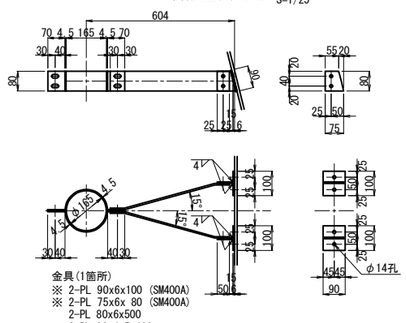
	P54	P55
h	1163	885
H	413	135

新設金具 S-1 S=1/25



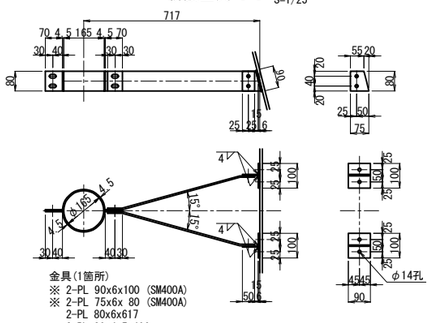
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x615
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x500
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

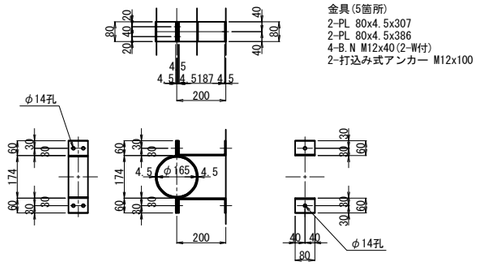
新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x617
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25

(各1箇所)



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

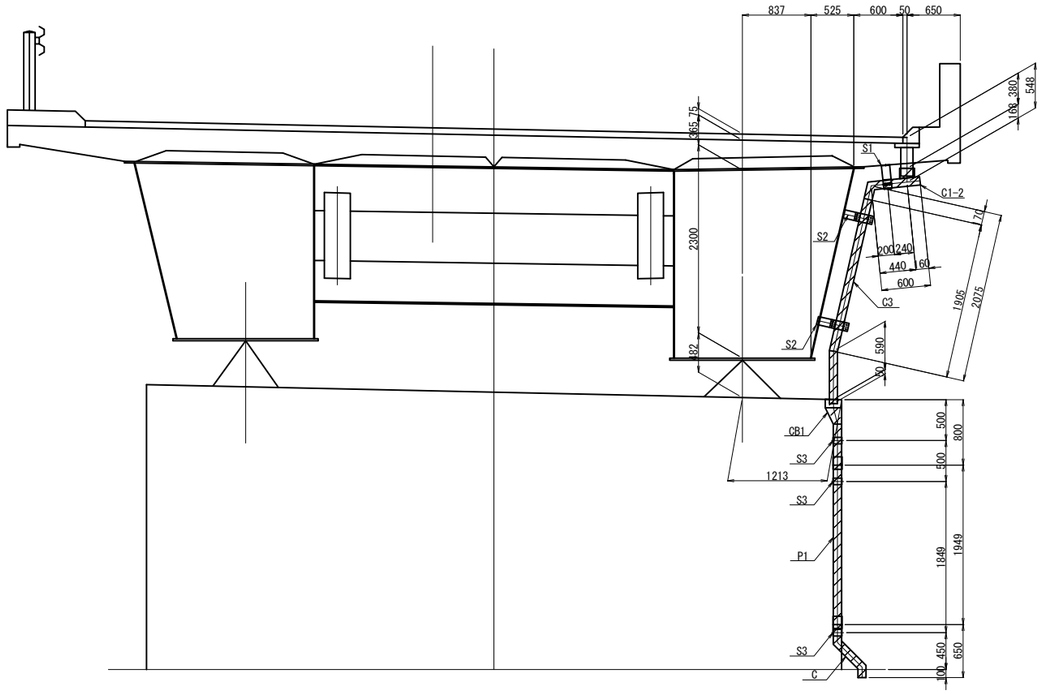
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P54,P55橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	144 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

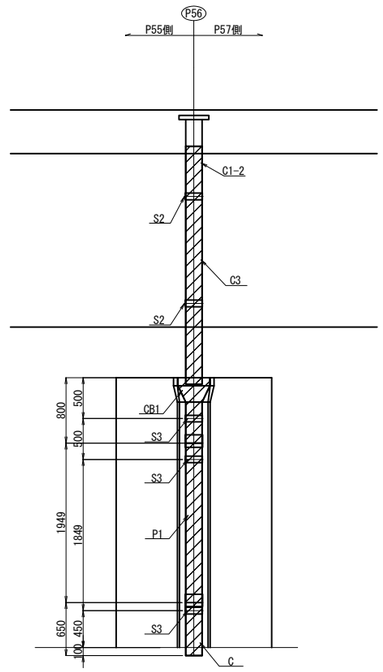
坂戸市場高架橋（上り線）P56橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

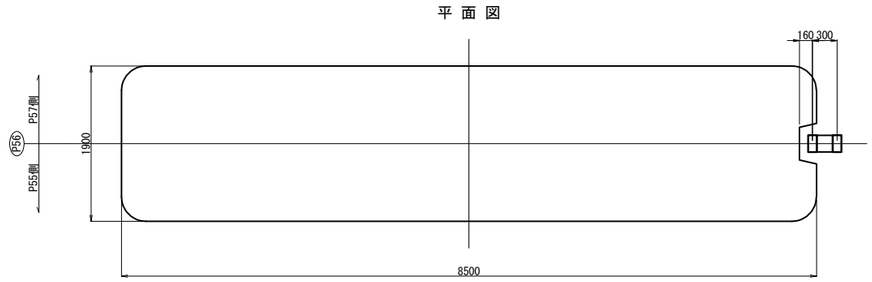
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB1	個	1
直　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	3
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	6.796
撤去重量		kg	198

凡例

▨ ：撤去

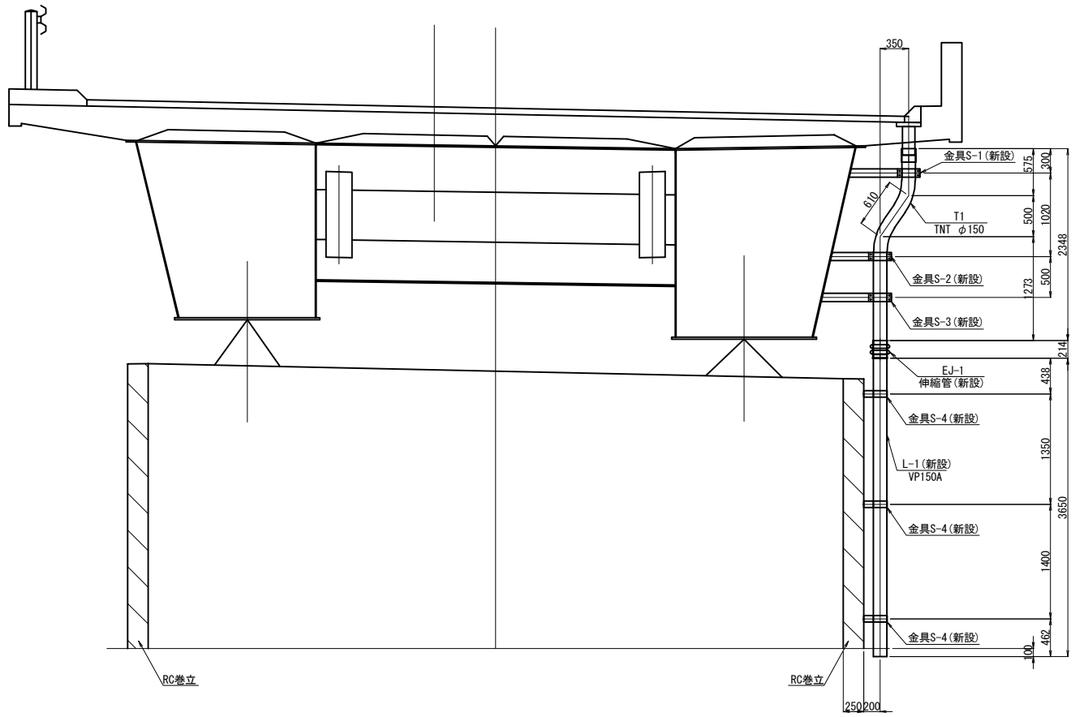
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P56橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:75	図面番号	145 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

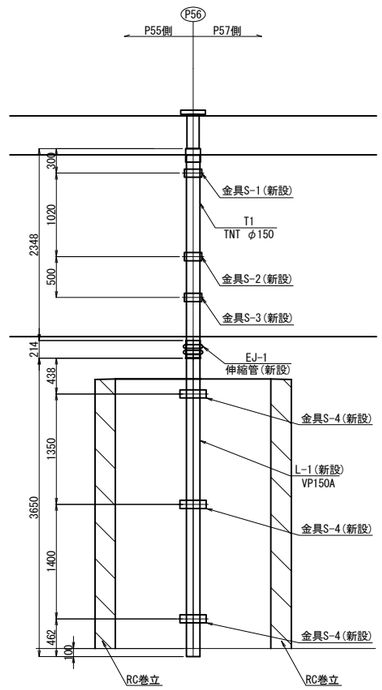
坂戸市場高架橋（上り線）P56橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

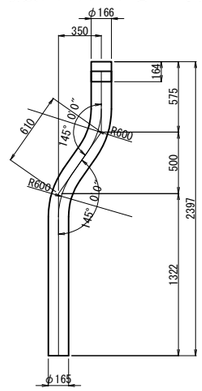
正 面 図



側 面 図

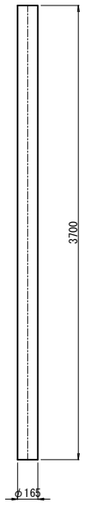


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



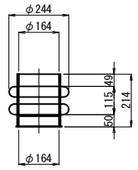
1-TNT φ150x2507

新設直管L-1 S=1/50

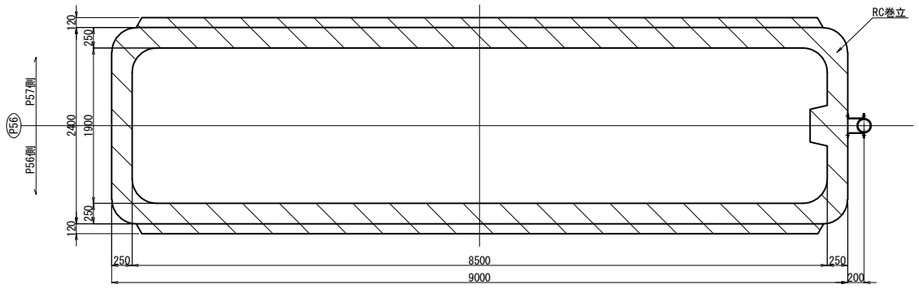


1-VP 150Ax3700

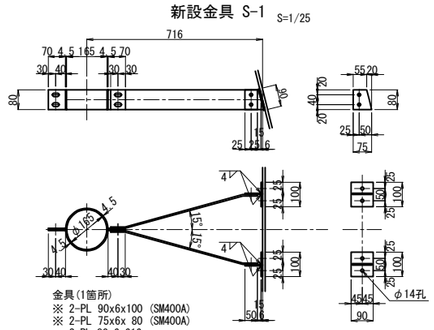
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

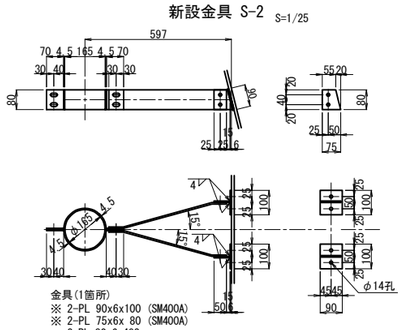


新設金具 S-1 S=1/25



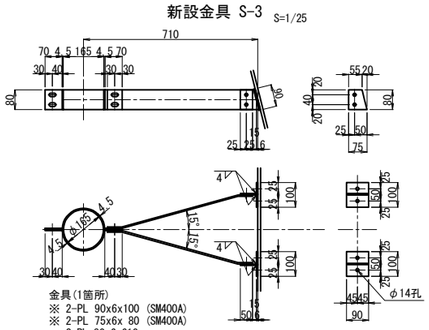
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x616
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



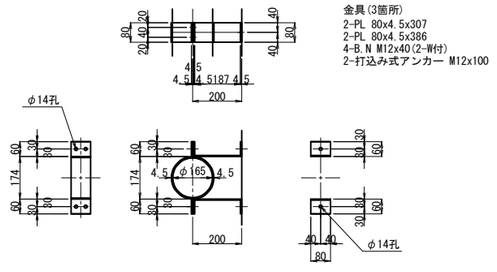
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x492
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x610
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(3箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

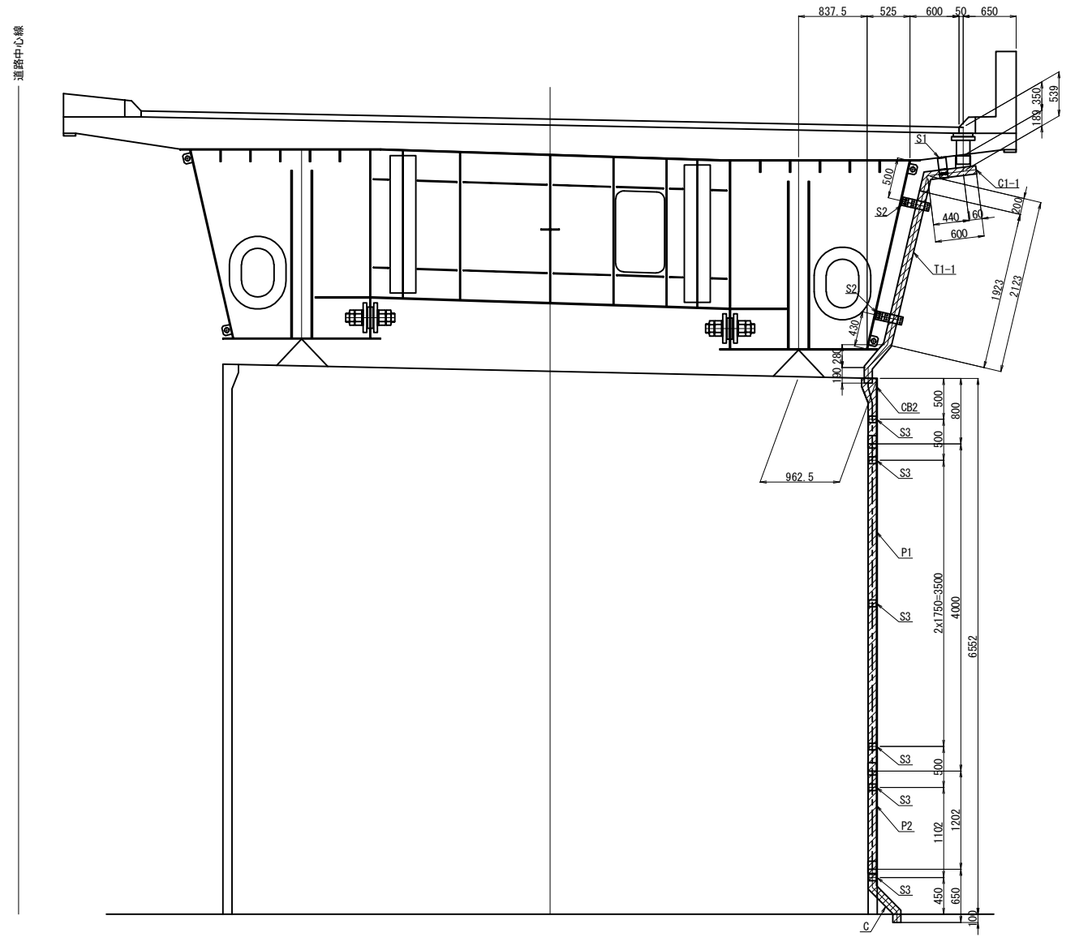
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P56橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	146 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

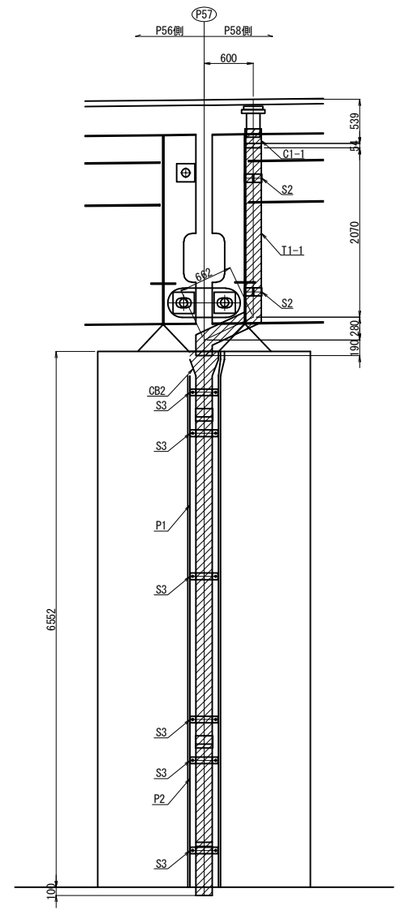
坂戸市場高架橋（上り線）P57橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

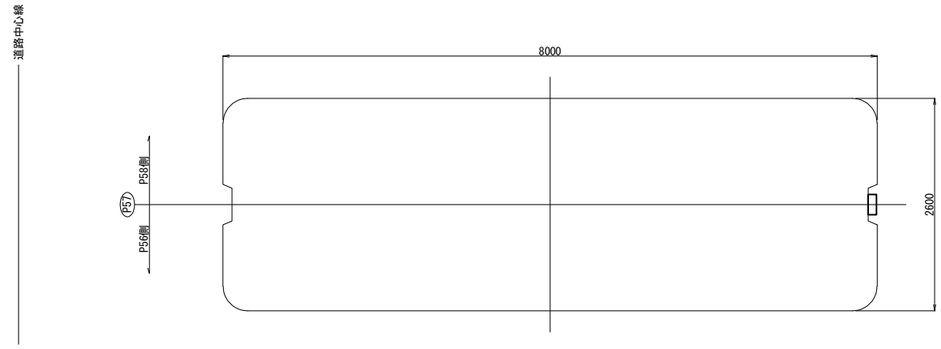
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-1	個	1
	T1-1	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB2	個	1
直　　管	P1	個	1
	P2	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	10.330
撤去重量		kg	280

凡例

▨ ：撤去

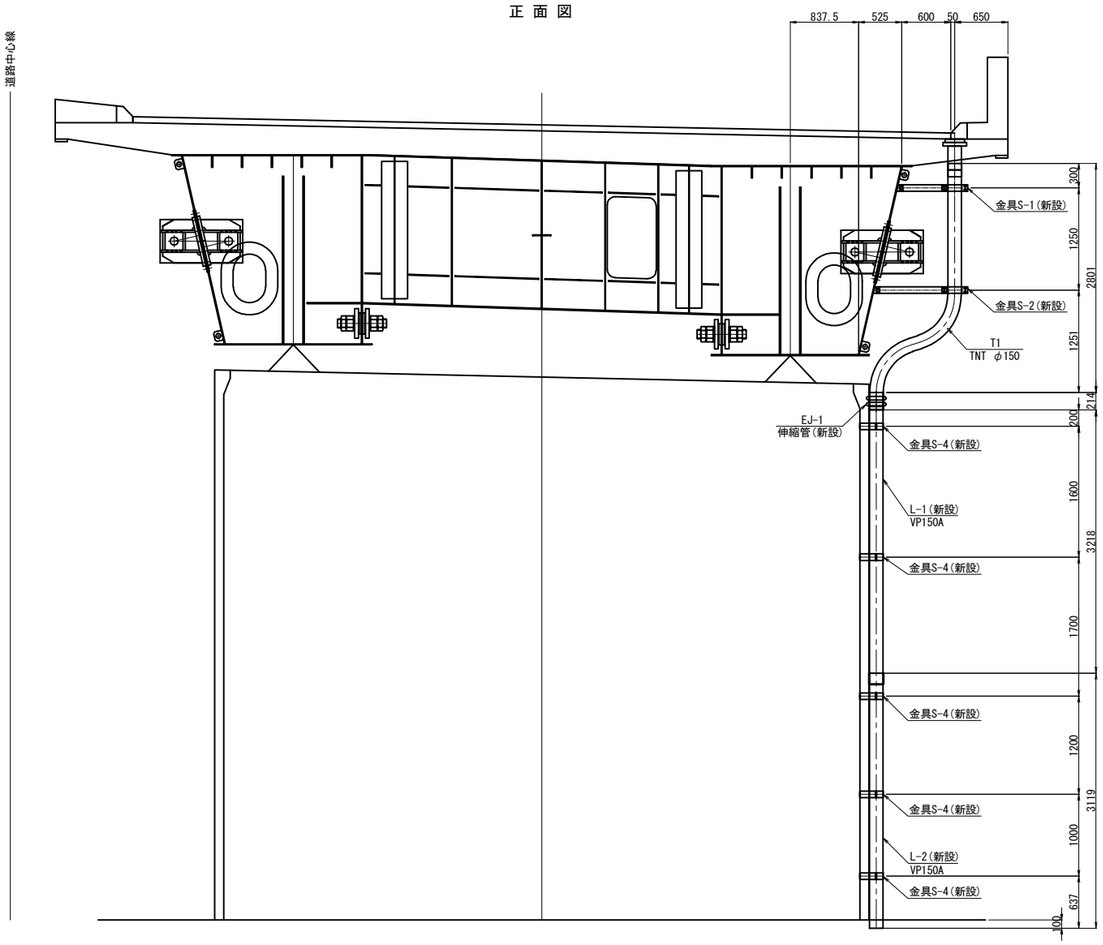
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P57橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　　尺	1:75
図面番号	147 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

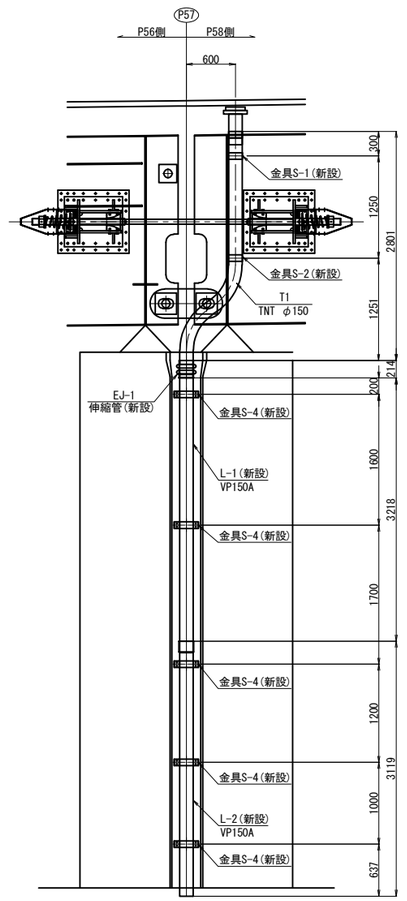
坂戸市場高架橋（上り線）P57橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

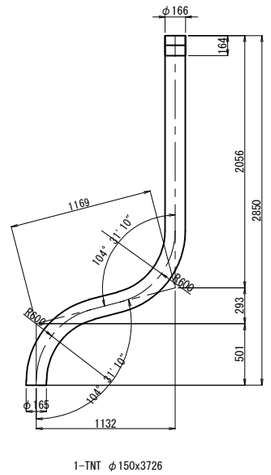
正 面 図



側 面 図

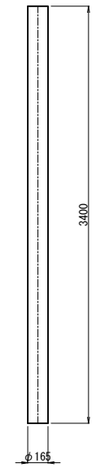


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



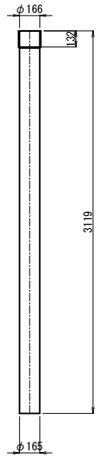
1-TNT φ150x3726

新設直管L-1 S=1/50



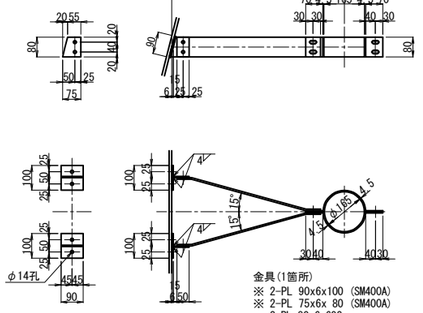
1-VP 150Ax3500

新設直管L-2 S=1/50

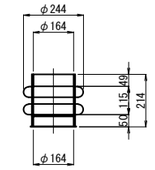


1-VP 150Ax3119

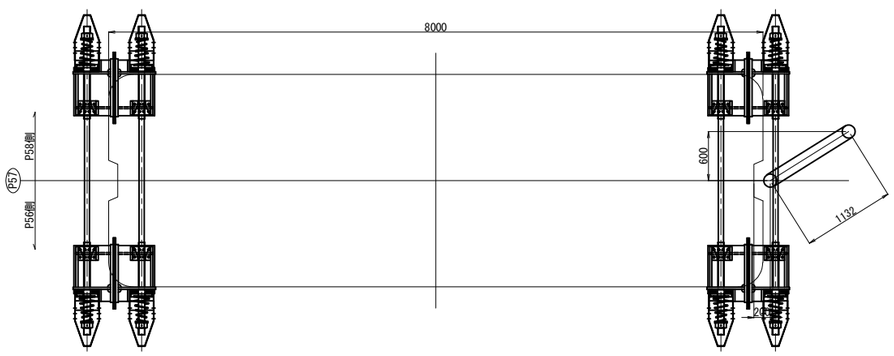
新設金具 S-1 S=1/25



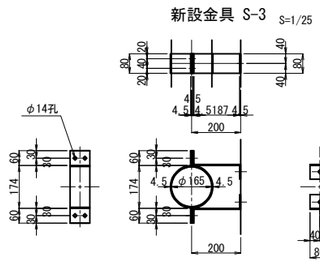
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

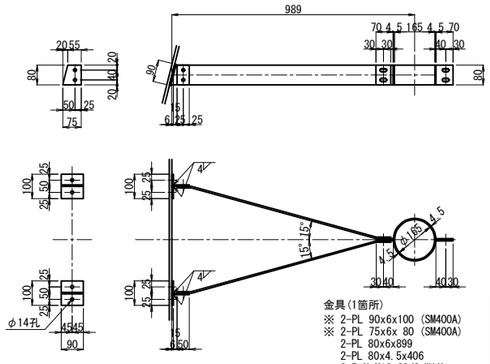


新設金具 S-3 S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設金具 S-2 S=1/25



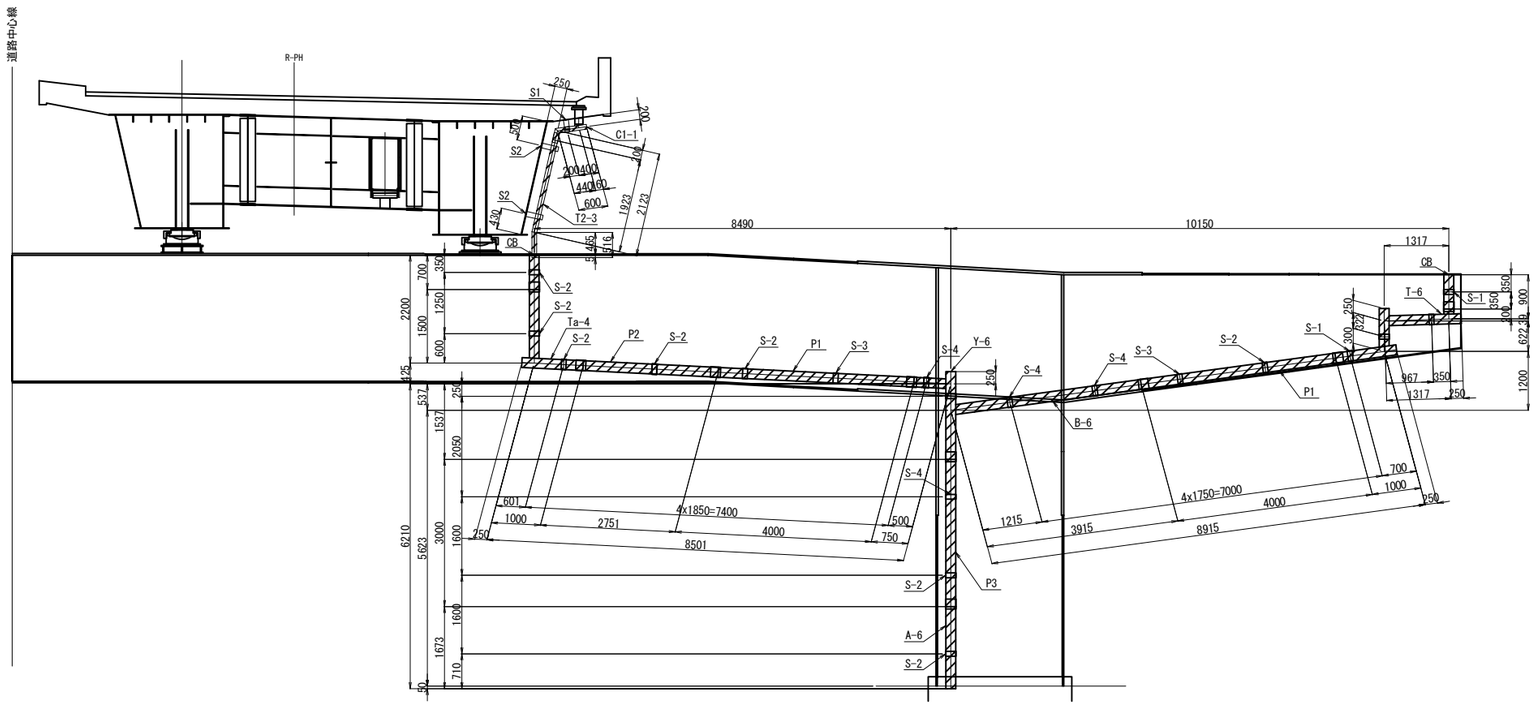
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P57橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	148 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

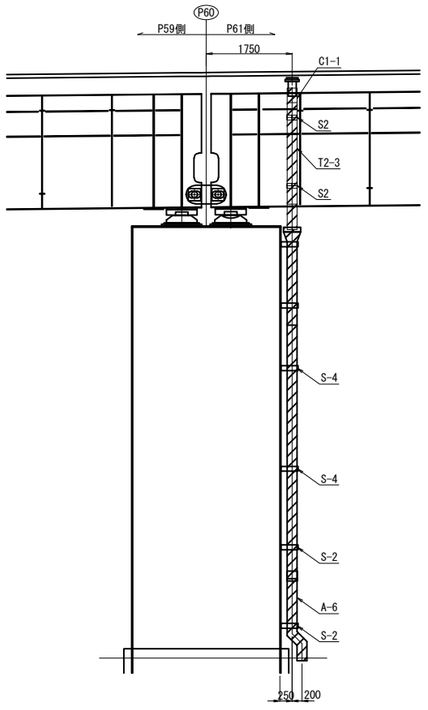
坂戸市場高架橋（上り線）P60橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

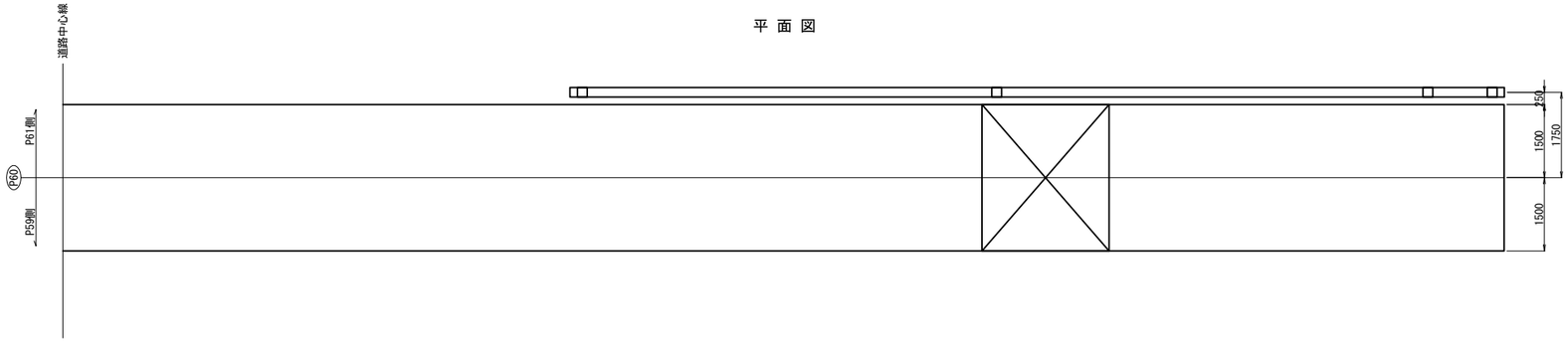
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-1	個	1
	T2-3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB	個	2
加 工 管	Ta-4	個	1
	Y-6	個	1
	A-6	個	1
	T-6	個	1
直　管	P1	個	2
	P2	個	1
	P3	個	1
	B-6	個	1
取付金具	S-1	個	4
	S-2	個	8
	S-3	個	2
	S-4	個	5
流水延長(鋼管)		m	31.976
撤去重量		kg	1456

凡例

▨ ：撤去

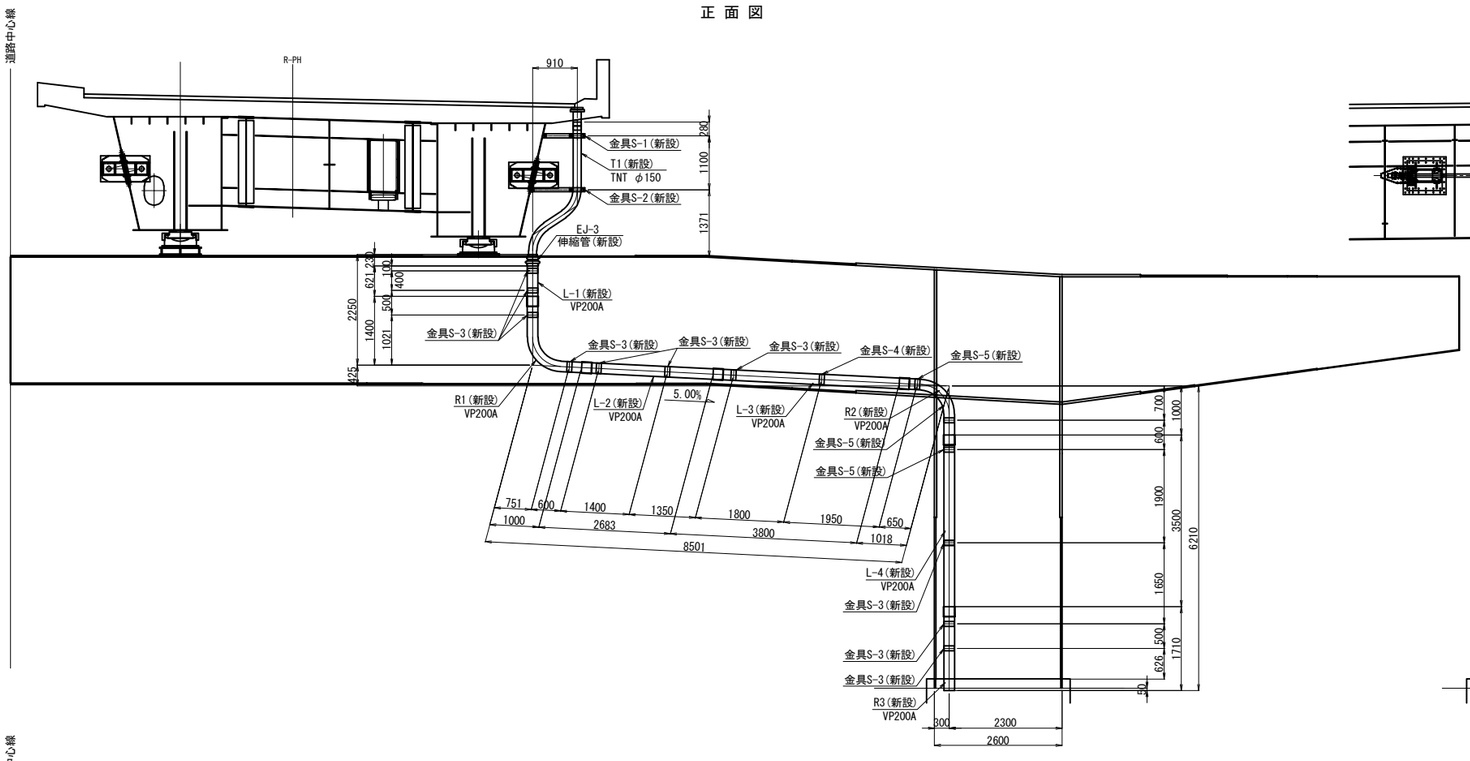
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P60橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	149 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

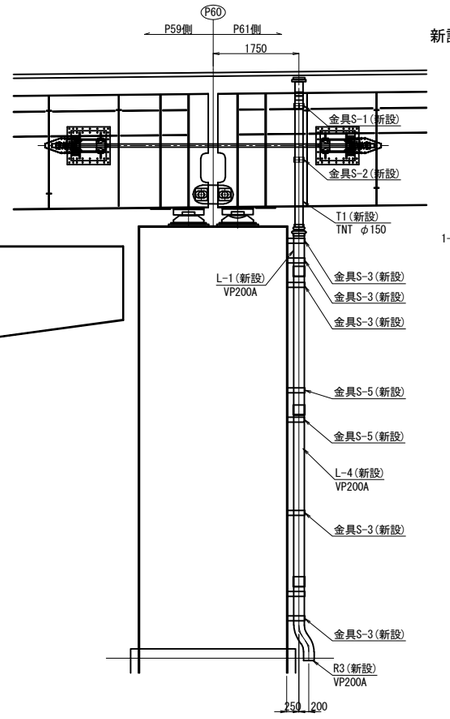
坂戸市場高架橋（上り線）P60橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

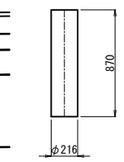
正面図



側面図

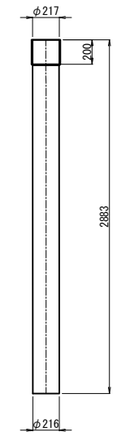


新設直管L-1 S=1/50



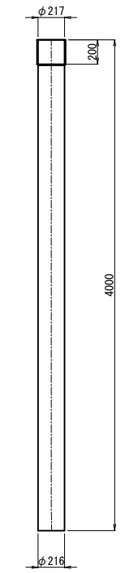
1-VP 200Ax870

新設直管L-2 S=1/50



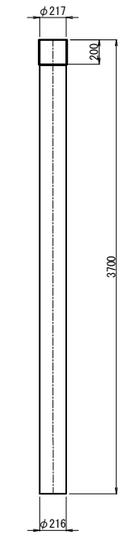
1-VP 200Ax2883

新設直管L-3 S=1/50



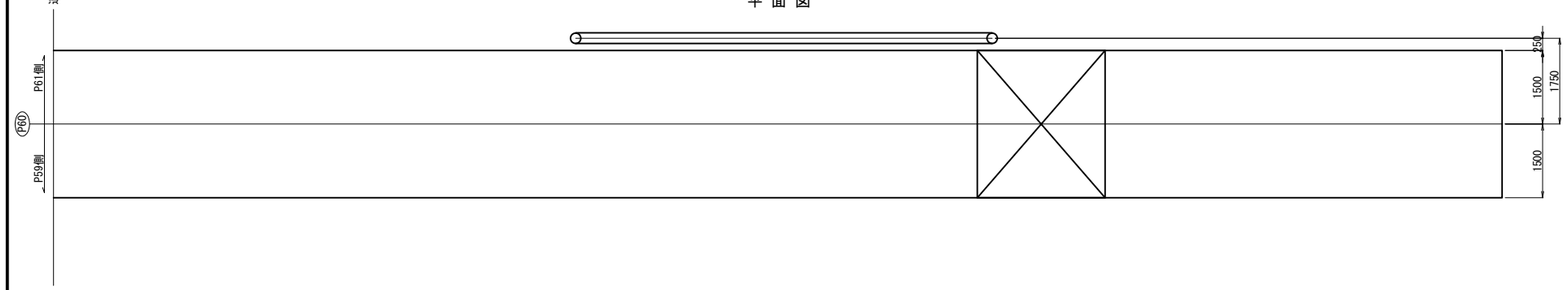
1-VP 200Ax4000

新設直管L-4 S=1/50

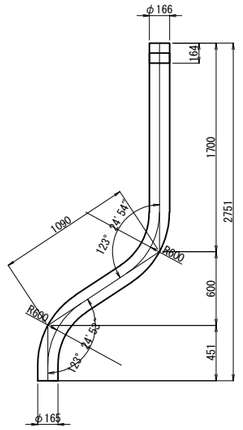


1-VP 200Ax3700

平面図

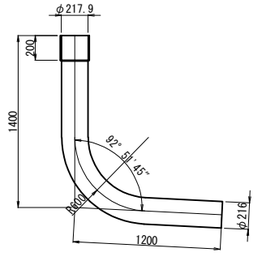


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



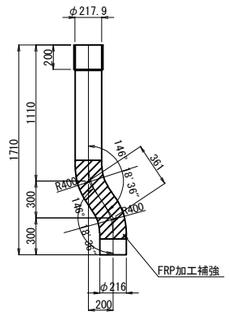
1-TNT φ150x3241

新設加工管 R1 S=1/50



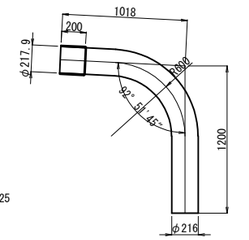
1-VP 200Ax2600

新設加工管 R3 S=1/50



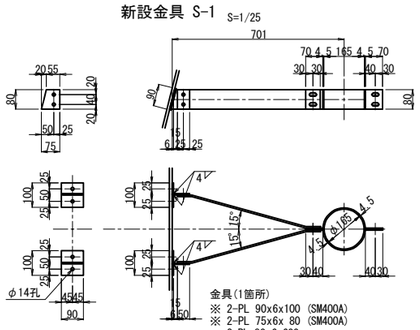
1-VP 200Ax1771

新設加工管 R2 S=1/50



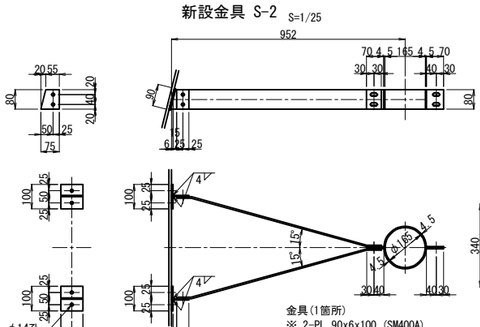
1-VP 200Ax2218

新設金具 S-1 S=1/25



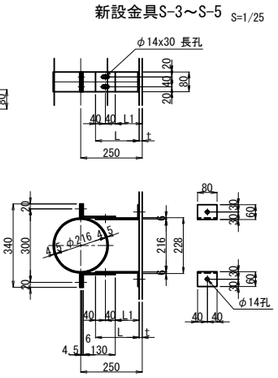
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x600
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x861
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具S-3～S-5 S=1/25

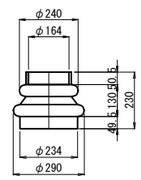


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数 n
S-3	23	87	167	221	45	10
S-4	30	80	160	214	50	1
S-5	48	62	142	196	70	3

※ S=(L-3)+57

新設伸縮管 EJ-3 S=1/25



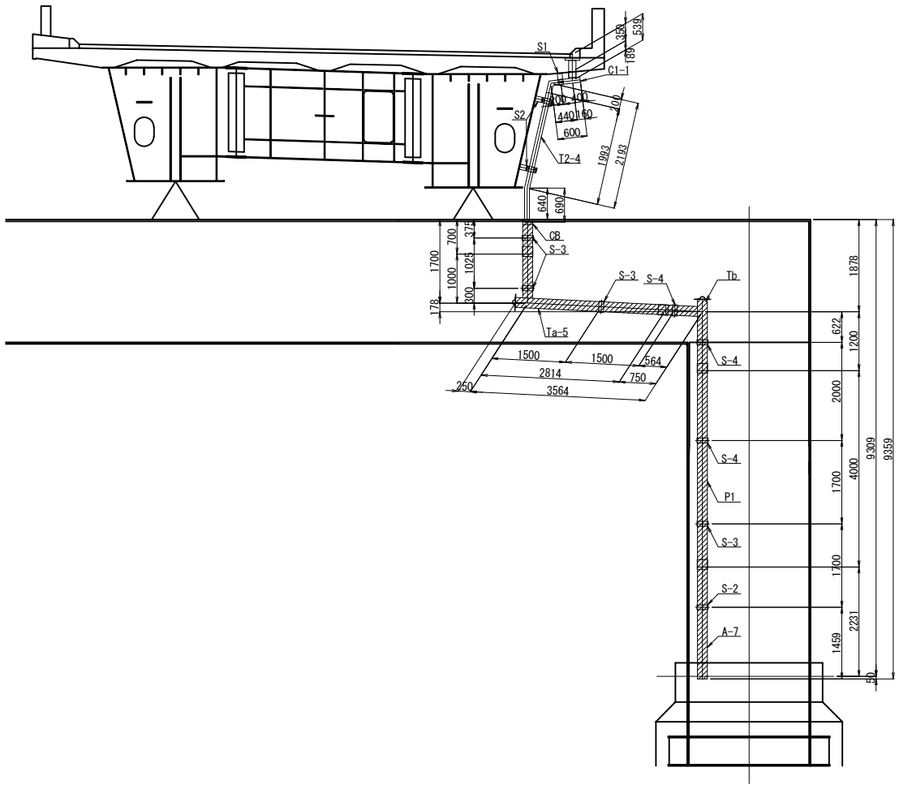
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとし、亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55 とする。
但し、ボルト・ナットおよび板厚 3.2mm未満の部材はHDZ35 とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P60橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	150 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

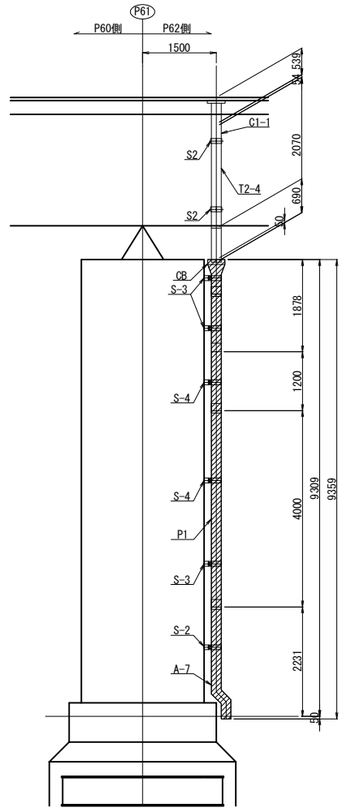
坂戸市場高架橋（上り線）P61橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

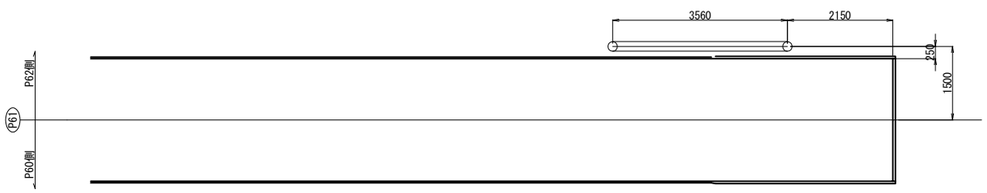
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	Ta-5	個	1
	Tb	個	1
直　管	P1	個	1
取付金具	S-2	個	1
	S-3	個	4
	S-4	個	3
加 工 管	A-7	個	1
流水延長(鋼管)		m	12.828
撤去重量		kg	607

凡例

：撤去

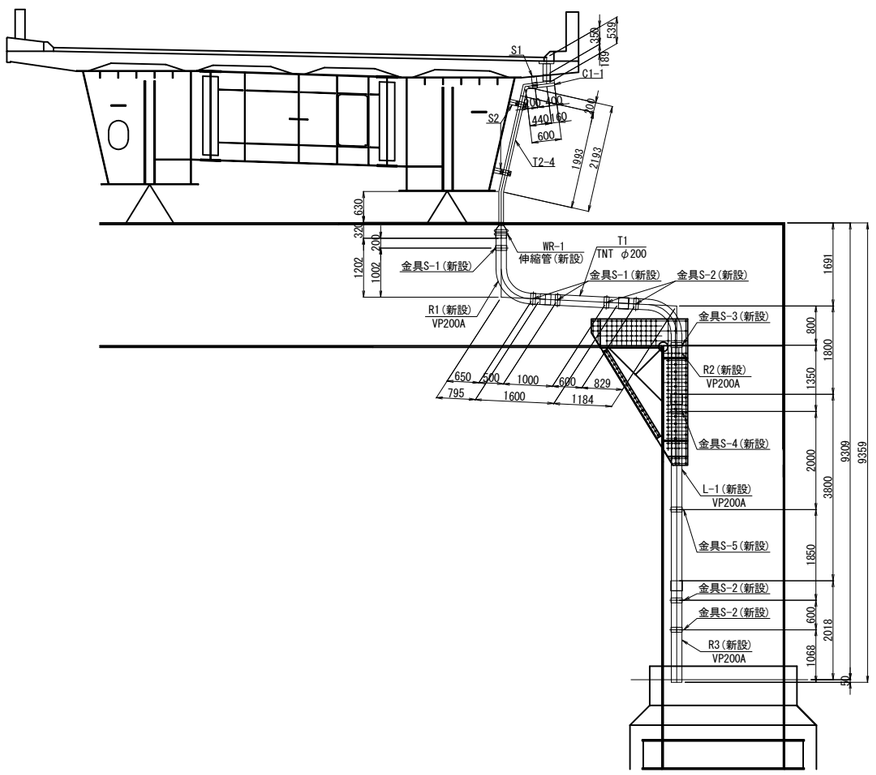
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P61橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	151 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

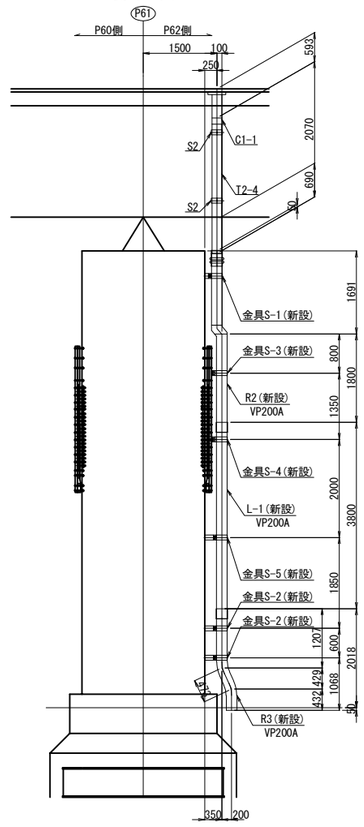
坂戸市場高架橋（上り線）P61橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

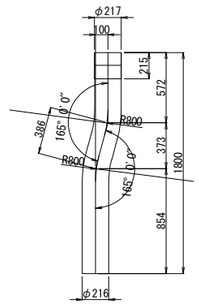
正 面 図



側 面 図

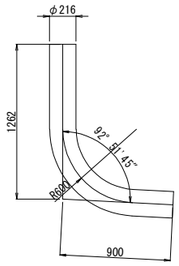


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



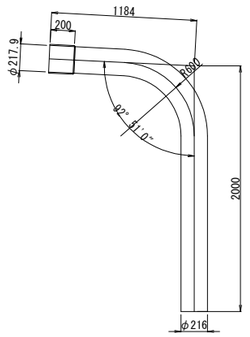
1-TNT φ200x1812

新設加工管R1 S=1/50



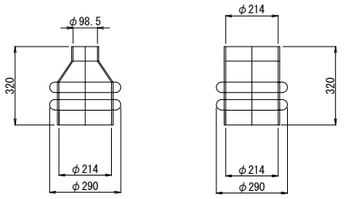
1-VP 200Ax2162

新設加工管R2 S=1/50

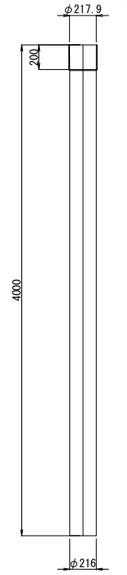


1-VP 200Ax3184

新設伸縮管 WR-1 S=1/25

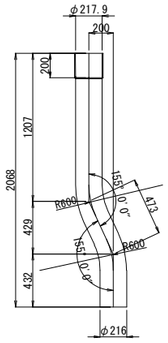


新設直管L-1 S=1/50



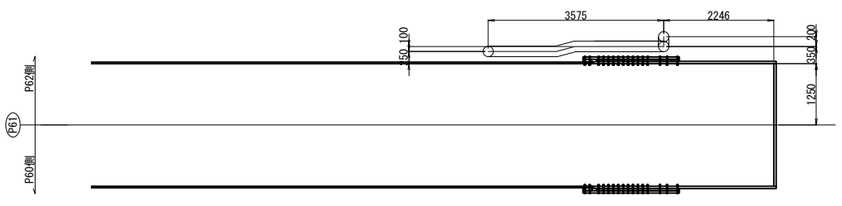
1-VP 200Ax4000

新設加工管R3 S=1/50

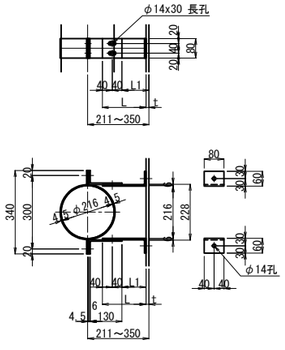


1-VP 200Ax2112

平 面 図



新設金具S-1～S-5 S=1/25



2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	30	80	160	214	60	3
S-2	23	187	267	321	50	4
S-3	172	71	151	205	200	1
S-4	139	71	151	205	165	1
S-5	30	180	260	314	60	1

※ S=(L-3)+57

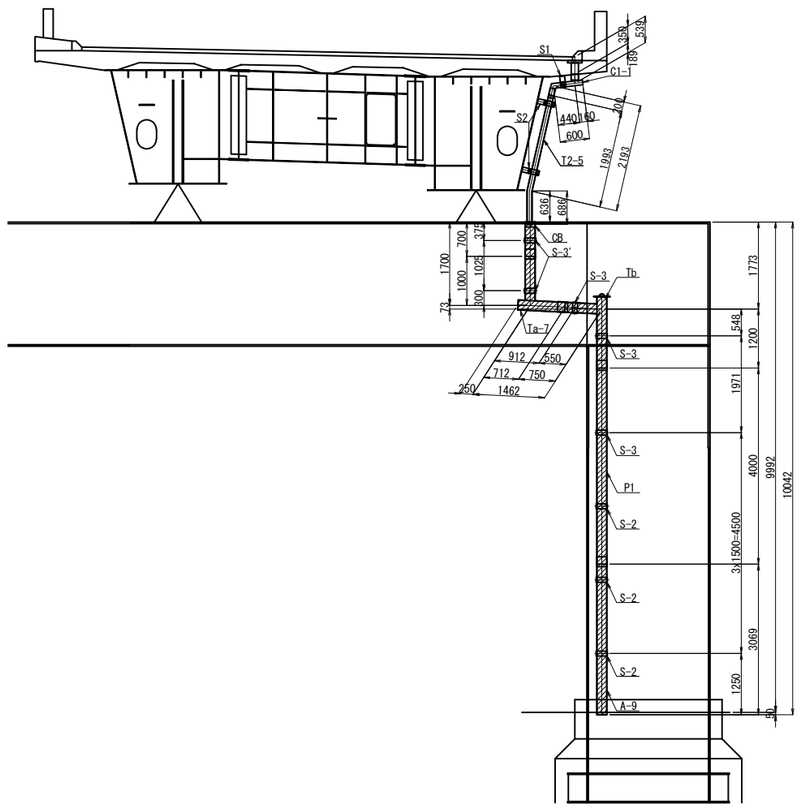
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P61橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	152 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

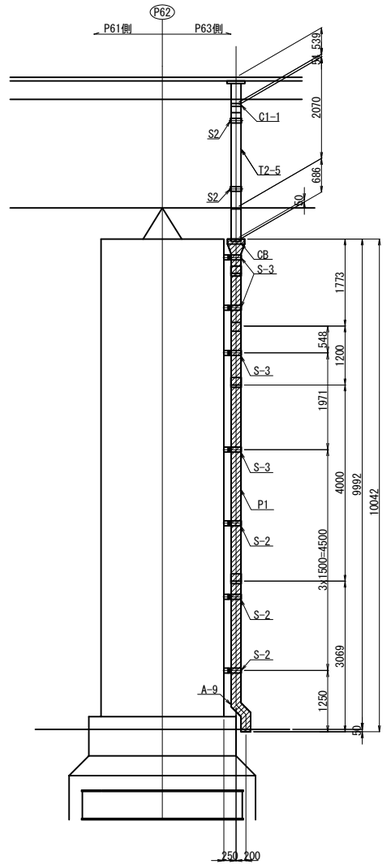
坂戸市場高架橋（上り線）P62橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

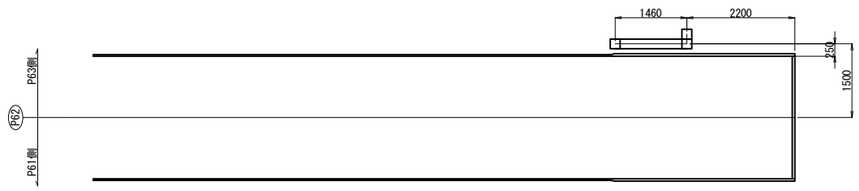
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	Ta-7	個	1
	Tb	個	1
直　管	P1	個	1
取付金具	S-2	個	3
	S-3'	個	2
	S-3	個	3
加 工 管	A-9	個	1
流水延長(鋼管)		m	11.514
撤去重量		kg	560

凡例

▨ ：撤去

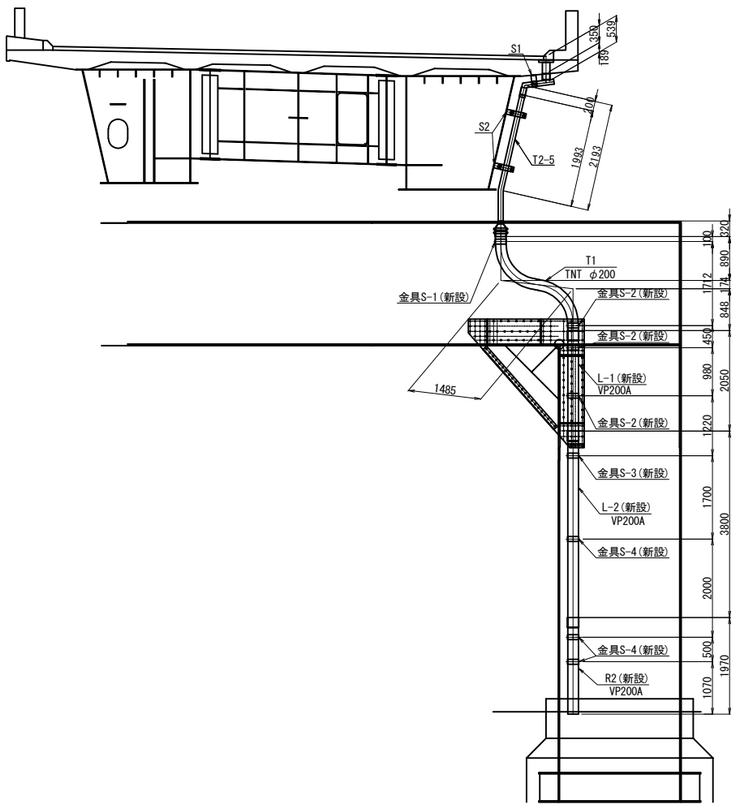
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P62橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	153 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

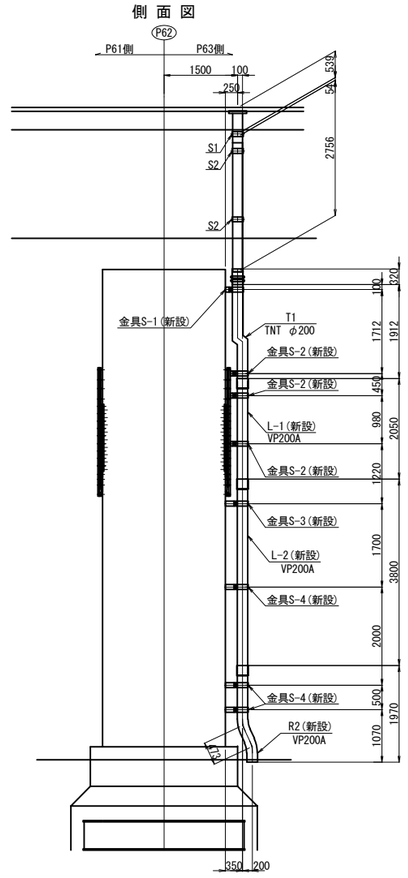
坂戸市場高架橋（上り線）P62橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

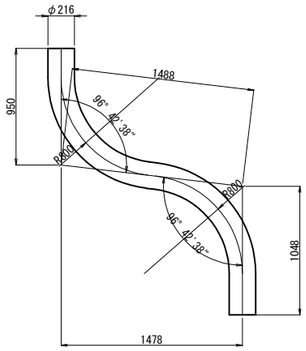
正 面 図



側 面 図

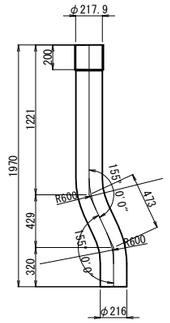


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



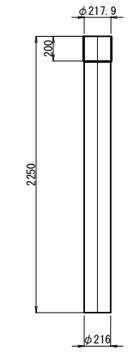
1-TNT φ200x3486

新設加工管R2 S=1/50



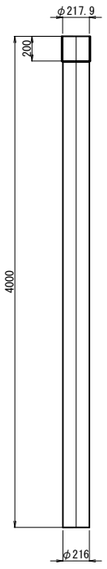
1-VP 200Ax1970

新設直管L-1 S=1/50



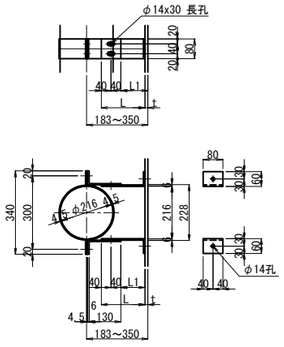
1-VP 200Ax2250

新設直管L-2 S=1/50



1-VP 200Ax4000

新設金具S-1～S-4 S=1/25

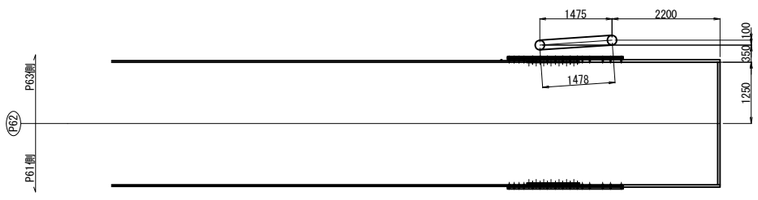


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

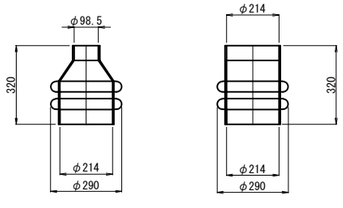
	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	30	80	160	214	60	1
S-2	121	111	191	245	150	3
S-3	30	180	260	314	60	1
S-4	23	187	267	321	50	3

※ S=(L-3)+57

平 面 図



新設伸縮管 WR-1 S=1/25



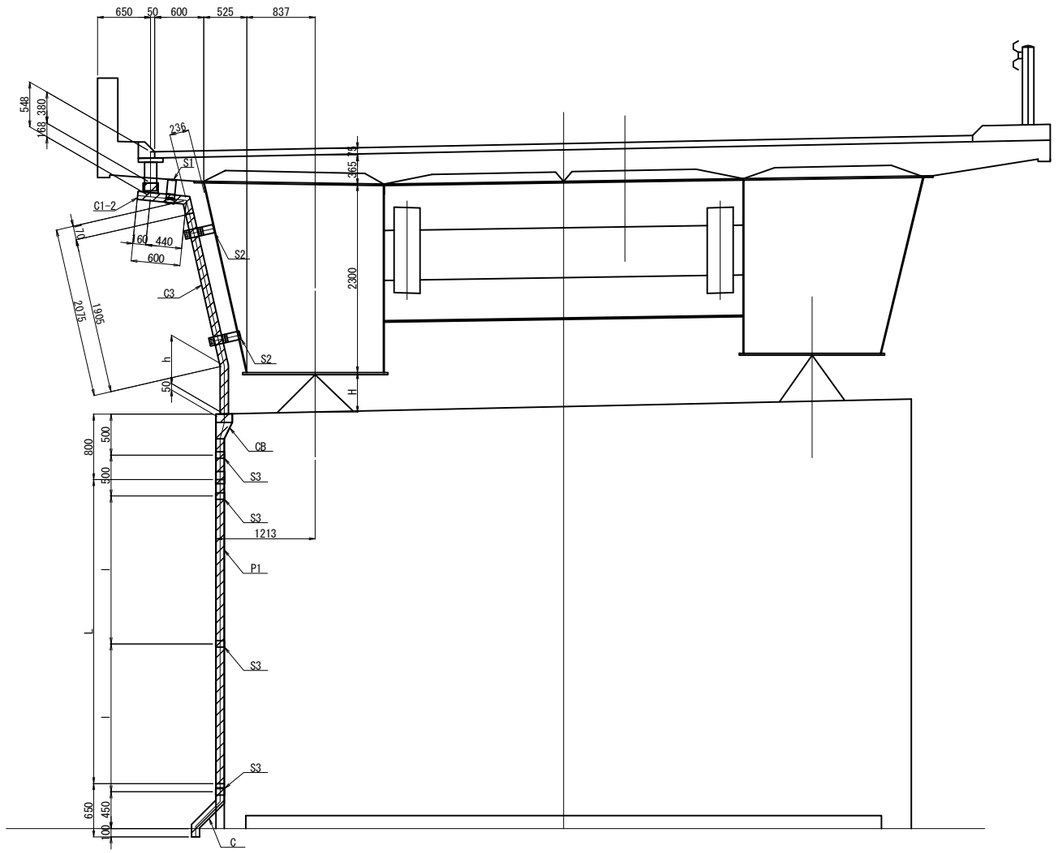
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P62橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	154 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

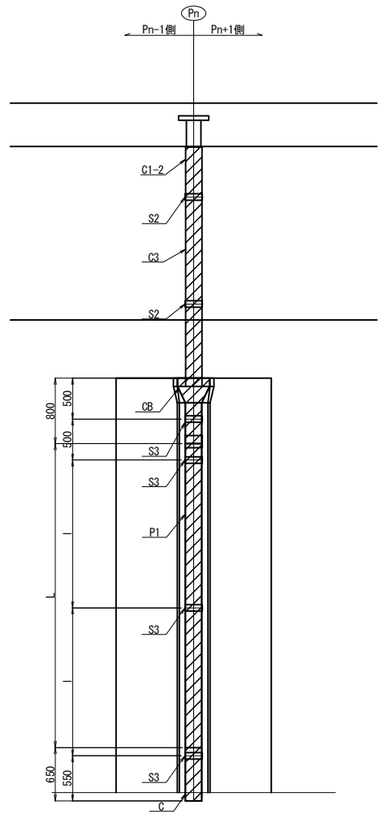
坂戸市場高架橋（下り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

正 面 図



側 面 図



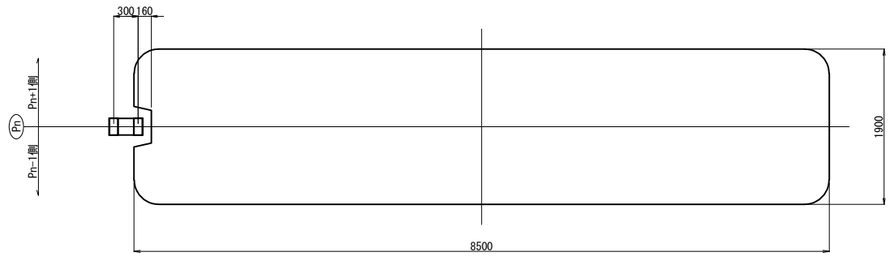
寸法表

	P54	P55
h	591	550
H	482	441
l	1808.5	1669.5
L	3717	3439

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	P54	P55
加 工 管	C1-2	個	1	1
	C3	個	1	1
取付金具	S1	個	1	1
	S2	個	2	2
受　　桝	CB	個	1	1
直　　管	P1	個	1	1
取付金具	S3	個	4	4
加 工 管	C	個	1	1
流水延長(鋼管)		m	8.565	8.246
撤去重量		kg	234	227

平 面 図



凡例

▨ ：撤去

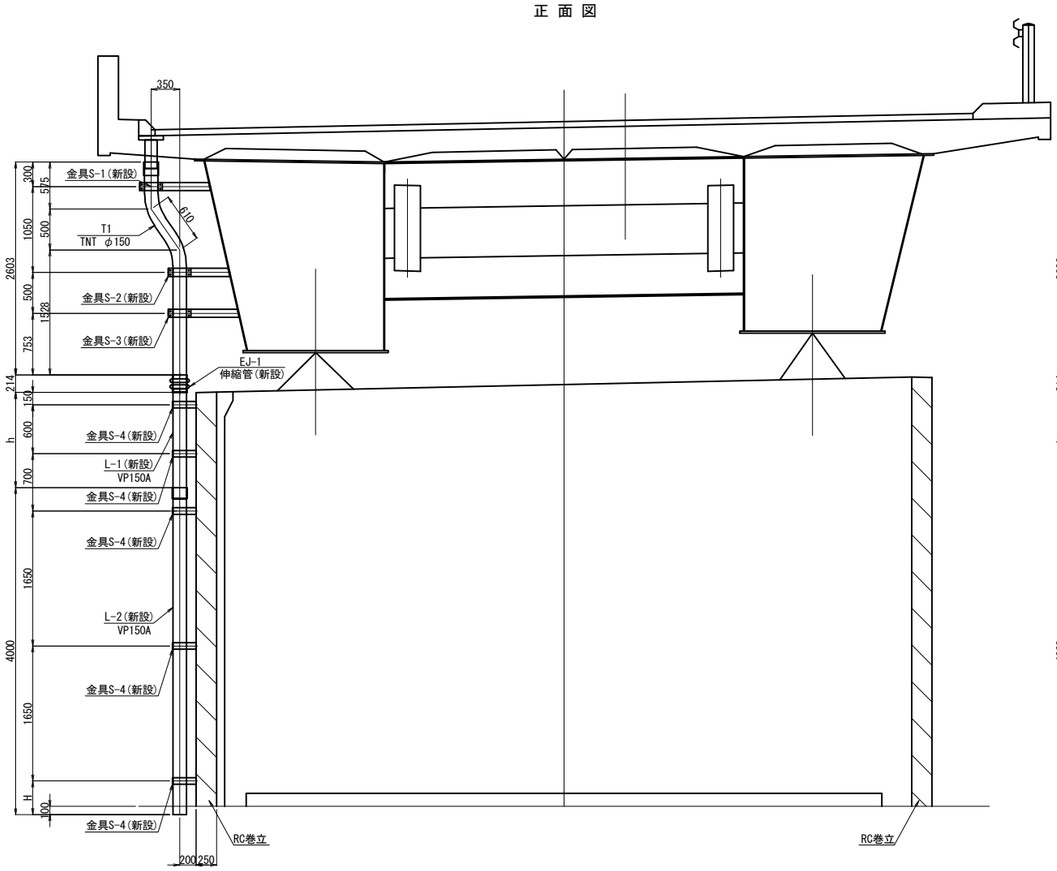
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P54,P55橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	155 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

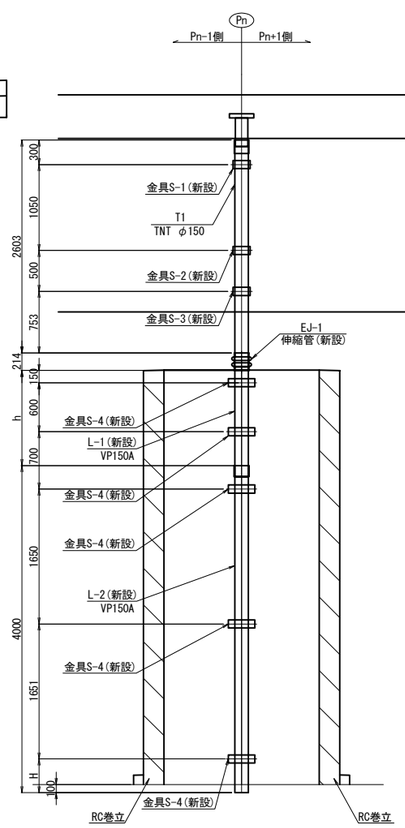
坂戸市場高架橋（下り線）P54,P55橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

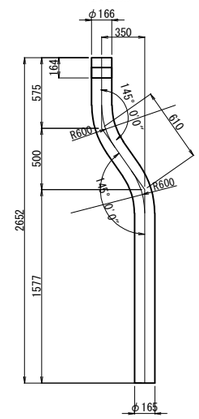
正 面 図



側 面 図

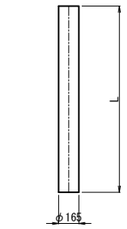


新設フレキシブル管 T1 S=1/50
(各1箇所)



1-TNT φ150x2762

新設直管L-1 S=1/50
(各1箇所)

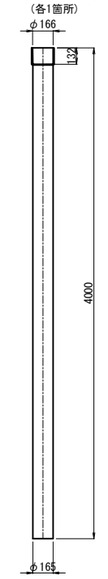


1-VP 150Ax L

L-1寸法表

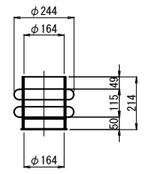
	P54	P55
L	1345	1067

新設直管L-2 S=1/50
(各1箇所)

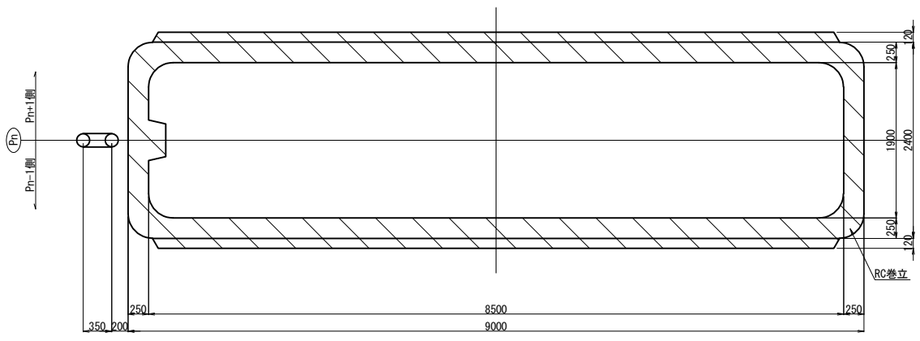


1-VP 150Ax4000

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



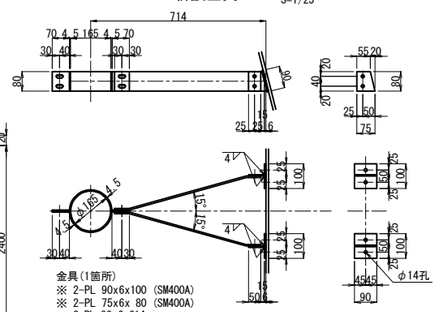
平 面 図



寸法表

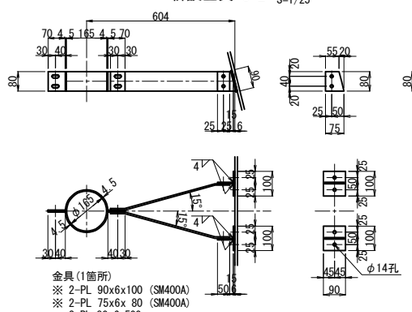
	P54	P55
h	1163	885
H	413	135

新設金具 S-1 S=1/25



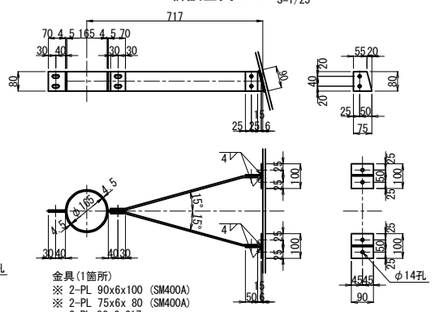
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x614
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



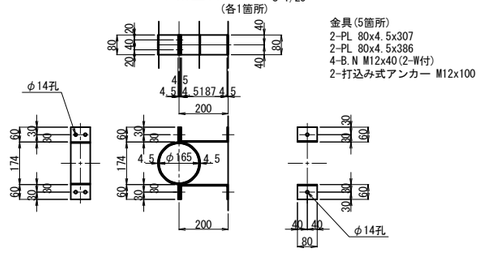
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x500
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x617
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25
(各1箇所)



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

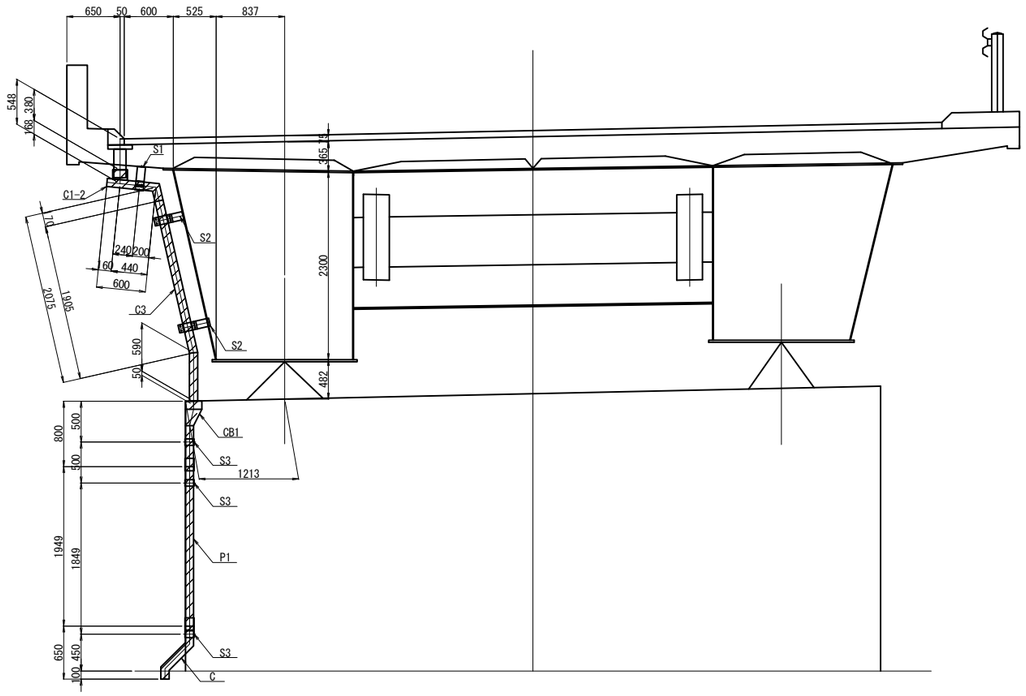
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P54,P55橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	156 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

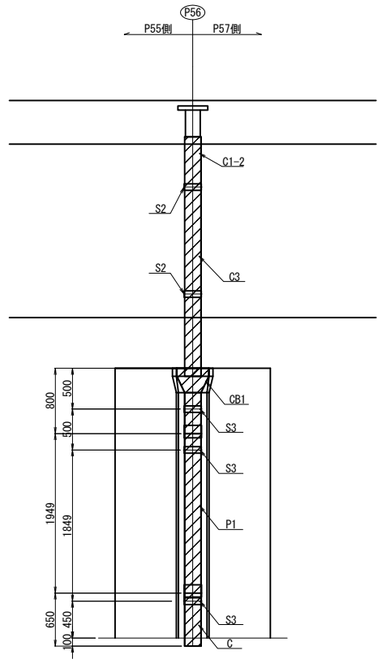
坂戸市場高架橋（下り線）P56橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

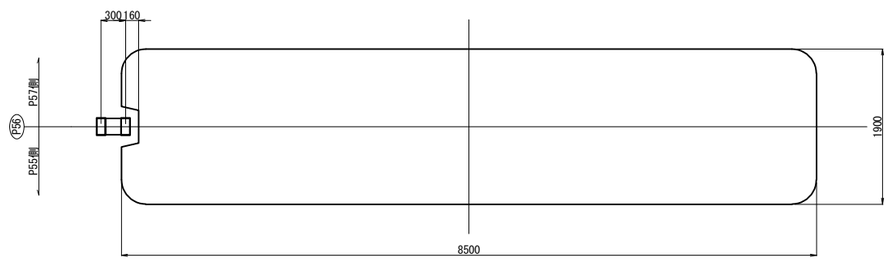
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-2	個	1
	C3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB1	個	1
直　　管	P1	個	1
取付金具	S3	個	3
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	6.796
撤去重量		kg	198

凡例

▨ ：撤去

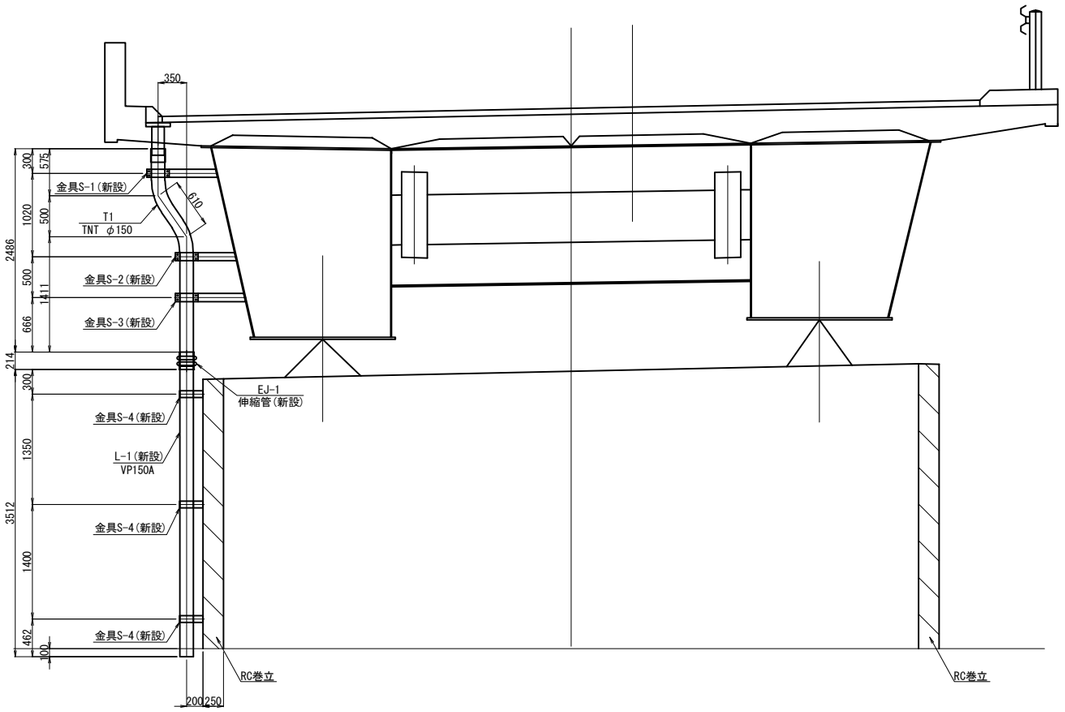
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P56橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	157 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

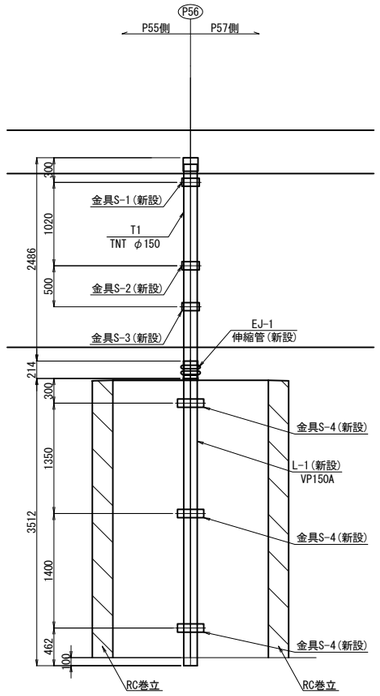
坂戸市場高架橋（下り線）P56橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

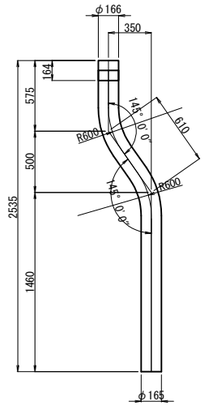
正 面 図



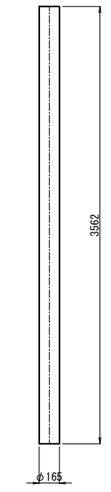
側 面 図



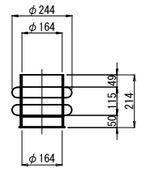
新設フレキシブル管 T1 S=1/50



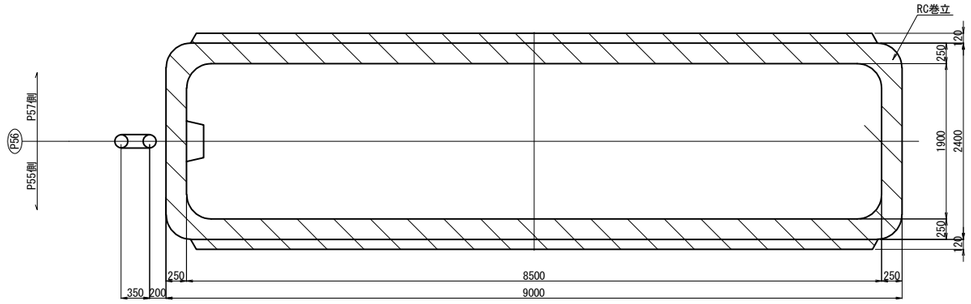
新設直管L-1 S=1/50



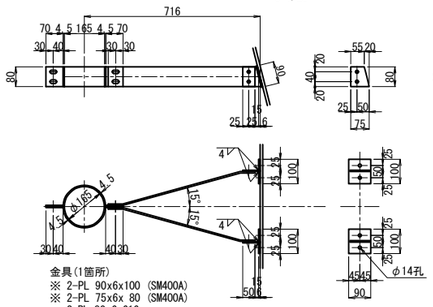
新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



平 面 図

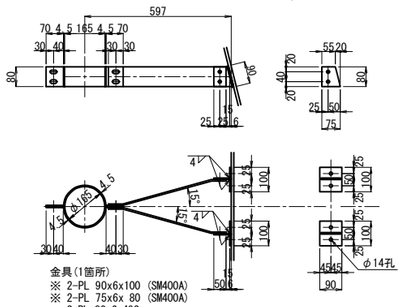


新設金具 S-1 S=1/25



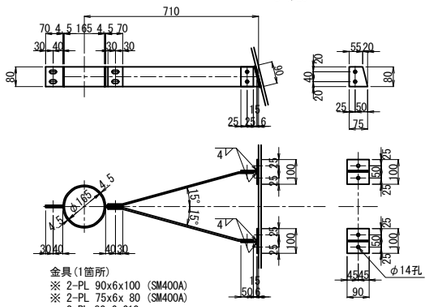
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x616
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



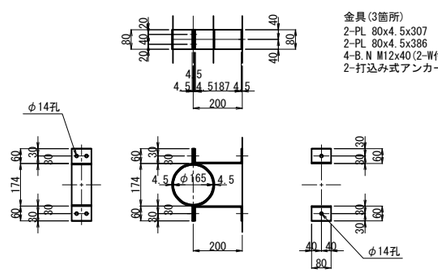
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x492
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x610
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4 S=1/25



金具(3箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

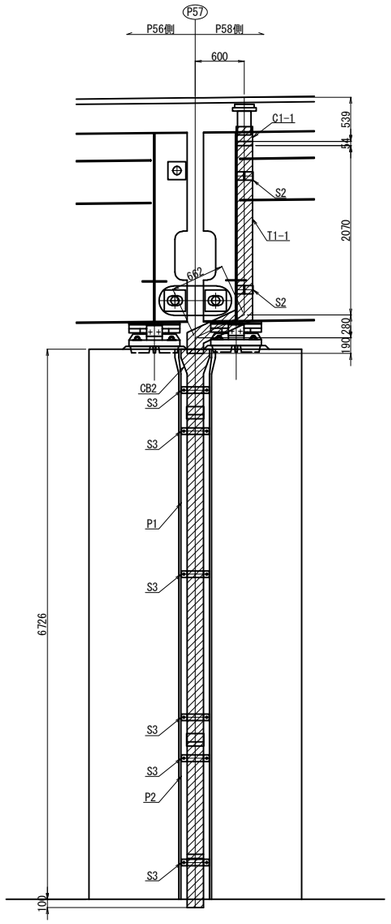
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P56橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	158 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

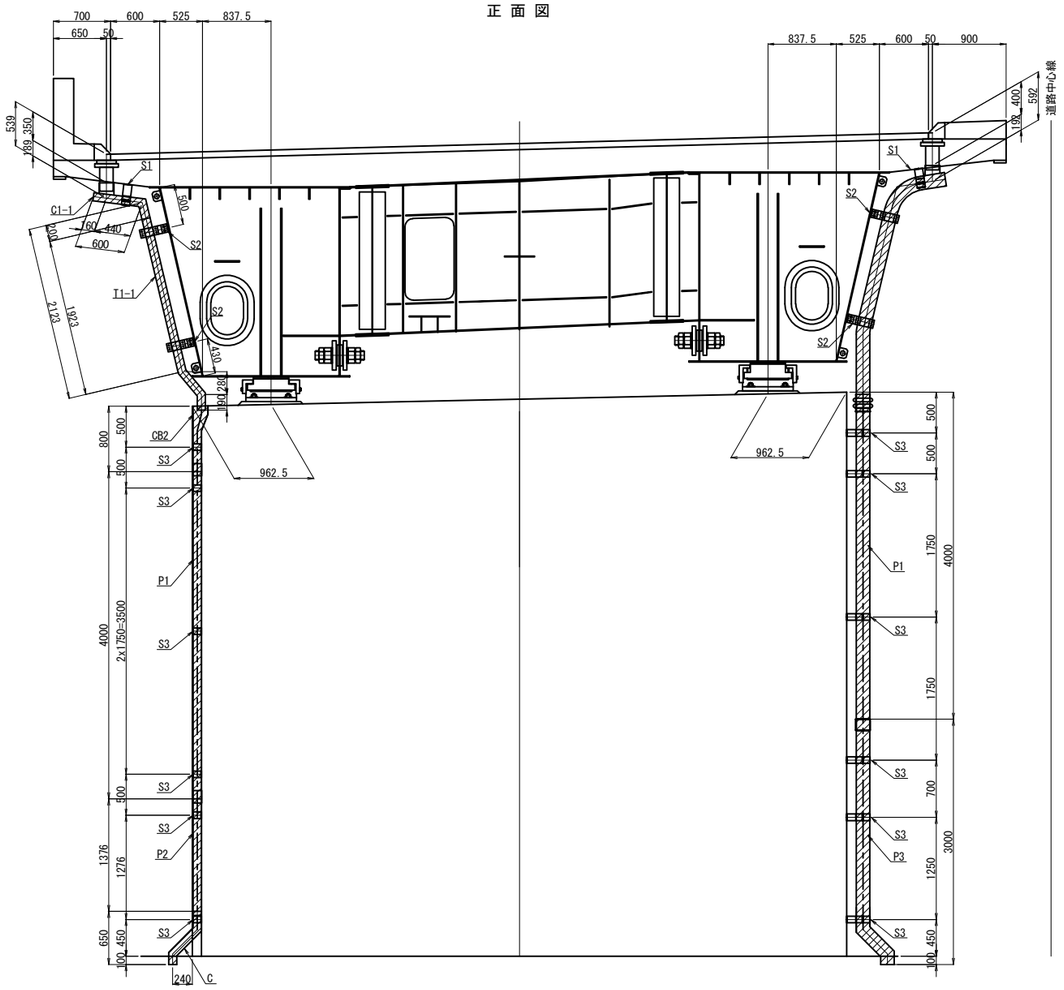
坂戸市場高架橋（下り線）P57橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/75

撤去工　排水管B

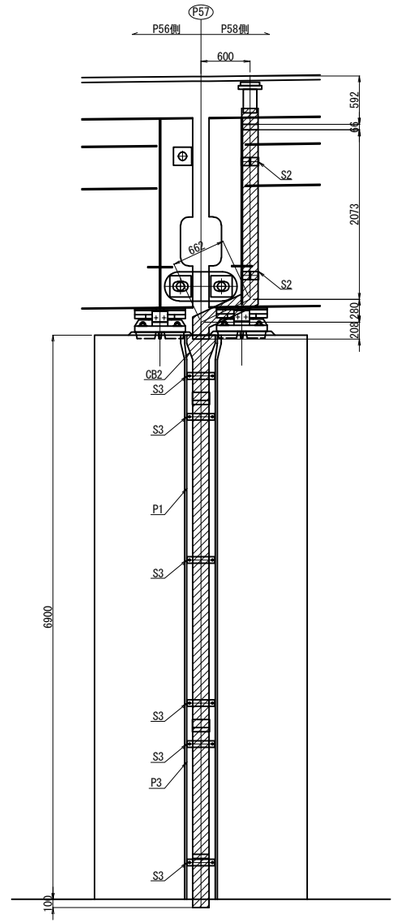
側 面 図
(L側)



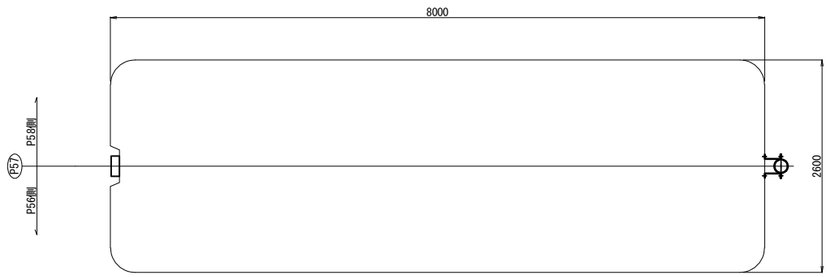
正 面 図



側 面 図
(R側)



平 面 図



道路中心線

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	本数
加 工 管	C1-1	個	1
	T1-1	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB2	個	1
直　　管	P1	個	1
	P2	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	10.504

撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-2	個	1
	T1-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB2	個	1
直　　管	P1	個	1
	P3	個	1
取付金具	S3	個	6
加 工 管	C	個	1
流水延長(鋼管)		m	10.701
撤去重量		kg	575

注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

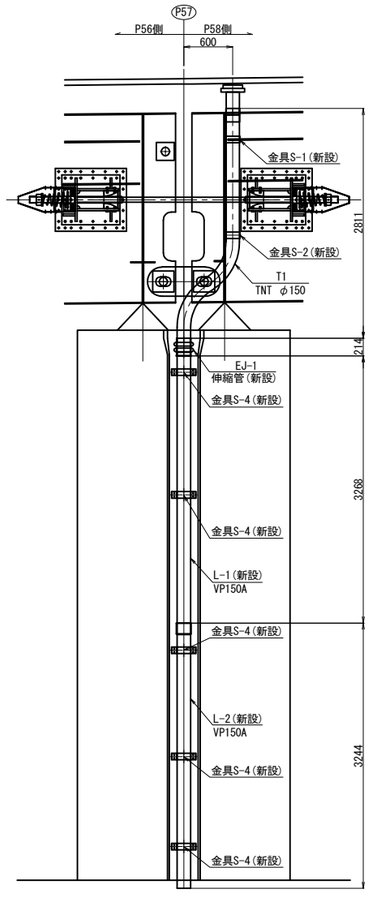
凡例
：撤去

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P57橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:75	図面番号	159 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

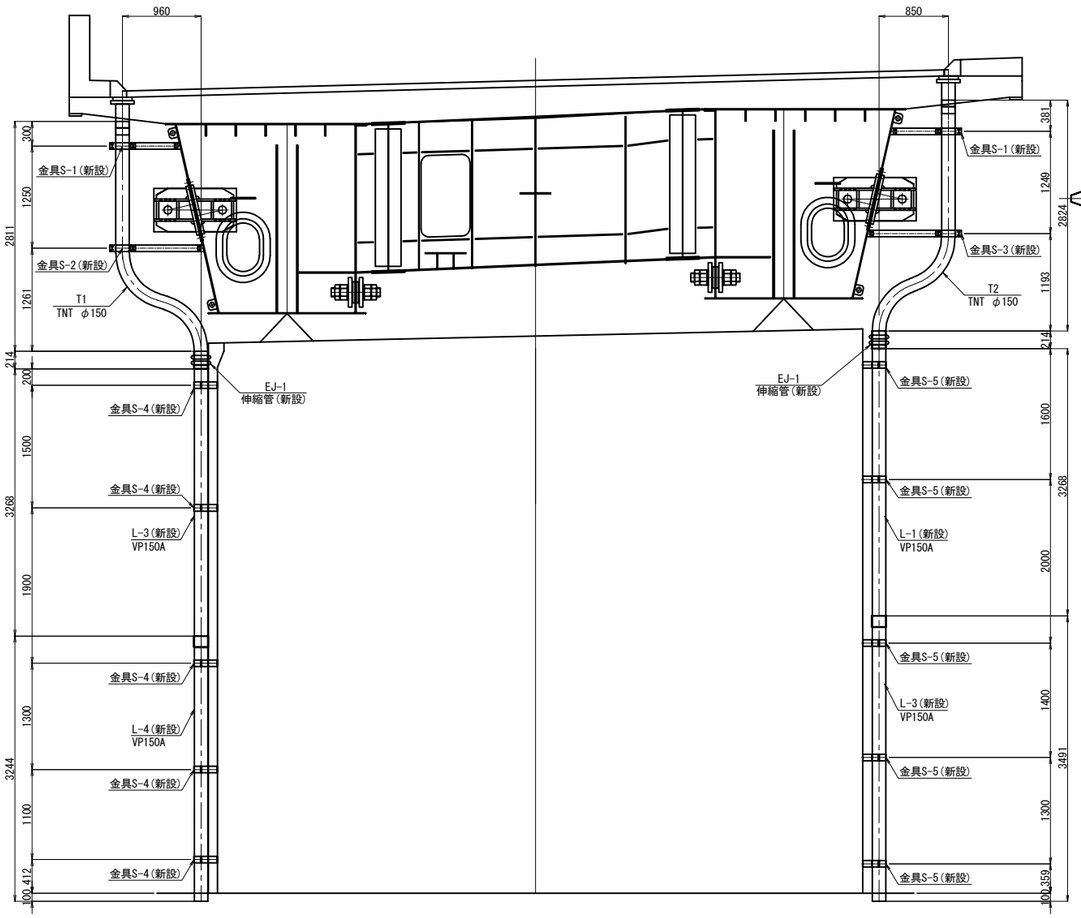
坂戸市場高架橋（下り線）P57橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/75

設置工　排水管A

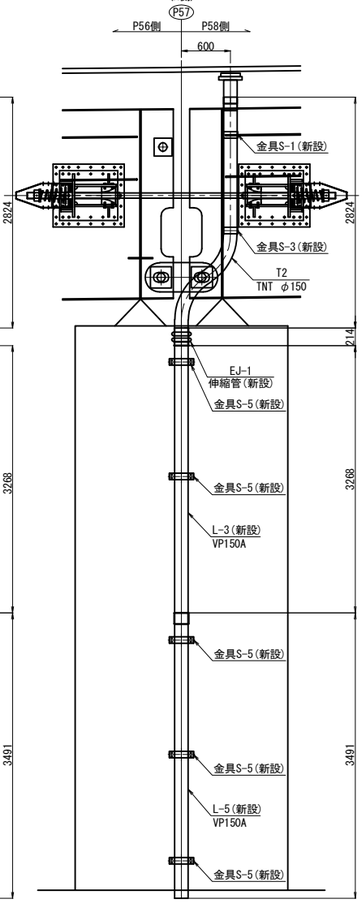
側 面 図 (L側)



正 面 図

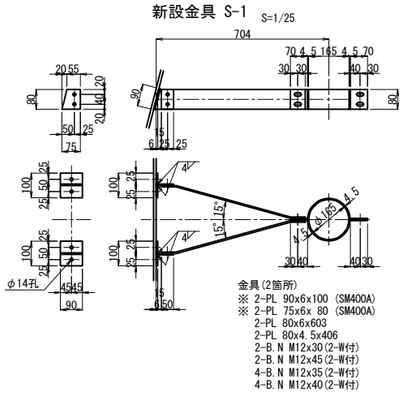


側 面 図 (R側)



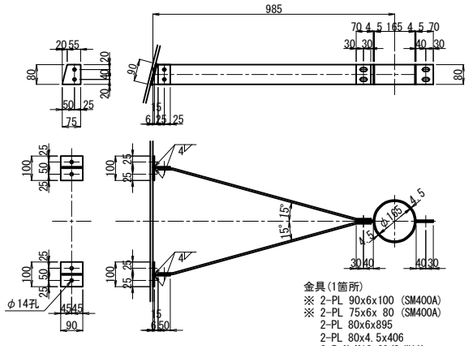
平 面 図

新設金具 S-1 S=1/25



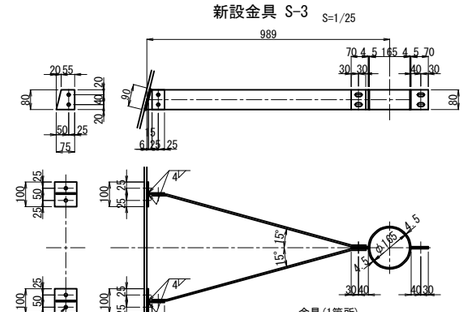
金具(2箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x603
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



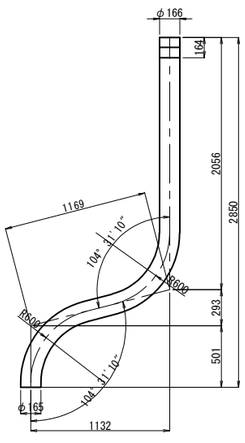
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x895
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-3 S=1/25



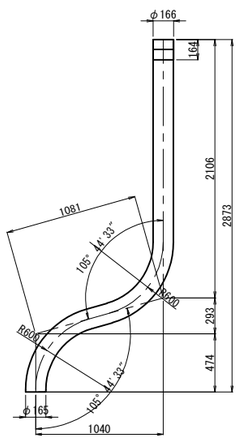
金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x899
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



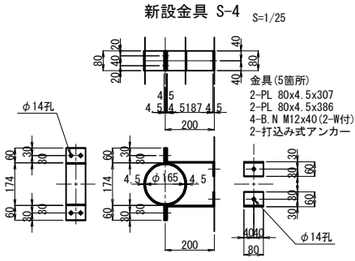
1-TNT φ150x3726

新設フレキシブル管 T2 S=1/50



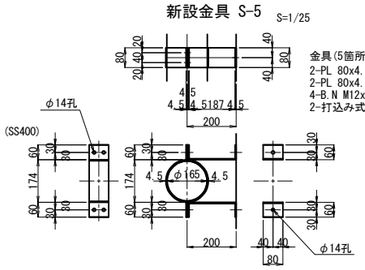
1-TNT φ150x3661

新設金具 S-4 S=1/25



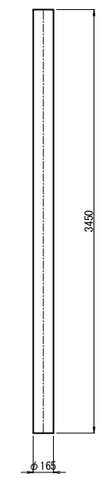
金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付) (SS400)
2-打込み式アンカー M12x100 (SS400)

新設金具 S-5 S=1/25



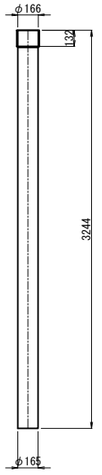
金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

新設直管L-1 S=1/50



2-VP 150Ax3450

新設直管L-2 S=1/50

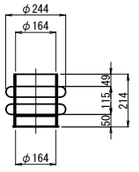


1-VP 150Ax3244

新設直管L-3 S=1/50

1-VP 150Ax3491

新設伸縮管 EJ-1 S=1/25



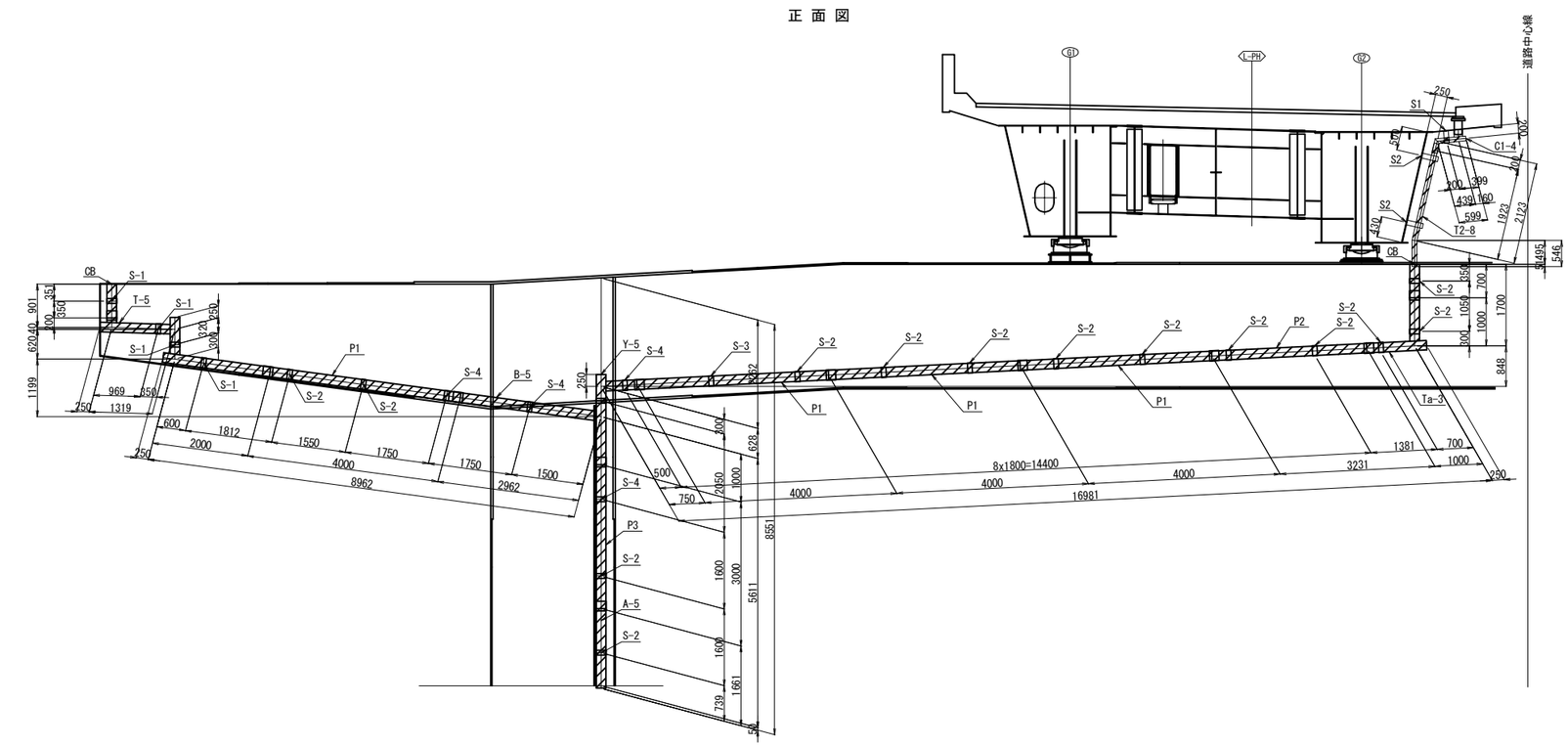
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P57橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	160 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

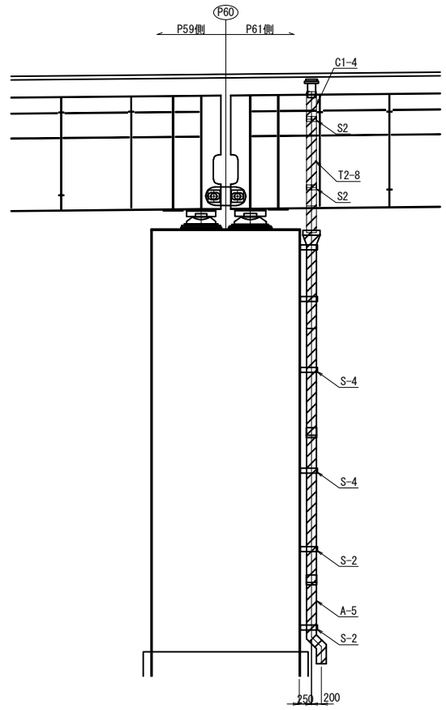
坂戸市場高架橋（下り線）P60橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

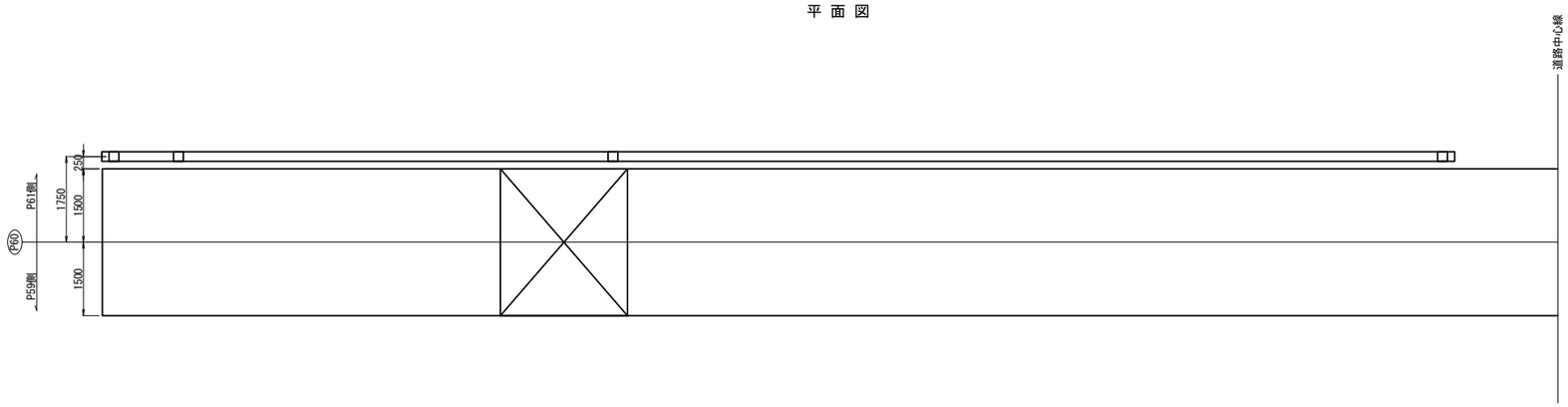
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-4	個	1
	T2-8	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB	個	2
加 工 管	Ta-3	個	1
	Y-5	個	1
	A-5	個	1
	T-5	個	1
直　管	P1	個	4
	P2	個	1
	P3	個	1
	B-5	個	1
取付金具	S-1	個	4
	S-2	個	14
	S-3	個	1
	S-4	個	5
流水延長(鋼管)		m	40.112
撤去重量		kg	1798

凡例

▨ ：撤去

注記

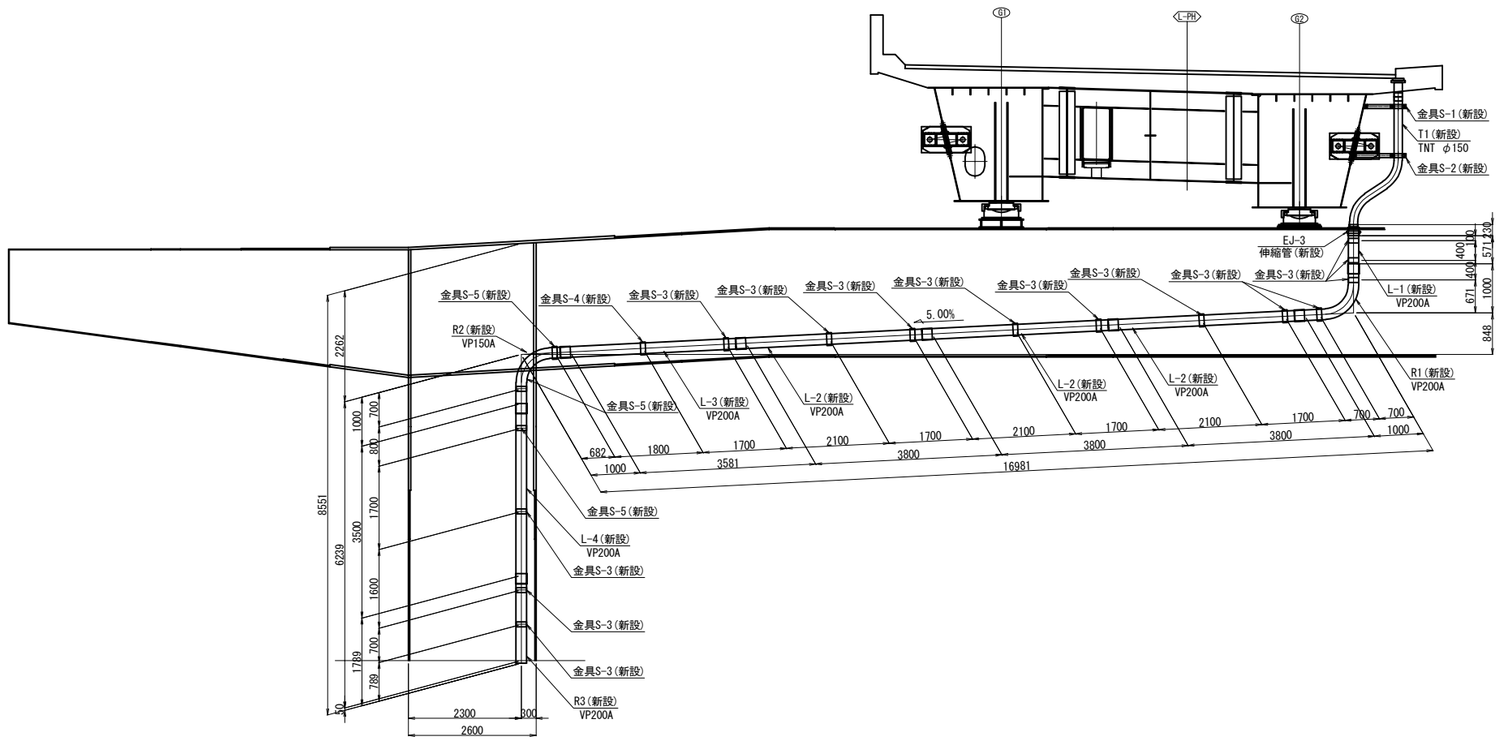
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P60橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	161 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

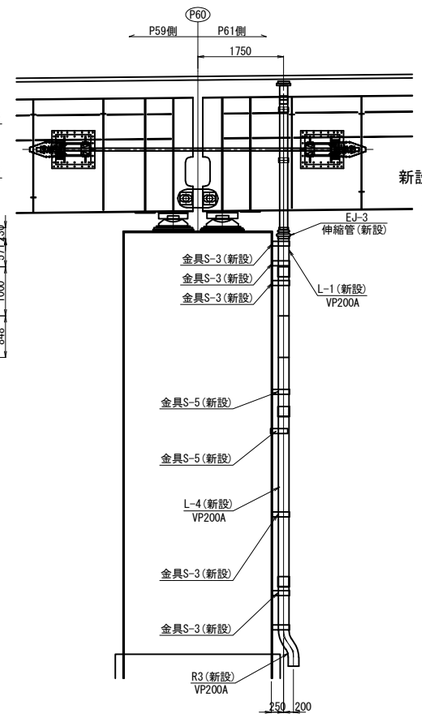
坂戸市場高架橋（下り線）P60橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

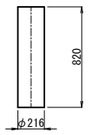
正 面 図



側 面 図

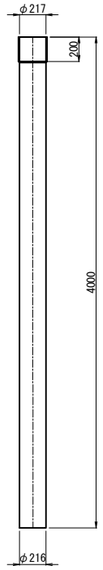


新設直管L-1 S=1/50



1-VP 200Ax820

新設直管L-2 S=1/50

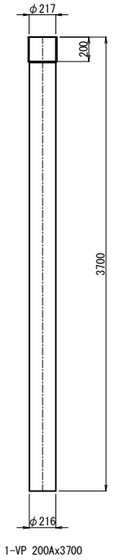


3-VP 200Ax4000

新設直管L-2 S=1/50

1-VP 200Ax3781

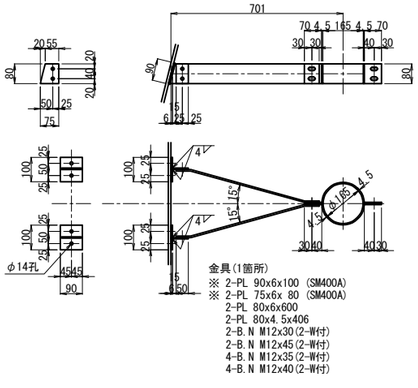
新設直管L-4 S=1/50



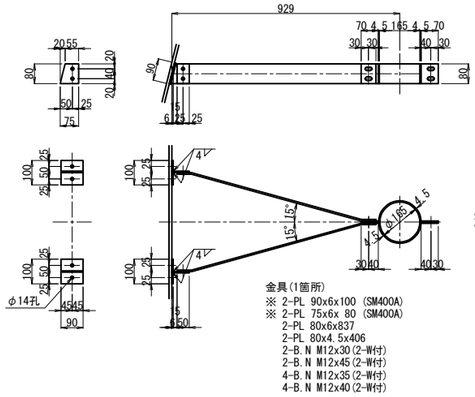
1-VP 200Ax3700

平 面 図

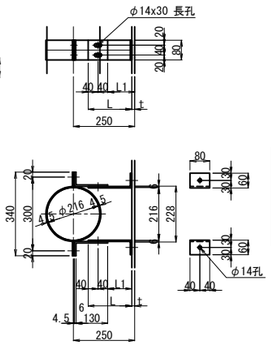
新設金具 S-1 S=1/25



新設金具 S-2 S=1/25



新設金具S-3～S-5 S=1/25

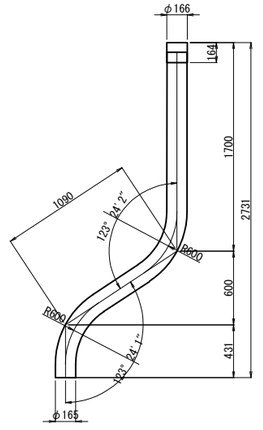


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数 n
S-3	23	87	167	221	45	14
S-4	30	80	160	214	50	1
S-5	48	62	142	196	70	3

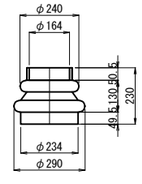
※ S=(L-3)+57

新設フレキシブル管 T1 S=1/50

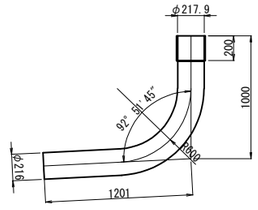


1-TNT φ150x3221

新設伸縮管 EJ-3 S=1/25

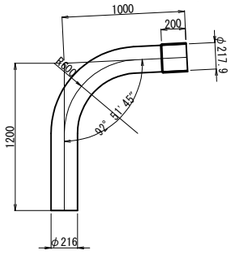


新設加工管 R1 S=1/50



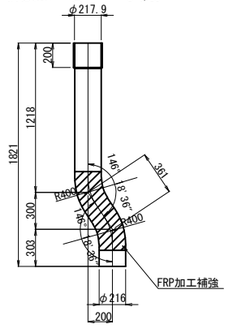
1-VP 200Ax2201

新設加工管 R2 S=1/50



1-VP 200Ax2200

新設加工管 R3 S=1/50



1-VP 200Ax1882

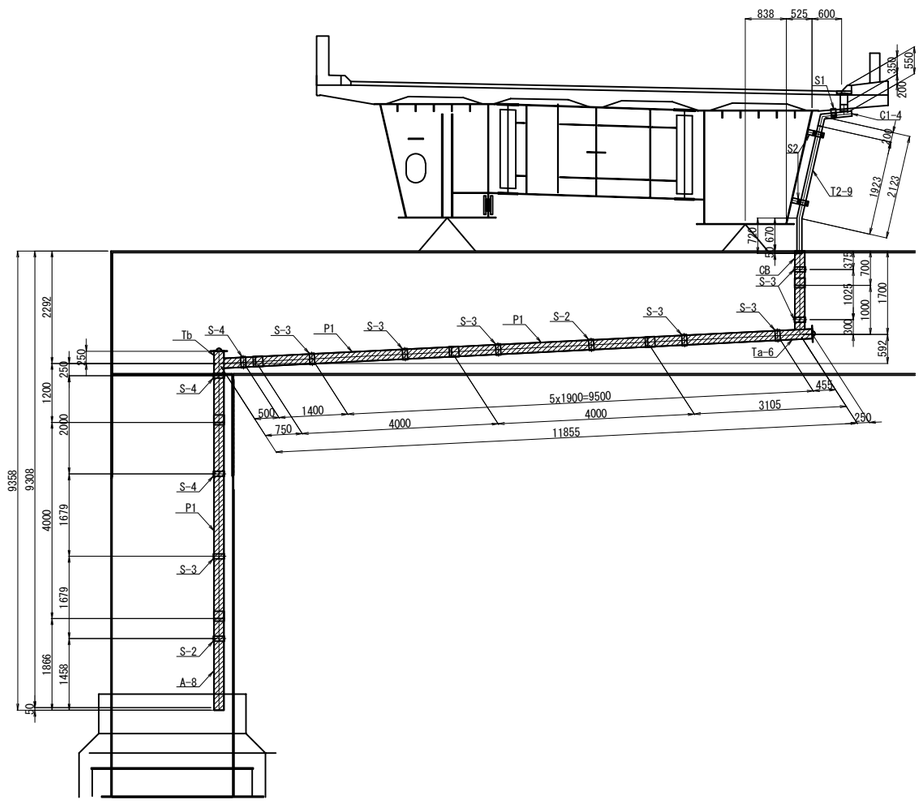
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとし、亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55 とする。
但し、ボルト・ナットおよび板厚 3.2mm未満の部材はHDZ35 とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P60橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	162 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

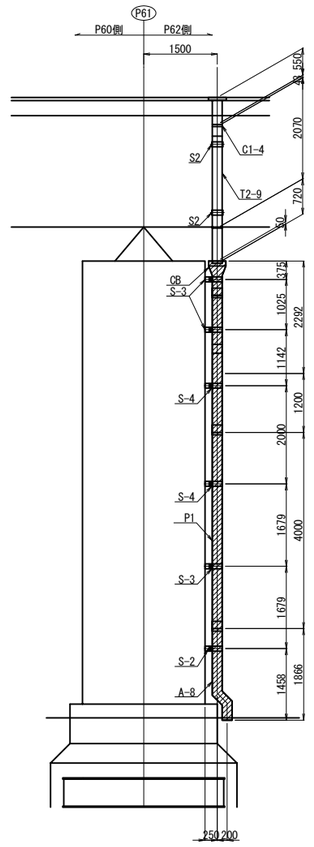
坂戸市場高架橋（下り線）P61橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

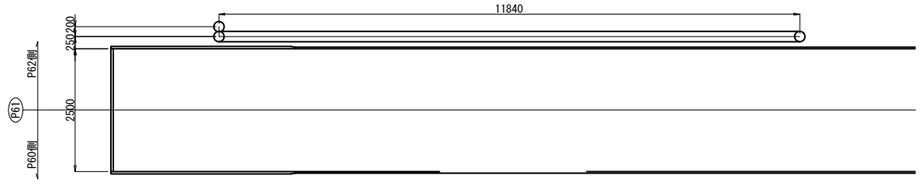
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	Ta-6	個	1
	Tb	個	1
直　管	P1	個	3
取付金具	S-2	個	2
	S-3	個	8
	S-4	個	3
加 工 管	A-8	個	1
流水延長(鋼管)		m	20.704
撤去重量		kg	1892

凡例

：撤去

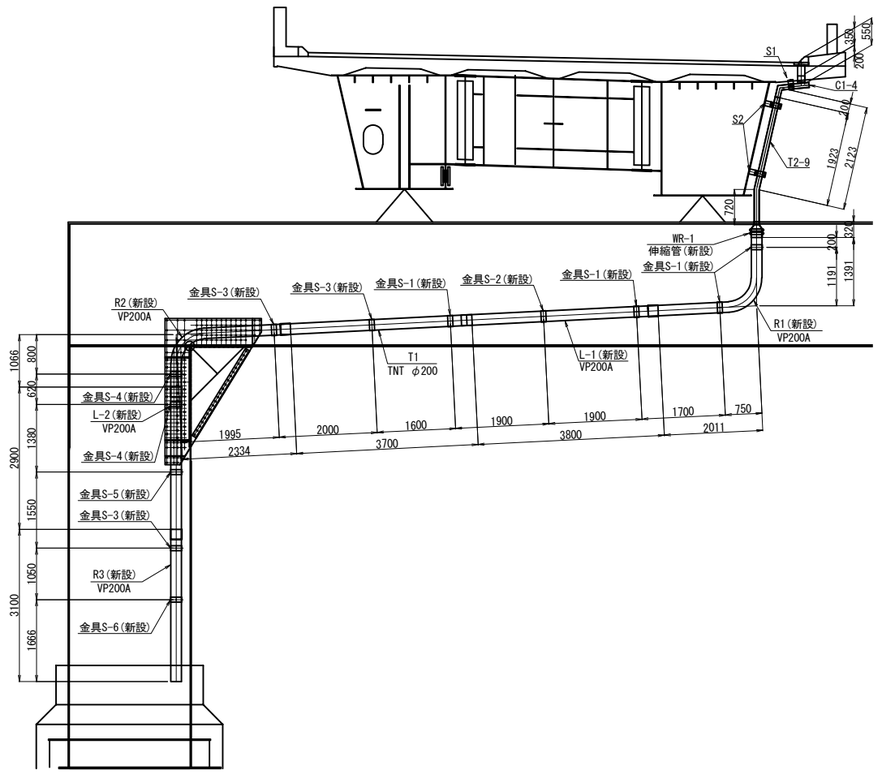
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P61橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	163 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

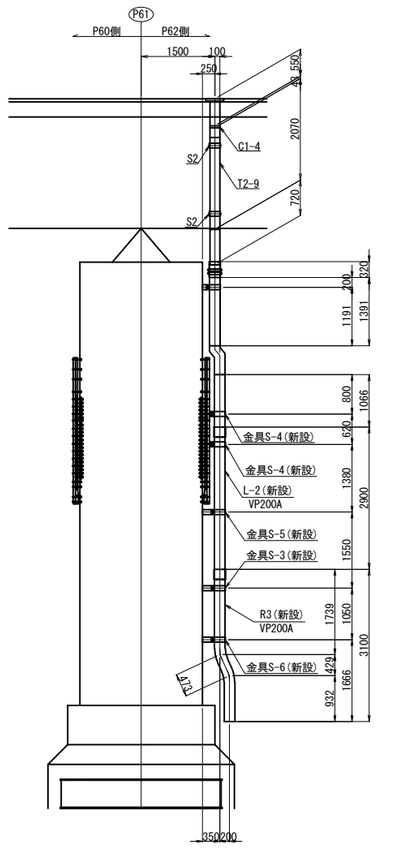
坂戸市場高架橋（下り線）P61橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

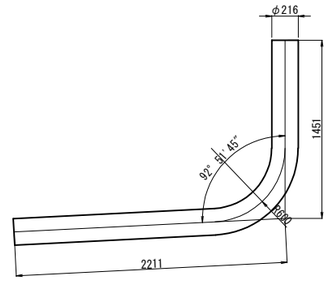
正 面 図



側 面 図

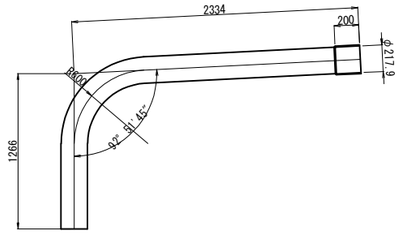


新設加工管R1 S=1/50



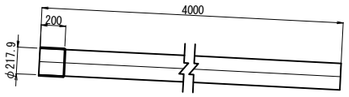
1-VP 200Ax3662

新設加工管R2 S=1/50



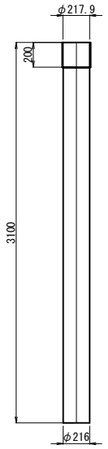
1-VP 200Ax3600

新設直管L-1 S=1/50



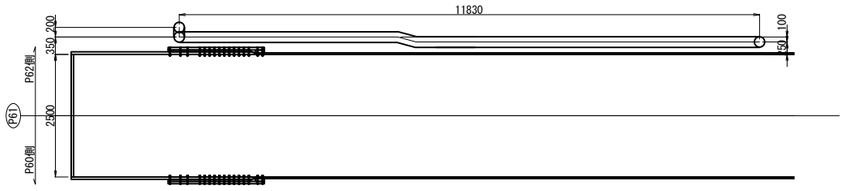
1-VP 200Ax4000

新設直管L-2 S=1/50

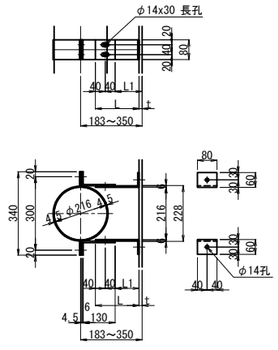


1-VP 200Ax3100

平 面 図



新設金具S-1～S-6 S=1/25

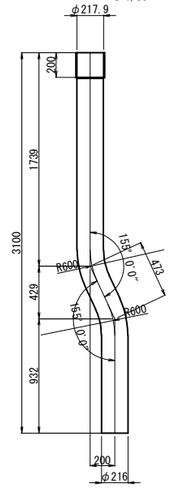


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	30	80	160	214	60	4
S-2	23	87	167	221	50	1
S-3	30	180	260	314	60	3
S-4	172	71	151	205	200	2
S-5	48	162	242	296	75	1
S-6	23	187	267	321	50	1

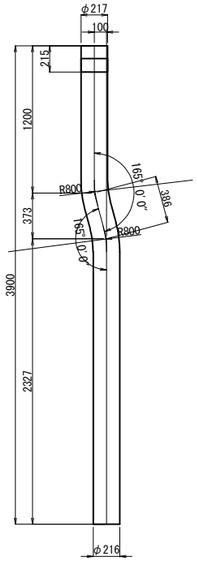
※ S=(L-3)+57

新設加工管R3 S=1/50



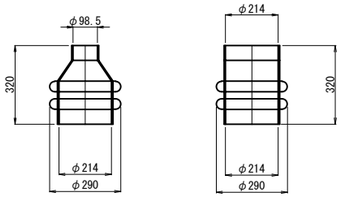
1-VP 200Ax3144

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ200x3913

新設伸縮管 WR-1 S=1/25



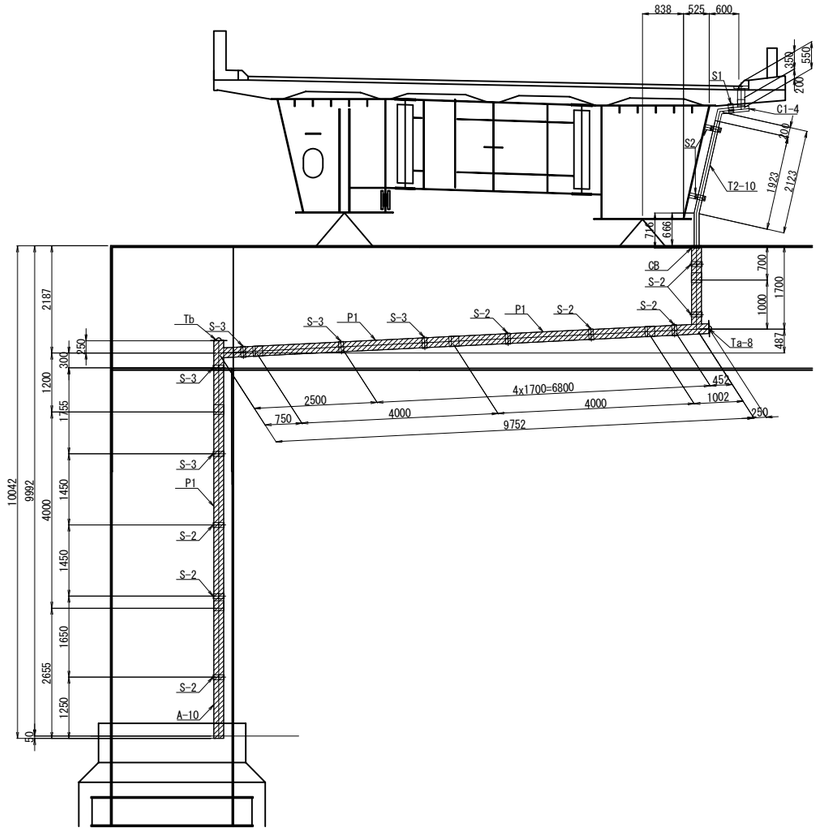
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P61橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	164 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

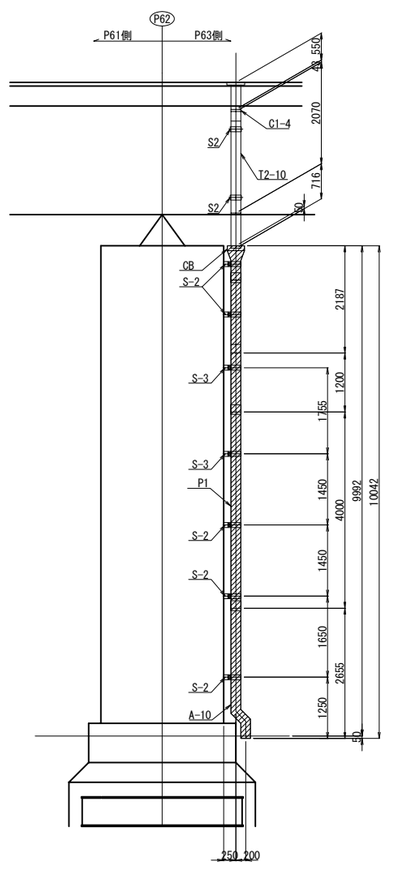
坂戸市場高架橋（下り線）P62橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

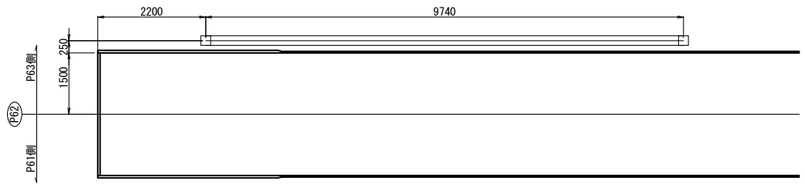
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	Ta-8	個	1
	Tb	個	1
直　管	P1	個	3
取付金具	S-2	個	8
	S-3	個	5
加 工 管	A-10	個	1
流水延長(鋼管)		m	19.389
撤去重量		kg	1845

凡例

▨ ：撤去

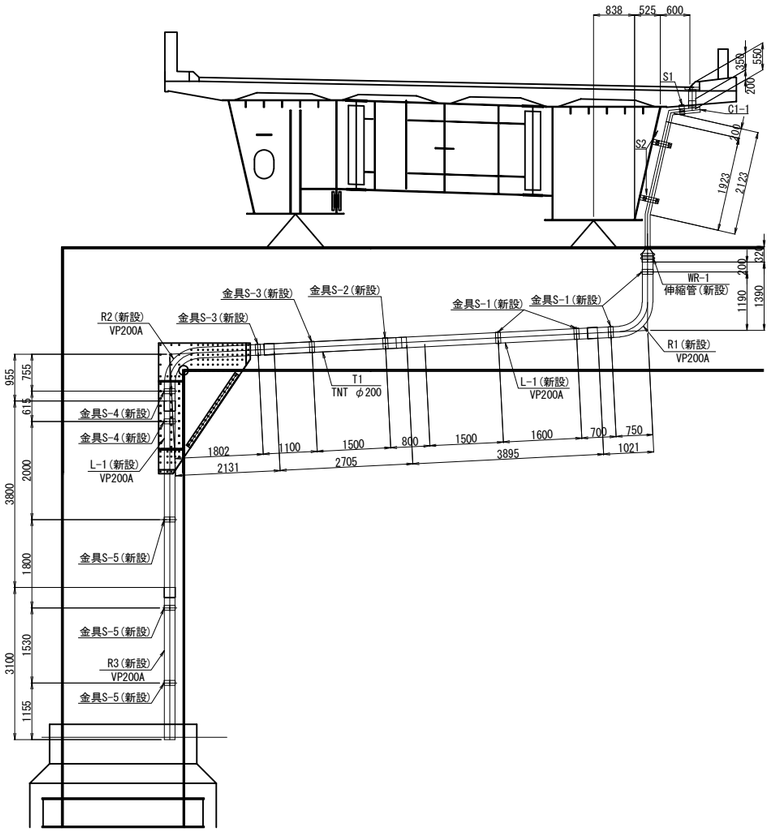
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P62橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	165 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

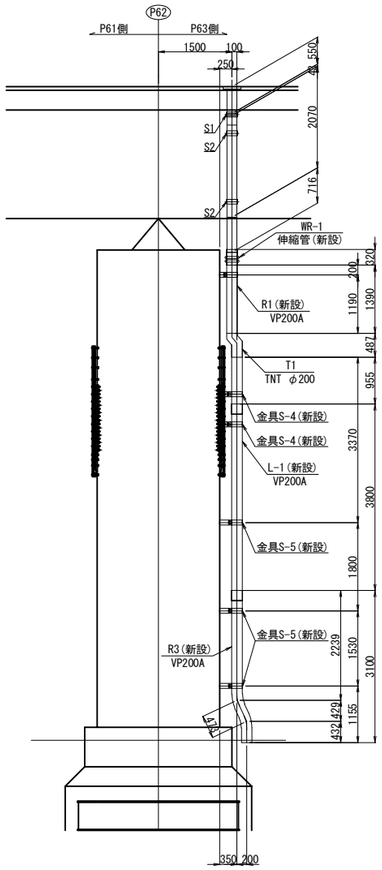
坂戸市場高架橋（下り線）P62橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

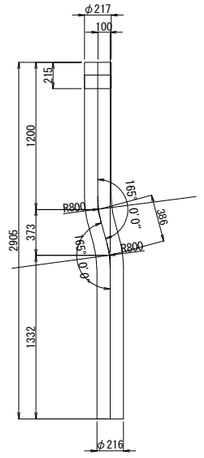
正 面 図



側 面 図

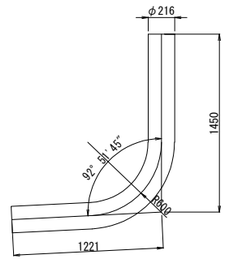


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



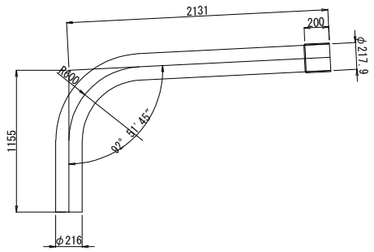
1-TNT φ200x2918

新設加工管R1 S=1/50



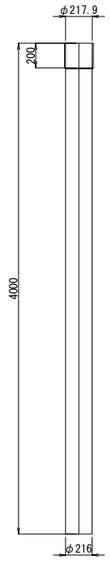
1-VP 200Ax2671

新設加工管R2 S=1/50



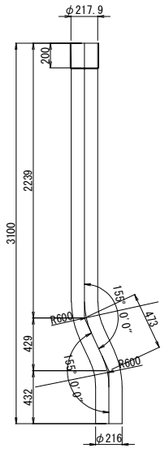
1-VP 200Ax3286

新設直管L-1 S=1/50



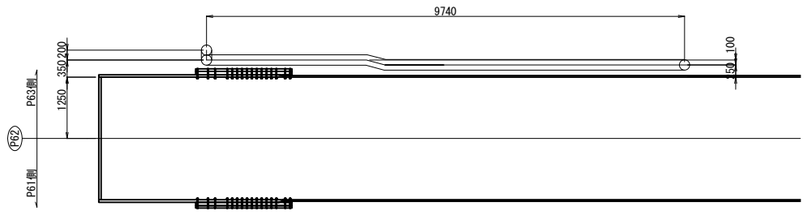
2-VP 200Ax4000

新設加工管R3 S=1/50

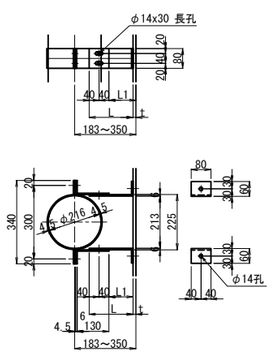


1-VP 200Ax3144

平 面 図



新設金具S-1～S-5 S=1/25

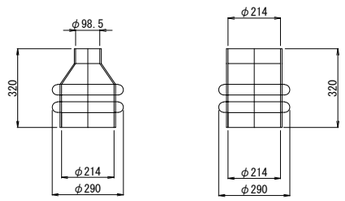


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	23	87	167	221	50	4
S-2	30	80	160	214	60	1
S-3	30	180	260	314	60	2
S-4	121	111	191	245	150	2
S-5	23	187	267	321	50	3

※ S=(L-3)+57;

新設伸縮管 WR-1 S=1/25



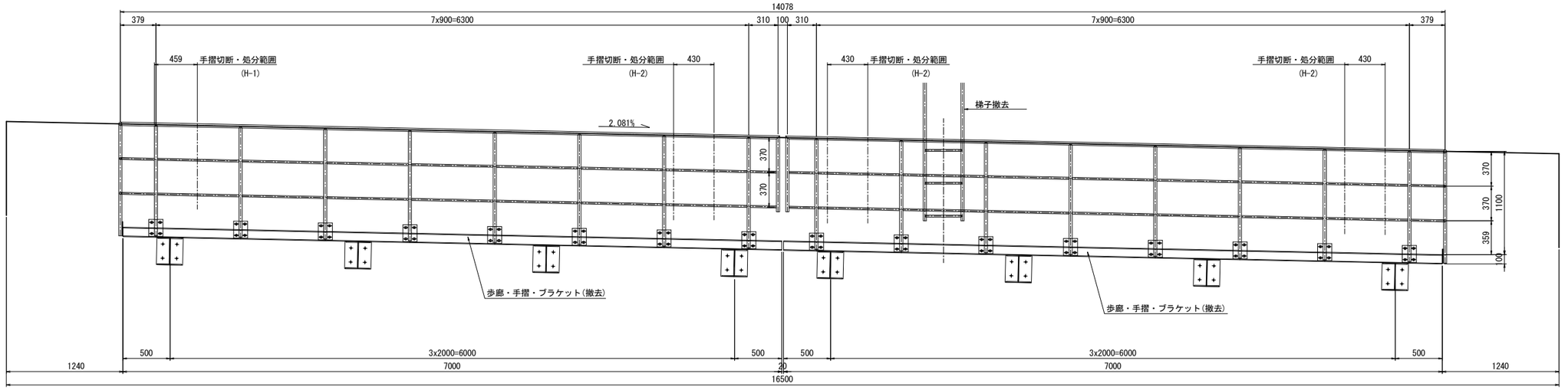
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

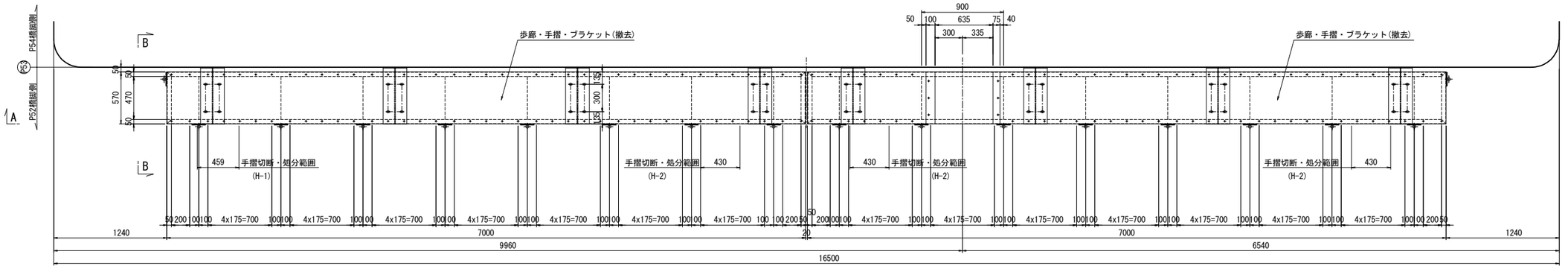
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P62橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	166 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（上り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/50

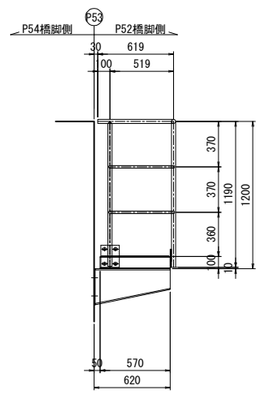
撤去工　検査路B

A － A





B － B



撤去工　検査路B

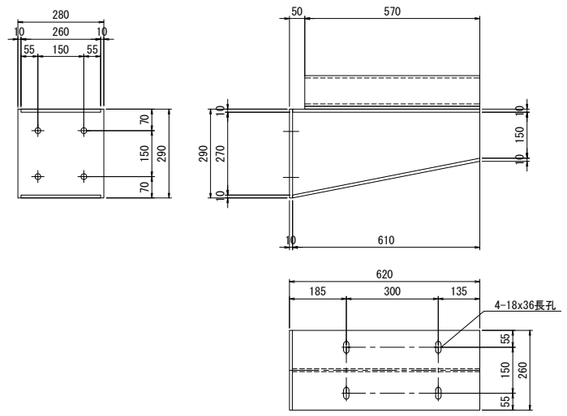
既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 459 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 459 (STK400)

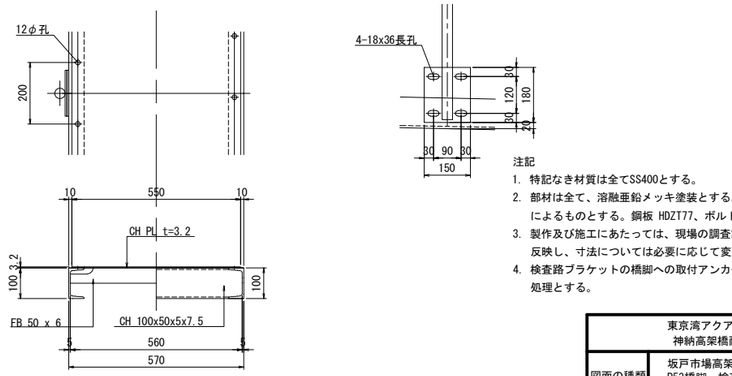
既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=3)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 430 (STK400)

ブラケット詳細図 S=1/20



歩廊詳細図 S=1/20



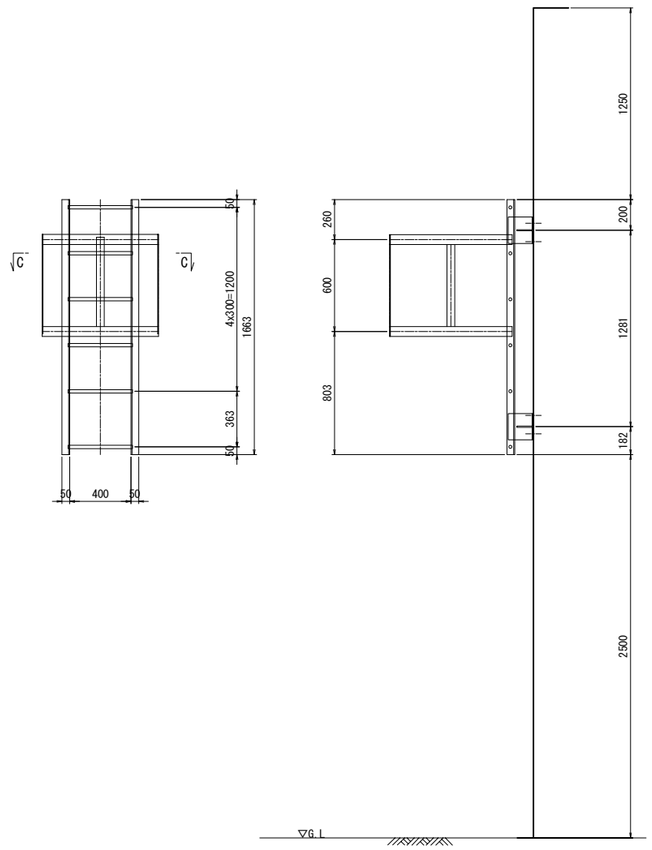
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	167 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

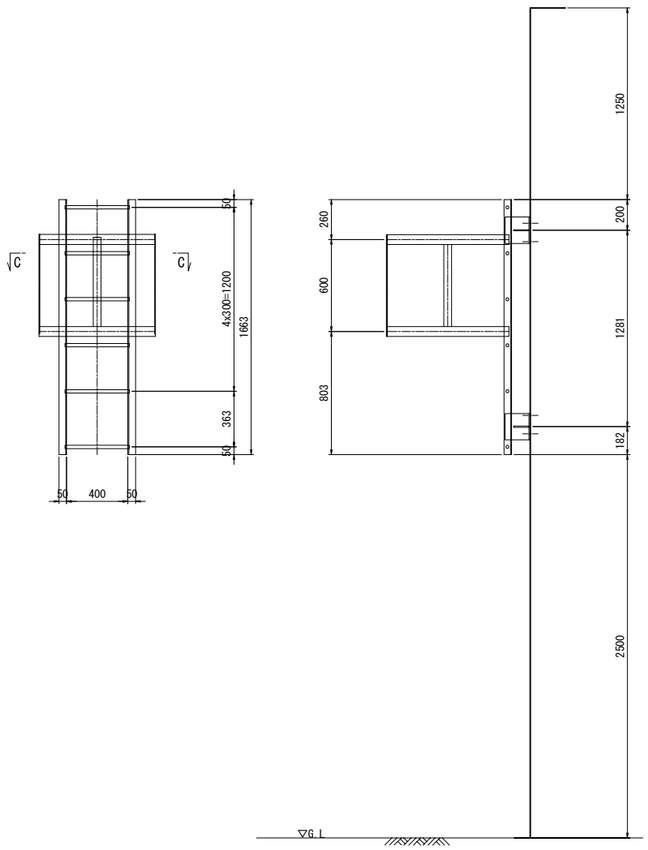
坂戸市場高架橋（上り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

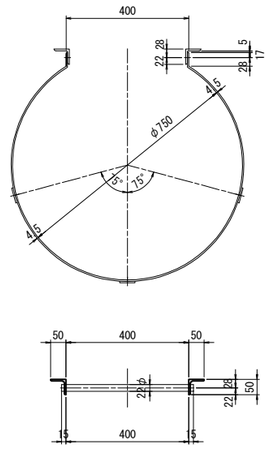
昇降設備　撤去



昇降設備　設置



C － C　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

2 － L 50 x 50 x 6 x 1663
3 － FB 50 x 4.5 x 650
2 － FB 50 x 4.5 x 2020
6 － RB 22φ x 430
6 － BN M16 x 6.5
4 － PL 200 x 8 x 728
4 － PL 100 x 8 x 100

設置工　検査路B

新規材料

8 － 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

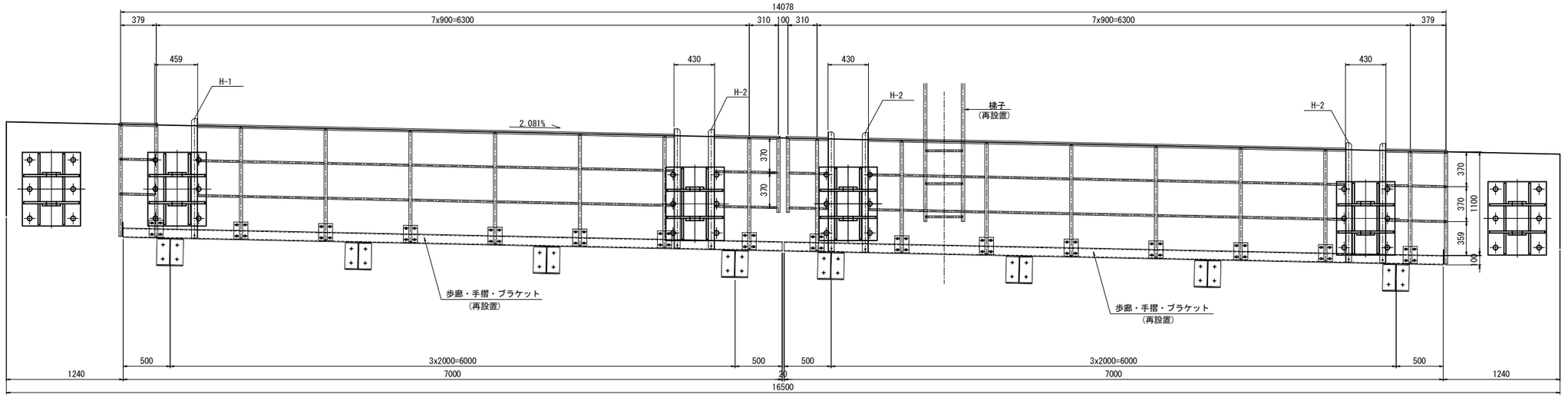
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

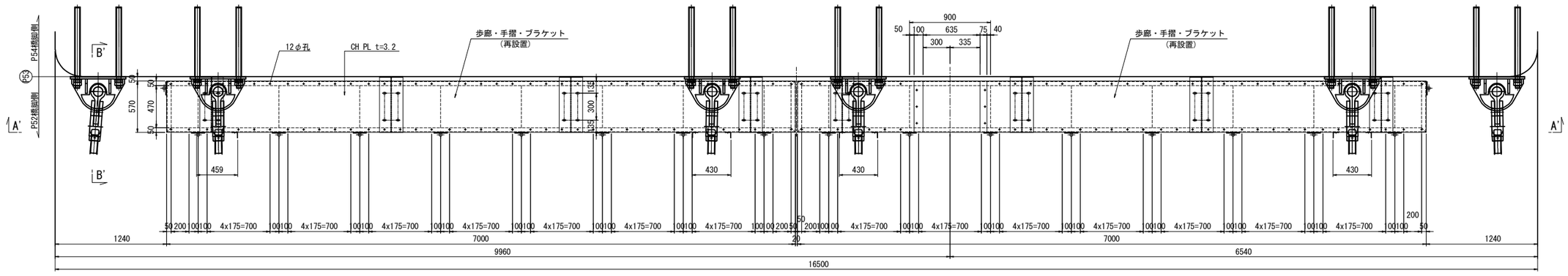
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	168 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（上り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3) S=1/50

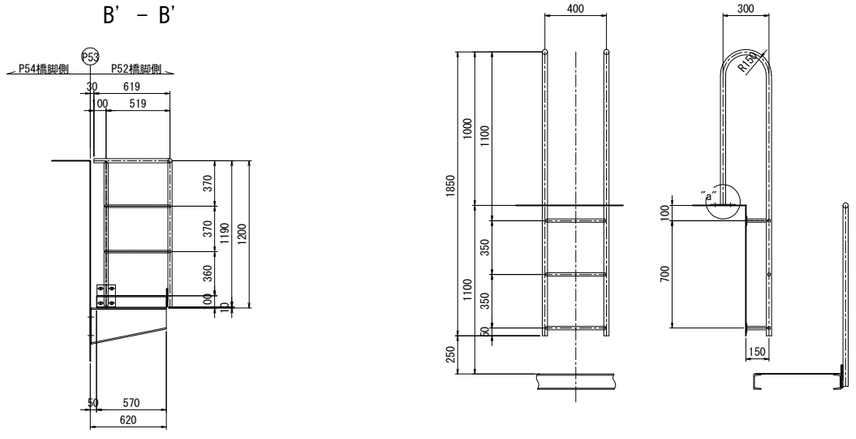
撤去・設置工　検査路B

A' - A'

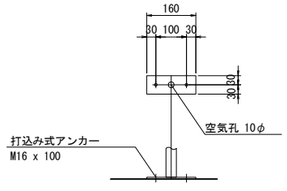




梯子詳細図 S=1/40



"a"部詳細図 S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 413 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 5059 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 696 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 443 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 5066 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 654 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)
18 - Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 807 (STK400)
20 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 327 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 284 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 445 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 88 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 356 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 103 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 341 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 199 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 245 (STK400)
36 - PL 150 x 6 x 180
72 - BN M16 x 35
4 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
4 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
8 - PL 100 x 9 x 560
8 - PL 260 x 10 x 550
1 - CP 550 x 3.2 x 6950
1 - CP 550 x 3.2 x 1325
1 - CP 550 x 3.2 x 4925
16 - FB x 50 x 6 x 560
1 - L 75 x 75 x 6 x 560
1 - L 100 x 100 x 7 x 560
1 - PL 70 x 6 x 635
152 - BN M10 x 30(1-W,1-TW付)

ブラケット再利用材料 (n=8)
1 - UFLG PL 260 x 10 x 610
1 - WEB PL 270 x 9 x 610
1 - LFLG PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB 22φ x 400 (SR235)
6 - PL 60 x 6x 160

蝶番い再利用材料 (n=1)
5 - Pipe 34φ x 2.3 x 60 (STK400)
1 - RB x 25φ x 370

マンホール再利用材料 (n=1)
1 - CP 450 x 3.2 x 645
2 - FB x 50 x 6 x 545
2 - FB x 50 x 6 x 238
1 - RB 16φ x 460
2 - BN M12 x 30 (1-W付)

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

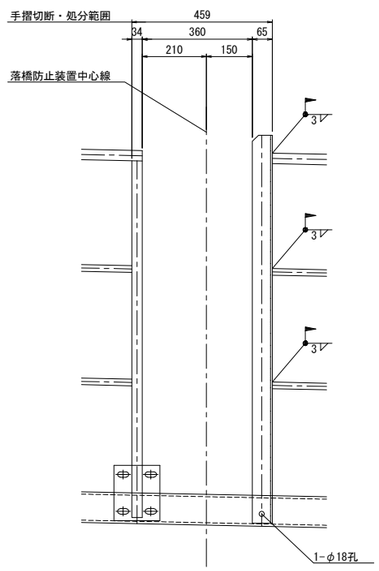
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮　尺	図示	図面番号	169 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

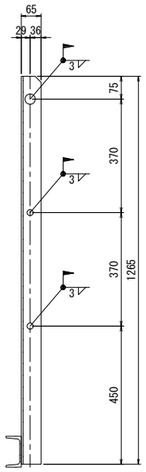
坂戸市場高架橋（上り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4) S=1/20

設置工　検査路B

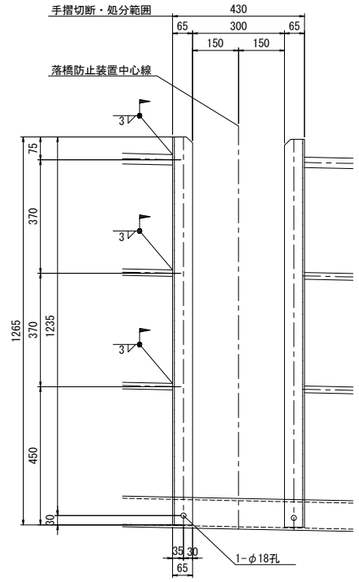
手摺切断部詳細図

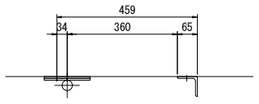
H-1





H-2





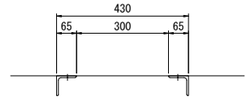
設置工　検査路B

新規材料 (n=1)

手摺切断部 (H-1)
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
32 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100



設置工　検査路B

新規材料 (n=3)

手摺切断部 (H-2)
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

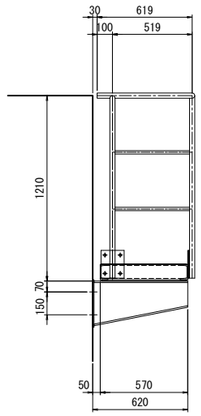
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	1:20	図面番号	170 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

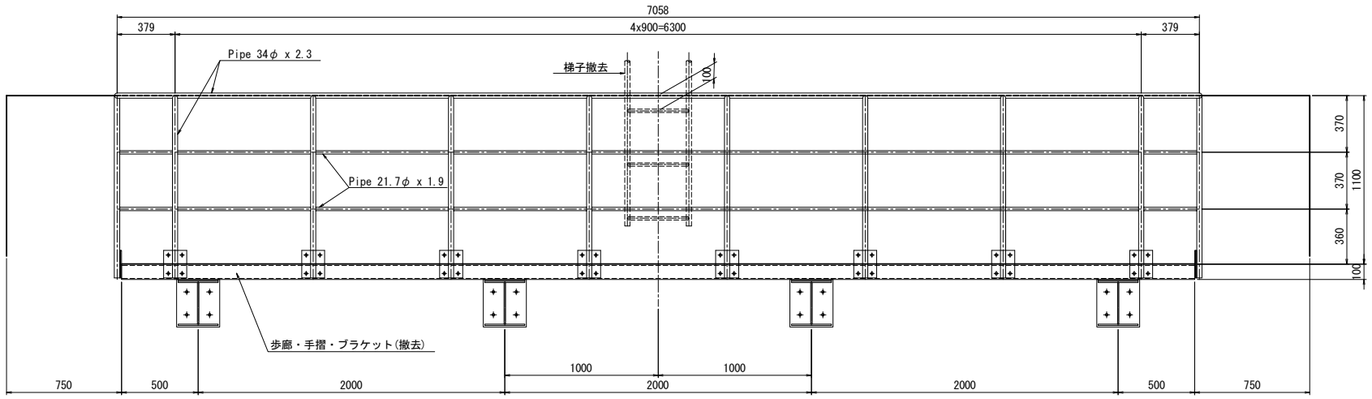
坂戸市場高架橋（上下線）P54-P56橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

撤去工　検査路B

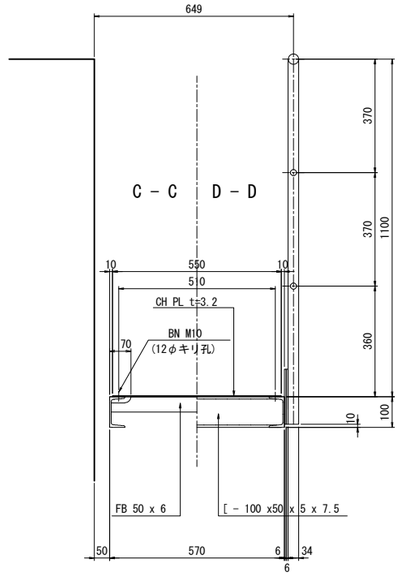
B － B

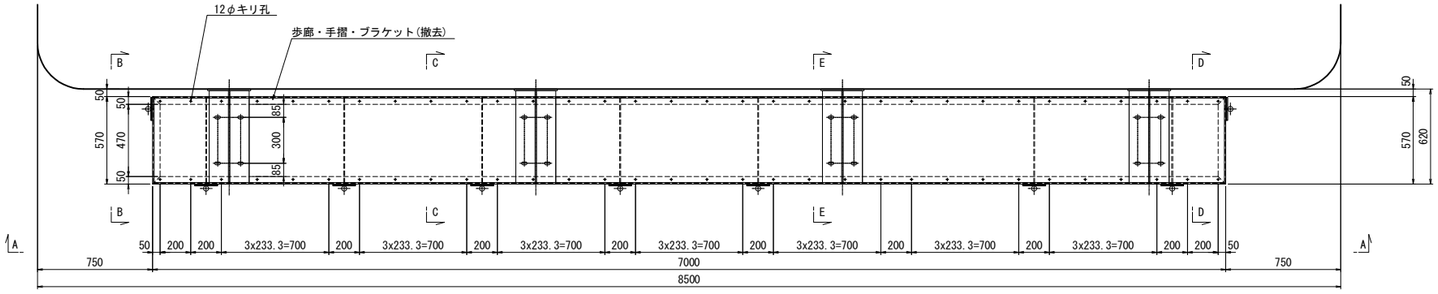


A － A

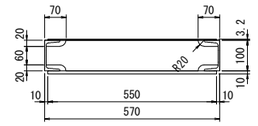


断面図　S=1/20

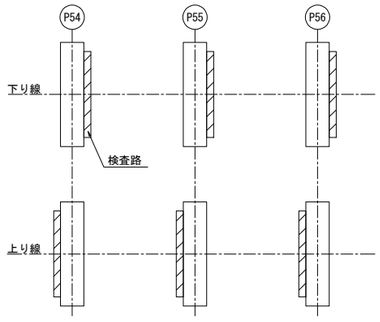




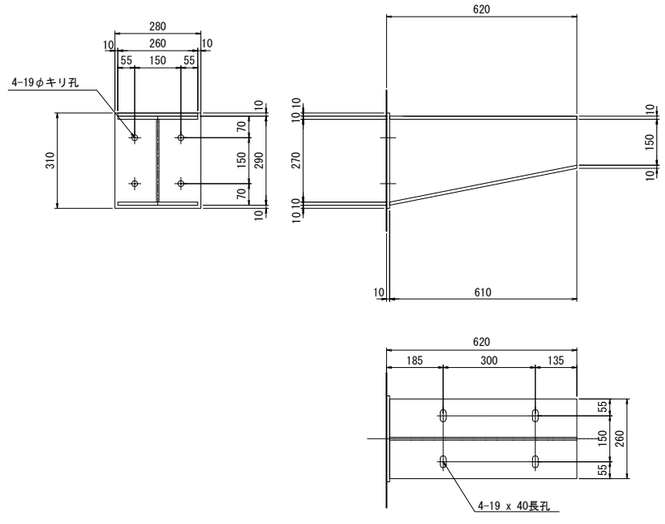
E － E　S=1/20



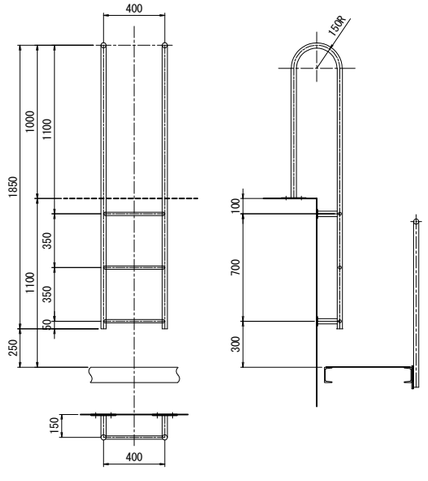
配置図



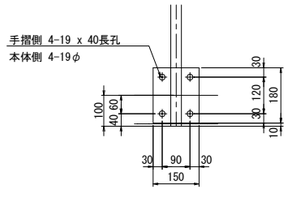
ブラケット詳細図　S=1/20



梯子詳細図



手摺詳細図　S=1/20



注記

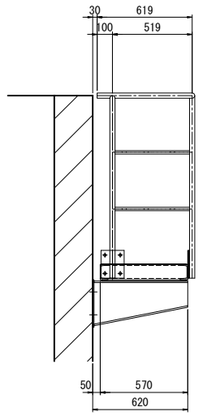
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上下線） P54-P56橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	171 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

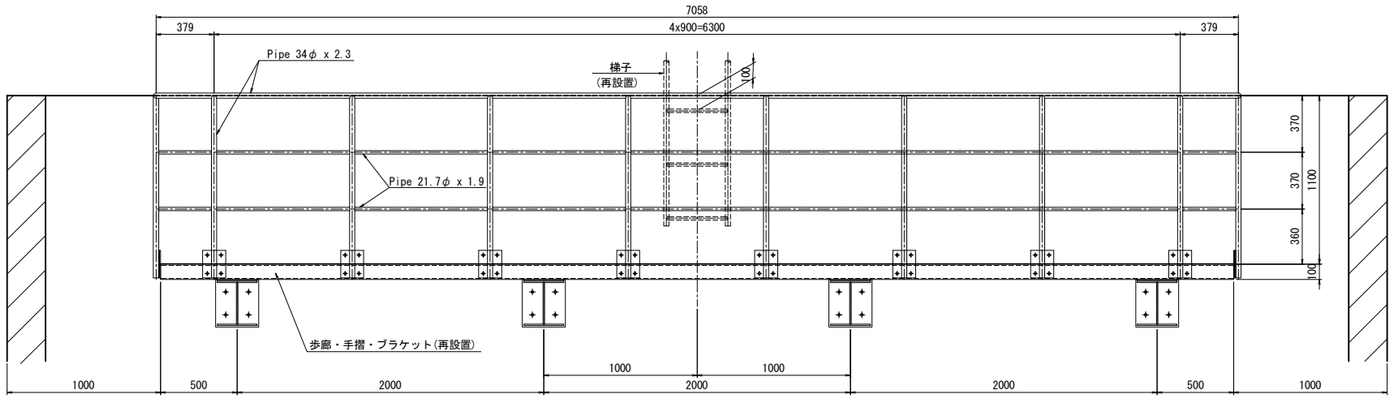
坂戸市場高架橋（上下線）P54-P56橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

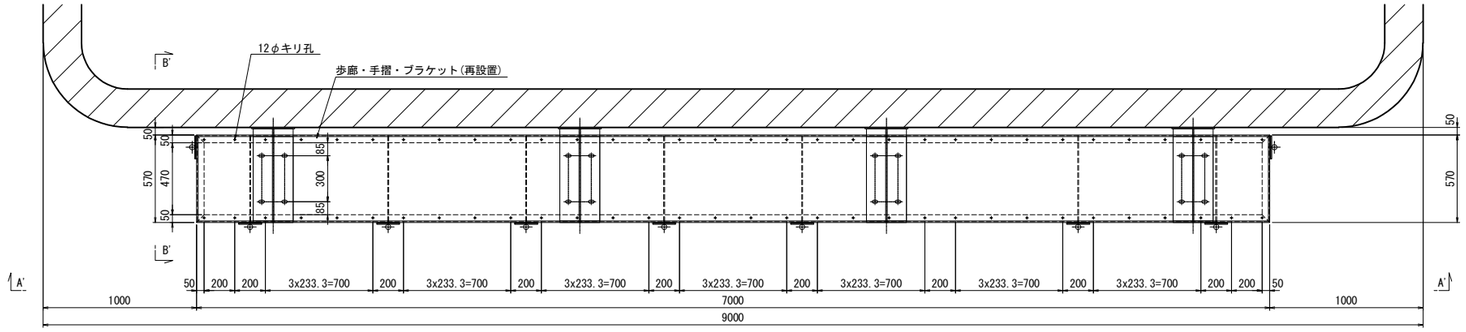
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 7092 (STK400)
- 2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 636 (STK400)
- 10 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1190 (STK400)
- 14 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 874 (STK400)
- 4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
- 4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 517 (STK400)
- 20 - PL 150 x 6 x 180
- 20 - BN M16 x 40 (2-W付)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W付)
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
- 1 - CH PL 550 x 3.2 x 6950
- 8 - FB 50 x 6 x 560
- 4 - PL 100 x 9 x 560
- 4 - PL 260 x10 x 550
- 64 - BN M10 x 30 (1-TW、1-W付)

ブラケット再利用材料 (n=4)

- 1 - U Flg PL 260 x 10 x 610
- 1 - Web PL 270 x 9 x 610
- 1 - L Flg PL 260 x 10 x 622
- 1 - PL 280 x 10 x 310
- 4 - BN M16 x 50 (2-W付)

梯子再利用材料 (n=1)

- 2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 3015 (STK400)
- 4 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 144 (STK400)
- 3 - RB φ22 x 440 (SR235)
- 6 - PL 60 x 6 x 160

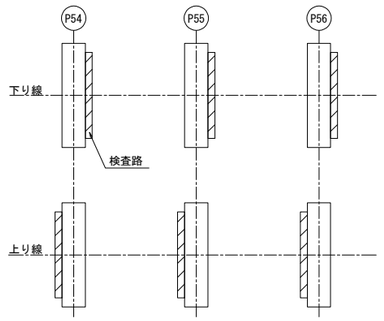
設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
16 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー M16 x 100

配置図 S=N:S



注記

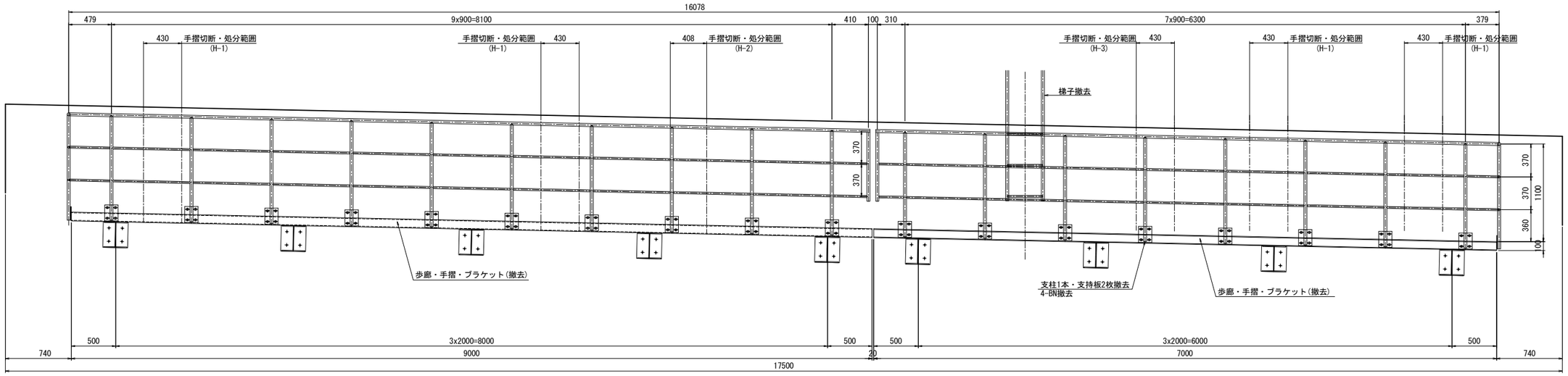
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

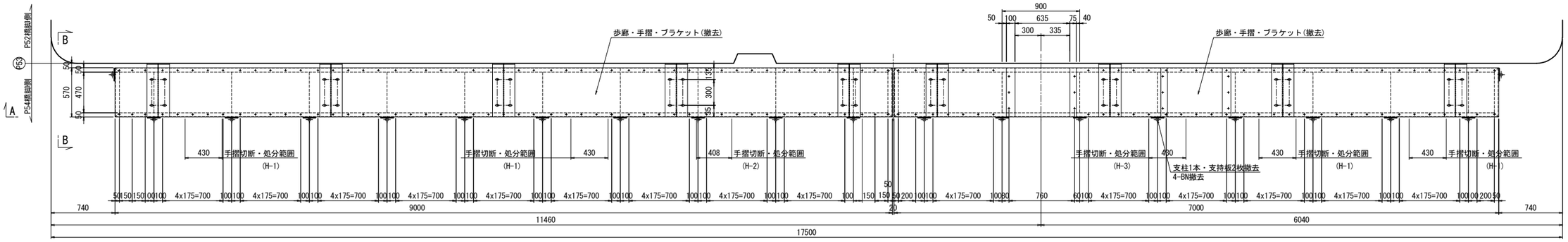
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上下線） P54-P56橋脚 検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	172 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（下り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/50

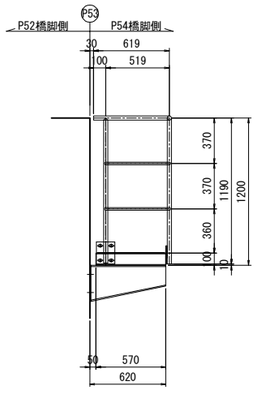
撤去工　検査路B

A － A





B － B



撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=4)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 430 (STK400)

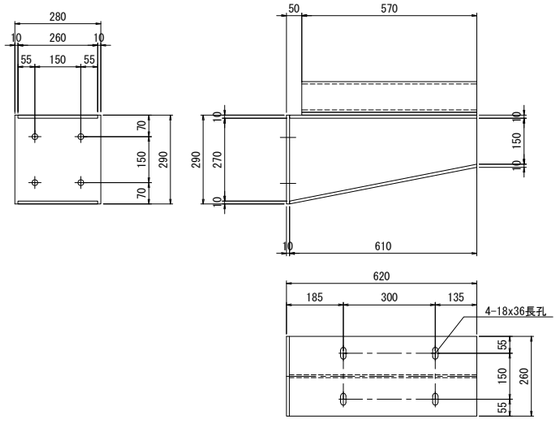
既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 408 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 408 (STK400)

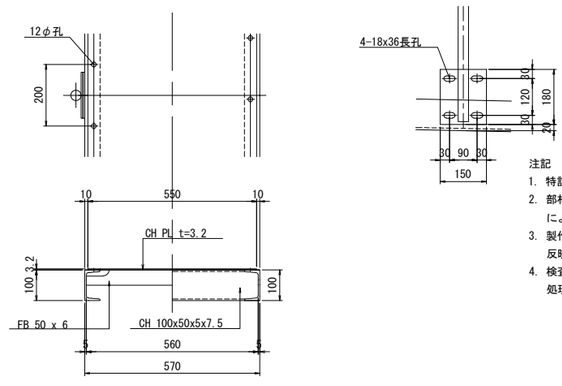
既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 88 (STK400)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 316 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)
2 - PL 150 x 6 x 180
4 - BN M16 x 40 (W付)

ブラケット詳細図　S=1/20



歩廊詳細図　S=1/20



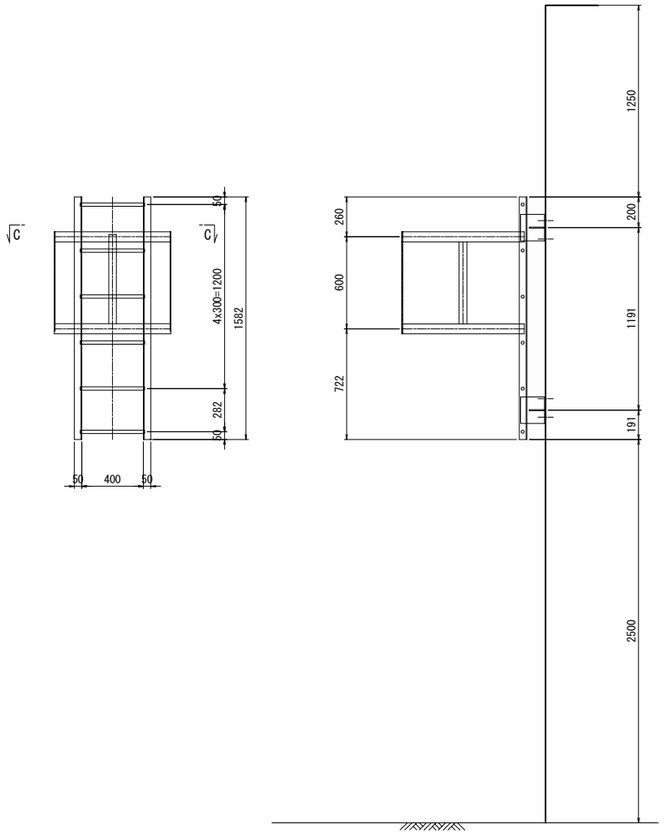
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	図示	図面番号	173 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

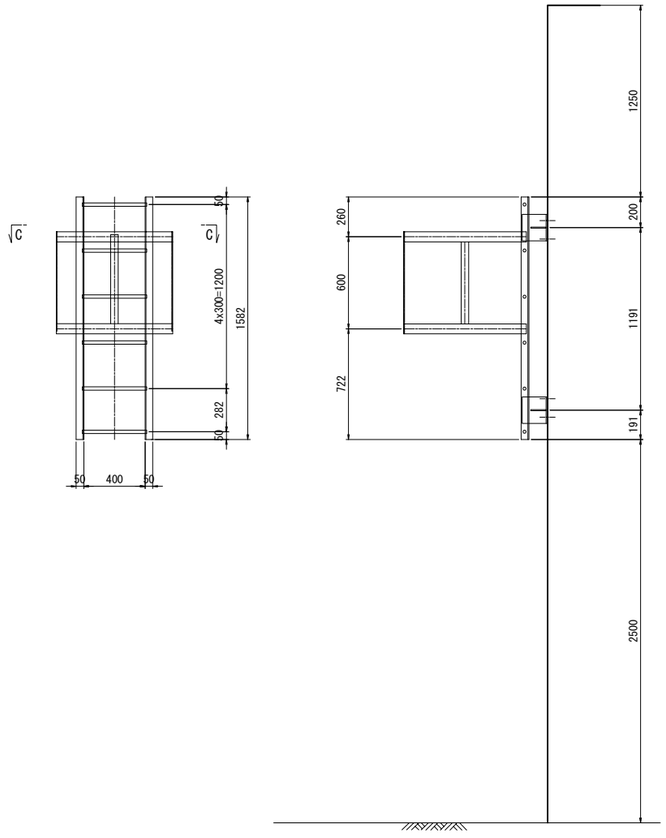
坂戸市場高架橋（下り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

昇降設備　撤去・設置工　検査路B

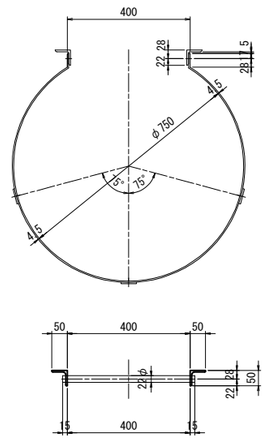
昇降設備　撤去



昇降設備　設置



C － C　S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

- 2 - L 50 x 50 x 6 x 1582
- 3 - FB 50 x 4.5 x 670
- 2 - FB 50 x 4.5 x 2020
- 6 - RB 22φ x 430
- 6 - BN M16 x 45 (W付)
- 2 - PL 200 x 8 x 728
- 4 - PL 100 x 8 x 100

設置工　検査路B

新規材料

- 8 - 打込み式アンカー　M16 x 100

注記

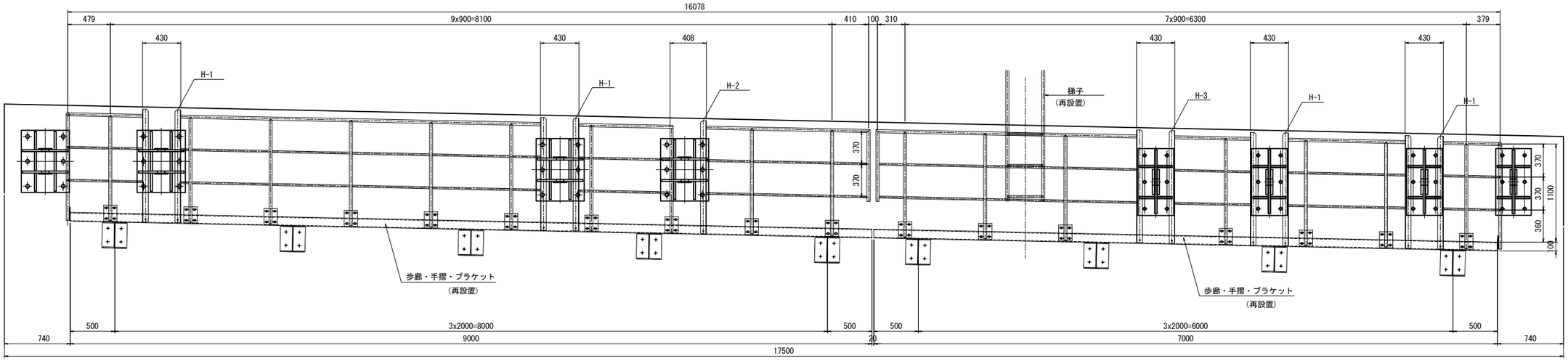
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

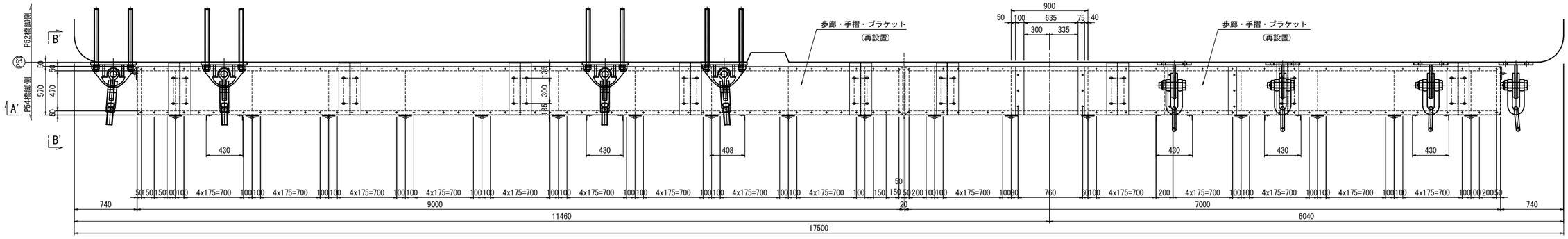
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　　尺	図示	図面番号	174 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（下り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3) S=1/50

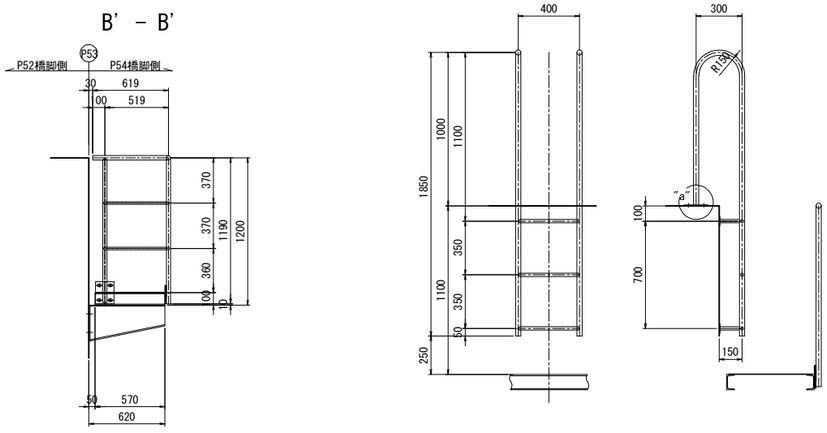
撤去・設置工　検査路B

A' - A'

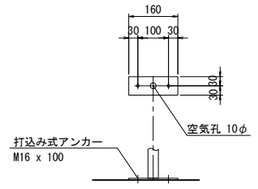




梯子詳細図 S=1/40



"a"部詳細図 S=1/20



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe 34φ x 2.3 x 857 (STK400)	38 - PL 150 x 6 x 180
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 4038 (STK400)	76 - BN M16 x 40 (W付)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1058 (STK400)	2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 9000
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1836 (STK400)	2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7000
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 2926 (STK400)	4 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 845 (STK400)	9 - PL 100 x 9 x 560
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1309 (STK400)	9 - PL 260 x 10 x 550
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 652 (STK400)	1 - CP 550 x 3.2 x 4925
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 636 (STK400)	1 - CP 550 x 3.2 x 1325
19 - Pipe 34φ x 2.3 x 1190 (STK400)	1 - CP 550 x 3.2 x 8950
2 - Pipe 34φ x 2.3 x 807 (STK400)	18 - FB 50 x 6 x 560
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 284 (STK400)	1 - L 75 x 75 x 6 x 560
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 384 (STK400)	1 - L 100 x 100 x 7 x 560
18 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)	1 - PL 70 x 6 x 635
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 427 (STK400)	176 - BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 327 (STK400)	
4 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 517 (STK400)	ブラケット再利用材料 (n=9)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 96 (STK400)	1 - UFLG PL 260 x 10 x 610
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 128 (STK400)	1 - WEB PL 270 x 9 x 610
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 496 (STK400)	1 - LFLG PL 260 x 10 x 622
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 348 (STK400)	4 - BN M16 x 50 (2-W付)
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 316 (STK400)	1 - PL 280 x 10 x 290
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 786 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 558 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 262 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 182 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 874 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 201 (STK400)	
2 - Pipe 21.7φ x 1.9 x 243 (STK400)	

梯子再利用材料 (n=1)
- 2 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 3015 (STK400)
- 4 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 144 (STK400)
- 3 - RB 22φ x 400
- 6 - PL 60 x 6x 160

蝶番い再利用材料 (n=1)
- 5 - Pipe 34.0φ x 2.3 x 60 (STK400)
- 1 - RB 25φ x 370

マンホール再利用材料 (n=1)
- 1 - CP 450 x 3.2 x 645
- 2 - FB x 50 x 6 x 545
- 2 - FB x 50 x 6 x 238
- 1 - RB 16φ x 460
- 2 - BN M12 x 30 (1-W付)

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

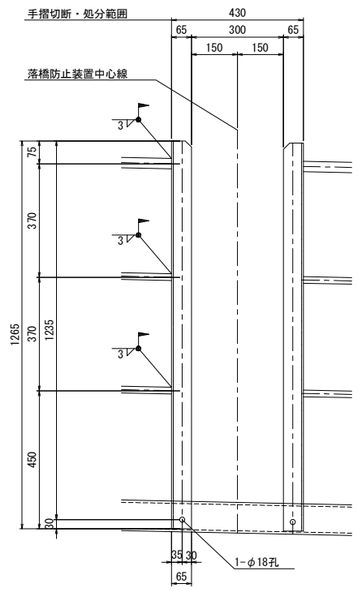
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P53橋脚 検査路撤去・設置計画図 （その3）		
縮尺	図示	図面番号	175 ／ 236
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

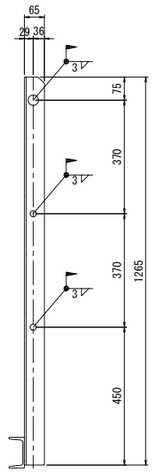
坂戸市場高架橋（下り線）P53橋脚 検査路撤去・設置計画図(その4) S=1/20

設置工　検査路B

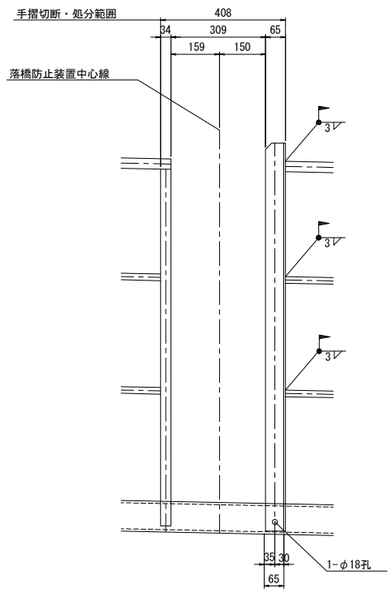
手摺切断部詳細図

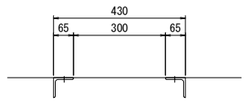
H-1, H-3

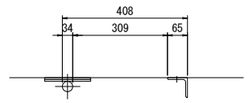




H-2







設置工　検査路B

新規材料 (n=5)

手摺切断部 (H-1)
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

ブラケット新規材料
36 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100

設置工　検査路B

新規材料 (n=1)

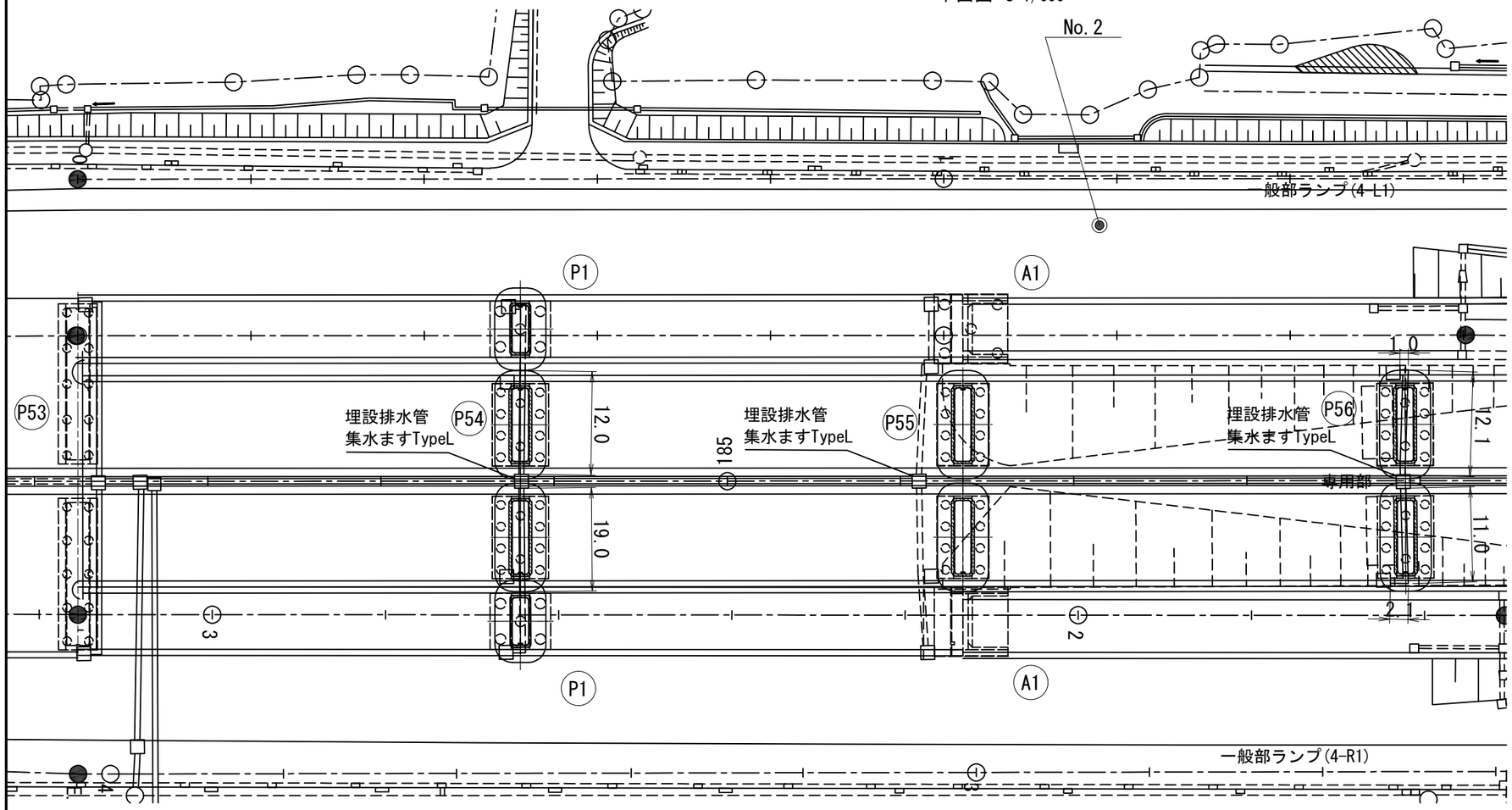
手摺切断部 (H-2)
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

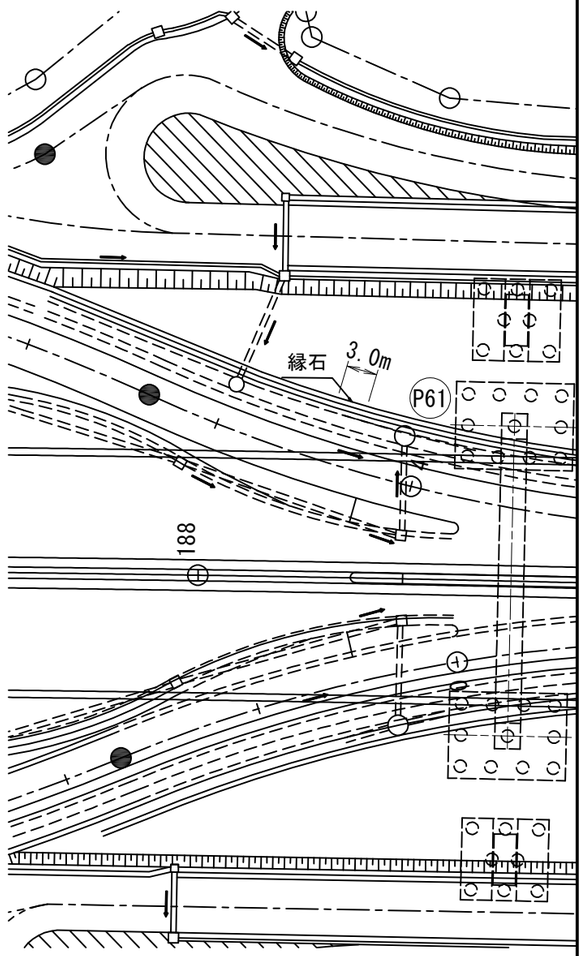
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（下り線） P53橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その4）		
縮　尺	1:20	図面番号	176 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

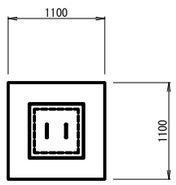
坂戸市場高架橋 撤去・復旧図

平面図 S=1/600

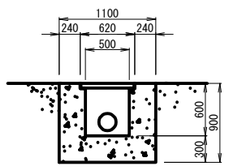




集水ます Type L S=1/70



平面図



断面図

数量表

単 価 項 目		単 位	数 量	数 量
用・排水溝撤去設置工	集水ます Type L	箇所	6.0	P54 3.0、P56 3.0、
	用排水溝 PuL·0.3·0.3	m	57.2	P54 31.0、P56 26.2
縁石撤去・復旧工	工場製 コンクリート縁石	m	3.0	P61

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋 撤去・復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	177 ／ 236
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その1)　縮尺 1:25

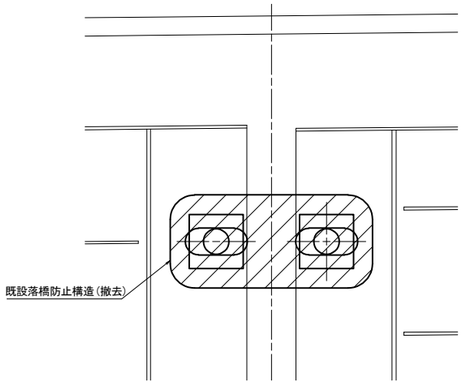
撤去工　落橋防止構造

P53橋脚

既設落橋防止構造

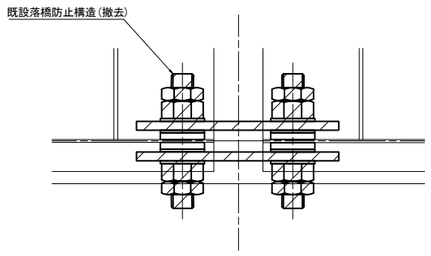
P53橋脚(上り線)：5基
P53橋脚(下り線)：5基

側面図



撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
2-PL 380×36×825(SM520B)
2-Pin φ100×610(S45CN)
4-NUT M100(1種)(SS400)
4-NUT M100(3種)(SS400)
4-Washer φ175×14(SS400)
4-割ピン φ10×140(SWRM10)

平面図

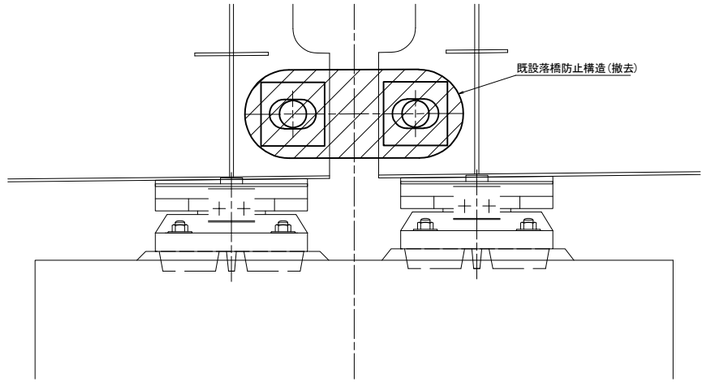


P57橋脚

既設落橋防止構造

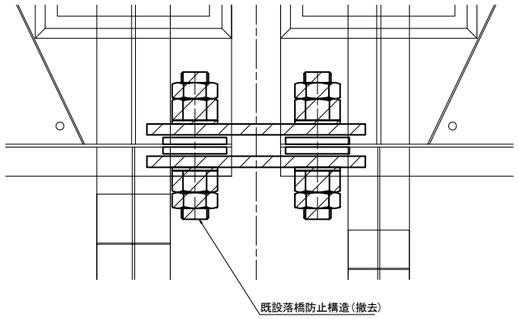
P57橋脚(上り線)：2基
P57橋脚(下り線)：2基

側面図



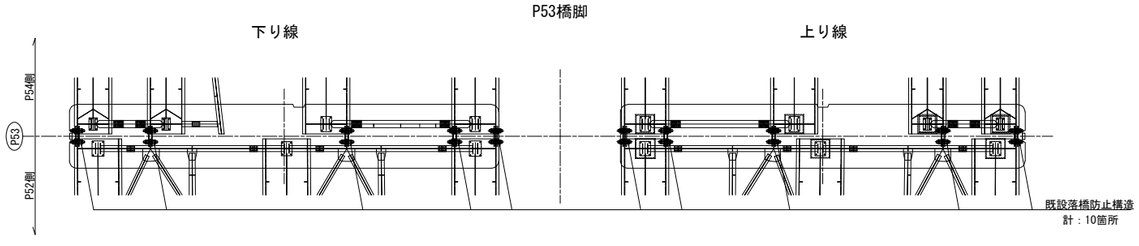
撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
2-PL 360×45×890(SM520C)
2-Pin φ110×600(S45CN)
4-NUT M110(1種)(SS400)
4-NUT M110(3種)(SS400)
4-Washer φ185×14(SS400)
4-割ピン φ13×140(SWRM10)
4-ゴム φ260×10(クロロプレンゴム)

平面図



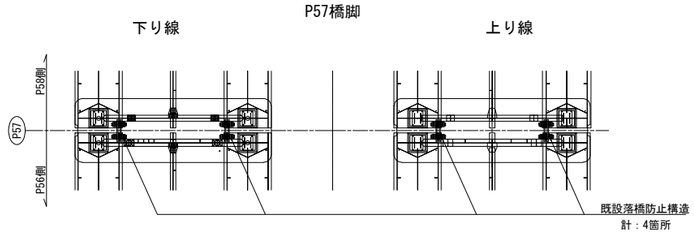
配置図　S=N:S

P53橋脚



配置図　S=N:S

P57橋脚



東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	178 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

坂戸市場高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その2) 縮尺 1:25

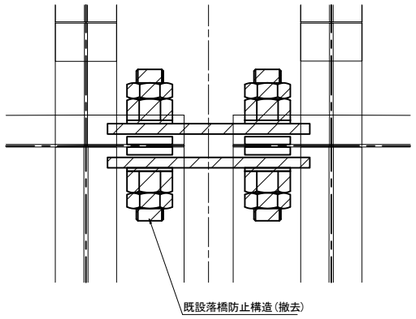
撤去工　落橋防止構造

P60橋脚

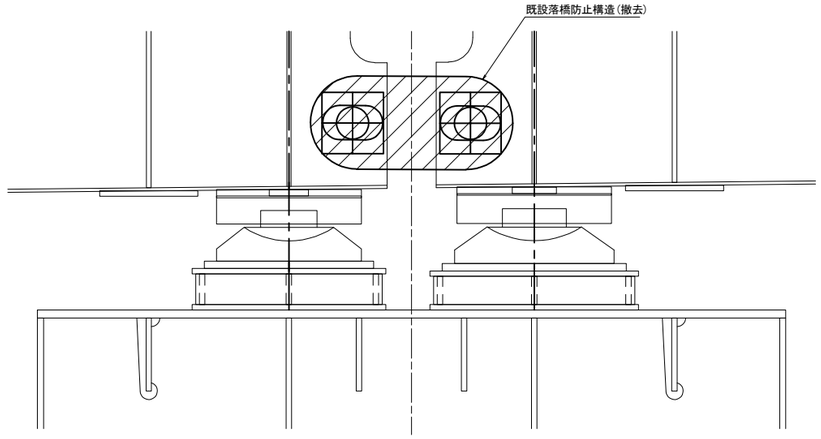
既設落橋防止構造

P60橋脚(上り線)：2基
P60橋脚(下り線)：2基

平面図



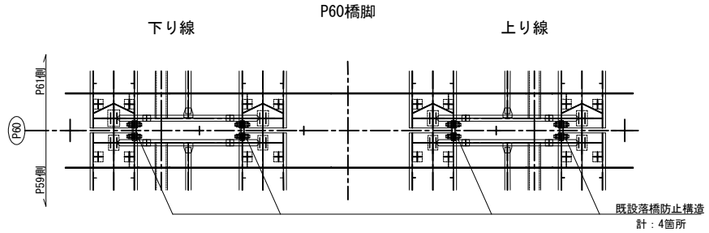
側面図



撤去部材
既設落橋防止構造（1基当たり）
- 2-PL 380×42×825(SM570)
- 2-Bolt φ130×720(S45CN)
- 4-NUT M130(1種)(SS400)
- 4-NUT M130(3種)(SS400)
- 4-Washer φ220×16(SS400)
- 4-割ピン φ16×280(SWRM10)
- 4-ゴム φ250×10×250(クロロプレンゴム)

配置図 S=N:S

P60橋脚

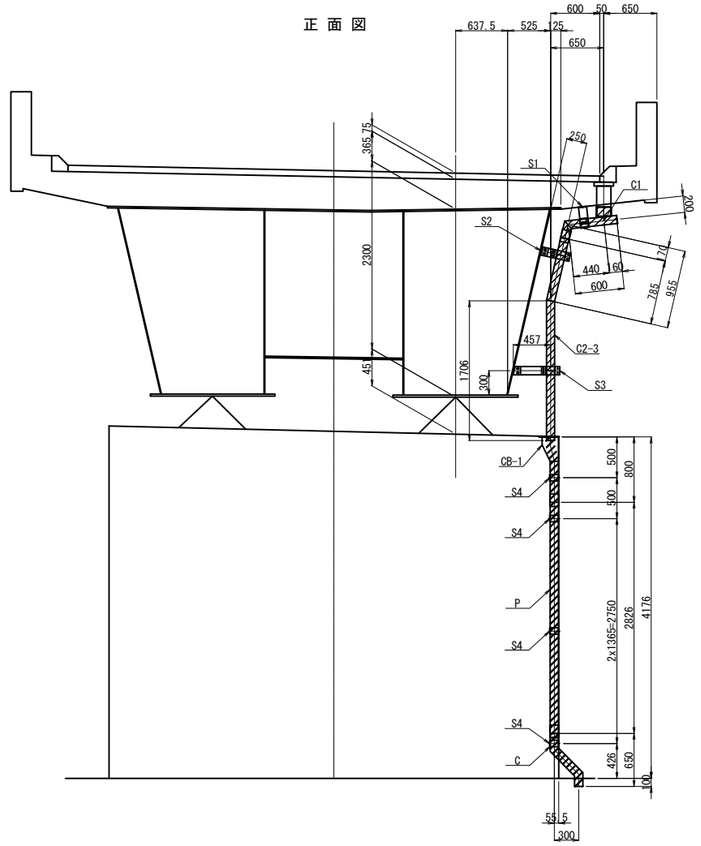


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	坂戸市場高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	179 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

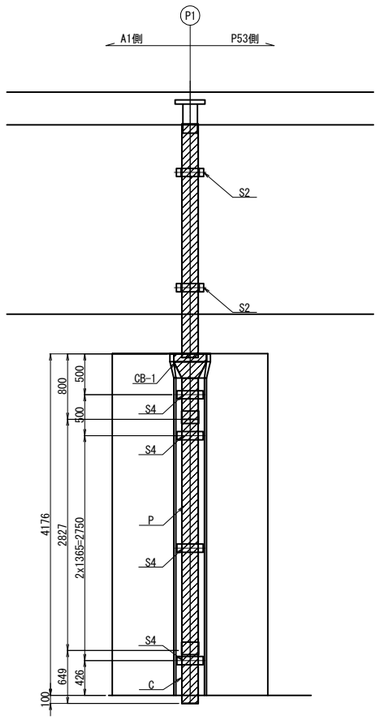
袖ヶ浦IC Aランプ橋　P1橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1)　S=1/75

撤去工　排水管B

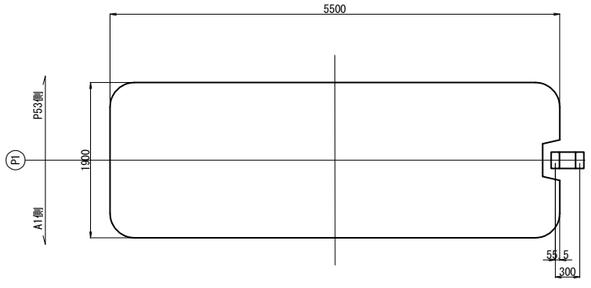
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2-3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
受　桝	CB-1	個	1
加 工 管	C	個	1
直　管	P	個	1
取付金具	S4	個	4
流水延長(鋼管)		m	7.651
撤去重量		kg	209

凡例

▨ ：撤去

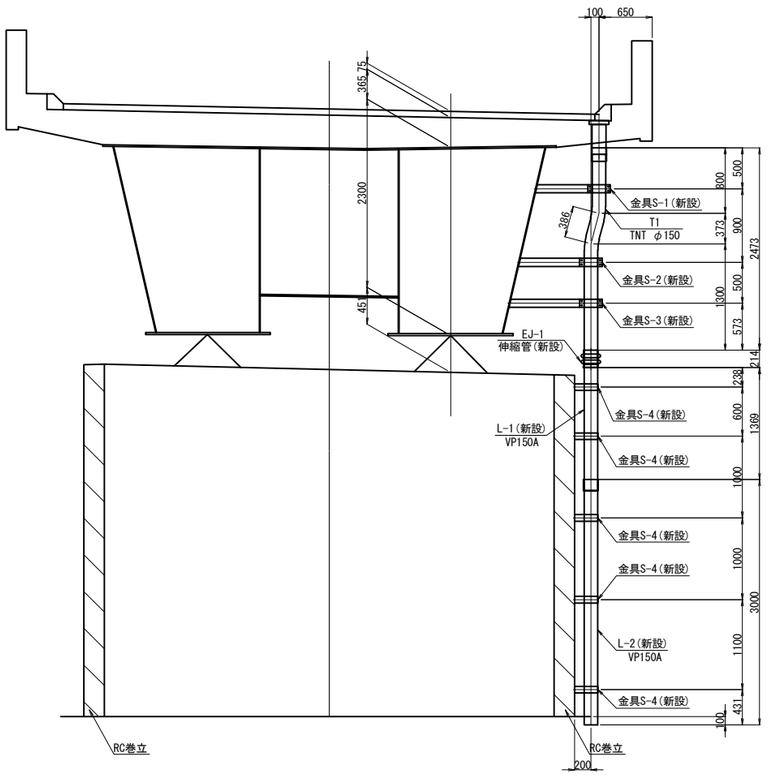
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦IC　Aランプ橋 P1橋脚　排水装置撤去・設置計画図 (その1)		
縮　尺	1:75	図面番号	180 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

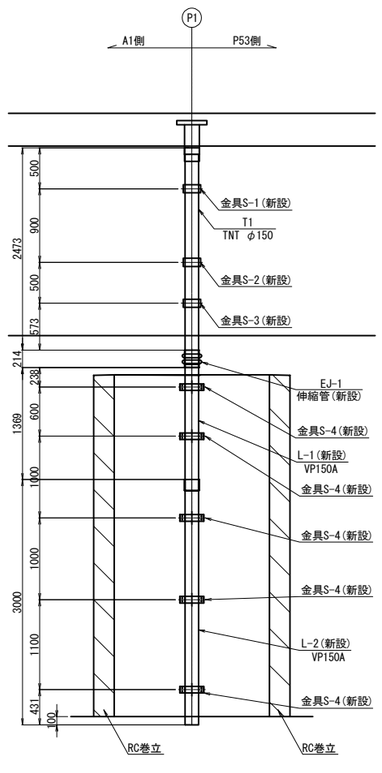
袖ヶ浦IC Aランプ橋　P1橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2)　S=1/75

設置工　排水管A

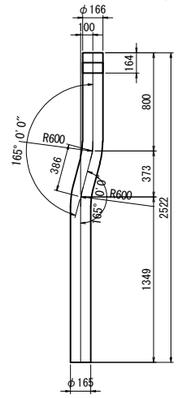
正 面 図



側 面 図

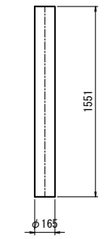


新設フレキシブル管 T1　S=1/50



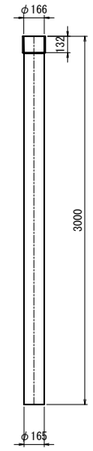
1-TNT φ150x2535

新設直管L-1　S=1/50



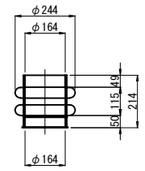
1-VP 150Ax1551

新設直管L-2　S=1/50

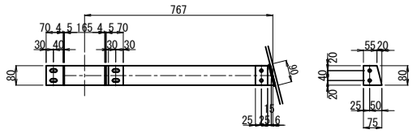


1-VP 150Ax3000

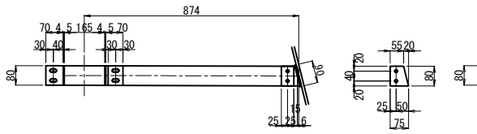
新設伸縮管 EJ-1　S=1/25



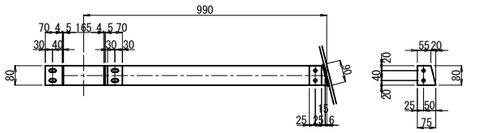
新設金具 S-3　S=1/25



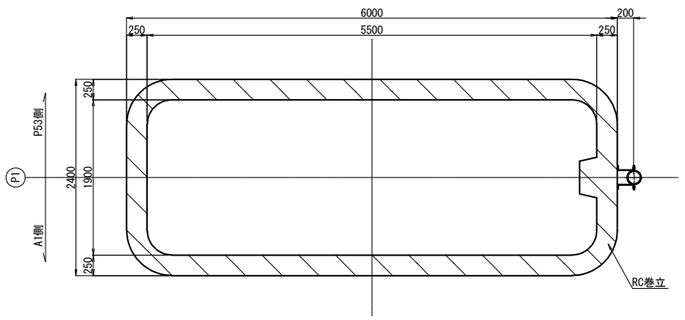
新設金具 S-2　S=1/25



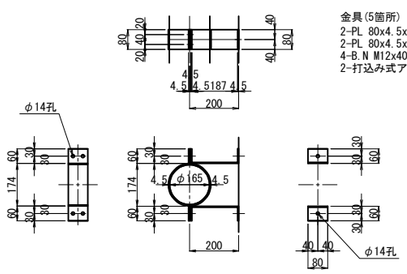
新設金具 S-3　S=1/25



平 面 図



新設金具 S-4　S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

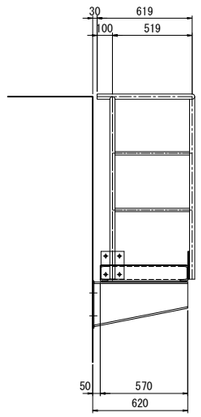
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦IC　Aランプ橋 P1橋脚　排水装置撤去・設置計画図 (その2)		
縮　尺	図示	図面番号	181 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

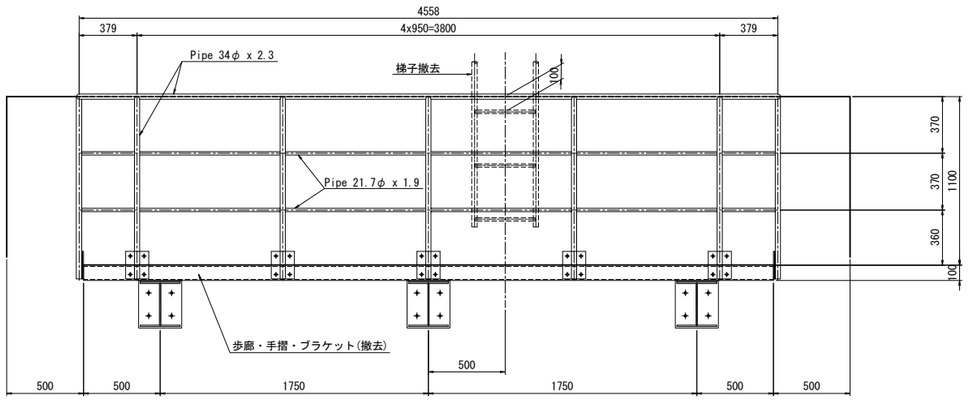
袖ヶ浦IC Aランプ橋　P1橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

撤去工　検査路B

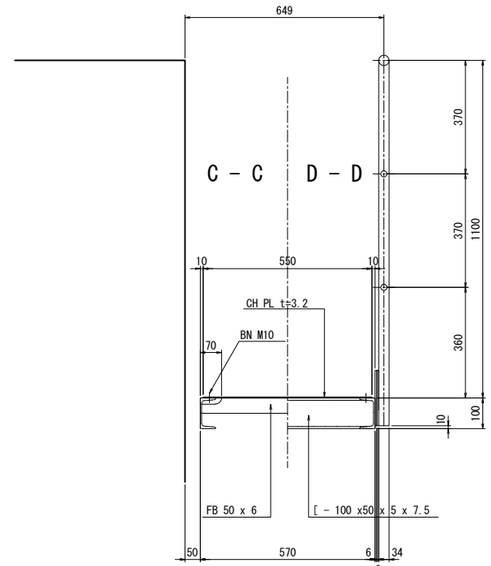
B － B

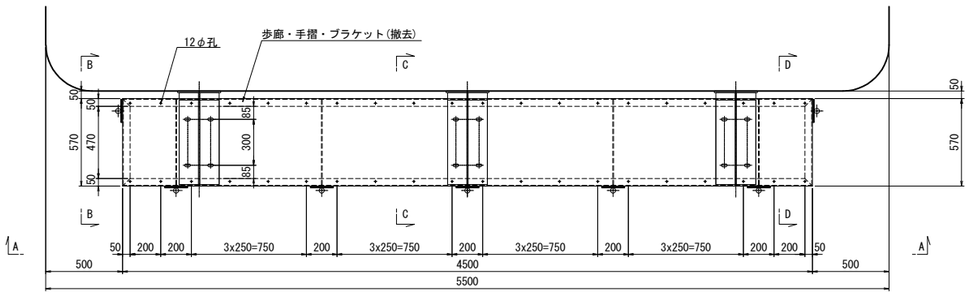


A － A

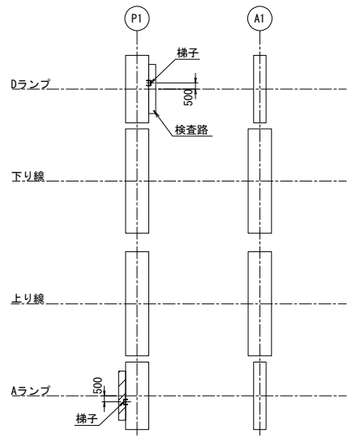


断面図　S=1/20





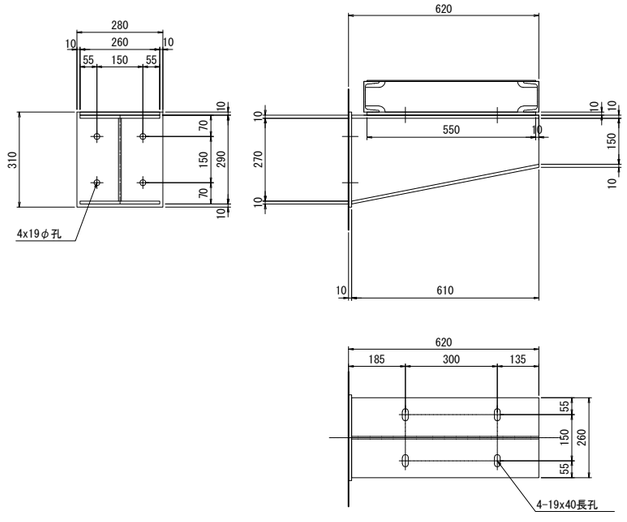
配置図　S=N:S



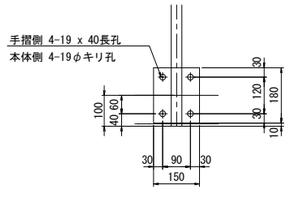
注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

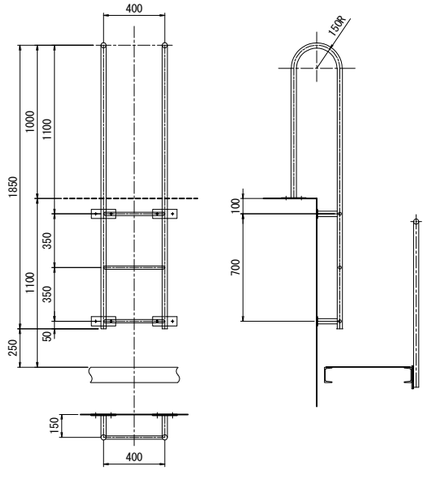
ブラケット詳細図　S=1/20



手摺詳細図　S=1/20



梯子詳細図

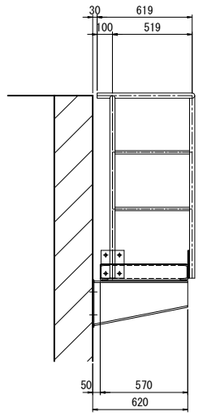


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事				
図面の種類	袖ケ浦IC　Aランプ橋 P1橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）			
縮　尺	図示	図面番号	182 ／ 236	
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所			

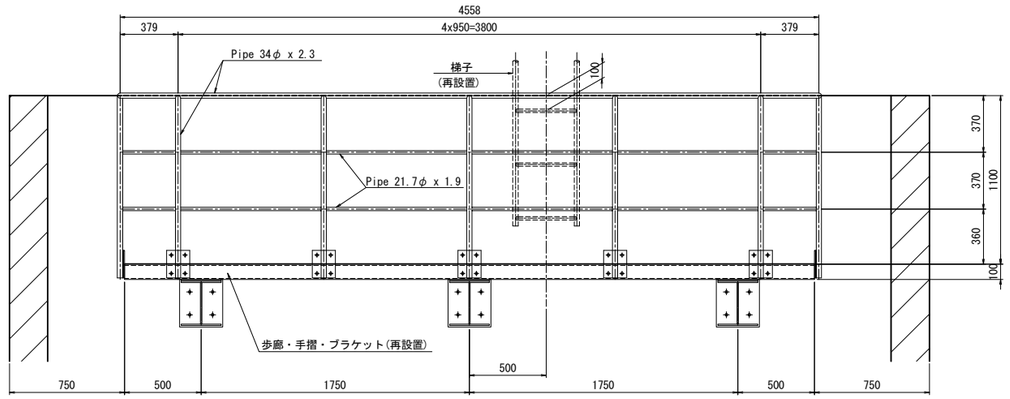
袖ヶ浦IC Aランプ橋　P1橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

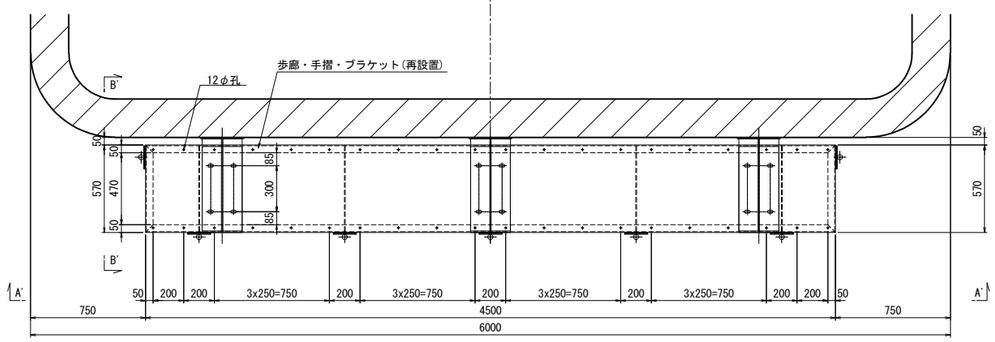
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 4592 (STK400)
2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 636 (STK400)
7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1190 (STK400)
8 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 924 (STK400)
4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 517 (STK400)
14 - PL 150 x 6 x 180
14 - BN M16 x 40 (2-W付)
14 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 4500
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
1 - CH PL 550 x 3.2 x 4450
4 - FB 50 x 6 x 560
3 - PL 100 x 9 x 560
3 - PL 260 x10 x 550
40 - BN M10 x 30 (1-TW、1-W付)

ブラケット再利用材料 (n=3)
1 - U Flg PL 260 x 10 x 610
1 - Web PL 270 x 9 x 610
1 - L Flg PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50 (2-W付)
1 - PL 280 x 10 x 310

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB φ22 x 440 (SR235)
6 - PL 60 x 6 x 160

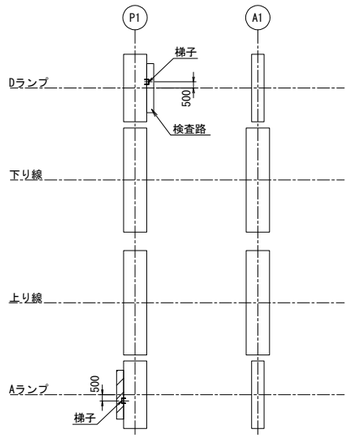
設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー　M16 x 100

配置図 S=N:S

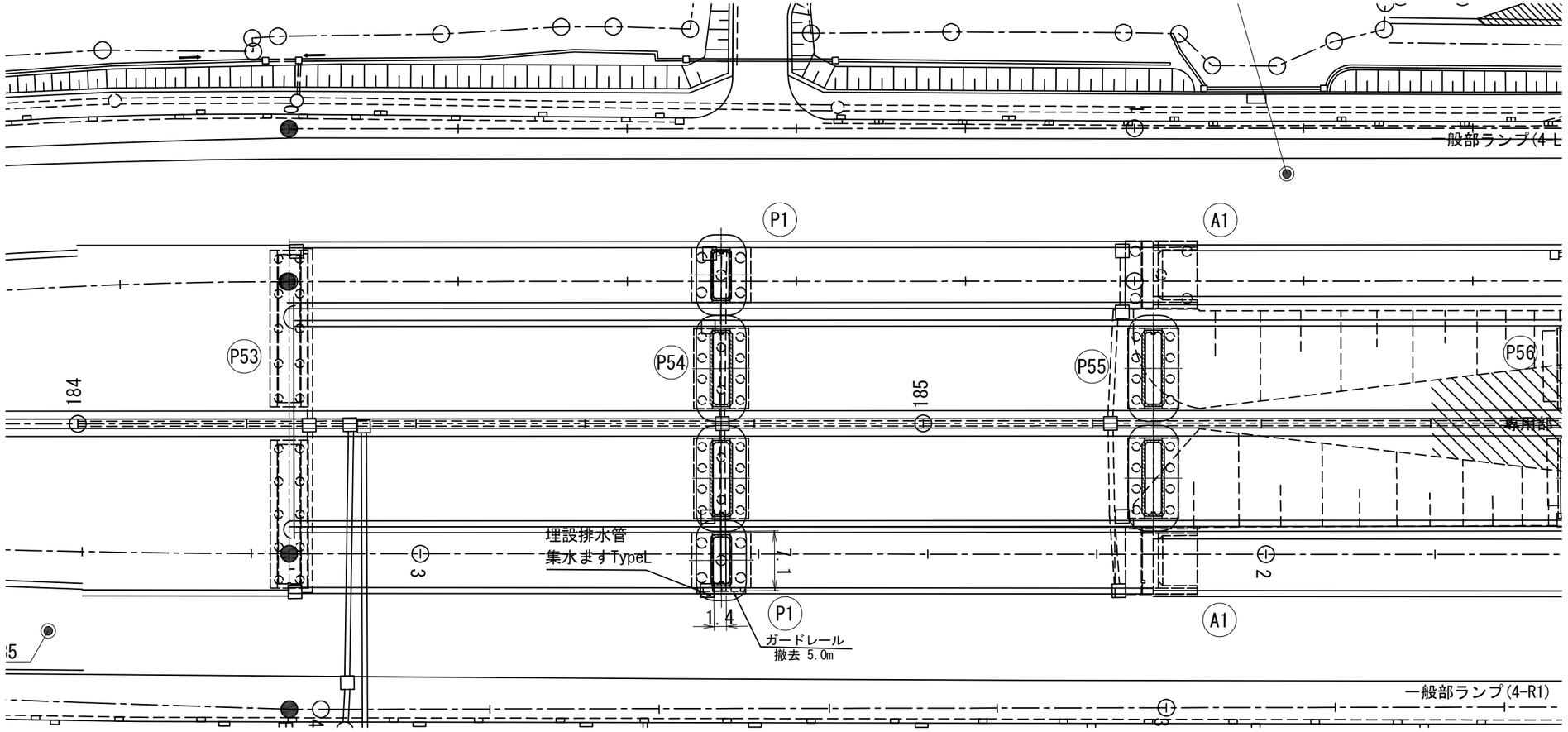


注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

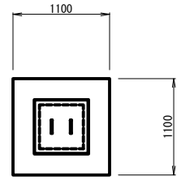
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ヶ浦IC　Aランプ橋 P1橋脚　検査路撤去・設置計画図 (その2)
縮　尺	図示
図面番号	183 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

袖ヶ浦IC　Aランプ橋 撤去・復旧図

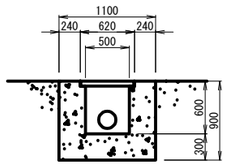
平面図　S=1/600



集水ます　Type L　S=1/70



平面図



断面図

数量表

単　価　項　目		単　位	数　量	
用・排水溝撤去設置工	集水ます　TypeL	箇所	1.0	P1 1.0
	用排水溝　PuL-0.3-0.3	m	8.5	P1 8.5
ガードレール撤去・設置工	ガードレール　Ｇｒ－Ｃ－４Ｅ	m	5.0	P1 5.0

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ヶ浦IC　Aランプ橋 撤去・復旧図
縮　尺	図示
図面番号	184 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

袖ヶ浦IC Aランプ橋　既設落橋防止構造撤去図　縮尺 1:25

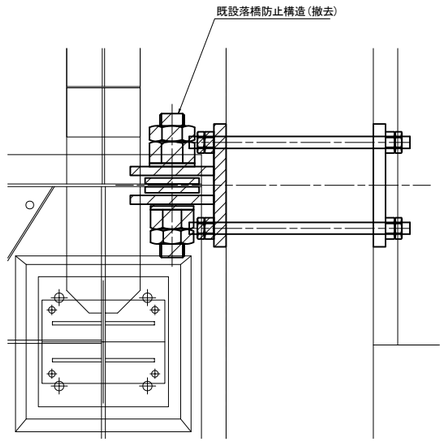
撤去工　落橋防止構造

A1橋台

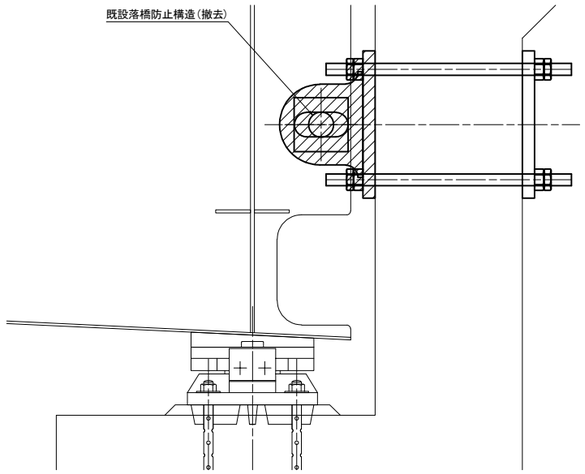
既設落橋防止構造

数：2基

平面図

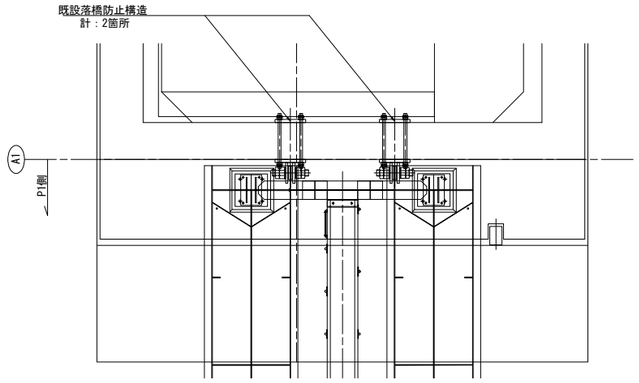


側面図



撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
- 1-Pin φ100×550(S45CN)
- 2-NUT M100(1種)(SS400)
- 2-NUT M100(3種)(SS400)
- 2-Washer φ175×14(SS400)
- 2-割ピン φ13×140(SWRM10)
- 1-PL 500x50x600(SM520C)
- 2-PL 340x36x430(SM520B)
- 2-PL 220x25x220(SM490YB)
- 4-NUT M48(1種)(SS400)
- 4-NUT M48(3種)(SS400)
- 4-Washer φ92×8(SS400)

配置図 S=N:S

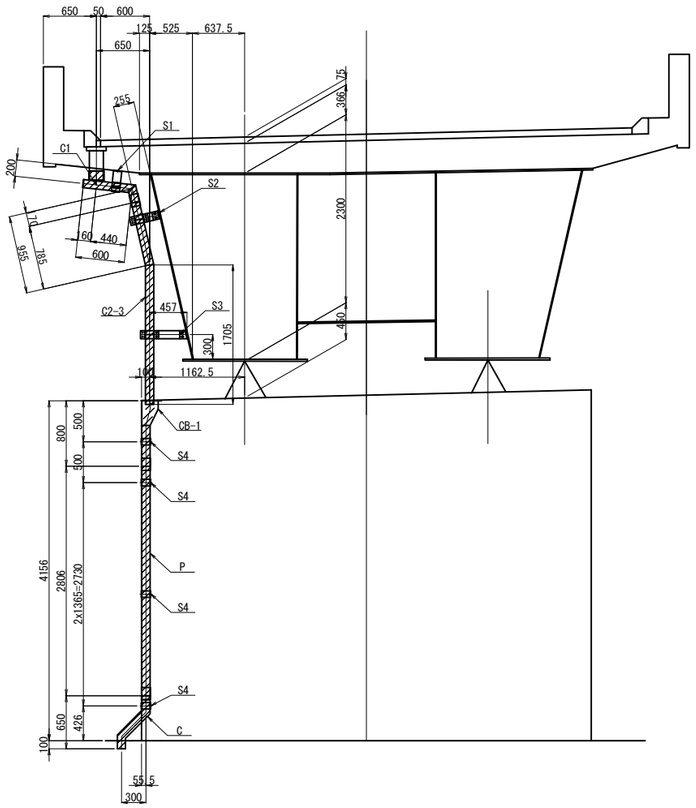


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦IC　Aランプ橋 既設落橋防止構造撤去図		
縮　尺	図示	図面番号	185 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

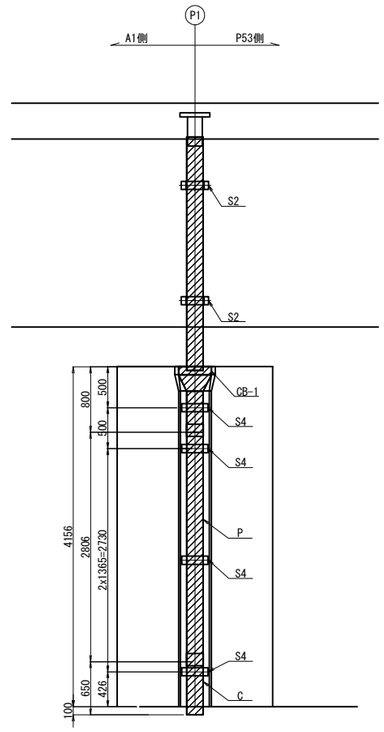
袖ヶ浦IC　Dランプ橋　P1橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1)　S=1/75

撤去工　排水管B

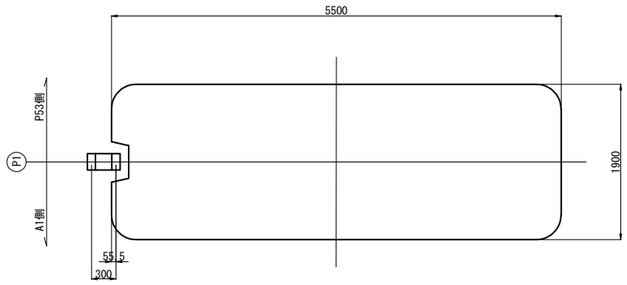
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1	個	1
	C2-3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	1
	S3	個	1
受　　桝	CB-1	個	1
加 工 管	C	個	1
直　　管	P	個	1
取付金具	S4	個	4
流水延長(鋼管)		m	7.631
撤去重量		kg	208

凡例

：撤去

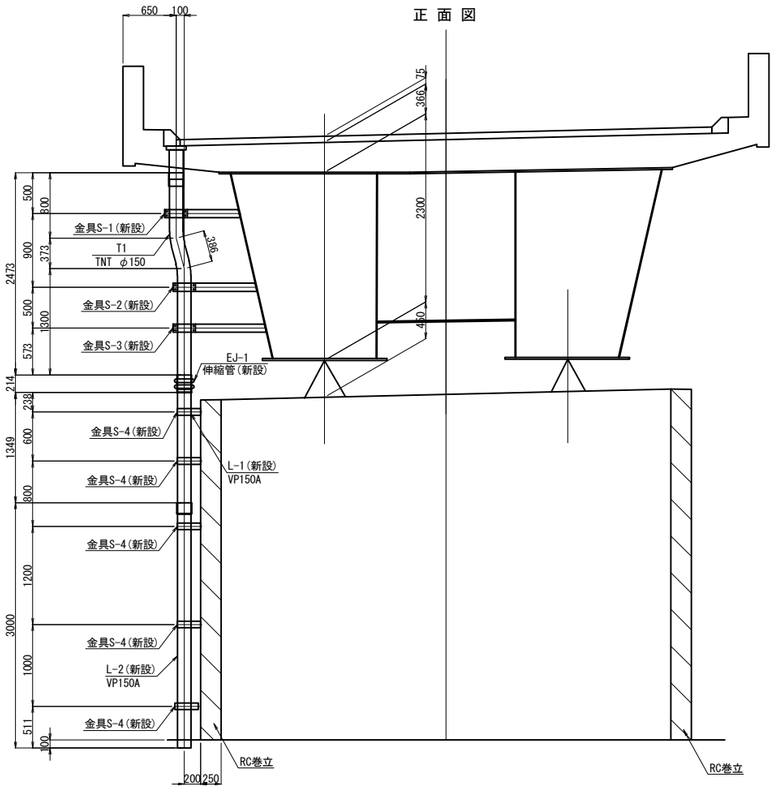
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ヶ浦IC　Dランプ橋 P1橋脚　排水装置撤去・設置計画図 (その1)
縮　　尺	1:75
図面番号	186 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

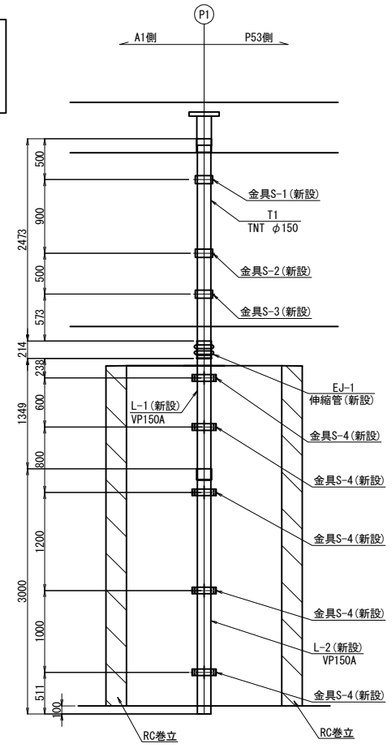
袖ヶ浦IC　Dランプ橋　P1橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2)　S=1/75

設置工　排水管A

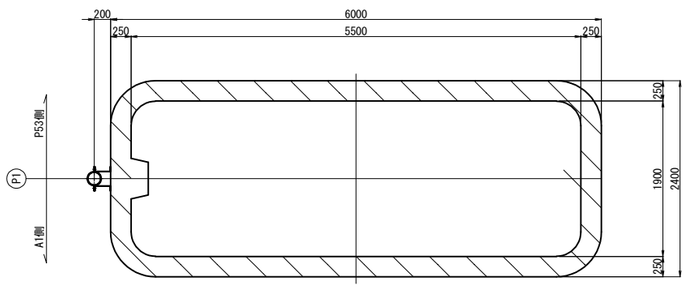
正 面 図



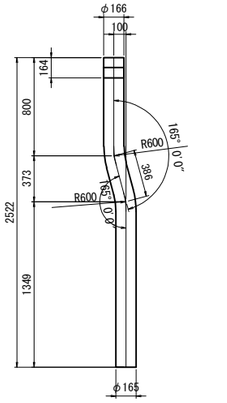
側 面 図



平 面 図



新設フレキシブル管 T1　S=1/50

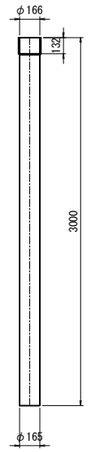


1-TNT φ150x2535

新設直管L-1　S=1/50

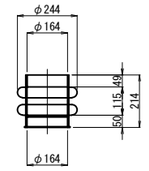
1-VP 150Ax1531

新設直管L-2　S=1/50

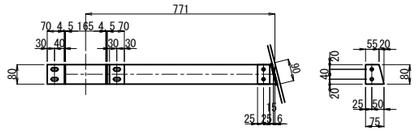


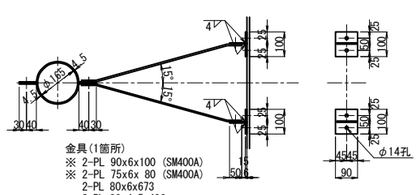
1-VP 150Ax3000

新設伸縮管 EJ-1　S=1/25



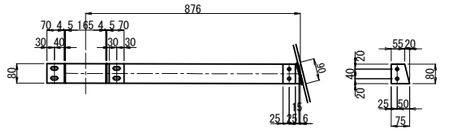
新設金具 S-3　S=1/25

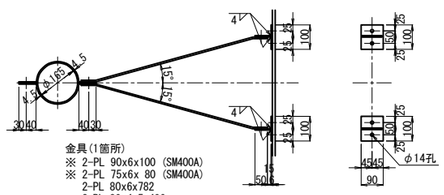




金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x673
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

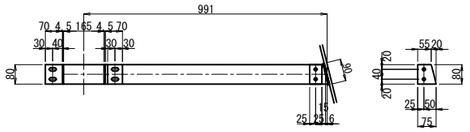
新設金具 S-2　S=1/25

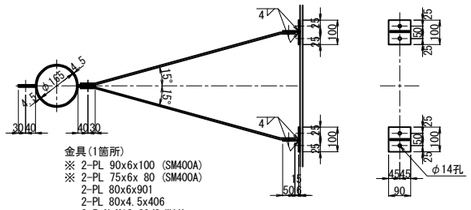




金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x782
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
2-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

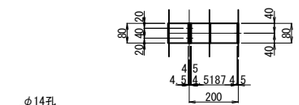
新設金具 S-3　S=1/25



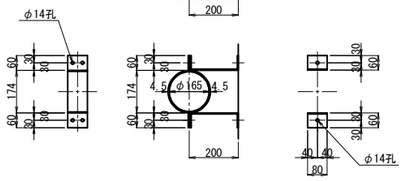


金具(1箇所)
※ 2-PL 90x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x901
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
2-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-4　S=1/25



金具(5箇所)
2-PL 80x4.5x307
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100



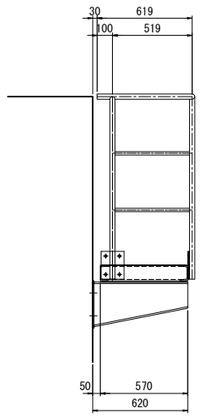
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ヶ浦IC　Dランプ橋 P1橋脚　排水装置撤去・設置計画図 (その2)		
縮　尺	図示	図面番号	187 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

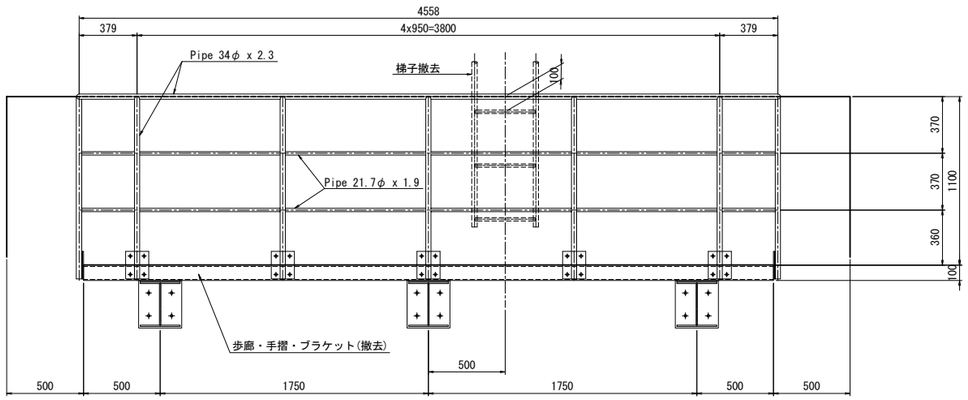
袖ヶ浦IC　Dランプ橋　P1橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1)　S=1/40

撤去工　検査路B

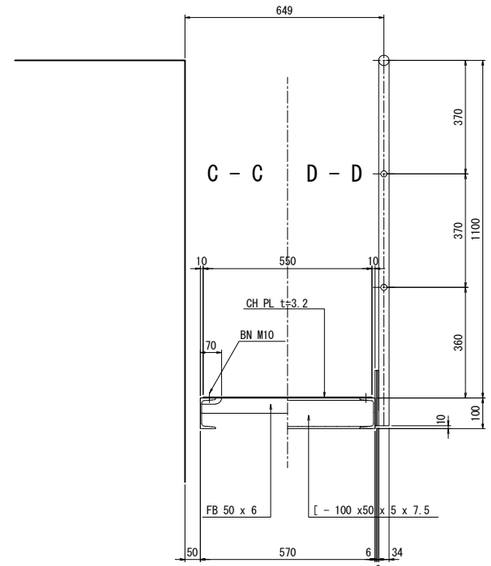
B － B



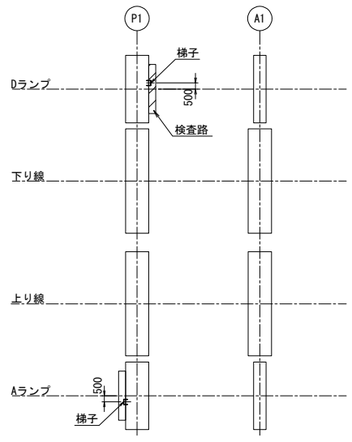
A － A



断面図　S=1/20



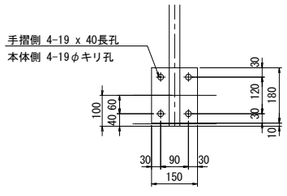
配置図　S=N:S



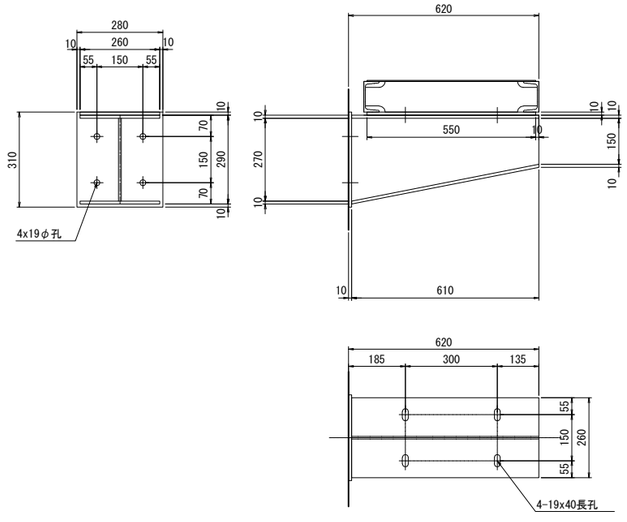
注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。
4. 検査路ブラケットの橋脚への取付アンカーは、橋脚躯体表面で切断処理とする。

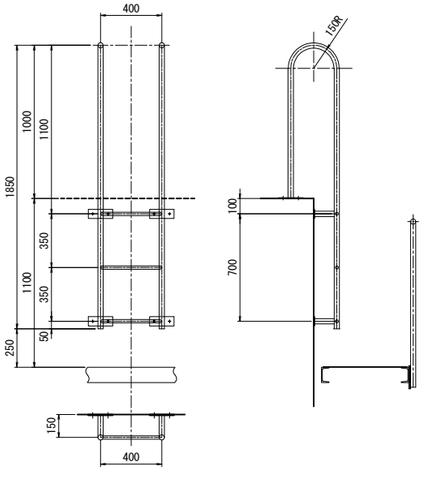
手摺詳細図　S=1/20



ブラケット詳細図　S=1/20



梯子詳細図

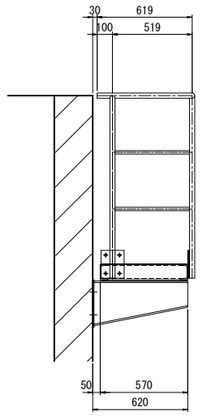


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事				
図面の種類	袖ケ浦IC　Dランプ橋 P1橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）			
縮　尺	図示	図面番号	188 ／ 236	
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所			

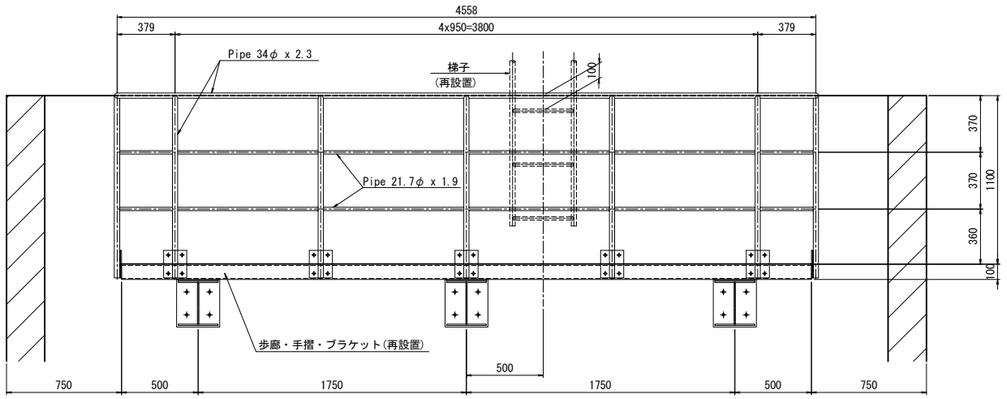
袖ヶ浦IC　Dランプ橋　P1橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2)　S=1/40

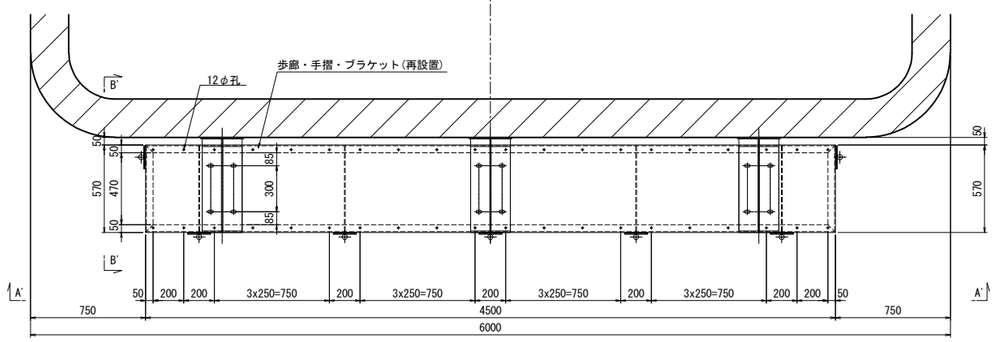
撤去・設置工　検査路B

B' - B'



A' - A'





撤去・設置工　検査路B

再利用材料

1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 4592 (STK400)
2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 636 (STK400)
7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1190 (STK400)
8 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 924 (STK400)
4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 517 (STK400)
14 - PL 150 x 6 x 180
14 - BN M16 x 40 (2-W付)
14 - BN M16 x 45 (2-W付)
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 4500
2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 570
1 - CH PL 550 x 3.2 x 4450
4 - FB 50 x 6 x 560
3 - PL 100 x 9 x 560
3 - PL 260 x10 x 550
40 - BN M10 x 30 (1-TW、1-W付)

ブラケット再利用材料 (n=3)
1 - U Flg PL 260 x 10 x 610
1 - Web PL 270 x 9 x 610
1 - L Flg PL 260 x 10 x 622
4 - BN M16 x 50 (2-W付)
1 - PL 280 x 10 x 310

梯子再利用材料 (n=1)
2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 3015 (STK400)
4 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 144 (STK400)
3 - RB φ22 x 440 (SR235)
6 - PL 60 x 6 x 160

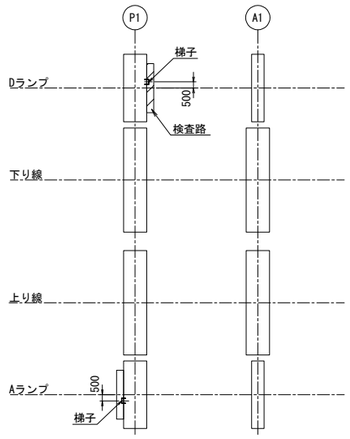
設置工　検査路B

新規材料

ブラケット新規材料
12 - 打込み式アンカー M16 x 100

梯子新規材料
12 - 打込み式アンカー M16 x 100

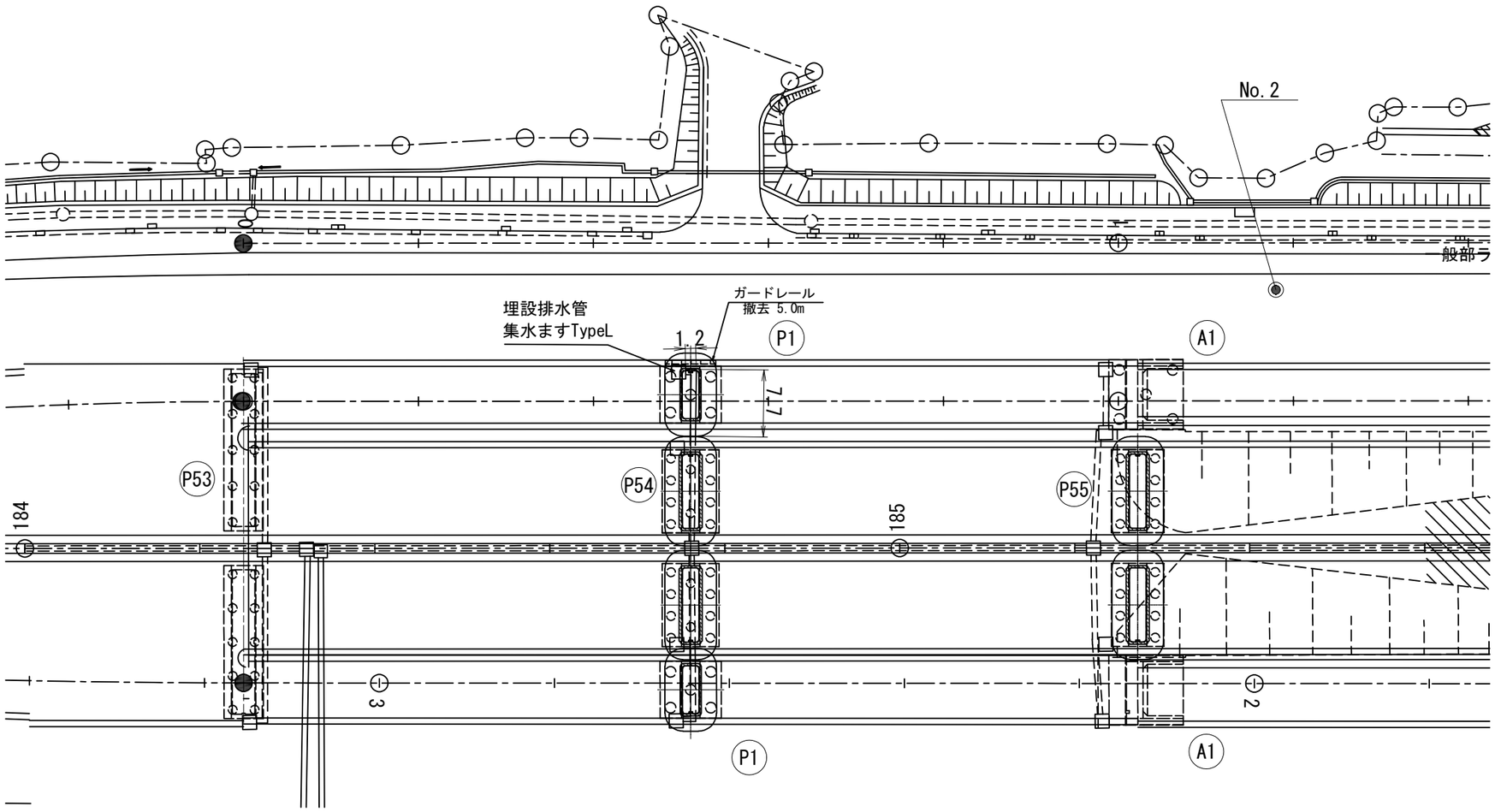
配置図 S=N:S



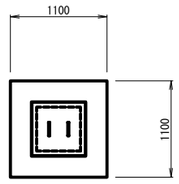
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	袖ヶ浦IC　Dランプ橋 P1橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	189 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

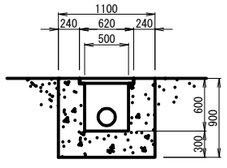
袖ヶ浦IC　Dランプ橋 撤去・復旧図



集水ます　Type L　S=1/70



平面図



断面図

数量表

単　価　項　目		単　位	数　量	
用・排水溝撤去設置工	集水ます　Type L	箇所	1.0	P1 1.0
	用排水溝　PuL-0.3-0.3	m	8.9	P1　8.9
ガードレール撤去・設置工	ガードレール　Ｇｒ－Ｃ－４Ｅ	m	5.0	P1　5.0

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事				
図面の種類	袖ヶ浦IC　Dランプ橋 撤去・復旧図			
縮　尺	図示	図面番号	190 ／ 236	
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所			

袖ヶ浦IC　Dランプ橋　既設落橋防止構造撤去図　縮尺 1:25

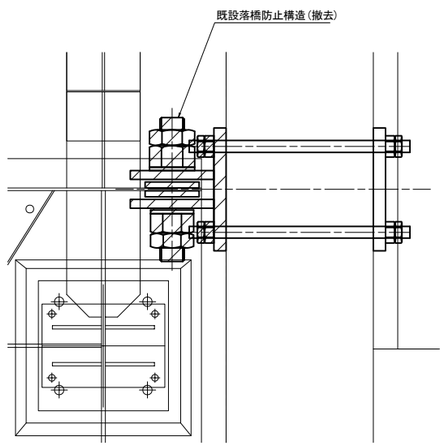
撤去工　落橋防止構造

A1橋台

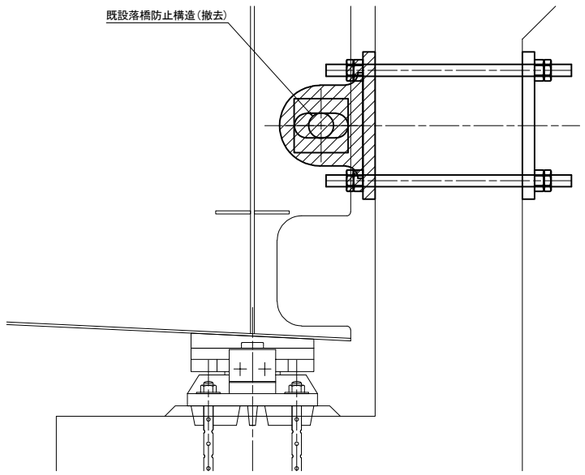
既設落橋防止構造

数：2基

平面図

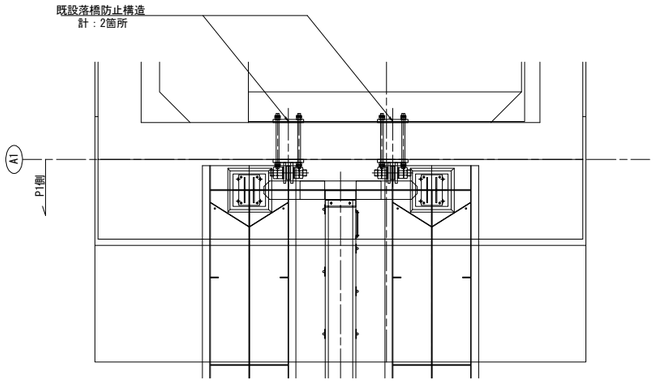


側面図



撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
- 1-Pin φ100×550(S45CN)
- 2-NUT M100(1種)(SS400)
- 2-NUT M100(3種)(SS400)
- 2-Washer φ175×14(SS400)
- 2-割ピン φ13×140(SWRM10)
- 1-PL 500x50x600(SM520C)
- 2-PL 340x36x430(SM520B)
- 2-PL 220x25x220(SM490YB)
- 4-NUT M48(1種)(SS400)
- 4-NUT M48(3種)(SS400)
- 4-Washer φ92×8(SS400)

配置図 S=N:S

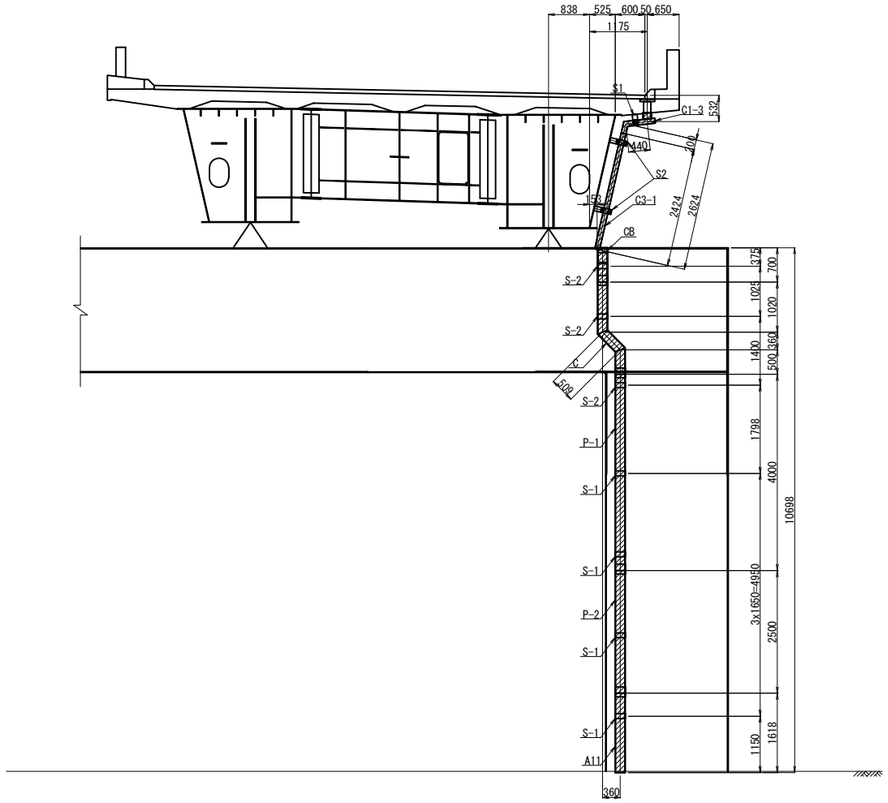


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	袖ケ浦IC　Dランプ橋 既設落橋防止構造撤去図		
縮　尺	図示	図面番号	191 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

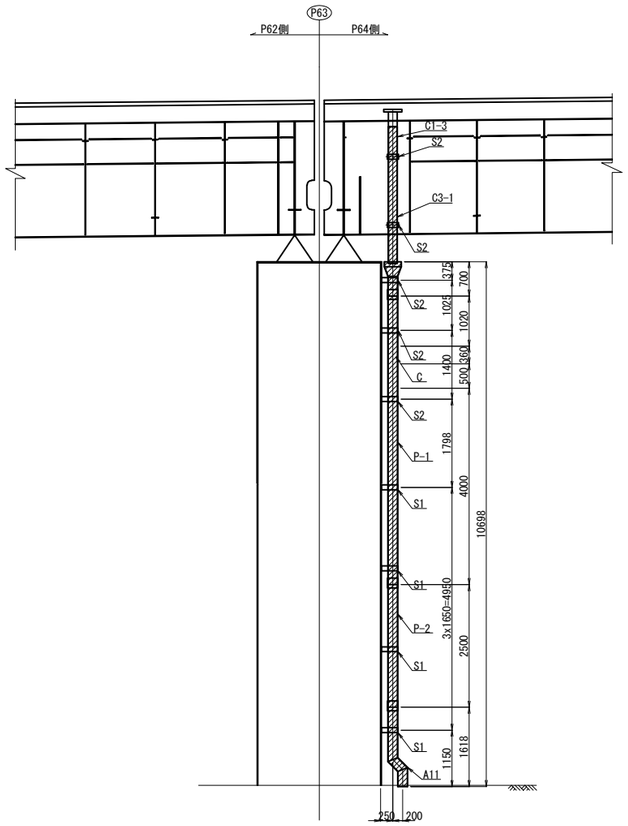
神納橋（上り線）P63橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

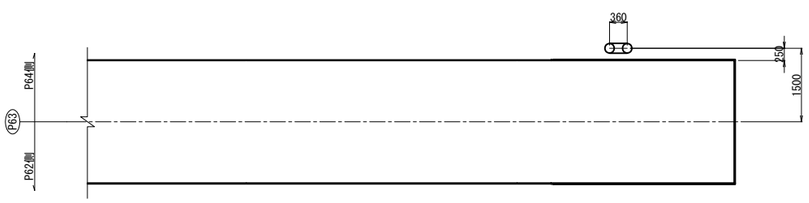
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C3-1	個	1
	C1-3	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　　桝	CB	個	1
加 工 管	C	個	1
直　　管	P-1	個	1
直　　管	P-2	個	1
取付金具	S-1	個	4
	S-2	個	3
加 工 管	A-11	個	1
流水延長(鋼管)		m	14.176
撤去重量		kg	549

凡例

▨ ：撤去

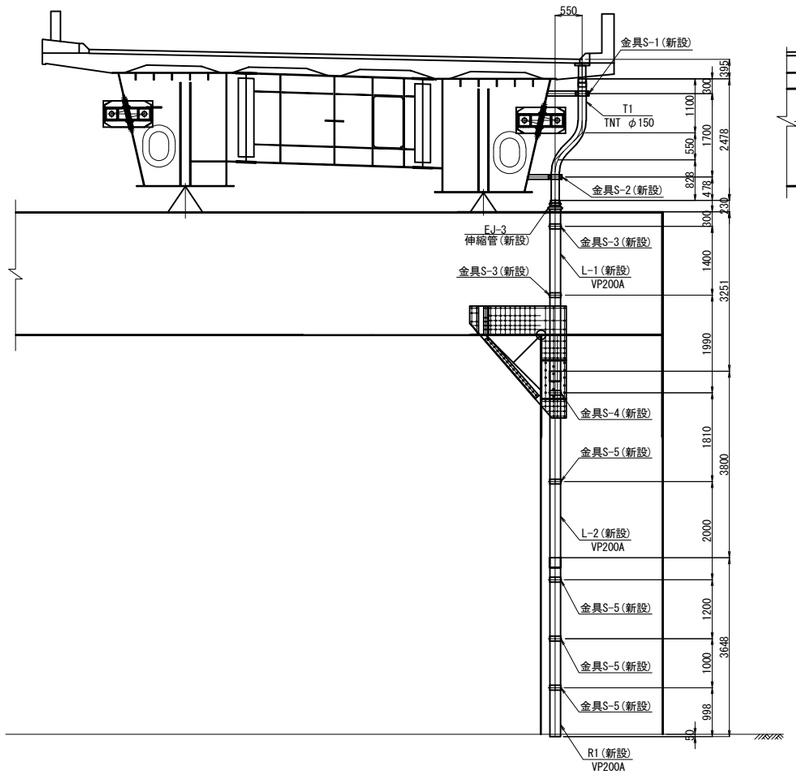
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納橋（上り線） P63橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:125	図面番号	192 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

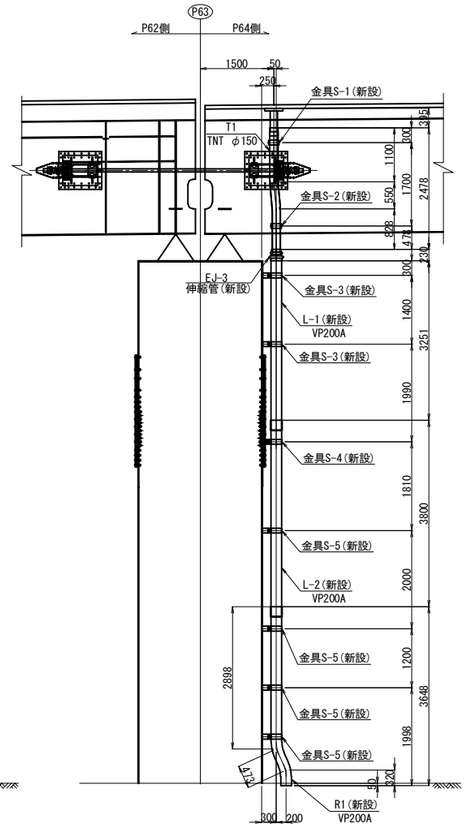
神納橋（上り線）P63橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

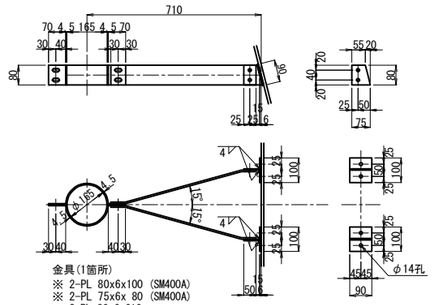
正 面 図



側 面 図

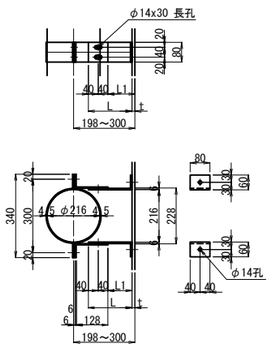


新設金具 S-1 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x610
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具S-3～S-5 S=1/5

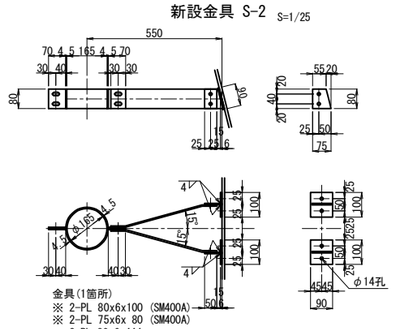


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-3	23	160	217	271	50	2
S-4	91	84	164	218	120	1
S-5	16	160	224	278	45	4

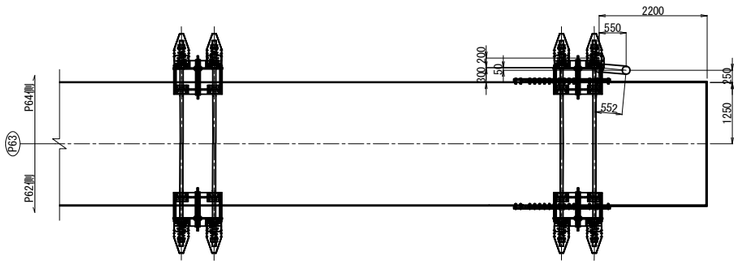
※ S=(L-3)+57

新設金具 S-2 S=1/25

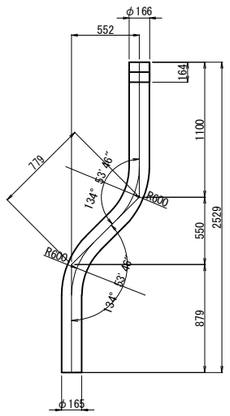


金具(1箇所)
※ 2-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x444
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

平 面 図

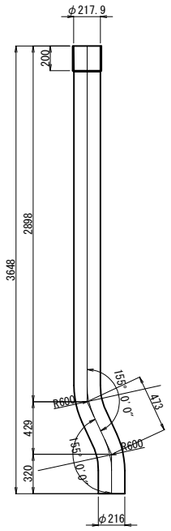


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



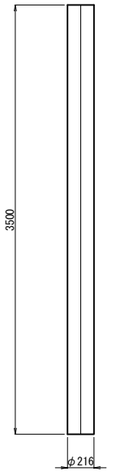
1-TNT φ150x2758

新設加工管R1 S=1/50



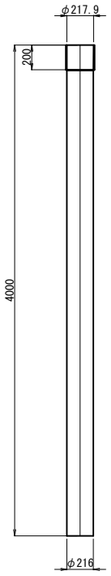
1-VP 200Ax3691

新設直管L-1 S=1/50



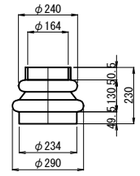
1-VP 200Ax3500

新設直管L-2 S=1/50



1-VP 200Ax4000

新設伸縮管 EJ-3 S=1/25



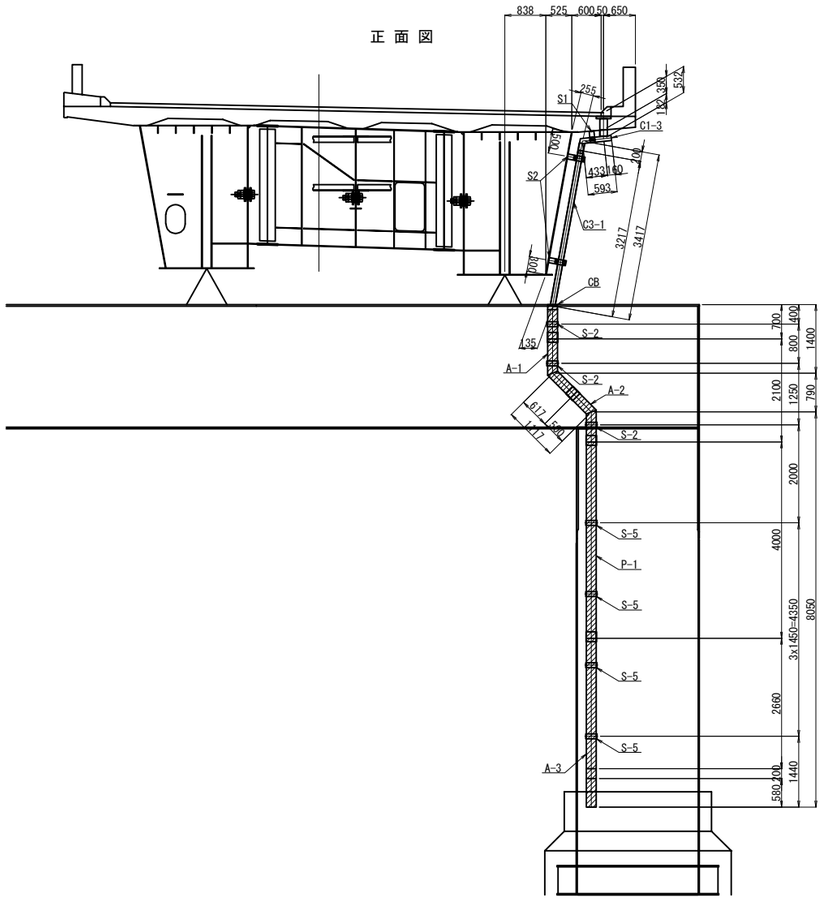
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納橋（上り線） P63橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	193 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

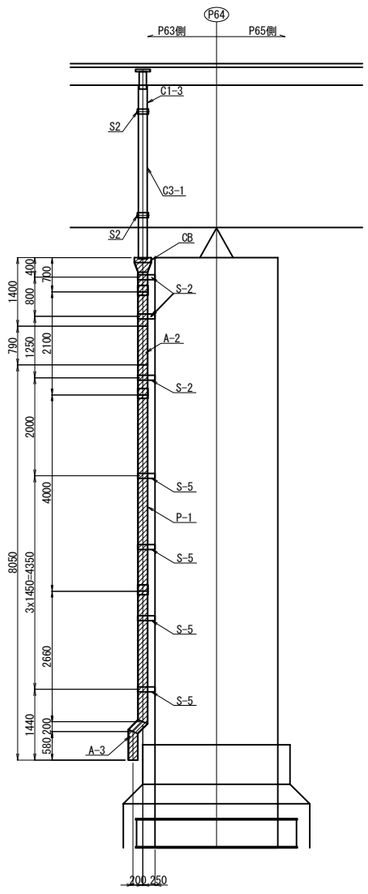
神納橋（上り線）P64橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

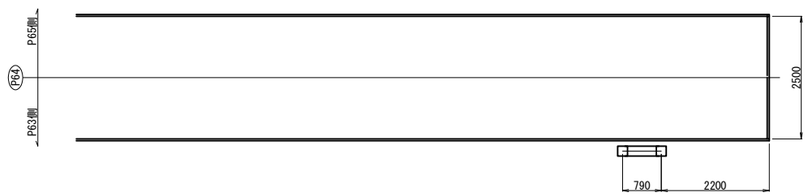
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	A-1	個	1
	A-2	個	1
	A-3	個	1
直　管	P-1	個	1
取付金具	S-2	個	3
	S-5	個	4
流水延長(鋼管)		m	10.650
撤去重量		kg	470

凡例

▨ ：撤去

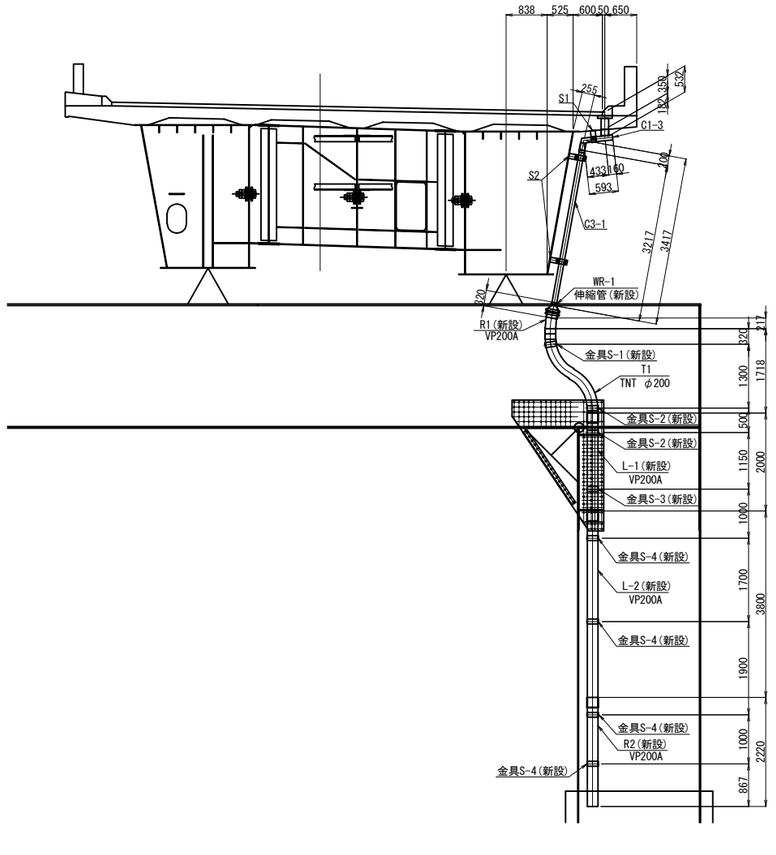
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納橋（上り線） P64橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	194 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

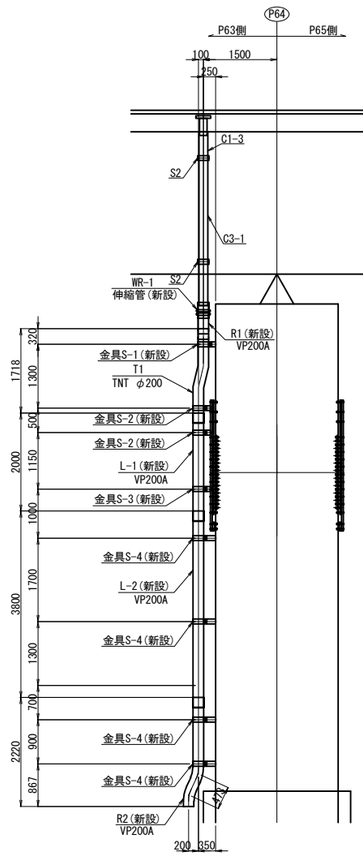
神納橋（上り線）P64橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

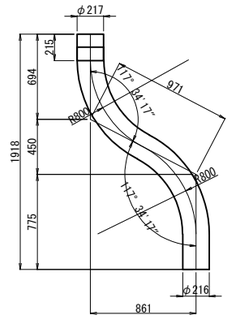
正 面 図



側 面 図

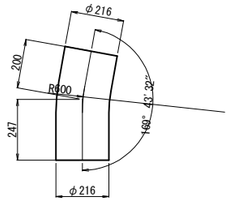


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



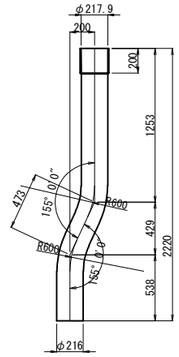
1-TNT φ200x2710

新設加工管 R1 S=1/25



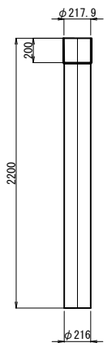
1-VP 200Ax447

新設加工管R2 S=1/50



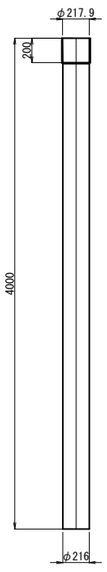
1-VP 200Ax2264

新設直管L-1 S=1/50



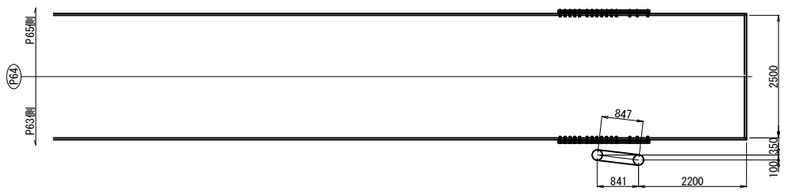
1-VP 200Ax2200

新設直管L-2 S=1/50

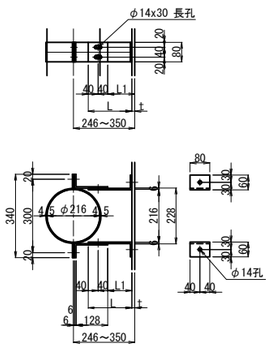


1-VP 200Ax4000

平 面 図



新設金具S-1～S-4 S=1/25

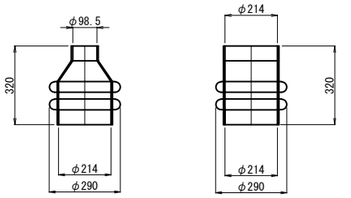


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	35	75	155	209	65	1
S-2	104	106	186	240	130	2
S-3	128	106	186	240	155	1
S-4	25	185	265	319	55	4

※ S=(L-3)+57

新設伸縮管 WR-1 S=1/25



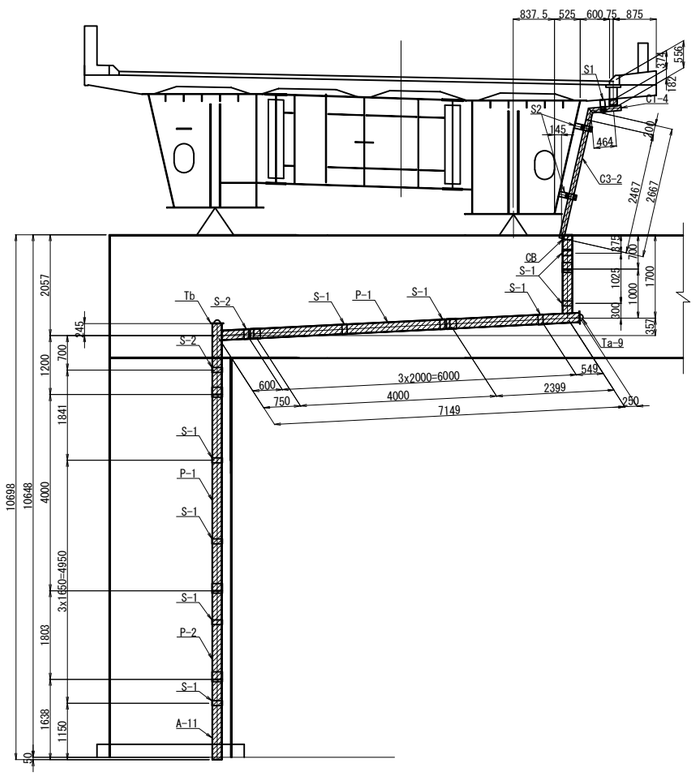
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納橋（上り線） P64橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	195 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

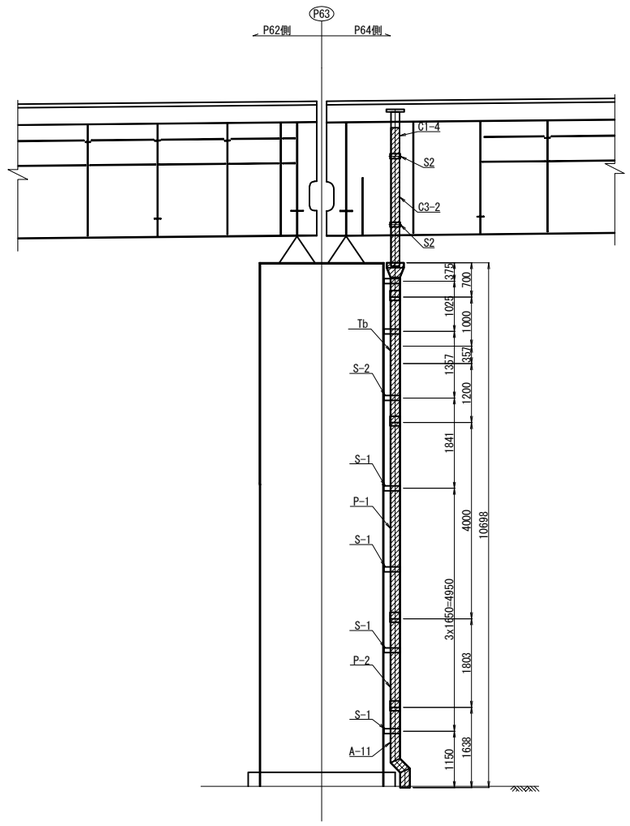
神納橋（下り線）P63橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

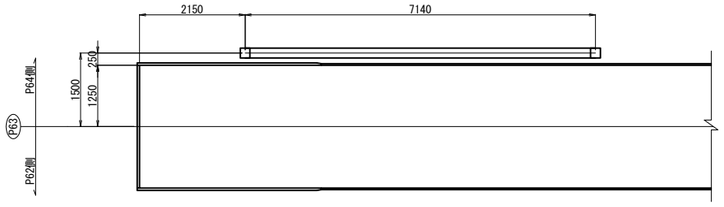
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	C1-4	個	1
	C3-2	個	1
取付金具	S1	個	1
	S2	個	2
受　桝	CB	個	1
加 工 管	Ta-9	個	1
	Tb	個	1
直　管	P-1	個	2
	P-2	個	1
取付金具	S-2	個	2
	S-1	個	9
加 工 管	A-11	個	1
流水延長(鋼管)		m	20.886
撤去重量		kg	872

凡例

▨ ：撤去

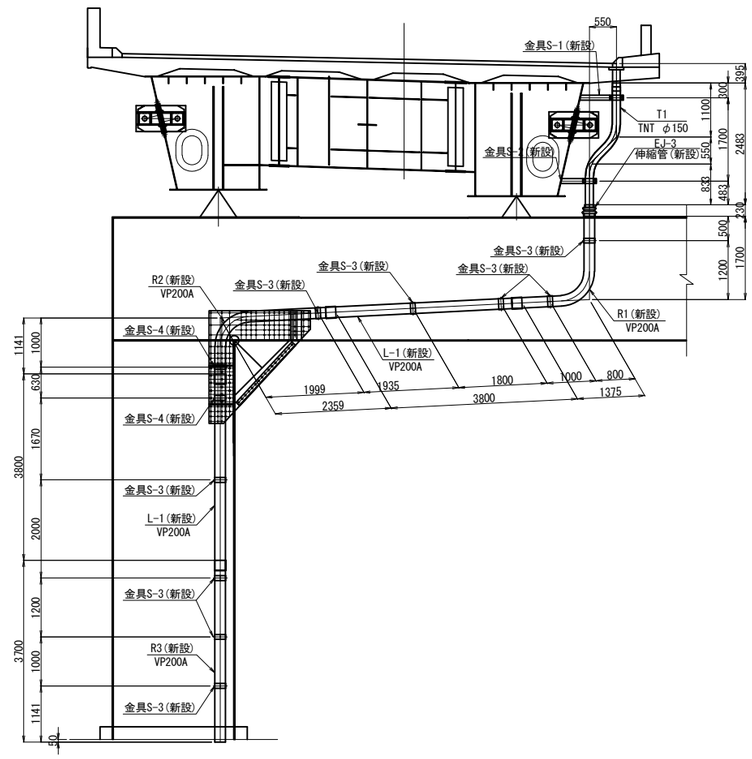
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納橋（下り線） P63橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	196 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

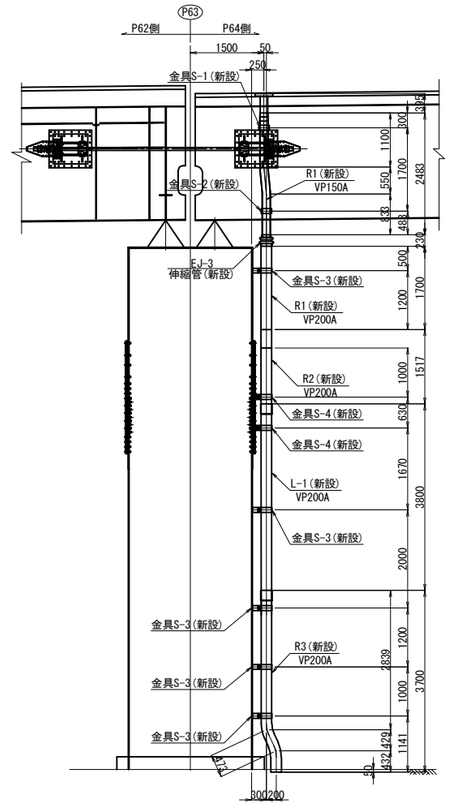
神納橋（下り線）P63橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

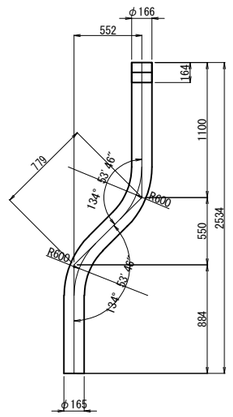
正 面 図



側 面 図

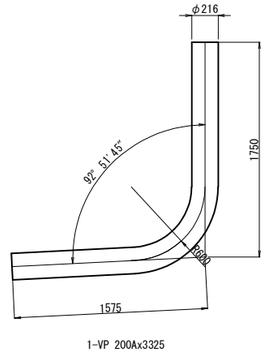


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



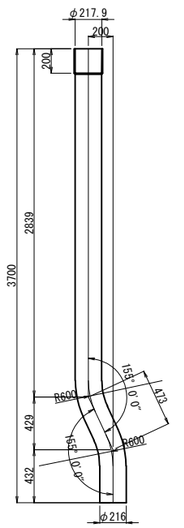
1-TNT φ150x2763

新設加工管R1 S=1/50



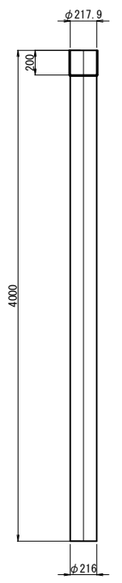
1-VP 200Ax3325

新設加工管R3 S=1/50



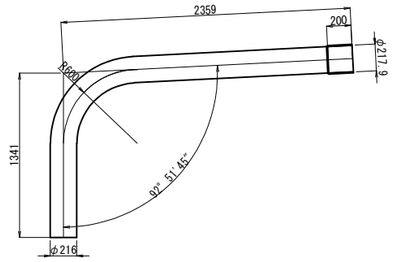
1-VP 200Ax3744

新設直管L-1 S=1/50



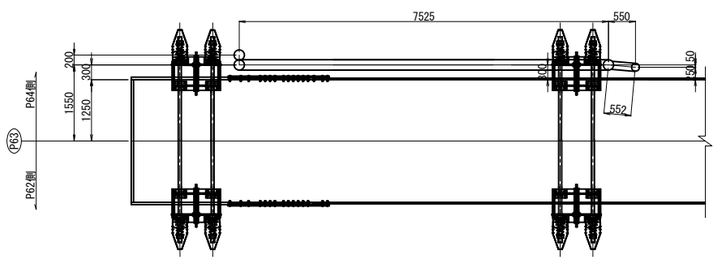
2-VP 200Ax4000

新設加工管R2 S=1/50

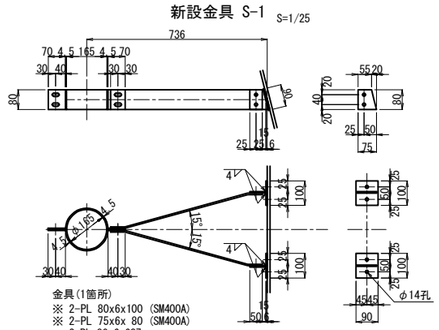


1-VP 200Ax3700

平 面 図

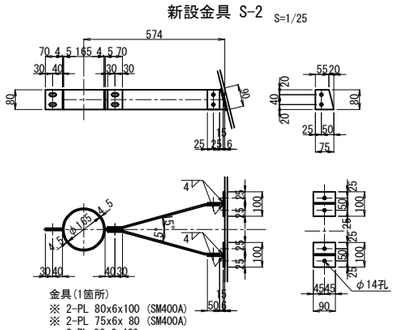


新設金具 S-1 S=1/25



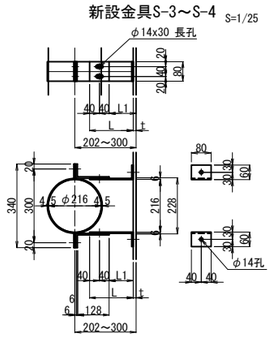
金具(1箇所)
※ 2-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x637
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)
4-B.N M12x40(2-W付)

新設金具 S-2 S=1/25



金具(1箇所)
※ 2-PL 80x6x100 (SM400A)
※ 2-PL 75x6x 80 (SM400A)
2-PL 80x6x469
2-PL 80x4.5x406
2-B.N M12x30(2-W付)
2-B.N M12x45(2-W付)
4-B.N M12x35(2-W付)

新設金具S-3～S-4 S=1/25

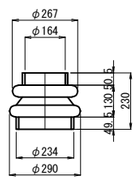


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-3	16	160	224	278	45	8
S-4	87	86	166	220	115	2

※ S=(L-3)+57

新設伸縮管 EJ-3 S=1/25



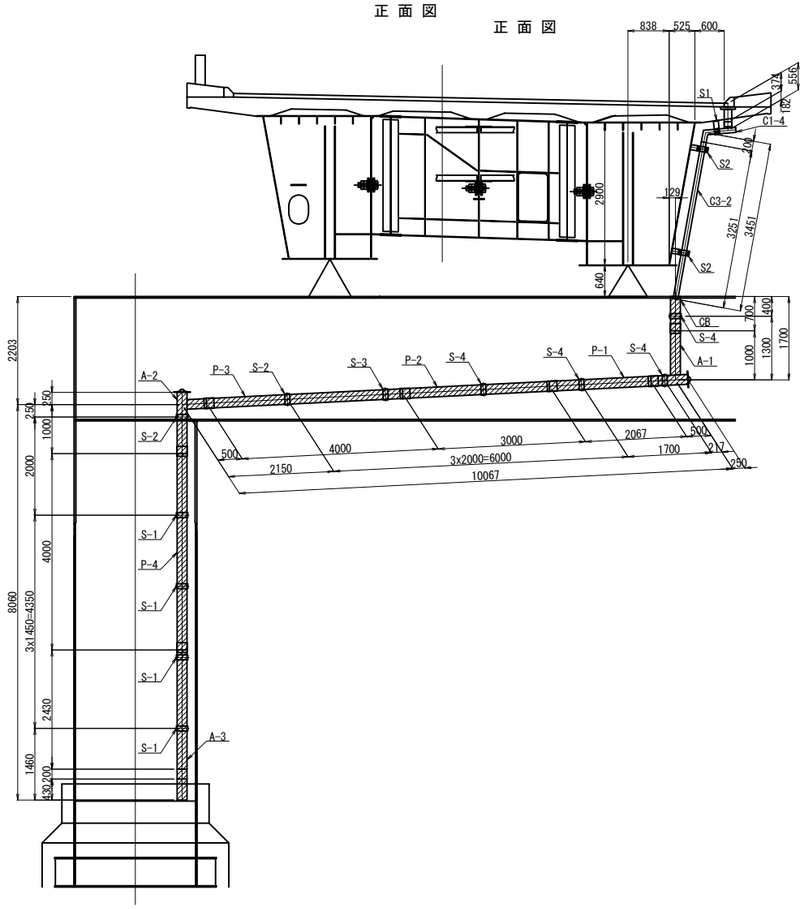
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納橋（下り線） P63橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	197 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

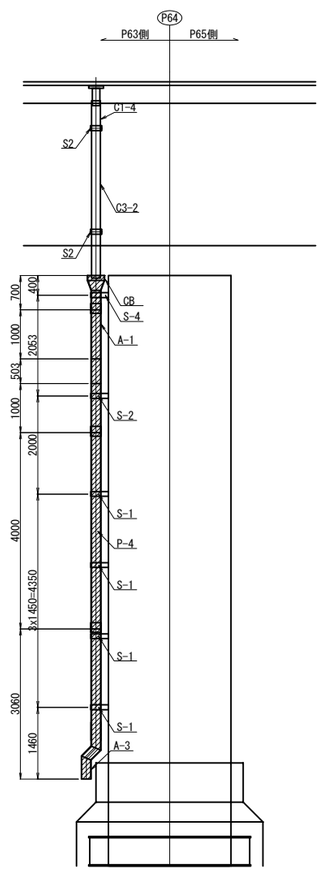
神納橋（下り線）P64橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去工　排水管B

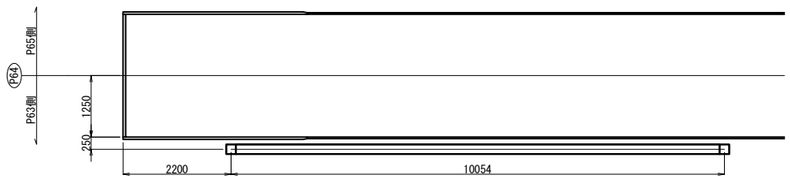
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
受　桝	CB	個	1
加 工 管	A-1	個	1
	A-2	個	1
	A-3	個	1
直　管	P-1	個	1
	P-2	個	1
	P-3	個	1
	P-4	個	1
取付金具	S-1	個	4
	S-2	個	2
	S-3	個	1
	S-4	個	4
流水延長(鋼管)		m	19.910
撤去重量		kg	892

凡例

▨ ：撤去

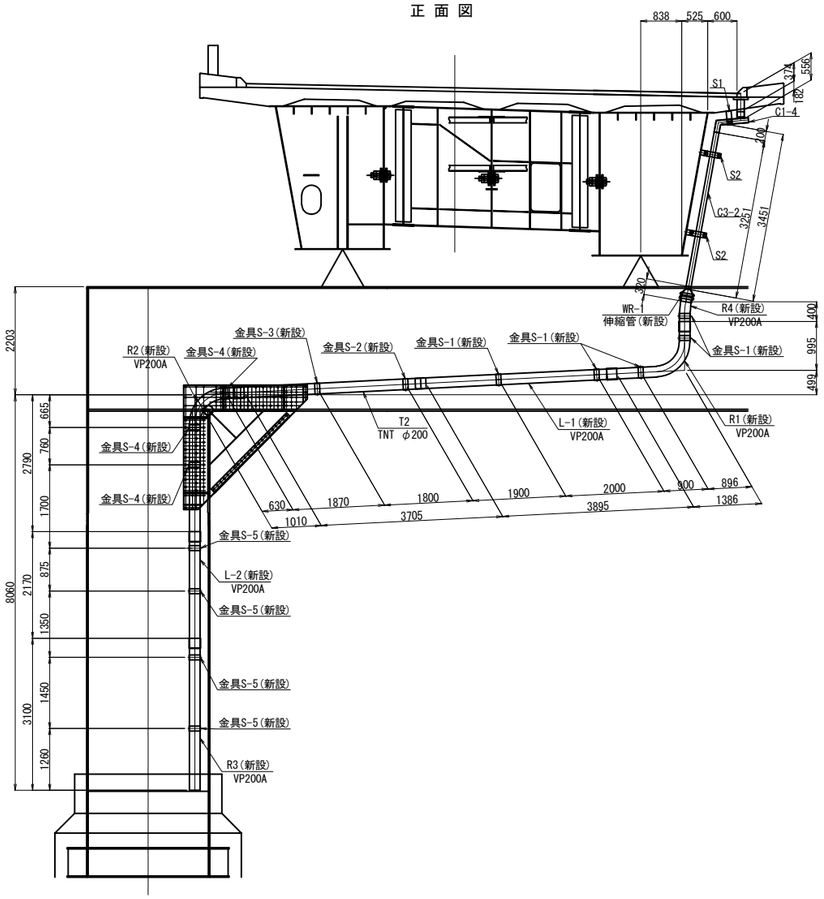
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納橋（下り線） P64橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	198 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

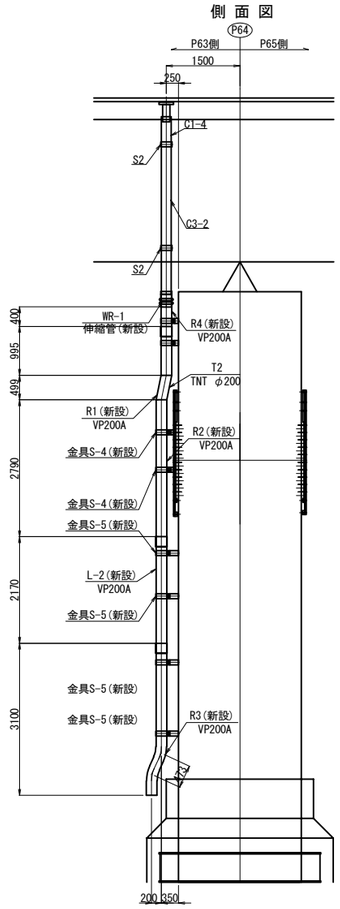
神納橋（下り線）P64橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

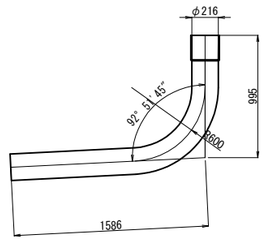
正面図



側面図

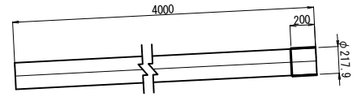


新設加工管R1 S=1/50



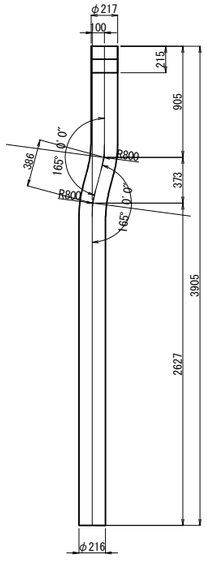
1-VP 200Ax2581

新設直管L-1 S=1/50



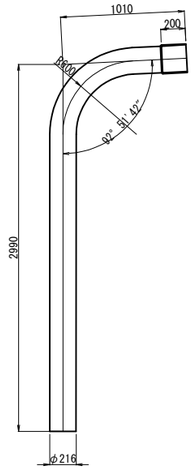
1-VP 200Ax4000

新設フレキシブル管 T2 S=1/50



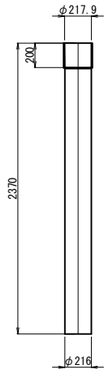
1-TNT φ200x3918

新設加工管R2 S=1/50



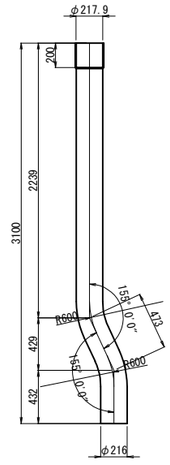
1-VP 200Ax4000

新設直管L-2 S=1/50



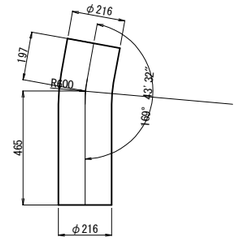
1-VP 200Ax2370

新設加工管R3 S=1/50



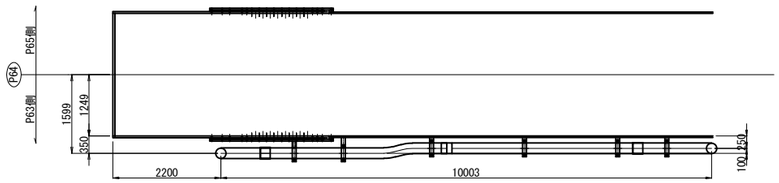
1-VP 200Ax3144

新設加工管R4 S=1/25

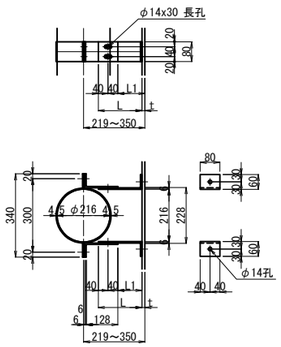


1-VP 200Ax662

平面図



新設金具S-1～S-5 S=1/25

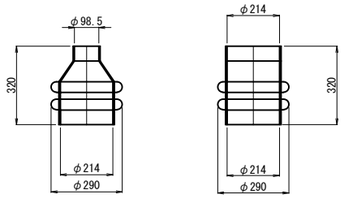


2-PL 80x6x S
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x461
2-B.N M12x D(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

	t	L1	L	S	D	製作数n
S-1	22	88	168	222	50	5
S-2	29	81	161	215	55	1
S-3	29	181	261	315	55	1
S-4	128	106	186	240	155	3
S-5	23	187	267	321	50	4

※ S=(L-3)+57

新設伸縮管 WR-1 S=1/25



注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納橋（下り線） P64橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）
縮　尺	図示
図面番号	199 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

神納橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図　縮尺 1:25

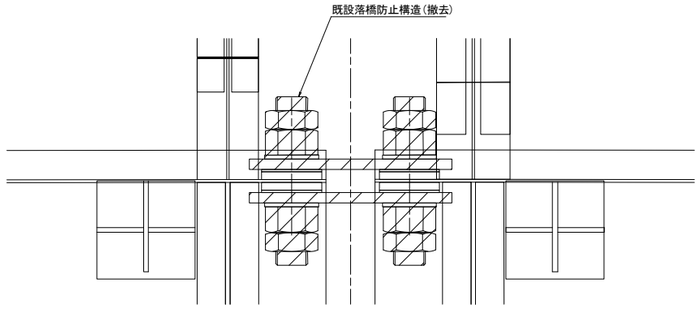
撤去工　落橋防止構造

P63橋脚

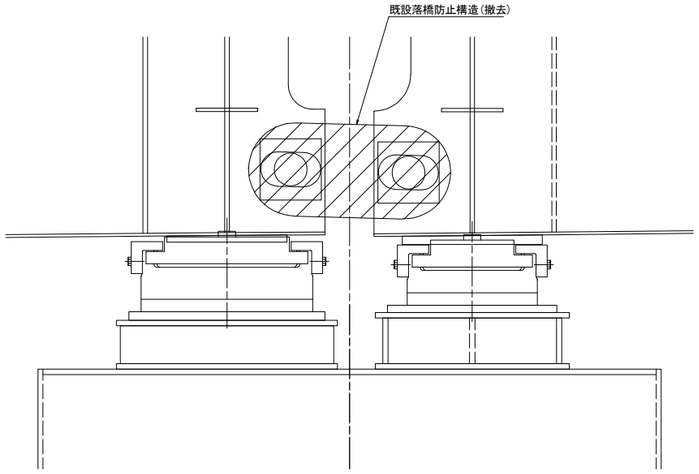
既設落橋防止構造

P63橋脚(上り線)：2基
P63橋脚(下り線)：2基

平面図



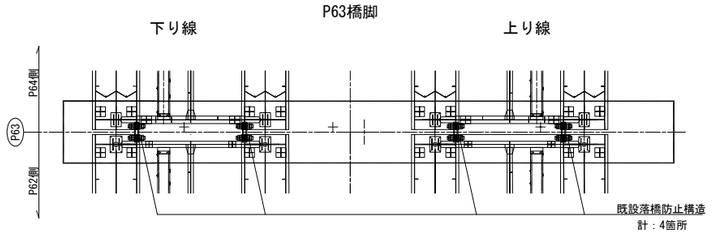
側面図



撤去部材
既設落橋防止構造（1基当たり）
2-PL 380×42×825(SM570)
2-Bolt φ130×720(S45CN)
4-NUT M130(1種)(SS400)
4-NUT M130(3種)(SS400)
4-Washer φ220×16(SS400)
4-割ピン φ16×280(SWRM10)
4-ゴム φ250×10×250(クロロプレンゴム)

配置図　S=N:S

P63橋脚

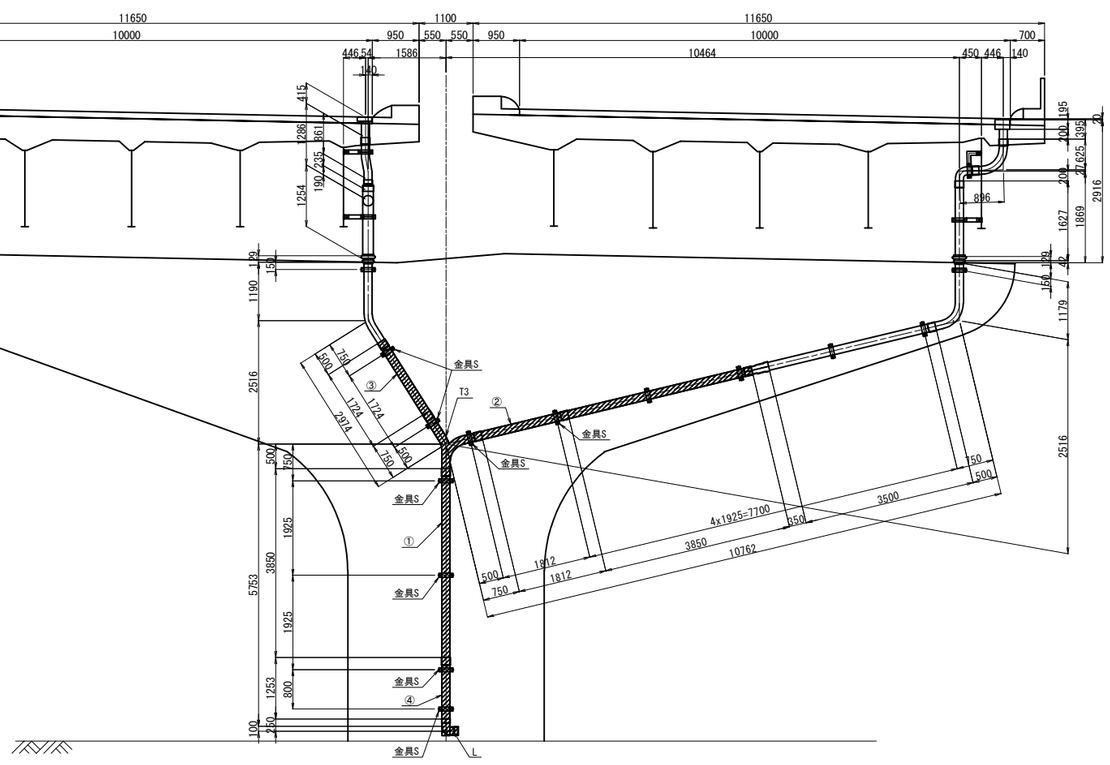


東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図		
縮　尺	図示	図面番号	200 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

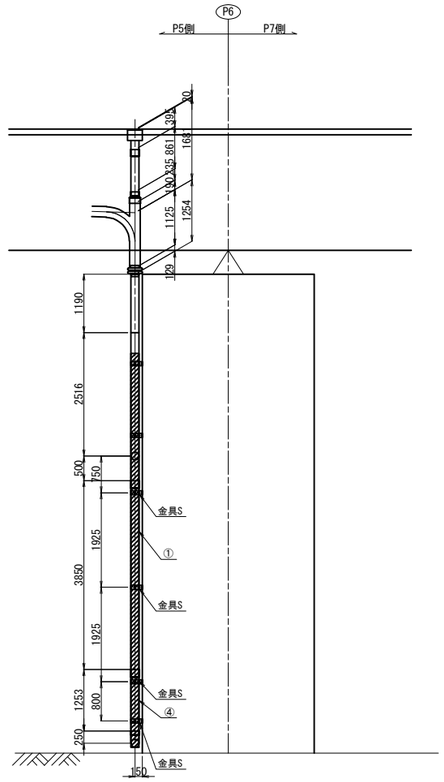
神納高架橋（上下線）P6橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去・設置工　排水管A

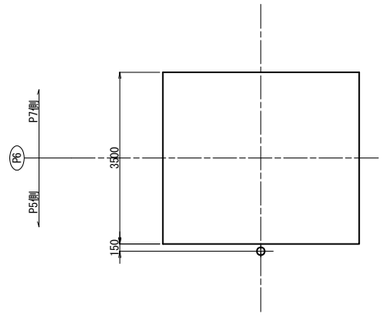
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
直　管	①※	個	1
	②	個	1
	③	個	1
	④※	個	1
加 工 管	T3※	個	1
取付金具	S※	個	6
	S	個	2
エルボ	L※	個	1
流水延長(塩ビ管)		m	11.139
撤去重量		kg	48

注　※印の部材は，撤去・再設置部材を示す。

凡例

▨ ：撤去

注記

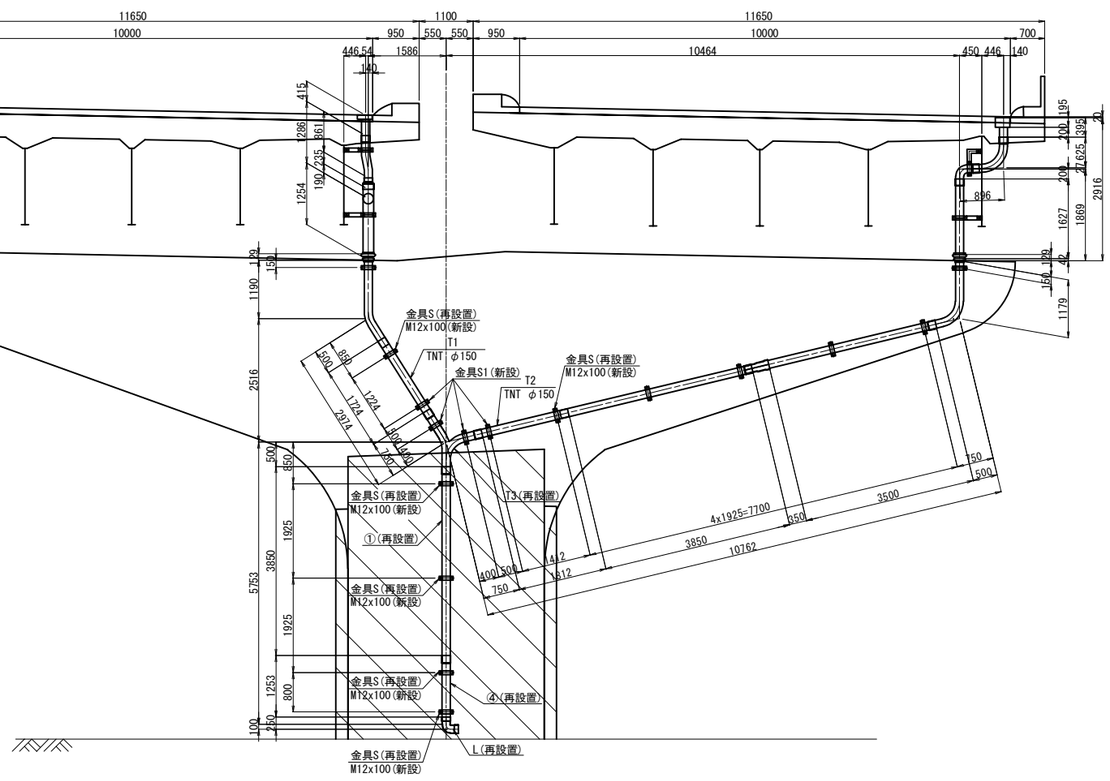
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P6橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	201 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

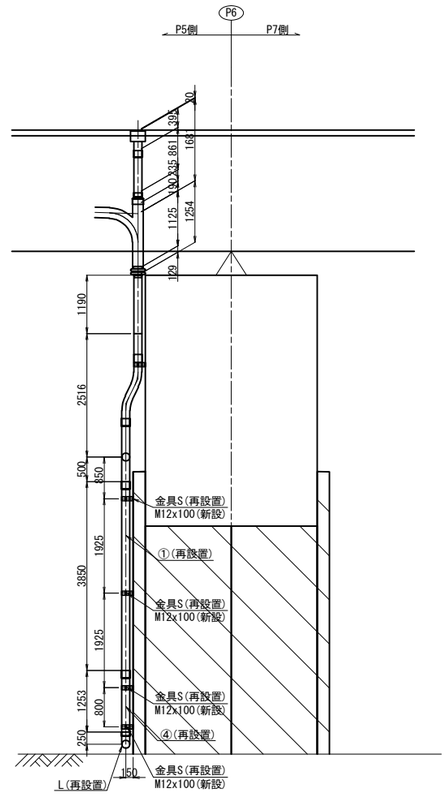
神納高架橋（上下線）P6橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

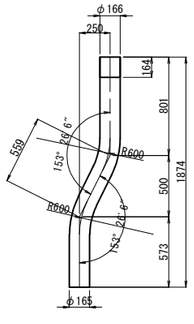
正 面 図



側 面 図

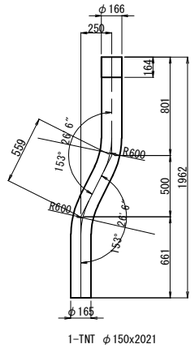


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



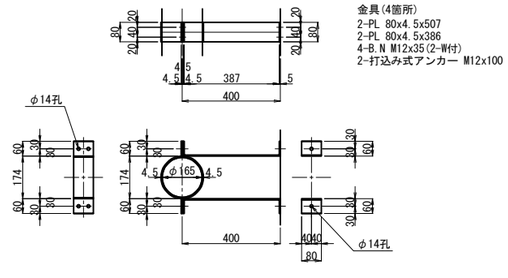
1-TNT φ150x1933

新設フレキシブル管 T2 S=1/50

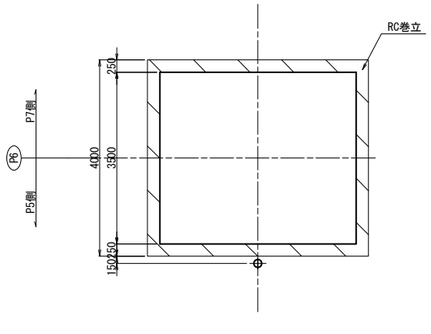


1-TNT φ150x2021

新設金具 S1 S=1/25



平 面 図



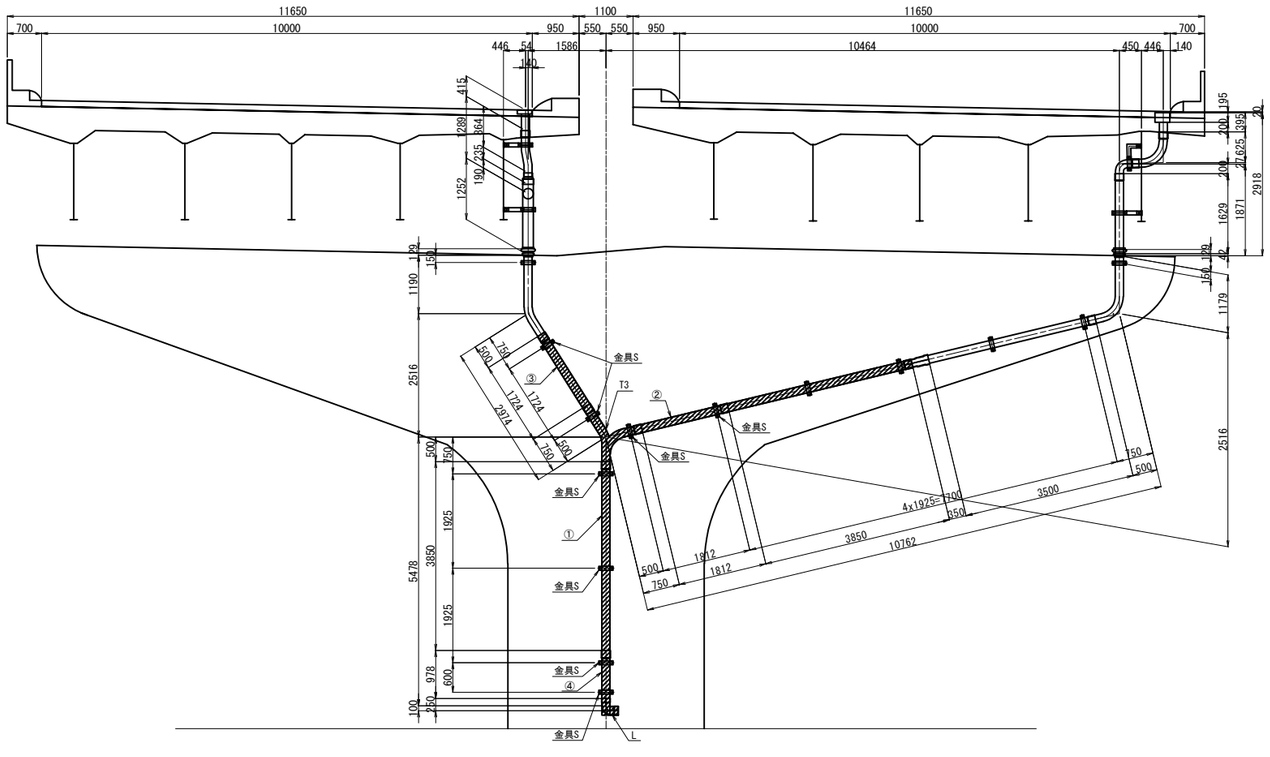
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P6橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	202 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

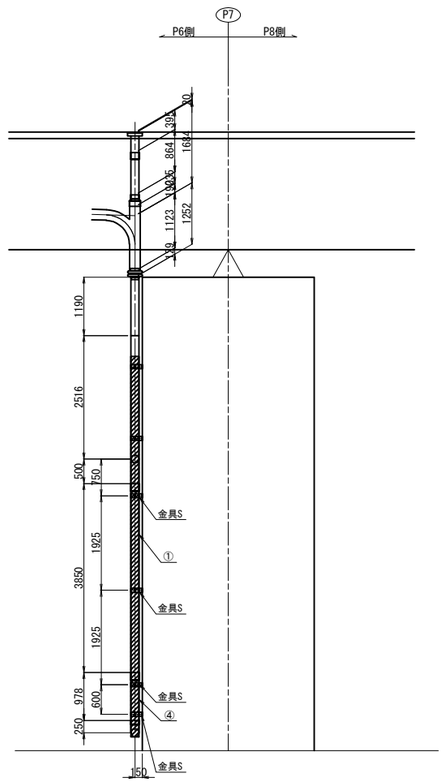
神納高架橋（上下線）P7橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去・設置工　排水管A

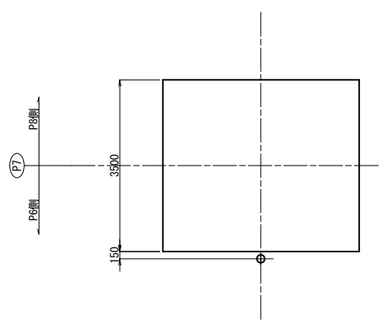
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
直　管	①※	個	1
	②	個	1
	③	個	1
	④※	個	1
加 工 管	T3※	個	1
取付金具	S※	個	6
	S	個	2
エルボ	L※	個	1
流水延長(塩ビ管)		m	10.864
撤去重量		kg	48

注　※印の部材は，撤去・再設置部材を示す。

凡例

：撤去

注記

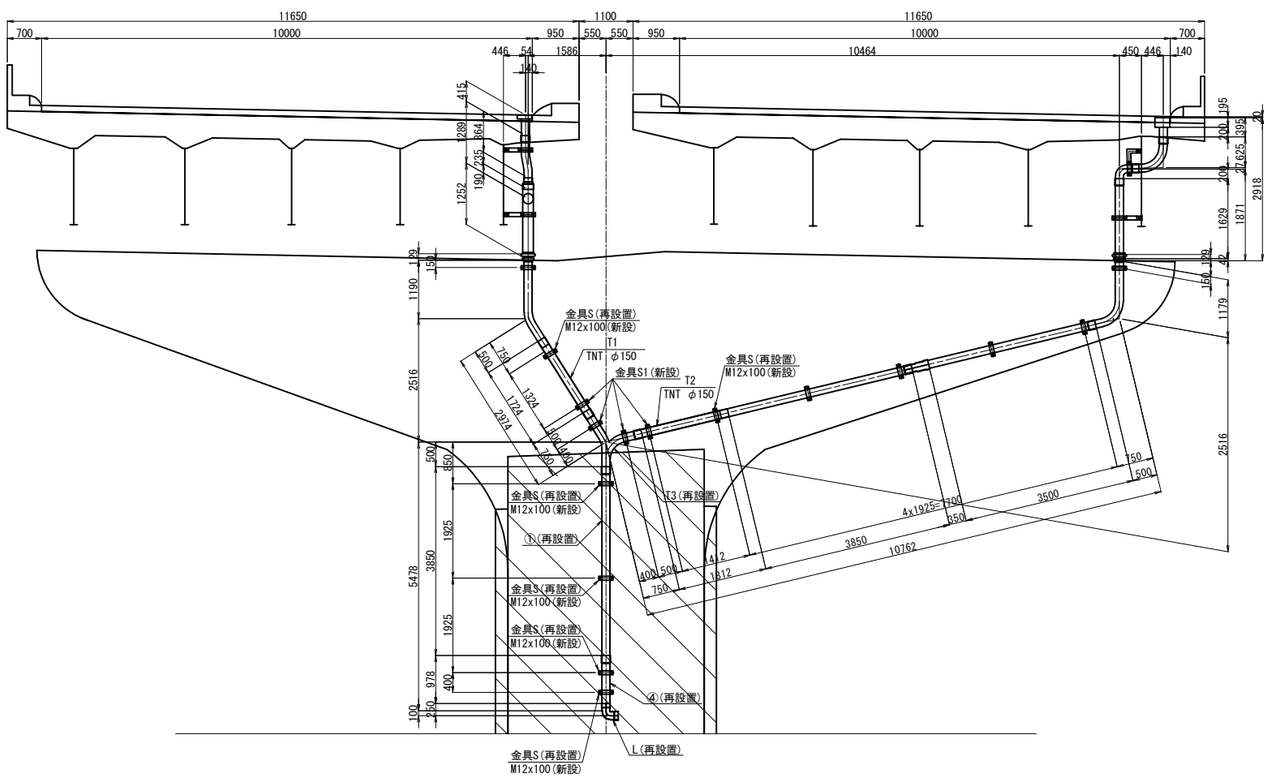
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納高架橋（上下線） P7橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　尺	1:125
図面番号	203 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

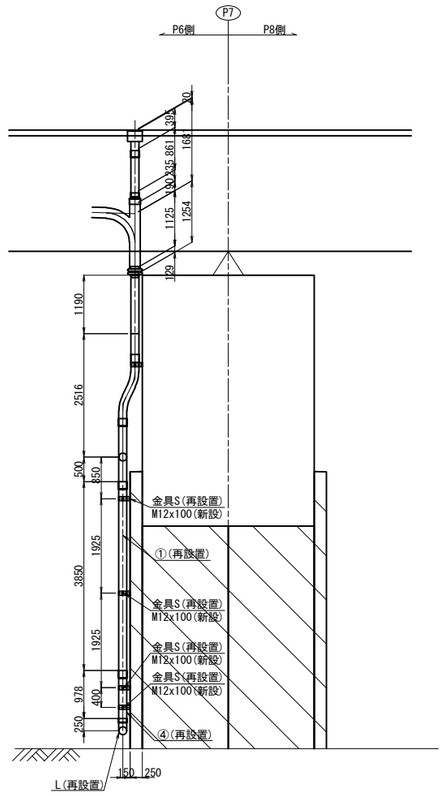
神納高架橋（上下線）P7橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

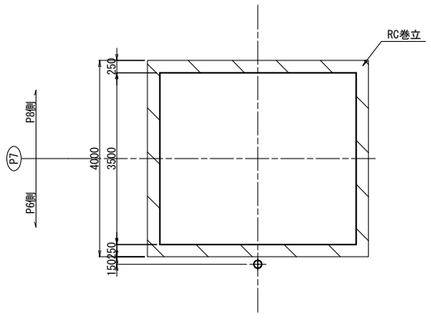
正 面 図



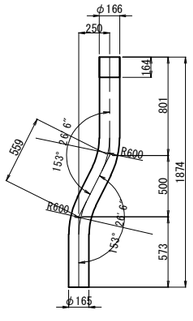
側 面 図



平 面 図

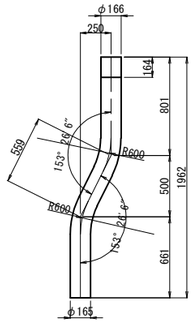


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



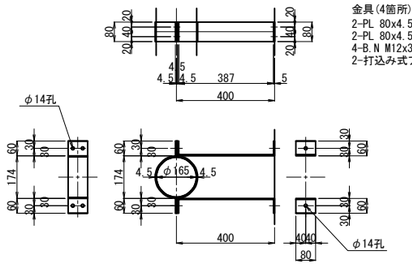
1-TNT φ150x1933

新設フレキシブル管 T2 S=1/50



1-TNT φ150x2021

新設金具 S1 S=1/25



金具(4箇所)
2-PL 80x4.5x507
2-PL 80x4.5x386
4-B.N M12x35(2-W付)
2-打込み式アンカー M12x100

12-打込み式アンカー M12x100

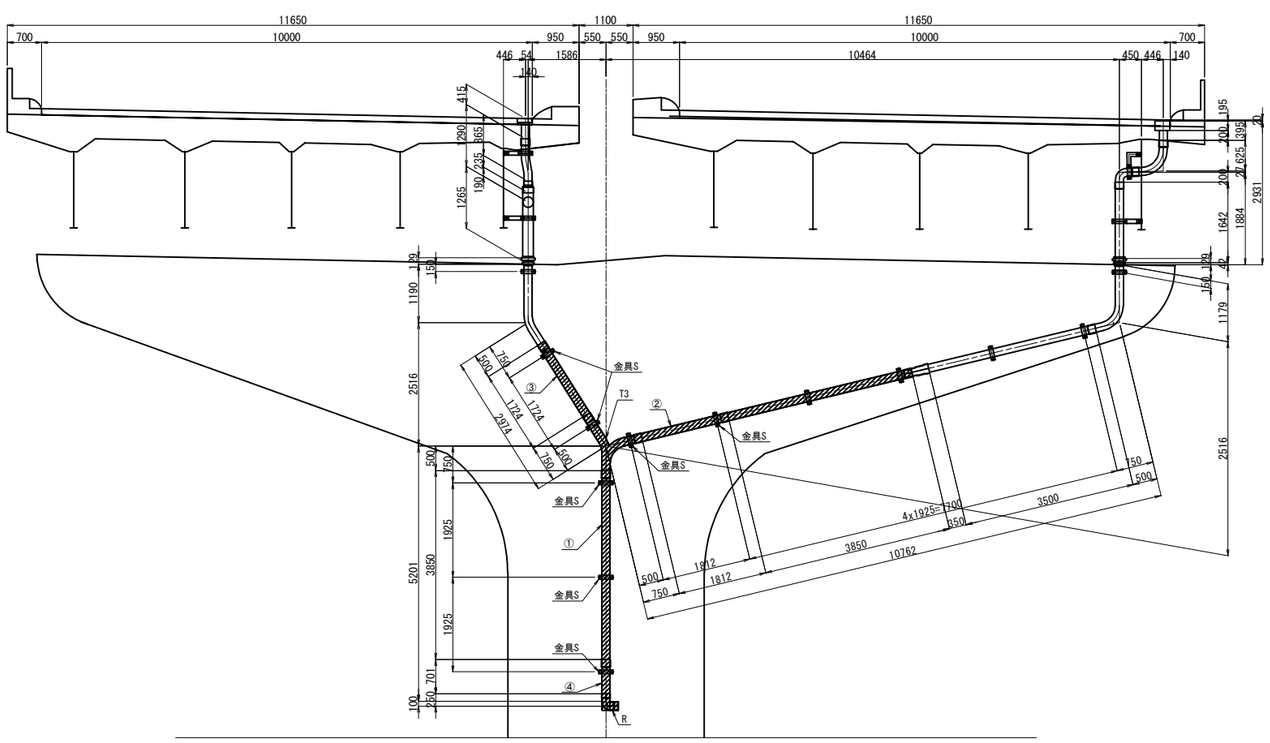
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P7橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	204 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

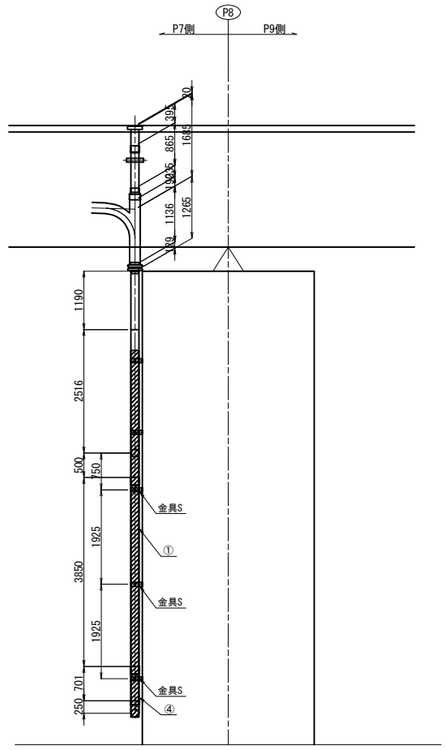
神納高架橋（上下線）P8橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/125

撤去・設置工　排水管A

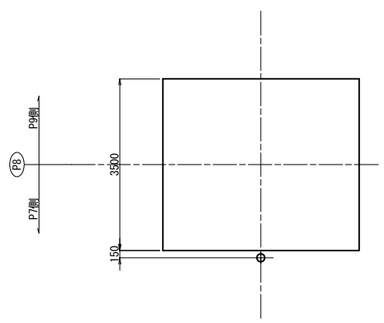
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
直　管	①※	個	1
	②	個	1
	③	個	1
	④※	個	1
加 工 管	T3※	個	1
取付金具	S※	個	5
	S	個	2
エルボ	R※	個	1
流水延長(塩ビ管)		m	10.587
撤去重量		kg	42

注　※印の部材は，撤去・再設置部材を示す。

凡例

：撤去

注記

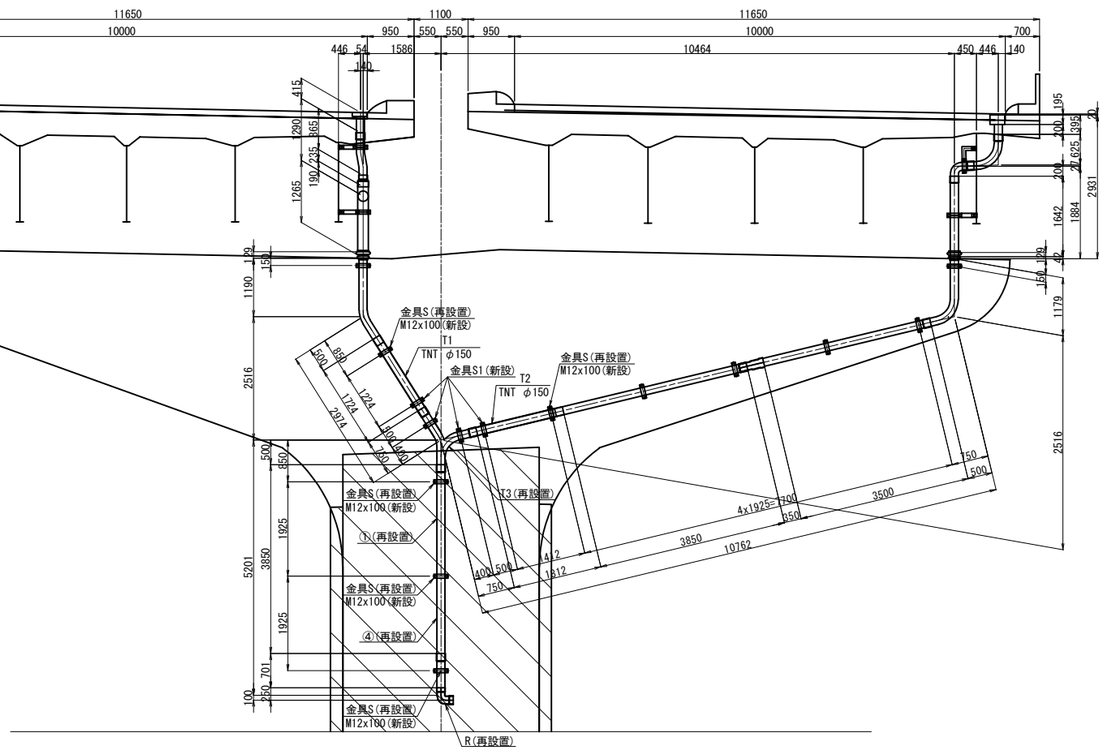
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P8橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:125	図面番号	205 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

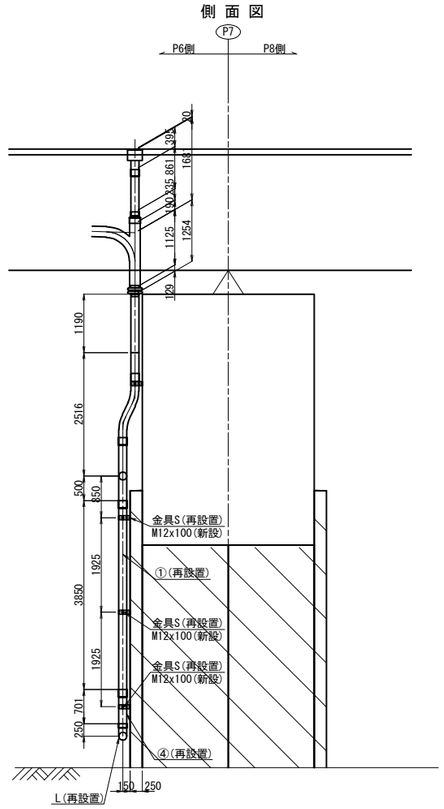
神納高架橋（上下線）P8橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/125

設置工　排水管A

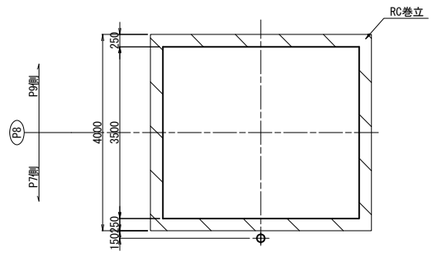
正 面 図



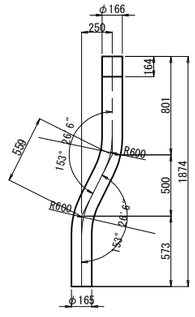
側 面 図



平 面 図

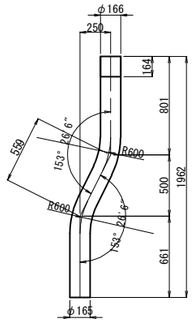


新設フレキシブル管 T1 S=1/50



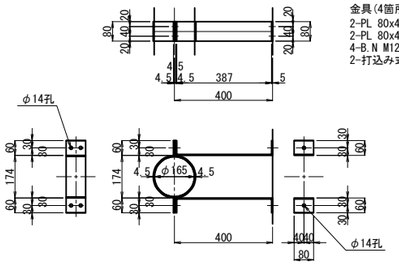
1-TNT φ150x1933

新設フレキシブル管 T2 S=1/50



1-TNT φ150x2021

新設金具 S1 S=1/25



10-打込み式アンカー M12x100

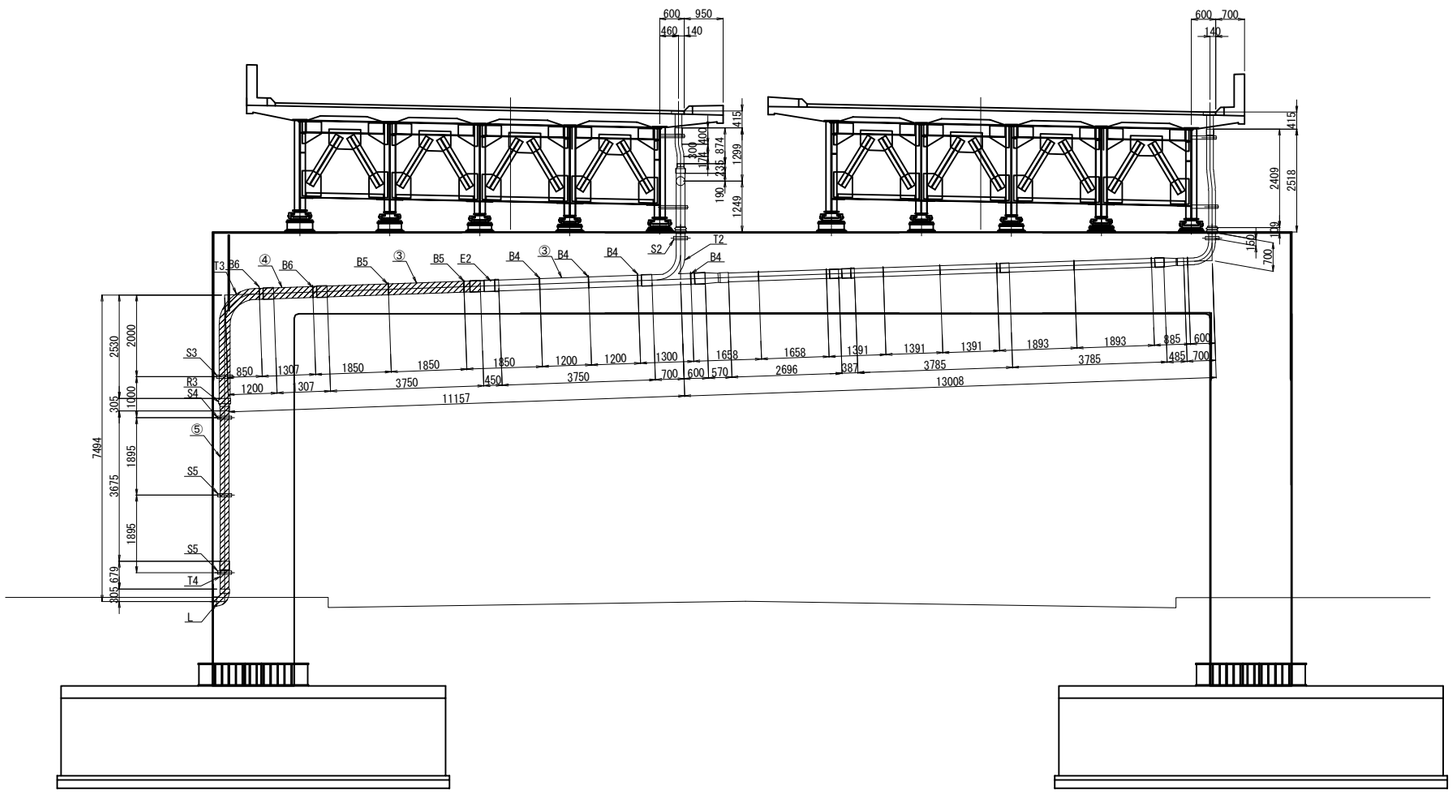
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
   また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
   付着量は、JIS H8641 によるものとする。
   鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P8橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	206 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

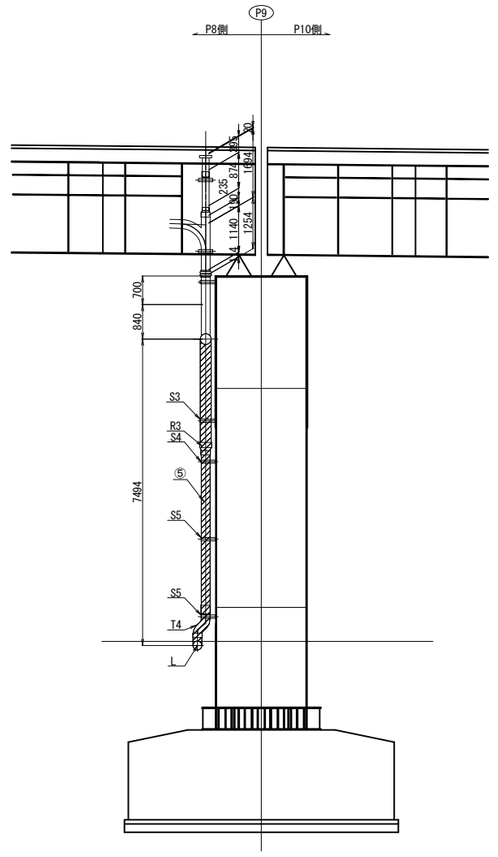
神納高架橋（上下線）P9橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/150

撤去・設置工　排水管A

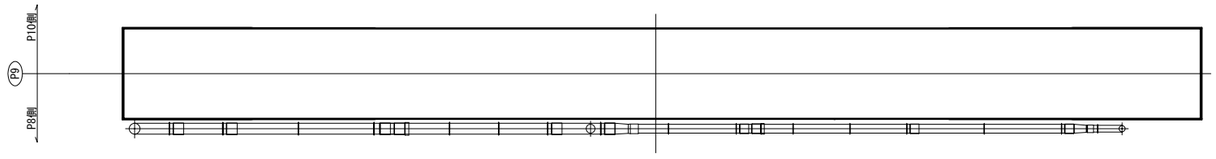
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
レジューサー	R3※	個	1
加 工 管	T3	個	1
	T4※	個	1
直　　管	③	個	2
	④	個	1
	⑤※	個	2
取付金具	B5※	個	2
	B6※	個	2
	S3	個	1
	S4※	個	1
	S5※	個	2
90°エルボ	L※	個	1
流水延長(塩ビ管)		m	14.046
撤去重量		kg	83

注:※印の部材は，撤去・再設置部材を示す。

凡例

▨ ：撤去

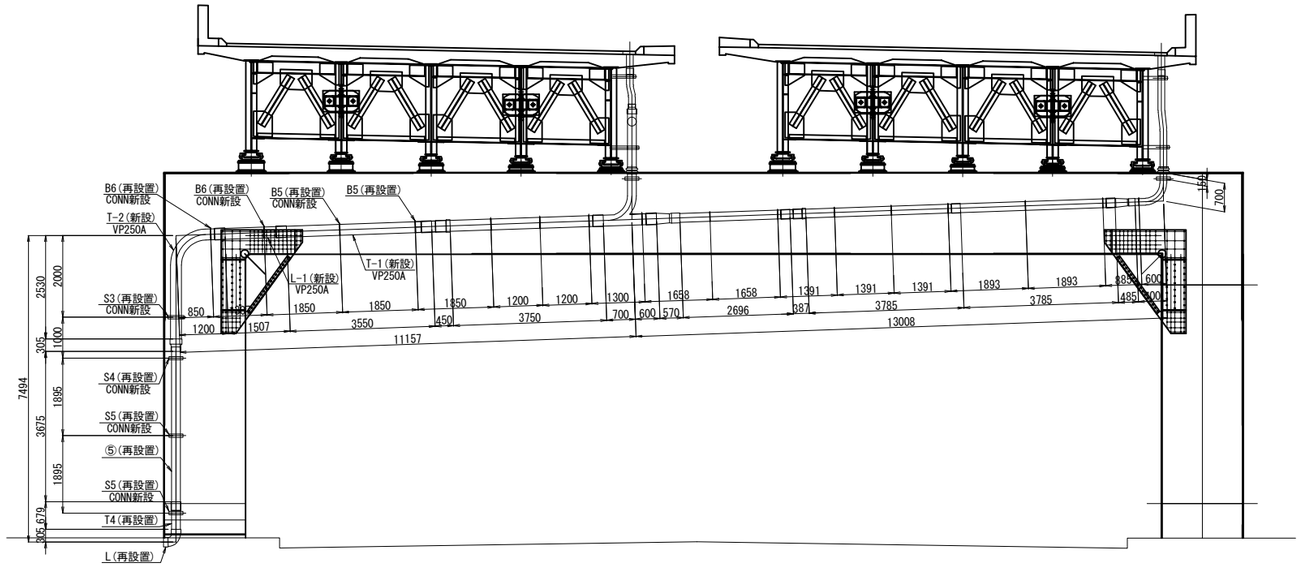
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P9橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）		
縮　　尺	1:150	図面番号	207 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

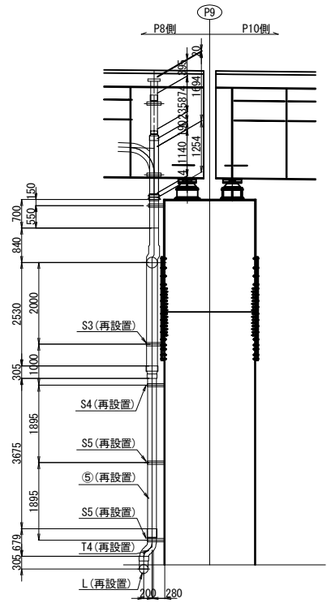
神納高架橋（上下線）P9橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/150

設置工　排水管A

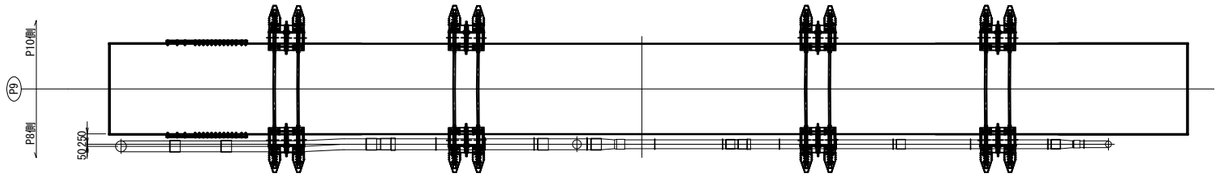
正 面 図



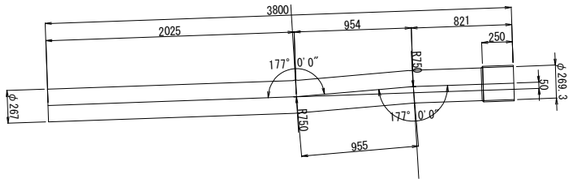
側 面 図



平 面 図

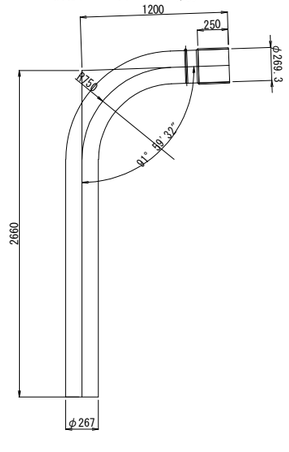


新設加工管T-1 S=1/50



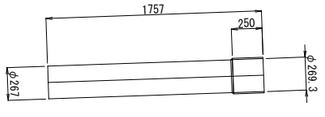
1-VP 250Ax3801

新設加工管T-2 S=1/50



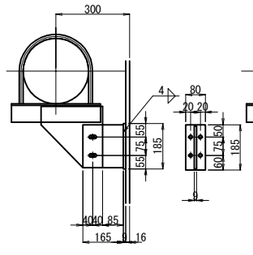
1-VP 250Ax3860

新設直管L-1 S=1/50



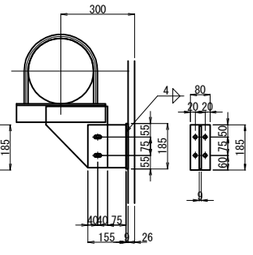
1-VP 250Ax1757

新設CONN プレート S=1/25
(B5)



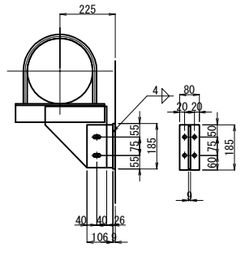
※ 1-CONN PL 175x9x165 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x45(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(B6)



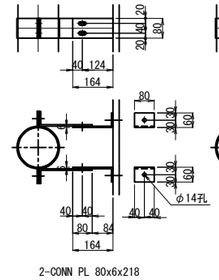
※ 1-CONN PL 175x9x155 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x55(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(B6)



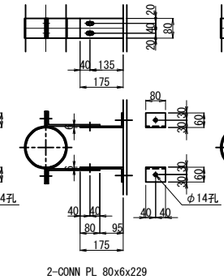
※ 1-CONN PL 175x9x106 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x120(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(S3)



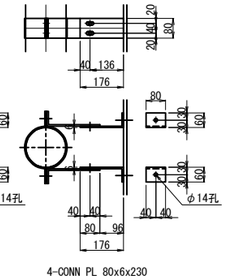
2-CONN PL 80x6x218
2-B.N M12x55(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(S4)



2-CONN PL 80x6x229
2-B.N M12x45(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(S5)



4-CONN PL 80x6x230
4-B.N M12x40(2-W付)

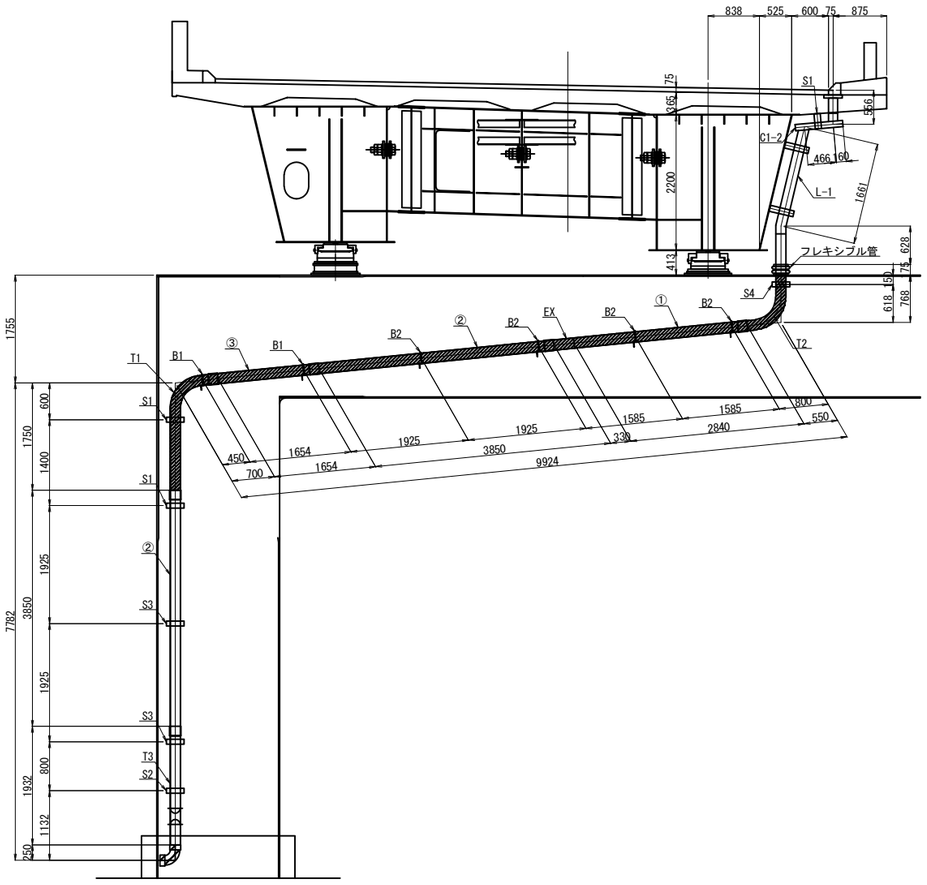
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上下線） P9橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	208 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

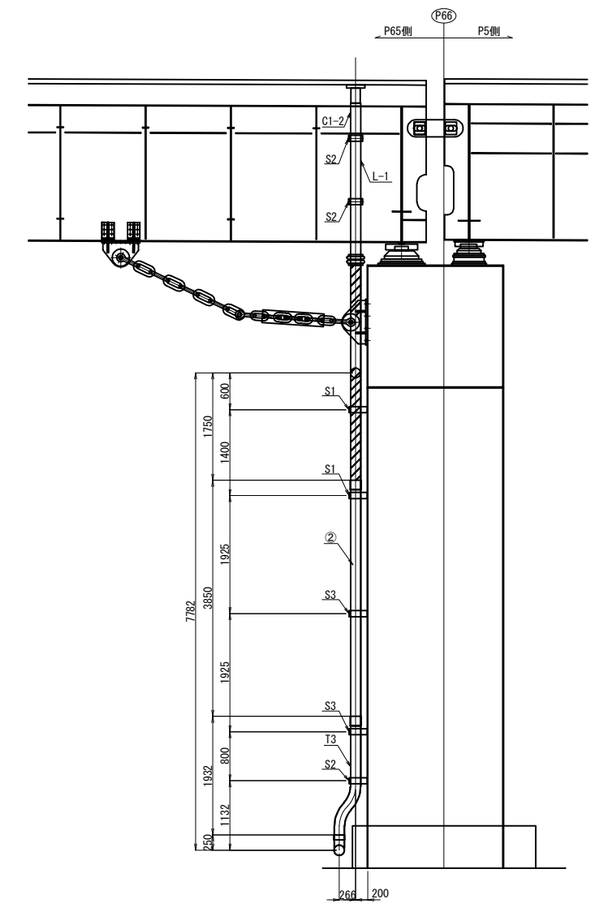
神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1)　S=1/100

撤去・設置工　排水管A

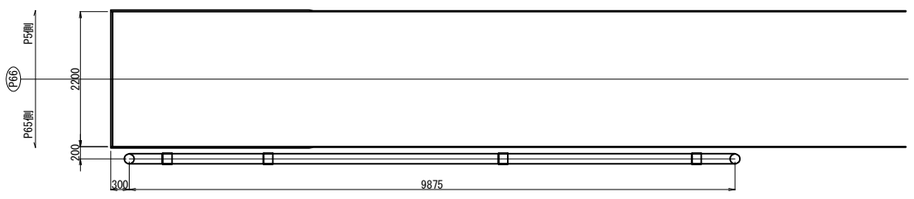
正 面 図



側 面 図



平 面 図



撤去数量表

品名	記号	単位	数量
加工管	T1	個	1
	T2	個	1
	T3※	個	1
直管	①※	個	1
	②※	個	2
	③※	個	1
取付金具	S1※	個	2
	S3※	個	2
	S2※	個	1
	B1※	個	2
	B2※	個	4
	S4※	個	1
90°エルボ※		個	1
流水延長(塩ビ管)		m	18.795
撤去重量		kg	120

注:※印の部材は，撤去・再設置部材を示す。

凡例

▨ : 撤去

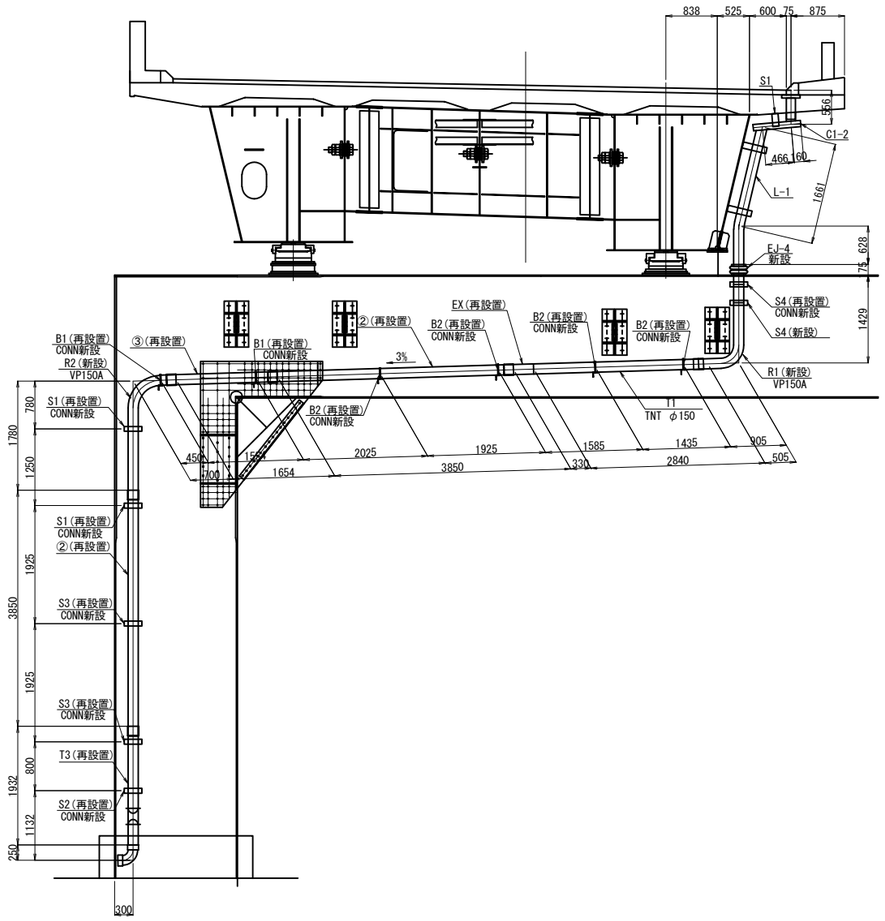
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2．ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3．完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P4(P66)橋脚　排水装置撤去・設置計画図（その1）		
縮　尺	1:100	図面番号	209 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

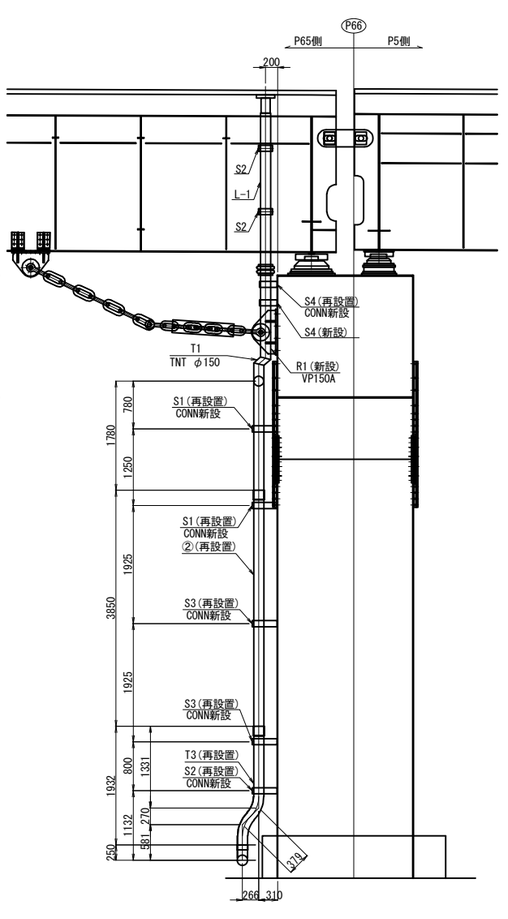
神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2)　S=1/100

設置工　排水管A

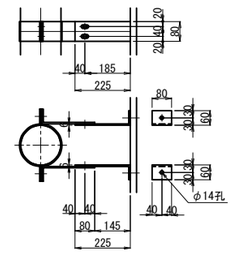
正 面 図



側 面 図

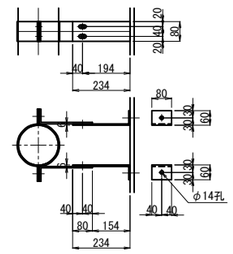


新設CONN プレート S=1/25 (S1)



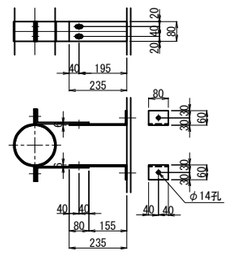
4-CONN PL 80x6x279
4-B.N M12x55(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25 (S2)



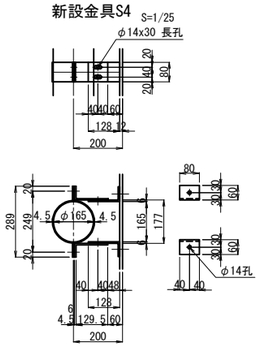
2-CONN PL 80x6x288
2-B.N M12x45(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25 (S3)



4-CONN PL 80x6x289
4-B.N M12x45(2-W付)

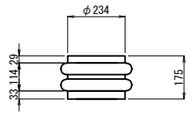
新設金具S4 S=1/25



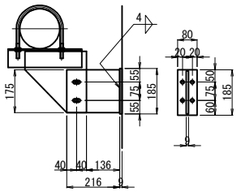
金具(1箇所)
2-PL 80x6x182
2-PL 80x6x187
2-PL 80x4.5x381
2-B.N M12x40(2-W付)
8-B.N M12x35(2-W付)

2-CONN PL 80x6x182
2-B.N M12x40(2-W付)

新設伸縮管 EJ-4 S=1/25

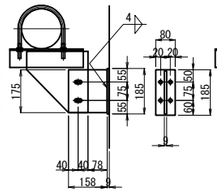


新設CONN プレート S=1/25 (B1)



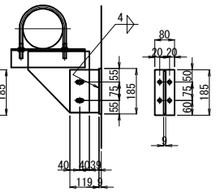
※ 1-CONN PL 175x9x216 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x45(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25 (B1)



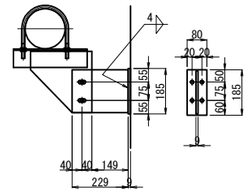
※ 1-CONN PL 175x9x158 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x105(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25 (B2)



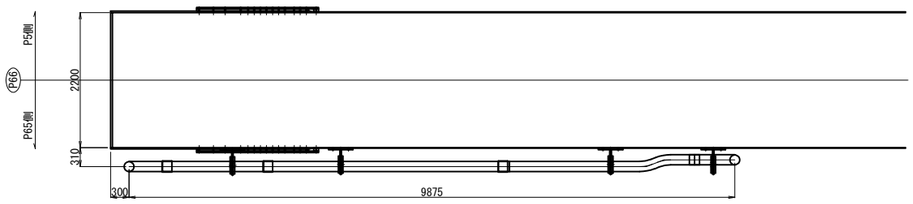
※ 1-CONN PL 175x9x119 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x35(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25 (B2)

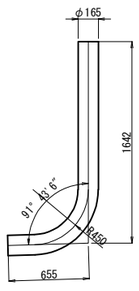


※ 3-CONN PL 175x9x229 (SM400A)
※ 3-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
12-B.N M12x35(2-W付)

平 面 図

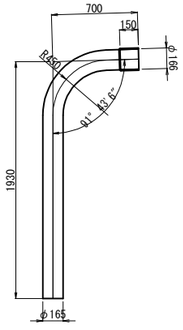


新設加工管R1 S=1/50



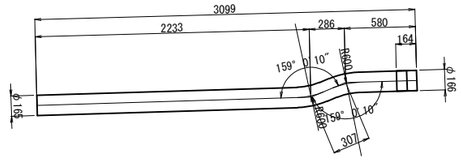
1-VP 150Ax2297

新設加工管R2 S=1/50



1-VP 150Ax2630

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x3120

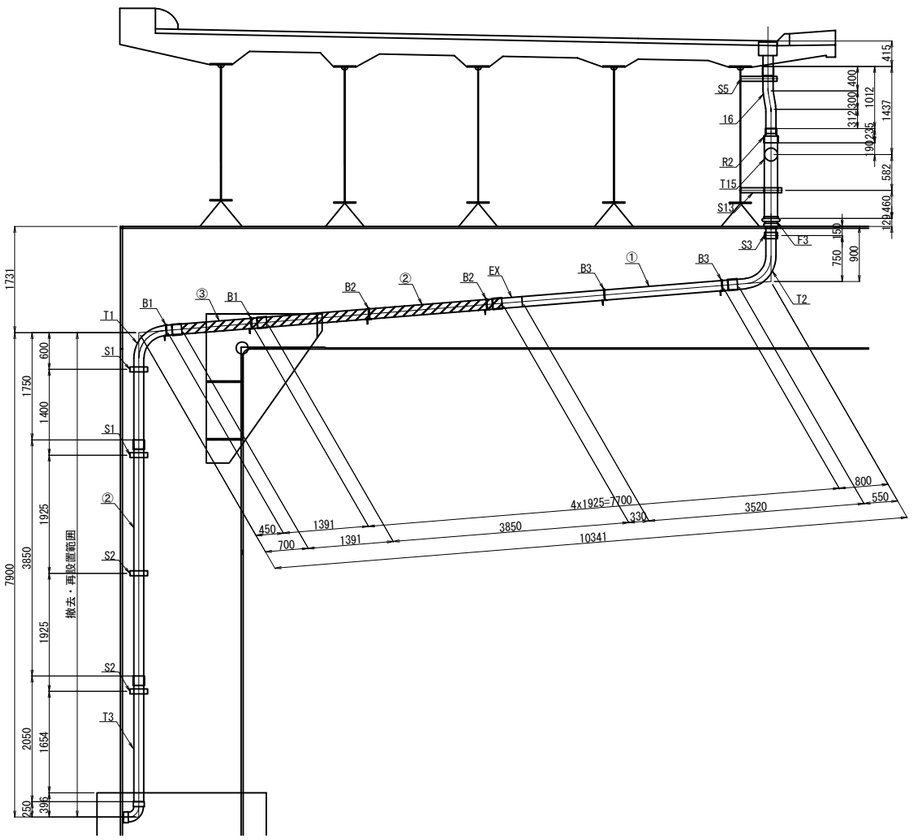
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P4(P66)橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	210 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

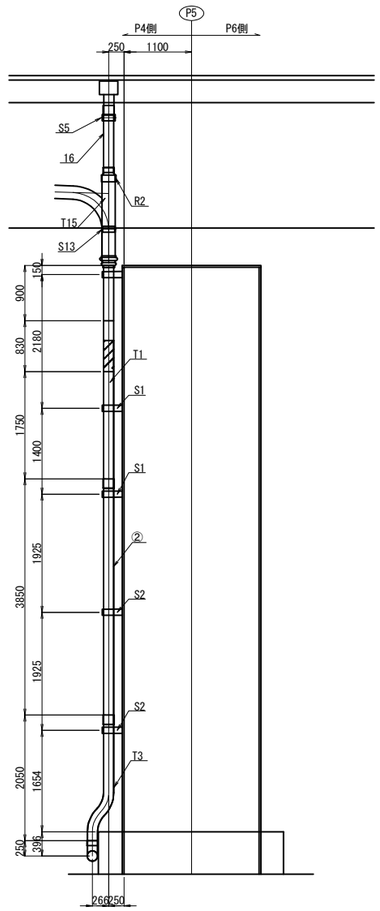
神納高架橋（下り線）P5橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その1) S=1/100

撤去・設置工　排水管A

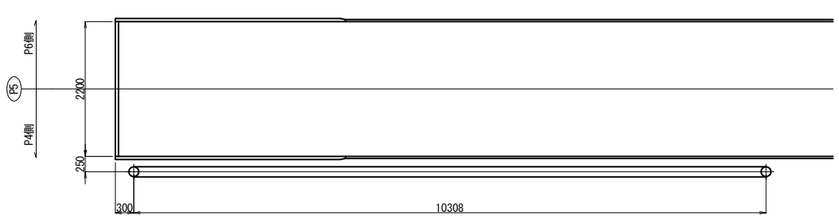
正 面 図



側 面 図



平 面 図



下部工撤去数量表

品 名	記 号	単 位	数量
加 工 管	T1※	個	1
	T3※	個	1
直　　管	②	個	1
	②※	個	1
	③	個	1
取付金具	B2※	個	2
	B1※	個	2
	S1※	個	2
	S2※	個	2
加 工 管	90°エルボ※	個	1
流水延長(塩ビ管)		m	14.163
撤去重量		kg	82

注:※印の部材は、撤去・再設置部材を示す。

凡例

▨ : 撤去

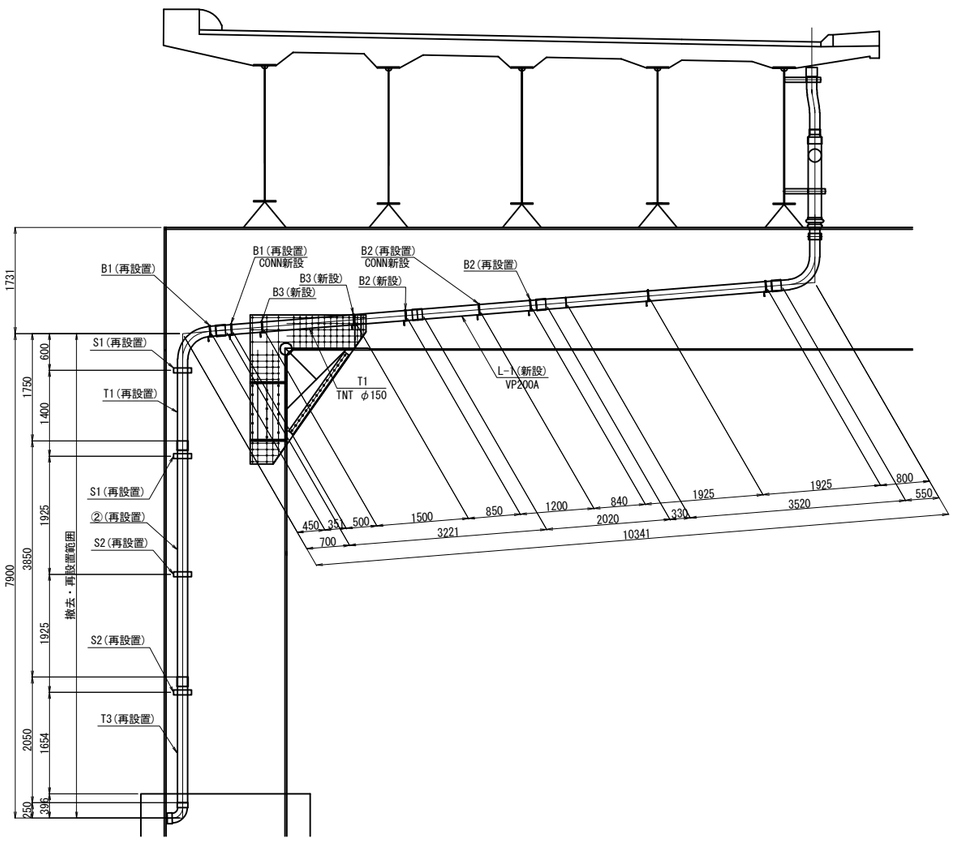
注記
1. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
　また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
2. ハッチングの排水管は撤去する部分とする。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納高架橋（下り線） P5橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その1）
縮　　尺	1:100
図面番号	211 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

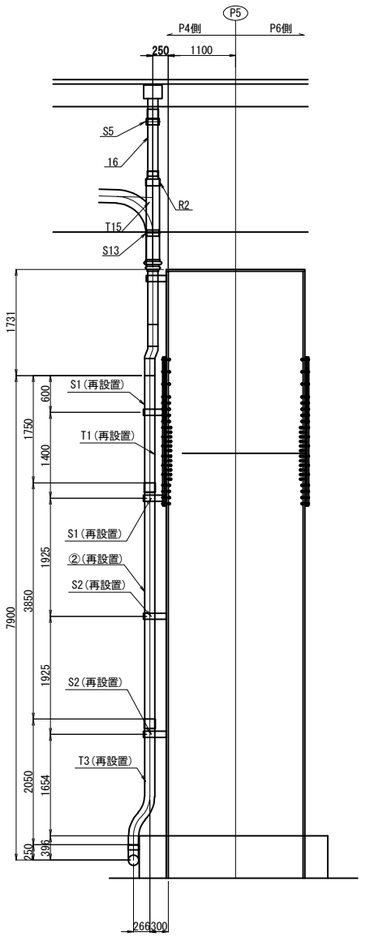
神納高架橋（下り線）P5橋脚 排水装置撤去・設置計画図(その2) S=1/100

設置工　排水管A

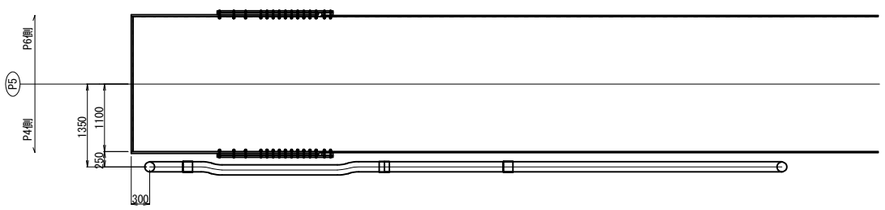
正 面 図



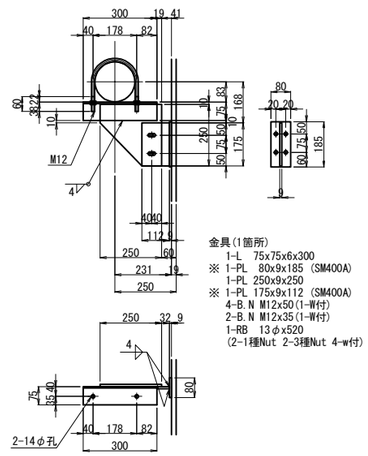
側 面 図



平 面 図

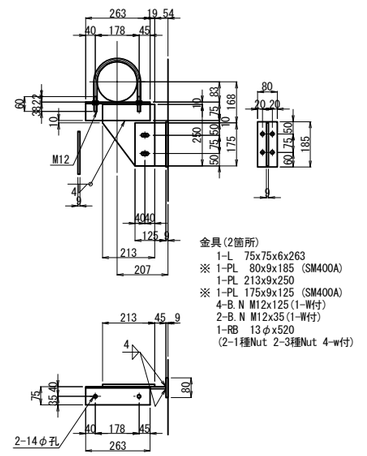


新設金具B2 S=1/25



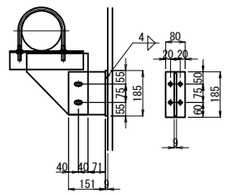
金具(1箇所)
1-L 75x75x6x300
※ 1-PL 80x9x185 (SM400A)
1-PL 250x9x250
※ 1-PL 175x9x112 (SM400A)
4-B.N M12x50(1-W付)
2-B.N M12x35(1-W付)
1-RB 13φx520
(2-1種Nut 2-3種Nut 4-w付)

新設金具B3 S=1/25



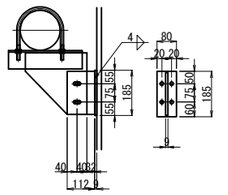
金具(2箇所)
1-L 75x75x6x263
※ 1-PL 80x9x185 (SM400A)
1-PL 213x9x250
※ 1-PL 175x9x125 (SM400A)
4-B.N M12x125(1-W付)
2-B.N M12x35(1-W付)
1-RB 13φx520
(2-1種Nut 2-3種Nut 4-w付)

新設CONN プレート S=1/25
(B1)



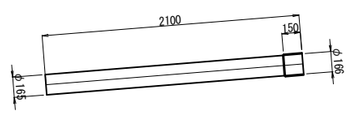
※ 1-CONN PL 175x9x151 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x60(2-W付)

新設CONN プレート S=1/25
(B2)



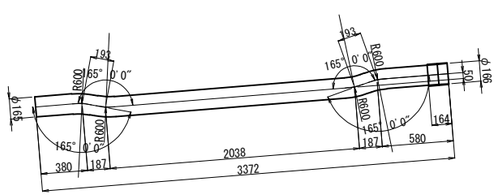
※ 1-CONN PL 175x9x112 (SM400A)
※ 1-CONN PL 80x9x185 (SM400A)
4-B.N M12x50(2-W付)

新設直管L-1 S=1/50



1-VP 150Ax2100

新設フレキシブル管 T1 S=1/50



1-TNT φ150x3384

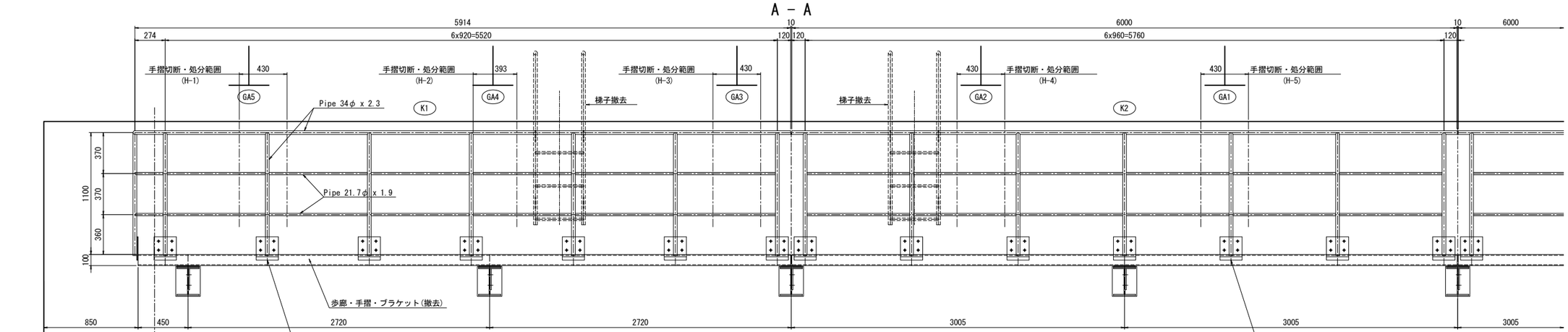
注記
1. 特記なき材質はSS400とする 。
2. 本設計図は、完成図を基に作成しているため、施工に際し現地状況および補修箇所を確認のうえ製作、施工を行うこと。
また、現地状況と相違を確認した場合は、監督員と対応を協議し施工すること。
3. 完成図と寸法が整合しない箇所は構造物に合わせて調整した図である。
4. ※印部以外鋼材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。
付着量は、JIS H8641 によるものとする。
鋼板 HDZT77、ボルトナットHDZT49。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P5橋脚　排水装置撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	図示	図面番号	212 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/40

撤去工　検査路B

A － A



撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 222 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 182 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1110 (STK400)
1 - PL 200 x 6 x 210
1 - PL 180 x 6 x 200
4 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 393 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 397 (STK400)

既設手摺

H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 430 (STK400)

既設手摺

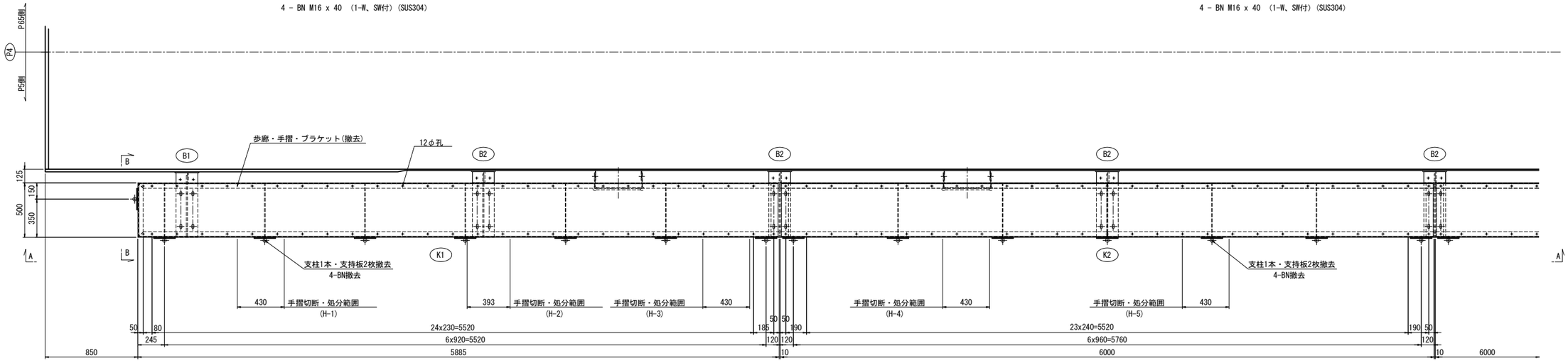
H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 430 (STK400)

既設手摺

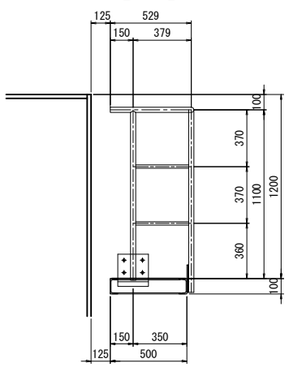
H-5 撤去・処分範囲(n=1)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 259 (STK400)
2 - Pipe 21.7φx1.9 x 145 (STK400)
1 - Pipe 34φ x 2.3 x 1110 (STK400)
1 - PL 200 x 6 x 210
1 - PL 180 x 6 x 200
4 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

既設ブラケット

撤去・処分範囲(n=1)
1 - PL 220 x 10 x 270
1 - PL 100 x 10 x 200
1 - PL 100 x 10 x 190



B － B



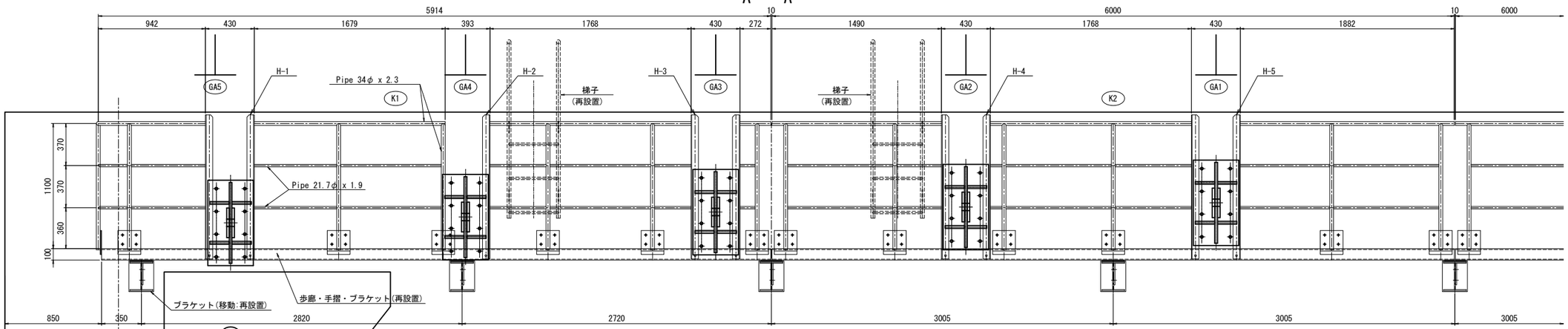
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上り線） P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮尺	1:40	図面番号	213 ／ 236
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

撤去・設置工　検査路B

A' － A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

K1
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 942 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1679 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1768 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 272 (STK400)
- 6 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 272 (STK400)
- 4 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 894 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 655 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 729 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 497 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 325 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 139 (STK400)
- 6 - PL 200 x 6 x 210
- 6 - PL 180 x 6 x 200
- 24 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 546 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
- 1 - PL 200 x 6 x 210
- 1 - PL 180 x 6 x 200
- 4 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5865
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5885
- 1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 1 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 6 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PL 190 x 8 x 480
- 1 - PL 80 x 8 x 480
- 54 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

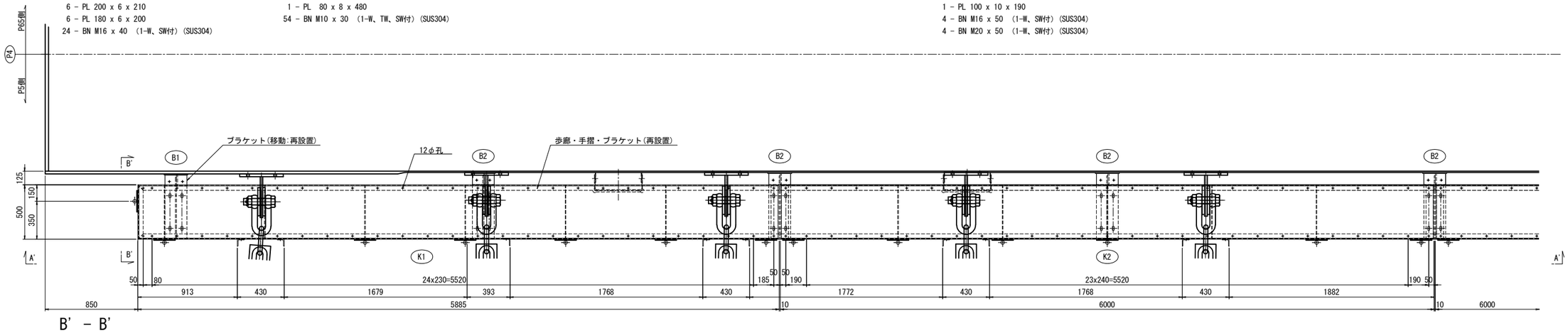
K2
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1490 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1768 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1882 (STK400)
- 6 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 6 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 934 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 397 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 107 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 675 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 789 (STK400)
- 6 - PL 200 x 6 x 210
- 6 - PL 180 x 6 x 200
- 24 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5980
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 6000
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 5 - FB 50 x 6 x 490
- 1 - PL 190 x 8 x 480
- 2 - PL 80 x 8 x 480
- 52 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

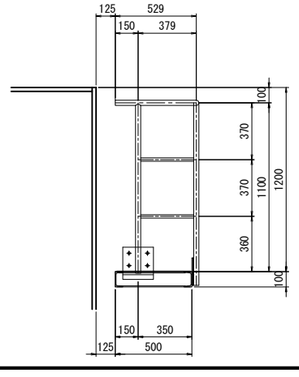
ブラケットB1再利用材料 (n=1)
- 1 - PL 200 x 10 x 570
- 1 - PL 250 x 10 x 570
- 1 - PL 200 x 10 x 589
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

ブラケットB2再利用材料 (n=4)
- 1 - PL 200 x 10 x 583
- 1 - PL 250 x 10 x 583
- 1 - PL 200 x 10 x 602
- 1 - PL 220 x 10 x 270
- 1 - PL 100 x 10 x 200
- 1 - PL 100 x 10 x 190
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

梯子再利用材料 (n=2)
- 2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 2211 (STK400)
- 3 - RB φ22 x 440
- 2 - FB 65 x 6 x 266
- 2 - PL 100 x 6 x 110
- 2 - PL 90 x 6 x 100
- 4 - PL 100 x 6 x 130
- 4 - PL 90 x 6 x 100
- 12 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)



B' － B'



注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

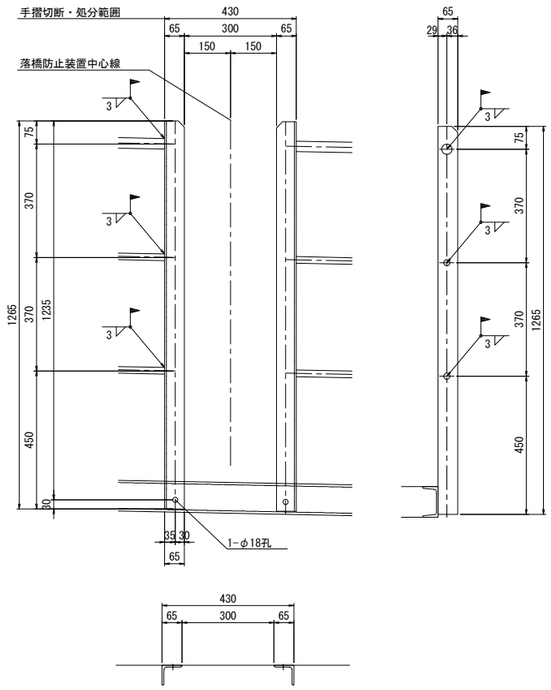
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上り線） P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図（その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	214 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/20

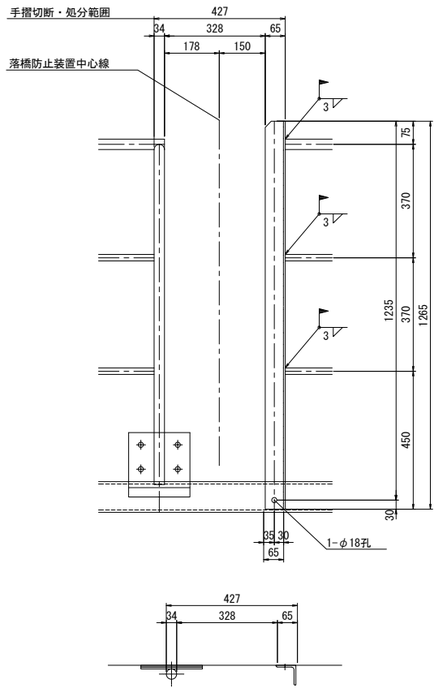
設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

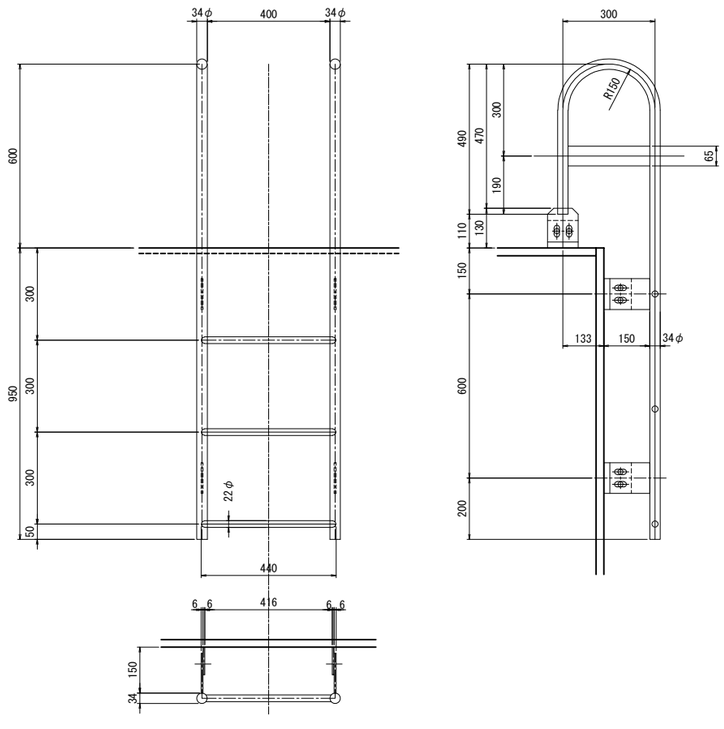
H-1、H-3～H-5



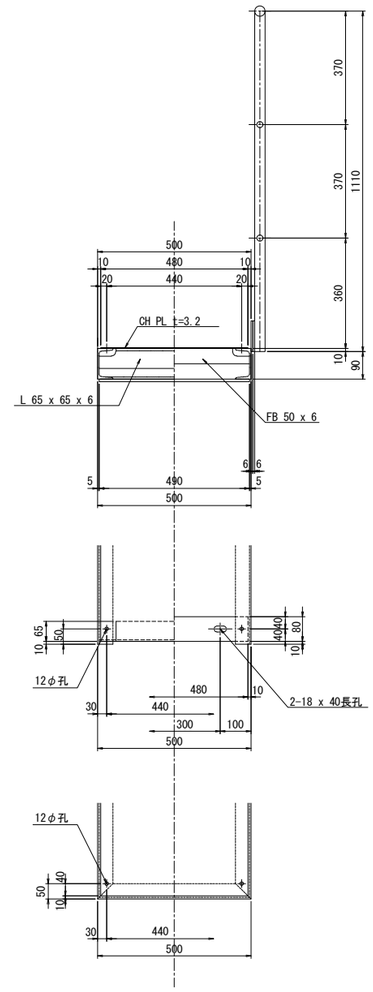
H-2



梯子詳細図



歩廊詳細図



設置工　検査路B

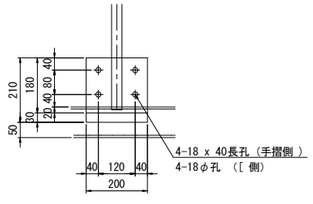
新規材料（n=4）
手摺切断部（H-1、H-3～H-5）
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

設置工　検査路B

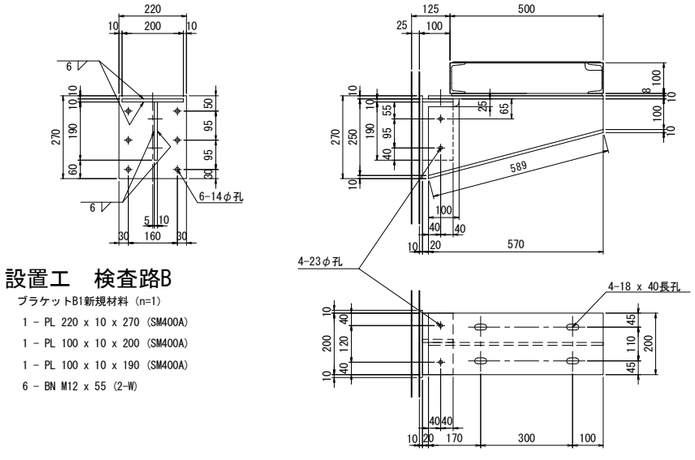
新規材料（n=1）
手摺切断部（H-2）
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

ブラケット詳細図

手摺詳細図



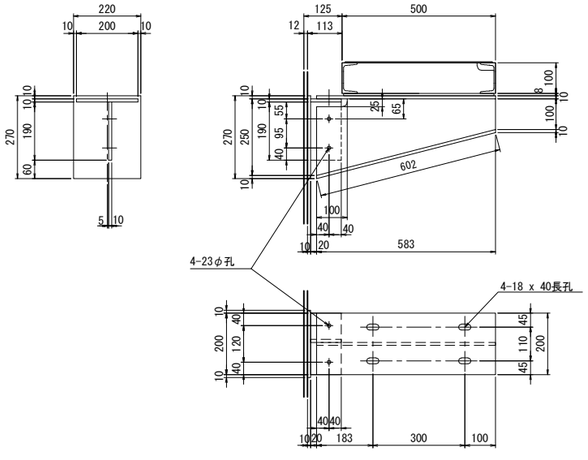
B1



設置工　検査路B

ブラケットB1新規材料（n=1）
1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)
1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)
1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)
6 - BN M12 x 55 (2-W)

B2



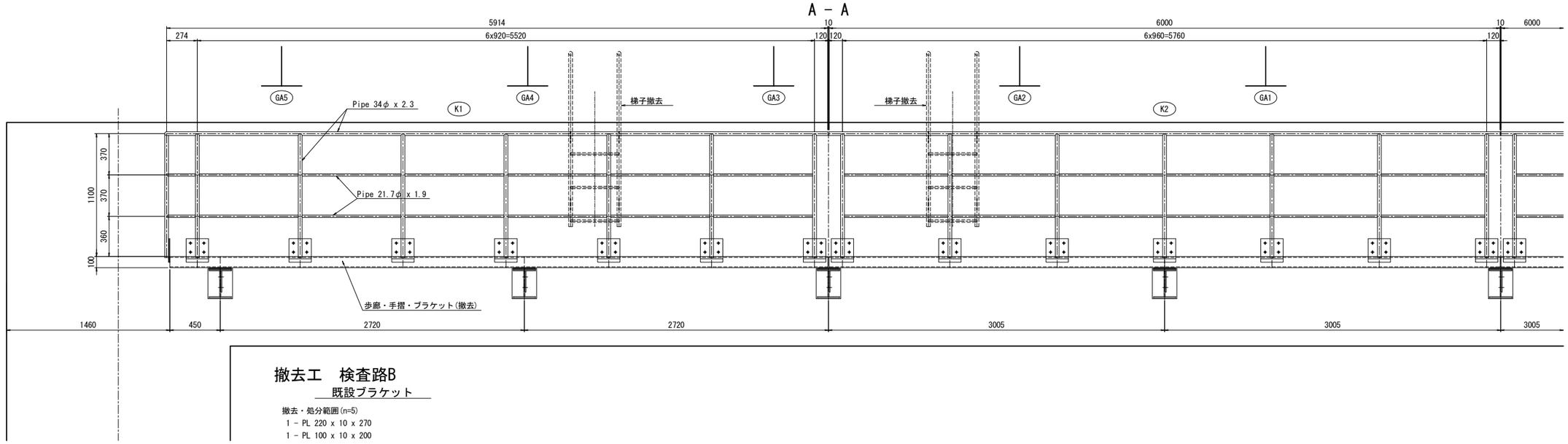
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上り線） P4(P66)橋脚　検査路撤去・設置計画図（その3）		
縮　尺	1:20	図面番号	215 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/40

撤去工　検査路B

A － A



撤去工　検査路B

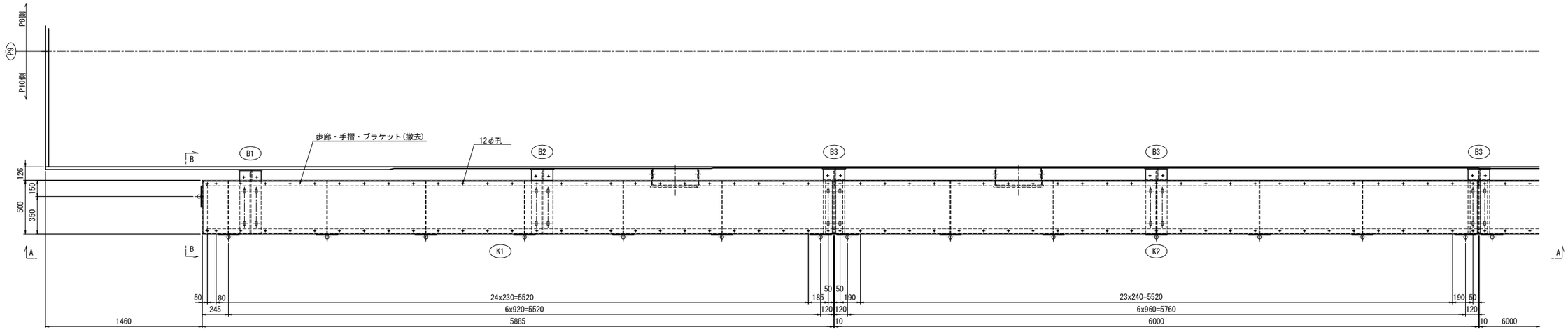
既設ブラケット

撤去・処分範囲(n=5)

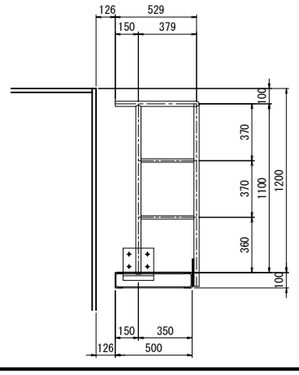
1 － PL 220 x 10 x 270

1 － PL 100 x 10 x 200

1 － PL 100 x 10 x 190



B － B



注記

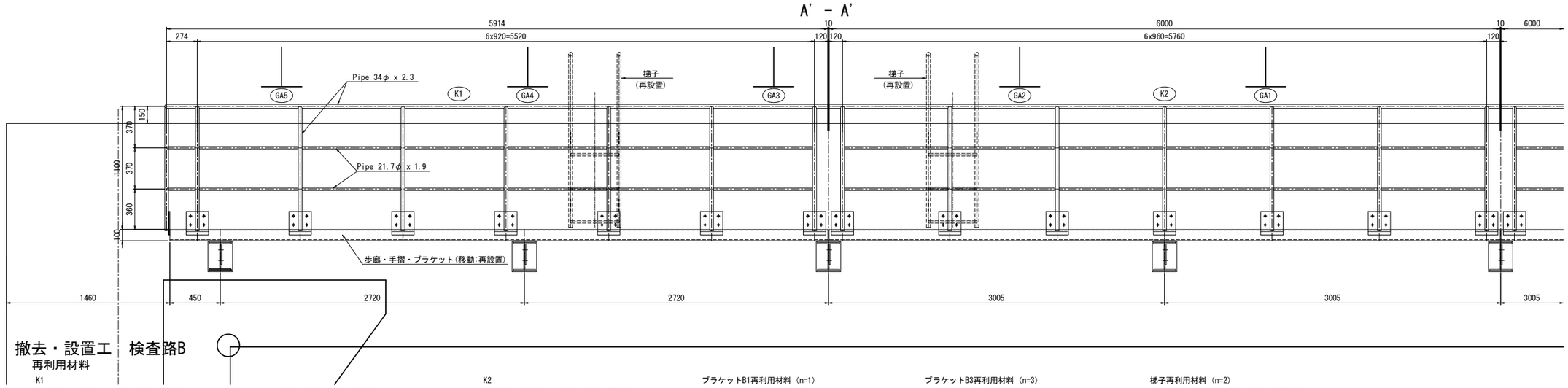
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:40	図面番号	216 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

撤去・設置工　検査路B

A' - A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

K1
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 5931 (STK400)
- 7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 272 (STK400)
- 12 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 894 (STK400)
- 7 - PL 200 x 6 x 210
- 7 - PL 180 x 6 x 200
- 28 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 546 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
- 1 - PL 200 x 6 x 210
- 1 - PL 180 x 6 x 200
- 4 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5865
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5885
- 1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 1 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 6 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PL 190 x 8 x 480
- 1 - PL 80 x 8 x 480
- 54 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

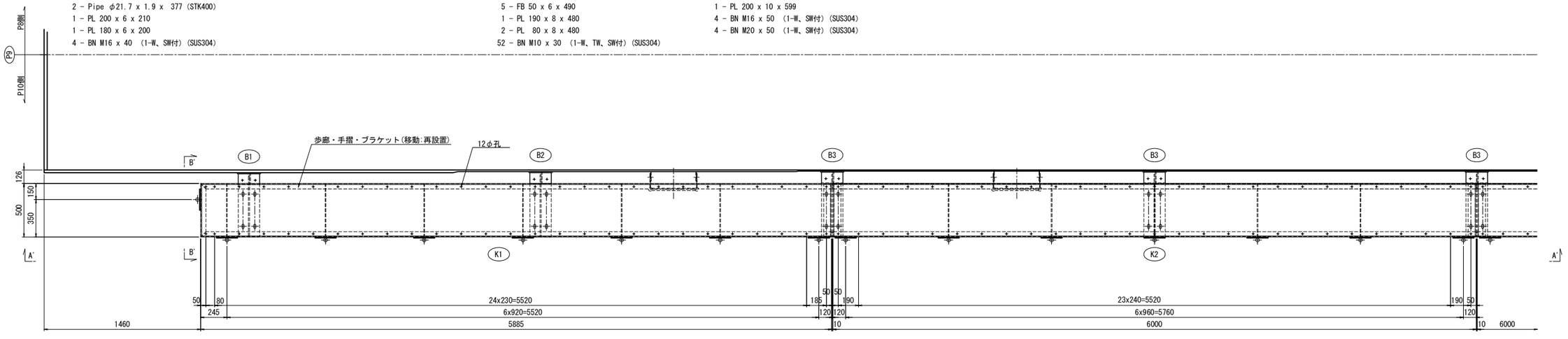
K2
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 6000 (STK400)
- 7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 12 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 934 (STK400)
- 7 - PL 200 x 6 x 210
- 7 - PL 180 x 6 x 200
- 28 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5980
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 6000
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 5 - FB 50 x 6 x 490
- 1 - PL 190 x 8 x 480
- 2 - PL 80 x 8 x 480
- 52 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

ブラケットB1再利用材料 (n=1)
- 1 - PL 200 x 10 x 570
- 1 - PL 250 x 10 x 570
- 1 - PL 200 x 10 x 589
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

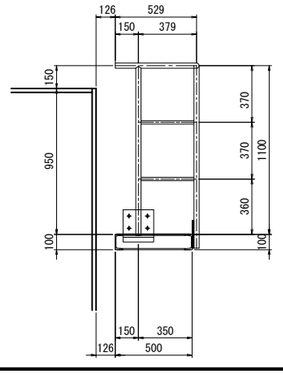
ブラケットB2再利用材料 (n=1)
- 1 - PL 200 x 10 x 580
- 1 - PL 250 x 10 x 580
- 1 - PL 200 x 10 x 599
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

ブラケットB3再利用材料 (n=3)
- 1 - PL 200 x 10 x 585
- 1 - PL 250 x 10 x 585
- 1 - PL 200 x 10 x 604
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

梯子再利用材料 (n=2)
- 2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 2211 (STK400)
- 3 - RB φ22 x 440
- 2 - FB 65 x 6 x 266
- 2 - PL 100 x 6 x 110
- 2 - PL 90 x 6 x 100
- 4 - PL 100 x 6 x 130
- 4 - PL 90 x 6 x 100
- 12 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)



B' - B'



注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

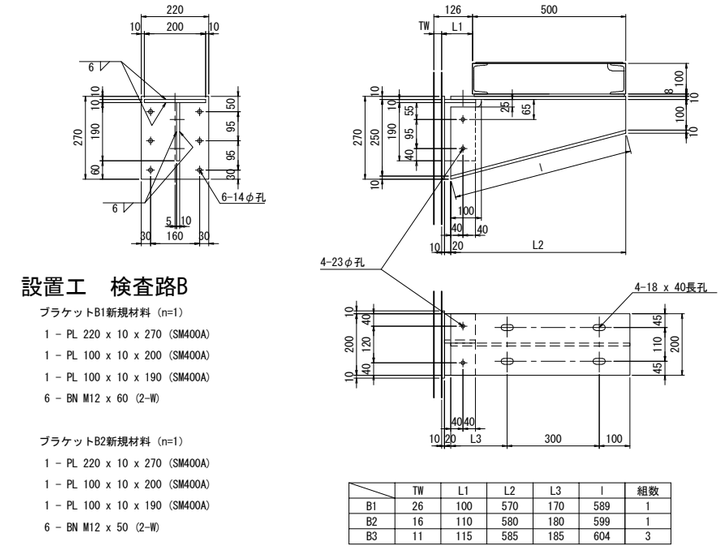
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（上り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	217 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3) S=1/20

設置工　検査路B

ブラケット詳細図

B1～B3



	TW	L1	L2	L3	l	組数
B1	26	100	570	170	589	1
B2	16	110	580	180	599	1
B3	11	115	585	185	604	3

設置工　検査路B

ブラケットB1新規材料 (n=1)

1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 60 (2-W)

ブラケットB2新規材料 (n=1)

1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 50 (2-W)

ブラケットB3新規材料 (n=3)

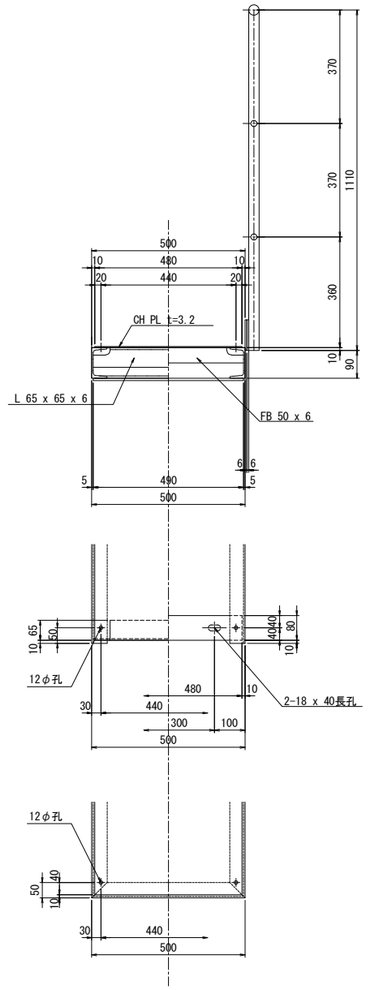
1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

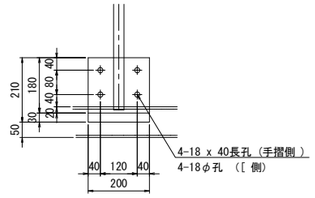
1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 45 (2-W)

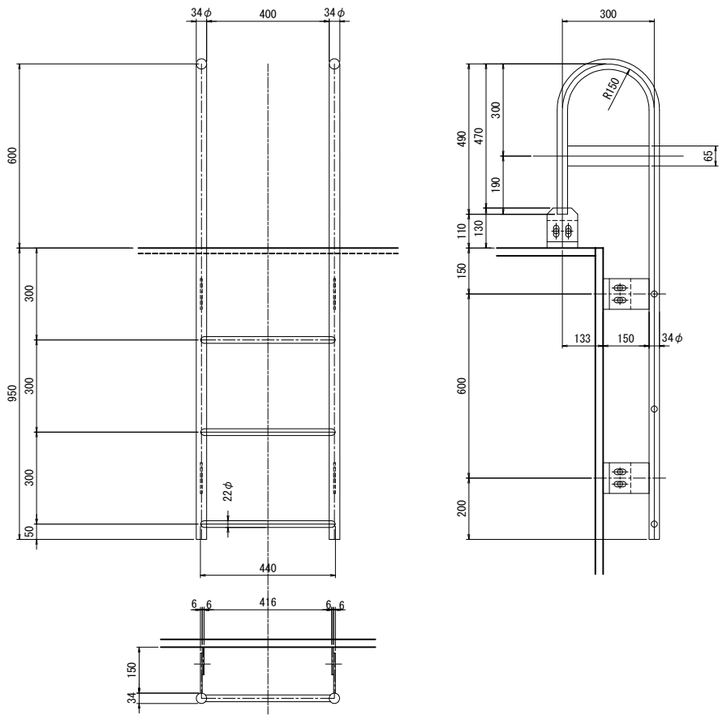
歩廊詳細図



手摺詳細図



梯子詳細図



注記

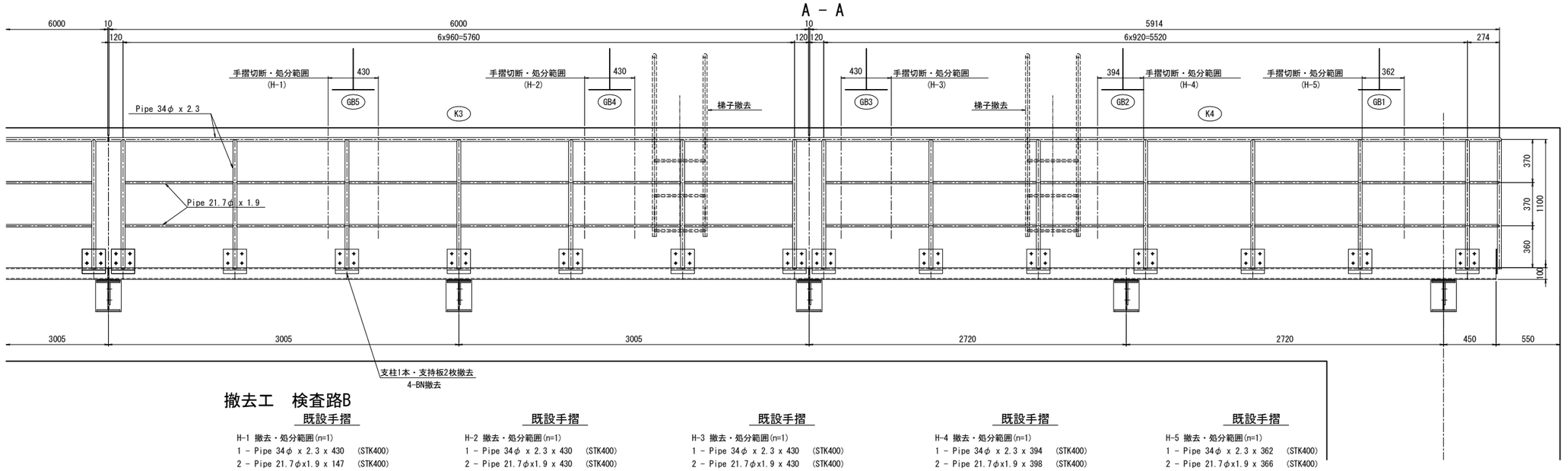
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納高架橋（上り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）
縮　尺	1:20
図面番号	218 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/40

撤去工　検査路B

A － A



撤去工　検査路B

既設手摺

H-1 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 147 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 257 (STK400)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 1110 (STK400)
1 － PL 200 x 6 x 210
1 － PL 180 x 6 x 200
4 － BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

既設手摺

H-2 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 430 (STK400)

既設手摺

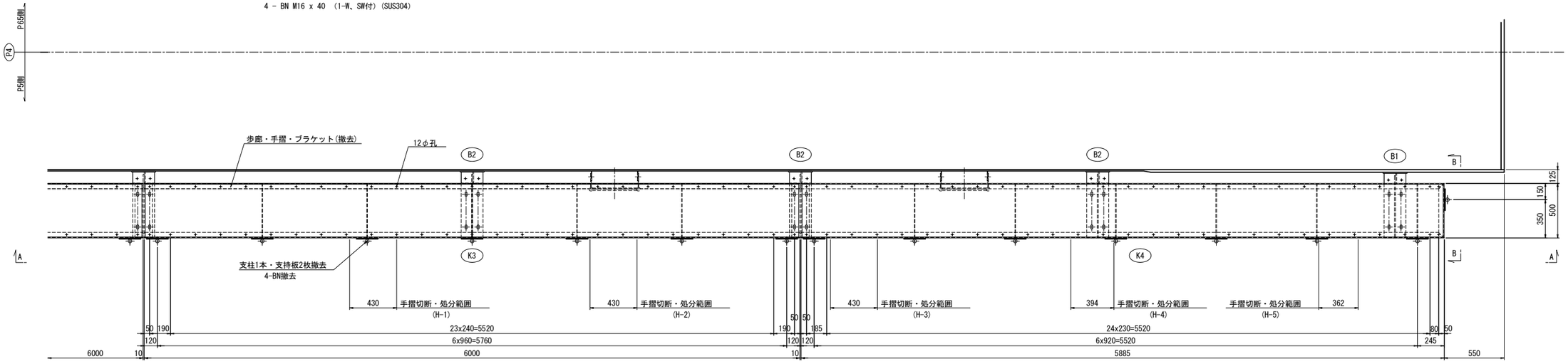
H-3 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 430 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 430 (STK400)

既設手摺

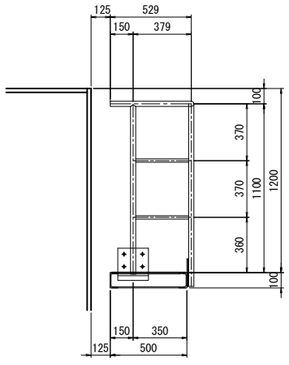
H-4 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 394 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 398 (STK400)

既設手摺

H-5 撤去・処分範囲(n=1)
1 － Pipe 34φ x 2.3 x 362 (STK400)
2 － Pipe 21.7φx1.9 x 366 (STK400)



B － B



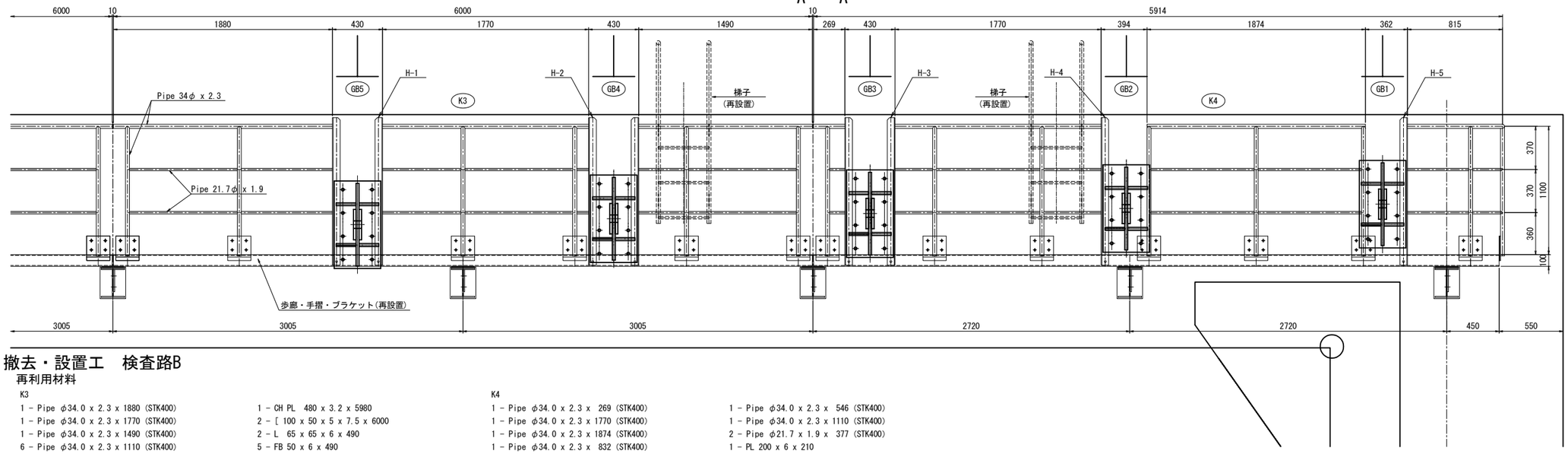
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:40	図面番号	219 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

撤去・設置工　検査路B

A' － A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

K3

- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1880 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1770 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1490 (STK400)
- 6 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 6 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 934 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 787 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 677 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 107 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 397 (STK400)
- 6 － PL 180 x 6 x 200
- 6 － PL 200 x 6 x 210
- 24 － BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 － CH PL 480 x 3.2 x 5980
- 2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 6000
- 2 － L 65 x 65 x 6 x 490
- 5 － FB 50 x 6 x 490
- 1 － PL 190 x 8 x 480
- 2 － PL 80 x 8 x 480
- 52 － BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

K4

- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 269 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1770 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1874 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 832 (STK400)
- 7 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 6 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 894 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 136 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 328 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 496 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 528 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 272 (STK400)
- 7 － PL 180 x 6 x 200
- 7 － PL 200 x 6 x 210
- 28 － BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 546 (STK400)
- 1 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 － Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
- 1 － PL 200 x 6 x 210
- 1 － PL 180 x 6 x 200
- 4 － BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 － CH PL 480 x 3.2 x 5865
- 2 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5885
- 1 － [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 1 － L 65 x 65 x 6 x 490
- 6 － FB 50 x 6 x 490
- 2 － PL 190 x 8 x 480
- 1 － PL 80 x 8 x 480
- 54 － BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

ブラケットB1再利用材料 (n=1)

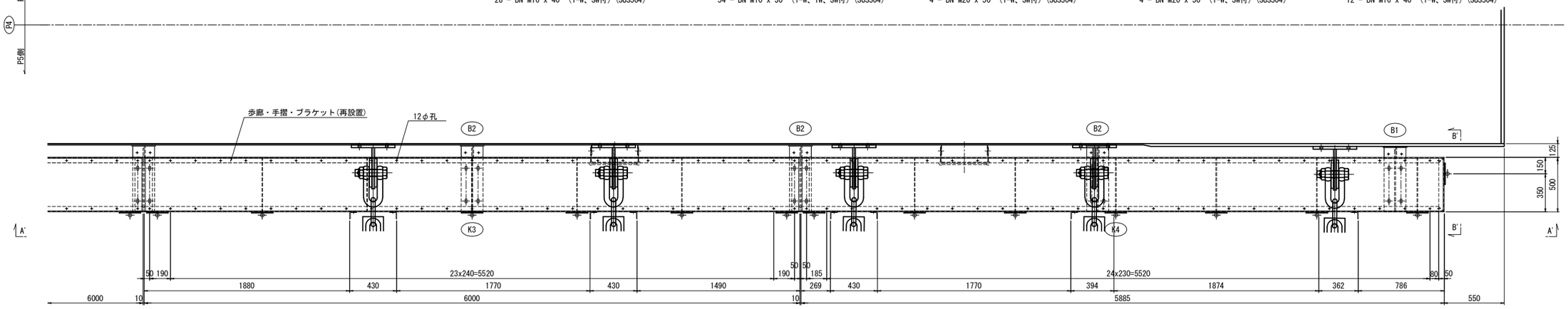
- 1 － PL 200 x 10 x 570
- 1 － PL 250 x 10 x 570
- 1 － PL 200 x 10 x 589
- 1 － PL 220 x 10 x 270
- 1 － PL 100 x 10 x 200
- 1 － PL 100 x 10 x 190
- 4 － BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 － BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

ブラケットB2再利用材料 (n=3)

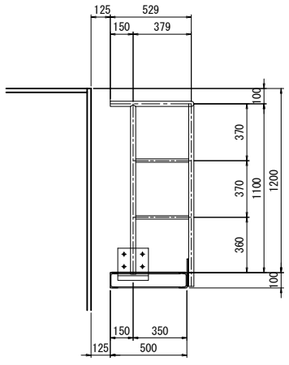
- 1 － PL 200 x 10 x 583
- 1 － PL 250 x 10 x 583
- 1 － PL 200 x 10 x 602
- 1 － PL 220 x 10 x 270
- 1 － PL 100 x 10 x 200
- 1 － PL 100 x 10 x 190
- 4 － BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 － BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

梯子再利用材料 (n=2)

- 2 － Pipe φ34.0 x 2.3 x 2211 (STK400)
- 3 － RB φ22 x 440
- 2 － FB 65 x 6 x 266
- 2 － PL 100 x 6 x 110
- 2 － PL 90 x 6 x 100
- 4 － PL 100 x 6 x 130
- 4 － PL 90 x 6 x 100
- 12 － BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)



B' － B'



注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

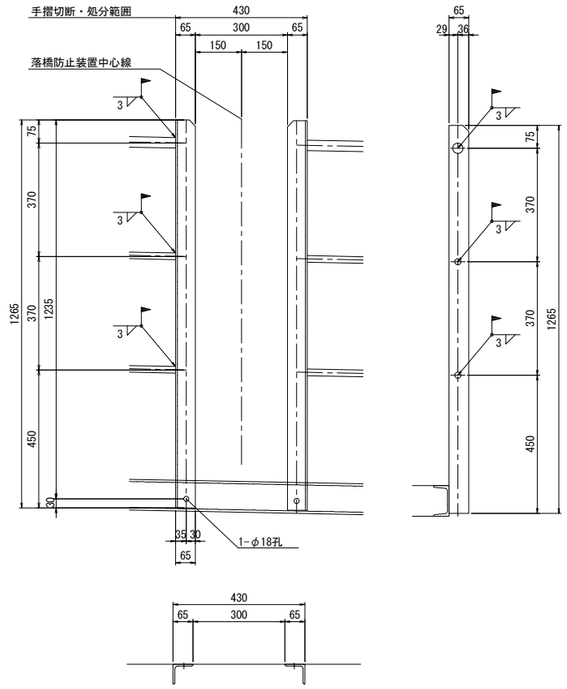
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P4(P66)橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	220 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（下り線）P4(P66)橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3)　S=1/20

設置工　検査路B

手摺切断部詳細図

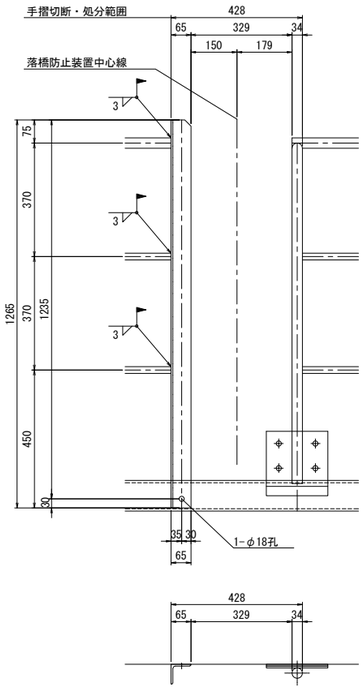
H-1～H-3



設置工　検査路B

新規材料 (n=3)
手摺切断部 (H-1～H-3)
2-L 65x65x6x1265
2-BN M16x40(2-W)

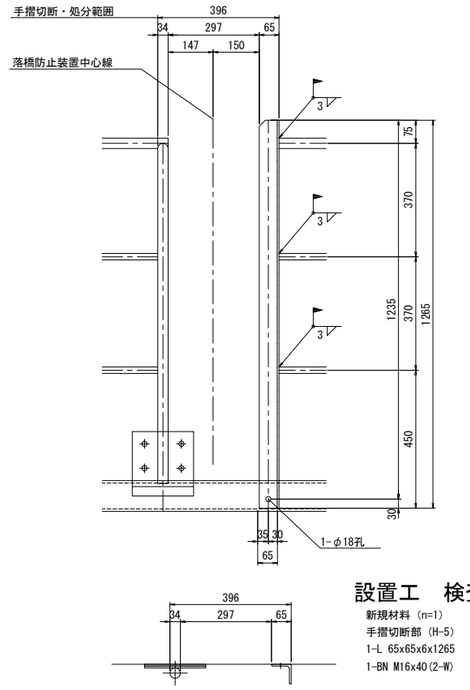
H-4



設置工　検査路B

新規材料 (n=1)
手摺切断部 (H-4)
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

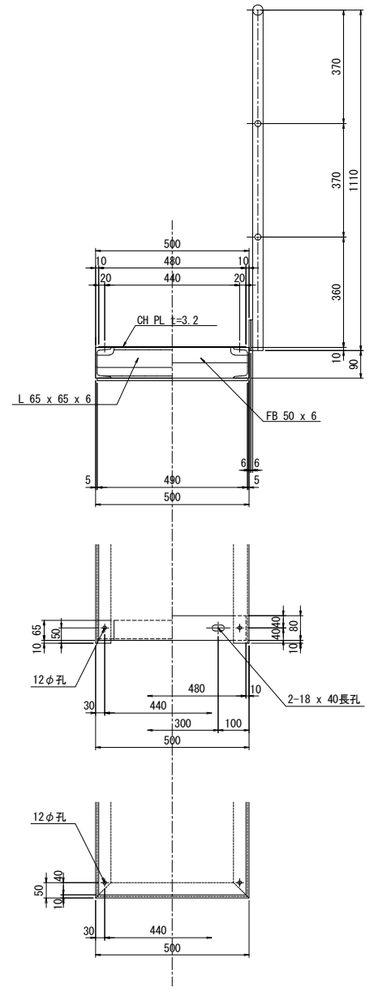
H-5



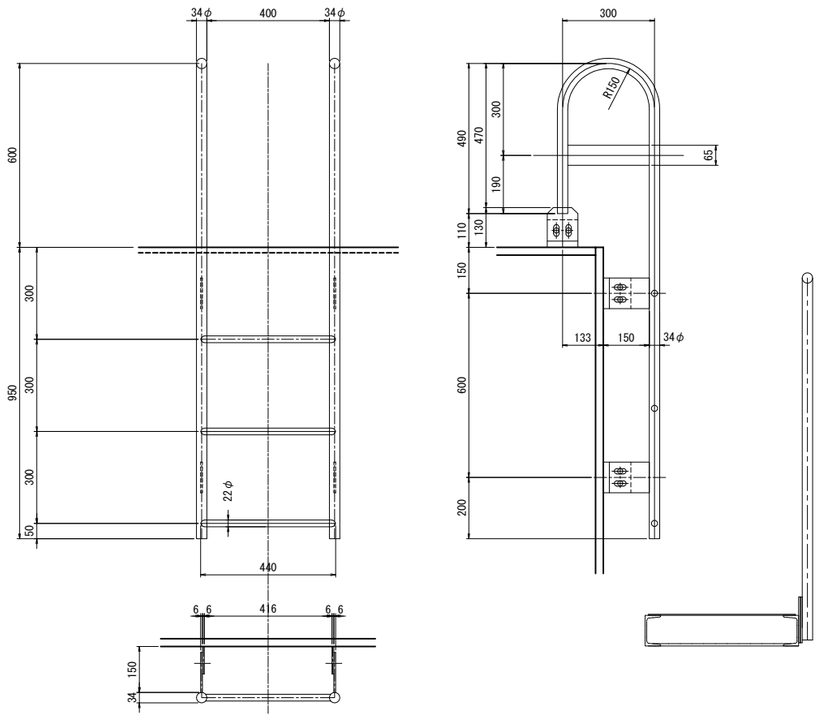
設置工　検査路B

新規材料 (n=1)
手摺切断部 (H-5)
1-L 65x65x6x1265
1-BN M16x40(2-W)

歩廊詳細図

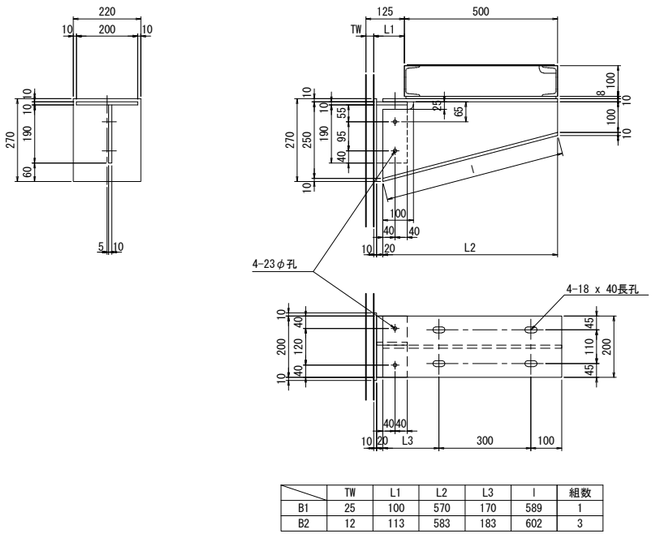


梯子詳細図



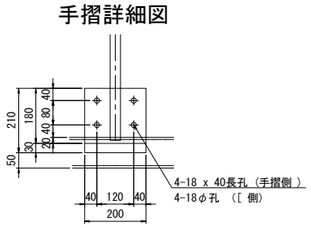
ブラケット詳細図

B1、B2



	TW	L1	L2	L3	l	組数
B1	25	100	570	170	589	1
B2	12	113	583	183	602	3

手摺詳細図



注記

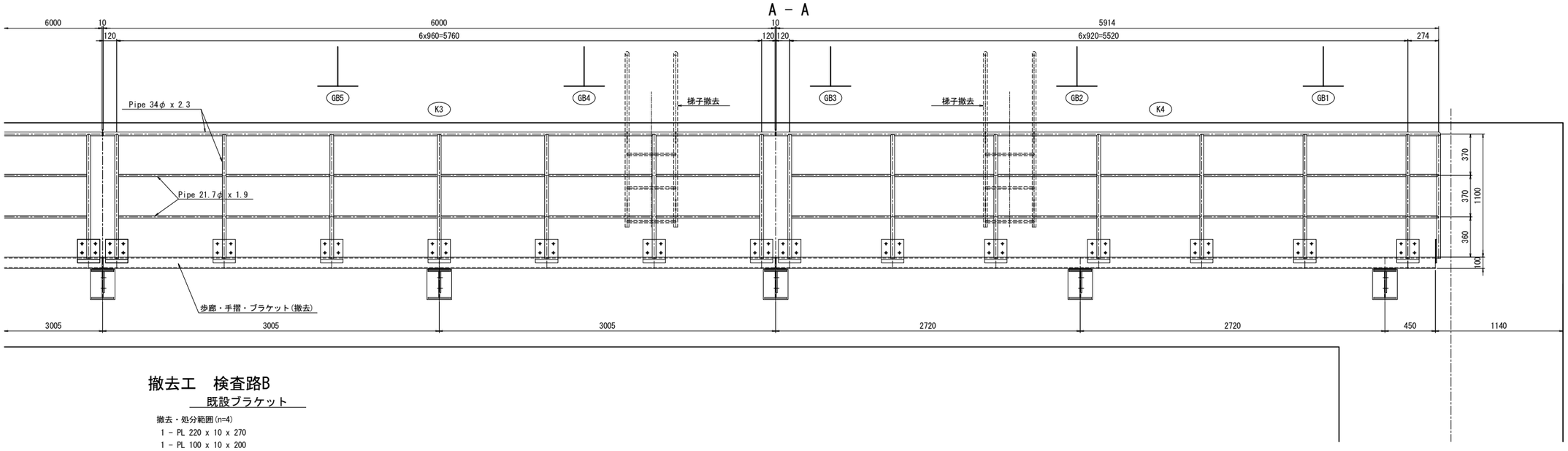
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P4(P66)橋脚　検査路撤去・設置計画図（その3）		
縮　尺	1:20	図面番号	221 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（下り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その1) S=1/40

撤去工　検査路B

A － A



撤去工　検査路B

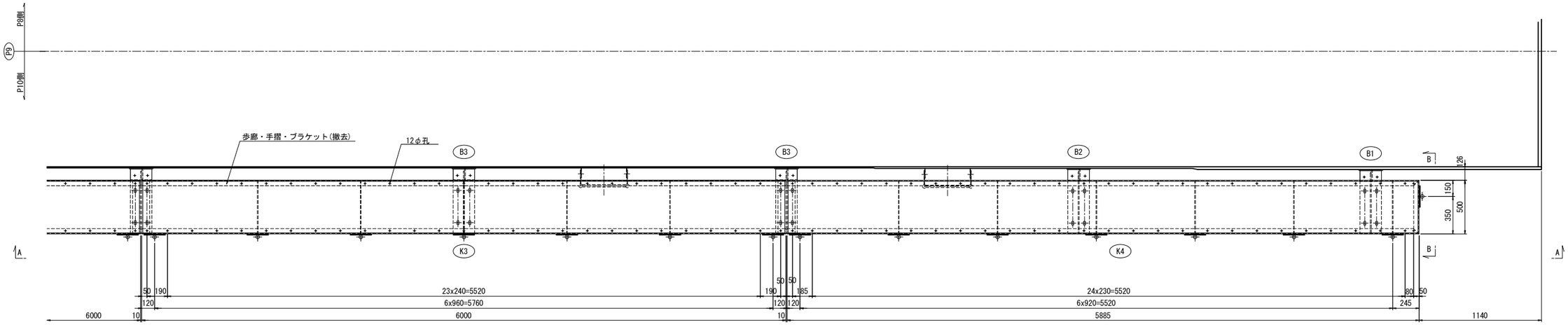
既設ブラケット

撤去・処分範囲(n=4)

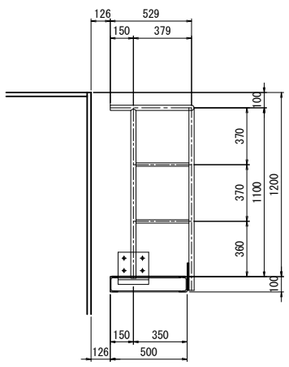
1 － PL 220 x 10 x 270

1 － PL 100 x 10 x 200

1 － PL 100 x 10 x 190



B － B



注記

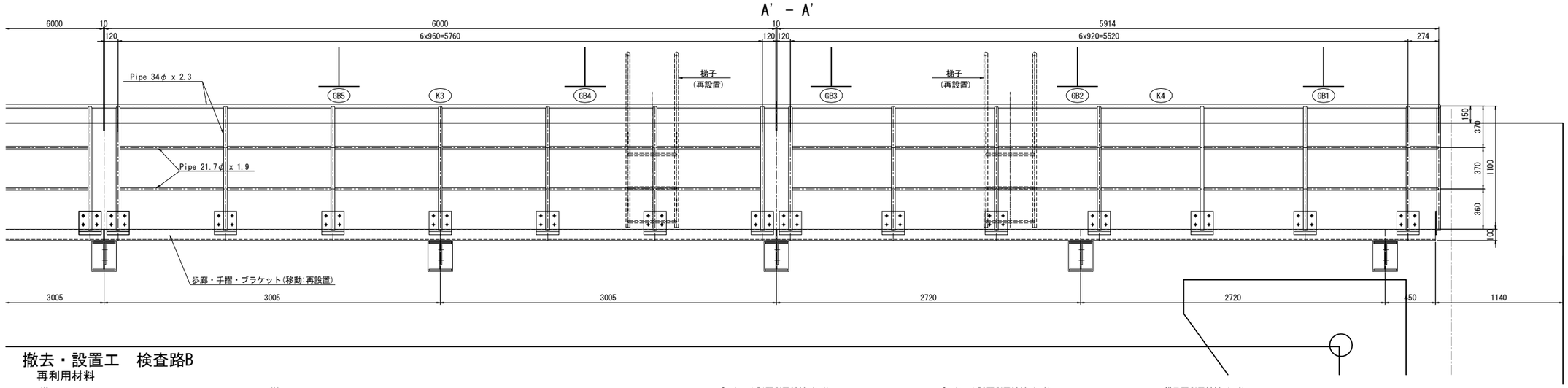
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その1）		
縮　尺	1:40	図面番号	222 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（下り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その2) S=1/40

撤去・設置工　検査路B

A' - A'



撤去・設置工　検査路B

再利用材料

K3
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 6000 (STK400)
- 7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 12 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 934 (STK400)
- 7 - PL 200 x 6 x 210
- 7 - PL 180 x 6 x 200
- 28 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5980
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 6000
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 5 - FB 50 x 6 x 490
- 1 - PL 190 x 8 x 480
- 2 - PL 80 x 8 x 480
- 52 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

K4
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 5931 (STK400)
- 7 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 272 (STK400)
- 12 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 894 (STK400)
- 7 - PL 200 x 6 x 210
- 7 - PL 180 x 6 x 200
- 28 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 546 (STK400)
- 1 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 1110 (STK400)
- 2 - Pipe φ21.7 x 1.9 x 377 (STK400)
- 1 - PL 200 x 6 x 210
- 1 - PL 180 x 6 x 200
- 4 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)

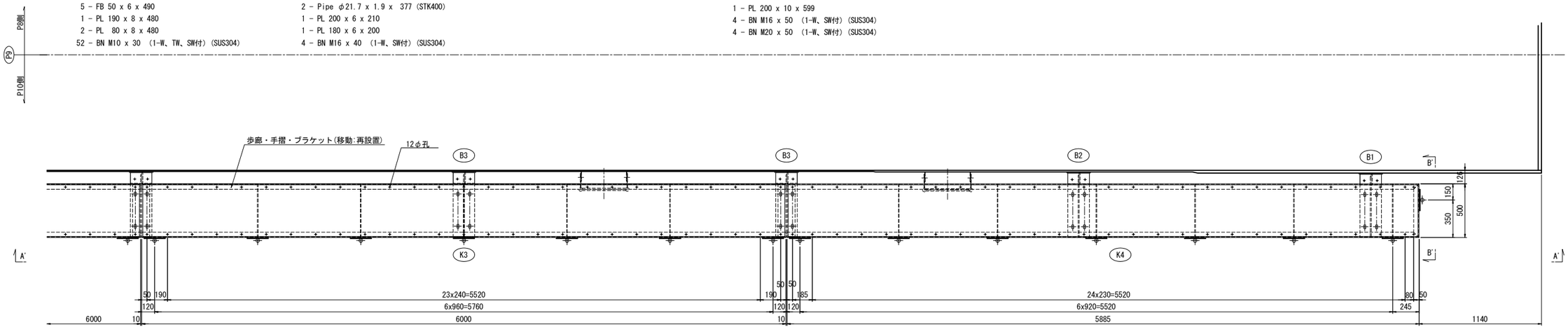
- 1 - CH PL 480 x 3.2 x 5865
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5885
- 1 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 1 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 6 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PL 190 x 8 x 480
- 1 - PL 80 x 8 x 480
- 54 - BN M10 x 30 (1-W、TW、SW付) (SUS304)

ブラケットB1再利用材料 (n=1)
- 1 - PL 200 x 10 x 570
- 1 - PL 250 x 10 x 570
- 1 - PL 200 x 10 x 589
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

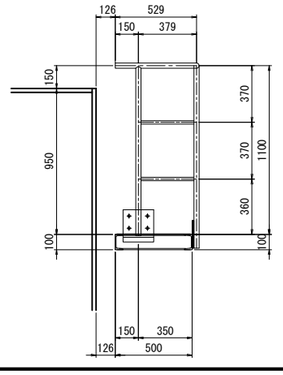
ブラケットB2再利用材料 (n=1)
- 1 - PL 200 x 10 x 580
- 1 - PL 250 x 10 x 580
- 1 - PL 200 x 10 x 599
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

ブラケットB3再利用材料 (n=2)
- 1 - PL 200 x 10 x 585
- 1 - PL 250 x 10 x 585
- 1 - PL 200 x 10 x 604
- 4 - BN M16 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)
- 4 - BN M20 x 50 (1-W、SW付) (SUS304)

梯子再利用材料 (n=2)
- 2 - Pipe φ34.0 x 2.3 x 2211 (STK400)
- 3 - RB φ22 x 440
- 2 - FB 65 x 6 x 266
- 2 - PL 100 x 6 x 110
- 2 - PL 90 x 6 x 100
- 4 - PL 100 x 6 x 130
- 4 - PL 90 x 6 x 100
- 12 - BN M16 x 40 (1-W、SW付) (SUS304)



B' - B'



注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

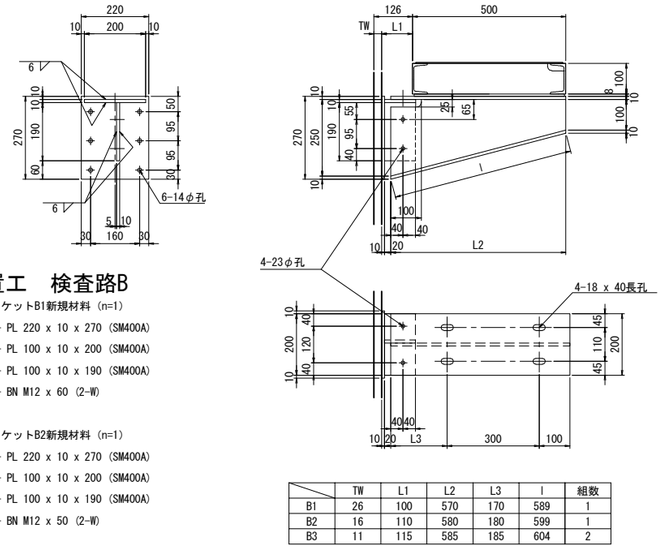
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋（下り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その2）		
縮　尺	1:40	図面番号	223 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（下り線）P9橋脚 検査路撤去・設置計画図(その3) S=1/20

設置工　検査路B

ブラケット詳細図

B1～B3



	TW	L1	L2	L3	l	組数
B1	26	100	570	170	589	1
B2	16	110	580	180	599	1
B3	11	115	585	185	604	2

設置工　検査路B

ブラケットB1新規材料 (n=1)

1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 60 (2-W)

ブラケットB2新規材料 (n=1)

1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 50 (2-W)

ブラケットB3新規材料 (n=2)

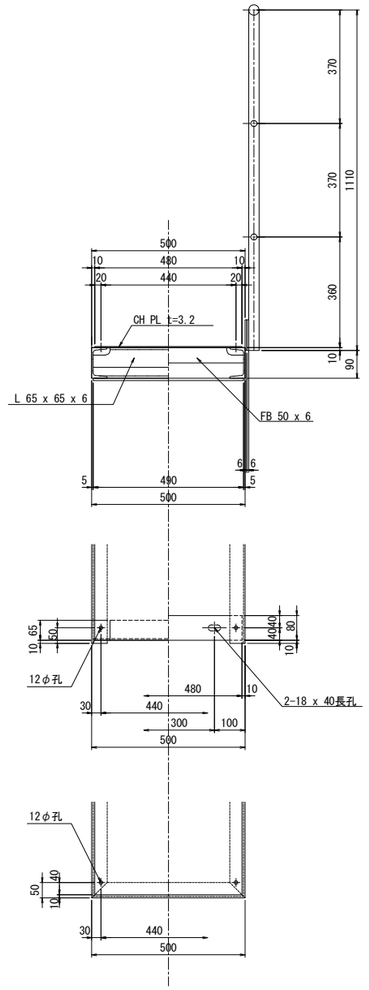
1 - PL 220 x 10 x 270 (SM400A)

1 - PL 100 x 10 x 200 (SM400A)

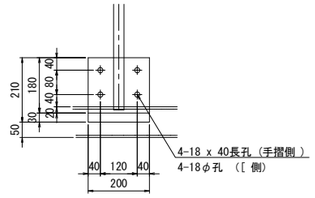
1 - PL 100 x 10 x 190 (SM400A)

6 - BN M12 x 45 (2-W)

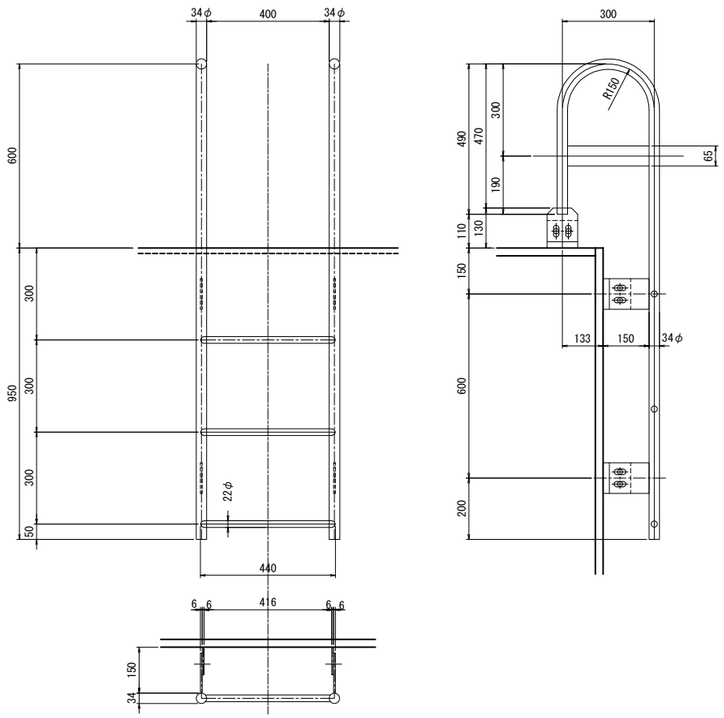
歩廊詳細図



手摺詳細図



梯子詳細図



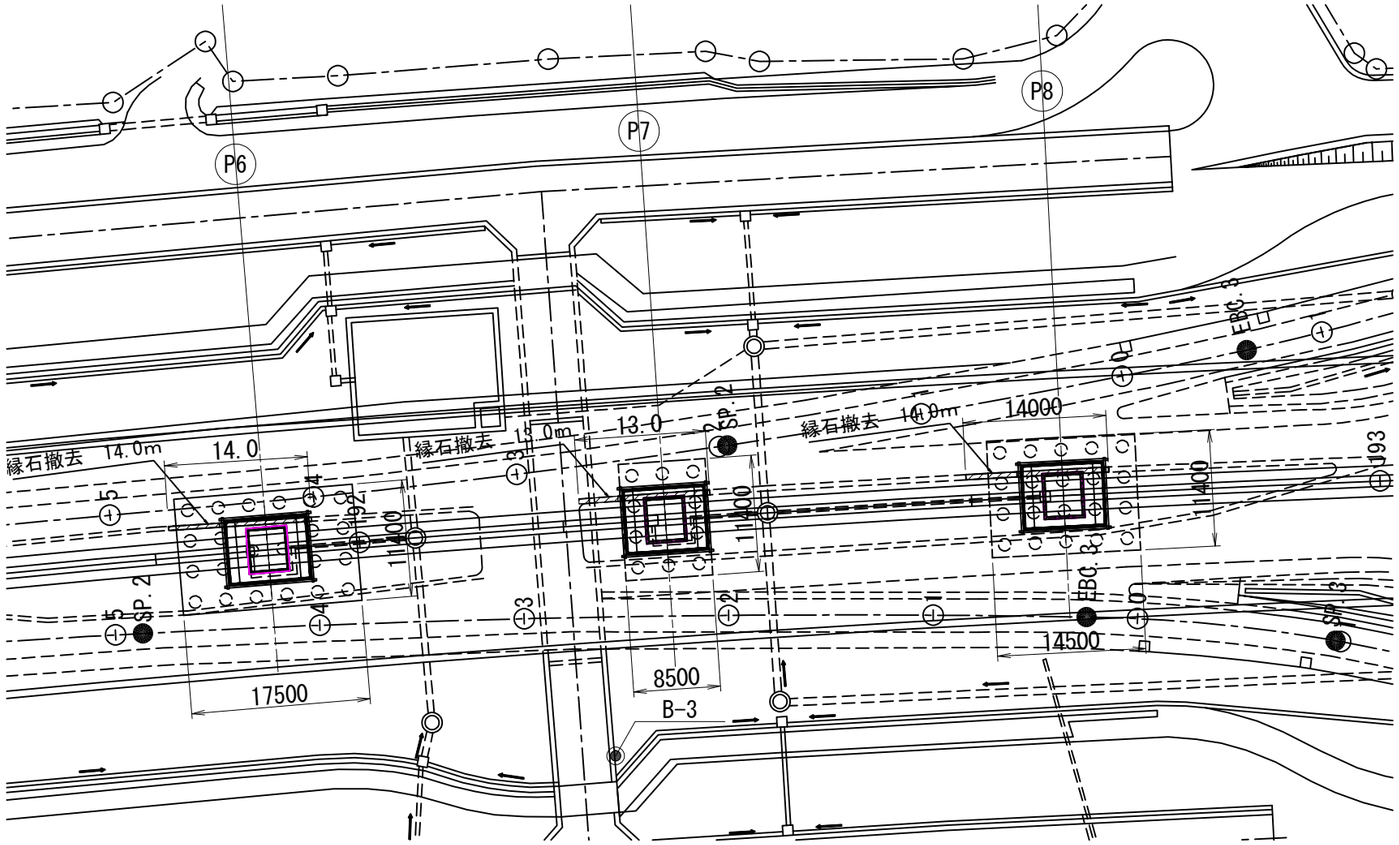
注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て、溶融亜鉛メッキ塗装とする。 付着量は、JIS H8641によるものとする。鋼板 HDZT77、ボルト・ナットHDZT49。
3. 製作及び施工にあたっては、現場の調査計測を行い現況を十分に反映し、寸法については必要に応じて変更し製作すること。

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事	
図面の種類	神納高架橋（下り線） P9橋脚　検査路撤去・設置計画図 （その3）
縮　尺	1:20
図面番号	224 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所

神納高架橋　撤去・復旧図

平 面 図　S= 1:600


P6
P7
P8
縁石撤去 14.0m
14.0
縁石撤去 13.0m
13.0
縁石撤去 14.0m
14000
17500
8500
14500
B-3
1400
1400
1400

神納高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その1)　縮尺 1:25

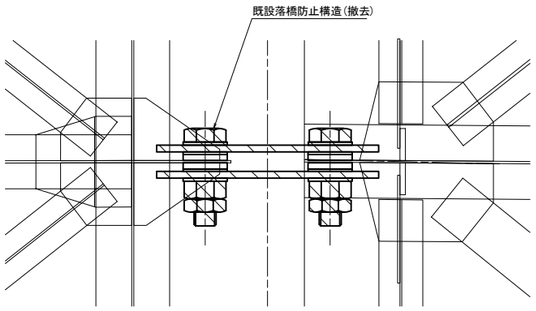
撤去工　落橋防止構造

P66(P4)橋脚

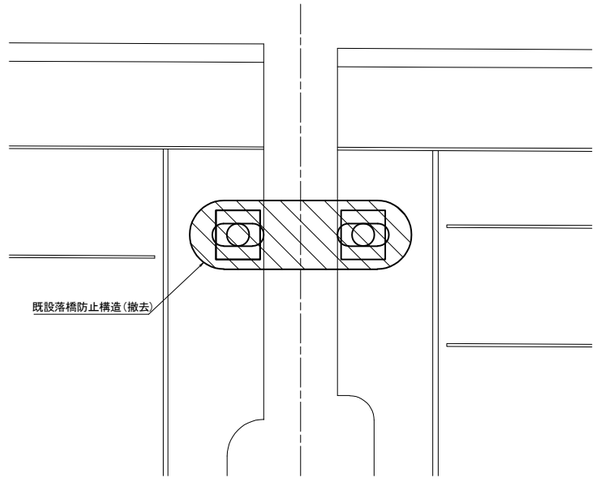
既設落橋防止構造

P66(P4)橋脚(上り線)：3基
P66(P4)橋脚(下り線)：3基

平面図



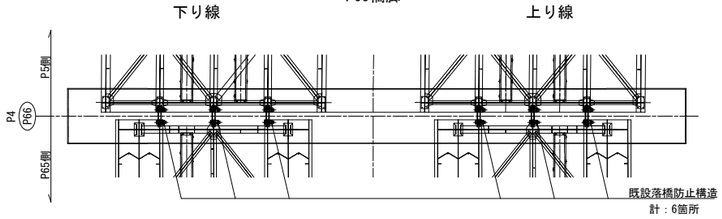
側面図



撤去部材
既設落橋防止構造（1基当たり）
- 2-PL 280×28×905(SM490YB)
- 2-Bolt M90×350(S45CN)
- 2-NUT M90(1種)(SS400)
- 2-NUT M90(3種)(SS400)
- 4-Washer φ160×12(SS400)
- 2-割ピン φ13×125(SUS304)
- 4-PL 180×10×200(ネオプレンゴム)

配置図　S=N:S

P66橋脚



東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋(上下線) 既設落橋防止構造撤去図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	226 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

神納高架橋（上下線） 既設落橋防止構造撤去図(その2)　縮尺 1:25

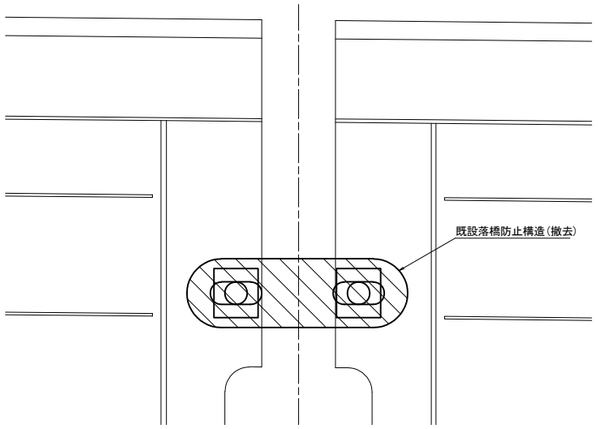
撤去工　落橋防止構造

P9橋脚

既設落橋防止構造

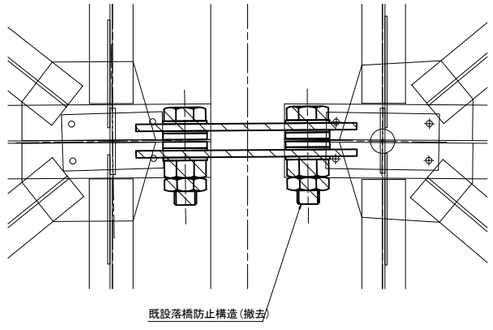
P9橋脚(上り線)：3基
P9橋脚(下り線)：3基

側面図



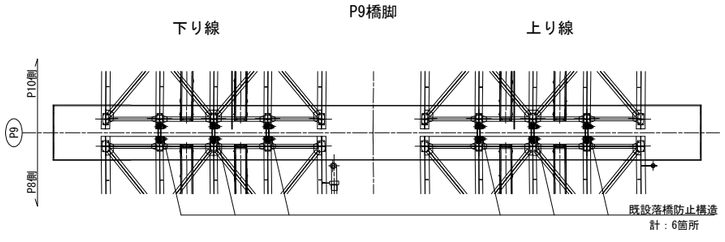
撤去部材
既設落橋防止構造 (1基当たり)
2-PL 280×28×900(SM490YB)
2-Bolt M90×330(S45CN)
2-NUT M90(1種)(SS400)
2-NUT M90(3種)(SS400)
4-Washer φ160×12(SS400)
2-割ピン φ13×125(SUS304)
4-ゴム φ250×10×250(クロロプレンゴム)
4-PL 180×10×200(ネオプレンゴム)

平面図



配置図 S=N:S

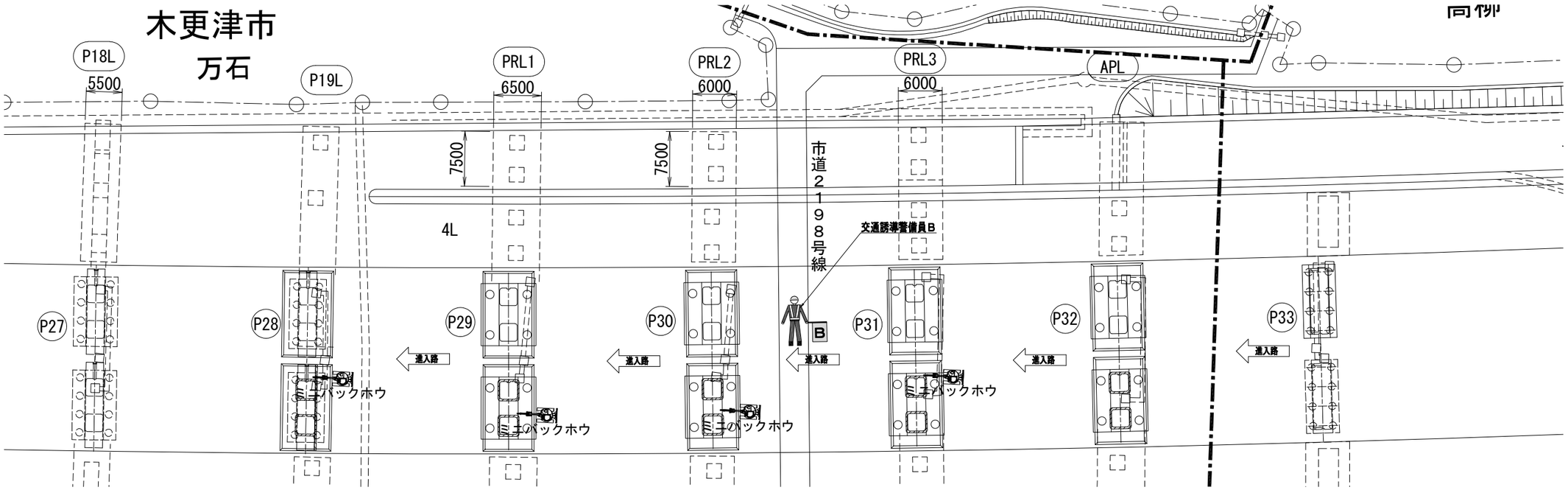
P9橋脚



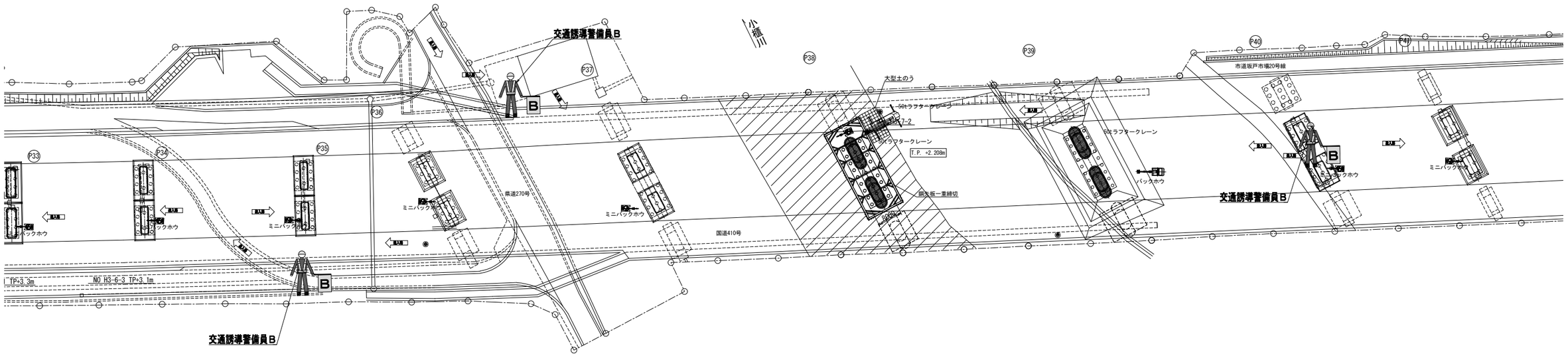
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神納高架橋(上下線) 既設落橋防止構造撤去図（その2）		
縮　尺	図示	図面番号	227 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その1）

岩根東高架橋　平面図 S=1/1000



小櫃川第二橋　平面図 S=1/1900



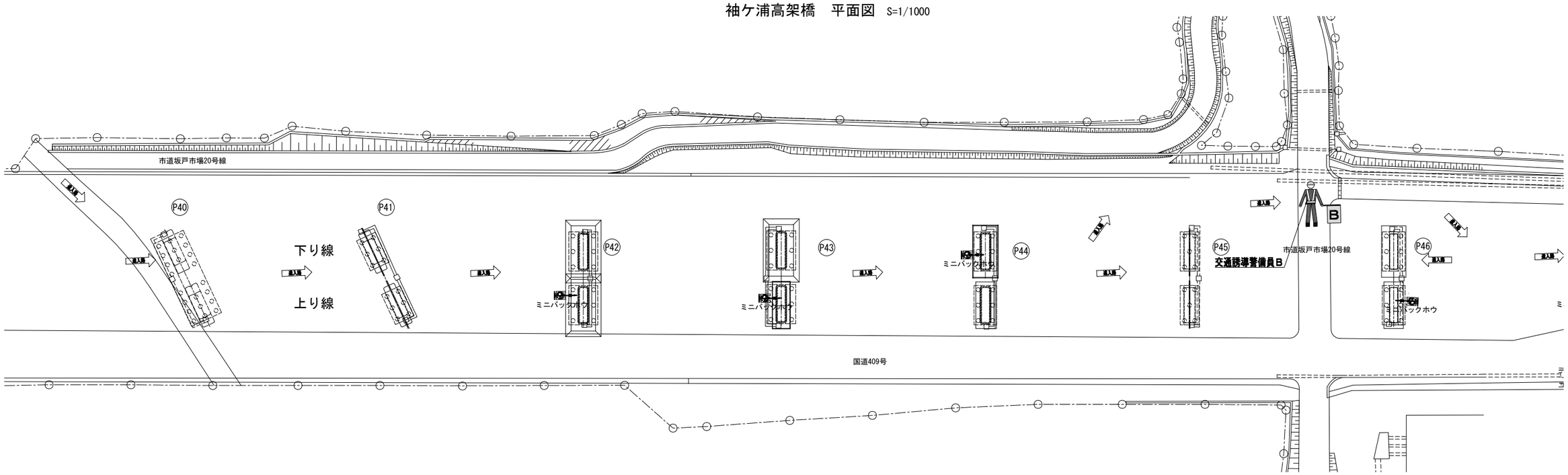
交通保安要員数量表

項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員B	人・日	148	岩根東高架橋 P30-P31間 作業ヤード出入口
			296	小櫃川第二橋 P35付近　作業ヤード出入口
			108	小櫃川第二橋 P37付近　排水機場出入口
			407	小櫃川第二橋 P39-P40間 作業ヤード出入口

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その1）		
縮　尺	図示	図面番号	228 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その2）

袖ケ浦高架橋　平面図　S=1/1000



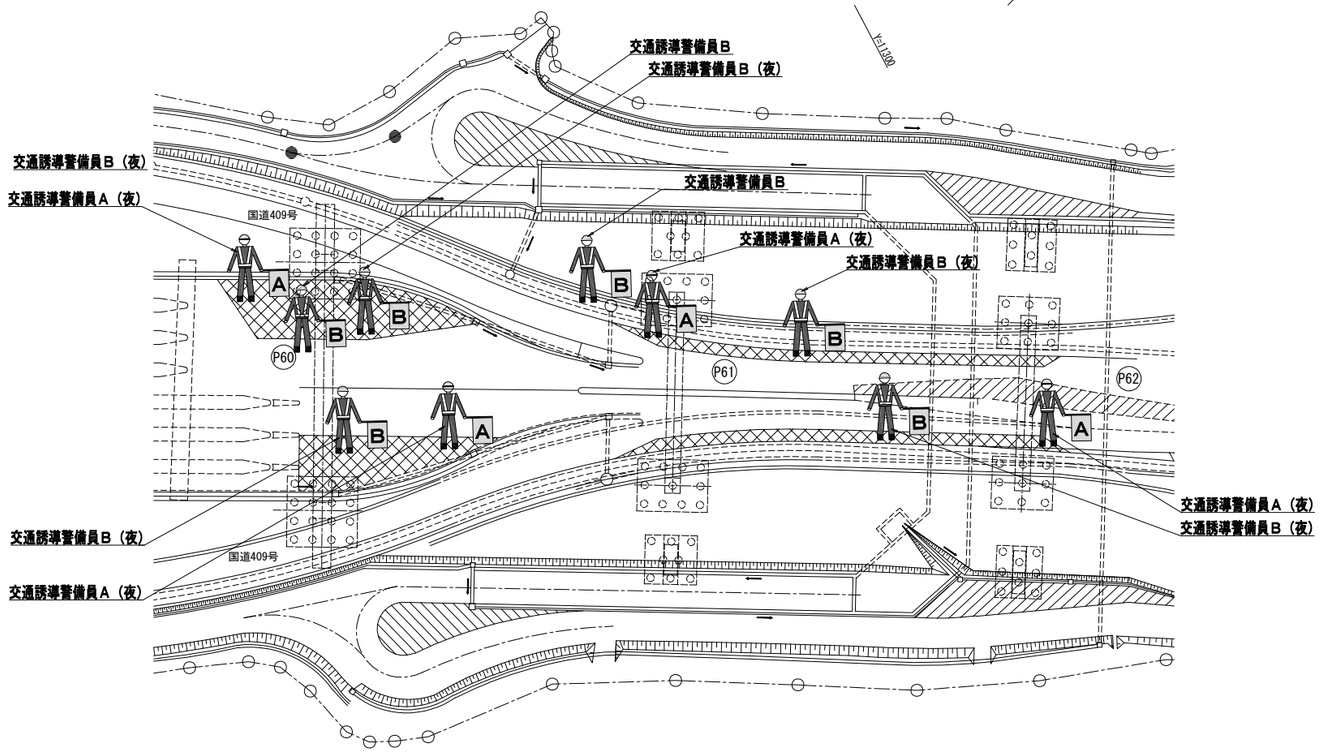
交通保安要員数量表

項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員B	人・日	28	袖ケ浦高架橋 P45-P46間 作業ヤード出入口
			421	袖ケ浦高架橋 P51-P52間 作業ヤード出入口

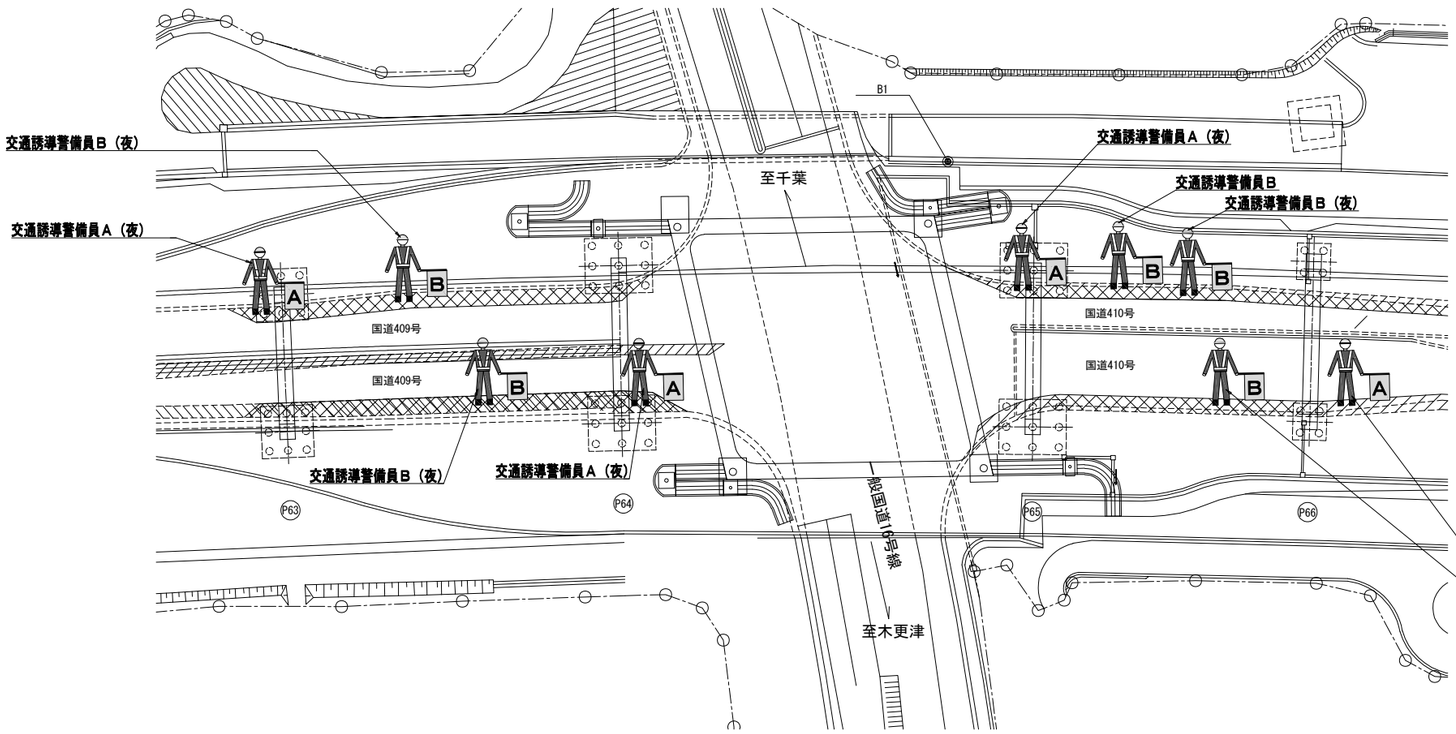
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その2）		
縮　　尺	1:1000	図面番号	229 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その3）

坂戸市場高架橋　平面図 S=1/1000



神納橋　平面図 S=1/400



交通保安要員数量表

項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員B	人・日	59	坂戸市場高架橋 P60付近 作業ヤード出入口
			219	坂戸市場高架橋 P61付近 作業ヤード出入口
			181	神納橋 P65-P66間 作業ヤード出入口

※昼間作業の場合、各作業ヤード出入口に交通誘導警備員Bを1名配置するものとする。

交通保安要員数量表

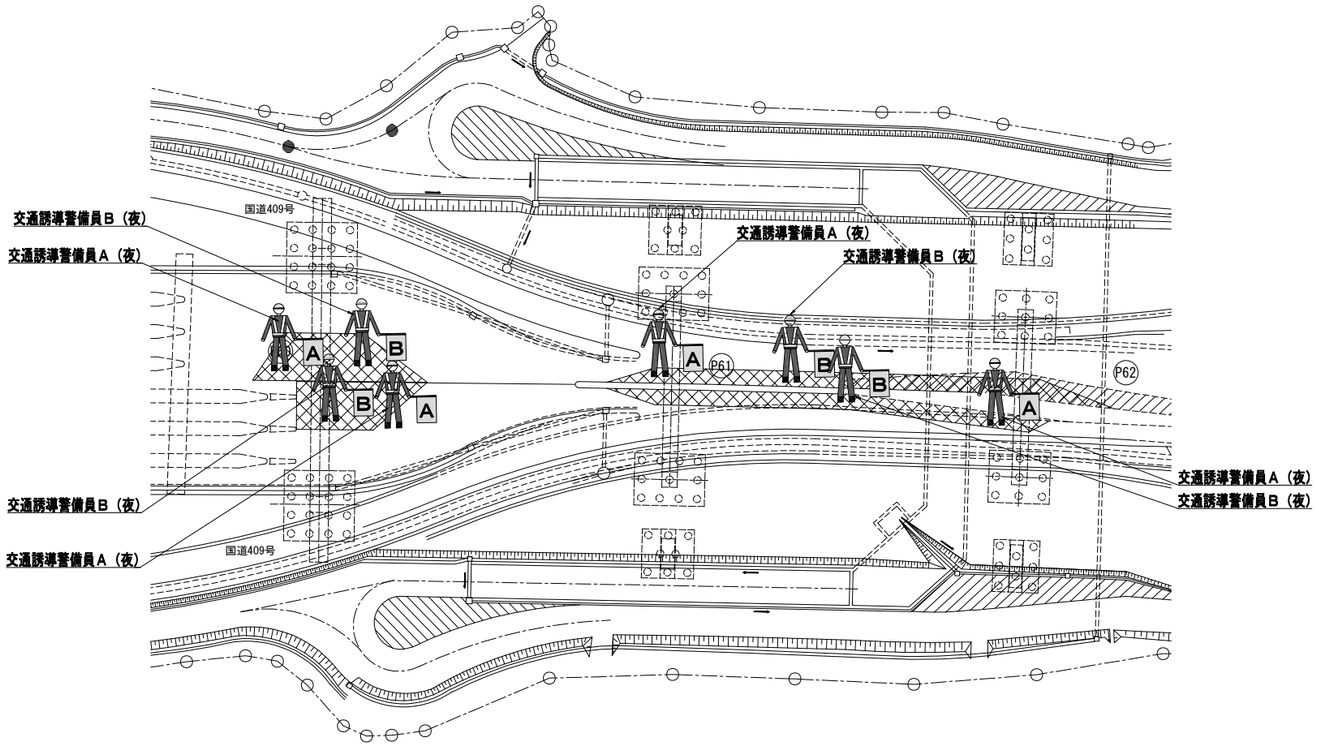
項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員A（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制
交通保安要員	交通誘導警備員B（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制
交通保安要員（交代要員）	交通誘導警備員B（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制

：規制範囲

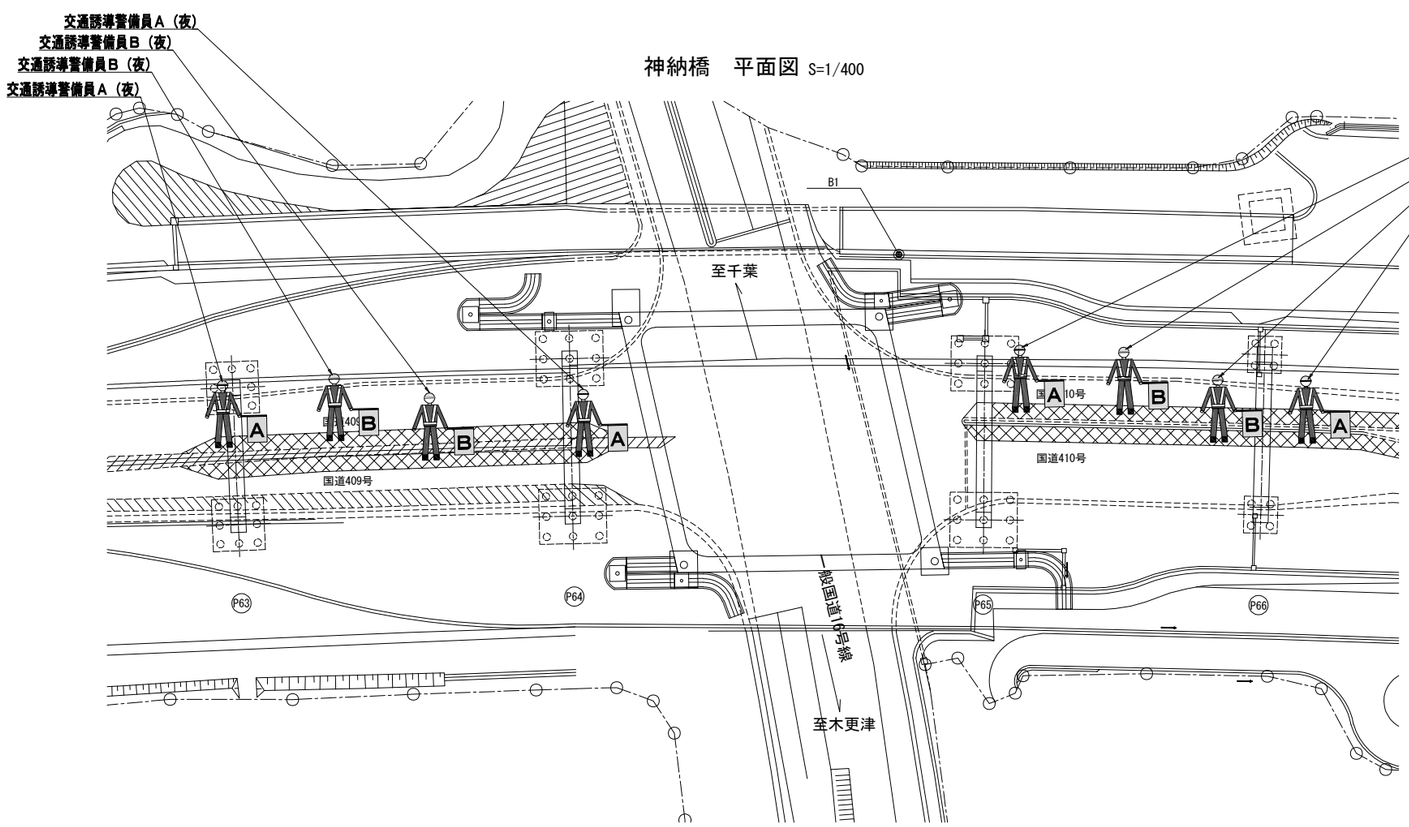
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その3）		
縮　尺	図示	図面番号	230 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その4）

坂戸市場高架橋　平面図 S=1/1000



神納橋　平面図 S=1/400



交通保安要員数量表

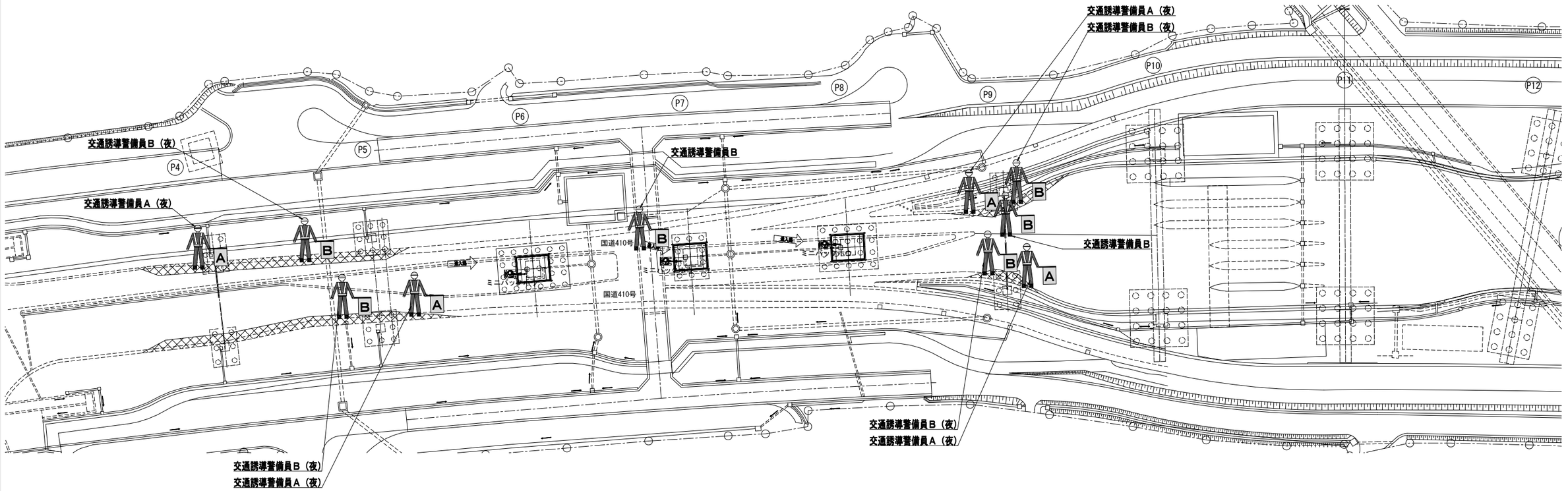
項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員A（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制
交通保安要員	交通誘導警備員B（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制
交通保安要員（交代要員）	交通誘導警備員B（夜）	人・日	4	坂戸市場高架橋 P60付近 交通規制
			3	坂戸市場高架橋 P61-P62間 交通規制
			7	神納橋 P63-P64間 交通規制
			3	神納橋 P65-P66間 交通規制

：規制範囲

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その4）		
縮　尺	図示	図面番号	231 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その5）

神納高架橋平面図 S=1/1000



交通保安要員数量表

項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員Ｂ	人・日	34	神納高架橋 P6-P8間 作業ヤード出入口
		人・日	68	神納高架橋 P9付近 作業ヤード出入口

※昼間作業の場合、各作業ヤード出入口に交通誘導警備員Ｂを1名配置するものとする。

交通保安要員数量表

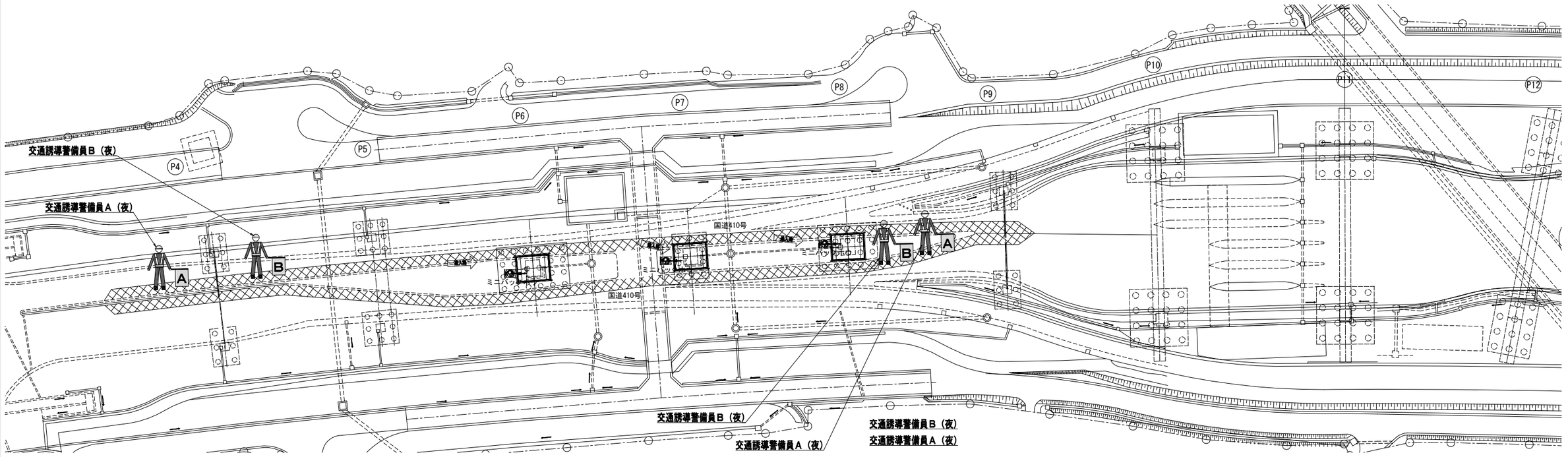
項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員Ａ（夜）	人・日	15	神納高架橋 P4-P5間 交通規制
			9	神納高架橋 P9付近 交通規制
交通保安要員	交通誘導警備員Ｂ（夜）	人・日	15	神納高架橋 P4-P5間 交通規制
			9	神納高架橋 P9付近 交通規制
交通保安要員（交代要員）	交通誘導警備員Ｂ（夜）	人・日	15	神納高架橋 P4-P5間 交通規制
			9	神納高架橋 P9付近 交通規制

：規制範囲

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その5）		
縮　　尺	1:1000	図面番号	232 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

交通保安要員配置図（その6）

神納高架橋平面図 S=1/1000



交通保安要員数量表

項目		単位	数量	箇所
交通保安要員	交通誘導警備員Ａ（夜）	人・日	4	神納高架橋 P4-P9間 交通規制
交通保安要員	交通誘導警備員Ｂ（夜）	人・日	4	神納高架橋 P4-P9間 交通規制
交通保安要員（交代要員）	交通誘導警備員Ｂ（夜）	人・日	4	神納高架橋 P4-P9間 交通規制

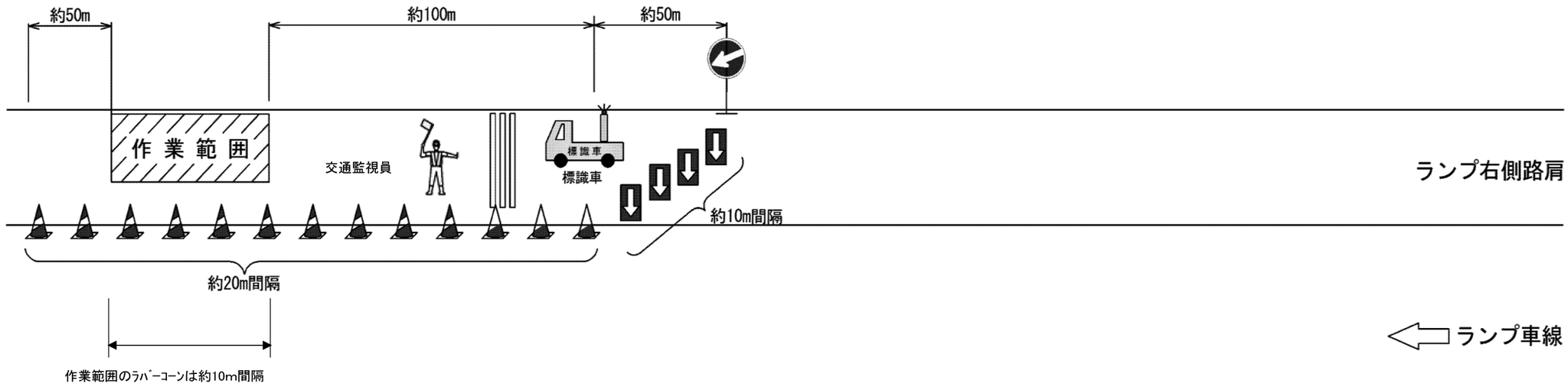
：規制範囲

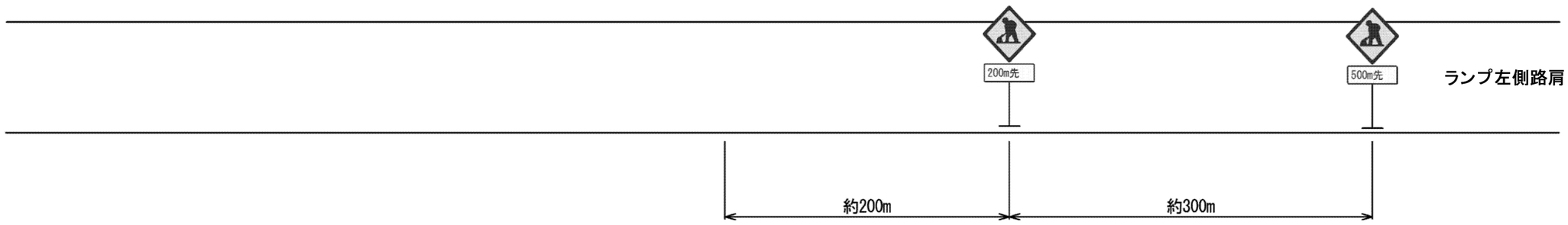
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（その6）		
縮　　尺	1:1000	図面番号	233 ／ 236
設計会社名	株式会社　日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

ランプ右側路肩 交通規制図 S=N:S

路肩規制（右側ランプ規制）

路肩規制Ⅰ×1





※ 規制先端部に（テーパー部）の矢印板の設置及び撤去に当り、発炎筒5分用1本を使用し一般車両を誘導しなければならない。
夜間規制の場合、規制標識は外部照明照射又は内照式とする。
夜間規制の場合、ラバーコーンには5本毎に自発光式デリネーター取付ける。（線形等により追加する。）

数量表　　1回あたり

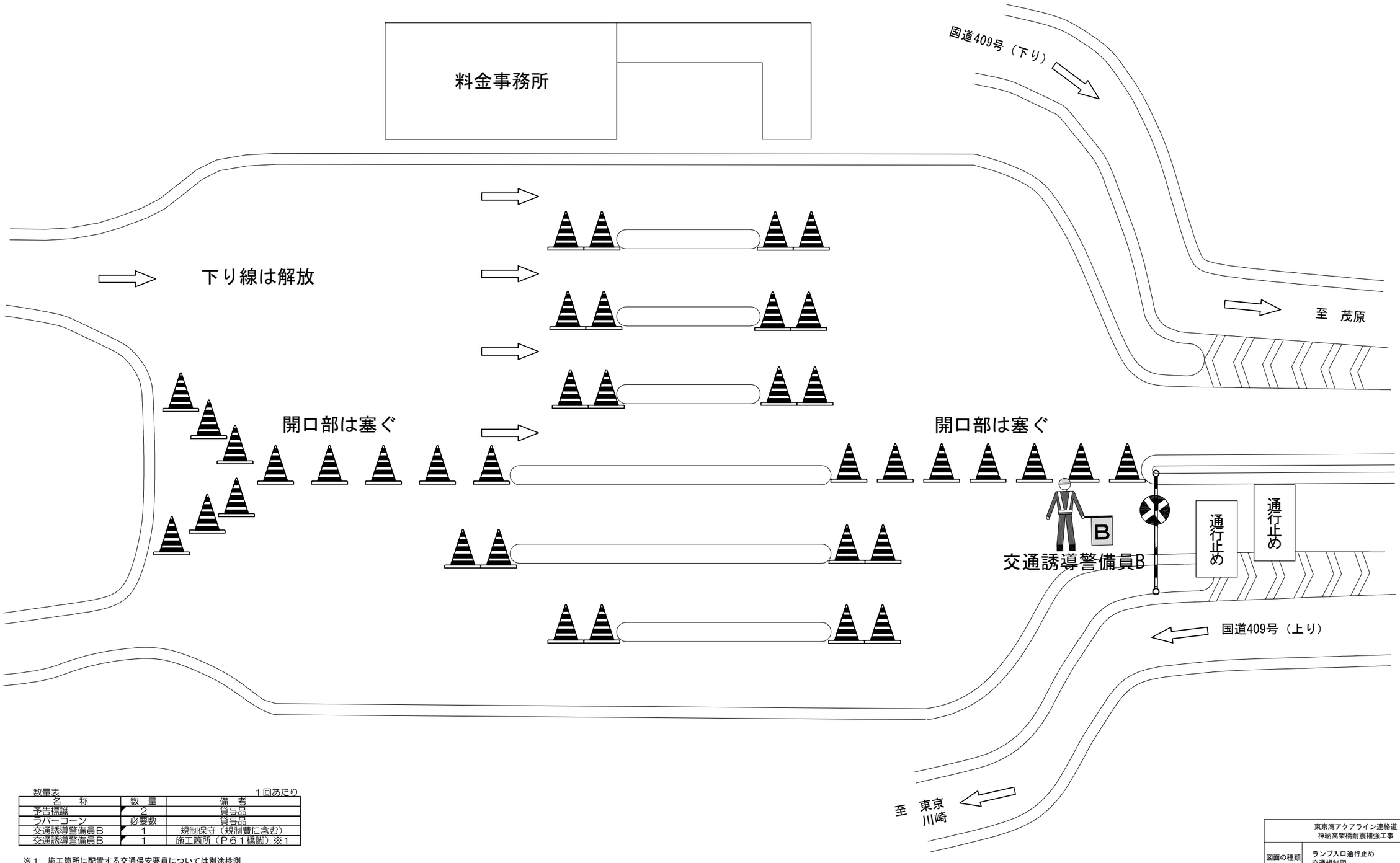
名　称	数　量	備　考
予告標識	3	貸与品
矢印板	4	貸与品
ラバーコーン	必要数	貸与品
標識車	1	貸与品
用心棒	3	貸与品
発炎筒　5分	2	
交通監視員	1	規制保守

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	ランプ右側路肩 交通規制図		
縮　尺	図示	図面番号	234 ／ 236
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

ランプ入口通行止め 交通規制図 S=N:S

袖ヶ浦IC 上り線ランプ閉鎖時

交通規制工
ランプ閉鎖Ａ（夜）



数量表　　１回あたり

名　称	数　量	備　考
予告標識	2	貸与品
ラバーコーン	必要数	貸与品
交通誘導警備員Ｂ	1	規制保守（規制費に含む）
交通誘導警備員Ｂ	1	施工箇所（Ｐ６１橋脚）※1

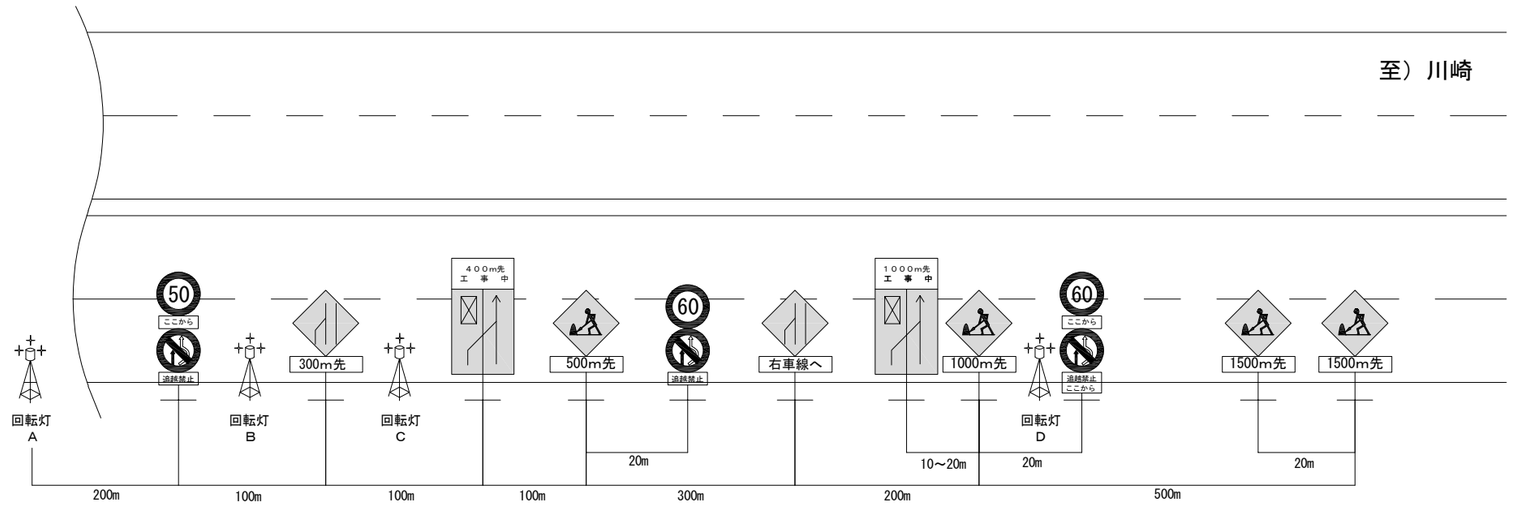
※1　施工箇所に配置する交通保安要員については別途検測

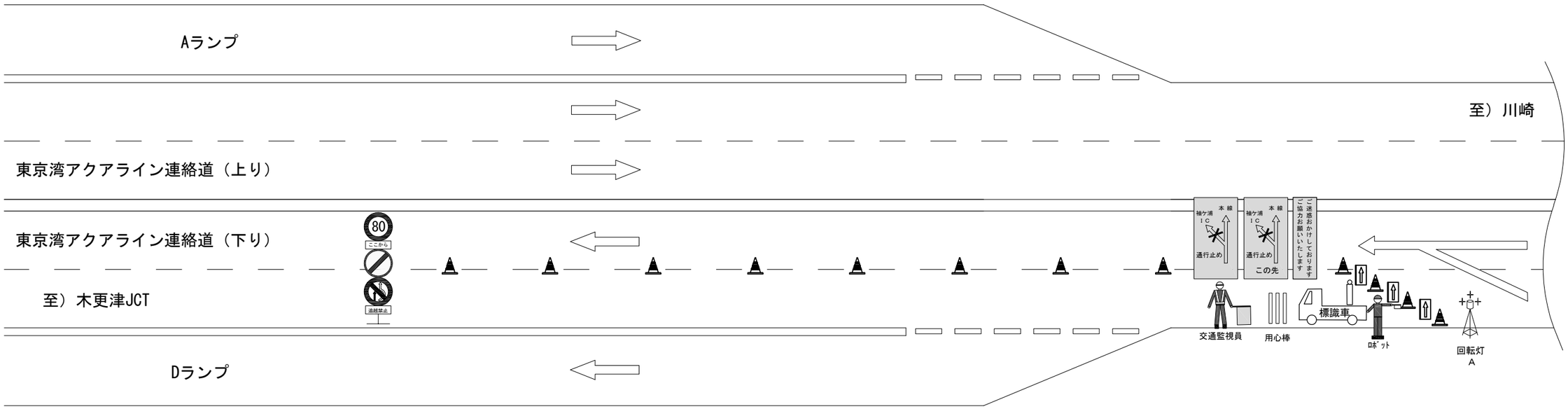
東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	ランプ入口通行止め 交通規制図		
縮　尺	図示	図面番号	235 ／ 236
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		

ランプ出口通行止め 交通規制図 S=N:S

通行止め規制図

交通規制工
ランプ閉鎖Ｂ（夜）





数量表　　1回あたり

名　　称	数　量	備　　考
予告標識	１２	貸与品
矢印板	必要数	貸与品
ラバーコーン	必要数	貸与品
標識車	1	貸与品
用心棒	3	貸与品
発煙筒（5分）	4	
発煙筒（15分）	2	
回転灯	3	
発電機	3	
交通監視員	1	規制保守（規制費に含む）
交通誘導警備員B	1	施工箇所（Ｐ６１橋脚）※１

注）Ａは昼夜とも黄色、若しくは視認性の良い回転灯を設置、Ｂの回転灯は昼夜とも黄色とし、Ｃについては昼間は黄色、夜は赤色とする。
規制の上流側に黄色い用心棒を３本設置する。
規制先端部（テーパー部）の矢印板の設置及び撤去に当り、発炎筒１５分用１本・５分用２本を使用し一般車両を誘導しなければならない。
夜間規制の場合、規制標識は外部照明照射又は内照式とする。
夜間規制の場合、ラバーコーンには５本毎に自発光式デリネーターを取付ける。

※１　施工箇所に配置する交通保安要員については別途検測

東京湾アクアライン連絡道 神納高架橋耐震補強工事			
図面の種類	ランプ出口通行止め 交通規制図		
縮　　尺	図示	図面番号	236 ／ 236
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		